

江東区高齢者生活実態等調査 報告書

令和2年3月



江東区

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の内容	3
3. 調査項目	4
4. 報告書の見方	8
II 調査結果の概要	11
調査① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	13
1. 回答者の基本属性	15
2. あなたのご家族や生活状況について	18
3. からだを動かすことについて	25
4. 食べることについて	37
5. 毎日の生活について	48
6. 地域での活動について	69
7. たすけあいについて	73
8. 健康について	82
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について	90
10. 将来について	92
11. 防災対策について	96
調査② 介護サービスの利用意向調査	99
1. 回答者の基本属性	101
2. あなたのご家族について	103
3. 介護サービスについて	105
4. 高齢者施設について	127
5. 今後について	135
6. 防災対策について	137
7. 区の高齢者福祉施策について	140
8. 主な介護者について	143
調査③ 在宅生活継続意向調査	151
1. 回答者の基本属性	153
2. あなたのご家族について	156
3. あなたの健康状態等について	158
4. 暮らしの中の不安について	181
5. 地域のつながりや支え合いについて	192
6. 認知症について	198
7. 権利擁護について	210
8. 社会活動への参加について	214
9. 介護サービスについて	225
10. 現在のお住まいの地域や住宅について	230
11. 将来について	247
12. その他（あなたのお考えをお聞かせください）	250
<資料編> 使用した調査票	255

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

江東区高齢者地域包括ケア計画（令和3～5年度）策定の基礎資料とするとともに、高齢者の意向を踏まえた今後の施策のあり方を検討するため、高齢者生活実態等調査を実施しました。

2. 調査の内容

- 抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出法
- 調査期間：令和元年 12月 2日（月）～令和元年 12月 17日（火）
- 調査方法：郵送配布、郵送回収

調査の一覧

番号	調査種類	調査対象 (区在住の 65 歳以上の方)	配布数	有効 回収数	回収率
①	介護予防 ・日常生活圏域ニーズ 調査	要支援 1・2 の認定者	200	3,313	66.3%
		要介護・要支援認定を受けていない方（一般高齢者）	4,800		
②	介護サービスの利用 意向調査	要介護 1～5 の認定者	1,000	462	46.2%
③	在宅生活継続意向調査	要介護・要支援認定を受けていない方（一般高齢者）	1,500	948	63.2%
合計			7,500人	4,723	63.0%

3. 調査項目

調査① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

項目	問番号	設問内容
家族や生活状況	問1(1)	家族構成
	問1(2)	普段の生活での介護・介助の必要度、主な原因、主な介護・介助者
	問1(3)	経済状況
	問1(4)	住宅の種類
からだを動かすこと	問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか
	問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか
	問2(3)	15分位続けて歩いているか
	問2(4)	過去1年間に転んだ経験があるか
	問2(5)	転倒に対する不安は大きいか
	問2(6)	週に1回以上は外出しているか
	問2(7)	昨年と比べて外出の回数が減っているか
	問2(8)	外出を控えているか、控えている理由
	問2(9)	外出する際の移動手段
食べること	問3(1)	身長・体重
	問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか
	問3(3)	お茶や汁物等でむせることがあるか
	問3(4)	口の渇きが気になるか
	問3(5)	歯磨きを毎日しているか
	問3(6)	歯の数と入れ歯の利用状況、噛み合わせ、入れ歯の手入れ
	問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか
	問3(8)	誰かと食事をともにする機会はあるか
毎日の生活	問4(1)	物忘れが多いと感じるか
	問4(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか
	問4(3)	今日が何月何日かわからない時があるか
	問4(4)	バスや電車を使って1人で外出しているか
	問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしているか
	問4(6)	自分で食事の用意をしているか
	問4(7)	自分で請求書の支払いをしているか
	問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしているか
	問4(9)	年金などの書類が書けるか
	問4(10)	新聞を読んでいるか
	問4(11)	本や雑誌を読んでいるか
	問4(12)	健康についての記事や番組に関心があるか
	問4(13)	友人の家を訪ねているか
	問4(14)	家族や友人の相談にのっているか
	問4(15)	病人を見舞うことができるか
	問4(16)	若い人に自分から話しかけることがあるか
	問4(17)	趣味はあるか
	問4(18)	生きがいはあるか
地域での活動	問5(1)	会・グループ等への参加頻度
	問5(2)	地域づくりへの参加者として、地域活動に参加したいか
	問5(3)	企画・運営者として、地域活動に参加したいか

項目	問番号	設問内容
たすけあい	問6(1)	心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人
	問6(2)	心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人
	問6(3)	病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
	問6(4)	看病や世話をしてあげる人
	問6(5)	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手
	問6(6)	友人・知人と会う頻度
	問6(7)	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか
	問6(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人か
健康	問7(1)	現在の健康状態
	問7(2)	現在どの程度幸せか
	問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか
	問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか
	問7(5)	お酒は飲むか
	問7(6)	タバコは吸っているか
	問7(7)	現在治療中、または後遺症のある病気はあるか
	問7(8)	「フレイル」という言葉を知っているか
認知症にかかる相談窓口の把握	問8(1)	自身又は家族に認知症の症状がある人がいるか
	問8(2)	認知症に関する相談窓口を知っているか
将来	問9(1)	人生の最終段階において、「受たい医療・介護」、あるいは「受たくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、話し合っているか、(話し合っている場合)話し合っている相手はだれか
	問9(2)	介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいか
	問9(3)	幸せに暮らすためには何が必要だと思うか
防災対策	問10(1)	防災対策として、日頃からどのようなことをしているか
	問10(2)	災害などの緊急時に手助けを頼める人はいるか
	問10(3)	災害が起こった直後、地域でどのような支援をすることが必要だと考えるか

調査② 介護サービスの利用意向調査

項目	問番号	設問内容
あて名の本人のこと	問1	家族構成
介護サービス	問2	要介護認定訪問調査についての満足度、(不満の場合)満足していない理由
	問3	要介護度に対する納得度、要介護度が思ったよりも高め又は低めと思った理由
	問4	利用した介護保険サービスと満足度、不満の理由
	問5	介護保険サービスの利用による変化、改善の要因(役立ったサービス、自身が努力したこと)
	問6	ケアマネジャーの対応について
	問7	介護サービス事業所のスタッフに対して、求めるもの
	問8	今後利用したい又は利用し続けたいサービス
	問9	区等が実施している以下の保健福祉サービスを、利用しているか
	問10	福祉サービス第三者評価の認知状況、判断材料とするか
	問11	在宅で生活を継続していくために必要と思うこと

項目	問番号	設問内容
高齢者施設	問12	特養への入所希望の有無、希望する理由、希望しない理由
	問13	都外の特養を整備することとした場合、その施設への入所を希望するか
	問14	今後どのような高齢者施設を整備して欲しいか
	問15	ショートステイの認知状況、利用希望の有無、どのような時に利用したいか
今後	問16	人生の最終段階において、「受けたい医療・介護」、あるいは「受けたくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、話し合っているか、（話し合っている場合）話し合っている相手はだれか
防災対策	問17	防災対策として、日頃からどのようなことをしているか
	問18	災害などの緊急時に手助けを頼める人はいるか
	問19	災害が起こった直後、地域でどのような支援をすることが必要だと考えるか
	問20	区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営などへのご意見・ご要望
主な介護者	問21	主な介護者はだれか、主な介護者の性別、年齢
	問22	主な介護者の同居の状況
	問23	介護をするうえで、困っていること
	問24	介護をしているご家族に対する必要なサービス

調査③ 在宅生活継続意向調査

項目	問番号	設問内容	
あて名の本人のこと	問1	家族構成	
健康状態等	問2	現在かかっている病気	
	問3	かかりつけ医、かかりつけ歯科医師、かかりつけ薬局の有無、所在地選んだ理由、いない理由	
	問4	大学病院や都立病院で受診の有無、外来か入院か、受診の理由	
	問5	医療や福祉に関する相談窓口の機関の認知状況	
	問6	医療情報の入手方法	
	問7	医療情報でほしい情報	
	問8	医療（療養）が必要となった場合、在宅医療（療養）を希望するか	
	問9	在宅医療（療養）は実現できると思うか、難しいと思う理由	
	問10	介護が必要な状態にならないようにするために、現在取り組んでいること	
	問11	介護が必要な状態にならないようにするために、今後取り組んでみたいこと	
	問12	「フレイル」という言葉を知っているか	
	暮らしの中の不安	問13	日常生活において、現在不安を感じていることはあるか
		問14	何かあったときに相談する相手
問15		緊急時の為に、事前に個人情報知らせておいてよい機関（人）	
問16		避難行動要支援者名簿への届出意向、したくない理由	
問17		防災対策として、日頃からどのようなことをしているか	
問18		災害などの緊急時に手助けを頼める人はいるか	
問19		災害が起こった直後、地域でどのような支援をすることが必要か	
地域のつながりや支え合い	問20	ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしているか	
	問21	地域で受けている手助け	
	問22	地域で受けたいと思う手助け	
	問23	地域で支援が必要な人に対して何らかのお手伝いをしようと思うか	
	問24	地域でどのようなことならお手伝いをしてあげられるか、できない/したくない理由	

項目	問番号	設問内容
認知症	問25	身の回りに認知症の人がいるか、認知症の人との関係
	問26	認知症について誰かに相談したことがあるか、相談した相手
	問27	認知症について抱いているイメージ
	問28	認知症になったとき、どのように暮らしたいか
	問29	認知症予防のため取り組んでいる（取り組みたい）こと
	問30	区の認知症高齢者向けの事業認知度、知っているもの
	問31	区の認知症高齢者向けの事業を利用したいか、どのような事業を利用したいか
権利擁護	問32	権利擁護について知っていること
	問33	高齢者虐待だと思うもの
	問34	任意後見制度認知度
社会活動への参加	問35	日中の過ごし方
	問36	福祉会館の利用頻度、利用したことがない理由、あれば利用を考える講座
	問37	住民主体の活動や交流の場（趣味や町内会、自治会等の近所の会・活動）への参加の有無、参加している活動等の種類、参加していない理由
	問38	参加したい会・活動等
	問39	健康維持増進・介護予防のために会・活動等で取り組んでいること、これから取り組みたいこと
	問40	老人クラブの利用状況、入会していない理由
	問41	介護関連の就労をしようと思うか、介護関連の就労またはボランティアの経験・介護関連資格の有無
介護サービス	問42	介護保険制度について知っていること
	問43	介護保険サービス以外の高齢者向けサービスの認知度
	問44	問42、43で回答した情報やサービスを、どのように知ったか
	問45	区の配食サービスである高齢者食事サービス事業を利用してみたいか、利用したい理由、自費で民間の配食サービスを利用している理由
	問46	親やこども世帯と同居や近居を望むか、望まない理由
現在住んでいる地域や住宅	問47	住宅の建物の種類、居住階数、エレベーターの設置の有無
	問48	現在の住宅の居住年数
	問49	現在の住宅に住み続ける意向（住み続けたい人）理由、住宅をどのようにしたいか（住み替えたい人）理由、どのような場所に住み替えたいか、住み替えたい住宅
	問50	バリアフリーのためのリフォームを行う予定（リフォームしたい人）リフォーム内容（リフォームしない人）行わない理由
	問51	サービス付き高齢者向け住宅の認知状況
	問52	東京都のサービス付き高齢者向け住宅の平均料金についてどう思うか
	問53	サービス付き高齢者向け住宅に対する印象
	問54	人生の最終段階において、「受けたい医療・介護」、あるいは「受けたくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、話し合っているか（話し合っている場合）話し合っている相手はだれか
将来	問55	介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいか
	問56	高齢者福祉施策や介護保険事業運営などへのご意見・ご要望

4. 報告書の見方

① 本報告書を読むにあたっての留意点

- ◆ 図表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ◆ 図表中の「n=」は、各設問に該当する回答者数の総数（人）で、百分率（%）の母数をあらわしています。
- ◆ 回答比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ◆ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ◆ 回答比率の計算方法：
（基準とする全体（回答者総数）を100とみなした時に占める割合（%）の出し方）
$$\text{回答者} \div \text{回答者総数} \times 100 = \text{回答比率（\%）}$$

<例>回答者総数100人中、10人が「はい」と回答した場合の比率の出し方
$$10 \text{ 人（回答者）} \div 100 \text{ 人（回答者総数）} \times 100 = 10\% \text{（「はい」と回答した人の回答比率）}$$
- ◆ 図表として示したもののうち、質問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。
- ◆ クロス集計の分析軸の項目では基本属性が不明だった「無回答」の方は除いて表示していません。従って、分析軸に表示している各項目の回答数合計は、全体の回答数と一致しません。
（例：性別が無回答の場合、クロス集計の分析軸には男性・女性のみ表示）
- ◆ 各ページに記載しているコメントは、回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計及び属性等によるクロス集計を行い、その特徴等を記述したものです。図表によっては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を比率（%）の高いものから低いものへと並び換えて表示している場合があります。
- ◆ 使用した調査票は、巻末の資料編に掲載しています。

② 日常生活圏域について

- ◆高齢者が1人暮らしや認知症になっても、住み慣れた地域での生活を維持できるサービス提供体制の整備を目的に、区内をいくつかに分けたものが日常生活圏域です。江東区では、現在 21 の日常生活圏域を下表のとおり設定していますが、本報告書においては、さらに広域的な分類として、ブロック及び地区という単位で地域分けをし、集計を行っています。

日常生活圏域	ブロック	地区	該当する住所
白河	深川北	深川北	常盤、新大橋、森下1・2丁目、三好3・4丁目、白河、高橋
海辺			千石、石島、千田、海辺、扇橋
住吉			森下3～5丁目、猿江、住吉、毛利
平野	深川中央		清澄、平野、三好1・2丁目、佐賀、福住、深川、冬木、門前仲町、木場3丁目
古石場			永代、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場2丁目
東陽			木場4・5丁目、東陽
塩浜	深川南	深川南	塩浜、潮見、木場1・6丁目
豊洲			豊洲、東雲、有明、青海
枝川			枝川、辰巳
亀戸北	亀戸	亀戸・大島	亀戸3～5丁目
亀戸			亀戸1・2・6丁目
亀戸東			亀戸7～9丁目
大島	大島		大島3・5・6丁目
大島西			大島1・2・4丁目
大島東			大島7～9丁目
南砂	南砂	砂町	南砂1・2丁目
北砂南			北砂4・7丁目、南砂4・5丁目
新砂			東砂8丁目、南砂3・6・7丁目、新砂、新木場、夢の島、若洲
東砂	北砂		東砂3～7丁目
北砂西			北砂1～3、5丁目
北砂東			北砂6、東砂1・2丁目

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

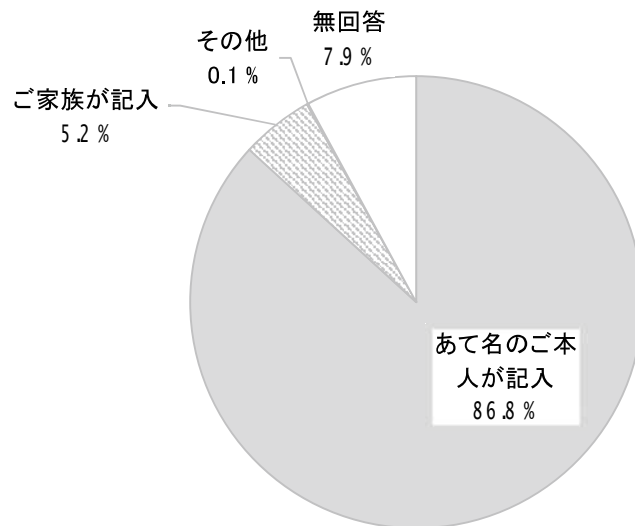
1. 回答者の基本属性

① 調査票の記入者

問 この調査票を記入されたのはどなたですか (ひとつだけ〇)

調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」(86.8%)、「ご家族が記入」(5.2%)となっている。

図表 Ⅱ①-1 記入者



(全体:n=3,313)

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

② 性別・年齢・要介護度

回答者の性別・年齢・要介護度

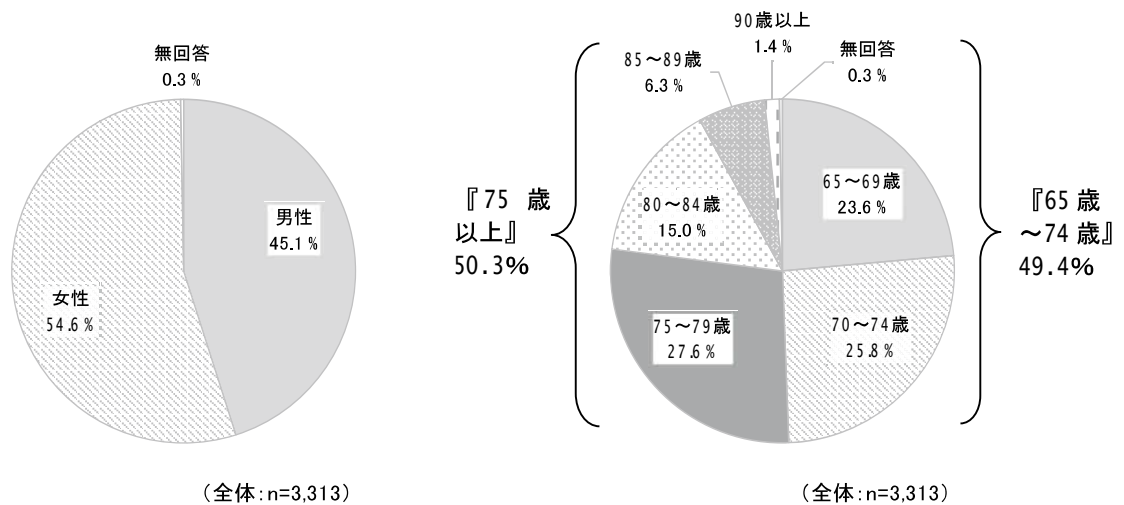
性別は、「男性」(45.1%)、「女性」(54.6%)。

年齢は、「65～69歳」(23.6%)、「70～74歳」(25.8%)、「75～79歳」(27.6%)、「80～84歳」(15.0%)、「85～89歳」(6.3%)、「90歳以上」(1.4%) となっており、『65歳～74歳』(49.4%)、『75歳以上』(50.3%) である。

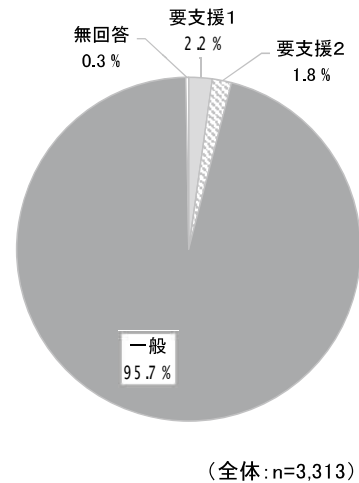
調査対象者別の平均年齢は要支援1の方で76.8歳、要支援2の方で77.1歳、一般で74.7歳となっている。

要介護度は、「要支援1」(2.2%)、「要支援2」(1.8%)、「一般」(95.7%) となっている。

図表 Ⅱ①-2 性別・年齢・要介護度



		男性	女性	無回答	(%)
全体	(n= 3,313)	45.1	54.6	0.3	
調査対象	要支援1	(n= 73) 34.2	65.8	0.0	
	要支援2	(n= 60) 41.7	58.3	0.0	
	一般	(n= 3,171) 45.5	54.5	0.0	



		66歳以下	77歳以下	77歳以上	88歳以下	88歳以上	90歳以上	不明	76歳以下	75歳以上	(平均年齢)	(%)
全体	(n= 3,313)	23.6	25.8	27.6	15.0	6.3	1.4	0.3	49.4	50.3	74.8	
調査対象	要支援1	(n= 73) 15.1	35.6	16.4	13.7	15.1	4.1	0.0	50.7	49.3	76.8	
	要支援2	(n= 60) 15.0	35.0	13.3	15.0	15.0	6.7	0.0	50.0	50.0	77.1	
	一般	(n= 3,171) 24.0	25.5	28.2	15.1	6.0	1.2	0.0	49.5	50.5	74.7	
性別	男性	(n= 1,494) 23.8	27.7	27.6	13.9	6.0	1.0	0.0	51.5	48.5	74.5	
	女性	(n= 1,810) 23.5	24.4	27.8	16.0	6.6	1.7	0.0	47.9	52.1	75.0	

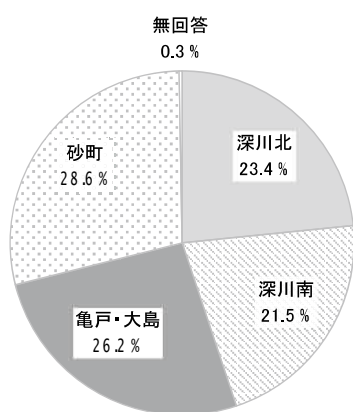
③ 地区・ブロック

回答者の地区・ブロック

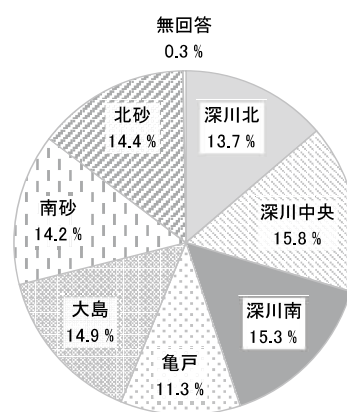
回答者が住んでいる地区は、「深川北」(23.4%)、「深川南」(21.5%)、「亀戸・大島」(26.2%)、「砂町」(28.6%)となっている。

ブロックでは、「深川北」(13.7%)、「深川中央」(15.8%)、「深川南」(15.3%)、「亀戸」(11.3%)、「大島」(14.9%)、「南砂」(14.2%)、「北砂」(14.4%)となっている。

図表 Ⅱ①-3 (左) 地区・(右) ブロック



(全体:n=3,313)



(全体:n=3,313)

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

2. あなたのご家族や生活状況について

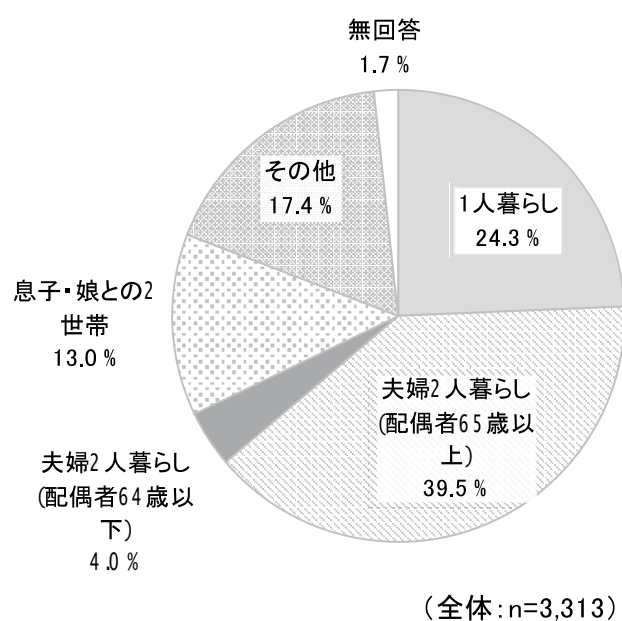
① 世帯構成

問1 (1) 家族構成をお教えてください

(ひとつだけ〇)

世帯構成は、「1人暮らし」(24.3%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(39.5%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.0%)、「息子・娘との2世帯」(13.0%) となっている。

図表 Ⅱ①-4 世帯構成



調査対象別では、要支援1の方では「1人暮らし」や「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が要支援2の方と比べると多く、逆に要支援2の方では「息子・娘との2世帯」や「その他」の割合が高い。

性別では、女性に「1人暮らし」が多く、年齢別では、「1人暮らし」は高年齢の方になるほど高くなり、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が低くなる傾向にある。

図表 Ⅱ①-5 世帯構成（グルーピング）

		1人暮らし	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	息子・娘との 2世帯	その他	無回答	(%)
凡例								
	全体 (n= 3,313)	24.3	39.5	4.0	13.0	17.4	1.7	
調査対象	要支援1 (n= 73)	31.5	37.0	1.4	15.1	13.7	1.4	
	要支援2 (n= 60)	26.7	21.7	3.3	18.3	26.7	3.3	
	一般 (n= 3,171)	24.1	39.9	4.1	12.9	17.3	1.7	
性別	男性 (n= 1,494)	18.7	46.7	6.8	11.4	15.0	1.5	
	女性 (n= 1,810)	29.0	33.6	1.8	14.3	19.4	1.9	
年齢	65～69歳 (n= 781)	20.5	35.9	9.0	12.7	21.0	1.0	
	70～74歳 (n= 856)	22.8	43.6	3.3	11.6	17.4	1.4	
	75～79歳 (n= 915)	23.1	42.6	2.4	12.1	17.4	2.4	
	80～84歳 (n= 497)	29.4	38.2	2.4	14.5	13.9	1.6	
	85～89歳 (n= 209)	34.9	31.1	1.0	18.2	12.4	2.4	
	90歳以上 (n= 46)	39.1	15.2	0.0	23.9	17.4	4.3	
地区	深川北 (n= 775)	22.7	38.8	3.0	15.6	17.9	1.9	
	深川南 (n= 712)	24.7	40.9	5.6	10.3	16.4	2.1	
	亀戸・大島 (n= 868)	26.7	36.5	4.0	12.3	18.9	1.5	
	砂町 (n= 949)	23.1	41.7	3.8	13.6	16.3	1.5	
ブロック	深川北 (n= 455)	22.9	38.9	2.9	14.9	18.7	1.8	
	深川中央 (n= 525)	25.3	39.0	2.7	14.3	16.2	2.5	
	深川南 (n= 507)	22.7	41.4	7.1	10.1	17.0	1.8	
	亀戸 (n= 374)	24.3	37.7	5.1	11.5	20.1	1.3	
	大島 (n= 494)	28.5	35.6	3.2	13.0	18.0	1.6	
	南砂 (n= 472)	22.7	45.6	3.8	11.2	15.9	0.8	
	北砂 (n= 477)	23.5	37.9	3.8	15.9	16.8	2.1	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

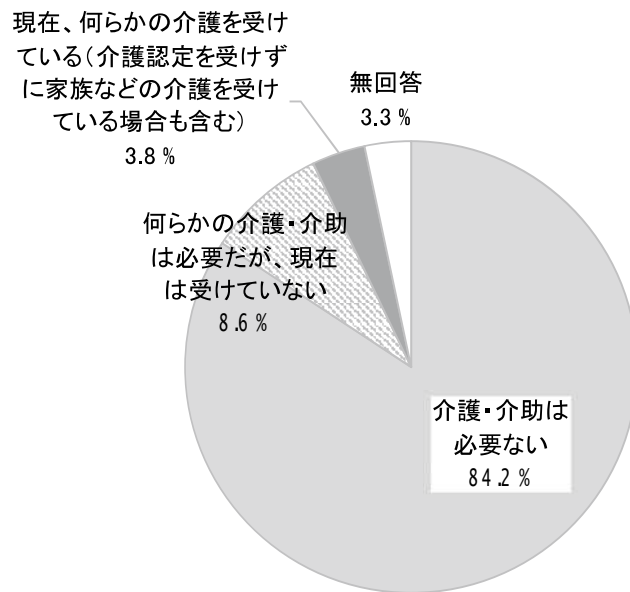
② 普段の生活での介護・介助の必要性

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(ひとつだけ〇)

普段の生活での介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が全体の84.2%となっており、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(8.6%)、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(3.8%)である。

調査対象者別でみると、一般と比べ要支援の方では「現在、何らかの介護を受けている」割合が高い。

図表 Ⅱ①-6 普段の生活での介護・介助の必要性



(全体:n=3,313)

		介護・介助は必要ない	現在何らかの介護を受けていない・介助は必要だが、	介護(現在、介護認定を受けている場合も含む)	現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族など)	無回答	
全体	(n= 3,313)	84.2	8.6	3.8	3.3	(%)	
調査対象	要支援1	(n= 73)	37.0	24.7	38.4	0.0	
	要支援2	(n= 60)	23.3	18.3	50.0	8.3	
	一般	(n= 3,171)	86.5	8.0	2.1	3.3	

③ 介護・介助が必要になった主な原因

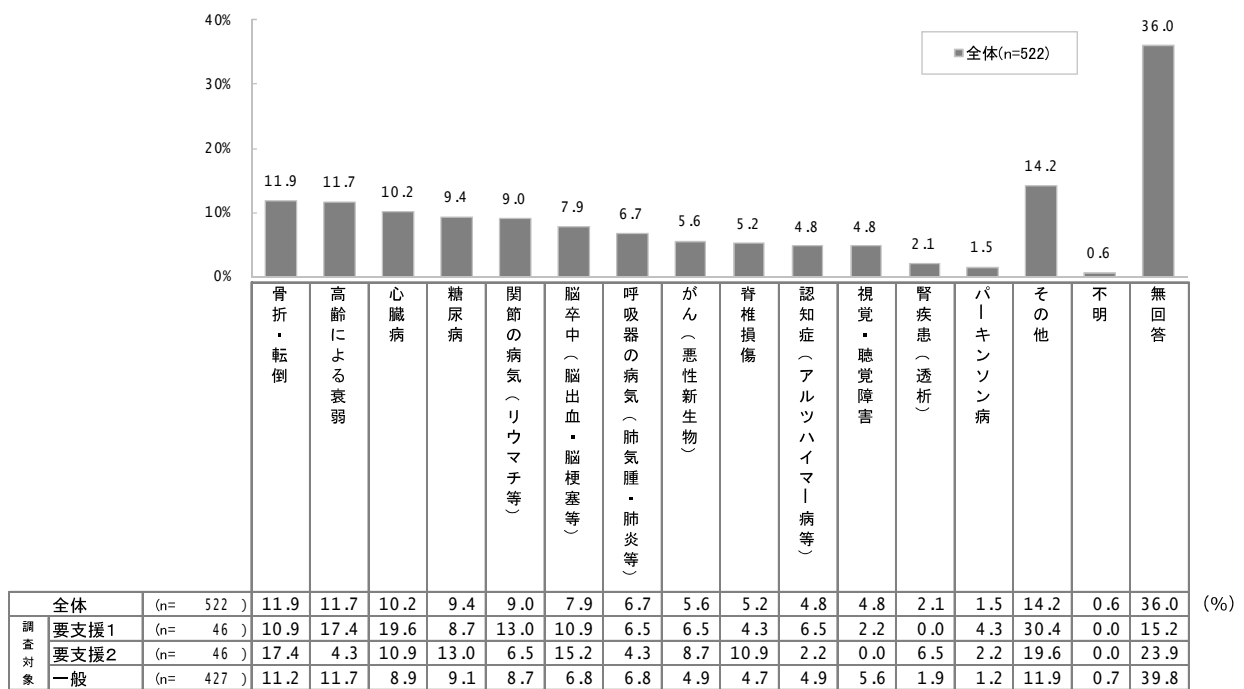
問1 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも○)

介護・介助が必要になった主な原因としては、「骨折・転倒」(11.9%)の割合が最も高く、僅差で「高齢による衰弱」(11.7%)、「心臓病」(10.2%)などとなっている。

調査対象別では、要支援1の方では「高齢による衰弱」、「心臓病」、「関節の病気」という原因の割合が高い。

図表 Ⅱ①-7 介護・介助が必要になった主な原因



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

④ 主な介護・介助者

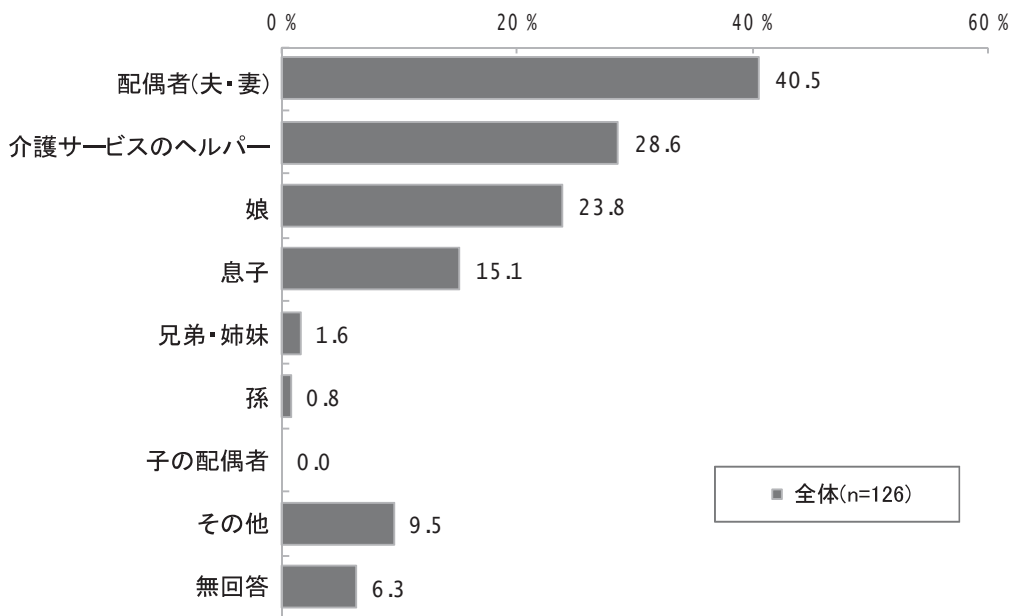
問1 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも○)

主な介護・介助者は、全体で「配偶者(夫・妻)」(40.5%)の割合が最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」(28.6%)、「娘」(23.8%)、「息子」(15.1%)となっている。

調査対象別では、要支援1や要支援2の方では「介護サービスのヘルパー」による介護・介助が多いのに対して、一般では「息子・娘」の割合が高い。

図表 Ⅱ①-8 主な介護・介助者



		配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	(%)
全体	(n= 126)	40.5	15.1	23.8	0.0	0.8	1.6	28.6	9.5	6.3	
調査対象	要支援1	(n= 28)	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	39.3	10.7	3.6	
	要支援2	(n= 30)	30.0	13.3	16.7	0.0	0.0	40.0	13.3	10.0	
	一般	(n= 68)	44.1	16.2	30.9	0.0	1.5	19.1	7.4	5.9	

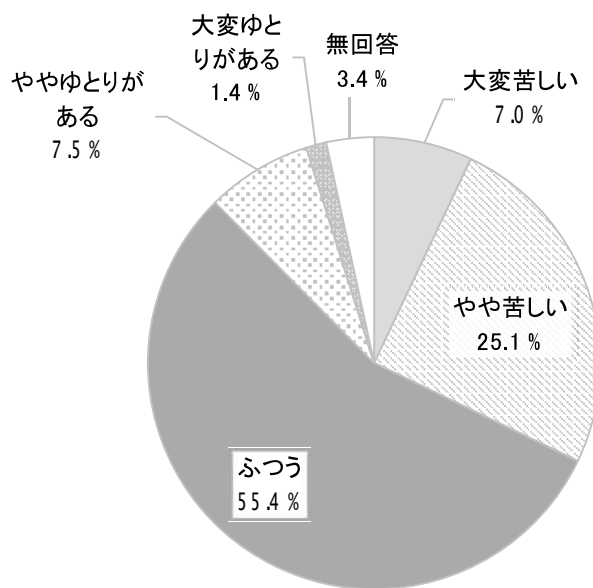
⑤ 経済状態

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (ひとつだけ○)

経済状態は、「ふつう」が全体の過半数を占めており、「大変苦しい」(7.0%)と「やや苦しい」(25.1%)を合わせた『苦しい』は全体の3割超となっている。それに対して、「大変ゆとりがある」(1.4%)と「ややゆとりがある」(7.5%)を合わせた『ゆとりがある』は全体の1割程度である。

調査対象別では、要支援2の方において経済状態が『苦しい』といった声が高い。

図表 Ⅱ①-9 経済状態



(全体:n=3,313)

		大 変 苦 しい	や や 苦 しい	ふ つ う	や や ゆ と り が あ る	大 変 ゆ と り が あ る	無 回 答	(%)
全 体	(n= 3,313)	7.0	25.1	55.4	7.5	1.4	3.4	
調 査 対 象	要支援1	(n= 73)	5.5	26.0	61.6	4.1	1.4	1.4
	要支援2	(n= 60)	13.3	38.3	38.3	5.0	0.0	5.0
	一般	(n= 3,171)	6.9	24.8	55.7	7.7	1.5	3.4

Ⅱ 調査結果の概要

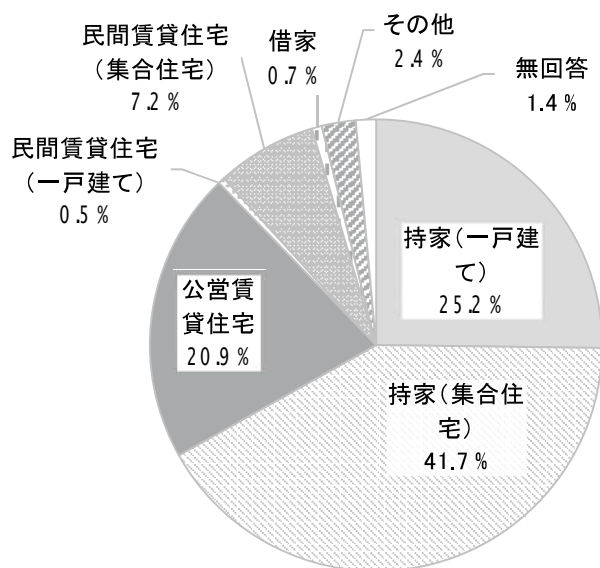
調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑥ 住宅の種類

問1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (ひとつだけ〇)

住宅の種類は、「持家（一戸建て）」(25.2%)、「持家（集合住宅）」(41.7%)、「公営賃貸住宅」(20.9%)、「民間賃貸住宅（一戸建て）」(0.5%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(7.2%)、「借家」(0.7%)、「その他」(2.4%)、「無回答」(1.4%) となっている。

図表 Ⅱ①-10 住宅の種類



(全体:n=3,313)

		持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無 回答	(%)
全体	(n= 3,313)	25.2	41.7	20.9	0.5	7.2	0.7	2.4	1.4	
調査 対象	要支援1	(n= 73)	26.0	39.7	21.9	0.0	6.8	0.0	5.5	0.0
	要支援2	(n= 60)	31.7	30.0	23.3	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0
	一般	(n= 3,171)	25.1	41.9	20.8	0.5	7.2	0.8	2.3	1.4

3. からだを動かすことについて

① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (ひとつだけ〇)

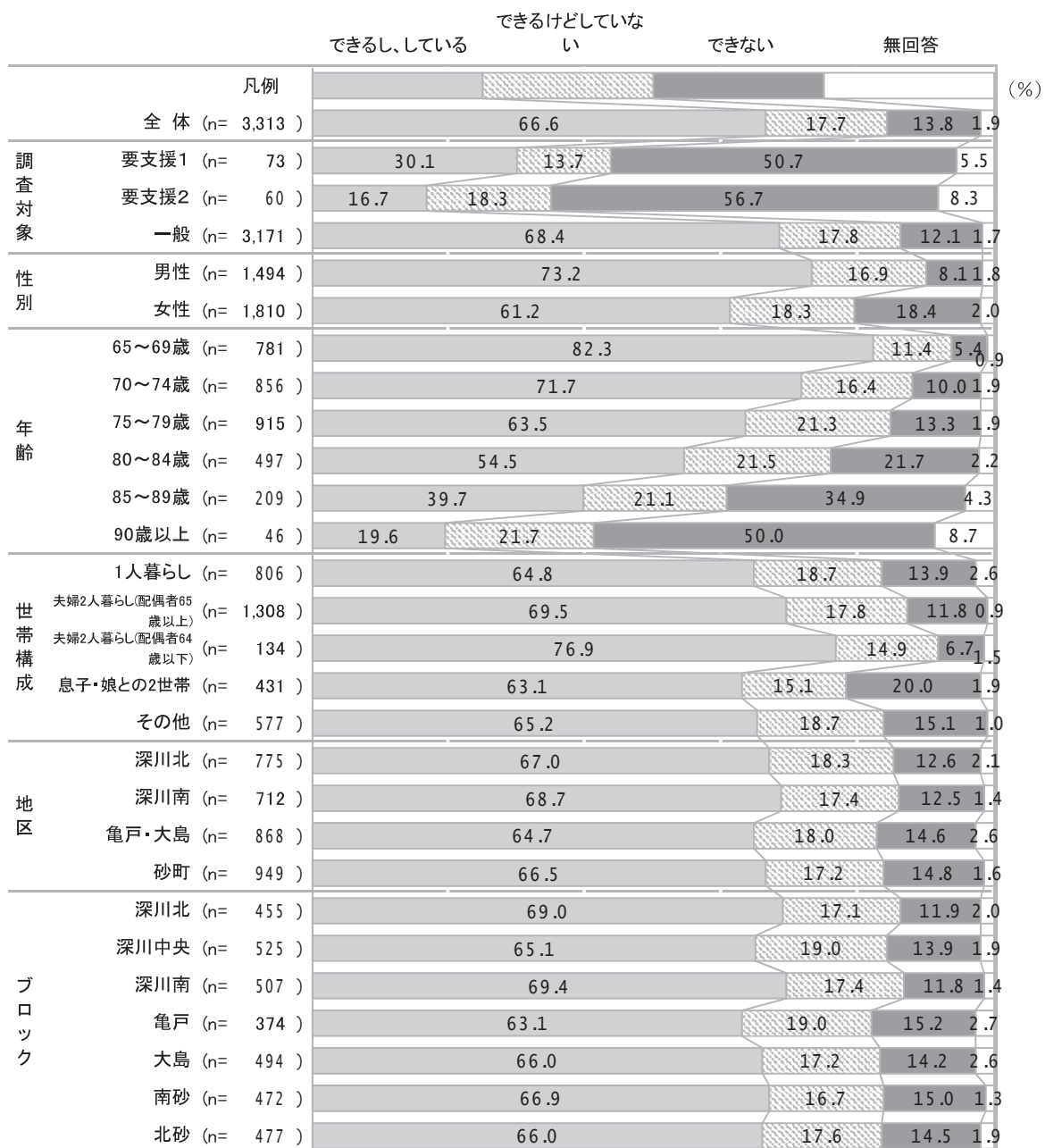
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」(66.6%)、「できるだけしていない」(17.7%)、「できない」(13.8%)となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援1、要支援2の方で「できない」割合が高い。

性別では、女性に比べると男性に「できるし、している」割合が高い。

年齢別では、高年齢の方ほど「できない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか



Ⅱ 調査結果の概要

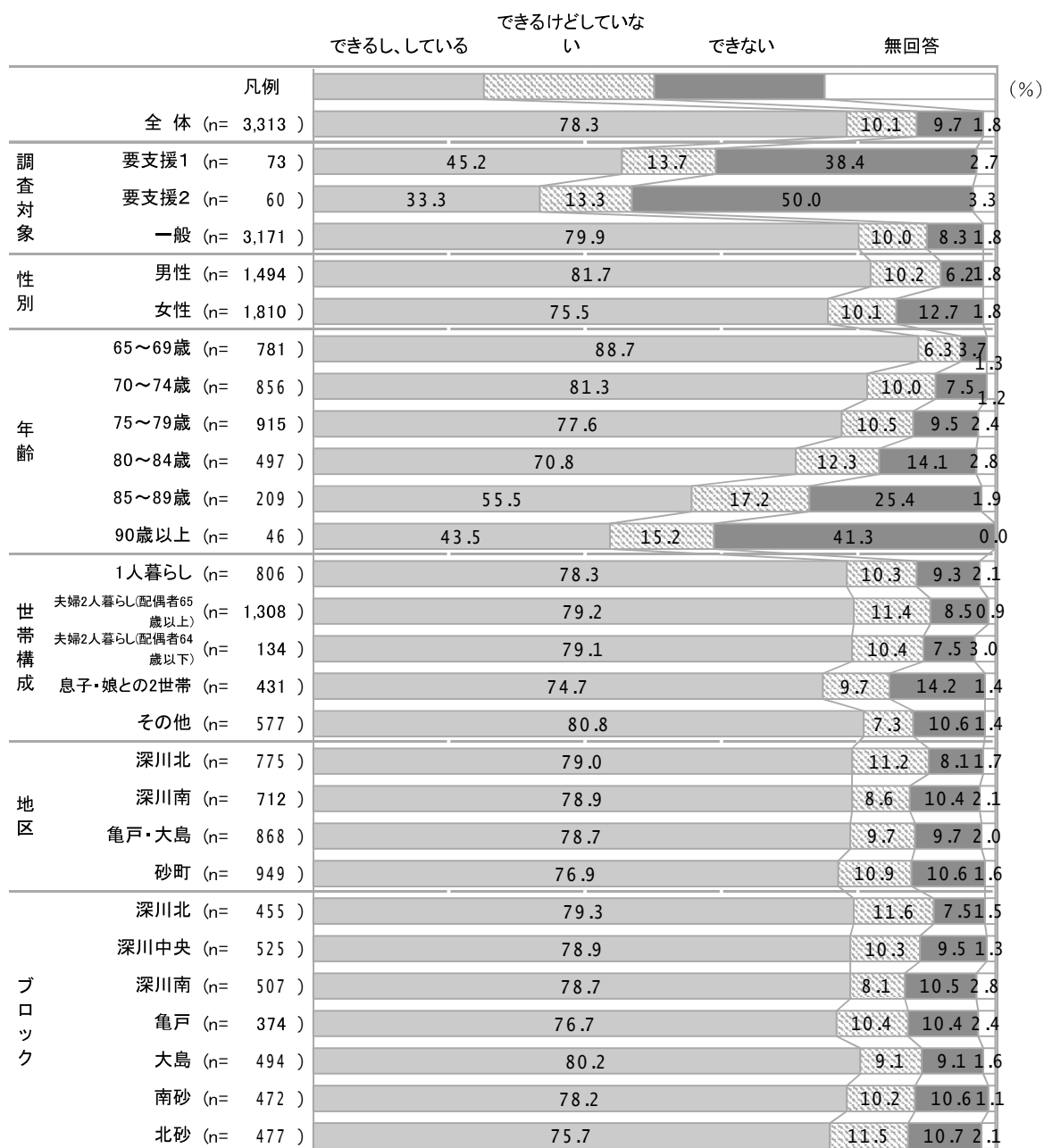
調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
(ひとつだけ〇)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」(78.3%)、「できるけどしていない」(10.1%)、「できない」(9.7%)となっている。
調査対象別では、一般の方と比べ要支援1、要支援2の方で「できない」割合が高い。
性別では、女性に比べると男性に「できるし、している」割合が高い。
年齢別では、高年齢の方ほど「できない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか



③ 15 分位続けて歩いているか

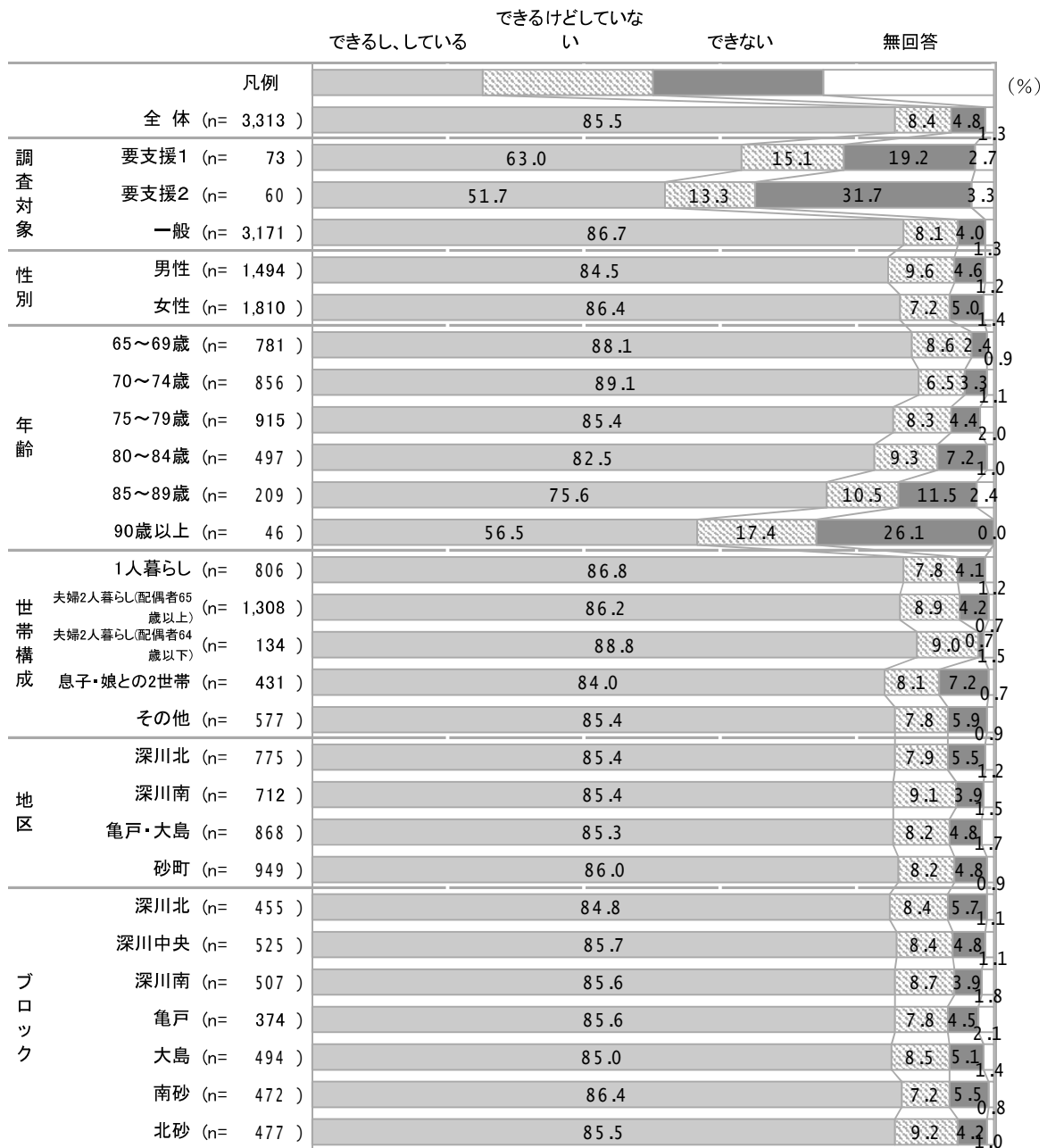
問2 (3) 15 分位続けて歩いていますか (ひとつだけ〇)

15 分位続けて歩いているかは、「できるし、している」(85.5%)、「できるけどしていない」(8.4%)、「できない」(4.8%) となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援1、要支援2の方で「できない」割合が高い。

年齢別では、85歳を境に高年齢の方ほど「できない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-13 15分位続けて歩いているか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

④ 過去1年間における転倒の経験

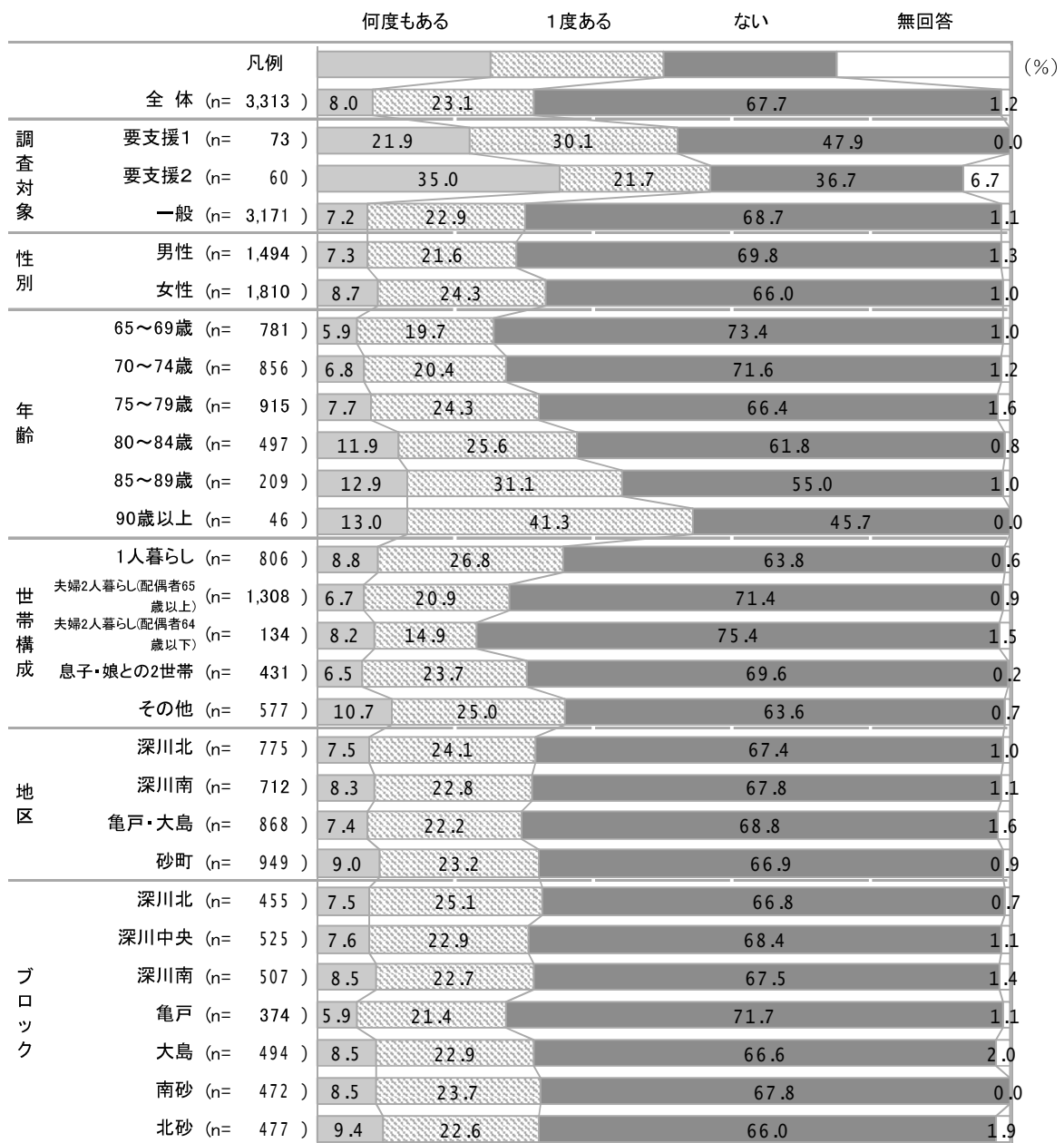
問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (ひとつだけ〇)

過去1年間における転倒の経験は、全体の約7割は転倒経験が「ない」と回答。経験が「何度もある」(8.0%)、「1度ある」(23.1%)となっている。

調査対象別では、一般の方と比べると転倒経験が「ある」は要支援の方に多く、特に要支援2の方の経験が「何度もある」割合が高い。

年齢別でみると、高年齢の方ほど、転倒経験が「ある」割合が高い。

図表 Ⅱ①-14 過去1年間における転倒の経験



⑤ 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (ひとつだけ〇)

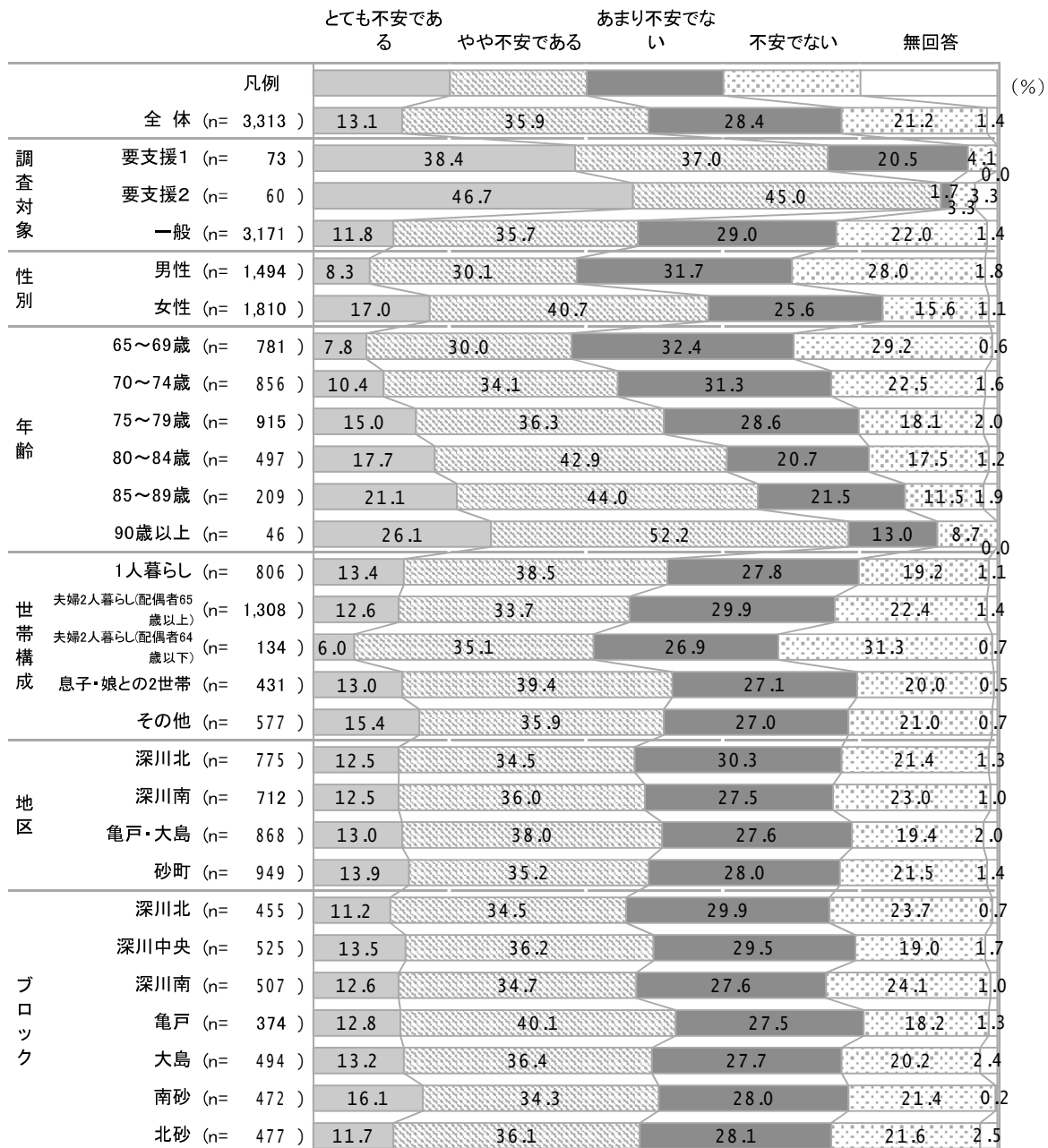
転倒に対する不安は、「とても不安である」(13.1%)、「やや不安である」(35.9%)を合わせた『不安である』が全体の半数近い。

調査対象別では、要支援の方は一般の方と比べ転倒への『不安』が顕著に高い。

性別では、男性に比べ女性では『不安』が高い。

年齢別では、高年齢の方ほど、転倒へ『不安』を抱く方が高い。

図表 Ⅱ①-15 転倒に対する不安



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

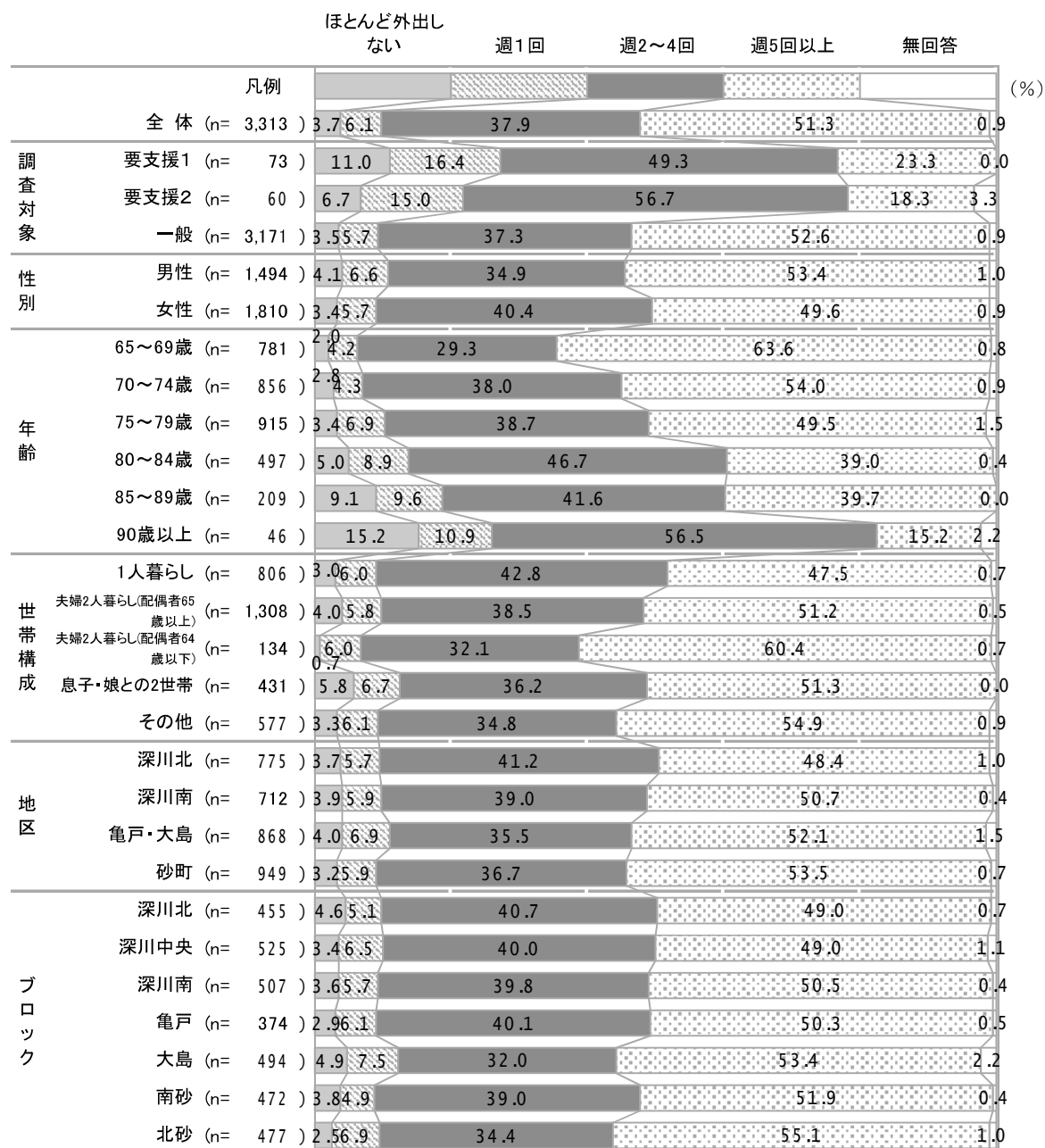
⑥ 一週間の外出状況

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか (ひとつだけ〇)

一週間の外出状況は、「週5回以上」が全体の過半数(51.3%)となっており、「週2~4回」(37.9%)、「週1回」(6.1%)、「ほとんど外出しない」(3.7%)となっている。

調査対象別では、一般の方では「週5回以上」が52.6%と外出頻度は高いが、要支援の方では全体的に一般の方と比べて外出頻度が低い傾向にある。年齢別では、高年齢の方ほど外出頻度が低い。

図表 Ⅱ①-16 一週間の外出状況



⑦ 昨年と比べて外出の回数

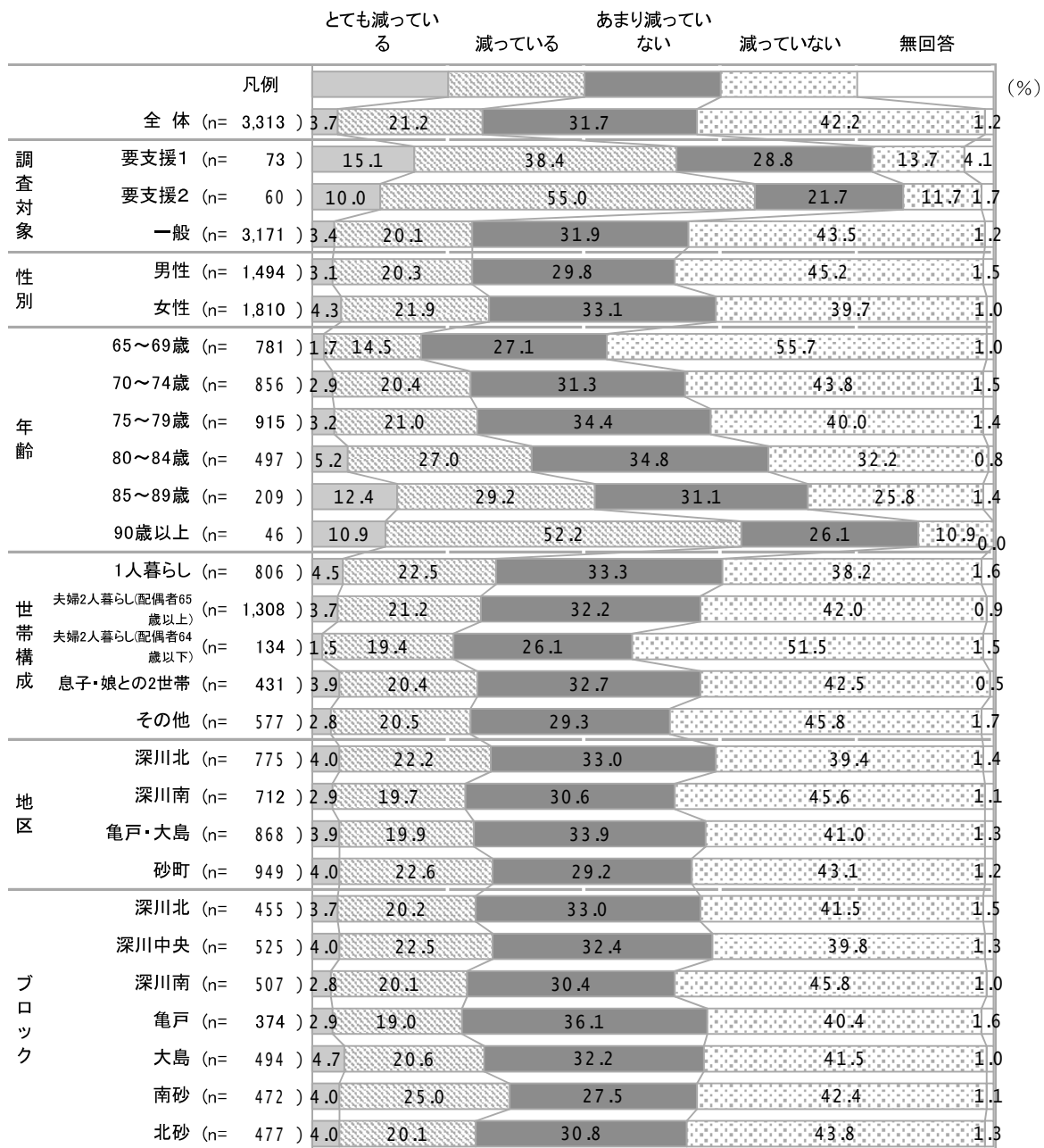
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (ひとつだけ〇)

昨年と比べて外出の回数は、「とても減っている」(3.7%)と「減っている」(21.2%)を合わせた『減っている』は全体の24.9%となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方の外出回数が『減っている』割合が高い。

年齢別では、高齢の方ほど外出回数が『減っている』割合が高い。

図表Ⅱ①-17 昨年と比べて外出の回数



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑧ 外出を控えているか

問2 (8) 外出を控えていますか (ひとつだけ〇)

外出を控えているかは、全体の13.8%が「はい」＝外出を控えると回答。
 調査対象別では、要支援の方、特に要支援2の方では「はい」＝外出を控える割合が高い。
 年齢別では、高齢の方ほど外出を控える傾向が強くなっている。

図表 Ⅱ①-18 外出を控えているか

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	13.8	84.3	1.9	
調査対象	要支援1 (n= 73)	31.5	63.0	5.5	
	要支援2 (n= 60)	53.3	43.3	3.3	
	一般 (n= 3,171)	12.6	85.6	1.8	
性別	男性 (n= 1,494)	12.8	85.1	2.1	
	女性 (n= 1,810)	14.6	83.6	1.8	
年齢	65～69歳 (n= 781)	8.2	90.4	1.4	
	70～74歳 (n= 856)	11.2	86.6	2.2	
	75～79歳 (n= 915)	13.2	84.8	2.0	
	80～84歳 (n= 497)	19.1	79.1	1.8	
	85～89歳 (n= 209)	30.6	66.5	2.9	
	90歳以上 (n= 46)	34.8	65.2	0.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	15.1	82.8	2.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	13.7	84.6	1.7	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	11.9	86.6	1.5	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	14.4	84.5	1.2	
	その他 (n= 577)	12.1	85.4	2.4	
地区	深川北 (n= 775)	14.7	83.7	1.5	
	深川南 (n= 712)	13.1	85.1	1.8	
	亀戸・大島 (n= 868)	13.7	83.9	2.4	
	砂町 (n= 949)	13.7	84.5	1.8	
ブロック	深川北 (n= 455)	13.8	84.6	1.5	
	深川中央 (n= 525)	15.4	82.9	1.7	
	深川南 (n= 507)	12.4	85.8	1.8	
	亀戸 (n= 374)	11.2	85.8	2.9	
	大島 (n= 494)	15.6	82.4	2.0	
	南砂 (n= 472)	14.6	83.7	1.7	
	北砂 (n= 477)	12.8	85.3	1.9	

⑨ 外出を控えている理由

問2 【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか

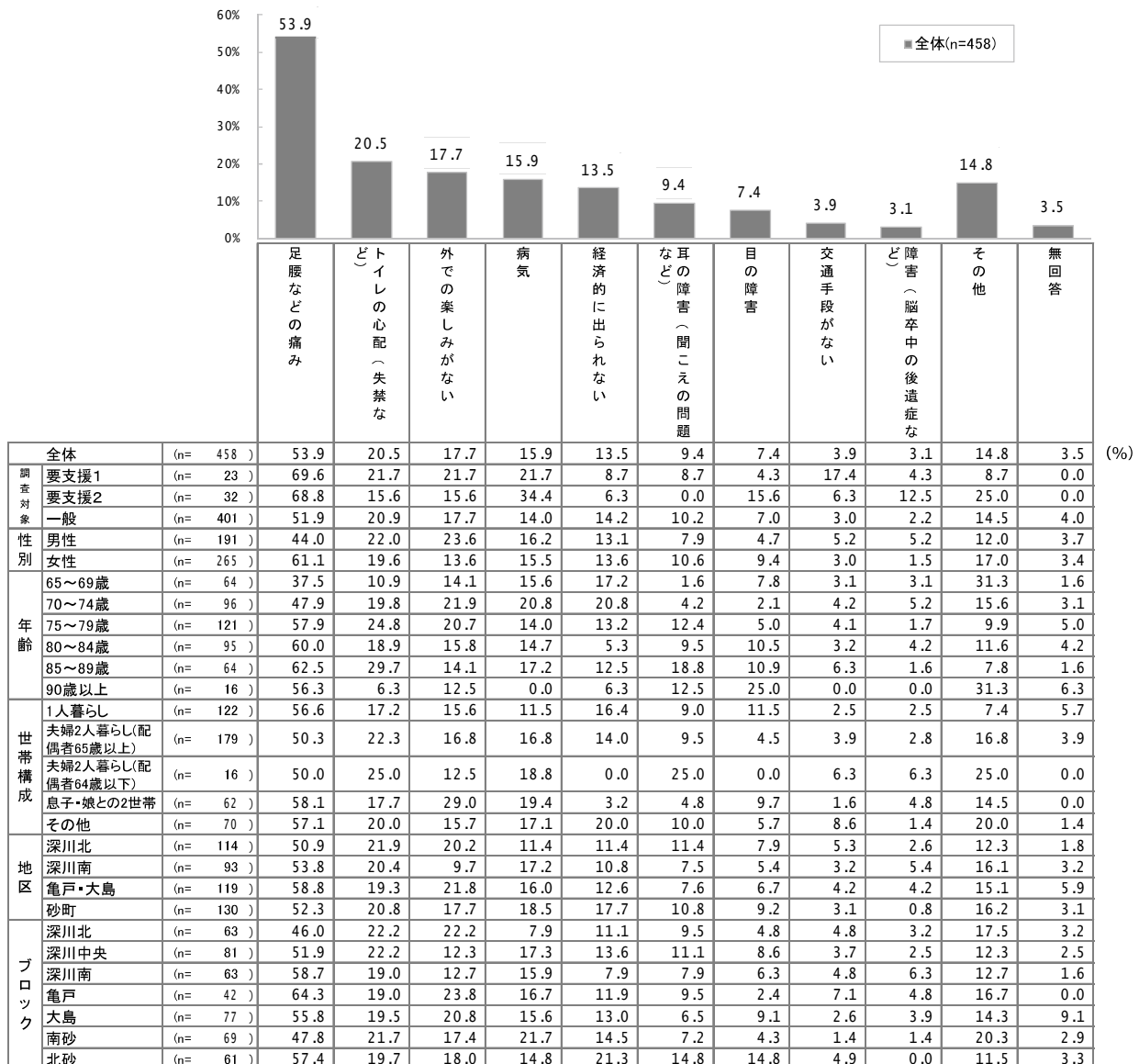
(いくつでも○)

外出を控えている理由としては、「足腰などの痛み」(53.9%)の割合が最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」20.5%「外での楽しみがない」(17.7%)などとなっている。

性別では、「足腰などの痛み」は男性(44.0%)に比べて女性(61.1%)が高く、「外での楽しみがない」は、女性(13.6%)に比べ、男性(23.6%)に高い。

年齢別では、全体の理由として最も高い「足腰などの痛み」は80代に高い。また、85～89歳の方では「トイレの心配(失禁など)」が他の年代と比べ高い。

図表Ⅱ①-19 外出を控えている理由



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

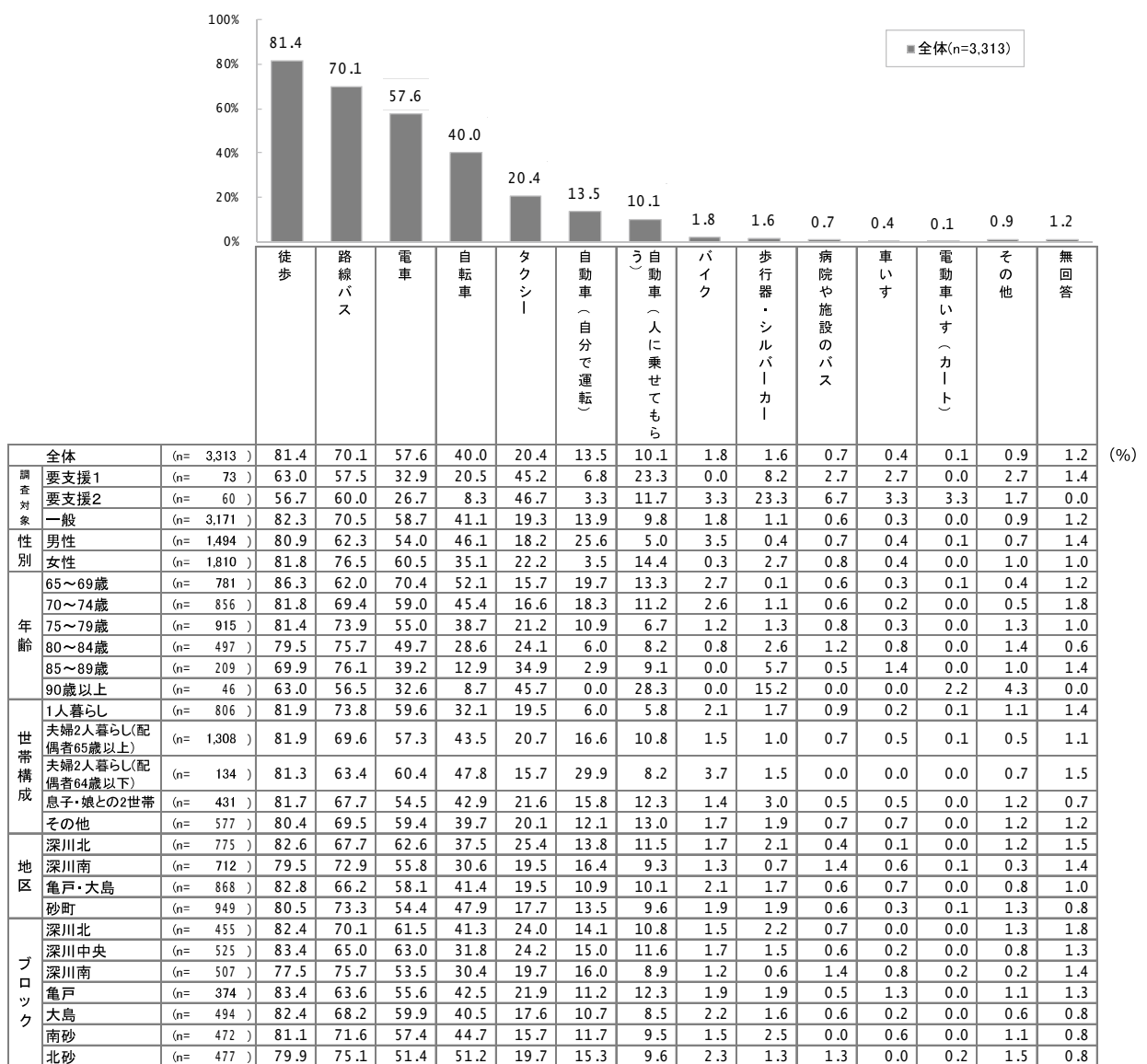
⑩ 外出する際の移動手段

問2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつかでも○)

外出する際の移動手段は、「徒歩」(81.4%)の割合が最も高く、次いで「路線バス」70.1%、「電車」(57.6%)、「自転車」(40.0%)などとなっている。

調査対象別では、一般の方の「徒歩」の割合が高いのに対して、要支援の方では「徒歩」の割合が低い。特に要支援の方では「路線バス」や「電車」といった交通機関の利用も低く、その代わりに「タクシー」や「自動車(人に乗せてもらう)」といった移動手段の割合が一般の方と比べると高い。

図表 Ⅱ①-20 外出する際の移動手段



⑪ 運動器の機能低下リスク該当者<地区別>

「問2 からだを動かすことについて」の設問で、
 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか = 「できない」
 (2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか = 「できない」
 (3) 15分くらい続けて歩いていますか = 「できない」
 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか = 「何度もある」「1度ある」
 (5) 転倒に対する不安は大きいですか = 「とても不安」「やや不安」
 と回答した人のうち、
 5問中3問以上該当している人 = 【該当(リスク該当者)】、
 それ以外 = 【非該当(リスク非該当者)】 として再集計。

運動器の機能低下リスク該当者は 11.5%となっている。

図表 Ⅱ①-21 運動器の機能低下リスク該当者

		該当	非該当	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	11.5	88.0	0.5	
地区	深川北 (n= 775)	10.8	88.6	0.5	
	深川南 (n= 712)	11.0	88.6	0.4	
	亀戸・大島 (n= 868)	11.3	88.0	0.7	
	砂町 (n= 949)	12.8	87.0	0.2	

⑫ 転倒リスク該当者<地区別>

「問2 からだを動かすことについて」の設問で、
 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか = 「何度もある」「1度ある」かつ、
 (5) 転倒に対する不安は大きいですか = 「とても不安」「やや不安」
 と回答した人 = 【該当(リスク該当者)】、
 それ以外 = 【非該当(リスク非該当者)】 として再集計。

転倒リスク該当者は 22.4%となっている。

図表 Ⅱ①-22 転倒リスク該当者

		該当	非該当	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	22.4	76.9	0.6	
地区	深川北 (n= 775)	22.5	76.9	0.6	
	深川南 (n= 712)	21.8	77.8	0.4	
	亀戸・大島 (n= 868)	21.5	77.5	0.9	
	砂町 (n= 949)	23.6	75.9	0.5	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑬ 閉じこもりのリスク該当者<地区別>

「問2 からだを動かすことについて」の設問で、
 (6) 週に1回以上は外出していますか = 「ほとんど外出しない」「週1回」かつ、
 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか = 「とても減っている」「減っている」と回答した人 = 【該当 (リスク該当者)】、
 それ以外 = 【非該当 (リスク非該当者)】 として再集計。

 閉じこもりのリスク該当者は 6.9%となっている。

図表 Ⅱ①-23 閉じこもりのリスク該当者

		該当	非該当	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	6.9	93.0	0.2	
地区	深川北 (n= 775)	6.8	92.9	0.3	
	深川南 (n= 712)	6.5	93.4	0.1	
	亀戸・大島 (n= 868)	7.4	92.4	0.2	
	砂町 (n= 949)	6.7	93.3	0.0	

4. 食べることについて

① BMI 値

問3 (1) 身長・体重、BMI 値

BMI 値は、「低栄養が疑われる」18.5未満が 7.7% 「標準」18.5以上 25.0未満が 64.1% 「肥満」25.0以上が 23.2%となっている。
調査対象別では、「標準」割合が一般の方と比べて要支援の方では低い。
年齢別では、90歳以上の方で「低栄養が疑われる」割合が顕著に高い。

図表 II①-24 BMI 値

		「低栄養が疑われ る」18.5未満	「標準」18.5以上 25.0未満	「肥満」25.0以上	無回答
凡例					(%)
	全体 (n= 3,313)	7.7	64.1	23.2	5.0
調査対象	要支援1 (n= 73)	12.3	43.8	32.9	11.0
	要支援2 (n= 60)	16.7	50.0	21.7	11.7
	一般 (n= 3,171)	7.4	64.8	23.0	4.7
性別	男性 (n= 1,494)	4.8	62.7	28.0	4.5
	女性 (n= 1,810)	10.1	65.2	19.2	5.4
年齢	65～69歳 (n= 781)	8.1	65.4	24.1	2.4
	70～74歳 (n= 856)	6.9	64.1	24.9	4.1
	75～79歳 (n= 915)	6.9	63.7	24.0	5.4
	80～84歳 (n= 497)	8.7	64.4	20.7	6.2
	85～89歳 (n= 209)	7.7	60.8	17.2	14.4
	90歳以上 (n= 46)	23.9	58.7	15.2	2.2
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	10.2	65.3	18.5	6.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	6.2	64.6	24.4	4.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	6.7	58.2	31.3	3.7
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	7.7	61.0	25.8	5.6
	その他 (n= 577)	8.3	64.8	23.2	3.6
地区	深川北 (n= 775)	8.0	64.1	24.1	3.7
	深川南 (n= 712)	7.9	65.3	22.2	4.6
	亀戸・大島 (n= 868)	6.1	66.2	21.8	5.9
	砂町 (n= 949)	8.9	61.1	24.6	5.5
ブロック	深川北 (n= 455)	8.4	64.6	23.7	3.3
	深川中央 (n= 525)	8.0	63.4	23.8	4.8
	深川南 (n= 507)	7.5	66.1	22.1	4.3
	亀戸 (n= 374)	5.9	66.3	21.9	5.9
	大島 (n= 494)	6.3	66.2	21.7	5.9
	南砂 (n= 472)	9.3	60.0	25.8	4.9
	北砂 (n= 477)	8.4	62.3	23.3	6.1

※ BMI (Body Mass Index) : 肥満度を表す指標で、「体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))」により求められる。「日本肥満学会」の肥満度判定基準によると 18.5未満が「低体重」、18.5以上 25未満が「普通体重」、25を超えるほど肥満度が高いとされている。

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

② 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

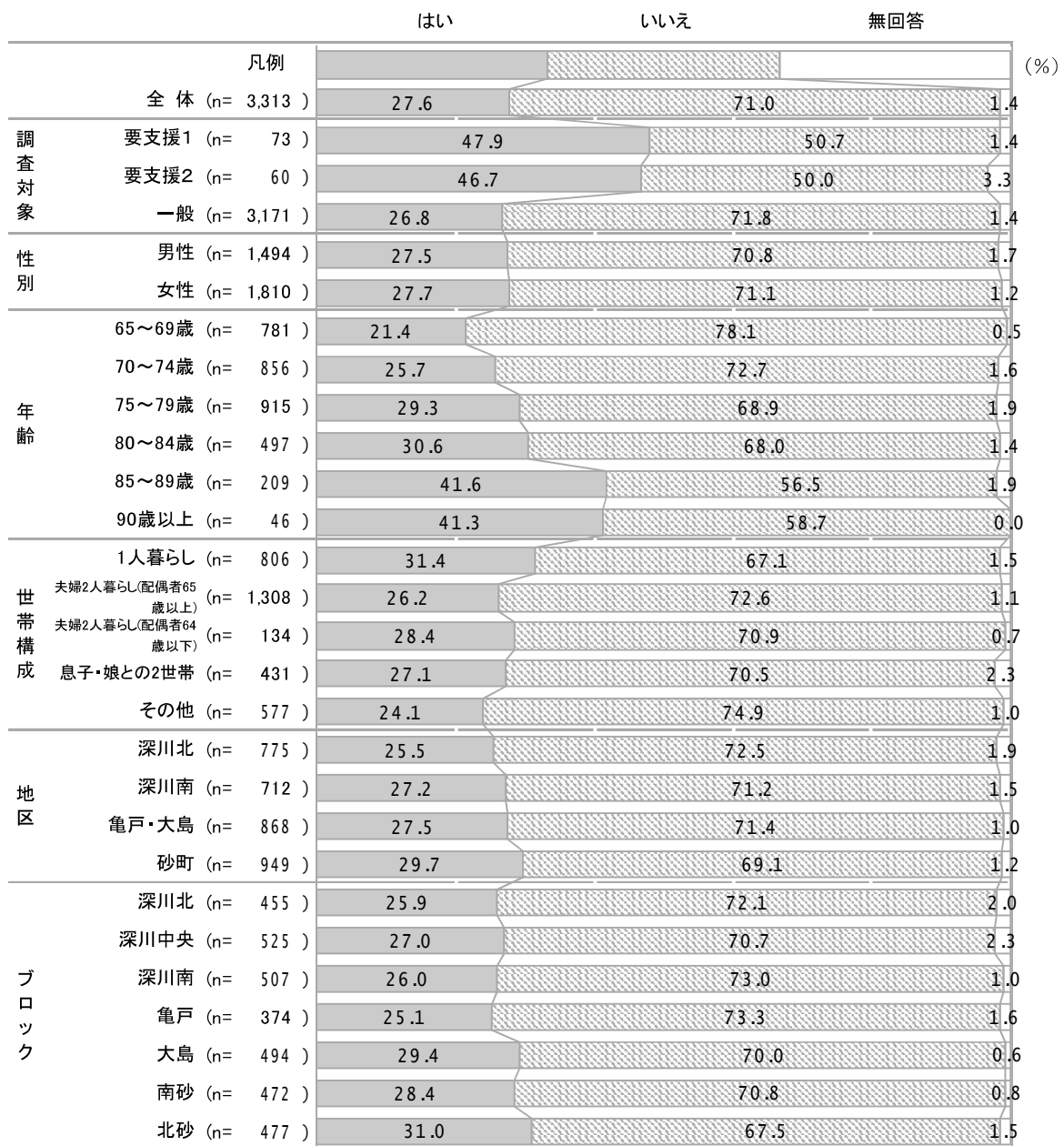
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (ひとつだけ〇)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」＝「固いものが食べにくくなった」が全体の27.6%であり、「いいえ」は71.0%となっている。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方では「固いものが食べにくくなった」割合が高い。

年齢別でみると、高年齢の方ほど「はい」＝「固いものが食べにくくなった」割合が高くなる傾向があり、85歳を境にその傾向が強まる。

図表 Ⅱ①-25 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか



③ お茶や汁物等でむせることがあるか

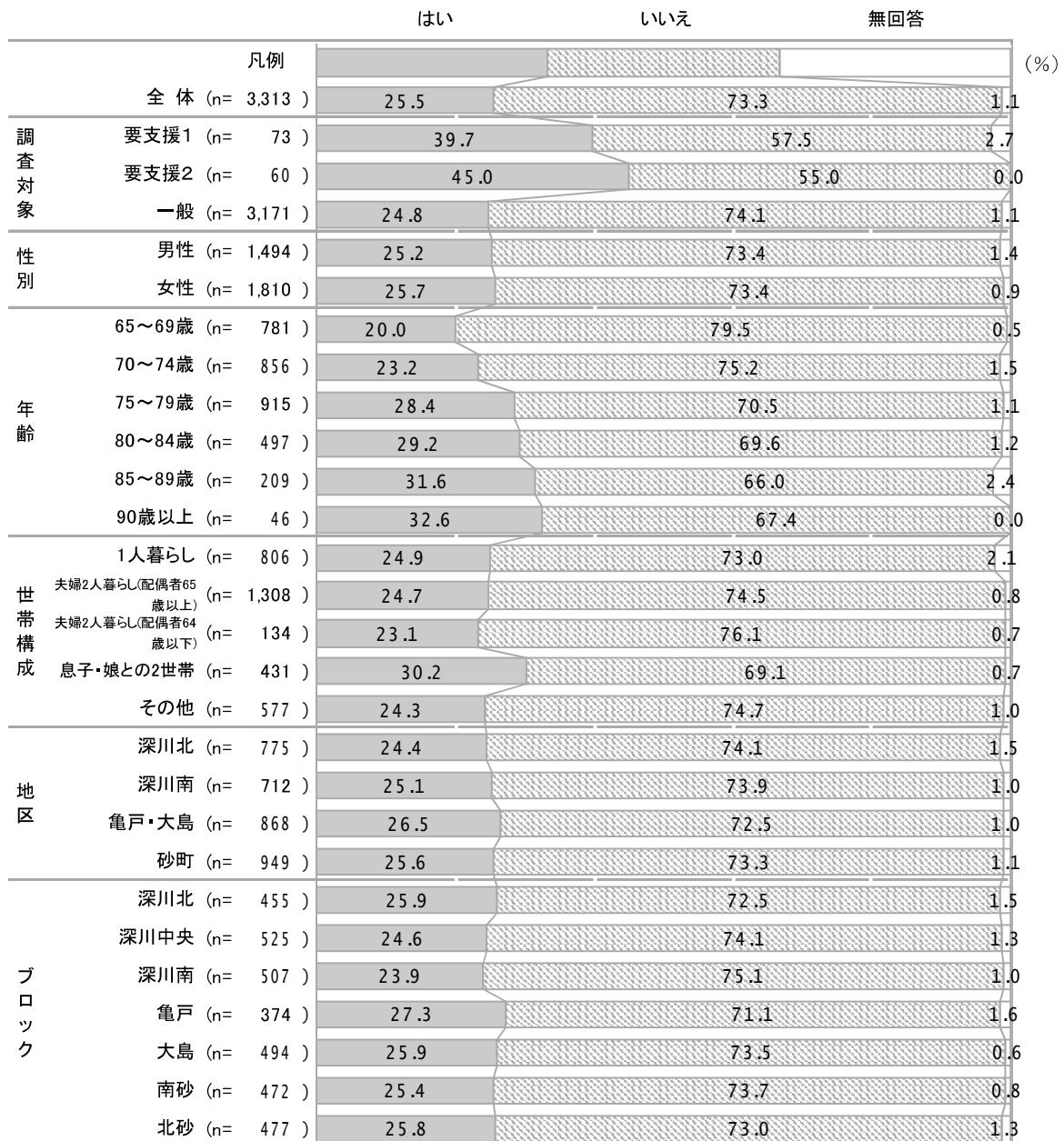
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか (ひとつだけ〇)

お茶や汁物等でむせることがあるかは、全体の 25.5%が「はい」＝「むせることがある」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方において「はい」＝「むせることがある」割合が高い。

年齢別では、高年齢の方ほど「はい」＝「むせることがある」割合が高い傾向にある。

図表 Ⅱ①-26 お茶や汁物等でむせることがあるか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

④ 口の渇きが気になるか

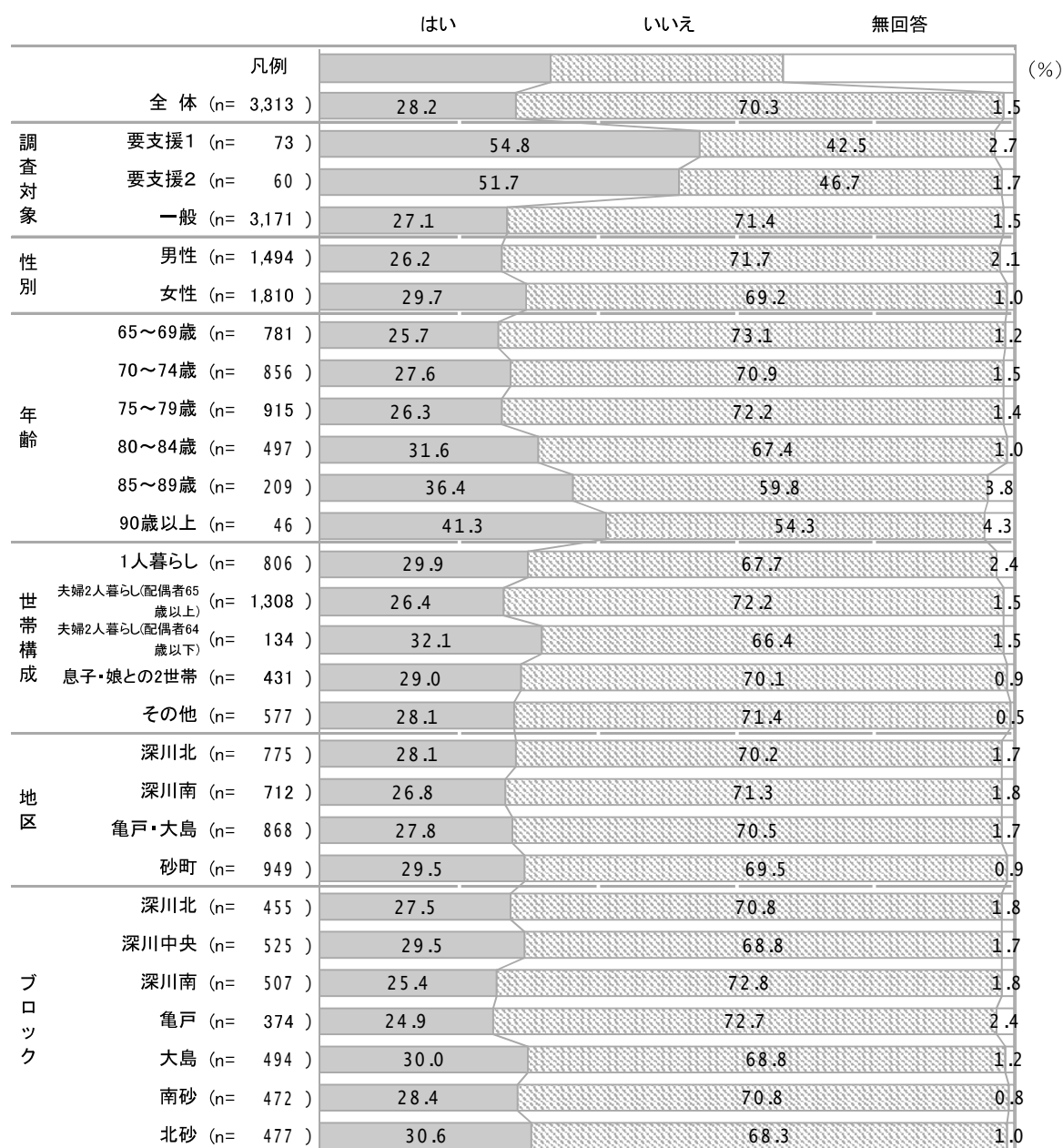
問3 (4) 口の渇きが気になりますか (ひとつだけ〇)

口の渇きが気になるかについては、全体の 28.2%が「はい」＝「口の渇きが気になる」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べて要支援の方において「はい」＝「口の渇きが気になる」割合が高い。

年齢別では、80歳の年齢を境に「はい」＝「口の渇きが気になる」割合が高い。

図表 Ⅱ①-27 口の渇きが気になるか



⑤ 歯磨きを毎日しているか

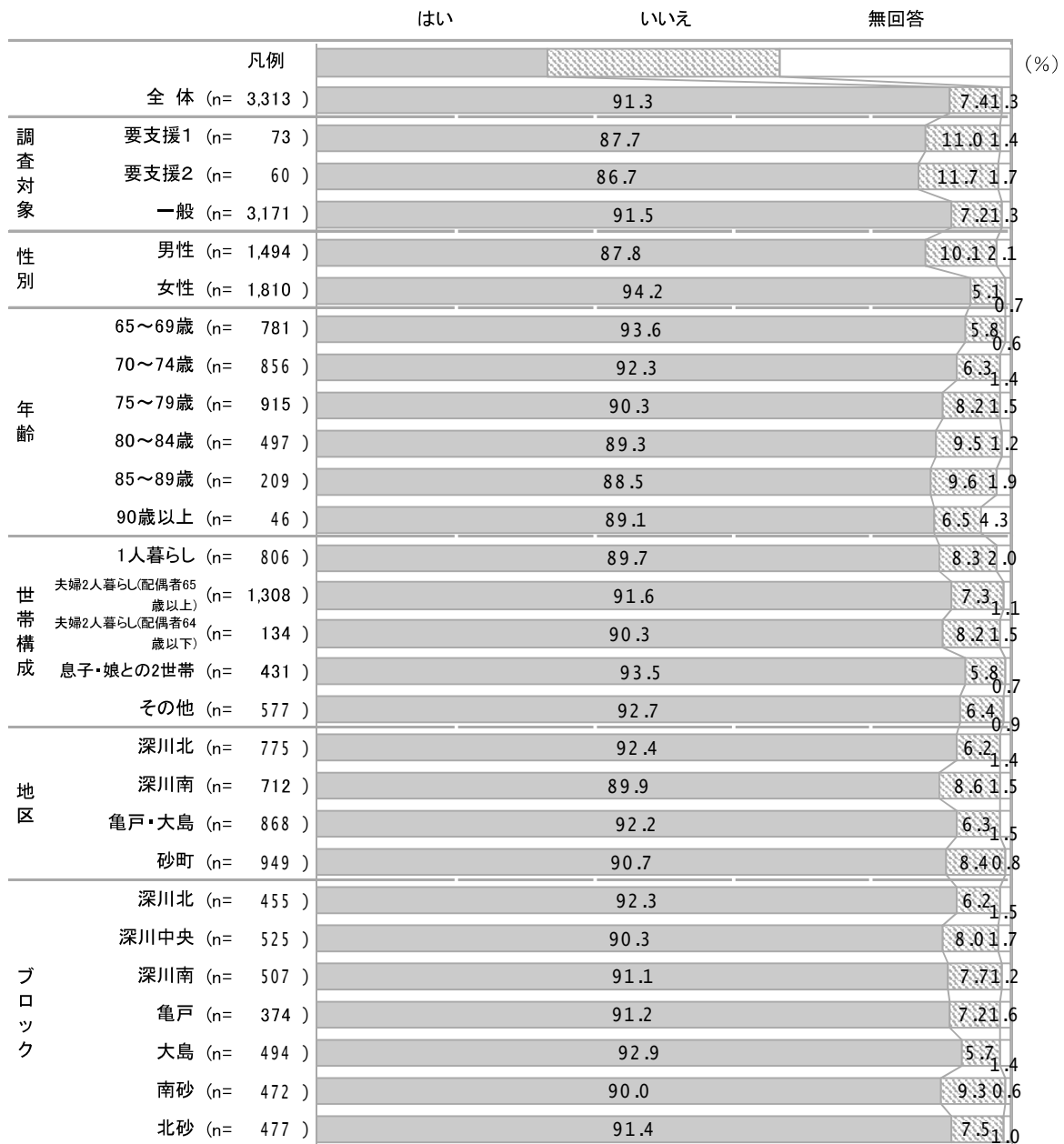
問3 (5) 歯磨き(人にやってもら場合も含む)を毎日していますか(ひとつだけ〇)

歯磨きを毎日しているかについては、全体の約9割が「はい」＝「毎日している」と回答している。

調査対象別では、要支援の方では「はい」＝「毎日している」割合が一般の方と比べるとやや低い。

性別では、女性が94.2%に対し、男性87.8%でやや低い。

図表 Ⅱ①-28 歯磨きを毎日しているか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑥ 歯の数と入れ歯の利用状況

問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

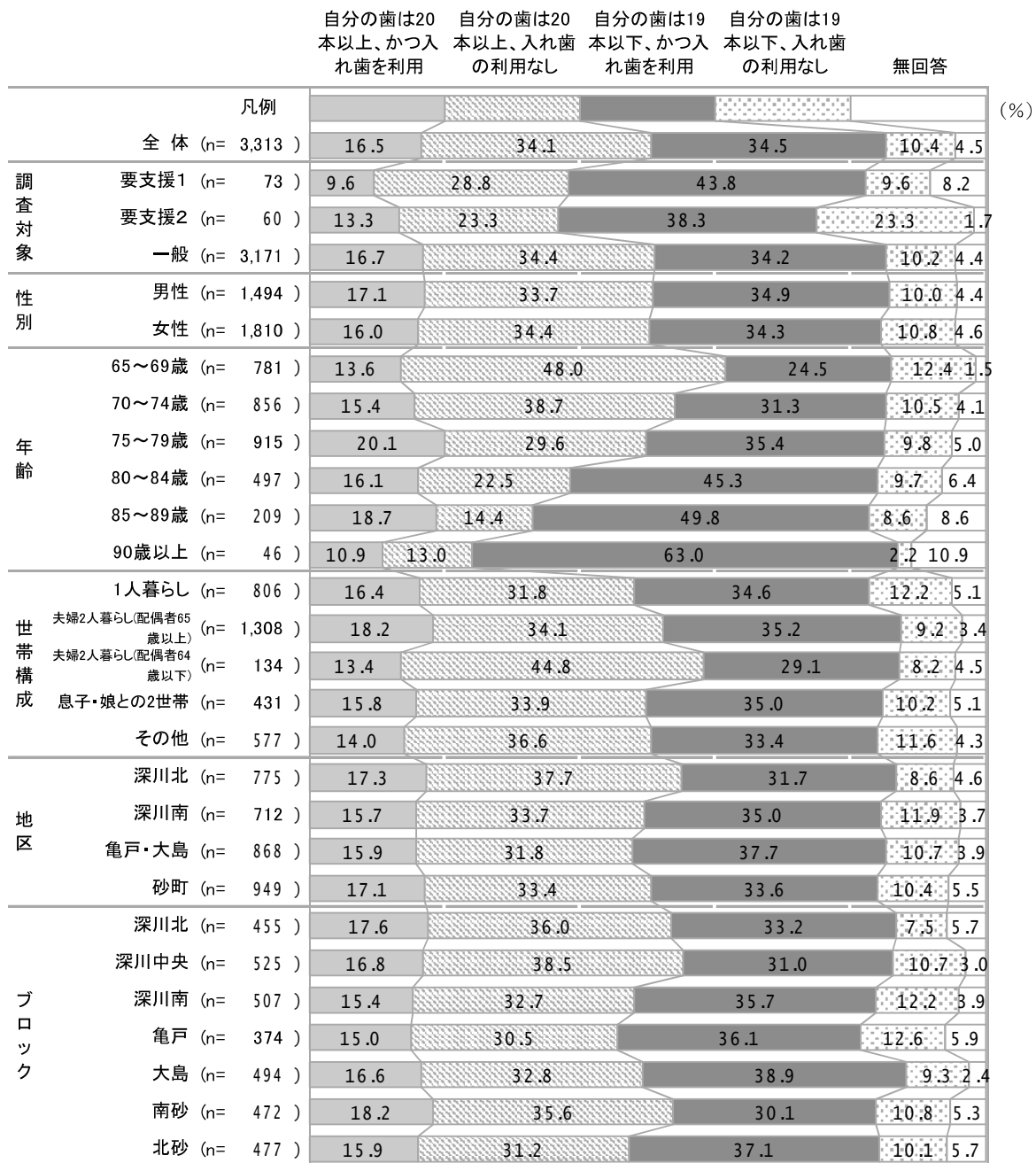
(ひとつだけ○)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(16.5%)、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(34.1%)、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(34.5%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(10.4%)となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が要支援の方が多い。

年齢別では、高齢の方ほど「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高い。

図表 Ⅱ①-29 歯の数と入れ歯の利用状況



⑦ 噛み合わせは良いか

問3 (6) ①噛み合わせは良いですか (ひとつだけ〇)

噛み合わせは良いかについては、全体の8割近くは「はい」＝「噛み合わせは良い」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べ「いいえ」＝「噛み合わせは良くない」割合が要支援の方で高い。

図表 Ⅱ①-30 噛み合わせは良いか

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	77.8	19.0	3.2	
調査対象	要支援1 (n= 73)	63.0	30.1	6.8	
	要支援2 (n= 60)	63.3	26.7	10.0	
	一般 (n= 3,171)	78.5	18.6	2.9	
性別	男性 (n= 1,494)	77.0	19.9	3.1	
	女性 (n= 1,810)	78.6	18.2	3.2	
年齢	65～69歳 (n= 781)	76.7	22.0	1.3	
	70～74歳 (n= 856)	78.7	18.0	3.3	
	75～79歳 (n= 915)	78.6	17.7	3.7	
	80～84歳 (n= 497)	77.5	18.9	3.6	
	85～89歳 (n= 209)	74.6	18.7	6.7	
	90歳以上 (n= 46)	87.0	13.0	0.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	73.4	21.5	5.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	80.4	17.2	2.4	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	74.6	23.1	2.2	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	79.8	18.1	2.1	
	その他 (n= 577)	78.2	19.2	2.6	
地区	深川北 (n= 775)	79.4	16.5	4.1	
	深川南 (n= 712)	79.6	18.1	2.2	
	亀戸・大島 (n= 868)	76.5	20.7	2.8	
	砂町 (n= 949)	76.6	20.0	3.4	
ブロック	深川北 (n= 455)	79.3	16.5	4.2	
	深川中央 (n= 525)	79.0	17.7	3.2	
	深川南 (n= 507)	80.1	17.6	2.4	
	亀戸 (n= 374)	76.7	19.5	3.7	
	大島 (n= 494)	76.3	21.7	2.0	
	南砂 (n= 472)	76.9	19.7	3.4	
	北砂 (n= 477)	76.3	20.3	3.4	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑧ 毎日の入れ歯の手入れ状況

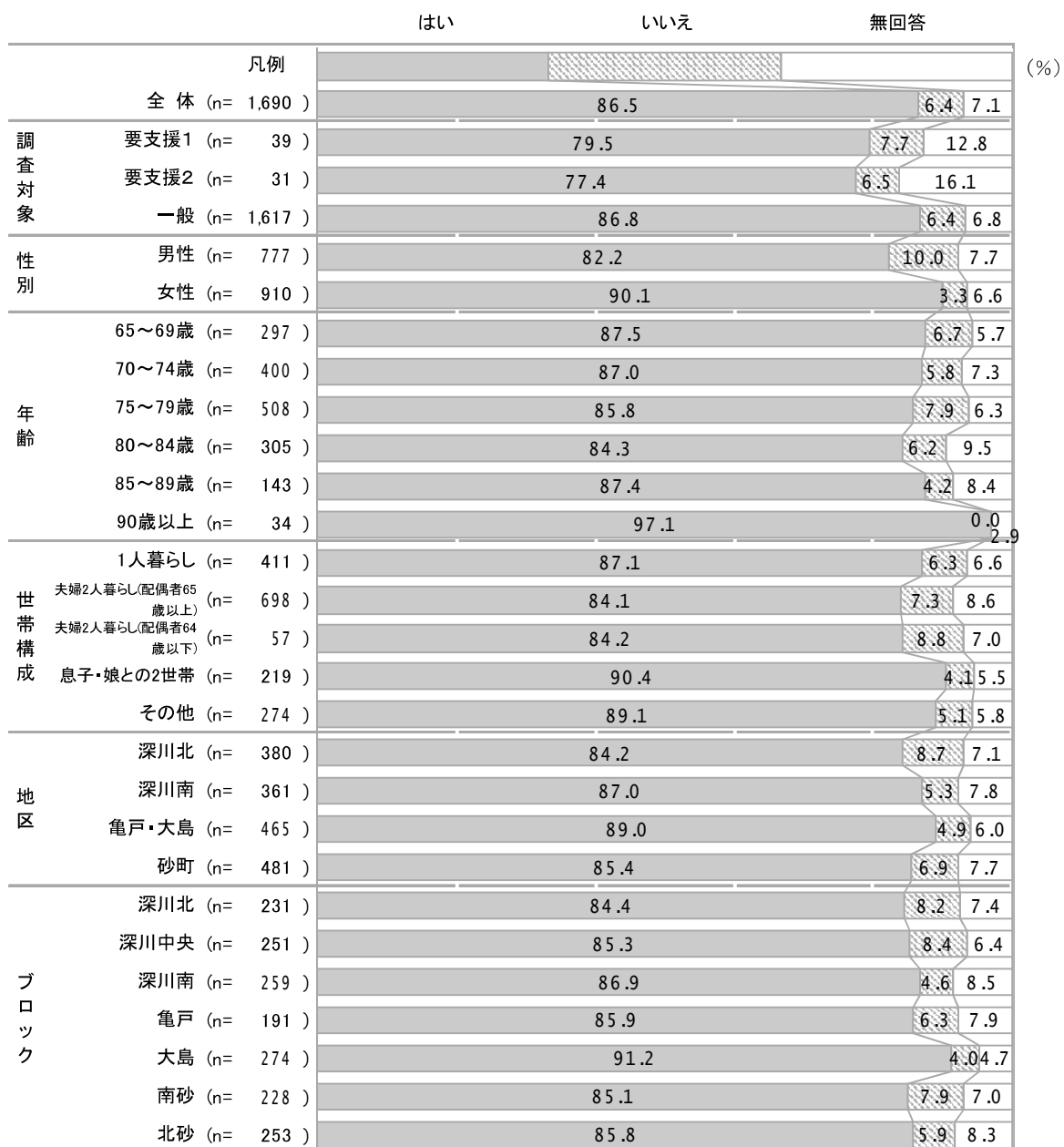
問3 (6) ②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか
(ひとつだけ○)

毎日の入れ歯の手入れ状況は、全体の86.5%が「はい」＝「毎日手入れをしている」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方では「はい」＝「毎日手入れをしている」割合が低い。

また性別では、男性に比べ女性において「はい」＝「毎日手入れをしている」割合が高い。

図表 Ⅱ①-31 毎日の入れ歯の手入れ状況



⑨ 体重の減少

問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (ひとつだけ〇)

体重の減少は、「はい」＝「体重が減少した」が全体の12.9%、「いいえ」＝「体重は減少していない」が84.8%である。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方では「はい」＝「体重が減少した」割合が顕著に高くなっている。

図表 Ⅱ①-32 体重の減少

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	12.9	84.8	2.3	
調査対象	要支援1 (n= 73)	27.4	67.1	5.5	
	要支援2 (n= 60)	31.7	66.7	1.7	
	一般 (n= 3,171)	12.1	85.6	2.3	
性別	男性 (n= 1,494)	13.4	83.7	2.9	
	女性 (n= 1,810)	12.3	85.9	1.8	
年齢	65～69歳 (n= 781)	11.8	86.7	1.5	
	70～74歳 (n= 856)	12.1	85.2	2.7	
	75～79歳 (n= 915)	12.3	85.0	2.6	
	80～84歳 (n= 497)	14.9	83.5	1.6	
	85～89歳 (n= 209)	15.8	80.4	3.8	
	90歳以上 (n= 46)	15.2	80.4	4.3	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	11.7	85.4	3.0	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	11.6	86.2	2.2	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	16.4	81.3	2.2	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	14.2	84.0	1.9	
	その他 (n= 577)	14.9	83.4	1.7	
地区	深川北 (n= 775)	11.4	86.1	2.6	
	深川南 (n= 712)	12.8	84.6	2.7	
	亀戸・大島 (n= 868)	12.7	85.1	2.2	
	砂町 (n= 949)	14.1	83.9	2.0	
ブロック	深川北 (n= 455)	11.2	85.9	2.9	
	深川中央 (n= 525)	12.8	84.4	2.9	
	深川南 (n= 507)	12.0	85.8	2.2	
	亀戸 (n= 374)	13.4	84.2	2.4	
	大島 (n= 494)	12.1	85.8	2.0	
	南砂 (n= 472)	14.8	82.8	2.3	
	北砂 (n= 477)	13.4	84.9	1.7	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑩ 誰かと食事をとる機会

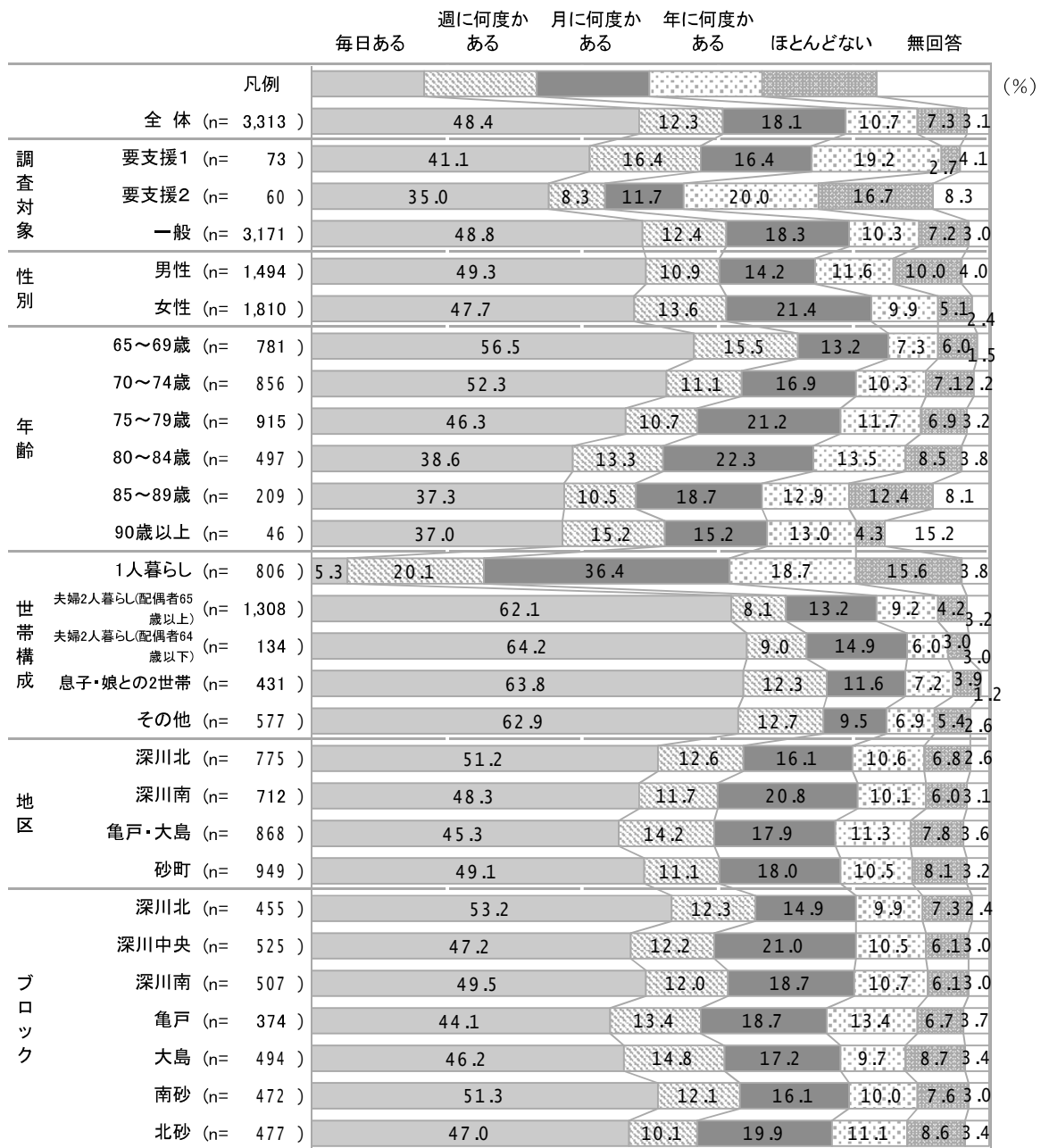
問3 (8) どなたかと食事をとる機会がありますか (ひとつだけ〇)

誰かと食事をとる機会は、「毎日ある」が全体の半数近く 48.4%であり、「週に何度かある」(12.3%)、「月に何度かある」(18.1%)、「年に何度かある」(10.7%)、「ほとんどない」(7.3%)となっている。

調査対象別では、一般の方では誰かとの食事の機会が多いのに対して、要支援の方ではその機会が少なく、特に要支援2の方では「ほとんどない」割合が高い。

また、年齢別には、高齢の方ほど誰かと食事を共にする機会が「毎日ある」割合は低い。

図表 Ⅱ①-33 誰かと食事をとる機会



⑪ 低栄養のリスク該当者<地区別>

「問3 食べることについて」の設問で、
 (1) BMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) = 18.5 以下 かつ、
 (7) 6 か月間で 2 ~ 3 kg 以上の体重減少がありましたか = 「ある」
 と回答した人 = 【該当 (リスク該当者)】、
 それ以外 = 【非該当 (リスク非該当者)】 として再集計。

低栄養のリスク該当者は 1.7% となっている。

図表 II①-34 低栄養のリスク該当者

		該当	非該当	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	1.7	97.4	0.9	
地区	深川北 (n= 775)	1.3	97.8	0.9	
	深川南 (n= 712)	2.1	97.2	0.7	
	亀戸・大島 (n= 868)	1.7	97.5	0.8	
	砂町 (n= 949)	1.7	97.3	1.1	

⑫ 口腔機能低下のリスク該当者<地区別>

「問3 食べることについて」の設問で、
 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか
 (4) 口の渇きが気になりますか
 の設問で、
 2 問以上「はい」と回答した人 = 【該当 (リスク該当者)】、
 それ以外 = 【非該当 (リスク非該当者)】 として再集計。

口腔機能低下のリスク該当者は 22.7% となっている。

図表 II①-35 口腔機能低下のリスク該当者

		該当	非該当	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	22.7	76.6	0.6	
地区	深川北 (n= 775)	21.9	77.0	1.0	
	深川南 (n= 712)	21.2	78.4	0.4	
	亀戸・大島 (n= 868)	21.9	77.6	0.5	
	砂町 (n= 949)	25.2	74.2	0.6	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

5. 毎日の生活について

① 物忘れが多いと感じるか

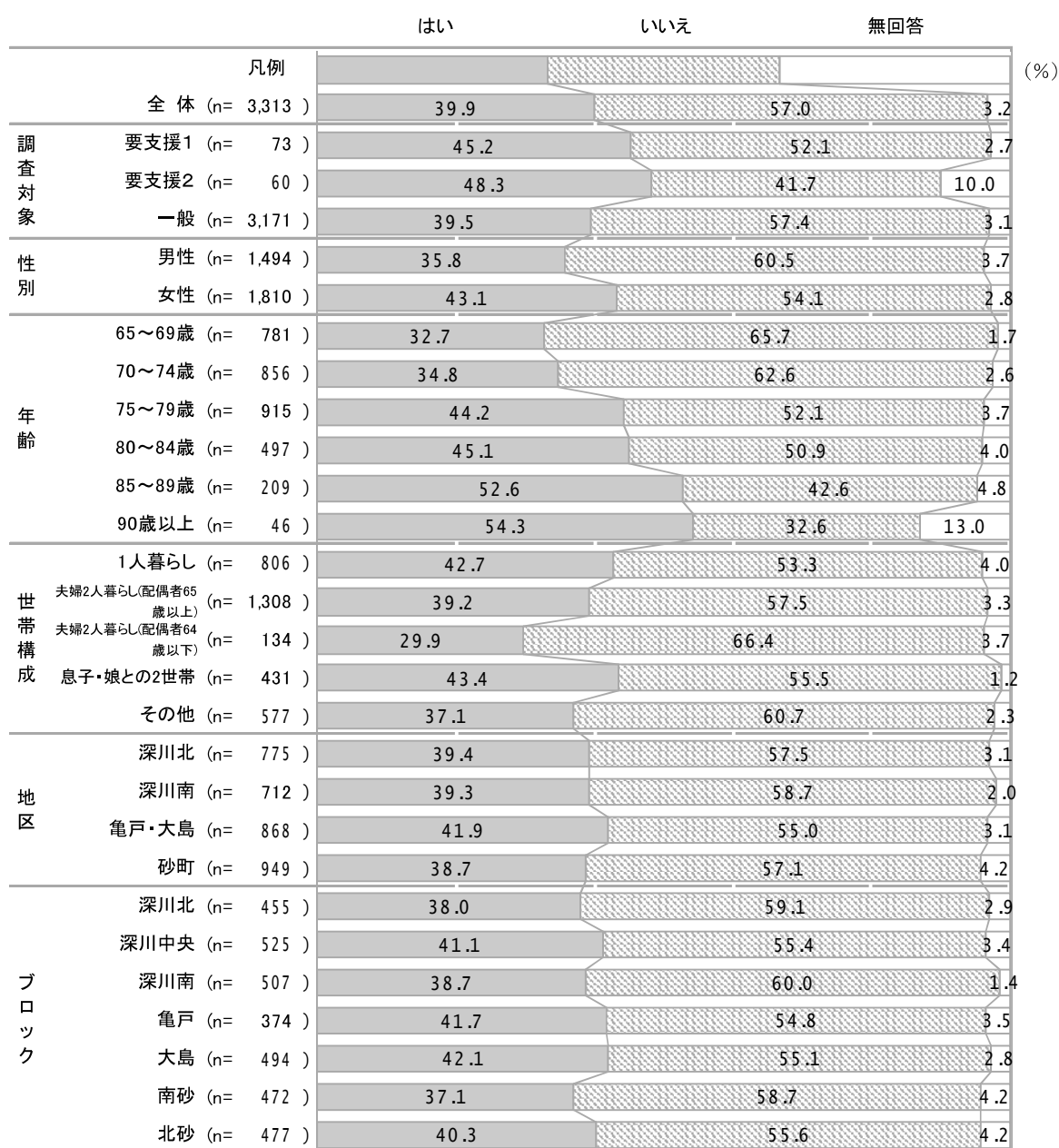
問4 (1) 物忘れが多いと感じますか (ひとつだけ〇)

物忘れが多いと感じるかについては、全体の約4割(39.9%)が「はい」=「物忘れが多い」と感じている。

調査対象別では、特に要支援2の方では「はい」=「物忘れが多い」と感じている割合が高い。

性別では、男性と比べ女性において「はい」=「物忘れが多い」と感じている割合が高い。また、年齢別においては、高齢の方ほど「物忘れが多い」と感じている割合が高い。

図表 II①-36 物忘れが多いと感じるか



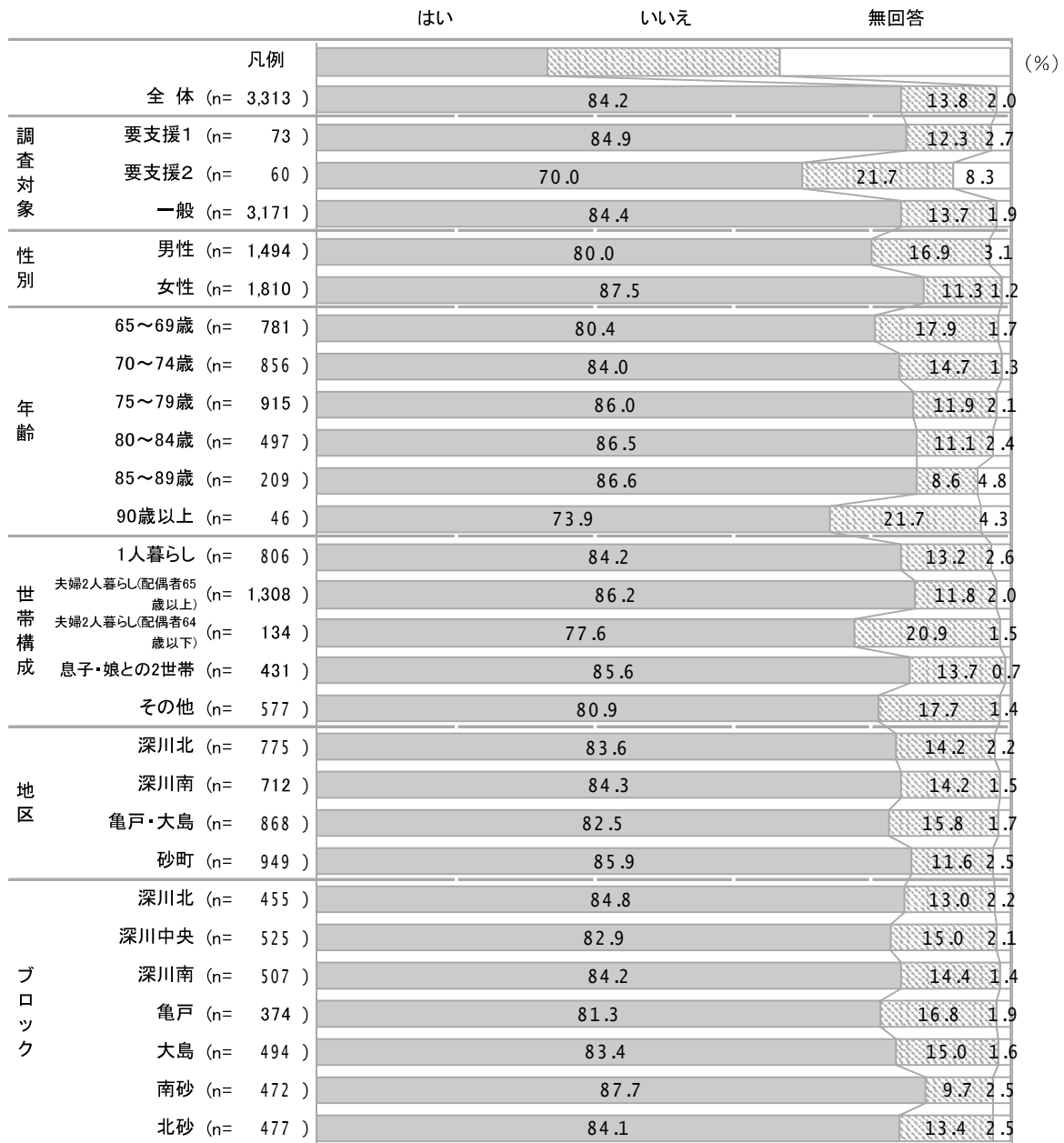
② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

問4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (ひとつだけ〇)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、全体の 84.2%が「はい」＝「自分で電話番号を調べてかけている」と回答している。

調査対象別では、一般の方や要支援1の方と比べると要支援2の方では「いいえ」＝「自分で電話番号を調べてかけていない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-37 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

③ 今日の日付がわからない時があるか

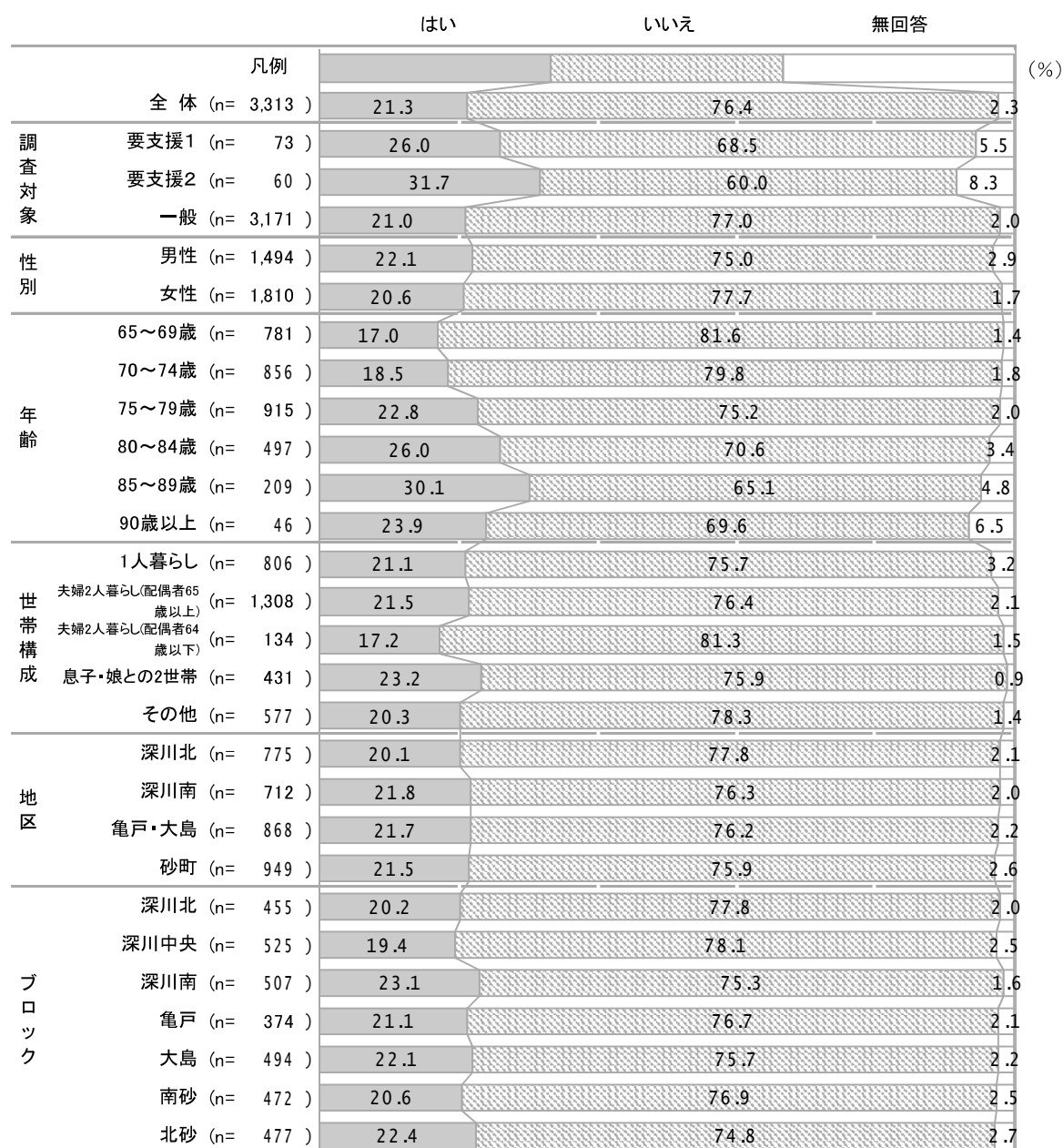
問4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (ひとつだけ〇)

今日の日付がわからない時があるかについては、全体の約2割(21.3%)が「はい」＝「日付がわからない時がある」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方で「はい」＝「日付がわからない時がある」がやや高く、特に要支援2の方で顕著である。

年齢別では、高年齢の方ほど「日付がわからない時がある」割合が高い傾向である。

図表 Ⅱ①-38 今日の日付がわからない時があるか

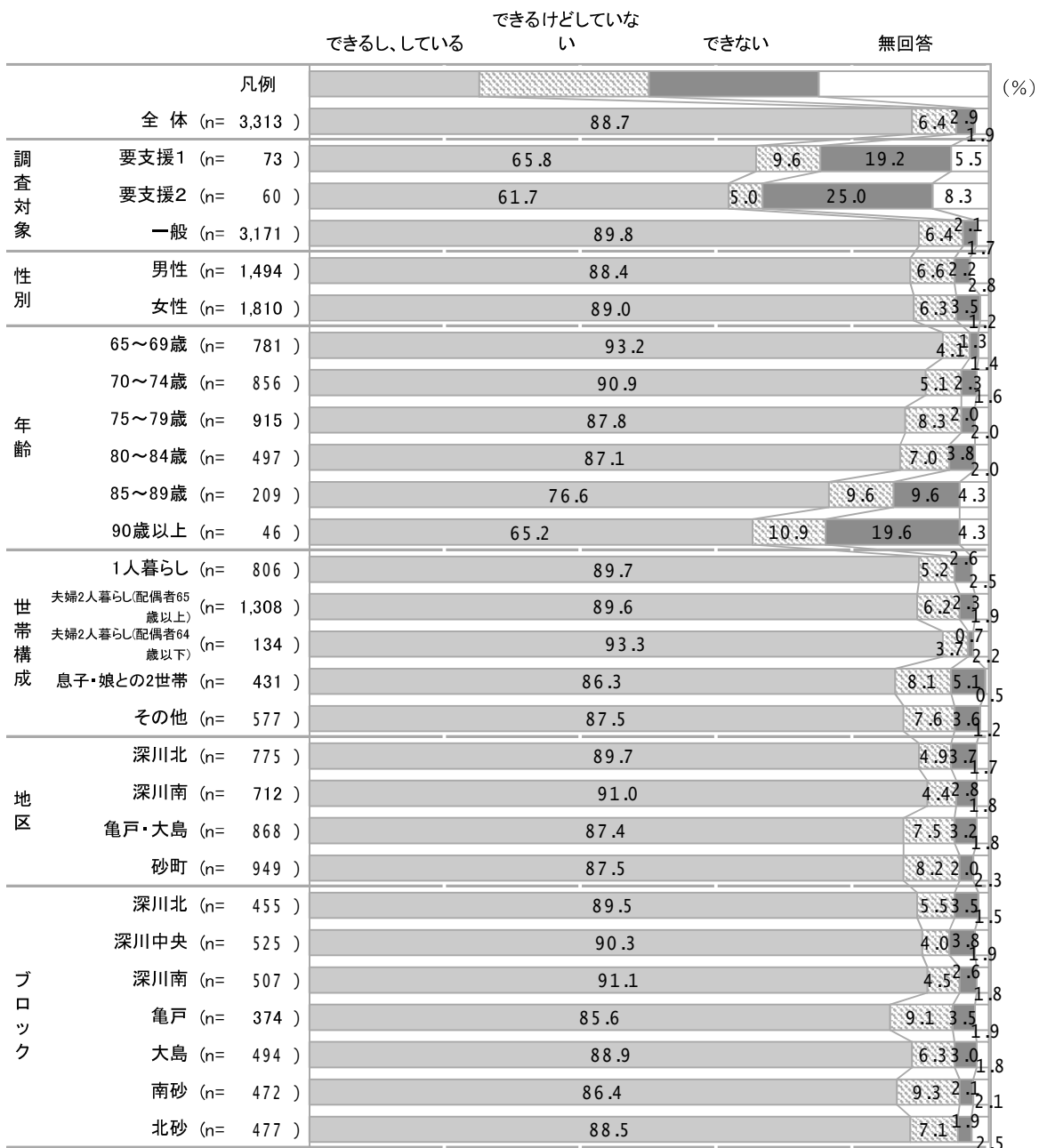


④ バスや電車で使って1人で外出するか

問4 (4) バスや電車で使って1人で外出していますか(自家用車でも可)
 (ひとつだけ〇)

バスや電車で使って1人で外出するかについては、「できるし、している」が全体の9割近く(88.7%)で、「できるけどしていない」は6.4%、「できない」は2.9%となっている。
 調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方では1人で外出が「できない」割合が高く、特に要支援2の方で高い。
 年齢別では、高年齢の方ほど1人で外出が「できない」割合が高くなるが、一方で85～89歳の76.6%、90歳以上の65.2%は「できるし、している」と回答している。

図表 Ⅱ①-39 バスや電車で使って1人で外出するか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑤ 自分で食品・日用品の買物をしているか

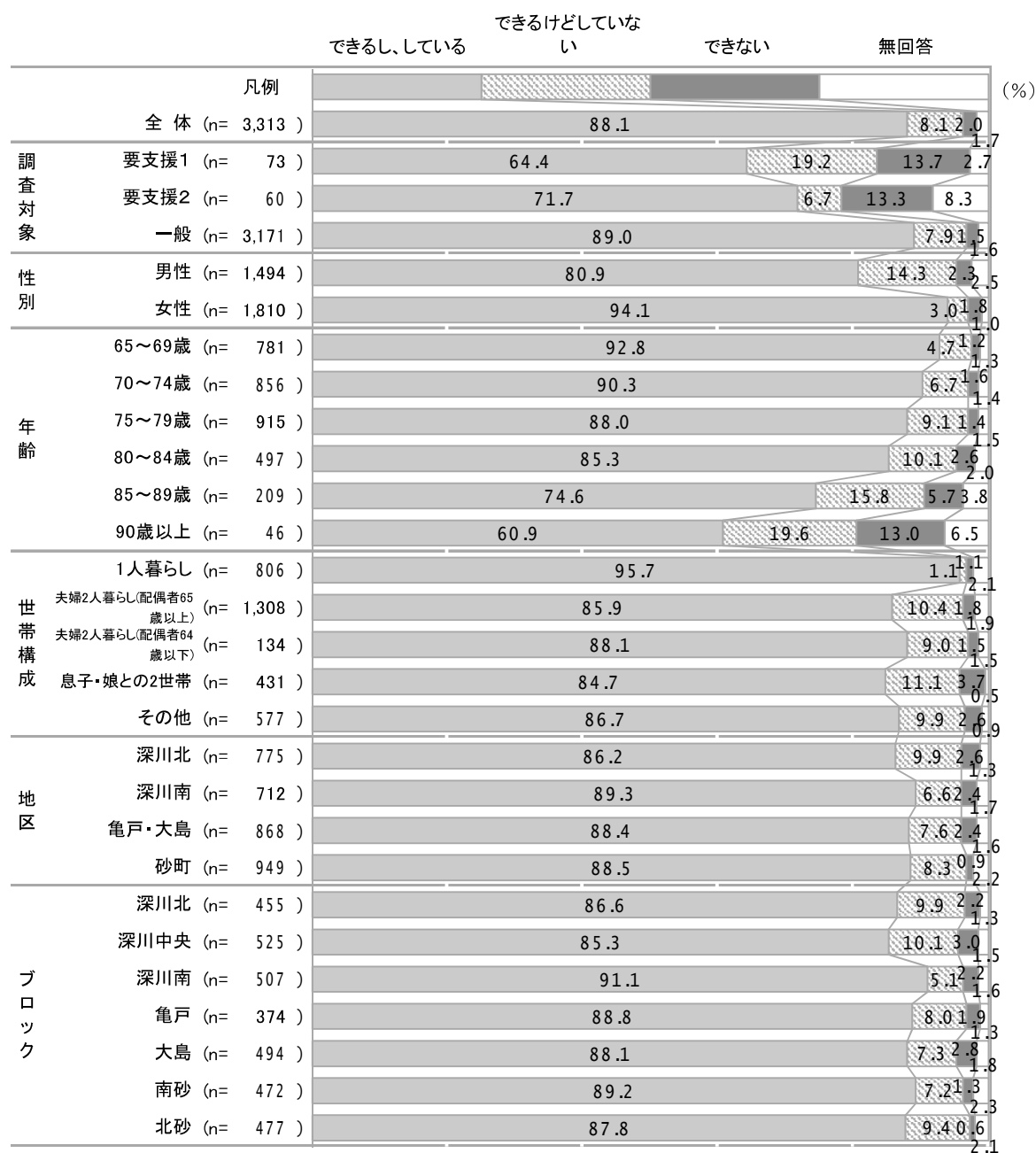
問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (ひとつだけ〇)

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が全体の約9割(88.1%)で、「できるけどしていない」は8.1%「できない」は2.0%となっている。

調査対象別では、一般の方では自分で買物が「できるし、している」が高いのに対して、要支援の方では「できない」割合が高い。

性別でみると、女性の9割以上は「できるし、している」(94.1%)と回答しているのに対して、男性は「できるし、している」(80.9%)、「できるけどしていない」(14.3%)である。

図表 Ⅱ①-40 自分で食品・日用品の買物をしているか

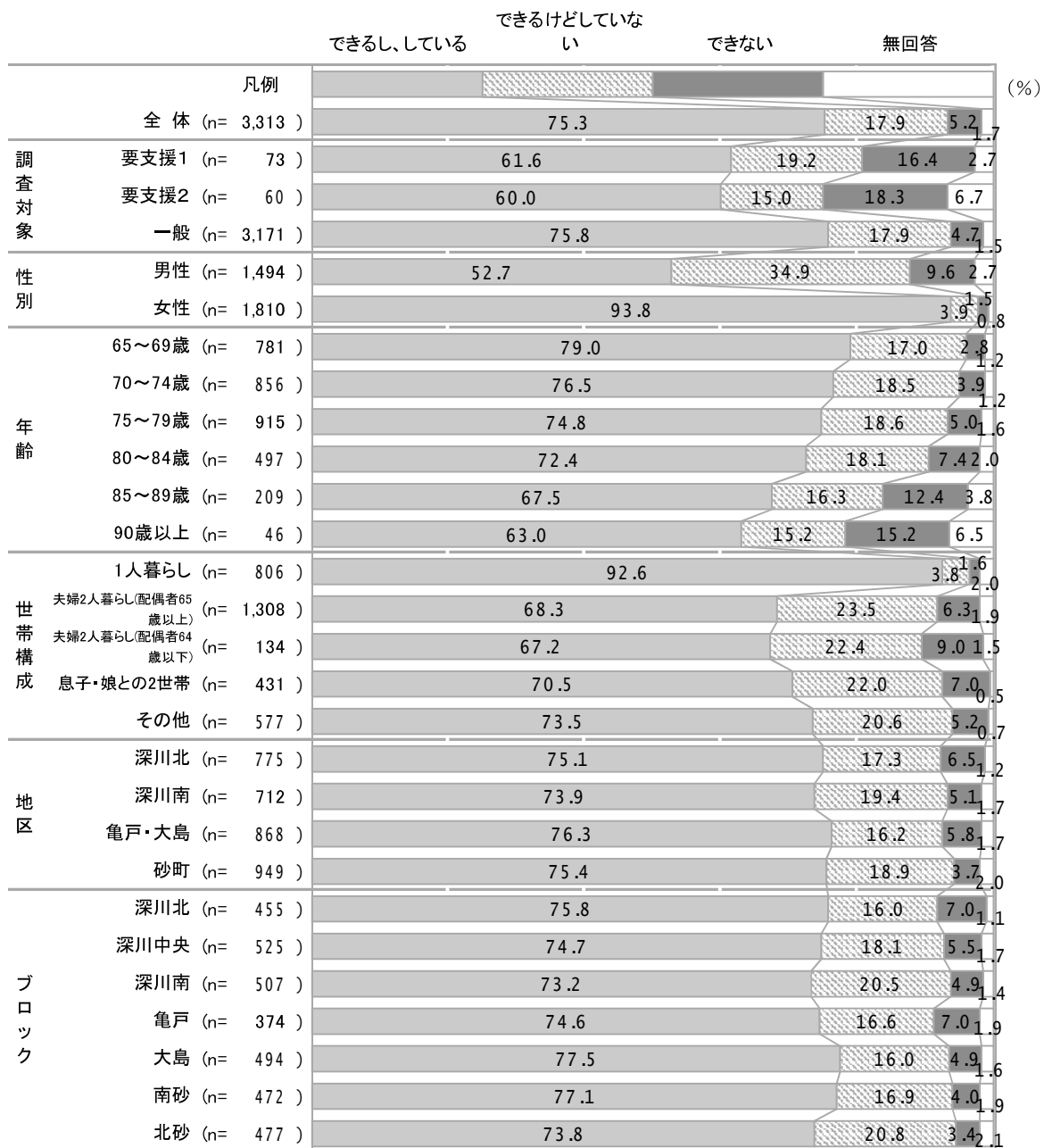


⑥ 自分で食事の用意をしているか

問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか (ひとつだけ〇)

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が全体の75.3%であり、「できるけどしていない」(17.9%)、「できない」(5.2%)となっている。
調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方では食事の用意を「できるし、している」割合が低い。
性別でみると、女性の9割以上は「できるし、している」と回答しているのに対して、男性はその割合が約5割であり、「できるけどしていない」といった回答が3割以上である。
年齢別では、高年齢の方ほど自分で食事の用意を「できない」割合が高い傾向にあるが、一方で85～89歳の67.5% 90歳以上の63.0%は「できるし、している」と回答している。

図表 Ⅱ①-41 自分で食事の用意をしているか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑦ 自分で請求書の支払いをしているか

問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか (ひとつだけ〇)

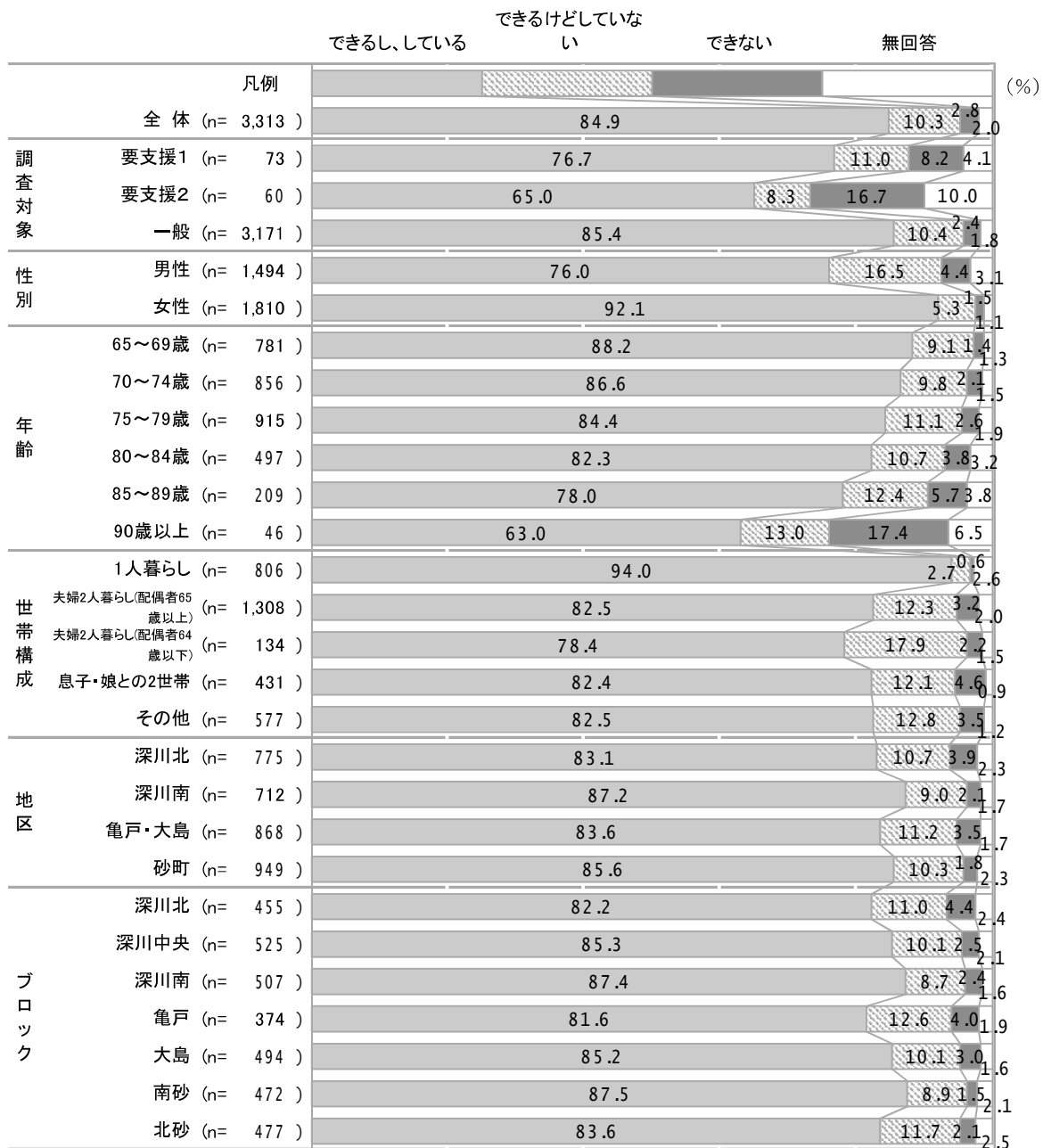
自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」は全体の84.9%であり、「できるけどしていない」(10.3%)、「できない」(2.8%)となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方では自分で支払いが「できない」割合が高く、特に要支援2の方がより顕著である。

性別でみると、女性の9割以上は「できるし、している」と回答しているのに対して、男性は「できるし、している」(76.0%)、「できるけどしていない」(16.5%)となっている。

年齢別では、高年齢の方ほど「できるし、している」割合が低く、「できない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-42 自分で請求書の支払いをしているか



⑧ 自分で預貯金の出し入れをしているか

問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (ひとつだけ〇)

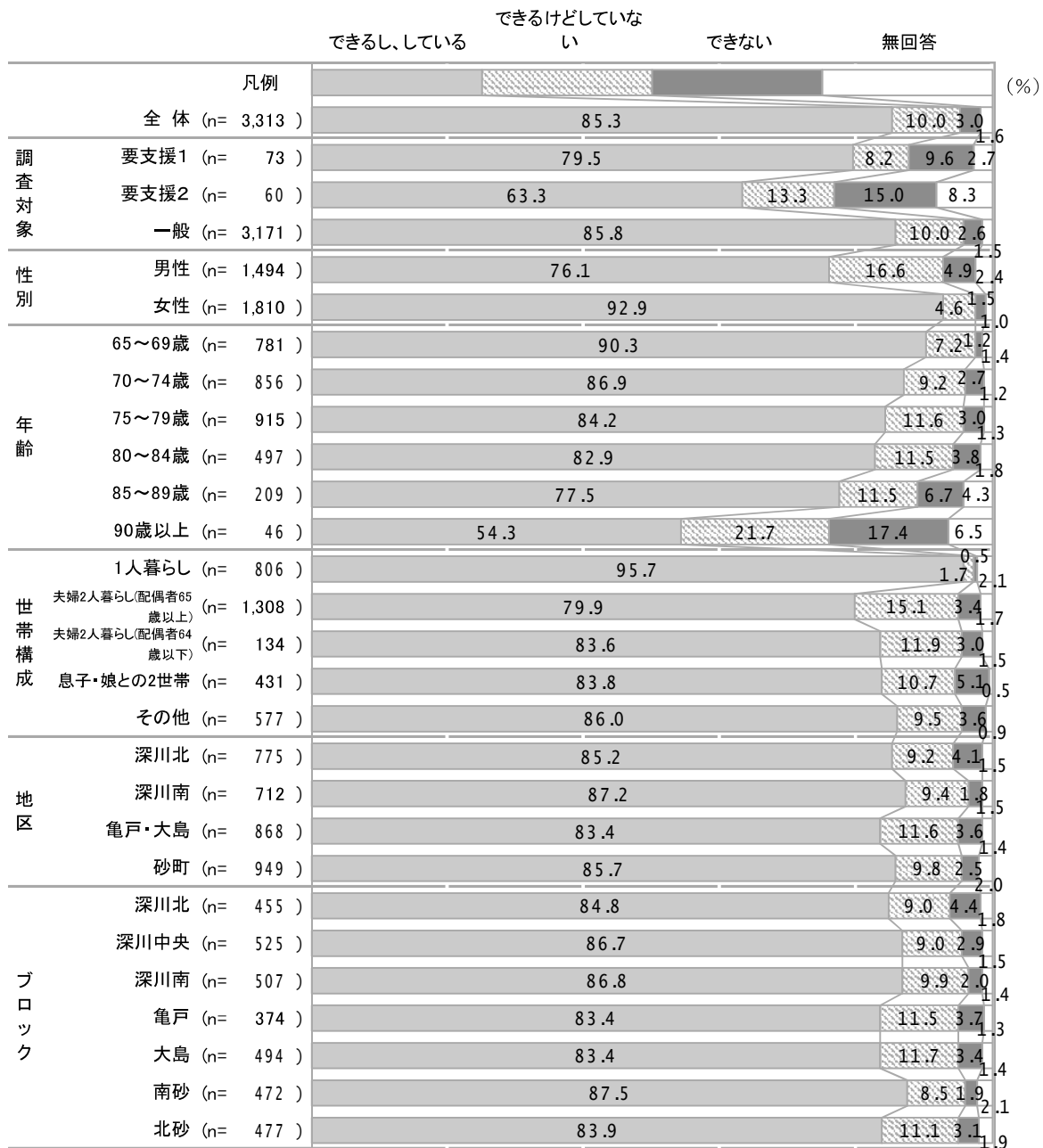
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が全体の85.3%であり、「できるけどしていない」(10.0%)、「できない」(3.0%)となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方では自分で「できない」割合が高く、特に要支援2の方ではその割合が高い。

性別でみると、女性の9割以上(92.9%)は「できるし、している」と回答しているのに対して、男性は「できるけどしていない」(16.6%)となっている。

年齢別では、高年齢の方ほど「できるし、している」割合が低く、「できない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-43 自分で預貯金の出し入れをしているか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑨ 年金などの書類が書けるか

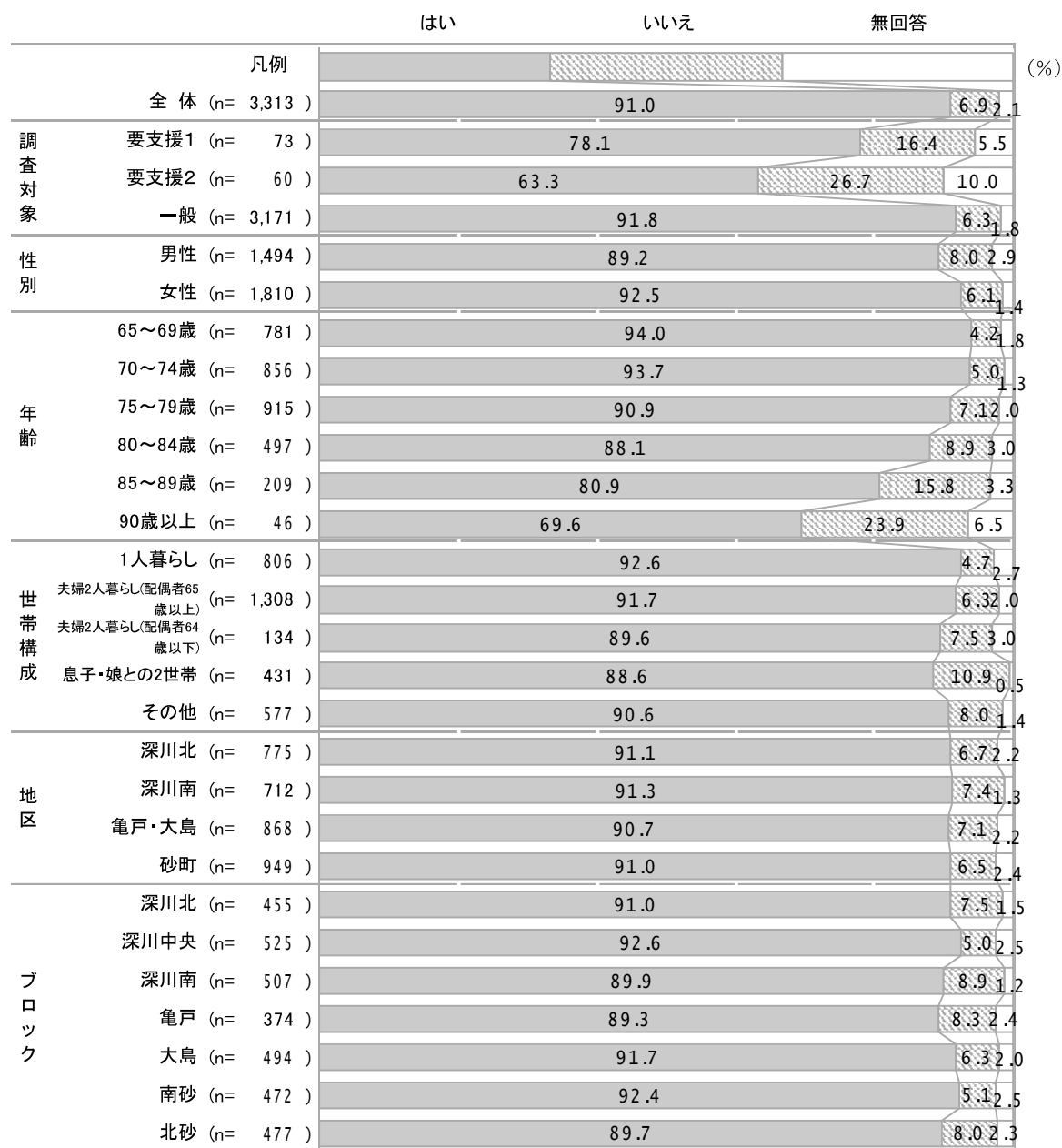
問4 (9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか(ひとつだけ〇)

年金などの書類が書けるかについては、全体の約9割(91.0%)は「はい」＝「書類が書ける」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方では「いいえ」＝「書類が書けない」方が高く、特に要支援2の方で高い。

年齢別は、高年齢の方ほど「書類が書ける」割合が低い傾向にあり、85歳を境にその傾向も顕著である。

図表 Ⅱ①-44 年金などの書類が書けるか



⑩ 新聞を読んでいるか

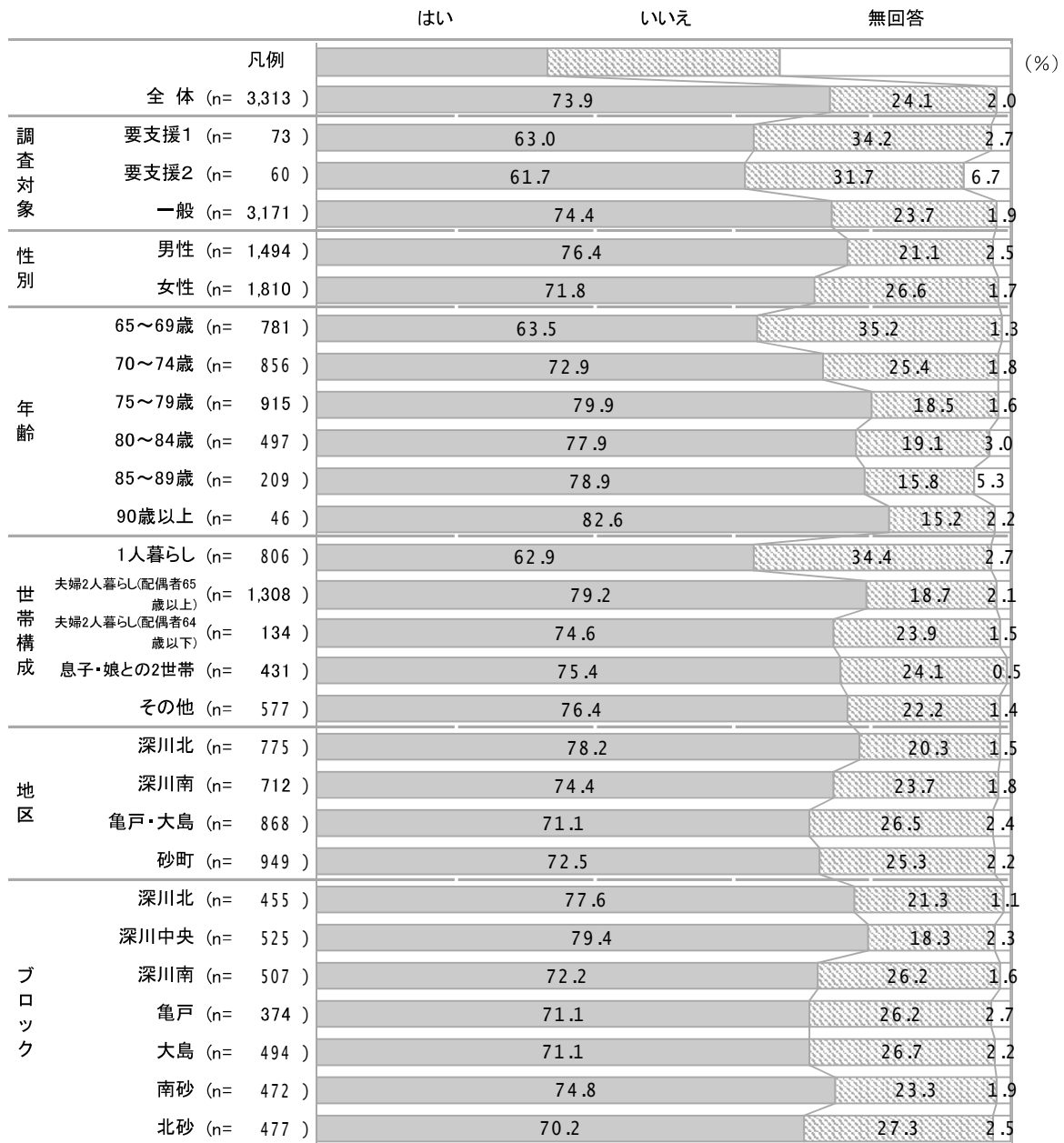
問4 (10) 新聞を読んでいますか (ひとつだけ〇)

新聞を読んでいるかについては、全体の73.9%が「はい」＝「読んでいる」と回答しており、「いいえ」＝「読んでいない」は24.1%となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方では新聞を「読んでいない」割合が高い。

年齢別では、高齢の方ほど新聞を「読んでいる」割合が高い傾向にある。

図表 Ⅱ①-45 新聞を読んでいるか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑪ 本や雑誌を読んでいるか

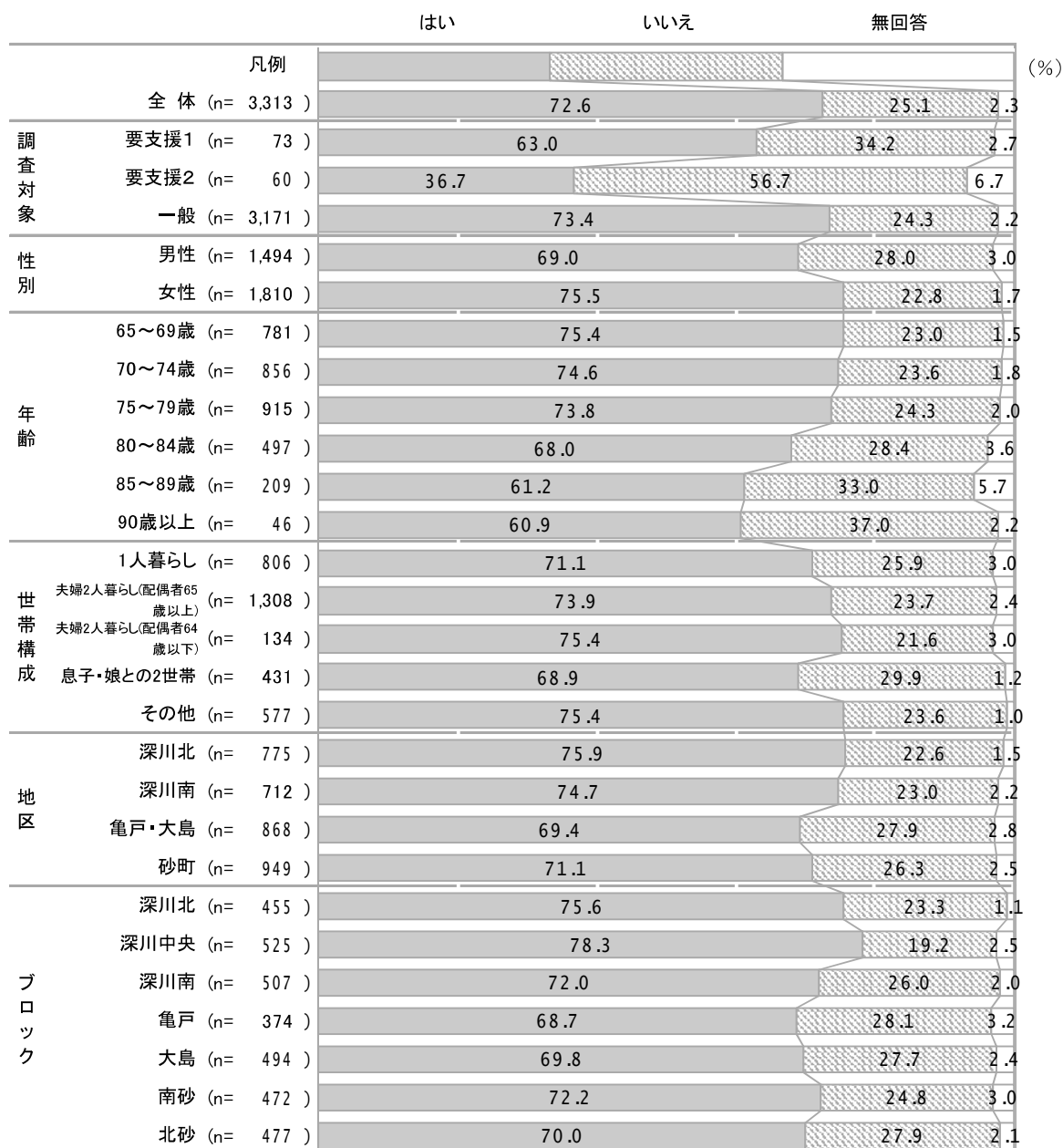
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか (ひとつだけ〇)

本や雑誌を読んでいるかについては、全体の72.6%が「はい」＝「読んでいる」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方が本や雑誌を「読んでいる」割合が低く、特に要支援2の方で顕著である。

年齢別では、高年齢の方ほど「いいえ」＝「読んでいない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-46 本や雑誌を読んでいるか



⑫ 健康についての記事や番組への関心はあるか

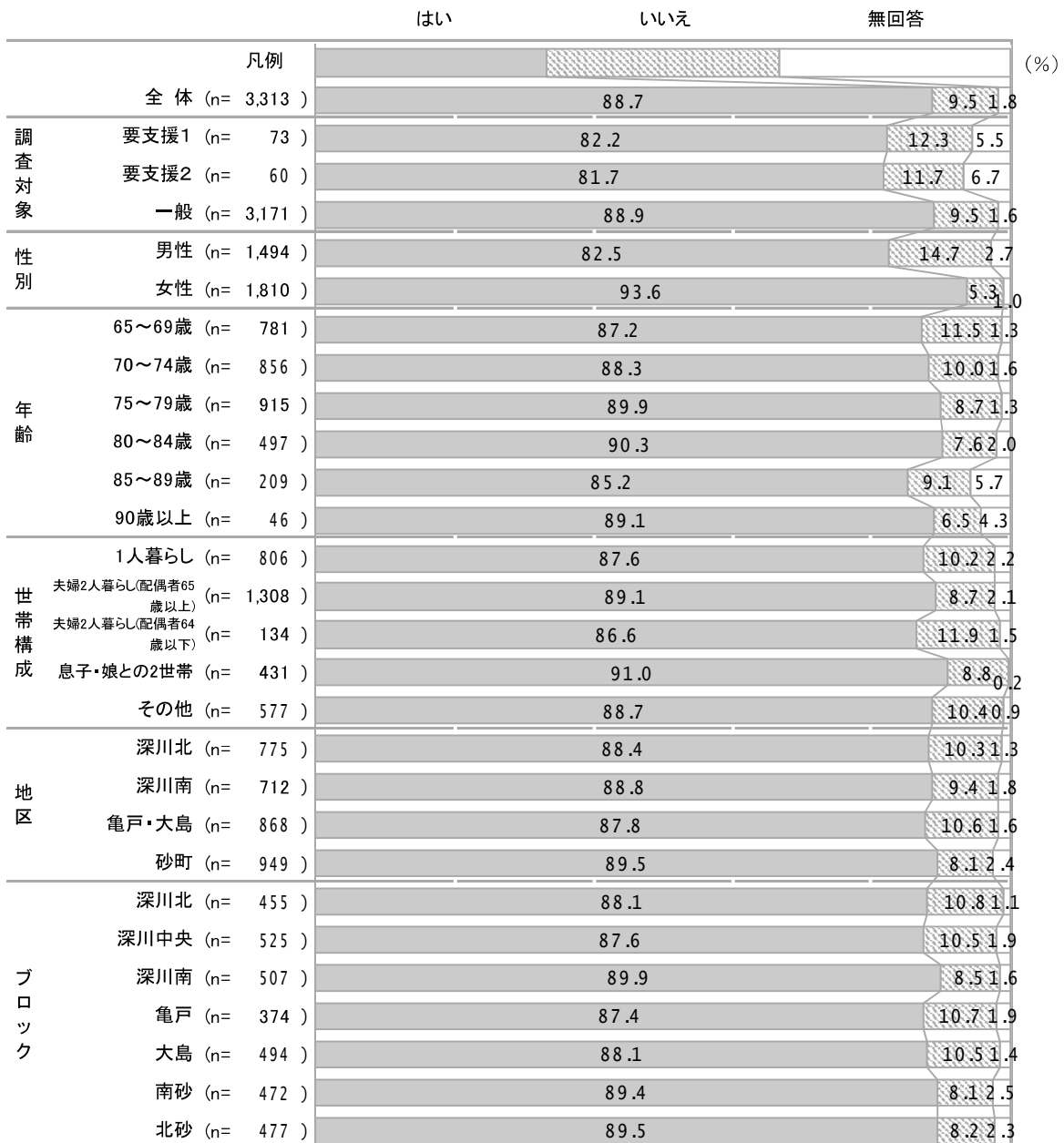
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (ひとつだけ〇)

健康についての記事や番組への関心はあるかについては、「はい」＝「関心がある」は全体の約9割(88.7%)である。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方において、健康についての記事や番組に対する関心が低い。

性別では、男性に比べ女性において健康についての記事や番組に対する関心が高い。

図表 Ⅱ①-47 健康についての記事や番組への関心はあるか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑬ 友人の家への訪問状況

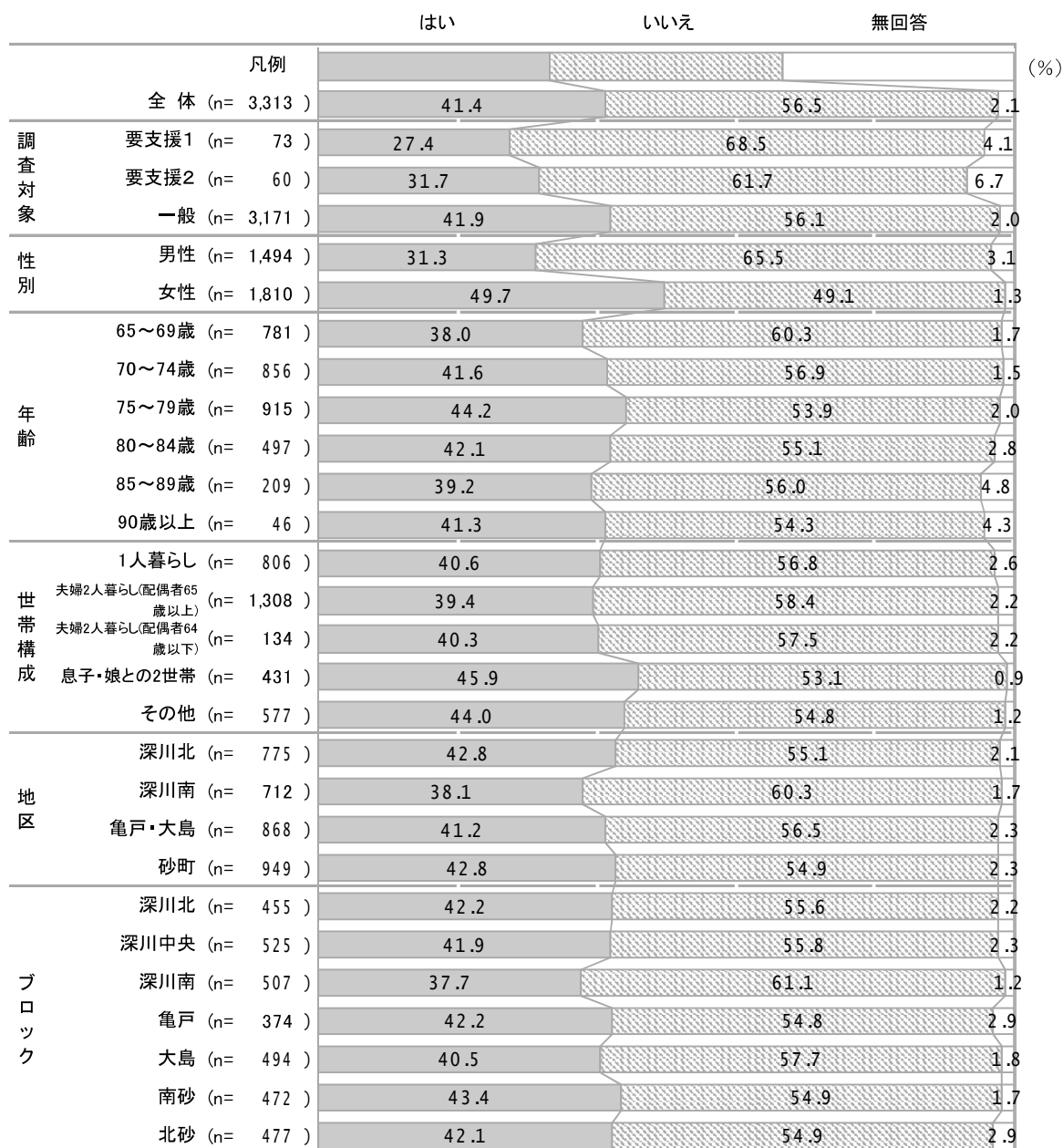
問4 (13) 友人の家を訪ねていますか (ひとつだけ〇)

友人の家への訪問状況は、「はい」＝「訪問している」は全体の約4割(41.4%)であり、「いいえ」＝「訪問していない」は56.5%となっている。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方では「はい」＝「訪問している」割合が低い。

性別では、男性と比べると女性は友人の家へ「訪問している」割合が高い。

図表 Ⅱ①-48 友人の家への訪問状況



⑭ 家族や友人の相談にのっているか

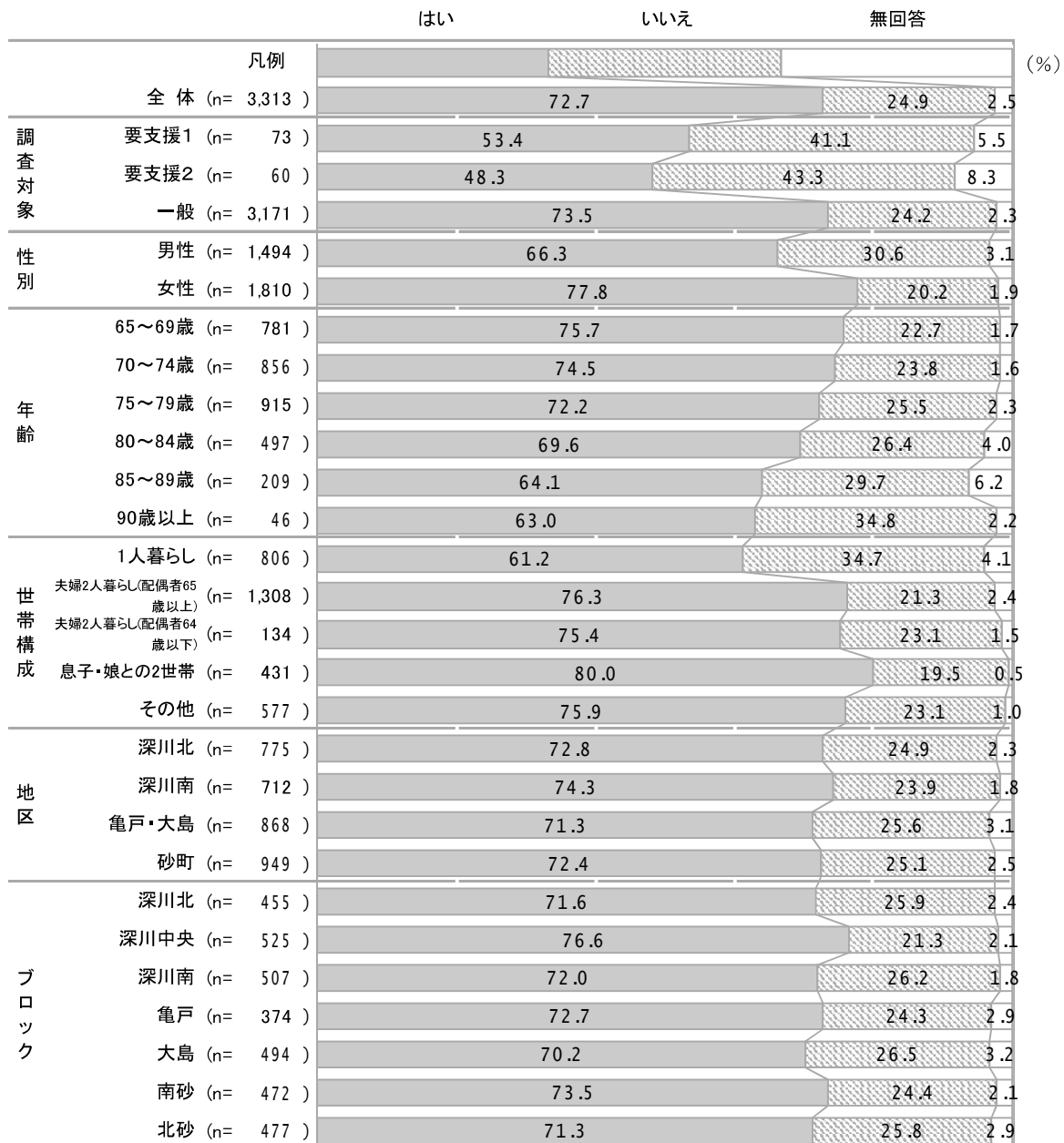
問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか (ひとつだけ〇)

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」＝「相談にのっている」が全体の72.7%となっており、「いいえ」＝「相談にのっていない」は24.9%である。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方では「はい」＝「相談にのっている」割合が低い。

年齢別では、高年齢の方ほど「相談にのっている」割合が低くなる傾向がある。

図表 Ⅱ①-49 家族や友人の相談にのっているか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑮ 病人を見舞うことができるか

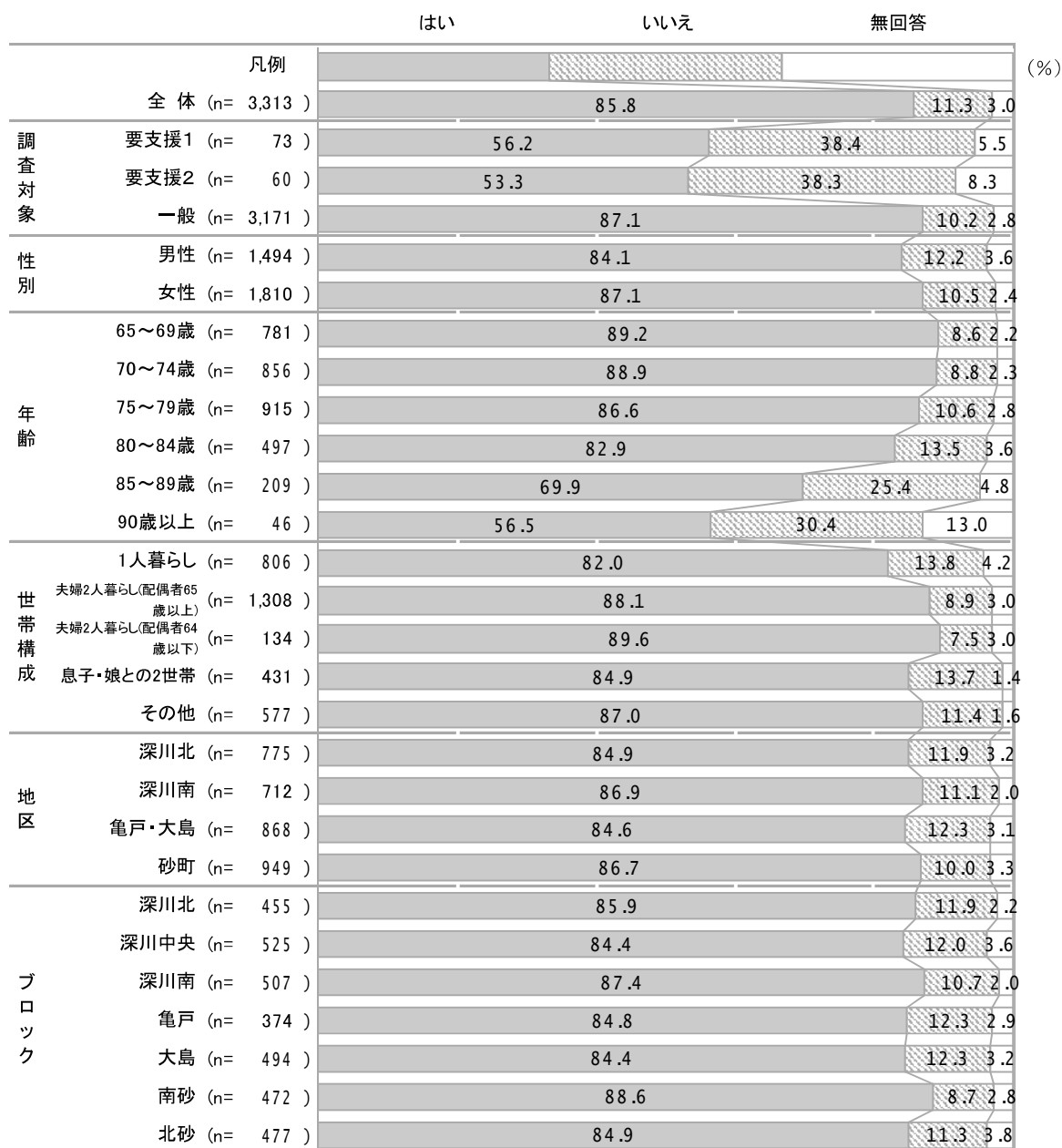
問4 (15) 病人を見舞うことができますか (ひとつだけ〇)

病人を見舞うことができるかについては、「はい」＝「見舞うことができる」が全体の85.8%であり、「いいえ」＝「見舞うことができない」が11.3%となっている。

調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方の「見舞うことができる」割合が著しく低い。

年齢別では、高齢の方ほど「見舞うことができる」割合が低く、85歳を境に顕著である。

図表 Ⅱ①-50 病人を見舞うことができるか



⑩ 若い人に自分から話しかけることがあるか

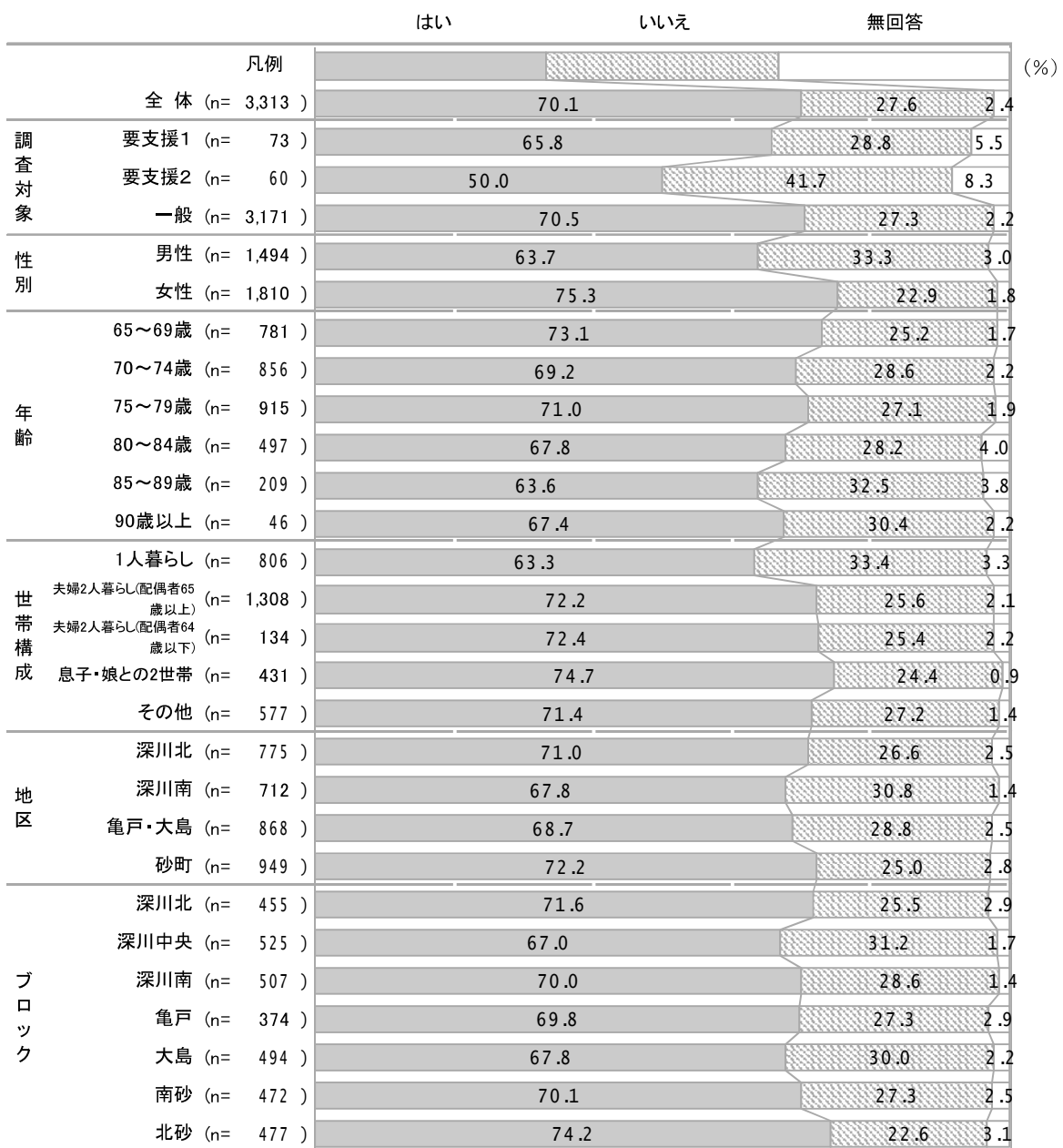
問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (ひとつだけ〇)

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」＝「自分から話しかけることがある」が全体の約7割(70.1%)となっている。

調査対象別では、要支援2の方では「自分から話しかけることがある」割合が5割となっている。

年齢別では、高年齢の方ほど「自分から話しかけることがある」割合がやや低くなる傾向がある。

図表 Ⅱ①-51 若い人に自分から話しかけることがあるか



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑰ 趣味の有無

問4 (17) 趣味はありますか (ひとつだけ〇)

趣味の有無は、「趣味あり」が 68.9% 「思いつかない」が 22.3%である。
 調査対象別では、一般の方と比べると要支援2の方では「趣味あり」の回答が低い。
 年齢別では、80歳を境に「趣味あり」の割合が低くなっている。

図表 Ⅱ①-52 趣味の有無

		趣味あり	思いつかない	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	68.9	22.3	8.8	
調査対象	要支援1 (n= 73)	60.3	27.4	12.3	
	要支援2 (n= 60)	45.0	38.3	16.7	
	一般 (n= 3,171)	69.5	22.0	8.5	
性別	男性 (n= 1,494)	66.7	24.2	9.0	
	女性 (n= 1,810)	70.7	20.9	8.5	
年齢	65~69歳 (n= 781)	71.1	23.4	5.5	
	70~74歳 (n= 856)	70.6	21.6	7.8	
	75~79歳 (n= 915)	70.1	20.0	9.9	
	80~84歳 (n= 497)	64.4	23.5	12.1	
	85~89歳 (n= 209)	60.8	28.2	11.0	
	90歳以上 (n= 46)	63.0	28.3	8.7	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	69.0	22.0	9.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	70.3	21.3	8.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	61.9	29.1	9.0	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	67.3	25.5	7.2	
	その他 (n= 577)	69.5	21.5	9.0	
地区	深川北 (n= 775)	71.9	21.3	6.8	
	深川南 (n= 712)	71.8	21.3	6.9	
	亀戸・大島 (n= 868)	67.5	22.8	9.7	
	砂町 (n= 949)	65.5	23.7	10.7	
ブロック	深川北 (n= 455)	69.9	22.9	7.3	
	深川中央 (n= 525)	74.5	19.2	6.3	
	深川南 (n= 507)	70.8	22.1	7.1	
	亀戸 (n= 374)	66.0	24.1	9.9	
	大島 (n= 494)	68.6	21.9	9.5	
	南砂 (n= 472)	65.3	23.7	11.0	
	北砂 (n= 477)	65.8	23.7	10.5	

⑱ 生きがいの有無

問4 (18) 生きがいはありますか

(ひとつだけ〇)

生きがいの有無は、全体の過半数(51.3%)は「生きがいあり」と回答している。

調査対象別では、一般の方と比べると要支援の方では「生きがいあり」の割合が低くなり、特に要支援2の方では顕著である。

年齢別では、高齢の方になるほど「生きがいあり」と回答する割合が低くなる傾向がある。

また、世帯構成別でみると、一人暮らしの方では他の世帯に比べて「生きがいあり」の割合が低い。

図表 Ⅱ①-53 生きがいの有無

		生きがいあり	思いつかない	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	51.3	34.8	13.9	
調査対象	要支援1 (n= 73)	42.5	42.5	15.1	
	要支援2 (n= 60)	30.0	55.0	15.0	
	一般 (n= 3,171)	51.9	34.2	13.9	
性別	男性 (n= 1,494)	48.2	39.2	12.6	
	女性 (n= 1,810)	53.8	31.1	15.1	
年齢	65～69歳 (n= 781)	57.6	35.1	7.3	
	70～74歳 (n= 856)	51.3	36.4	12.3	
	75～79歳 (n= 915)	51.1	32.9	16.0	
	80～84歳 (n= 497)	47.1	32.8	20.1	
	85～89歳 (n= 209)	38.8	40.7	20.6	
	90歳以上 (n= 46)	47.8	30.4	21.7	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	45.7	39.1	15.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	53.3	33.3	13.4	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	63.4	30.6	6.0	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	51.5	34.6	13.9	
	その他 (n= 577)	52.0	34.0	14.0	
地区	深川北 (n= 775)	52.3	34.3	13.4	
	深川南 (n= 712)	54.2	33.7	12.1	
	亀戸・大島 (n= 868)	49.0	35.6	15.4	
	砂町 (n= 949)	50.4	35.2	14.4	
	深川北 (n= 455)	52.5	33.4	14.1	
ブロック	深川中央 (n= 525)	53.9	33.0	13.1	
	深川南 (n= 507)	53.1	35.7	11.2	
	亀戸 (n= 374)	48.9	36.1	15.0	
	大島 (n= 494)	49.0	35.2	15.8	
	南砂 (n= 472)	51.1	34.7	14.2	
	北砂 (n= 477)	49.7	35.6	14.7	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

⑱ 認知機能の低下リスク該当者<地区別>

「問4 毎日の生活について」の設問で、
 (1) 物忘れが多いと感じますか = 「はい」かつ、
 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか = 「いいえ」かつ、
 (3) 今日が何月何日かわからないときがありますか = 「はい」
 と回答した人 = 【該当 (リスク該当者)】、
 それ以外 = 【非該当 (リスク非該当者)】 として再集計。

認知機能の低下リスク該当者は 3.3%となっている。

図表 Ⅱ①-54 認知機能の低下リスク該当者

		該当	非該当	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	3.3	95.2	1.5	
地区	深川北 (n= 775)	3.2	95.5	1.3	
	深川南 (n= 712)	3.5	95.2	1.3	
	亀戸・大島 (n= 868)	4.5	94.1	1.4	
	砂町 (n= 949)	2.1	95.9	2.0	

⑳ 手段的日常生活動作 (IADL※) <地区別>

「問4 毎日の生活について」の設問で、
 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)
 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか
 (6) 自分で食事の用意をしていますか
 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか
 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか で、
 「できるし、している」または、「できるけどしていない」と回答した人=1点
 「できない」と回答した人=0点 とし、
 合計で、5点が「高い」、4点が「やや低い」、0~3点が「低い」とした。

手段的日常生活動作は「高い」が 89.1%、「やや低い」と「低い」を合わせると 9.4%となっている。

図表 Ⅱ①-55 手段的日常生活動作

		高い(5点)	やや低い(4点)	低い(3点以下)	無回答	(%)
凡例						
	全体 (n= 3,313)	89.1	5.4	4.4	0.1	
地区	深川北 (n= 775)	87.4	5.8	5.7	1.2	
	深川南 (n= 712)	89.5	6.2	3.1	1.3	
	亀戸・大島 (n= 868)	88.5	5.5	4.6	1.4	
	砂町 (n= 949)	90.8	4.4	2.8	1.9	

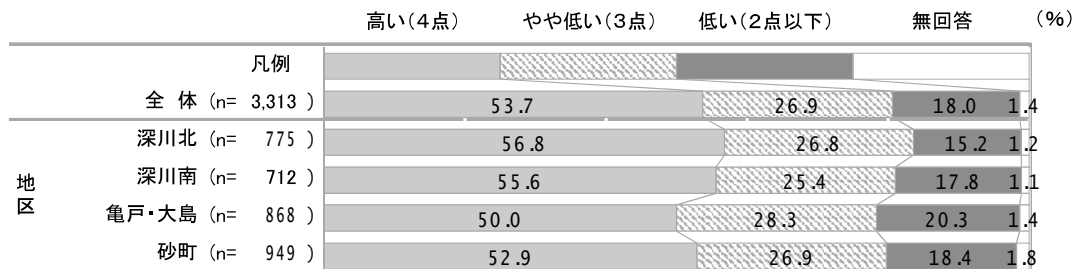
※ IADL (Instrumental Activities of Daily Living の略) とは、モノや道具を使ってする生活能力のことをいう。ADL (日常生活動作) が、自立して生活するための基本的な身体的動作 (食事、入浴、排泄など) を指しているのに対し、IADL はより広義で、日常の動作より応用的な動作が必要な活動 (バスに乗って買い物に行く、食事の支度をする、電話をかけるなど) を指している。

⑳ 知的能動性<地区別>

「問4 毎日の生活について」の設問で、
 (9) 年金などの書類が書けますか
 (10) 新聞を読んでいますか
 (11) 本や雑誌を読んでいますか
 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか で、
 「はい」=1点、「いいえ」=0点とし、
 合計で、4点が「高い」、3点が「やや低い」、0~2点が「低い」とした。

知的能動性は「高い」が53.7%、「やや低い」と「低い」を合わせると44.9%となっている。

図表Ⅱ①-56 知的能動性

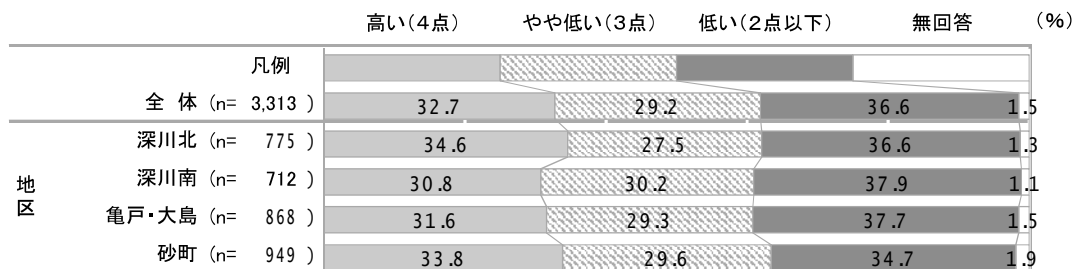


㉑ 社会的役割<地区別>

「問4 毎日の生活について」の設問で、
 (13) 友人の家を訪ねていますか
 (14) 家族や友人の相談にのっていますか
 (15) 病人を見舞うことができますか
 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか で、
 「はい」=1点、「いいえ」=0点とし、
 合計で、4点が「高い」、3点が「やや低い」、0~2点が「低い」とした。

社会的役割の状況は、「高い」が32.7%、「やや低い」と「低い」を合わせると65.8%となっている。

図表Ⅱ①-57 社会的役割



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

㉓ 老研式活動能力指標総合評価<地区別分析>

これまでの

(2) 手段的日常生活動作 (IADL)

(3) 知的能動性

(4) 社会的役割

の評価項目の合計点 (13 点満点) で評価。

11 点以上が「高い」、9~10 点が「やや低い」、8 点以下が「低い」として評価した。

老研式活動能力指標総合評価は、「高い」が 64.1%、「やや低い」と「低い」を合わせると 34.5%となっている。

図表 Ⅱ①-58 老研式活動能力指標

		高い(11点)	やや低い(9~10点)	低い(8点以下)	無回答	(%)
凡例						
	全体 (n= 3,313)	64.1	22.8	11.7	1.4	
地区	深川北 (n= 775)	64.5	23.1	11.2	1.2	
	深川南 (n= 712)	63.5	24.9	10.5	1.1	
	亀戸・大島 (n= 868)	63.2	21.2	14.2	1.4	
	砂町 (n= 949)	64.7	22.7	10.9	1.8	

※老研式活動能力指標とは、高齢者の日常生活動作能力の評価を行なうことを目的として、日本で開発された生活機能の評価指標。手段的日常生活動作 (IADL)、知的能動性、社会的役割の3つの評価項目について点数で評価を実施する。

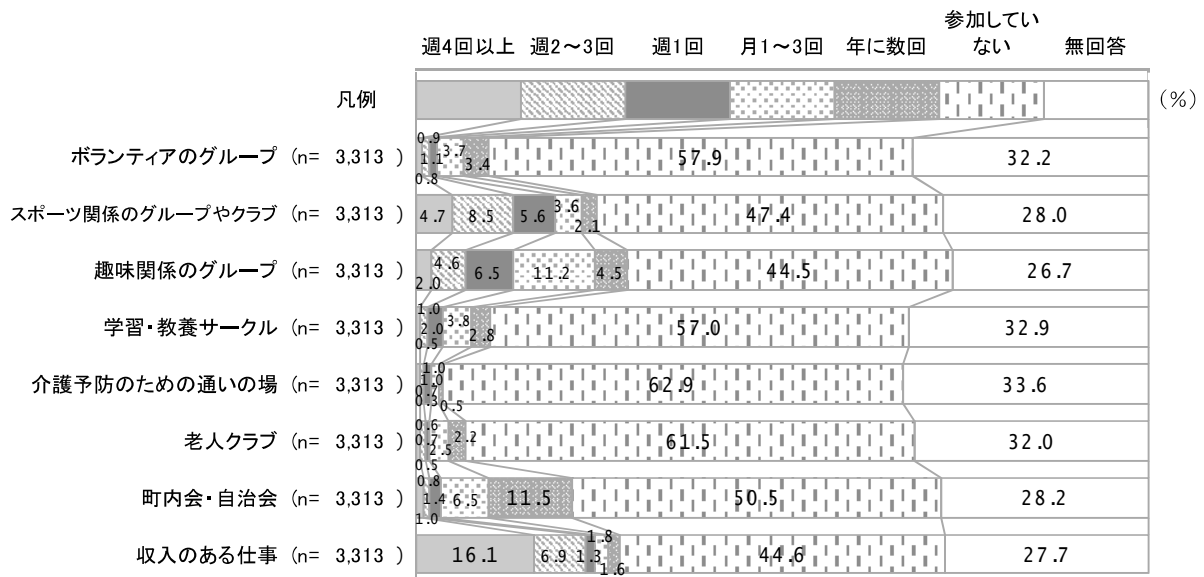
6. 地域での活動について

① 会・グループ等への参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 (それぞれひとつだけ〇)

地域での活動における会・グループ等への参加頻度では、「参加していない」方の割合がいずれの会・グループにおいても約5～6割である。参加している方で、参加頻度が「週1回」以上の割合でみると、“収入のある仕事”の割合が高く、次いで“スポーツ関係のグループやクラブ”、“趣味関係のグループによる活動”が高い。

図表 Ⅱ①-59 会・グループ等への参加頻度



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

会・グループ等への参加頻度は、調査対象別では、“収入のある仕事”や“趣味関係のグループ”、“スポーツ関係のグループやクラブ”などへの参加が一般の方と比べると要支援の方は低い。一方、要支援2の方では“介護予防のための通いの場”への参加が高い。

年齢別でみると、“収入のある仕事”や“スポーツ関係のグループやクラブ”への参加頻度は高年齢の方ほど低い。

図表 Ⅱ①-60 会・グループ等への参加頻度

		ボランティアのグループ	スポーツや関係のクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事	(%)
全体	(n= 3,313)	9.9	24.5	28.8	10.1	3.4	6.5	21.3	27.7	
調査対象	要支援1	(n= 73)	6.8	19.2	19.2	8.2	9.6	9.6	8.2	2.7
	要支援2	(n= 60)	6.7	6.7	11.7	0.0	11.7	5.0	11.7	6.7
	一般	(n= 3,171)	10.0	25.0	29.3	10.3	3.2	6.5	21.8	28.7
性別	男性	(n= 1,494)	9.8	19.3	25.6	7.0	2.4	5.0	23.8	32.9
	女性	(n= 1,810)	9.9	28.9	31.4	12.7	4.3	7.9	19.3	23.5
年齢	65～69歳	(n= 781)	11.0	30.1	30.2	11.7	1.9	2.6	18.7	46.7
	70～74歳	(n= 856)	9.7	25.1	27.6	9.2	2.7	3.9	22.2	33.9
	75～79歳	(n= 915)	11.5	23.5	31.8	11.0	4.9	9.4	23.5	21.7
	80～84歳	(n= 497)	7.8	22.3	25.8	8.9	5.2	10.3	21.9	9.5
	85～89歳	(n= 209)	6.2	16.3	24.9	6.7	2.4	9.6	18.7	6.2
	90歳以上	(n= 46)	2.2	4.3	17.4	10.9	0.0	15.2	10.9	6.5
世帯構成	1人暮らし	(n= 806)	7.8	23.7	26.6	11.5	4.3	6.6	21.7	22.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308)	11.1	26.0	30.8	9.7	2.6	6.0	21.9	27.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134)	14.2	26.1	27.6	6.0	3.7	2.2	24.6	42.5
	息子・娘との2世帯	(n= 431)	10.7	24.1	27.4	10.4	3.2	7.9	21.1	30.6
	その他	(n= 577)	8.7	23.4	27.9	10.1	3.6	7.3	18.2	31.4
地区	深川北	(n= 775)	10.6	27.7	33.8	11.2	3.2	10.3	21.4	28.0
	深川南	(n= 712)	9.3	25.7	26.3	9.1	3.1	5.1	19.4	27.4
	亀戸・大島	(n= 868)	9.9	21.5	26.3	9.6	3.8	6.0	19.7	26.2
	砂町	(n= 949)	9.8	23.9	28.9	10.4	3.6	5.2	24.1	29.3
ブロック	深川北	(n= 455)	8.8	27.5	31.2	10.1	3.5	8.4	19.3	27.3
	深川中央	(n= 525)	12.6	28.2	35.6	12.6	4.0	11.0	22.1	28.2
	深川南	(n= 507)	8.3	24.7	23.7	7.9	2.0	3.9	19.7	27.6
	亀戸	(n= 374)	11.0	21.1	27.0	10.4	4.5	8.3	22.2	23.8
	大島	(n= 494)	9.1	21.9	25.7	8.9	3.2	4.3	17.8	27.9
	南砂	(n= 472)	8.7	23.5	28.6	12.9	3.8	4.9	26.1	27.1
	北砂	(n= 477)	10.9	24.3	29.1	8.0	3.4	5.5	22.2	31.4

※数字はすべて「参加している」

② 地域づくりへの参加者としての参加意思

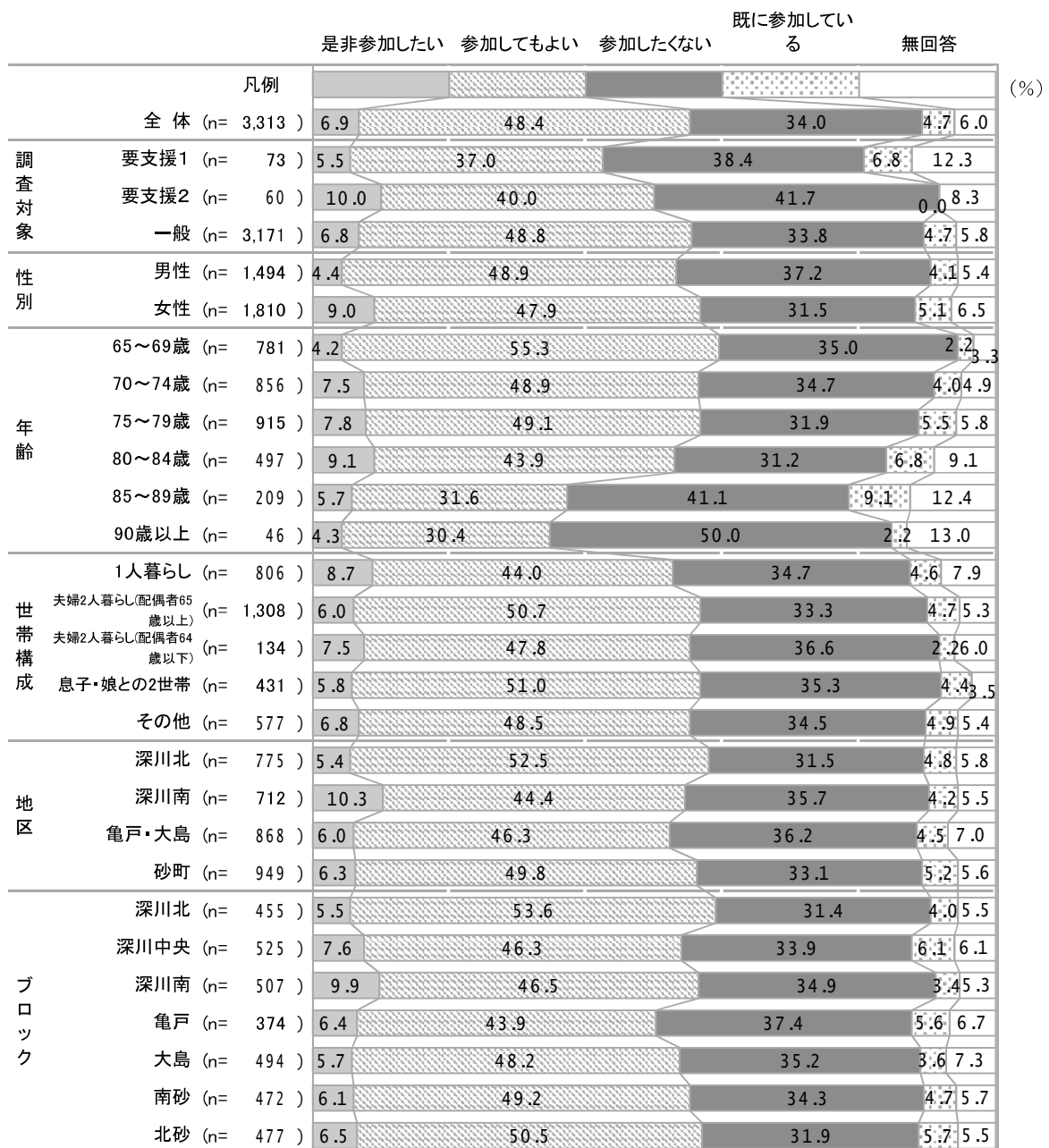
問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (ひとつだけ〇)

地域づくりへの参加者としての参加意思は、「是非参加したい」(6.9%)、「参加してもよい」(48.4%)を合わせた、『参加意思』がある方の割合は全体の5割超である。

調査対象別では、一般の方の『参加意思』は要支援の方と比べやや高い。

年齢別では、全体的に高年齢の方ほど『参加意思』が低くなる。

図表 Ⅱ①-61 地域づくりへの参加者としての参加意思



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

③ 地域づくりへの企画・運営者としての参加意思

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか (ひとつだけ○)

地域づくりへの企画・運営者としての参加意思は、「是非参加したい」(2.7%)、「参加してもよい」(35.6%)を合わせた『参加意思』がある方は全体の4割弱である。

調査対象別で、一般の方や要支援1の方と比べ、要支援2の方の『参加意思』の割合が低い。年齢別でみると、85歳を境に『参加意思』の割合が低くなる。

図表 Ⅱ①-62 地域づくりへの企画・運営者としての参加意思

		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	(%)
凡例							
	全体 (n= 3,313)	2.7	35.6	52.1	3.2	6.3	
調査対象	要支援1 (n= 73)	0.0	39.7	46.6	2.7	11.0	
	要支援2 (n= 60)	5.0	16.7	65.0	3.3	10.0	
	一般 (n= 3,171)	2.8	35.9	52.0	3.2	6.1	
性別	男性 (n= 1,494)	2.4	36.5	52.4	3.5	5.2	
	女性 (n= 1,810)	3.0	34.9	51.9	2.9	7.2	
年齢	65～69歳 (n= 781)	2.2	37.5	54.0	2.6	3.7	
	70～74歳 (n= 856)	3.0	37.1	52.9	2.5	4.4	
	75～79歳 (n= 915)	2.8	36.3	50.3	3.8	6.8	
	80～84歳 (n= 497)	3.6	34.8	46.9	4.2	10.5	
	85～89歳 (n= 209)	1.0	24.4	60.3	3.8	10.5	
	90歳以上 (n= 46)	4.3	21.7	63.0	0.0	10.9	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	2.9	31.9	54.0	2.7	8.6	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	2.4	37.1	51.4	3.4	5.8	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	6.0	35.8	49.3	2.2	6.7	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	2.6	40.4	50.1	3.2	3.7	
	その他 (n= 577)	3.1	34.3	55.1	2.9	4.5	
地区	深川北 (n= 775)	2.1	38.3	50.2	3.1	6.3	
	深川南 (n= 712)	3.2	36.1	51.1	3.2	6.3	
	亀戸・大島 (n= 868)	2.5	32.5	55.2	2.9	6.9	
	砂町 (n= 949)	3.2	35.9	51.7	3.5	5.7	
	深川北 (n= 455)	1.8	39.6	49.7	2.9	6.2	
ブロック	深川中央 (n= 525)	2.7	36.4	51.0	3.6	6.3	
	深川南 (n= 507)	3.4	36.1	51.1	3.0	6.5	
	亀戸 (n= 374)	2.9	31.6	55.1	3.5	7.0	
	大島 (n= 494)	2.2	33.2	55.3	2.4	6.9	
	南砂 (n= 472)	2.8	35.0	53.4	3.2	5.7	
	北砂 (n= 477)	3.6	36.9	50.1	3.8	5.7	

7. たすけあいについて

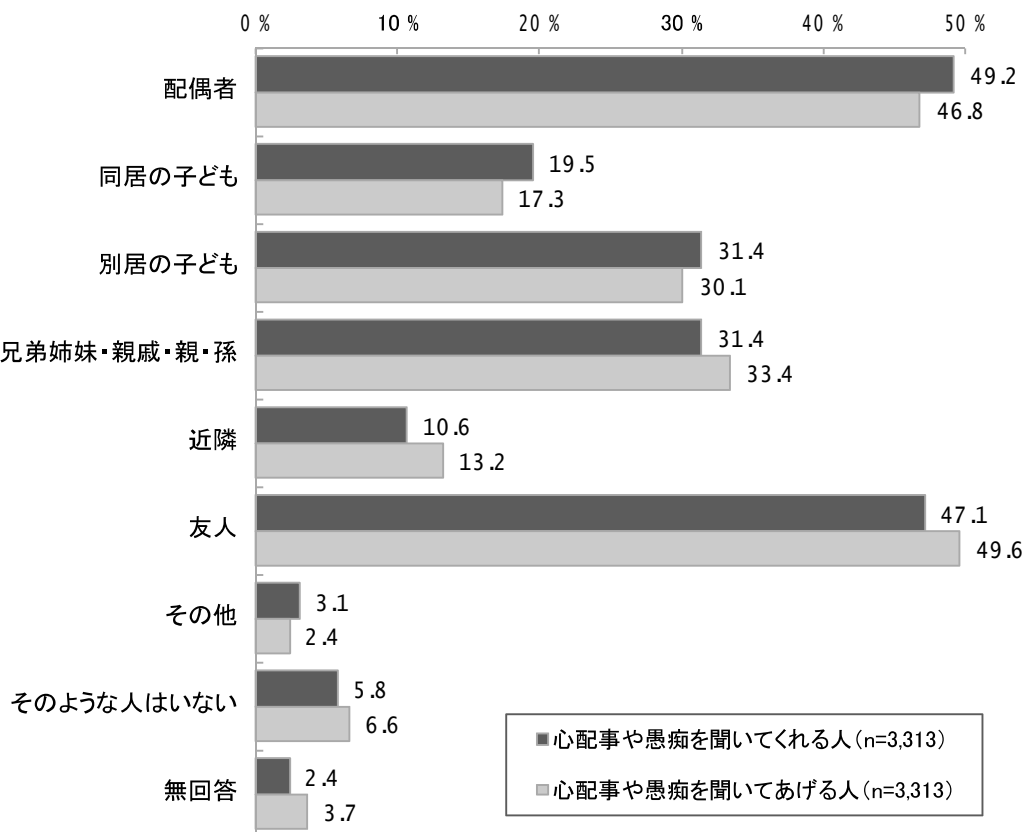
① 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (いくつでも○)
問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (いくつでも○)

心配事や愚痴を聞いてくれる人は「配偶者」(49.2%)、「友人」(47.1%)が全体的に高く、次いで「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(共に31.4%)となっている。

反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人も同様に全体的に「配偶者」(46.8%)と「友人」(49.6%)が多く、次に「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」となっている。

図表 Ⅱ①-63 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人



II 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、調査対象別では、一般の方では「配偶者」や「友人」が多いのに対して要支援の方ではその割合が全体的に低い。

また、世帯構成別でみると、夫婦2人暮らし（配偶者年齢問わず）は、「配偶者」が心配事や愚痴を聞いてくれる割合が高く、一方で1人暮らしの方では、「友人」の割合が高い。

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、調査対象別では、一般の方では「配偶者」や「友人」が多いのに対して要支援の方ではその割合は低くなっており、特に「そのような人はいない」割合が要支援の方では顕著に高い。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者年齢問わず）は、「配偶者」が心配事や愚痴を聞いてくれる割合が高く、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）においては「別居の子ども」の割合も高い。また、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」の割合が高い。一方で、1人暮らしの方では「友人」の割合が比較的高い。

図表 II①-64 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

	(n=)	(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(いくつでも)										(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(いくつでも)										(%)
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・孫・親戚	近隣	友人	その他	いそないような人は	無回答	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・孫・親戚	近隣	友人	その他	いそないような人は	無回答			
全体	(n= 3,313)	49.2	19.5	31.4	31.4	10.6	47.1	3.1	5.8	2.4	46.8	17.3	30.1	33.4	13.2	49.6	2.4	6.6	3.7			
調査対象																						
要支援1	(n= 73)	41.1	15.1	24.7	28.8	5.5	35.6	4.1	4.1	0.0	28.8	11.0	19.2	24.7	11.0	34.2	1.4	12.3	4.1			
要支援2	(n= 60)	41.7	23.3	28.3	30.0	5.0	31.7	6.7	10.0	3.3	40.0	16.7	25.0	23.3	5.0	33.3	1.7	16.7	6.7			
一般	(n= 3,171)	49.6	19.5	31.7	31.4	10.9	47.7	3.1	5.7	2.4	47.5	17.5	30.5	33.8	13.3	50.2	2.5	6.3	3.6			
性別																						
男性	(n= 1,494)	64.5	13.6	21.8	20.6	5.9	33.0	2.7	9.4	2.7	62.7	13.4	23.4	24.0	8.1	36.7	2.3	9.6	4.1			
女性	(n= 1,810)	36.8	24.3	39.4	40.2	14.6	58.7	3.5	2.8	2.2	34.0	20.6	35.7	41.2	17.3	60.2	2.5	4.2	3.3			
年齢																						
65～69歳	(n= 781)	54.3	17.8	31.2	32.9	9.3	56.6	4.1	5.5	1.3	54.0	19.0	33.5	37.0	11.7	58.5	4.5	5.4	1.3			
70～74歳	(n= 856)	54.0	18.7	29.8	33.2	10.3	49.6	1.9	6.2	1.8	51.2	16.5	31.7	36.0	13.2	52.1	1.2	7.4	2.3			
75～79歳	(n= 915)	49.1	18.9	31.6	31.0	12.1	45.6	3.2	5.7	3.1	45.8	16.9	29.1	32.5	15.0	48.7	2.4	5.8	3.8			
80～84歳	(n= 497)	42.3	20.7	35.2	29.6	10.7	39.4	3.8	5.2	3.0	39.8	16.9	27.6	30.6	12.9	42.3	1.6	6.0	7.0			
85～89歳	(n= 209)	35.9	25.4	30.1	26.3	12.4	29.7	3.3	7.2	3.3	32.5	18.2	24.4	23.9	12.4	30.6	1.9	12.0	7.2			
90歳以上	(n= 46)	19.6	32.6	30.4	19.6	2.2	30.4	2.2	4.3	8.7	15.2	15.2	19.6	19.6	6.5	30.4	2.2	15.2	13.0			
世帯構成																						
1人暮らし	(n= 806)	1.2	0.9	33.1	37.7	15.1	53.5	4.3	12.0	4.8	1.2	0.9	26.2	36.2	15.6	55.5	2.2	14.3	6.2			
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308)	80.6	4.0	38.1	26.5	9.6	42.5	2.1	3.9	1.8	75.8	3.7	38.8	30.6	12.4	45.7	1.9	3.5	3.0			
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134)	79.9	8.2	23.9	23.1	3.0	44.8	2.2	3.7	0.7	80.6	11.9	23.9	23.1	9.0	47.0	3.0	3.7	3.0			
息子・娘との2世帯	(n= 431)	47.8	65.4	22.5	31.3	11.1	49.2	1.9	1.9	0.9	44.8	55.9	23.4	34.3	14.2	50.1	1.9	3.0	1.4			
その他	(n= 577)	40.9	47.5	23.1	34.8	8.7	48.4	4.9	4.3	1.2	40.6	42.8	23.1	37.3	12.1	51.3	3.8	6.4	2.8			
地区																						
深川北	(n= 775)	50.5	21.7	31.4	32.5	10.3	49.4	3.2	5.3	2.8	47.4	18.8	29.8	33.3	12.1	51.7	2.5	6.5	3.9			
深川南	(n= 712)	49.6	17.4	31.2	27.7	10.1	42.8	3.9	6.9	2.1	47.9	15.6	29.4	32.6	11.1	45.6	1.8	7.9	3.4			
亀戸・大島	(n= 868)	46.4	19.6	31.1	32.5	11.5	47.4	2.4	5.8	2.4	43.3	16.8	29.8	34.4	14.5	49.5	2.0	6.3	4.4			
砂町	(n= 949)	50.8	19.1	32.1	32.1	10.5	48.2	3.2	5.4	2.2	49.3	17.9	31.3	33.3	14.2	50.7	3.3	6.2	3.1			
ブロック																						
深川北	(n= 455)	50.5	23.3	32.1	32.1	10.3	48.4	3.7	5.5	2.2	46.4	20.0	30.3	33.0	11.0	50.3	2.4	6.6	3.7			
深川中央	(n= 525)	47.4	17.5	29.7	33.3	10.1	48.4	3.4	6.3	3.4	46.9	16.2	30.1	35.4	13.0	52.0	2.5	7.2	4.0			
深川南	(n= 507)	52.3	18.5	32.1	25.2	10.3	42.2	3.6	6.3	1.8	49.5	16.0	28.4	30.4	10.8	44.2	1.6	7.5	3.2			
亀戸	(n= 374)	46.3	20.1	30.7	32.4	12.6	49.5	1.1	7.0	1.6	43.9	16.3	30.2	33.4	16.8	50.3	1.1	6.4	3.5			
大島	(n= 494)	46.6	19.2	31.4	32.6	10.7	45.7	3.4	4.9	3.0	42.9	17.2	29.6	35.2	12.8	49.0	2.6	6.3	5.1			
南砂	(n= 472)	52.3	18.0	31.8	34.1	10.2	49.8	3.8	4.4	1.5	50.8	17.8	32.6	36.2	14.4	51.5	3.6	5.3	2.3			
北砂	(n= 477)	49.3	20.1	32.5	30.2	10.9	46.5	2.5	6.3	2.9	47.8	18.0	30.0	30.4	14.0	49.9	2.9	7.1	3.8			

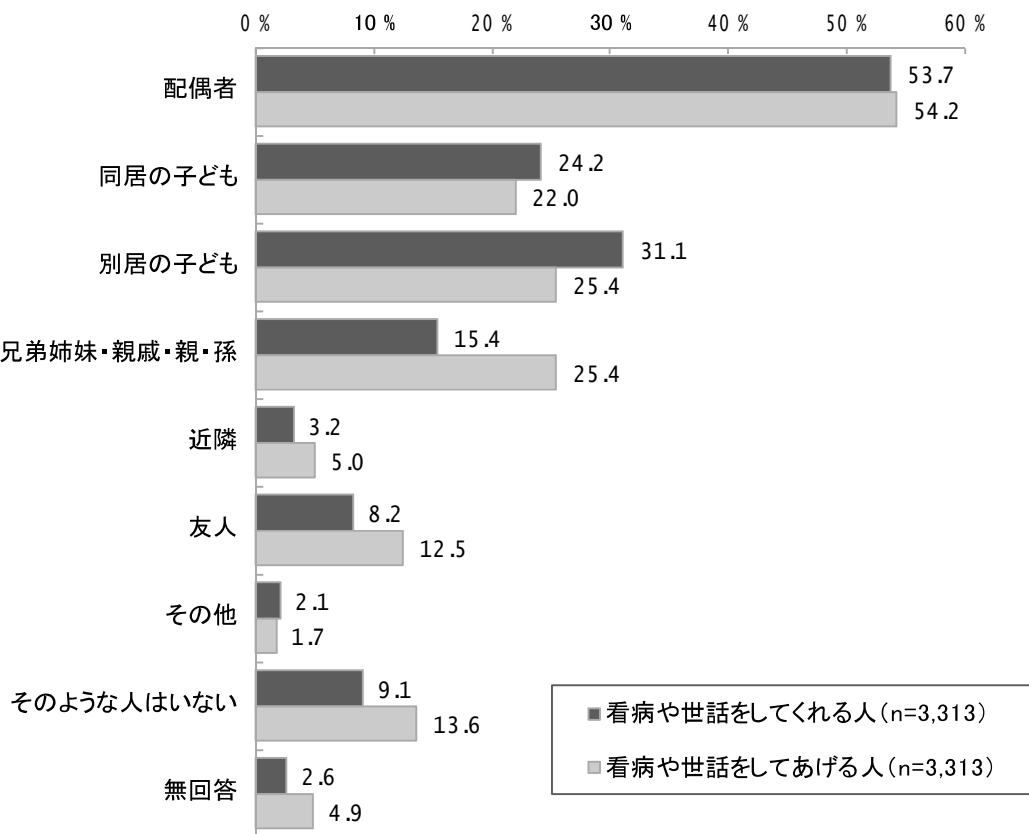
② 看病してくれる人、看病してあげる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも○)
問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも○)

病気で寝込んだときに看病してくれる人がいるかについては、「配偶者」が過半数の 53.7%を占めており、次いで「別居の子ども」(31.1%)、「同居の子ども」(24.2%) などとなっている。

反対に、看病してあげる人についても看病してくれる人と同様に「配偶者」が全体の過半数 54.2%となっており、次いで「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(共に 25.4%) などとなっている。

図表 Ⅱ①-65 看病してくれる人、看病してあげる人



II 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

看病してくれる人について、調査対象別では、一般の方では「配偶者」が多いのに対して要支援の方ではその割合が低い傾向である。

また、世帯構成別でみると、夫婦2人暮らし（配偶者年齢問わず）は、「配偶者」の割合が高く、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」の割合が高い。一方で1人暮らしの方では、他の世帯と比べると「別居の子ども」や「友人」の割合が高いが、「そのような人はいない」割合が顕著に高い。

看病してあげる人について、調査対象別では、一般の方と比べ要支援の方では「配偶者」を看病してあげる割合が低く、「そのような人はいない」割合が高い。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者年齢問わず）で、「配偶者」の割合が高く、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」の割合が高い。一方で、1人暮らしの方では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が他の世帯に比べ高いものの「そのような人はいない」割合も顕著に高い。

図表 II ①-66 看病してくれる人、看病してあげる人

		(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)									(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)										
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・孫・親戚	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	・兄弟姉妹・孫・親戚	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答		
全体	(n= 3,313)	53.7	24.2	31.1	15.4	3.2	8.2	2.1	9.1	2.6	54.2	22.0	25.4	25.4	5.0	12.5	1.7	13.6	4.9	(%)	
調査対象	要支援1	(n= 73)	46.6	21.9	28.8	15.1	1.4	11.0	1.4	8.2	0.0	43.8	12.3	11.0	15.1	2.7	11.0	0.0	30.1	5.5	
	要支援2	(n= 60)	40.0	30.0	28.3	18.3	3.3	10.0	3.3	11.7	3.3	35.0	21.7	10.0	8.3	5.0	5.0	8.3	26.7	15.0	
	一般	(n= 3,171)	54.2	24.1	31.3	15.3	3.2	8.1	2.1	9.0	2.6	54.9	22.2	26.1	26.0	5.1	12.6	1.6	13.0	4.7	
性別	男性	(n= 1,494)	70.1	18.5	23.0	12.1	1.6	5.2	0.7	10.5	2.4	67.2	17.1	17.5	17.8	2.8	7.0	1.1	16.1	4.2	
	女性	(n= 1,810)	40.4	28.8	38.0	18.1	4.5	10.8	3.2	7.8	2.7	43.6	26.1	32.0	31.8	6.9	16.9	2.2	11.6	5.4	
年齢	65～69歳	(n= 781)	61.6	22.5	26.8	15.2	3.5	8.2	1.7	10.0	1.7	59.9	24.1	28.8	32.5	5.1	12.3	1.8	12.3	2.7	
	70～74歳	(n= 856)	58.1	22.3	28.2	16.6	2.8	7.7	1.2	10.0	1.9	58.5	20.7	26.9	28.6	5.0	13.8	1.1	13.1	2.9	
	75～79歳	(n= 915)	53.4	24.4	31.6	17.3	3.4	8.9	2.1	7.5	3.4	55.2	22.0	25.8	26.0	6.0	14.0	1.4	11.1	5.2	
	80～84歳	(n= 497)	45.1	26.2	41.0	11.1	2.8	7.6	3.2	7.8	2.4	45.7	22.1	23.7	17.1	4.2	9.5	2.0	15.5	7.4	
	85～89歳	(n= 209)	37.8	28.7	34.0	14.4	3.3	9.1	3.8	10.0	5.7	40.7	21.1	13.9	8.6	2.9	8.1	3.3	23.4	10.0	
	90歳以上	(n= 46)	17.4	39.1	34.8	8.7	4.3	8.7	6.5	10.9	2.2	17.4	15.2	6.5	4.3	4.3	8.7	6.5	30.4	19.6	
世帯構成	1人暮らし	(n= 806)	1.2	0.9	38.6	25.4	6.2	18.4	3.5	26.9	4.3	1.6	0.9	24.8	31.0	8.7	21.7	2.4	34.1	8.6	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308)	87.9	5.4	36.5	9.3	2.6	5.0	1.1	3.3	2.3	88.3	5.3	32.7	21.6	4.1	9.1	0.7	4.8	3.5	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134)	88.8	11.9	20.9	6.0	0.0	3.0	0.0	3.0	1.5	79.9	11.2	17.9	18.7	0.0	5.2	0.7	7.5	5.2	
	息子・娘との2世帯 その他	(n= 431) (n= 577)	50.8 45.2	79.6 58.4	19.5 20.1	10.9 19.9	2.1 1.9	3.9 6.1	2.1 2.6	0.9 4.7	0.9 1.7	53.8 47.1	70.8 53.6	17.4 17.9	21.1 31.2	3.7 4.5	9.0 11.6	1.4 3.1	9.3 9.0	2.6 4.0	
地区	深川北	(n= 775)	54.1	27.2	31.7	15.4	2.7	8.0	1.9	7.9	3.0	54.8	24.3	24.9	26.6	4.4	13.2	2.1	12.9	4.5	
	深川南	(n= 712)	55.1	21.2	31.9	13.9	3.7	7.7	1.4	9.1	2.5	54.2	19.4	24.3	22.6	6.0	11.4	1.1	15.3	4.9	
	亀戸・大島	(n= 868)	50.5	24.2	31.0	17.1	2.9	9.4	2.4	9.0	3.1	50.6	22.1	25.6	26.8	4.3	12.7	1.5	13.8	5.5	
	砂町	(n= 949)	55.7	23.8	30.3	15.0	3.5	7.7	2.4	9.9	1.8	57.3	22.0	26.7	25.5	5.6	12.3	2.0	12.8	4.5	
ブロック	深川北	(n= 455)	54.9	29.9	31.2	15.2	2.6	7.9	2.2	6.8	2.6	56.5	24.8	24.4	25.3	4.4	13.8	2.6	12.7	3.5	
	深川中央	(n= 525)	51.0	22.3	32.2	17.0	2.9	9.0	1.5	9.5	3.4	51.0	21.1	25.1	27.2	5.0	12.2	1.3	15.2	5.7	
	深川南	(n= 507)	57.8	21.5	32.0	11.8	3.9	6.7	1.4	8.9	2.2	56.4	20.1	24.3	21.5	6.1	11.0	1.0	14.0	4.7	
	亀戸	(n= 374)	51.1	24.3	29.1	17.9	2.9	10.2	3.2	9.4	2.9	52.1	24.1	26.7	27.3	5.1	10.4	1.3	14.4	5.3	
	大島	(n= 494)	50.0	24.1	32.4	16.4	2.8	8.9	1.8	8.7	3.2	49.4	20.6	24.7	26.5	3.6	14.4	1.6	13.4	5.7	
	南砂	(n= 472)	56.6	21.8	30.5	14.6	3.6	8.3	1.9	10.6	1.3	58.3	21.4	27.8	26.7	6.4	13.1	1.5	11.9	4.4	
北砂	(n= 477)	54.9	25.8	30.2	15.3	3.4	7.1	2.9	9.2	2.3	56.4	22.6	25.6	24.3	4.8	11.5	2.5	13.6	4.6		

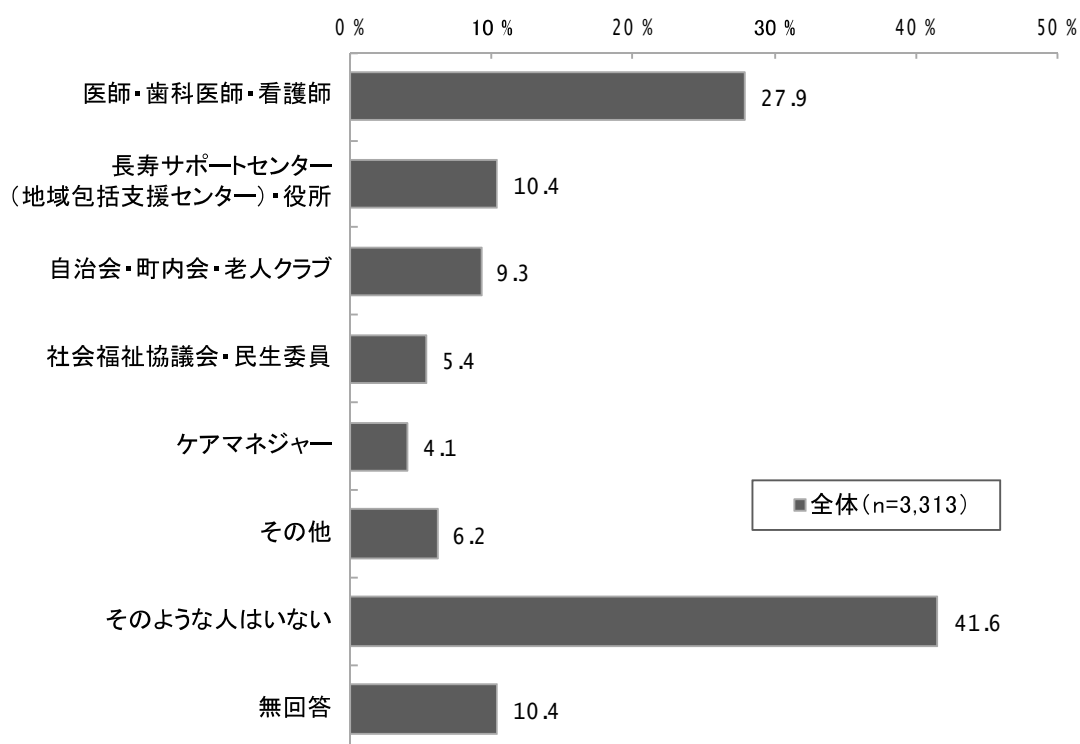
③ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも○)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」が全体の約4割(41.6%)となっている。

相談する相手がいる方の相談相手として最も割合が多いのは「医師・歯科医師・看護師」が27.9%で、次いで「長寿サポートセンター・役所」が10.4%などとなっている。

図表 Ⅱ①-67 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、調査対象別では、要支援の方は「長寿サポートセンター・役所」が4割以上で、次いで「ケアマネジャー」となっている。

世帯構成別では、息子・娘との2世帯で「医師・歯科医師・看護師」の割合が他の世帯に比べ、やや高い。

図表 Ⅱ①-68 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手

		医師・ 歯科医師・ 看護師	長寿サ ポートセ ンター （地域 包括支 援セン ター） ・役所	自治会 ・町内 会・老 人クラ ブ	社会福 祉協 議会 ・民生 委員	ケア マネ ジャー	その他	その よう な人 はい ない	無 回 答	(%)
	全 体	(n= 3,313)	27.9	10.4	9.3	5.4	4.1	6.2	41.6	10.4
調 査 対 象	要支援1	(n= 73)	26.0	43.8	2.7	2.7	23.3	1.4	15.1	12.3
	要支援2	(n= 60)	21.7	40.0	1.7	10.0	36.7	5.0	16.7	13.3
	一般	(n= 3,171)	28.1	9.1	9.6	5.4	3.0	6.3	42.6	10.2
性 別	男性	(n= 1,494)	28.7	7.9	10.6	4.8	3.5	7.6	42.9	8.4
	女性	(n= 1,810)	27.2	12.4	8.2	6.0	4.6	5.0	40.4	11.9
年 齢	65～69歳	(n= 781)	25.9	7.6	6.7	3.3	3.6	8.6	50.4	6.5
	70～74歳	(n= 856)	29.1	10.2	7.0	4.8	3.9	6.3	43.6	8.6
	75～79歳	(n= 915)	26.4	11.8	11.0	6.0	3.5	6.0	39.9	11.0
	80～84歳	(n= 497)	30.4	12.1	13.1	8.0	5.2	4.2	32.6	14.3
	85～89歳	(n= 209)	31.6	12.0	12.0	6.7	6.2	2.4	30.6	16.7
	90歳以上	(n= 46)	26.1	8.7	8.7	6.5	6.5	6.5	30.4	21.7
世 帯 構 成	1人暮らし	(n= 806)	22.5	12.3	9.1	7.1	3.6	6.1	43.7	11.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308)	29.6	10.2	9.6	4.6	4.6	4.8	41.1	10.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134)	32.1	9.7	9.7	5.2	4.5	10.4	42.5	5.2
	息子・娘との2世帯	(n= 431)	33.6	9.0	10.0	5.1	3.5	5.6	39.2	8.8
	その他	(n= 577)	26.7	9.0	7.8	4.9	4.3	9.0	42.5	10.9
地 区	深川北	(n= 775)	29.5	10.3	11.1	5.0	4.8	7.0	37.8	9.9
	深川南	(n= 712)	27.2	9.0	6.3	4.1	3.5	5.6	45.9	9.6
	亀戸・大島	(n= 868)	27.9	11.1	10.5	5.9	4.4	6.3	40.3	12.1
	砂町	(n= 949)	27.1	10.9	9.0	6.3	3.7	5.9	42.4	9.7
ブ ロ ック	深川北	(n= 455)	25.7	10.3	9.7	4.6	5.1	6.6	40.0	10.5
	深川中央	(n= 525)	33.1	10.9	10.7	5.5	4.2	7.0	36.8	9.0
	深川南	(n= 507)	26.0	7.9	6.1	3.6	3.4	5.3	48.3	9.9
	亀戸	(n= 374)	26.7	11.8	11.2	5.9	6.1	6.4	42.2	9.9
	大島	(n= 494)	28.7	10.5	9.9	5.9	3.0	6.3	38.9	13.8
	南砂	(n= 472)	27.8	11.9	10.0	7.0	4.4	6.4	42.2	8.1
	北砂	(n= 477)	26.4	9.9	8.0	5.7	2.9	5.5	42.6	11.3

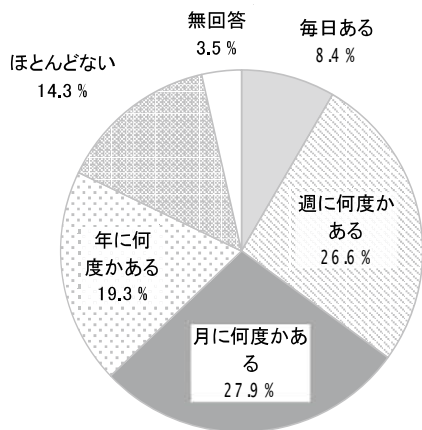
④ 友人・知人と会う頻度、この1か月間に会った友人・知人の数

問6	(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか	(ひとつだけ○)
問6	(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします	(ひとつだけ○)
問6	(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか	(いくつでも○)

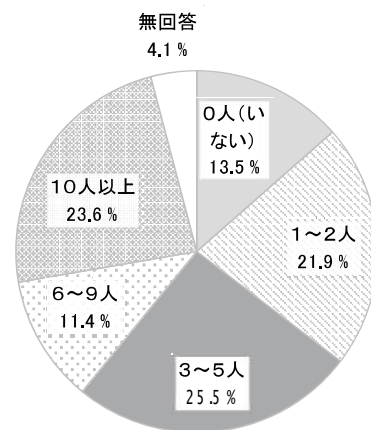
友人・知人と会う頻度、「毎日ある」(8.4%)、「週に何度かある」(26.6%)、「月に何度かある」(27.9%)、「年に何度かある」(19.3%)、「ほとんどない」(14.3%)となっている。

この1か月間に会った友人・知人の数は、「0人(いない)」(13.5%)、「1～2人」(21.9%)、「3～5人」(25.5%)、「6～9人」(11.4%)、「10人以上」(23.6%)となっている。

図表 Ⅱ①-69 (左) 友人・知人と会う頻度、(右) この1か月間に会った友人・知人の数



(全体:n=3,313)



(全体:n=3,313)

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

友人・知人と会う頻度について、調査対象別で見ると、要支援の方では「ほとんどない」割合が一般の方と比べて高い傾向がある。

この1か月間に会った友人・知人の数については、一般の方と比べると要支援の方では「0人（いない）」割合が高く、「10人以上」の割合が低い。

図表 Ⅱ①-70 友人・知人と会う頻度、この1か月間に会った友人・知人の数

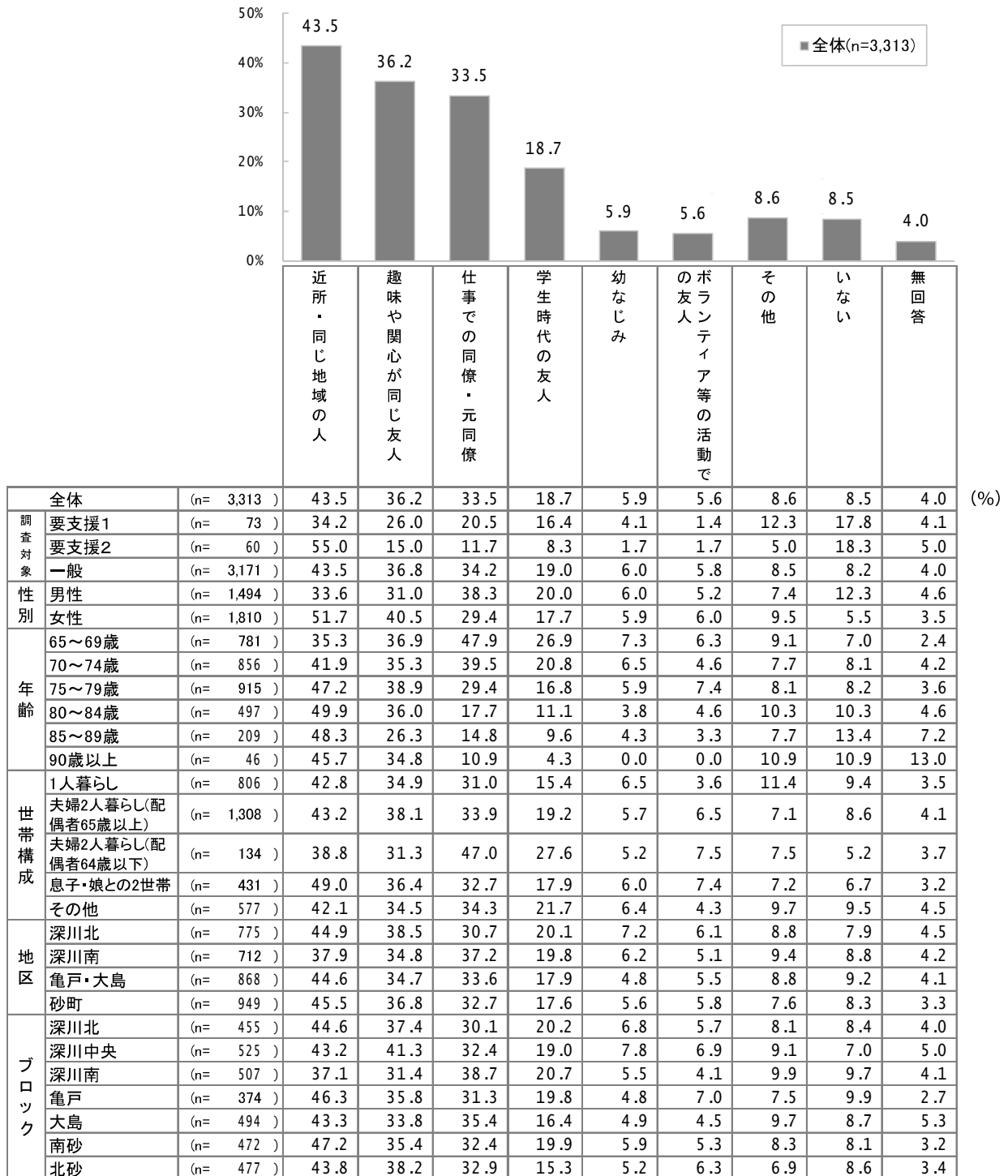
		(6) 友人・知人と会う頻度						(7) この1か月間に会った友人・知人の数						
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答	
全体	(n= 3,313)	8.4	26.6	27.9	19.3	14.3	3.5	13.5	21.9	25.5	11.4	23.6	4.1	(%)
調査対象	要支援1	(n= 73)	1.4	20.5	26.0	21.9	26.0	4.1	24.7	28.8	17.8	9.6	13.7	5.5
	要支援2	(n= 60)	10.0	16.7	25.0	13.3	30.0	5.0	20.0	26.7	35.0	8.3	8.3	1.7
	一般	(n= 3,171)	8.5	26.9	28.0	19.3	13.8	3.5	13.2	21.7	25.4	11.5	24.2	4.1
性別	男性	(n= 1,494)	8.2	21.3	24.7	23.4	18.7	3.7	18.9	22.2	23.2	8.8	22.6	4.3
	女性	(n= 1,810)	8.6	31.0	30.5	15.7	10.8	3.3	9.2	21.7	27.2	13.5	24.5	3.9
年齢	65～69歳	(n= 781)	7.9	25.9	28.7	24.1	11.9	1.5	14.0	20.6	23.2	11.3	28.9	2.0
	70～74歳	(n= 856)	8.4	24.3	28.9	21.5	13.6	3.4	13.4	23.2	23.9	11.9	23.0	4.4
	75～79歳	(n= 915)	8.7	29.2	28.2	17.2	13.8	3.0	12.6	22.5	25.7	11.4	23.6	4.3
	80～84歳	(n= 497)	8.5	27.0	27.6	15.3	16.9	4.8	14.3	18.9	30.0	12.1	20.7	4.0
	85～89歳	(n= 209)	8.1	26.8	23.4	11.5	22.0	8.1	15.3	26.3	27.8	9.1	15.3	6.2
	90歳以上	(n= 46)	10.9	26.1	13.0	13.0	21.7	15.2	13.0	19.6	26.1	8.7	15.2	17.4
世帯構成	1人暮らし	(n= 806)	8.4	28.5	28.4	16.3	14.5	3.8	13.3	21.5	27.9	11.0	21.1	5.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308)	7.9	24.8	28.9	21.4	13.6	3.4	14.1	20.8	24.5	12.6	24.1	3.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134)	9.7	26.1	26.1	19.4	16.4	2.2	13.4	21.6	22.4	10.4	27.6	4.5
	息子・娘との2世帯 その他	(n= 431) (n= 577)	9.0 8.5	30.6 24.3	25.3 28.1	17.4 21.0	15.8 14.4	1.9 3.8	13.9 12.8	20.0 26.2	28.1 23.1	11.1 9.9	24.8 24.4	2.1 3.6
地区	深川北	(n= 775)	8.3	26.7	28.9	18.7	13.7	3.7	11.9	21.4	26.1	11.2	25.5	3.9
	深川南	(n= 712)	7.3	24.3	28.5	21.2	15.2	3.5	15.2	20.4	25.1	12.5	22.6	4.2
	亀戸・大島	(n= 868)	10.0	26.0	28.2	16.9	15.3	3.5	15.6	22.1	24.5	10.8	22.2	4.7
	砂町	(n= 949)	7.9	28.8	26.2	20.2	13.5	3.4	11.9	23.3	25.9	11.3	24.1	3.5
ブロック	深川北	(n= 455)	7.5	29.7	27.5	17.4	14.5	3.5	12.3	19.8	26.6	11.9	25.9	3.5
	深川中央	(n= 525)	8.4	23.8	32.2	19.2	12.6	3.8	12.2	21.5	25.5	11.8	24.6	4.4
	深川南	(n= 507)	7.5	23.7	26.2	22.9	16.2	3.6	15.8	21.3	24.9	11.8	22.1	4.1
	亀戸	(n= 374)	8.8	25.4	30.7	16.6	16.0	2.4	16.3	23.8	24.1	11.8	20.9	3.2
	大島	(n= 494)	10.9	26.5	26.3	17.2	14.8	4.3	15.0	20.9	24.9	10.1	23.3	5.9
	南砂 北砂	(n= 472) (n= 477)	7.2 8.6	29.2 28.3	27.5 24.9	19.9 20.5	12.5 14.5	3.6 3.1	11.4 12.4	20.6 26.0	25.6 26.2	13.3 9.2	25.6 22.6	3.4 3.6

よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が全体で 43.5%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(36.2%)、「仕事での同僚・元同僚」(33.5%) などとなっている。

調査対象別でみると、一般の方は要支援の方と比べると「趣味や関心が同じ友人」、「仕事での同僚・元同僚」の割合が高い。

性別では、男性は「仕事での同僚・元同僚」が、女性は「近所・同じ地域の人」が最も高くなっている。

図表 Ⅱ①-71 よく会う友人・知人との関係



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

8. 健康について

① 現在の健康状態

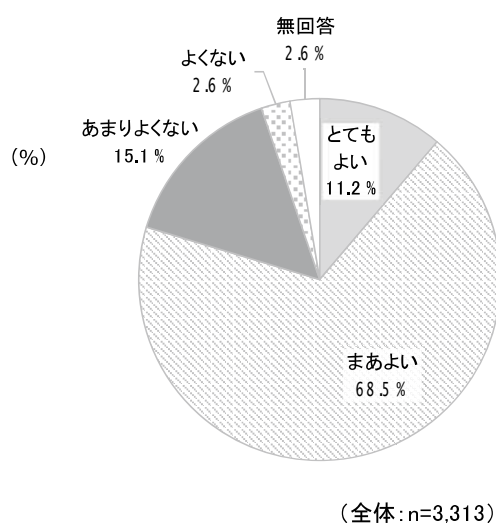
問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (ひとつだけ○)

現在の健康状態は、「とてもよい」が 11.2%であり、「まあよい」(68.5%) を合わせた、健康状態が『よい』方は全体の8割近い。

調査対象別でみると、一般の方と比べると健康状態が『よい』割合は要支援の方が低く、特に要支援2の方では「あまりよくない」が 45.0% 「よくない」 11.7%を合わせた『よくない』が約6割である。

図表 Ⅱ①-72 現在の健康状態

		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	(n= 3,313)	11.2	68.5	15.1	2.6	2.6
調査対象	要支援1	(n= 73) 1.4	60.3	26.0	9.6	2.7
	要支援2	(n= 60) 5.0	35.0	45.0	11.7	3.3
	一般	(n= 3,171) 11.6	69.3	14.2	2.3	2.6
性別	男性	(n= 1,494) 11.5	66.1	16.3	2.9	3.1
	女性	(n= 1,810) 11.0	70.5	13.9	2.4	2.2
年齢	65～69歳	(n= 781) 13.7	71.8	11.9	1.2	1.4
	70～74歳	(n= 856) 10.6	69.7	13.3	3.4	2.9
	75～79歳	(n= 915) 11.9	67.8	15.4	2.2	2.7
	80～84歳	(n= 497) 9.7	66.4	18.1	3.4	2.4
	85～89歳	(n= 209) 7.2	59.3	24.4	4.8	4.3
	90歳以上	(n= 46) 4.3	69.6	13.0	2.2	10.9
世帯構成	1人暮らし	(n= 806) 10.3	68.0	16.0	2.4	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308) 11.2	69.7	14.4	2.4	2.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134) 18.7	60.4	15.7	3.0	2.2
	息子・娘との2世帯	(n= 431) 10.9	70.8	14.4	2.1	1.9
地区	その他	(n= 577) 11.3	67.4	15.6	3.1	2.6
	深川北	(n= 775) 11.4	70.7	13.3	1.7	3.0
	深川南	(n= 712) 12.6	66.4	15.0	3.4	2.5
	亀戸・大島	(n= 868) 10.3	69.2	15.7	2.3	2.5
ブロック	砂町	(n= 949) 11.1	67.7	15.7	3.1	2.5
	深川北	(n= 455) 9.9	73.0	13.0	1.3	2.9
	深川中央	(n= 525) 12.2	68.0	14.1	2.9	2.9
	深川南	(n= 507) 13.6	65.5	15.2	3.2	2.6
	亀戸	(n= 374) 10.4	70.3	14.7	2.1	2.4
	大島	(n= 494) 10.1	68.4	16.4	2.4	2.6
	南砂	(n= 472) 11.4	67.6	14.6	3.6	2.8
北砂	(n= 477) 10.7	67.7	16.8	2.5	2.3	



② 現在の幸せの程度

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

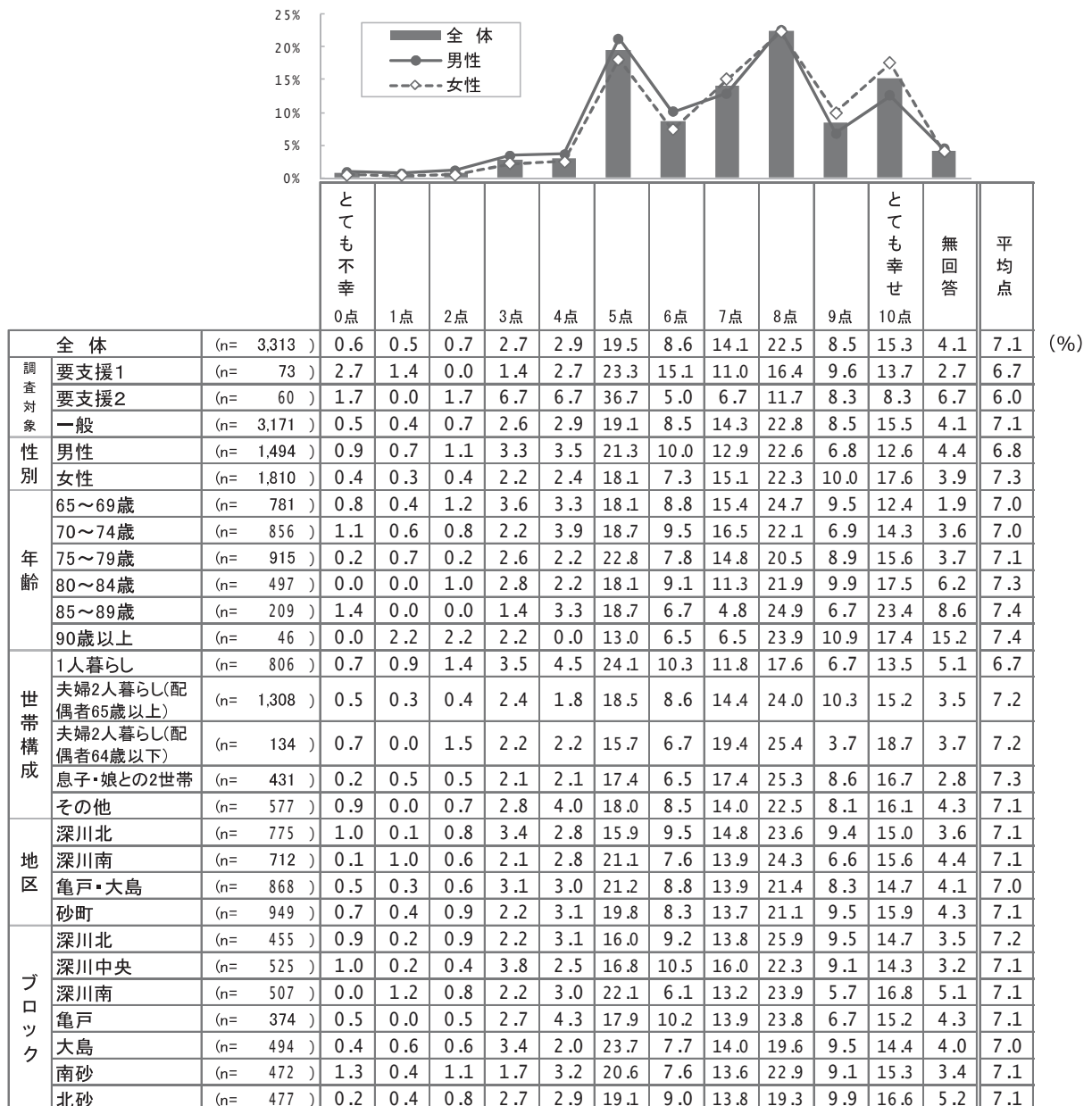
(ひとつだけ〇)

現在の幸せの程度については、10点満点の全体の平均点は7.1点である。8点以上の割合は全体の4割超(46.3%)となっている。

調査対象別にみると、幸福度の平均点は一般の方と比べると要支援の方で低く、特に要支援2の方では平均点が6.0点となっている。

点数評価の分布をみると、全体としては5点、8点の二峰性となっている。また9点、10点では、性別による差がみられ、男性に比べると女性の方が幸福度の評価は高い。

図表 Ⅱ①-73 現在の幸せの程度



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

③ この1か月間、気分が沈んだりすることがあったか

問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあり
 ましたか (ひとつだけ○)

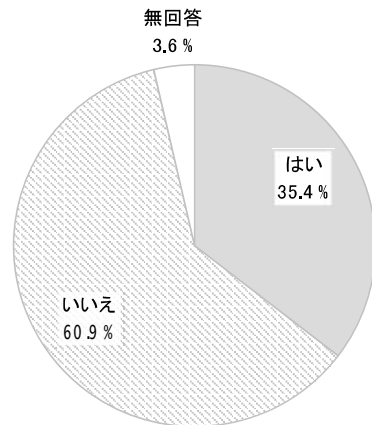
1か月間、気分が沈んだりすることがあったかについては、「はい」＝「気分が沈んだりすることがあった」が全体の35.4%となっている。

調査対象別で見ると、一般の方や要支援1の方と比べ、要支援2の方で「はい」＝「気分が沈んだりすることがあった」割合が高い。

図表 Ⅱ①-74 1か月間、気分が沈んだりすることがあったか

		はい	いいえ	無回答
全体		(n= 3,313) 35.4	60.9	3.6
調査対象	要支援1	(n= 73) 38.4	57.5	4.1
	要支援2	(n= 60) 55.0	41.7	3.3
	一般	(n= 3,171) 34.9	61.5	3.6
性別	男性	(n= 1,494) 32.0	64.1	3.9
	女性	(n= 1,810) 38.2	58.5	3.4
年齢	65～69歳	(n= 781) 38.2	60.2	1.7
	70～74歳	(n= 856) 35.2	60.7	4.1
	75～79歳	(n= 915) 35.2	61.5	3.3
	80～84歳	(n= 497) 33.2	62.4	4.4
	85～89歳	(n= 209) 32.1	60.8	7.2
	90歳以上	(n= 46) 34.8	56.5	8.7
世帯構成	1人暮らし	(n= 806) 38.2	57.7	4.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308) 34.5	62.1	3.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134) 31.3	65.7	3.0
	息子・娘との2世帯	(n= 431) 35.5	62.4	2.1
	その他	(n= 577) 34.8	61.2	4.0
地区	深川北	(n= 775) 34.2	62.3	3.5
	深川南	(n= 712) 34.8	61.8	3.4
	亀戸・大島	(n= 868) 35.8	59.9	4.3
	砂町	(n= 949) 36.4	60.4	3.3
ブロック	深川北	(n= 455) 33.2	63.5	3.3
	深川中央	(n= 525) 37.5	59.2	3.2
	深川南	(n= 507) 32.5	63.7	3.7
	亀戸	(n= 374) 35.0	61.5	3.5
	大島	(n= 494) 36.4	58.7	4.9
	南砂	(n= 472) 36.4	60.6	3.0
北砂	(n= 477) 36.3	60.2	3.6	

(%)



(全体:n=3,313)

④ この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかないことなどがあったか

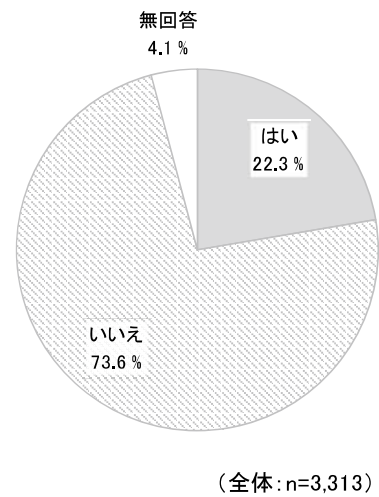
問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (ひとつだけ○)

1か月間、どうしても物事に対して興味がわかないことなどがあったかについては、「はい」＝「興味がわかないことがあった」が全体の22.3%であり、「いいえ」は73.6%となっている。

調査対象別でみると、一般の方や要支援1の方と比べ、要支援2の方で「はい」＝「興味がわかないことがあった」割合が高い。

図表Ⅱ①-75 1か月間、どうしても物事に対して興味がわかないことなどがあったか

		はい	いいえ	無回答	(%)
全体		(n= 3,313)	22.3	73.6	4.1
調査対象	要支援1	(n= 73)	24.7	71.2	4.1
	要支援2	(n= 60)	45.0	53.3	1.7
	一般	(n= 3,171)	21.8	74.1	4.2
性別	男性	(n= 1,494)	23.0	71.9	5.1
	女性	(n= 1,810)	21.6	75.1	3.3
年齢	65～69歳	(n= 781)	22.3	75.9	1.8
	70～74歳	(n= 856)	22.7	73.1	4.2
	75～79歳	(n= 915)	21.4	75.1	3.5
	80～84歳	(n= 497)	21.5	72.8	5.6
	85～89歳	(n= 209)	25.8	65.1	9.1
世帯構成	90歳以上	(n= 46)	21.7	63.0	15.2
	1人暮らし	(n= 806)	24.2	70.7	5.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308)	21.2	74.8	4.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134)	19.4	78.4	2.2
	息子・娘との2世帯	(n= 431)	22.7	74.0	3.2
地区	その他	(n= 577)	22.7	73.5	3.8
	深川北	(n= 775)	22.6	73.5	3.9
	深川南	(n= 712)	22.6	73.2	4.2
	亀戸・大島	(n= 868)	22.9	72.8	4.3
	砂町	(n= 949)	21.1	74.8	4.1
ブロック	深川北	(n= 455)	19.6	76.0	4.4
	深川中央	(n= 525)	25.7	70.9	3.4
	深川南	(n= 507)	22.1	73.6	4.3
	亀戸	(n= 374)	23.5	72.5	4.0
	大島	(n= 494)	22.5	73.1	4.5
	南砂	(n= 472)	19.5	76.5	4.0
	北砂	(n= 477)	22.6	73.2	4.2



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

⑤ 飲酒習慣、喫煙習慣

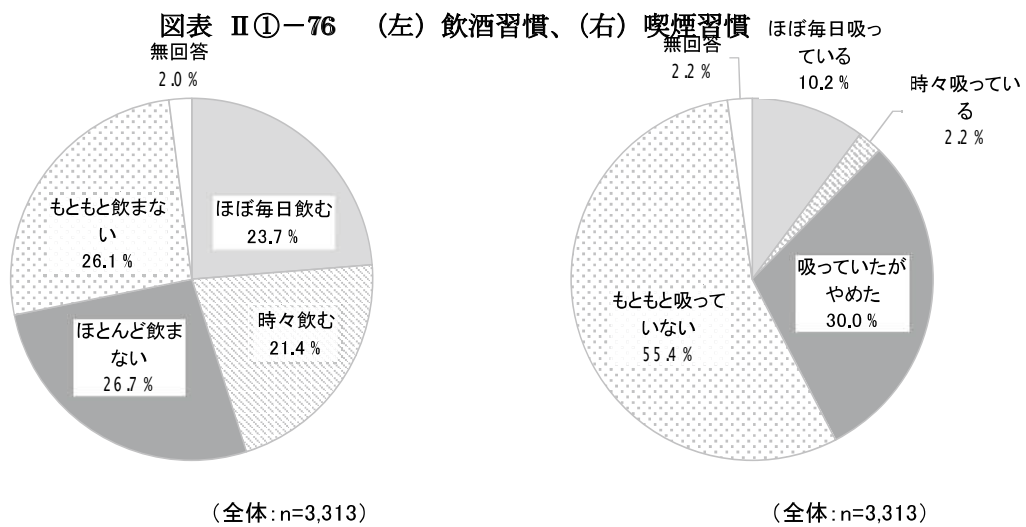
問7 (5) お酒は飲みますか (ひとつだけ〇)
 問7 (6) タバコは吸っていますか (ひとつだけ〇)

飲酒習慣は、「ほぼ毎日飲む」(23.7%)、「時々飲む」(21.4%)、「ほとんど飲まない」(26.7%)、「もともと飲まない」(26.1%) となっている。

性別でみると、女性と比べ男性で「ほぼ毎日飲む」割合が高く、38.8%となっている。

喫煙習慣は、「ほぼ毎日吸っている」(10.2%)、「時々吸っている」(2.2%) を合わせた全体の喫煙率は12.4%である。

性別でみると、女性と比べ男性の喫煙率が高い。



		(5) 飲酒習慣					(6) 喫煙習慣					(%)
		ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答	
全体	(n= 3,313)	23.7	21.4	26.7	26.1	2.0	10.2	2.2	30.0	55.4	2.2	
調査対象	要支援1	(n= 73)	19.2	13.7	31.5	35.6	0.0	4.1	1.4	32.9	61.6	0.0
	要支援2	(n= 60)	8.3	20.0	36.7	35.0	0.0	5.0	1.7	30.0	63.3	0.0
	一般	(n= 3,171)	24.1	21.6	26.4	25.7	2.1	10.5	2.2	30.0	55.1	2.3
	性別											
男性	(n= 1,494)	38.8	20.9	23.8	13.7	2.8	16.9	2.9	51.5	26.0	2.7	
女性	(n= 1,810)	11.3	21.8	29.1	36.4	1.4	4.8	1.5	12.4	79.6	1.8	
年齢	65~69歳	(n= 781)	31.2	23.0	22.9	21.5	1.3	15.7	2.9	30.0	50.3	1.0
	70~74歳	(n= 856)	25.4	23.1	24.6	24.5	2.3	11.9	2.5	31.9	51.4	2.3
	75~79歳	(n= 915)	21.3	20.4	29.4	27.2	1.6	9.1	1.5	31.5	56.3	1.6
	80~84歳	(n= 497)	18.9	19.7	28.2	31.4	1.8	4.6	2.0	27.2	63.0	3.2
	85~89歳	(n= 209)	14.4	18.7	30.6	31.6	4.8	3.3	1.4	23.4	67.0	4.8
	90歳以上	(n= 46)	8.7	10.9	43.5	30.4	6.5	0.0	0.0	30.4	60.9	8.7
世帯構成	1人暮らし	(n= 806)	17.0	26.2	27.3	27.4	2.1	10.2	3.2	25.8	58.7	2.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 1,308)	29.2	19.2	24.5	25.0	2.1	10.9	1.9	34.1	50.9	2.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 134)	38.1	17.9	23.9	17.9	2.2	15.7	0.0	41.8	40.3	2.2
	息子・娘との2世帯	(n= 431)	18.8	21.6	29.5	29.0	1.2	6.5	2.3	31.8	57.3	2.1
	その他	(n= 577)	21.3	19.9	29.6	27.2	1.9	10.4	1.9	22.7	62.9	2.1
地区	深川北	(n= 775)	25.2	22.3	25.4	24.8	2.3	9.3	2.6	29.5	56.1	2.5
	深川南	(n= 712)	24.2	20.9	28.1	25.3	1.5	9.3	2.7	31.2	55.3	1.5
	亀戸・大島	(n= 868)	21.2	20.6	28.2	28.0	2.0	10.9	1.8	31.1	53.8	2.3
	砂町	(n= 949)	24.6	21.7	25.4	26.1	2.2	11.1	1.7	28.7	56.2	2.4
ブロック	深川北	(n= 455)	24.0	24.0	25.9	24.2	2.0	9.9	3.1	28.4	56.5	2.2
	深川中央	(n= 525)	25.9	20.0	26.9	25.1	2.1	8.4	1.9	31.8	55.6	2.3
	深川南	(n= 507)	24.1	21.3	27.2	25.6	1.8	9.7	3.0	30.6	55.2	1.6
	亀戸	(n= 374)	22.5	19.8	26.5	29.4	1.9	11.2	2.4	32.1	52.1	2.1
	大島	(n= 494)	20.2	21.3	29.6	26.9	2.0	10.7	1.4	30.4	55.1	2.4
	南砂	(n= 472)	22.9	22.7	25.8	26.3	2.3	10.8	1.5	27.3	57.6	2.8
北砂	(n= 477)	26.2	20.8	24.9	26.0	2.1	11.3	1.9	30.0	54.7	2.1	

⑥ 現在治療中、または後遺症のある病気

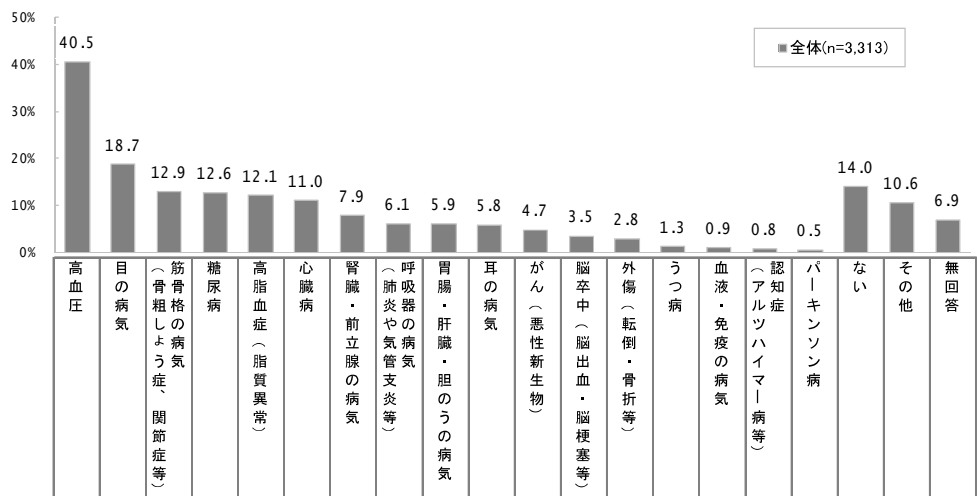
問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも○)

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が全体 40.5%で最も高く、次いで「目の病気」(18.7%)、「筋骨格の病気」(12.9%) などとなっている。

調査対象別でみると、要支援1, 2の方では、一般の方に比べると「高血圧」症状の割合は低い、「目の病気」や「筋骨格の病気」、「糖尿病」などの割合が高い。

年齢別でみると、「高血圧」は80~84歳で高い。

図表 II①-77 現在治療中、または後遺症のある病気



調査対象	人数 (n)	高血圧	目の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	耳の病気	がん (悪性新生物)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	外傷 (転倒・骨折等)	うつ病	血液・免疫の病気	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	ない	その他	無回答	
全体	3,313	40.5	18.7	12.9	12.6	12.1	11.0	7.9	6.1	5.9	5.8	4.7	3.5	2.8	1.3	0.9	0.8	0.5	14.0	10.6	6.9	
調査対象																						
要支援1	73	38.4	20.5	23.3	17.8	8.2	20.5	9.6	9.6	8.2	8.2	11.0	9.6	6.8	4.1	4.1	2.7	5.5	1.4	15.1	4.1	
要支援2	60	30.0	23.3	31.7	21.7	10.0	16.7	8.3	13.3	6.7	5.0	11.7	20.0	6.7	3.3	3.3	1.7	3.3	5.0	18.3	5.0	
一般	3,171	40.8	18.5	12.2	12.3	12.2	10.6	7.9	5.8	5.9	5.8	4.4	3.0	2.7	1.2	0.8	0.7	0.3	14.5	10.3	6.9	
性別																						
男性	1,494	42.7	15.7	5.1	17.2	9.0	15.3	15.2	6.8	6.7	5.5	4.9	4.6	2.2	0.7	0.7	0.9	0.5	14.1	9.2	6.2	
女性	1,810	38.7	21.1	19.2	8.8	14.6	7.3	1.9	5.5	5.4	6.1	4.5	2.5	3.4	1.8	1.0	0.6	0.4	14.0	11.8	7.3	
年齢																						
65~69歳	781	32.5	12.3	7.2	11.8	15.0	7.7	4.6	4.2	4.6	3.8	4.9	2.4	2.2	0.9	0.6	0.4	0.1	22.4	10.5	6.3	
70~74歳	856	39.0	17.5	10.2	13.2	13.9	9.5	7.4	6.2	6.3	4.2	6.1	4.8	2.5	2.3	0.7	0.4	0.8	14.3	11.4	8.1	
75~79歳	915	42.0	22.2	14.5	13.3	10.6	10.9	8.2	6.4	6.9	6.8	3.5	3.4	2.3	0.5	1.2	0.9	0.5	12.0	10.3	6.2	
80~84歳	497	50.1	22.7	16.9	12.9	10.5	14.5	11.5	7.4	5.6	8.5	4.6	3.0	4.2	1.6	1.0	2.0	0.6	7.6	10.9	7.0	
85~89歳	209	48.8	22.0	25.8	9.6	5.7	17.7	13.4	6.7	6.2	8.1	3.8	3.8	5.3	1.0	1.4	0.5	0.0	7.7	8.1	5.3	
90歳以上	46	34.8	17.4	21.7	13.0	4.3	23.9	6.5	8.7	6.5	10.9	2.2	2.2	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	10.9	8.7	
世帯構成																						
1人暮らし	806	41.2	19.1	15.1	11.2	10.4	12.2	5.8	5.6	5.8	7.4	3.8	3.3	3.3	1.4	1.0	0.5	0.5	12.8	12.2	8.1	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	1,308	41.4	17.4	10.7	13.0	12.5	11.2	10.0	5.6	5.6	5.3	4.8	4.0	2.8	0.9	0.9	0.9	0.6	14.0	8.3	6.2	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	134	45.5	17.2	6.0	17.2	10.4	12.7	8.2	10.4	4.5	7.5	4.5	5.2	2.2	1.5	0.7	0.7	0.0	12.7	15.7	5.2	
息子・娘との2世帯	431	40.4	20.6	14.8	13.5	15.1	10.0	7.0	4.4	7.0	5.6	4.6	3.9	2.8	1.2	0.7	1.2	0.0	14.8	8.8	6.0	
その他	577	36.9	19.6	14.4	12.1	12.3	9.4	6.6	8.1	6.6	4.9	6.2	2.1	2.6	2.1	0.9	0.5	0.5	15.3	14.0	6.9	
地区																						
深川北	775	40.9	16.3	13.7	11.0	12.4	11.1	8.3	4.6	6.6	5.9	4.4	3.0	1.9	1.3	0.5	1.2	0.3	15.2	11.4	6.3	
深川南	712	39.2	18.0	12.2	14.2	12.8	11.5	7.9	6.6	6.2	5.5	5.2	2.9	2.5	1.4	0.8	0.4	0.7	14.9	8.8	6.5	
亀戸・大島	868	40.3	20.9	13.7	11.8	12.0	10.4	8.9	6.6	6.7	6.0	4.8	3.9	3.5	1.3	0.7	0.6	0.3	12.7	11.9	6.7	
砂町	949	41.4	19.1	11.8	13.6	11.4	10.9	6.8	6.3	4.6	5.8	4.3	3.9	3.3	1.2	1.5	0.8	0.6	13.6	10.1	7.6	
ブロック																						
深川北	455	37.8	15.8	13.6	10.3	14.3	10.8	7.7	5.7	6.2	6.2	4.8	3.1	1.5	1.5	0.7	1.1	0.4	15.8	12.3	6.8	
深川中央	525	42.7	17.7	14.7	13.3	10.7	11.2	7.8	4.8	6.7	5.7	4.8	3.0	2.9	1.1	1.1	0.8	0.2	13.1	9.9	7.2	
深川南	507	39.4	17.6	10.7	13.6	13.0	11.8	8.7	6.3	6.3	5.3	4.7	2.8	2.2	1.4	0.2	0.6	0.8	16.4	8.5	5.1	
亀戸	374	38.2	21.7	12.3	13.9	10.7	11.2	7.5	6.7	5.3	6.4	5.3	3.2	3.2	1.3	0.5	0.5	0.0	14.4	11.2	7.5	
大島	494	41.9	20.2	14.8	10.1	13.0	9.7	9.9	6.5	7.7	5.7	4.5	4.5	3.6	1.2	0.8	0.6	0.6	11.3	12.3	6.1	
南砂	472	39.4	21.2	13.6	12.1	14.2	9.5	5.1	7.4	4.0	6.6	4.7	4.4	2.5	1.9	1.1	0.8	0.4	12.9	11.0	7.6	
北砂	477	43.4	17.0	10.1	15.1	8.6	12.2	8.6	5.2	5.2	5.0	4.0	3.4	4.0	0.4	1.9	0.8	0.8	14.3	9.2	7.5	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

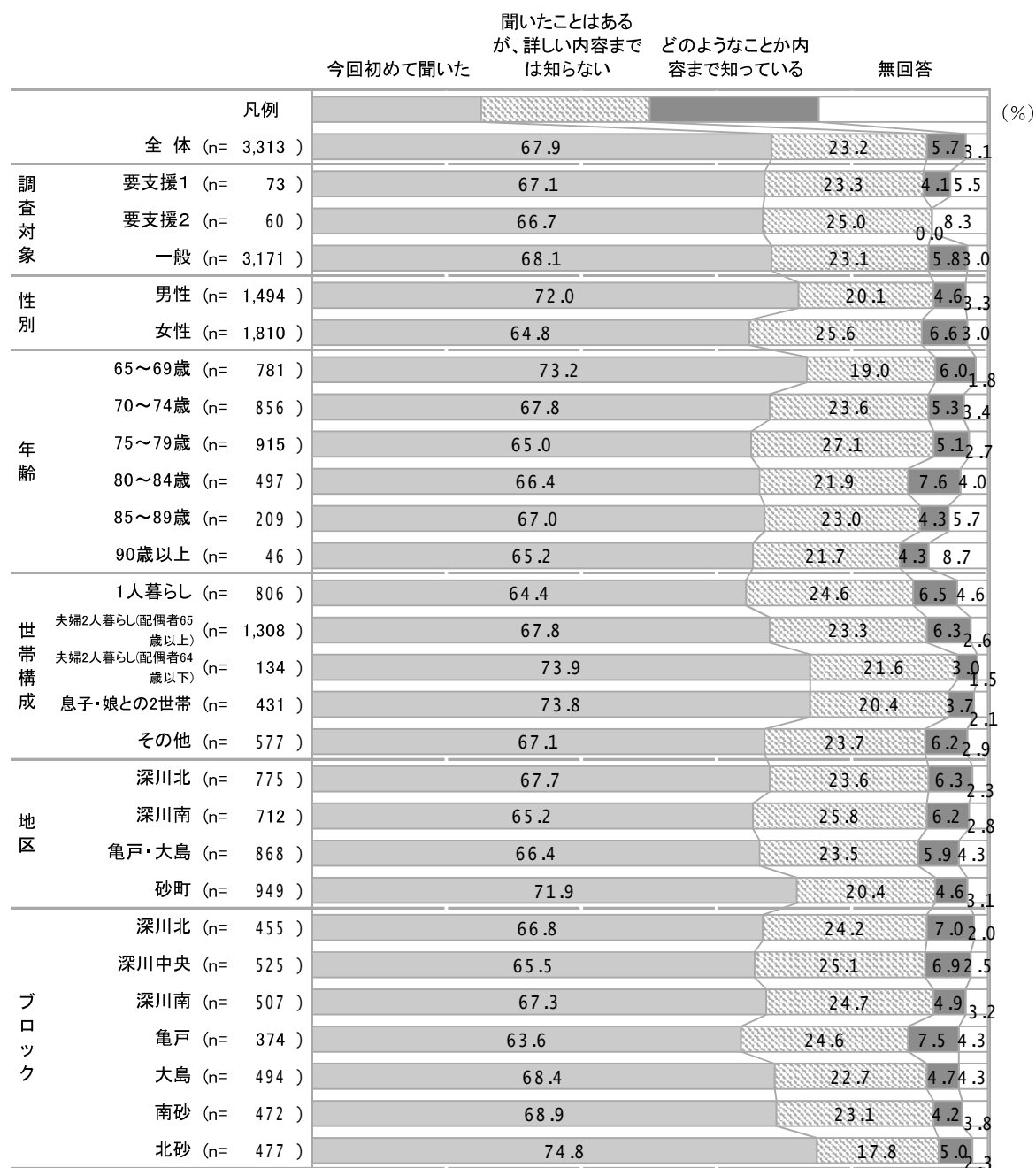
⑦ 「フレイル」という言葉の認知

問7 あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか (ひとつだけ〇)

「フレイル[※]」という言葉を知っているかについては、全体の7割弱（67.9%）が「今回初めて聞いた」と回答している。「どのようなことが内容まで知っている」（5.7%、「聞いたことはあるが、詳しい内容までは知らない」（23.2%）を合わせた『認知率』は全体の3割弱（28.9%）である。

性別では、男性に比べ女性の『認知率』が高い。

図表 Ⅱ①-78 「フレイル」という言葉の認知



※「フレイル」とは、「加齢により心身が老い衰え、筋力や活力が低下した状態（いわゆる虚弱）」のことで、2014年に日本老年医学会から提唱された言葉で、健康で元気な状態と介護が必要な状態の間を意味している。

⑧ うつのリスク該当者<地区別>

「問7 健康について」の設問で、
 (3) この1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
 (4) この1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

ともに、
 「はい」と回答した人 = 【該当 (リスク該当者)】、
 それ以外 = 【非該当 (リスク非該当者)】 として再集計。

うつのリスク該当者は 18.5%となっている。

図表 Ⅱ①-79 うつのリスク該当者

		該当	非該当	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	18.5	79.1	2.4	
地区	深川北 (n= 775)	17.9	79.7	2.3	
	深川南 (n= 712)	19.4	78.2	2.4	
	亀戸・大島 (n= 868)	19.4	77.9	2.8	
	砂町 (n= 949)	17.3	80.5	2.2	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

① 自身または家族に認知症の症状がある人がいるか

問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか
(ひとつだけ〇)

自身または家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」＝「認知症の症状の人がいる」が全体の約1割（10.3%）であり、「いいえ」＝「いない」は86.8%である。

地区、ブロック別でも、全体傾向と同様でどの地区、ブロックも「認知症の症状の人がいる」方は1割前後である。

図表 Ⅱ①-80 自身または家族に認知症の症状がある人がいるか

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	10.3	86.8	3.0	
調査対象	要支援1 (n= 73)	11.0	84.9	4.1	
	要支援2 (n= 60)	6.7	90.0	3.3	
	一般 (n= 3,171)	10.3	86.8	2.9	
性別	男性 (n= 1,494)	10.0	86.9	3.1	
	女性 (n= 1,810)	10.4	86.7	2.9	
年齢	65～69歳 (n= 781)	13.7	84.9	1.4	
	70～74歳 (n= 856)	8.4	88.3	3.3	
	75～79歳 (n= 915)	8.7	87.8	3.5	
	80～84歳 (n= 497)	9.9	87.1	3.0	
	85～89歳 (n= 209)	12.0	83.7	4.3	
	90歳以上 (n= 46)	10.9	82.6	6.5	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	8.3	87.3	4.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	10.4	87.1	2.5	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	12.7	85.8	1.5	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	10.2	87.5	2.3	
	その他 (n= 577)	12.8	84.7	2.4	
地区	深川北 (n= 775)	10.3	87.1	2.6	
	深川南 (n= 712)	9.8	88.1	2.1	
	亀戸・大島 (n= 868)	10.8	85.8	3.3	
	砂町 (n= 949)	9.9	86.5	3.6	
ブロック	深川北 (n= 455)	10.5	86.6	2.9	
	深川中央 (n= 525)	9.9	88.0	2.1	
	深川南 (n= 507)	9.9	88.0	2.2	
	亀戸 (n= 374)	11.0	86.1	2.9	
	大島 (n= 494)	10.7	85.6	3.6	
	南砂 (n= 472)	11.0	84.5	4.4	
	北砂 (n= 477)	8.8	88.5	2.7	

② 認知症に関する相談窓口を知っているか

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (ひとつだけ〇)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」＝「知っている」は全体の約2割(22.0%)であり、「いいえ」＝「知らない」は75.1%である。

性別でみると、男性に比べ女性において「知っている」割合が高い。

図表 Ⅱ①-81 認知症に関する相談窓口を知っているか

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 3,313)	22.0	75.1	2.9	
調査対象	要支援1 (n= 73)	21.9	71.2	6.8	
	要支援2 (n= 60)	20.0	76.7	3.3	
	一般 (n= 3,171)	21.9	75.2	2.8	
性別	男性 (n= 1,494)	17.5	79.3	3.3	
	女性 (n= 1,810)	25.6	71.8	2.6	
年齢	65～69歳 (n= 781)	23.7	74.5	1.8	
	70～74歳 (n= 856)	20.1	76.8	3.2	
	75～79歳 (n= 915)	20.5	76.3	3.2	
	80～84歳 (n= 497)	24.5	73.2	2.2	
	85～89歳 (n= 209)	23.9	71.3	4.8	
	90歳以上 (n= 46)	15.2	73.9	10.9	
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	20.3	75.8	3.8	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	22.4	75.0	2.6	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	18.7	78.4	3.0	
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	21.6	76.3	2.1	
	その他 (n= 577)	25.6	71.9	2.4	
地区	深川北 (n= 775)	22.5	75.1	2.5	
	深川南 (n= 712)	20.6	77.1	2.2	
	亀戸・大島 (n= 868)	22.8	73.5	3.7	
	砂町 (n= 949)	21.6	75.3	3.1	
ブロック	深川北 (n= 455)	22.6	74.7	2.6	
	深川中央 (n= 525)	22.5	75.4	2.1	
	深川南 (n= 507)	19.7	77.9	2.4	
	亀戸 (n= 374)	21.9	75.4	2.7	
	大島 (n= 494)	23.5	72.1	4.5	
	南砂 (n= 472)	23.5	72.7	3.8	
	北砂 (n= 477)	19.7	78.0	2.3	

Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

10. 将来について

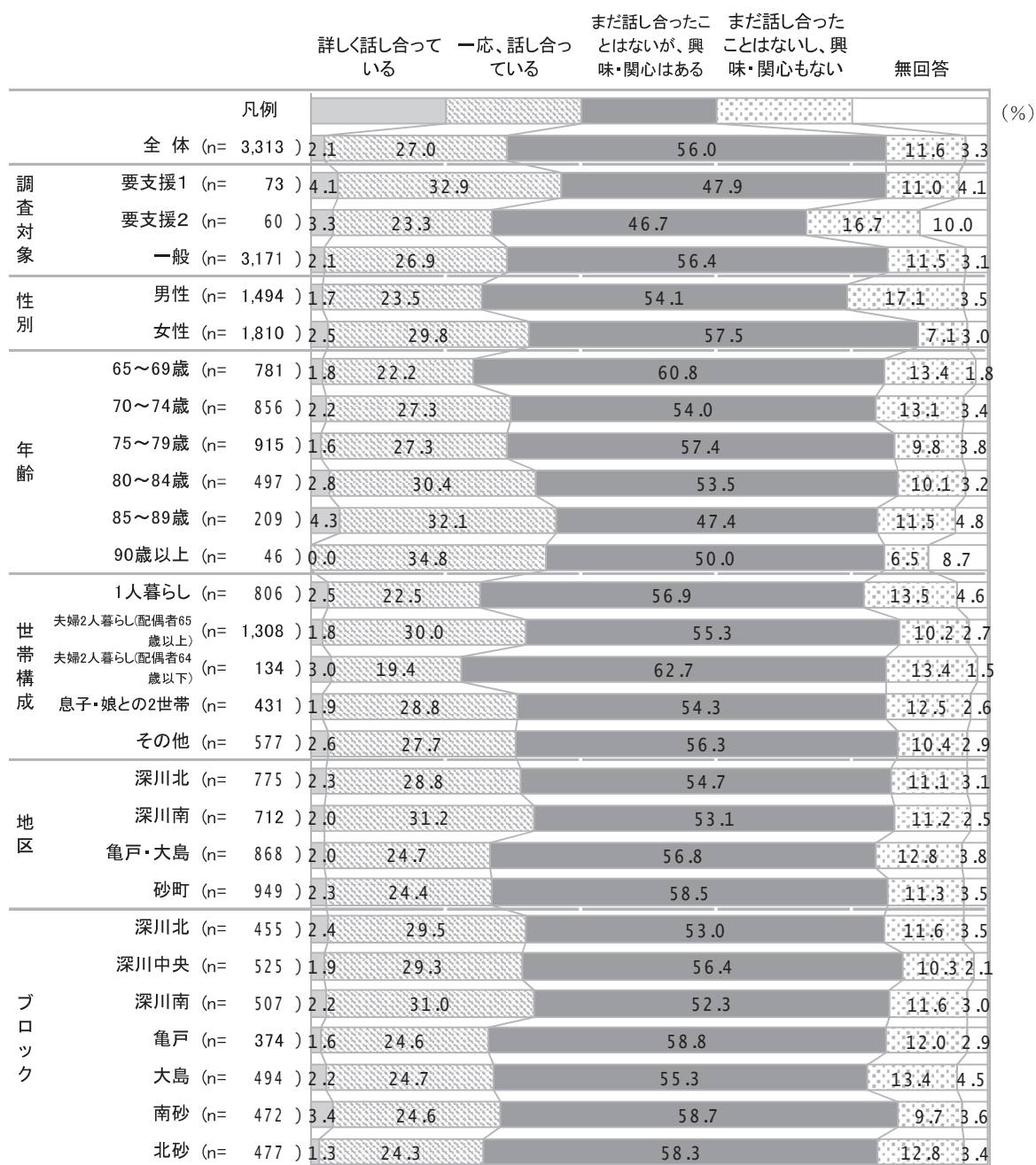
① 人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているか

問9 (1) 人生の最終段階において、「受けたい医療・介護」、あるいは「受けたくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、あなたは普段、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか (ひとつだけ○)

人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているかについては、「詳しく話し合っている」(2.1%)と「一応話し合っている」(27.0%)を合わせた『話し合っている』割合は全体の約3割となっている。

調査対象別でみると、一般の方や要支援1の方と比べると、要支援2の方では「まだ話し合ったことはないし、興味・関心もない」割合が高い。

図表 Ⅱ①-82 人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているか



② 話し合っている相手

問9 【(1)で「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応、話し合っている」の方のみ】

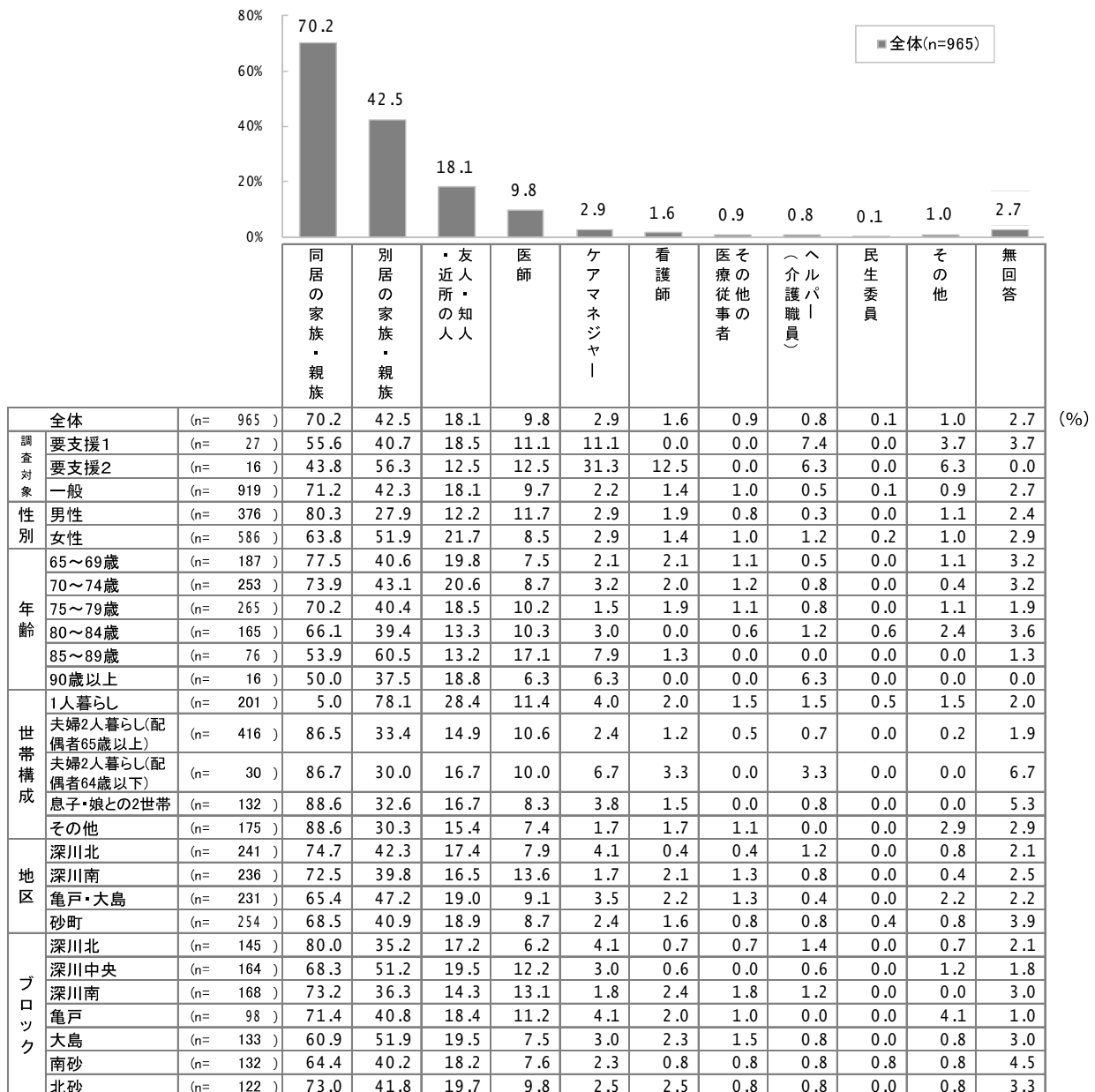
① 話し合っている相手はどなたですか (いくつでも〇)

話し合っている相手については、「同居の家族・親族」が70.2%で最も高く、次いで「別居の家族・親族」(42.5%)、「友人・知人・近所の人」(18.1%)などとなっている。

調査対象別でみると、一般の方と比べると、要支援の方では「同居の家族・親族」の割合が低い。

世帯構成別でみると、1人暮らしの方では「別居の家族・親族」(78.1%)で最も高く、次いで「友人・知人・近所の人」(28.4%)となっている。

図表 Ⅱ①-83 話し合っている相手



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

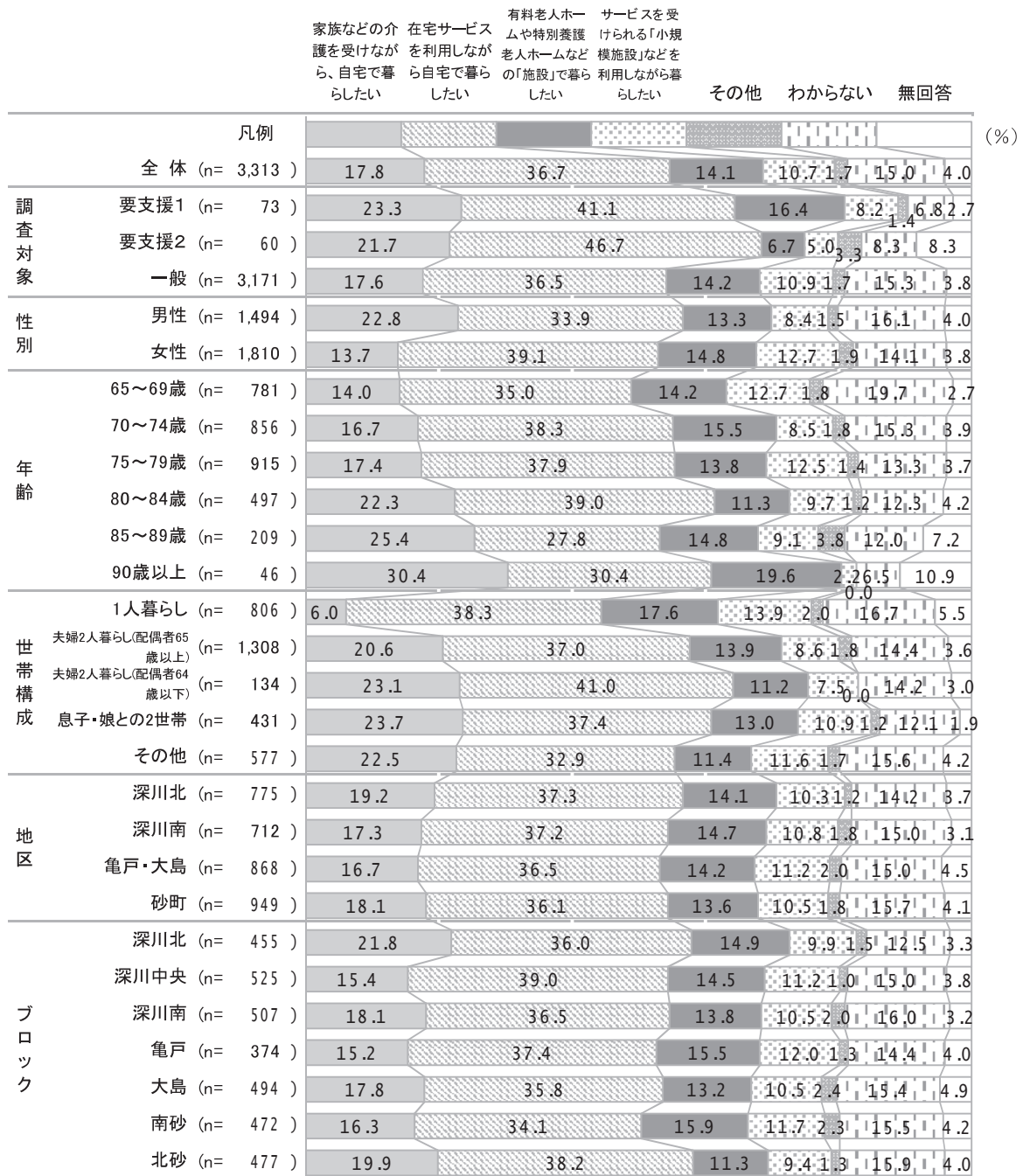
③ 希望する介護場所

問9 (2) あなたが介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいですか (ひとつだけ○)

希望する介護場所については、「家族などの介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(17.8%)、「在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」(36.7%)、「有料老人ホームや特別養護老人ホームなどの「施設」で暮らしたい」(14.1%)、「サービスを受けられる「小規模施設」などを利用しながら暮らしたい」(10.7%)、「わからない」(15.0%)となっている。

調査対象別でみると、「在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」割合が一般の方と比べると要支援の方に多い。

図表 Ⅱ①-84 希望する介護場所



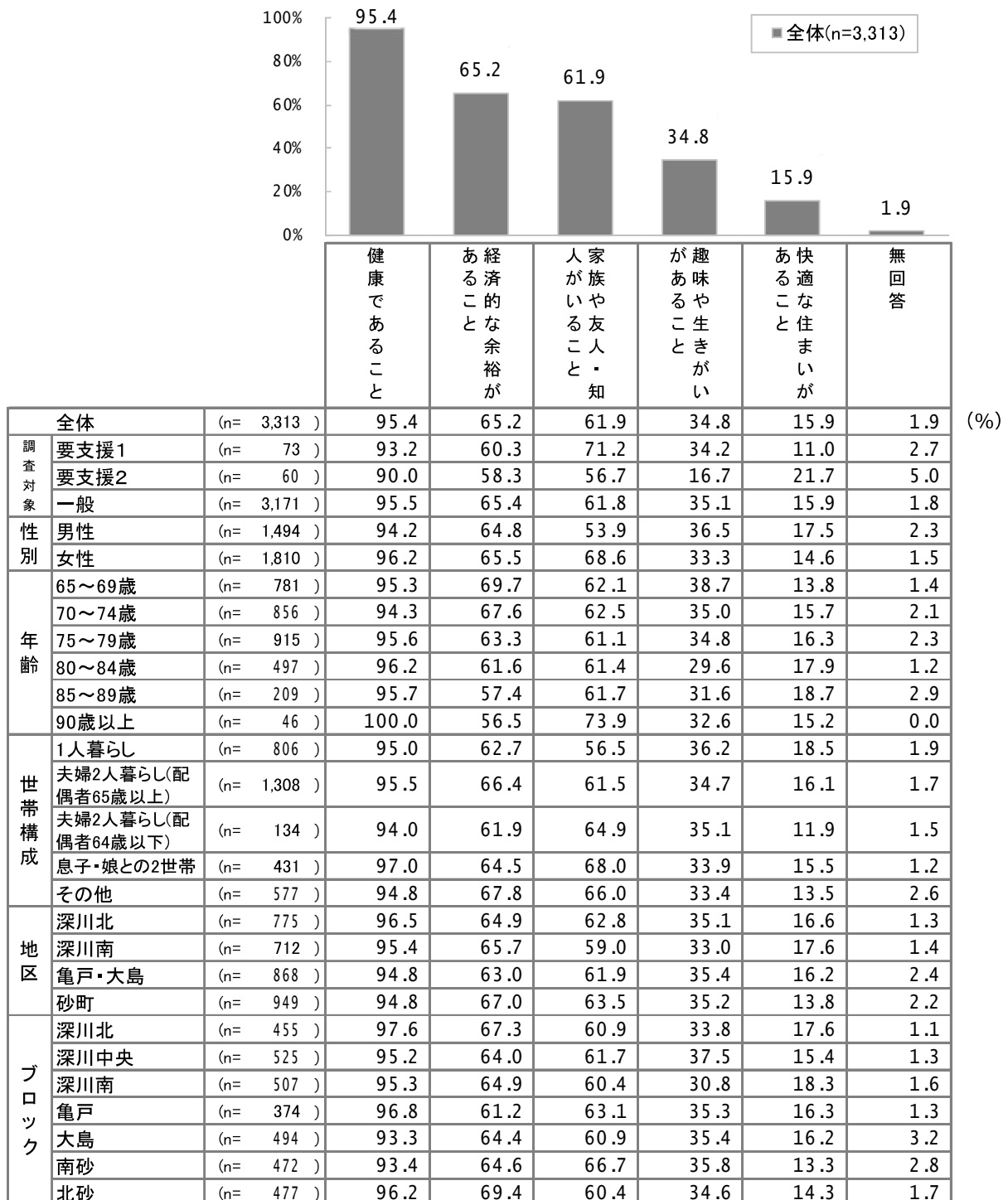
④ 幸せに暮らすために必要だと思うこと

問9 (3) 幸せに暮らすためには何が重要だと思いますか (上位3つまで〇)

幸せに暮らすために必要だと思うことについては、「健康であること」(95.4%)が最も高い。次いで「経済的な余裕があること」65.2%、「家族や友人・知人がいる」(61.9%)などとなっている。

年齢別でみると、「経済的な余裕があること」、「趣味や生きがいがあること」の必要性は年代が若い方ほど、高い。

図表 Ⅱ①-85 幸せに暮らすために必要だと思うこと



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

1.1. 防災対策について

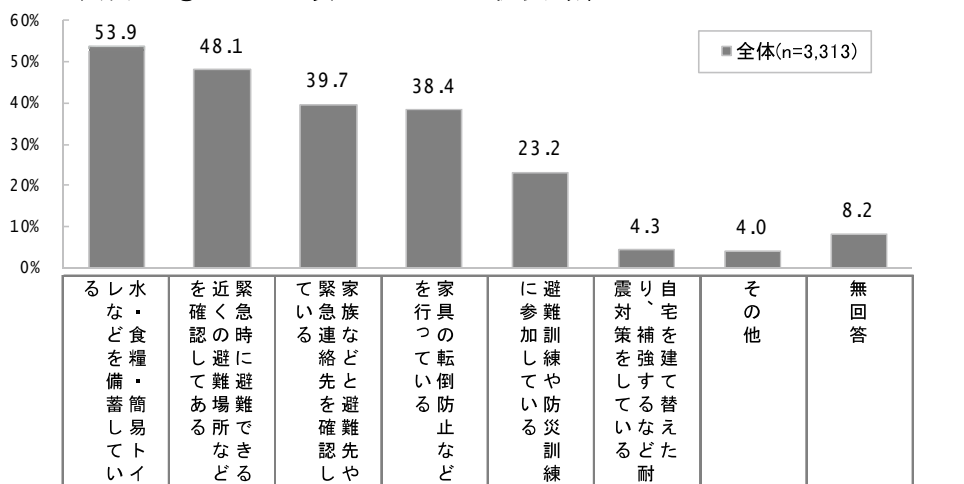
① 日頃からしている防災対策

問10 (1) あなたは、防災対策として、日頃からどのようなことをしていますか
(いくつでも〇)

日頃からしている防災対策については、「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が53.9%で最も割合が高く、次いで「緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある」(48.1%)、「家族などと避難先や緊急連絡先を確認している」(39.7%) などとなっている。

調査対象別でみると、全体として上位に挙げられている「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」、「緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある」を含め、他の項目においても全体的に一般の方と比べ要支援の方の方が日頃の防災に対する備えが低い傾向がある。

図表 Ⅱ①-86 日頃からしている防災対策



		水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している	緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある	家族などと避難先や緊急連絡先を確認している	家族などとの避難先や緊急連絡先を確認している	避難参加訓練や防災訓練	震対策を強化している	自宅を建て替えるなど耐	その他	無回答	(%)
調査対象	全体 (n= 3,313)	53.9	48.1	39.7	38.4	23.2	4.3	4.0	8.2		
	要支援1 (n= 73)	38.4	28.8	34.2	32.9	11.0	5.5	5.5	15.1		
	要支援2 (n= 60)	31.7	40.0	38.3	31.7	18.3	0.0	11.7	6.7		
	一般 (n= 3,171)	54.6	48.8	40.0	38.6	23.7	4.3	3.9	8.1		
性別	男性 (n= 1,494)	47.7	46.3	41.2	38.0	22.3	4.4	4.1	9.6		
	女性 (n= 1,810)	58.9	49.8	38.6	38.7	24.1	4.1	4.0	7.1		
年齢	65～69歳 (n= 781)	58.0	50.2	39.6	37.1	18.1	3.2	3.2	6.7		
	70～74歳 (n= 856)	55.3	48.4	40.1	37.4	23.5	3.7	4.1	6.1		
	75～79歳 (n= 915)	51.7	50.4	42.1	39.2	28.0	4.2	3.3	8.6		
	80～84歳 (n= 497)	51.5	48.1	38.4	41.2	25.8	6.0	5.0	9.1		
	85～89歳 (n= 209)	48.8	34.9	36.4	37.3	18.7	6.7	7.2	16.3		
	90歳以上 (n= 46)	45.7	32.6	23.9	32.6	8.7	2.2	8.7	19.6		
世帯構成	1人暮らし (n= 806)	48.0	47.6	23.1	31.8	22.2	1.6	5.2	11.8		
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 1,308)	57.3	46.6	44.6	44.5	27.4	4.6	2.8	6.8		
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 134)	52.2	47.0	44.0	41.8	20.1	1.5	3.7	7.5		
	息子・娘との2世帯 (n= 431)	55.5	51.7	49.9	33.9	21.1	9.5	3.5	5.8		
	その他 (n= 577)	54.1	50.3	43.5	37.3	17.9	4.2	6.1	7.3		
地区	深川北 (n= 775)	55.7	49.4	39.9	41.2	19.9	6.7	4.8	8.1		
	深川南 (n= 712)	56.2	43.3	41.4	41.7	25.3	1.7	3.7	8.4		
	亀戸・大島 (n= 868)	49.3	50.8	38.2	31.3	20.4	4.6	4.1	9.2		
	砂町 (n= 949)	54.6	48.7	39.9	39.9	27.2	3.8	3.7	7.2		
ブロック	深川北 (n= 455)	54.5	51.0	40.7	42.6	20.9	7.7	4.4	8.4		
	深川中央 (n= 525)	56.6	47.4	41.3	39.0	19.4	4.0	4.6	7.0		
	深川南 (n= 507)	56.6	41.4	39.8	42.8	27.0	1.6	3.7	9.5		
	亀戸 (n= 374)	51.1	49.7	36.9	32.4	19.5	4.3	4.0	8.3		
	大島 (n= 494)	48.0	51.6	39.3	30.6	21.1	4.9	4.3	9.9		
	南砂 (n= 472)	58.9	46.0	39.4	41.9	32.0	3.4	3.0	8.1		
	北砂 (n= 477)	50.3	51.4	40.5	37.9	22.4	4.2	4.4	6.3		

② 災害時に手助けを頼める人

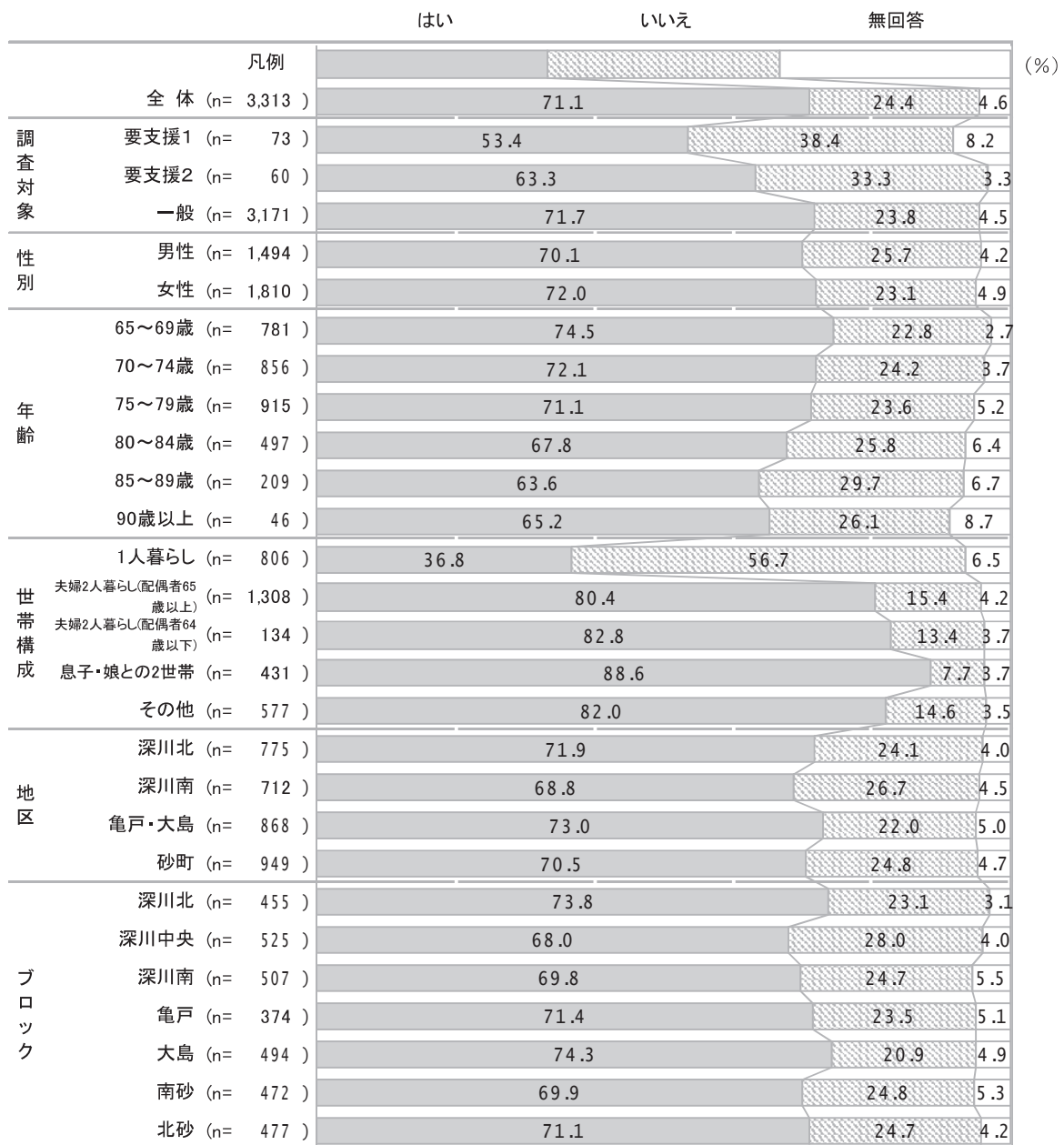
問10 (2) あなたには、災害などの緊急時に手助けを頼める人(同居人を含む)はいま
すか (ひとつだけ〇)

災害時に手助けを頼める人については、「はい」＝「頼める人がいる」は全体の約7割(71.1%)であり、「いいえ」＝「頼める人がいない」は24.4%である。

調査対象別では、一般の方と比べて要支援の方では「頼める人がいない」割合が高く、特に要支援1の方で顕著である。

また世帯構成別でみると、1人暮らしの方では「はい」＝「頼める人がいる」割合が36.8%と低い。

図表 Ⅱ①-87 災害時に手助けを頼める人



Ⅱ 調査結果の概要

調査① 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

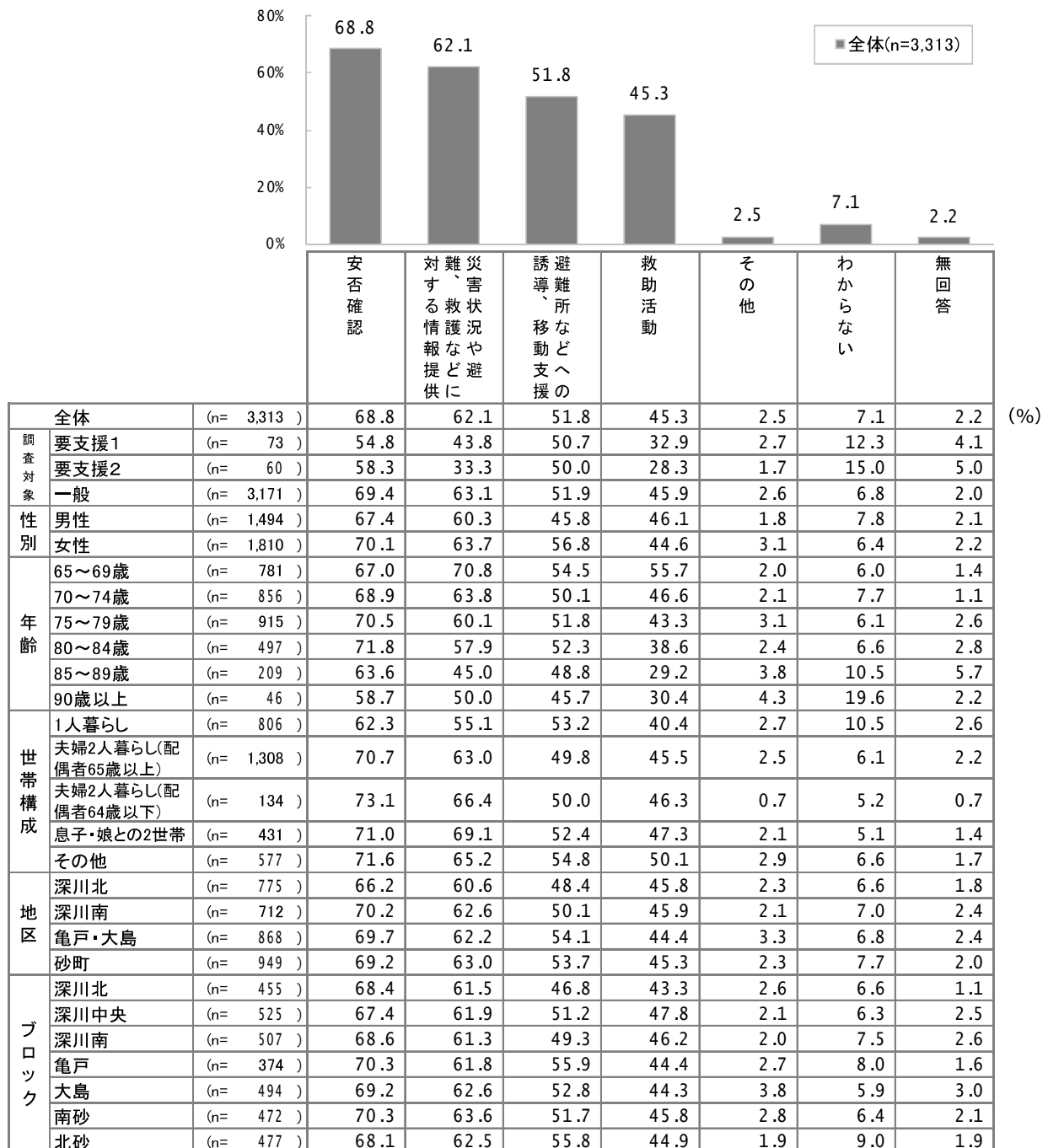
③ 災害時に必要だと思う支援

問10 (3) 災害が起こった直後、あなたは、地域でどのような支援をすることが必要だと考えますか
(あてはまるものすべてに○)

災害時に必要だと思う支援については、「安否確認」が68.8%で最も割合が高く、次いで「災害状況や避難、救護などに対する情報提供」(62.1%)、「避難所などへの誘導、移動支援」(51.8%)などとなっている。

調査対象別でみると、要支援の方と比べ一般の方で「安否確認」や「災害状況や避難、救護などに対する情報提供」の割合が高い。

図表 Ⅱ①-88 災害時に必要だと思う支援



Ⅱ 調査結果の概要

調査② 介護サービスの利用意向調査

調査② 介護サービスの利用意向調査

1. 回答者の基本属性

① 性別・年齢・要介護度

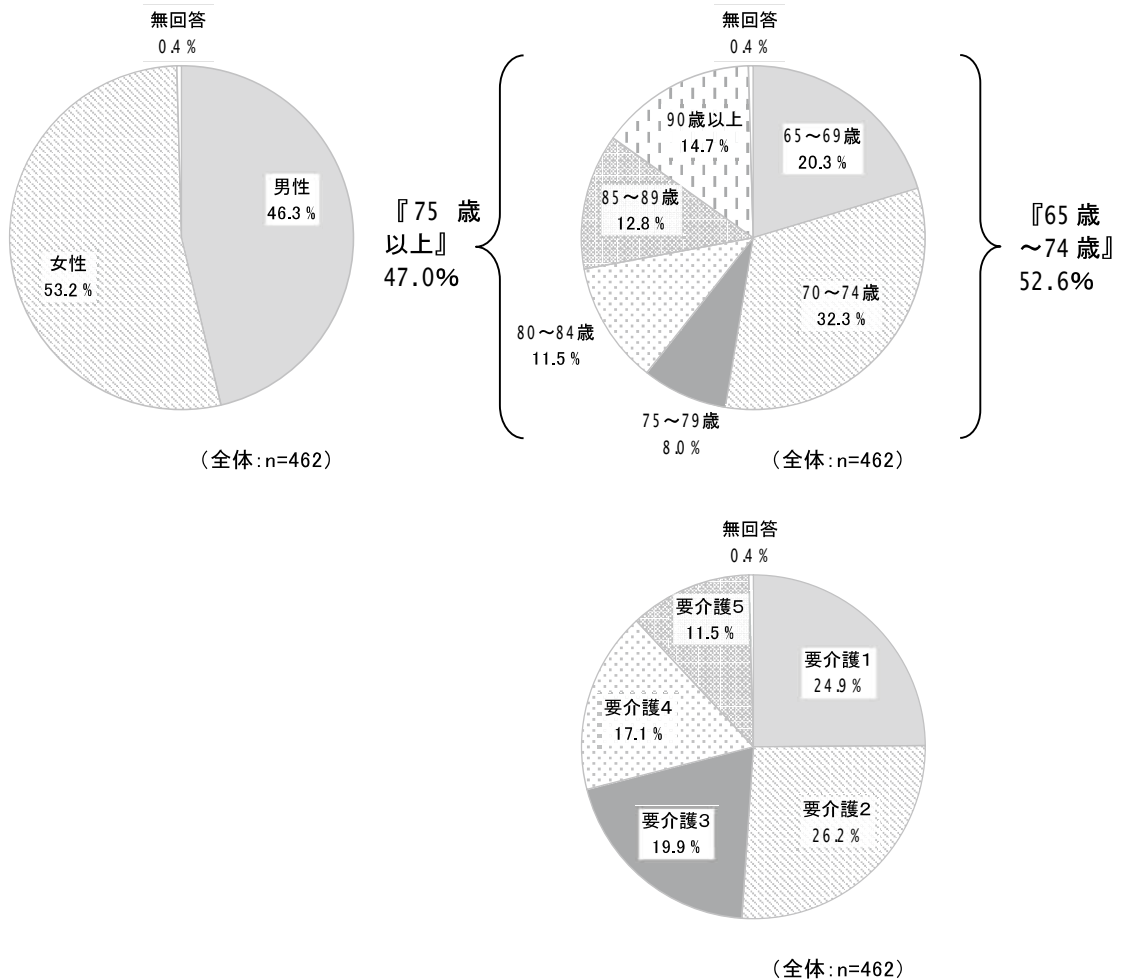
回答者の性別・年齢・要介護度

回答者の性別は、「男性」(46.3%)、「女性」(53.2%)となっている。

年齢は、「65～69歳」(20.3%)、「70～74歳」(32.3%)、「75～79歳」(8.0%)、「80～84歳」(11.5%)、「85～89歳」(12.8%)、「90歳以上」(14.7%)となっており、『65歳～74歳』で(52.6%)、『75歳以上』で(47.0%)となっている。性別の平均年齢は男性で(75.6歳)、女性で(79.7歳)となっている。

要介護度は、「要介護1」(24.9%)、「要介護2」(26.2%)、「要介護3」(19.9%)、「要介護4」(17.1%)、「要介護5」(11.5%)となっている。

図表 Ⅱ②-1 (左) 性別・(右) 年齢・(下) 要介護度



		66 95 歳	77 40 歳	77 95 歳	88 40 歳	88 95 歳	90 以上 歳	無 回 答	76 45 歳	77 以上 歳	(平均 年齢)	
全体	(n= 462)	20.3	32.3	8.0	11.5	12.8	14.7	0.4	52.6	47.0	77.8	
性別	男性	(n= 214)	26.2	35.5	9.8	10.7	10.3	7.5	0.0	61.7	38.3	75.6
	女性	(n= 246)	15.4	29.7	6.5	12.2	15.0	21.1	0.0	45.1	54.9	79.7

(%)

Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

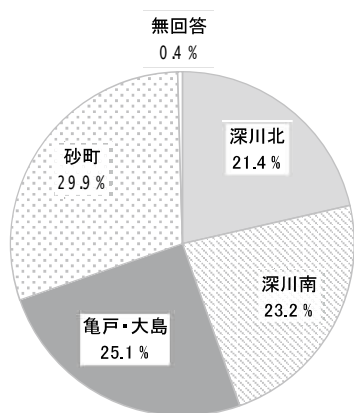
② 地区・ブロック

回答者の地区・ブロック

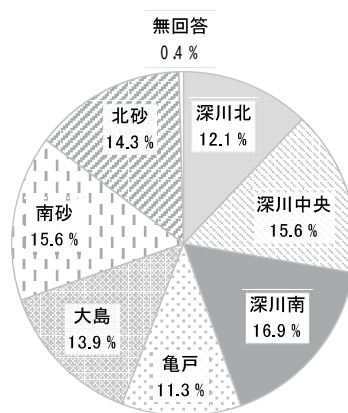
回答者の地区は、「深川北」(21.4%)、「深川南」(23.2%)、「亀戸・大島」(25.1%)、「砂町」(29.9%)となっている。

ブロックは、「深川北」(12.1%)、「深川中央」(15.6%)、「深川南」(16.9%)、「亀戸」(11.3%)、「大島」(13.9%)、「南砂」(15.6%)、「北砂」(14.3%)となっている。

図表 Ⅱ②-2 (左) 地区・(右) ブロック



(全体:n=462)



(全体:n=462)

2. あなたのご家族について

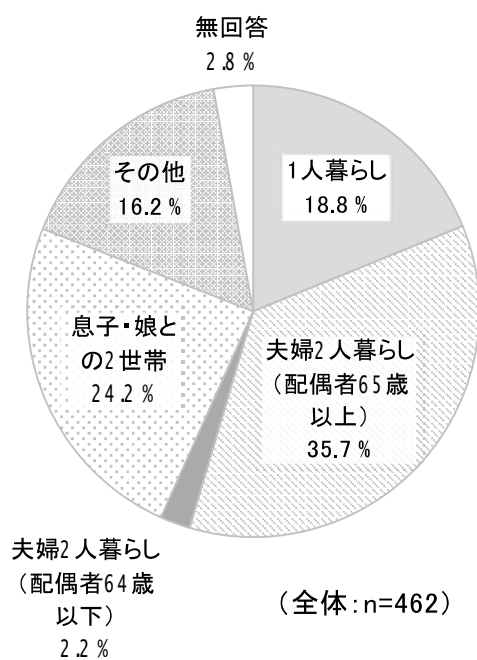
① 世帯構成

問1. 家族構成を教えてください。

(ひとつだけ○)

世帯構成は、「1人暮らし」(18.8%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(35.7%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(2.2%)、「息子・娘との2世帯」(24.2%)となっている。

図表 Ⅱ②-3 世帯構成



Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

性別でみると「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」は男性が高く、「息子・娘との2世帯」では女性が高くなっている。

年齢別では、70代で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高い。

また、要介護度別でみると、要介護5の方では「息子・娘との2世帯」が高い。

図表 Ⅱ②-4 世帯構成（グルーピング）

		1人暮らし	（夫婦2人暮らし 配偶者65歳以上）	（夫婦2人暮らし 配偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	無回答		
	全体	(n= 462)	18.8	35.7	2.2	24.2	16.2	2.8	（%）
性別	男性	(n= 214)	18.2	44.9	4.2	14.5	15.4	2.8	
	女性	(n= 246)	19.5	28.0	0.4	32.5	16.7	2.8	
年齢	65～69歳	(n= 94)	21.3	33.0	5.3	17.0	20.2	3.2	
	70～74歳	(n= 149)	17.4	52.3	1.3	12.1	14.1	2.7	
	75～79歳	(n= 37)	18.9	51.4	2.7	13.5	13.5	0.0	
	80～84歳	(n= 53)	15.1	35.8	0.0	35.8	9.4	3.8	
	85～89歳	(n= 59)	22.0	20.3	3.4	40.7	10.2	3.4	
	90歳以上	(n= 68)	19.1	8.8	0.0	42.6	26.5	2.9	
要介護度	要介護1	(n= 115)	19.1	40.0	0.9	20.9	15.7	3.5	
	要介護2	(n= 121)	24.0	37.2	3.3	22.3	12.4	0.8	
	要介護3	(n= 92)	18.5	33.7	3.3	23.9	17.4	3.3	
	要介護4	(n= 79)	21.5	30.4	1.3	24.1	19.0	3.8	
	要介護5	(n= 53)	3.8	35.8	1.9	35.8	18.9	3.8	
地区	深川北	(n= 99)	16.2	30.3	4.0	30.3	15.2	4.0	
	深川南	(n= 107)	16.8	35.5	0.9	20.6	21.5	4.7	
	亀戸・大島	(n= 116)	22.4	32.8	2.6	22.4	17.2	2.6	
	砂町	(n= 138)	19.6	42.8	1.4	23.9	11.6	0.7	
ブロック	深川北	(n= 56)	16.1	33.9	3.6	25.0	16.1	5.4	
	深川中央	(n= 72)	18.1	26.4	2.8	33.3	18.1	1.4	
	深川南	(n= 78)	15.4	38.5	1.3	17.9	20.5	6.4	
	亀戸	(n= 52)	25.0	28.8	3.8	25.0	15.4	1.9	
	大島	(n= 64)	20.3	35.9	1.6	20.3	18.8	3.1	
	南砂	(n= 72)	19.4	44.4	2.8	19.4	13.9	0.0	
	北砂	(n= 66)	19.7	40.9	0.0	28.8	9.1	1.5	

3. 介護サービスについて

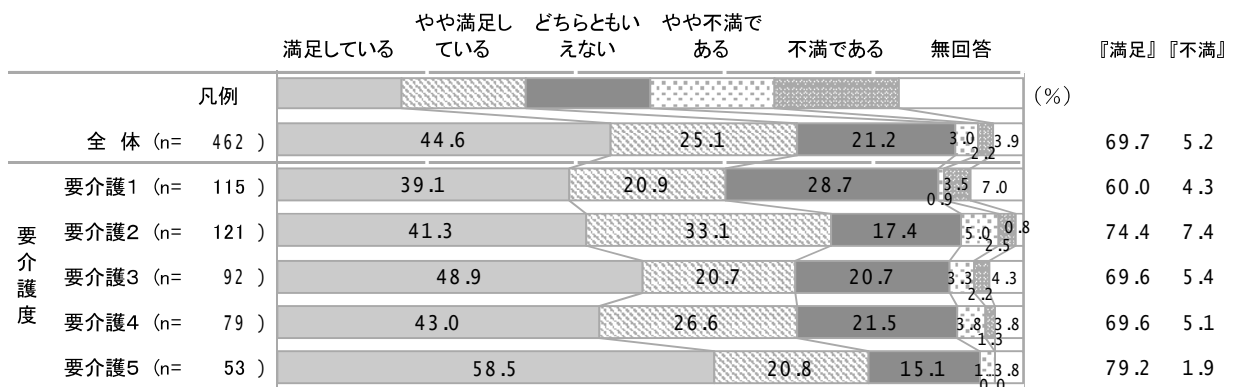
① 要介護認定訪問調査に対する満足度

問2. あなたが受けた要介護認定訪問調査について、満足していますか。（ひとつだけ○）

要介護認定訪問調査に対する満足度は、「満足している」（44.6%）、「やや満足している」（25.1%）となっており、『満足』は合わせて69.7%となっている。また「やや不満である」（3.0%）、「不満である」（2.2%）を合わせた、要介護認定訪問調査に対する『不満』は全体の5.2%である。

要介護度別でみると、『満足』は要介護5の方が79.3%で最も高く、次いで要介護2の方が74.4%となっている。

図表 Ⅱ②-5 要介護認定訪問調査に対する満足度



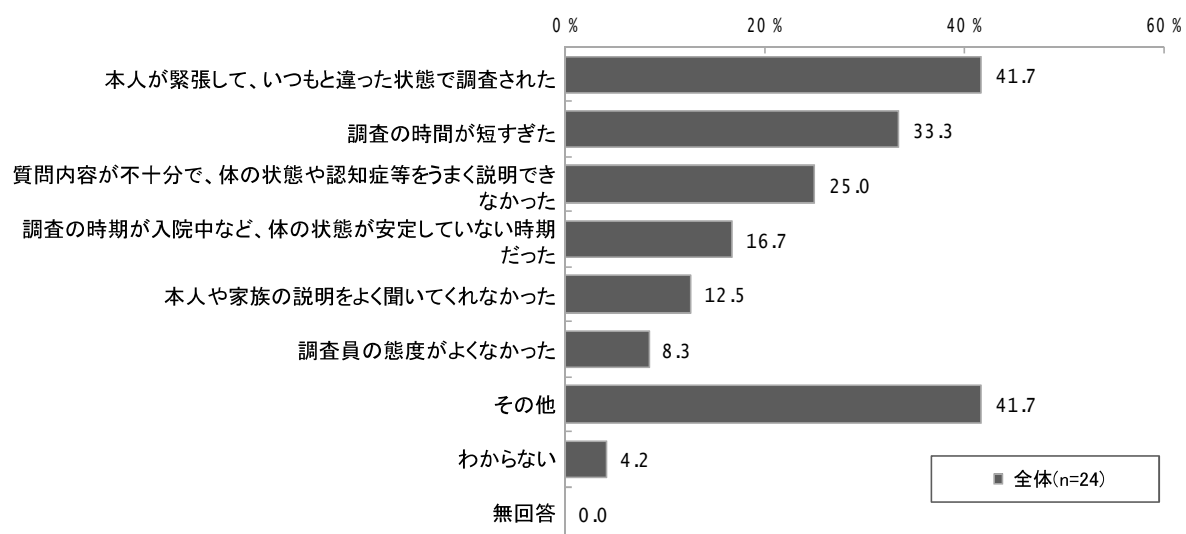
Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

② 要介護認定訪問調査に満足していない理由

問2-1. 問2で「4、5」と回答した方に伺います。要介護認定訪問調査に満足していない理由は次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

要介護認定訪問調査に満足していない理由としては、「本人が緊張して、いつもと違った状態で調査された」(41.7%)が最も高く、次いで「調査の時間が短すぎた」(33.3%)、「質問内容が不十分で、体の状態や認知症等をうまく説明できなかった」(25.0%)などが主な理由として挙げられている。

図表 Ⅱ②-6 要介護認定訪問調査に満足していない理由



③ 要介護度に対する満足度

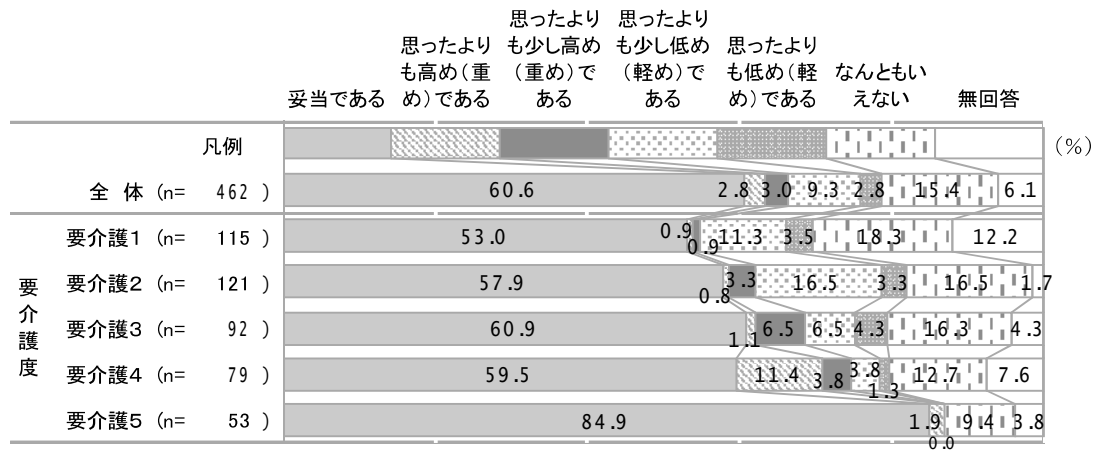
問3. あなたが受けた要介護度については、納得していますか。

(あてはまるものすべてに○)

認定を受けた要介護度に対する納得度は、「妥当である」が全体の60.6%である。

要介護度別で見ると、要介護度が上がるにつれて「妥当である」割合が高い傾向にあり、要介護5の方では84.9%の方が「妥当である」と回答している。一方で要介護2の方では、「思ったよりも少し低め(軽め)である」、「思ったよりも低め(軽め)である」を合わせた割合が他の要介護度と比べると高い。

図表 Ⅱ②-7 要介護度に対する満足度



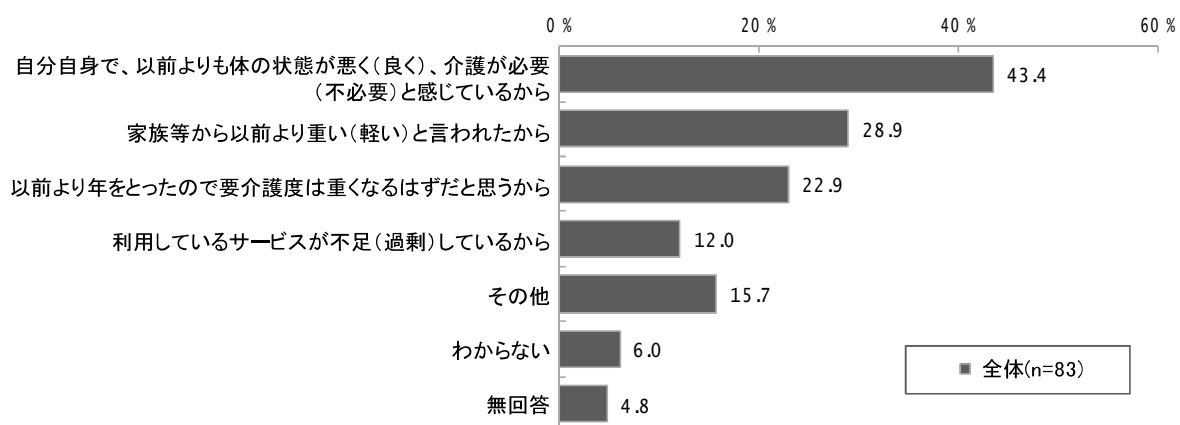
Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

④ 要介護度が思ったよりも高めまたは低めと思った理由

問3-1. 問3で「2～5」と回答した方に伺います。要介護度が思ったよりも高めまたは低めと思った理由は次のどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

要介護度が思ったよりも高めまたは低めと思った理由としては、「自分自身で、以前よりも体の状態が悪く（良く）、介護が必要（不必要）と感じているから」（43.4%）が最も高く、次いで「家族等から以前より重い（軽い）と言われたから」（28.9%）などとなっている。

図表 Ⅱ②-8 要介護度が思ったよりも高めまたは低めと思った理由

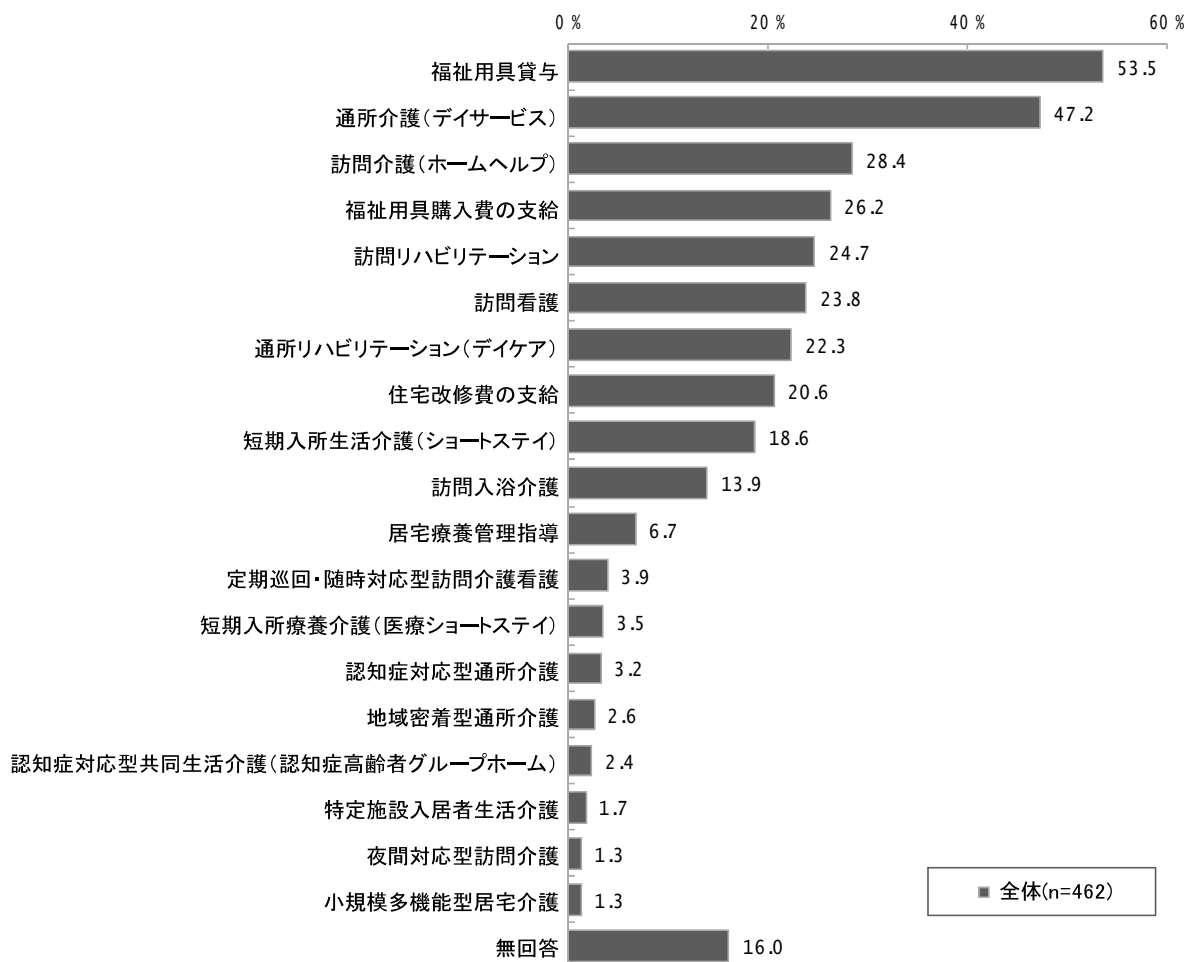


⑤ 利用した介護保険サービス

問4. あなたは、ご自分が利用したサービスについて満足していますか。利用したものすべてに○を付けてください。(あてはまるものすべてに○)
また、それぞれの満足度について、該当するもの1つに○を付けてください。「やや不満」「不満」に○をつけた方は、不満の理由もご記入ください。(それぞれひとつだけ○)

利用した介護保険サービスは、「福祉用具貸与」(53.5%)が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス)」(47.2%)、「訪問介護(ホームヘルプ)」(28.4%)、「福祉用具購入費の支給」(26.2%)などとなっている。

図表 Ⅱ②-9 利用した介護保険サービス



Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

性別でみると、「訪問介護（ホームヘルプ）」は女性で32.1%、男性で23.8%となり、性別による差がみられる。

年齢別でみると、「福祉用具貸与」が75～79歳で高く、85～89歳では「通所介護（デイサービス）」の割合が高い。

要介護度別では、要介護2と要介護4で「福祉用具購入費の支給」が高いが、全体的には要介護度が高い方ほど各サービスの利用割合が高い。

世帯構成別でみると、1人暮らしの方で「訪問介護（ホームヘルプ）」の割合が高い。

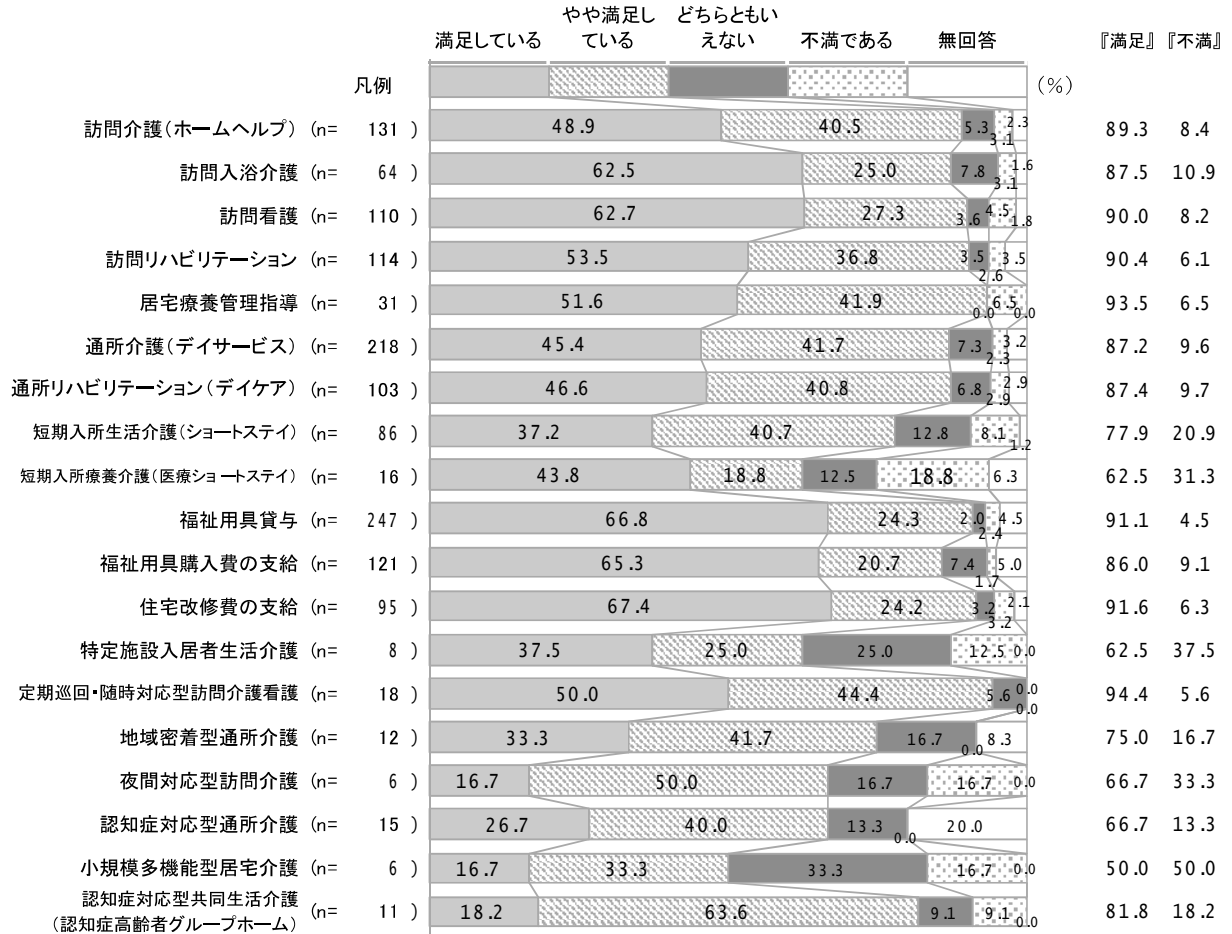
地区別では、全体としてサービスの利用が高く「福祉用具貸与」や「通所介護（デイサービス）」、「訪問介護（ホームヘルプ）」は亀戸・大島地区で高い。

図表 Ⅱ②-10 利用した介護保険サービス

		福祉用具貸与	通所介護（デイサービス）	訪問介護（ホームヘルプ）	福祉用具購入費の支給	訪問リハビリテーション	訪問看護	通所リハビリテーション（デイケア）	住宅改修費の支給	短期入所生活介護（ショートステイ）	訪問入浴介護	居宅療養管理指導	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	短期入所療養介護（医療ショートステイ）	認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護	認知症高齢者グループホーム	特定施設入居者生活介護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	無回答	
全体		(n= 462)	53.5	47.2	28.4	26.2	24.7	23.8	22.3	20.6	18.6	13.9	6.7	3.9	3.5	3.2	2.6	2.4	1.7	1.3	1.3	16.0
性別	男性	(n= 214)	53.3	48.1	23.8	24.3	25.7	23.4	23.8	19.6	15.9	13.1	7.9	3.3	1.4	2.3	2.3	1.4	1.4	0.9	0.5	15.4
	女性	(n= 246)	53.3	45.9	32.1	27.6	23.6	24.0	21.1	21.1	21.1	14.2	5.7	4.5	5.3	4.1	2.8	3.3	2.0	1.6	2.0	16.7
年齢	65～69歳	(n= 94)	50.0	41.5	25.5	21.3	25.5	30.9	23.4	16.0	10.6	13.8	7.4	4.3	2.1	1.1	3.2	1.1	2.1	2.1	4.3	19.1
	70～74歳	(n= 149)	51.7	36.9	26.2	21.5	27.5	24.2	23.5	20.8	14.8	12.8	2.7	4.0	1.3	3.4	1.3	3.4	2.0	0.7	0.7	16.8
	75～79歳	(n= 37)	64.9	54.1	40.5	48.6	35.1	21.6	35.1	21.6	21.6	27.0	18.9	8.1	10.8	2.7	2.7	8.1	5.4	2.7	0.0	5.4
	80～84歳	(n= 53)	47.2	45.3	17.0	24.5	18.9	13.2	24.5	28.3	20.8	5.7	9.4	0.0	1.9	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8
	85～89歳	(n= 59)	57.6	67.8	32.2	25.4	13.6	18.6	25.4	18.6	27.1	10.2	8.5	5.1	6.8	8.5	5.1	1.7	0.0	0.0	0.0	13.6
	90歳以上	(n= 68)	55.9	55.9	35.3	32.4	25.0	26.5	7.4	20.6	27.9	17.6	4.4	2.9	4.4	1.5	2.9	1.5	1.5	2.9	1.5	14.7
要介護度	要介護1	(n= 115)	22.6	27.0	19.1	13.0	13.9	18.3	10.4	6.1	7.0	5.2	0.9	0.9	1.7	0.9	1.7	0.0	0.0	0.9	33.0	
	要介護2	(n= 121)	62.0	50.4	29.8	30.6	28.9	24.0	26.4	23.1	9.9	14.0	3.3	4.1	3.3	3.3	4.1	2.5	0.8	0.8	0.8	6.6
	要介護3	(n= 92)	63.0	51.1	23.9	26.1	23.9	25.0	26.1	21.7	22.8	13.0	6.5	5.4	5.4	3.3	2.2	2.2	2.2	1.1	2.2	15.2
	要介護4	(n= 79)	60.8	59.5	34.2	39.2	21.5	20.3	19.0	27.8	34.2	12.7	5.1	2.5	1.3	5.1	3.8	2.5	2.5	1.3	0.0	10.1
	要介護5	(n= 53)	71.7	56.6	43.4	24.5	43.4	47.2	20.8	22.6	35.8	30.2	20.8	9.4	9.4	3.8	1.9	3.8	5.7	5.7	3.8	11.3
世帯構成	1人暮らし	(n= 87)	50.6	41.4	50.6	18.4	16.1	31.0	18.4	12.6	13.8	9.2	3.4	6.9	3.4	2.3	2.3	3.4	1.1	2.3	1.1	18.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 165)	52.1	43.0	18.2	26.1	27.3	20.0	26.7	22.4	17.6	16.4	7.3	3.0	3.6	4.2	2.4	1.8	1.8	0.6	0.6	16.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	90.0	40.0	30.0	40.0	30.0	30.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	
	息子・娘との2世帯	(n= 112)	59.8	58.9	27.7	30.4	28.6	25.9	23.2	25.0	20.5	17.0	9.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	2.7	2.7	1.8	11.6
その他	(n= 75)	48.0	45.3	26.7	30.7	25.3	24.0	18.7	24.0	21.3	12.0	5.3	2.7	4.0	1.3	2.7	1.3	1.3	0.0	1.3	20.0	
地区	深川北	(n= 99)	50.5	44.4	26.3	26.3	25.3	23.2	26.3	21.2	22.2	14.1	7.1	4.0	2.0	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0	0.0	14.1
	深川南	(n= 107)	47.7	43.0	26.2	23.4	23.4	31.8	14.0	20.6	22.4	13.1	3.7	1.9	3.7	1.9	1.9	0.9	2.8	0.0	0.0	17.8
	亀戸・大島	(n= 116)	61.2	53.4	33.6	25.0	25.0	28.4	20.7	18.1	14.7	15.5	8.6	4.3	3.4	4.3	2.6	1.7	0.9	0.9	2.6	13.8
	砂町	(n= 138)	52.9	46.4	26.8	29.0	24.6	13.8	27.5	21.7	16.7	12.3	7.2	5.1	4.3	3.6	2.9	4.3	1.4	1.4	2.2	18.1
ブロック	深川北	(n= 56)	46.4	46.4	28.6	25.0	23.2	25.0	30.4	16.1	19.6	7.1	8.9	5.4	3.6	1.8	5.4	3.6	1.8	3.6	0.0	12.5
	深川中央	(n= 72)	52.8	38.9	23.6	25.0	25.0	26.4	22.2	25.0	23.6	19.4	4.2	1.4	1.4	2.8	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	22.2
	深川南	(n= 78)	47.4	46.2	26.9	24.4	24.4	30.8	10.3	20.5	23.1	12.8	3.8	2.6	3.8	2.6	2.6	1.3	3.8	0.0	0.0	12.8
	亀戸	(n= 52)	69.2	55.8	34.6	23.1	25.0	30.8	25.0	21.2	17.3	15.4	5.8	1.9	1.9	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	11.5
	大島	(n= 64)	54.7	51.6	32.8	26.6	25.0	26.6	17.2	15.6	12.5	15.6	10.9	6.3	4.7	4.7	1.6	3.1	1.6	1.6	1.6	15.6
	南砂	(n= 72)	56.9	45.8	27.8	29.2	34.7	16.7	37.5	23.6	19.4	13.9	9.7	6.9	4.2	4.2	4.2	2.8	1.4	1.4	2.8	18.1
北砂	(n= 66)	48.5	47.0	25.8	28.8	13.6	10.6	16.7	19.7	13.6	10.6	4.5	3.0	4.5	3.0	1.5	6.1	1.5	1.5	1.5	18.2	

利用した介護保険サービスに対する満足度は、概ねどのサービスも「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』の割合が高い。

図表 Ⅱ②-11 利用した介護保険サービスに対する満足度



Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

⑥ 介護保険サービスの利用による本人の変化

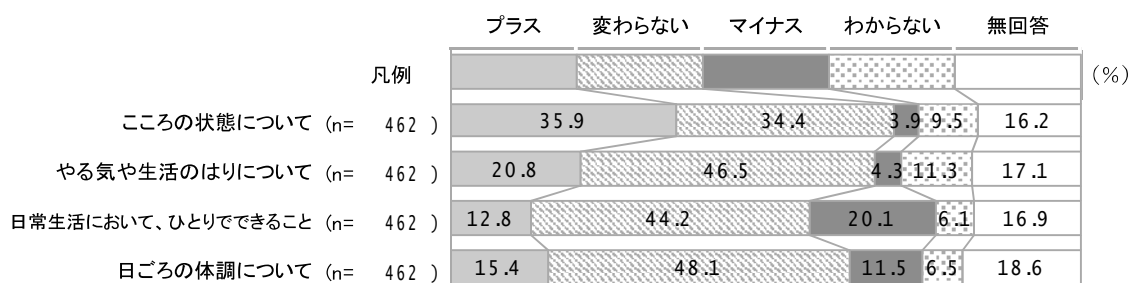
問5. 介護保険サービスを利用するようになって、あなた自身には、次のような変化がありましたか。
(それぞれもっとも近いもの1つに○)

介護保険サービスの利用による本人の変化は、プラス要素で高いのは「こころの状態」で、35.9%となっている。一方、「日常生活において、ひとりでできること」は、プラス要素が12.8%と他の項目よりも低く、マイナス要素が20.1%と高い。

要介護度別にみると、介護度にかかわらず「こころの状態について「安定した」」割合が高く、なかでも要介護3の方では45.7%と半数近い。

世帯構成別（次ページ）では、1人暮らしの方では、「こころの状態について「安定した」」が48.3%となっており、他の世帯に比べて高い。

図表 Ⅱ②-12 介護保険サービスの利用による本人の変化



選択肢は・・・

	1 プラス	2 変わらない	3 マイナス	4 わからない
こころの状態	安定した	変わらない	不安定になった	わからない
やる気や生活のほり	出てきた	変わらない	なくなった	わからない
ひとりでできること	多くなった	変わらない	少なくなった	わからない
日ごろの体調	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない

		「こころの状態について「安定した」」	「やる気や生活のほりが出てきた」	「日常生活において、ひとりでできることが多くなった」	「日ごろの体調についてよくなった」	
全体	(n= 462)	35.9	20.8	12.8	15.4	
要介護度	要介護1	(n= 115)	24.3	13.9	11.3	9.6
	要介護2	(n= 121)	38.0	25.6	21.5	22.3
	要介護3	(n= 92)	45.7	27.2	10.9	18.5
	要介護4	(n= 79)	34.2	17.7	7.6	12.7
	要介護5	(n= 53)	39.6	17.0	7.5	11.3
地区	深川北	(n= 99)	34.3	18.2	9.1	14.1
	深川南	(n= 107)	36.4	17.8	15.9	16.8
	亀戸・大島	(n= 116)	36.2	23.3	12.9	14.7
	砂町	(n= 138)	35.5	22.5	13.0	15.9

※プラスと回答した人の割合

Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

			「こころの状態について 「安定した」	「やる気や生活のはりが 「出てきた」	「日常生活において、 「ひとりでできることが 「多くなつた」	「日ごろの体調について 「よくなつた」	
全体		(n= 462)	35.9	20.8	12.8	15.4	(%)
性別	男性	(n= 214)	30.8	18.7	14.0	17.3	
	女性	(n= 246)	39.8	22.4	11.8	13.8	
年齢	65～69歳	(n= 94)	39.4	27.7	22.3	17.0	
	70～74歳	(n= 149)	32.2	21.5	14.8	18.1	
	75～79歳	(n= 37)	18.9	8.1	13.5	8.1	
	80～84歳	(n= 53)	37.7	18.9	9.4	20.8	
	85～89歳	(n= 59)	42.4	16.9	1.7	8.5	
	90歳以上	(n= 68)	39.7	20.6	7.4	13.2	
世帯構成	1人暮らし	(n= 87)	48.3	19.5	14.9	16.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 165)	32.7	20.6	14.5	15.8	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	30.0	0.0	0.0	0.0	
	息子・娘との2世帯	(n= 112)	36.6	25.9	10.7	14.3	
	その他	(n= 75)	30.7	18.7	12.0	17.3	
ブロック	深川北	(n= 56)	33.9	12.5	5.4	17.9	
	深川中央	(n= 72)	33.3	25.0	16.7	11.1	
	深川南	(n= 78)	38.5	15.4	14.1	17.9	
	亀戸	(n= 52)	38.5	15.4	13.5	11.5	
	大島	(n= 64)	34.4	29.7	12.5	17.2	
	南砂	(n= 72)	38.9	25.0	13.9	18.1	
	北砂	(n= 66)	31.8	19.7	12.1	13.6	

※プラスと回答した人の割合

Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

⑦ 本人の変化に対して役立ったサービス

問5-1. 問5(1)～(4)で、1つでも「1、2」に○を付けた方に伺います。あなたにとって、

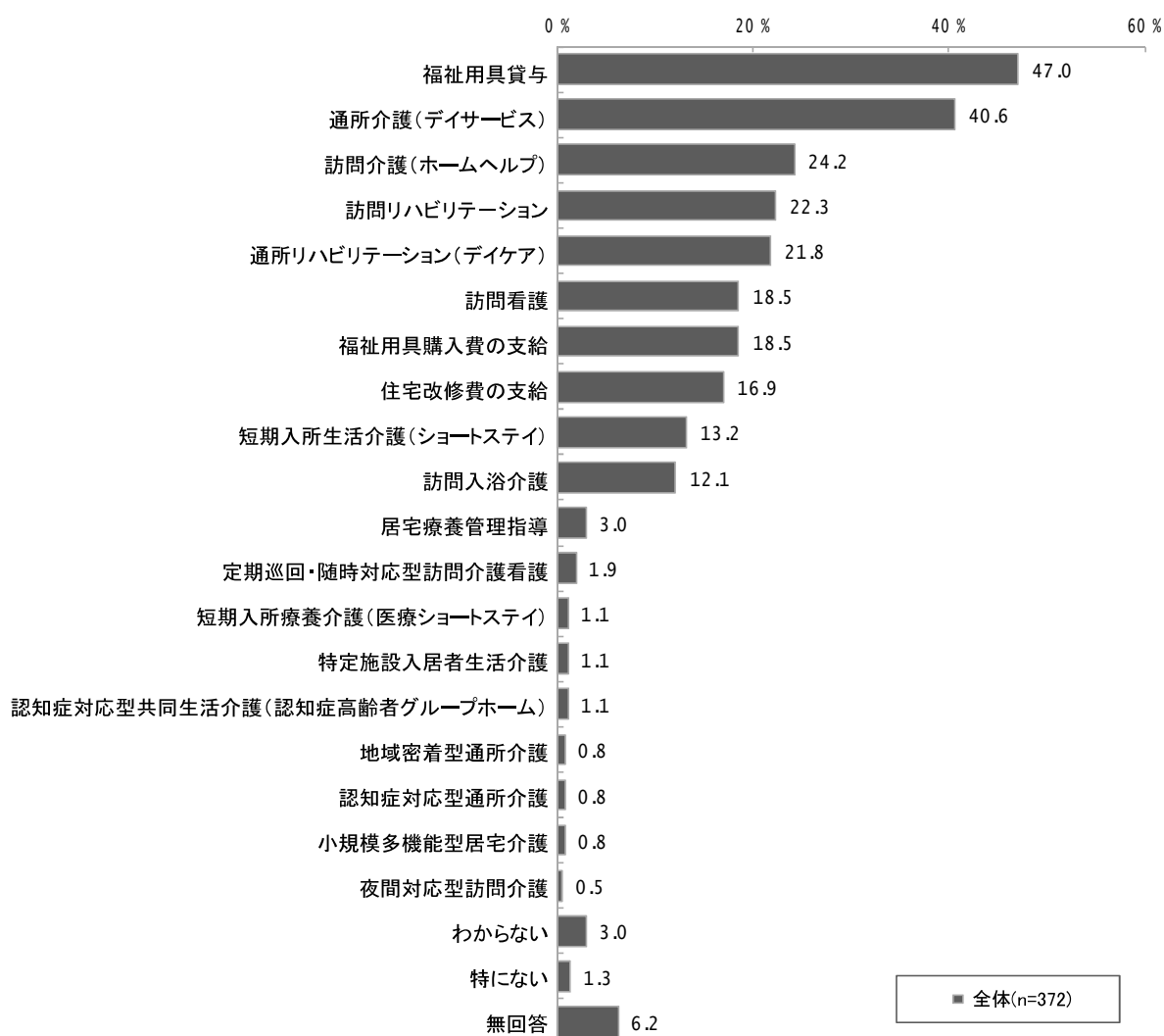
(1) 役立ったサービスはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

(2) ご自身が努力したことはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

本人の変化に対して役立ったサービスは、「福祉用具貸与」(47.0%)が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス)」(40.6%)、「訪問介護(ホームヘルプ)」(24.2%)、「訪問リハビリテーション」(22.3%)、「通所リハビリテーション(デイケア)」(21.8%)などとなっている。

要介護度別(次ページ)でみると、全体で最も高い「福祉用具貸与」は、要介護度が高い方ほど役立ったサービスと回答している。「通所介護(デイサービス)」では、要介護4と要介護2の方で高い。

図表 Ⅱ②-13 本人の変化に対して役立ったサービス



Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

(1) 役立ったサービス

【全体の上位10項目（属性別）】

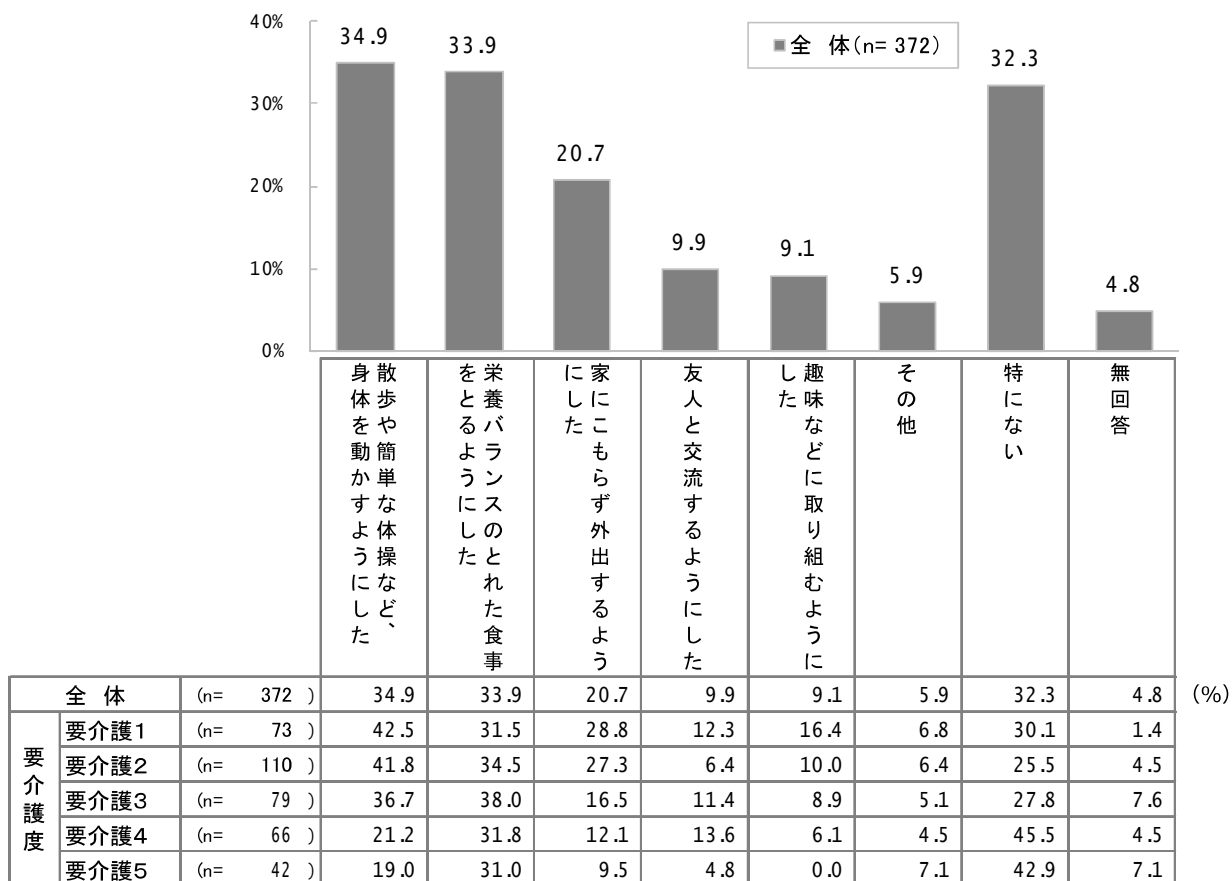
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
		福祉用具貸与	通所介護（デイサービス）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション（デイケア）	訪問看護	福祉用具購入費の支給	住宅改修費の支給	短期入所生活介護（ショートステイ）	訪問入浴介護	(%)
全体	(n= 372)	47.0	40.6	24.2	22.3	21.8	18.5	18.5	16.9	13.2	12.1	(%)
性別	男性	(n= 175)	48.0	39.4	22.3	22.9	24.0	20.6	19.4	16.0	14.9	12.0
	女性	(n= 195)	46.2	41.5	26.2	21.0	20.0	16.4	17.9	17.4	11.8	11.8
年齢	65～69歳	(n= 72)	43.1	34.7	20.8	25.0	25.0	26.4	20.8	11.1	5.6	11.1
	70～74歳	(n= 120)	51.7	28.3	28.3	27.5	23.3	20.0	16.7	20.0	10.0	13.3
	75～79歳	(n= 31)	51.6	38.7	38.7	22.6	25.8	12.9	29.0	25.8	16.1	16.1
	80～84歳	(n= 42)	40.5	47.6	16.7	16.7	19.0	11.9	19.0	21.4	9.5	4.8
	85～89歳	(n= 47)	40.4	57.4	19.1	10.6	27.7	10.6	10.6	17.0	23.4	8.5
	90歳以上	(n= 58)	50.0	55.2	22.4	19.0	10.3	19.0	20.7	8.6	22.4	15.5
要介護度	要介護1	(n= 73)	20.5	24.7	19.2	19.2	23.3	13.7	12.3	8.2	4.1	6.8
	要介護2	(n= 110)	48.2	47.3	26.4	24.5	22.7	20.0	22.7	18.2	6.4	11.8
	要介護3	(n= 79)	51.9	38.0	15.2	21.5	20.3	15.2	15.2	13.9	17.7	10.1
	要介護4	(n= 66)	57.6	53.0	31.8	16.7	21.2	10.6	28.8	27.3	21.2	9.1
	要介護5	(n= 42)	64.3	35.7	33.3	28.6	21.4	40.5	9.5	16.7	26.2	28.6
世帯構成	1人暮らし	(n= 70)	48.6	40.0	51.4	15.7	18.6	27.1	11.4	10.0	8.6	10.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 128)	48.4	35.9	18.0	28.1	21.9	14.8	23.4	24.2	14.1	13.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	60.0	30.0	0.0	30.0	30.0	20.0	30.0	0.0	10.0	10.0
	息子・娘との2世帯	(n= 96)	50.0	47.9	17.7	25.0	20.8	20.8	17.7	14.6	12.5	14.6
	その他	(n= 59)	37.3	40.7	20.3	11.9	25.4	15.3	16.9	18.6	18.6	10.2
地区	深川北	(n= 85)	44.7	36.5	20.0	22.4	27.1	21.2	25.9	18.8	18.8	12.9
	深川南	(n= 87)	35.6	36.8	23.0	23.0	17.2	23.0	13.8	14.9	14.9	10.3
	亀戸・大島	(n= 92)	55.4	46.7	29.3	21.7	19.6	19.6	13.0	12.0	9.8	15.2
	砂町	(n= 106)	50.9	41.5	24.5	20.8	23.6	11.3	21.7	20.8	10.4	9.4
ブロック	深川北	(n= 48)	39.6	43.8	18.8	16.7	22.9	20.8	18.8	14.6	16.7	4.2
	深川中央	(n= 55)	47.3	30.9	23.6	27.3	29.1	21.8	30.9	23.6	16.4	20.0
	深川南	(n= 69)	34.8	36.2	21.7	23.2	15.9	23.2	11.6	13.0	17.4	10.1
	亀戸	(n= 44)	56.8	50.0	27.3	20.5	20.5	18.2	9.1	11.4	11.4	13.6
	大島	(n= 48)	54.2	43.8	31.3	22.9	18.8	20.8	16.7	12.5	8.3	16.7
	南砂	(n= 57)	49.1	47.4	17.5	22.8	35.1	14.0	21.1	15.8	8.8	10.5
	北砂	(n= 49)	53.1	34.7	32.7	18.4	10.2	8.2	22.4	26.5	12.2	8.2

Ⅱ 調査結果の概要
 調査② 介護サービスの利用意向調査

本人の変化に対して自身が努力したことは、全体で「散歩や簡単な体操など、身体を動かすようにした」(34.9%)が最も高く、次いで、「栄養バランスのとれた食事をするようにした」が(33.9%)、「家にこもらず外出するようにした」が(20.7%)となっている。

要介護度別で見ると、要介護度が低い方ほど「散歩や簡単な体操など、身体を動かす」努力をしている割合が高い。

図表 Ⅱ②-14 本人の変化に対して自身が努力したこと



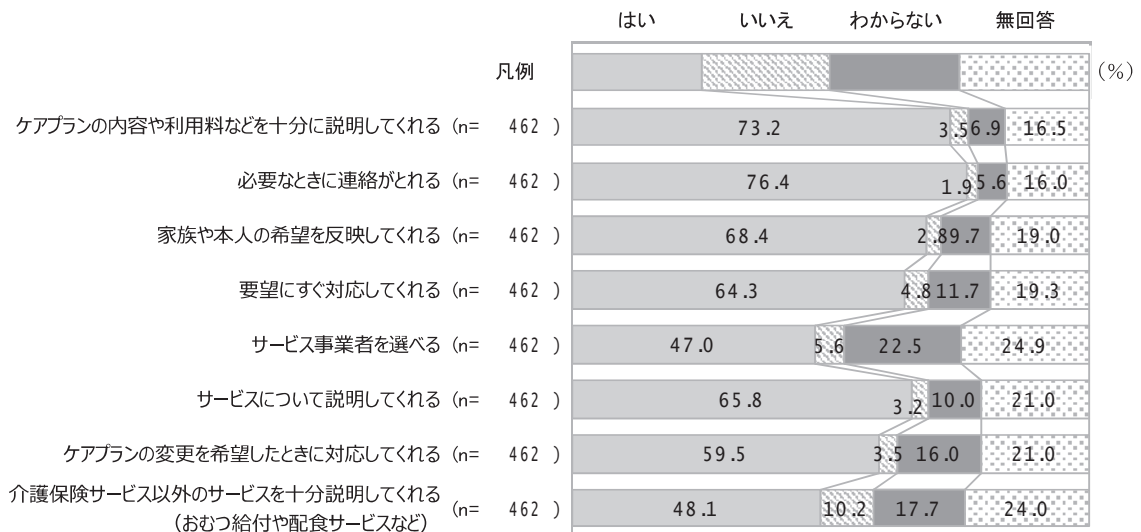
⑧ ケアマネジャーの対応への感想

問6. あなたは、ケアマネジャーの対応について、どのように感じていますか。それぞれの項目についてお答えください。
(それぞれひとつだけ○)

ケアマネジャーの対応への各項目に対する感想で、「はい」の回答の割合は、「必要なときに連絡がとれる」(76.4%)が最も高く、次いで「ケアプランの内容や利用料などを十分に説明してくれる」(73.2%)となっており、各項目の中で最も低いのは「サービス事業者を選べる」(47.0%)である。

要介護度別でみると、全体で最も高い「必要なときに連絡がとれる」は、どの要介護度の方でも高く、要介護度が高い方ほど割合がより高い。

図表 Ⅱ②-15 ケアマネジャーの対応への感想



	をケアプランに説明の内容が利用料など	必要なときに連絡がとれる	家族や本人の希望を反映してくれる	要望にすぐ対応してくれる	サービス事業者を選べる	サービスについて説明してくれる	ケアプランの変更を希望したとき	介護保険サービス以外のサービス(おむつ給付や配食サービスなど)	
全体 (n= 383)	88.3	92.2	82.5	77.5	56.7	79.4	71.8	58.0	
要介護度	要介護1 (n= 79)	88.6	88.6	77.2	68.4	49.4	73.4	59.5	39.2
	要介護2 (n= 111)	90.1	91.9	85.6	78.4	50.5	80.2	68.5	45.9
	要介護3 (n= 79)	87.3	92.4	78.5	81.0	63.3	81.0	75.9	70.9
	要介護4 (n= 66)	86.4	93.9	84.8	81.8	57.6	78.8	80.3	74.2
	要介護5 (n= 46)	87.0	95.7	87.0	78.3	69.6	84.8	80.4	76.1
地区	深川北 (n= 83)	86.7	91.6	86.7	78.3	56.6	79.5	77.1	63.9
	深川南 (n= 87)	90.8	90.8	75.9	77.0	59.8	78.2	72.4	52.9
	亀戸・大島 (n= 99)	89.9	91.9	83.8	77.8	56.6	80.8	70.7	57.6
	砂町 (n= 112)	85.7	93.8	83.0	76.8	53.6	78.6	67.9	58.9

※数字はすべて「はい」

Ⅱ 調査結果の概要
 調査② 介護サービスの利用意向調査

		ケアプランの内容や利用料などを十分に説明してくれる	必要なときに連絡がとれる	家族や本人の希望を反映してくれる	要望にすぐ対応してくれる	サービス事業者を選べる	サービスについて説明してくれる	ケアプランの変更を希望したときに対応してくれる	介護保険サービス以外のサービス（おむつ給付や配食サービスなど）を十分に説明してくれる
全体		(n= 383) 88.3	92.2	82.5	77.5	56.7	79.4	71.8	58.0
性別	男性	(n= 175) 86.3	92.6	78.3	74.3	53.7	80.6	68.0	55.4
	女性	(n= 206) 89.8	91.7	85.9	80.1	58.7	78.2	74.8	60.7
年齢	65～69歳	(n= 70) 92.9	95.7	80.0	75.7	57.1	82.9	77.1	55.7
	70～74歳	(n= 127) 88.2	91.3	84.3	74.0	58.3	78.7	70.1	62.2
	75～79歳	(n= 31) 80.6	87.1	80.6	87.1	51.6	83.9	74.2	45.2
	80～84歳	(n= 42) 85.7	95.2	83.3	83.3	61.9	81.0	69.0	54.8
	85～89歳	(n= 51) 88.2	92.2	80.4	74.5	54.9	80.4	70.6	64.7
	90歳以上	(n= 60) 88.3	90.0	83.3	80.0	51.7	71.7	70.0	56.7
世帯構成	1人暮らし	(n= 73) 86.3	86.3	80.8	71.2	47.9	79.5	72.6	50.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 136) 87.5	90.4	80.1	75.0	52.9	77.2	66.9	51.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10) 100.0	100.0	90.0	90.0	80.0	90.0	80.0	80.0
	息子・娘との2世帯	(n= 98) 87.8	95.9	84.7	80.6	63.3	78.6	74.5	68.4
	その他	(n= 58) 89.7	96.6	86.2	84.5	60.3	84.5	75.9	58.6
ブロック	深川北	(n= 45) 88.9	93.3	82.2	75.6	60.0	80.0	77.8	57.8
	深川中央	(n= 60) 88.3	93.3	90.0	86.7	63.3	80.0	76.7	61.7
	深川南	(n= 65) 89.2	87.7	72.3	70.8	52.3	76.9	70.8	55.4
	亀戸	(n= 45) 91.1	91.1	77.8	82.2	66.7	86.7	73.3	68.9
	大島	(n= 54) 88.9	92.6	88.9	74.1	48.1	75.9	68.5	48.1
	南砂	(n= 57) 82.5	94.7	89.5	84.2	59.6	87.7	73.7	71.9
	北砂	(n= 55) 89.1	92.7	76.4	69.1	47.3	69.1	61.8	45.5

※数字はすべて「はい」

⑨ 介護サービス事業所のスタッフに求めるもの

問7. 介護サービス事業所のスタッフに対して、求めるものを教えてください。
(あてはまるもの3つまで○)

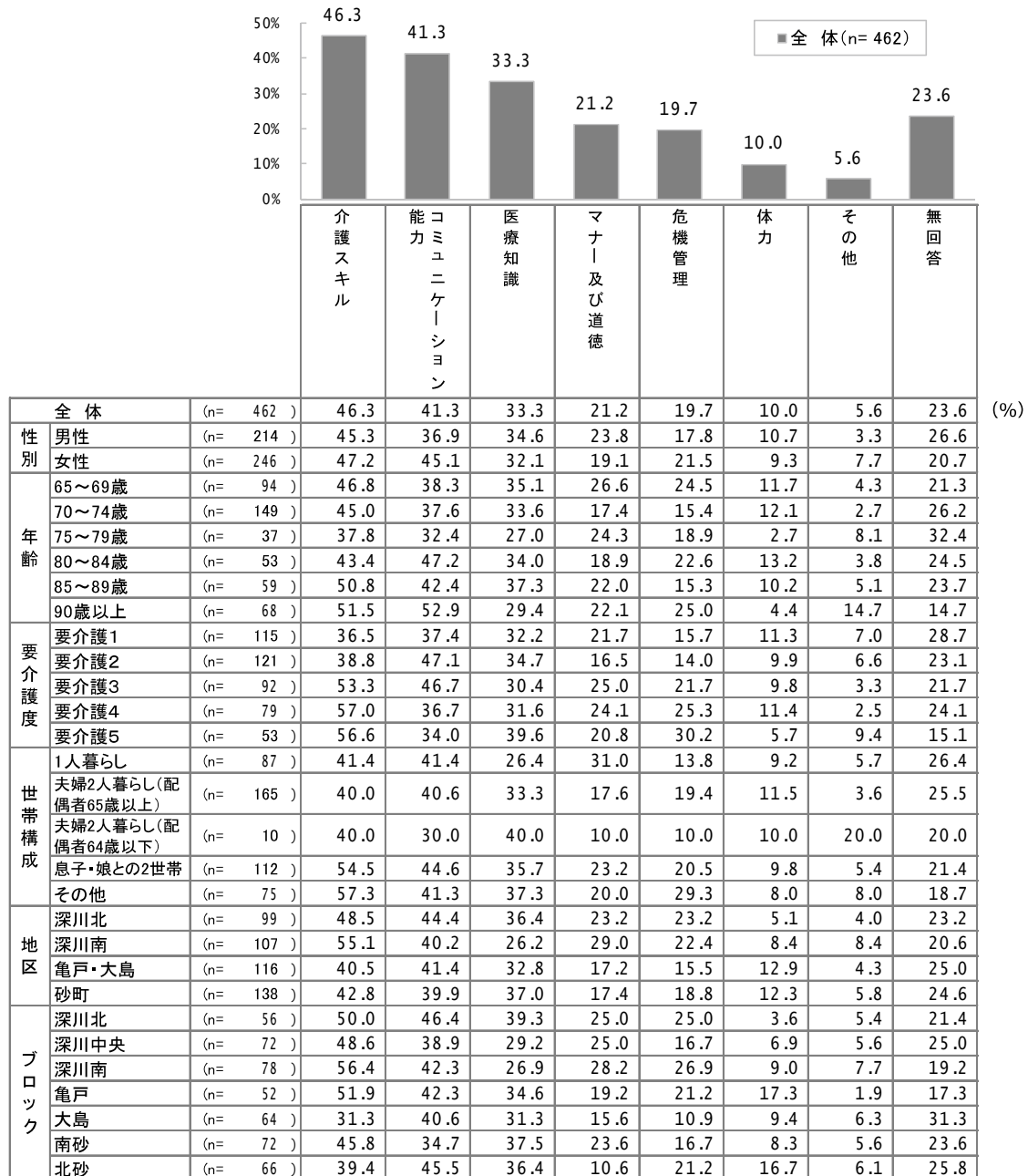
介護サービス事業所のスタッフに求めるものは、「介護スキル」(46.3%)が最も高く、次いで「コミュニケーション能力」(41.3%)、「医療知識」(33.3%)などとなっている。

性別でみると、男性に比べ女性において「コミュニケーション能力」を求める割合が高い。

年齢別では、全体で要求度の高い「介護スキル」が高年齢ほど高く、85歳以上の半数以上がそのように感じている。

要介護度別でみると、「介護スキル」は、要介護度が高い方ほど、求める割合も高い。

図表 Ⅱ②-16 介護サービス事業所のスタッフに求めるもの



Ⅱ 調査結果の概要
 調査② 介護サービスの利用意向調査

⑩ 利用したいまたは利用し続けたい居宅サービス

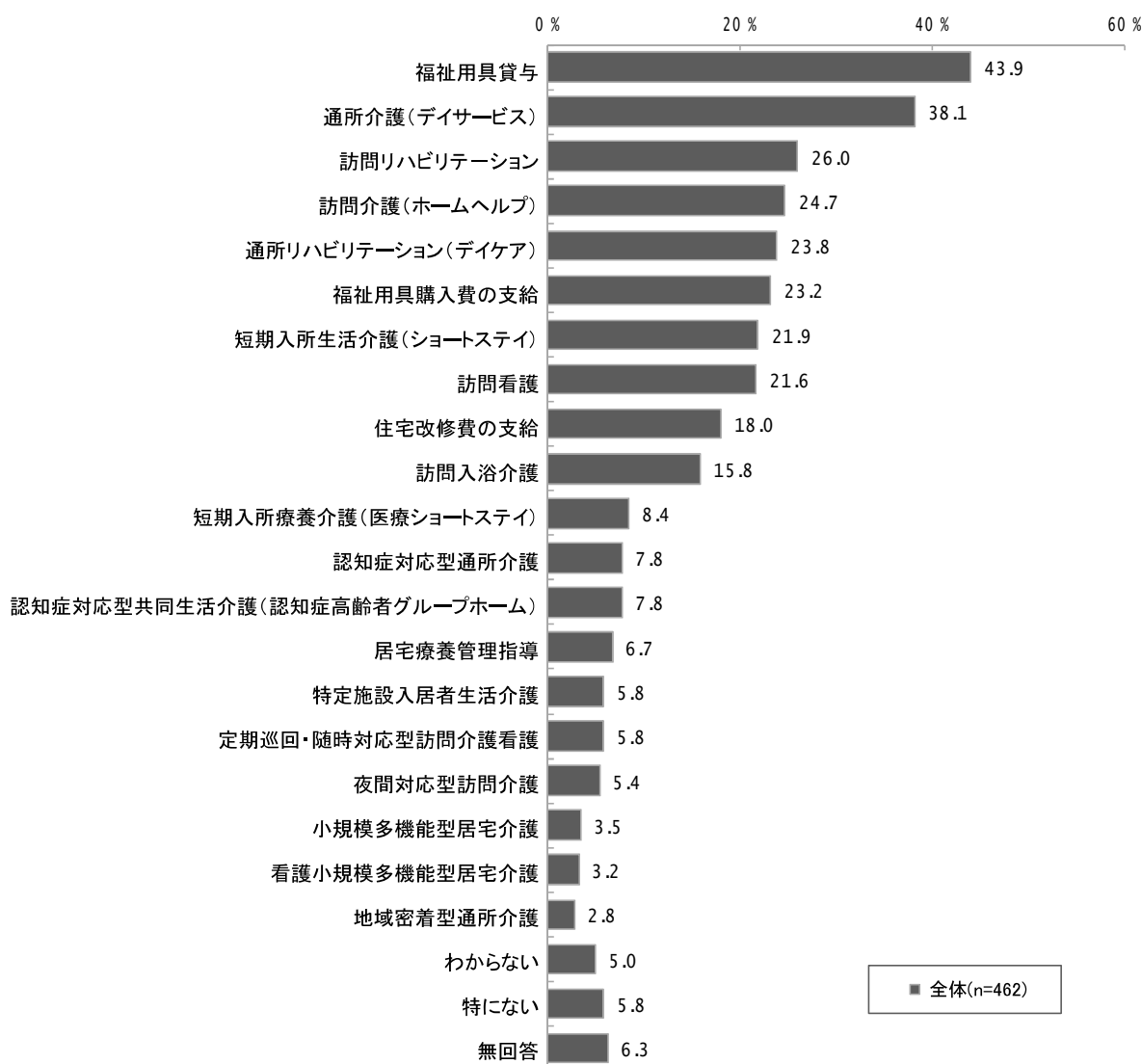
問 8 あなたやあなたのご家族が、利用したい、または利用し続けたい居宅サービスはどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

利用したいまたは利用し続けたい居宅サービスは、「福祉用具貸与」(43.9%) が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス)」(38.1%)、「訪問リハビリテーション」(26.0%) などとなっている。

要介護度別(次ページ)で見ると、全体で最も利用意向の高い「福祉用具貸与」は、要介護3と要介護5の方に利用意向が高い。また、「訪問リハビリテーション」や「訪問介護(ホームヘルプ)」は要介護5の方に利用意向が高い。

世帯構成別では、息子・娘との2世帯で「通所介護(デイサービス)」の利用意向が高く、1人暮らしの方は「訪問介護(ホームヘルプ)」への利用意向が高い。

図表 Ⅱ②-17 利用したい、または利用し続けたい居宅サービス



Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

利用したい、または利用し続けたい居宅サービス

【全体の上位10項目（属性別）】

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
		福祉用具貸与	通所介護（デイサービス）	訪問リハビリテーション	訪問介護（ホームヘルプ）	通所リハビリテーション（デイケア）	福祉用具購入費の支給	短期入所生活介護（ショートステイ）	訪問看護	住宅改修費の支給	訪問入浴介護	(%)
全体		(n= 462)	43.9	38.1	26.0	24.7	23.8	23.2	21.9	21.6	18.0	15.8
性別	男性	(n= 214)	41.6	37.4	23.4	20.6	26.6	22.0	22.9	20.6	16.4	15.4
	女性	(n= 246)	45.9	38.6	27.6	28.5	21.5	24.0	20.7	22.4	19.1	16.3
年齢	65～69歳	(n= 94)	40.4	34.0	26.6	24.5	28.7	22.3	14.9	21.3	18.1	14.9
	70～74歳	(n= 149)	42.3	31.5	28.9	25.5	24.8	22.8	17.4	22.8	16.8	14.1
	75～79歳	(n= 37)	48.6	40.5	29.7	18.9	27.0	27.0	18.9	13.5	16.2	24.3
	80～84歳	(n= 53)	41.5	39.6	22.6	24.5	24.5	26.4	22.6	20.8	22.6	11.3
	85～89歳	(n= 59)	45.8	45.8	16.9	25.4	23.7	16.9	28.8	13.6	18.6	13.6
	90歳以上	(n= 68)	50.0	48.5	25.0	26.5	13.2	25.0	35.3	30.9	16.2	22.1
要介護度	要介護1	(n= 115)	26.1	27.0	19.1	19.1	24.3	15.7	13.9	13.9	14.8	9.6
	要介護2	(n= 121)	44.6	43.0	28.1	27.3	23.1	24.8	13.2	21.5	24.0	14.9
	要介護3	(n= 92)	54.3	37.0	27.2	25.0	27.2	22.8	23.9	18.5	12.0	14.1
	要介護4	(n= 79)	46.8	44.3	24.1	21.5	25.3	31.6	34.2	20.3	21.5	17.7
	要介護5	(n= 53)	58.5	43.4	34.0	35.8	17.0	22.6	35.8	45.3	15.1	32.1
世帯構成	1人暮らし	(n= 87)	43.7	33.3	18.4	47.1	16.1	12.6	6.9	27.6	13.8	11.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 165)	41.2	37.6	28.5	17.6	27.3	23.0	24.8	20.0	16.4	16.4
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	50.0	20.0	20.0	20.0	40.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0
	息子・娘との2世帯	(n= 112)	49.1	43.8	29.5	24.1	22.3	25.9	25.0	23.2	23.2	20.5
	その他	(n= 75)	42.7	36.0	26.7	16.0	24.0	29.3	25.3	18.7	20.0	14.7
地区	深川北	(n= 99)	44.4	34.3	25.3	24.2	28.3	25.3	24.2	18.2	24.2	19.2
	深川南	(n= 107)	41.1	31.8	29.0	21.5	17.8	22.4	23.4	28.0	16.8	13.1
	亀戸・大島	(n= 116)	49.1	43.1	25.0	29.3	23.3	19.0	19.8	24.1	12.9	18.1
	砂町	(n= 138)	41.3	41.3	23.9	23.9	26.1	25.4	20.3	16.7	18.1	13.8
ブロック	深川北	(n= 56)	46.4	46.4	21.4	19.6	26.8	21.4	30.4	21.4	23.2	16.1
	深川中央	(n= 72)	41.7	20.8	29.2	23.6	26.4	27.8	18.1	18.1	25.0	18.1
	深川南	(n= 78)	41.0	34.6	29.5	24.4	16.7	21.8	24.4	29.5	14.1	14.1
	亀戸	(n= 52)	57.7	48.1	30.8	34.6	30.8	17.3	21.2	32.7	15.4	19.2
	大島	(n= 64)	42.2	39.1	20.3	25.0	17.2	20.3	18.8	17.2	10.9	17.2
	南砂	(n= 72)	43.1	41.7	25.0	25.0	31.9	22.2	25.0	18.1	18.1	12.5
	北砂	(n= 66)	39.4	40.9	22.7	22.7	19.7	28.8	15.2	15.2	18.2	15.2

Ⅱ 調査結果の概要
 調査② 介護サービスの利用意向調査

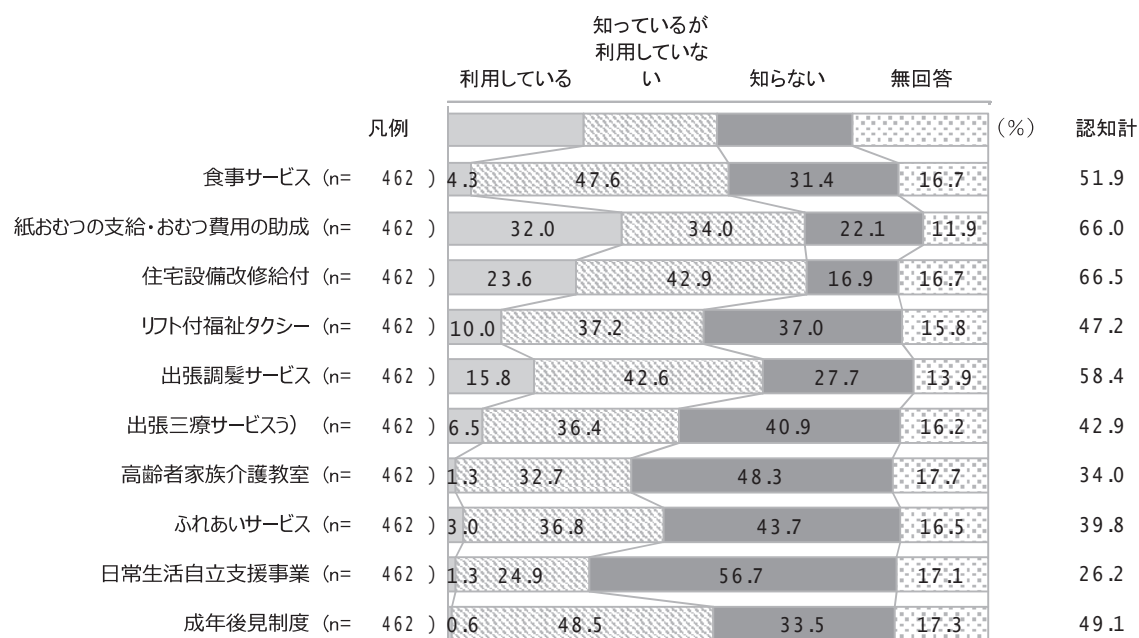
⑪ 区等が実施している保健福祉サービスの利用や認知の状況

問9 区等が実施している以下の保健福祉サービスを、あなたは利用していますか。また、
 知っていますか。 (それぞれひとつだけ○)

区等が実施している保健福祉サービスの認知は、「利用している」と「知っているが利用していない」を合わせて、「住宅設備改修給付」(66.5%)が最も高く、次いで「紙おむつの支給・おむつ費用の助成」(66.0%)、「出張調髪サービス」(58.4%)となっている。

「利用している」が最も高い項目は「紙おむつの支給・おむつ費用の助成」(32.0%)、次に「住宅設備改修給付」(23.6%)である。一方で、「知っているが利用していない」は、「食事サービス」、「住宅設備改修給付」、「出張調髪サービス」、「成年後見制度」などが高い。

図表 Ⅱ②-18 区等が実施している保健福祉サービスの利用や認知の状況



⑫ 東京都の福祉サービス第三者評価の認知度

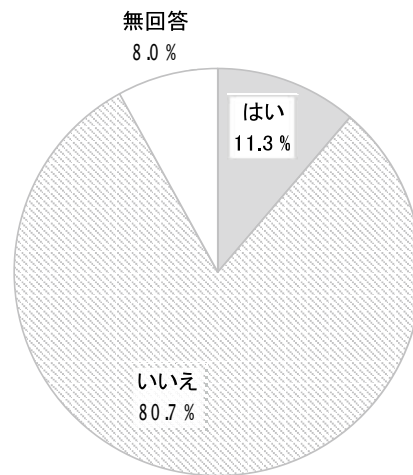
問10 東京都が実施している福祉サービス第三者評価とは、第三者の目から見た評価結果を幅広く介護サービスの利用者や事業者公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取組みを促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指す制度です。あなたは、このような制度があることを知っていますか。
(ひとつだけ○)

東京都の福祉サービス第三者評価の認知度は、「はい」(11.3%)、「いいえ」(80.7%)となっている。

年齢別にみると、85～89歳で認知度が高いものの、90歳以上では認知度が低い。

要介護度別では、要介護度が高い方ほど認知度の割合が高い。

図表 Ⅱ②-19 東京都の福祉サービス第三者評価の認知度



(全体:n=462)

		はい	いいえ	無回答	(%)
全 体		(n= 462)	11.3	80.7	8.0
年 齢	65～69歳	(n= 94)	11.7	84.0	4.3
	70～74歳	(n= 149)	12.8	78.5	8.7
	75～79歳	(n= 37)	10.8	75.7	13.5
	80～84歳	(n= 53)	11.3	83.0	5.7
	85～89歳	(n= 59)	15.3	69.5	15.3
	90歳以上	(n= 68)	4.4	91.2	4.4
要 介 護 度	要介護1	(n= 115)	7.0	79.1	13.9
	要介護2	(n= 121)	12.4	85.1	2.5
	要介護3	(n= 92)	10.9	79.3	9.8
	要介護4	(n= 79)	12.7	78.5	8.9
	要介護5	(n= 53)	17.0	79.2	3.8

Ⅱ 調査結果の概要
 調査② 介護サービスの利用意向調査

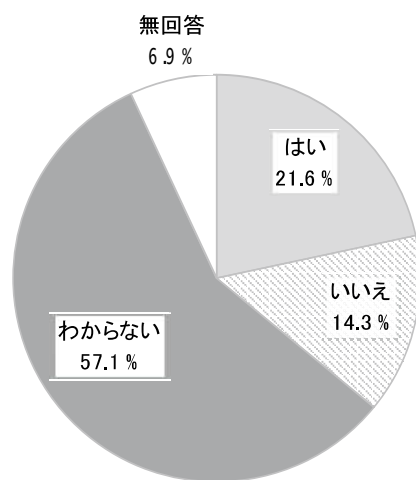
⑬ 福祉サービス第三者評価の受審の有無を判断する材料とするか

問10-1. あなたが、介護サービス事業所を選ぶにあたり、東京都の福祉サービス第三者評価の受審の有無を判断材料としますか。 (ひとつだけ○)

福祉サービス第三者評価の受審の有無を判断する材料とするかは、「はい」(21.6%)、「いいえ」(14.3%)、「わからない」(57.1%)となっている。

年齢別、要介護度別にみても、いずれも「わからない」が多数を占める。

図表 Ⅱ②-20 福祉サービス第三者評価の受審の有無を判断する材料とするか



(全体:n=462)

		はい	いいえ	わからない	無回答		
全体		(n= 462)	21.6	14.3	57.1	6.9	(%)
年齢	65～69歳	(n= 94)	24.5	14.9	56.4	4.3	
	70～74歳	(n= 149)	22.8	17.4	53.0	6.7	
	75～79歳	(n= 37)	24.3	16.2	48.6	10.8	
	80～84歳	(n= 53)	18.9	9.4	64.2	7.5	
	85～89歳	(n= 59)	20.3	13.6	52.5	13.6	
	90歳以上	(n= 68)	16.2	10.3	70.6	2.9	
要介護度	要介護1	(n= 115)	19.1	10.4	60.9	9.6	
	要介護2	(n= 121)	22.3	16.5	57.0	4.1	
	要介護3	(n= 92)	22.8	9.8	59.8	7.6	
	要介護4	(n= 79)	21.5	19.0	49.4	10.1	
	要介護5	(n= 53)	22.6	18.9	56.6	1.9	

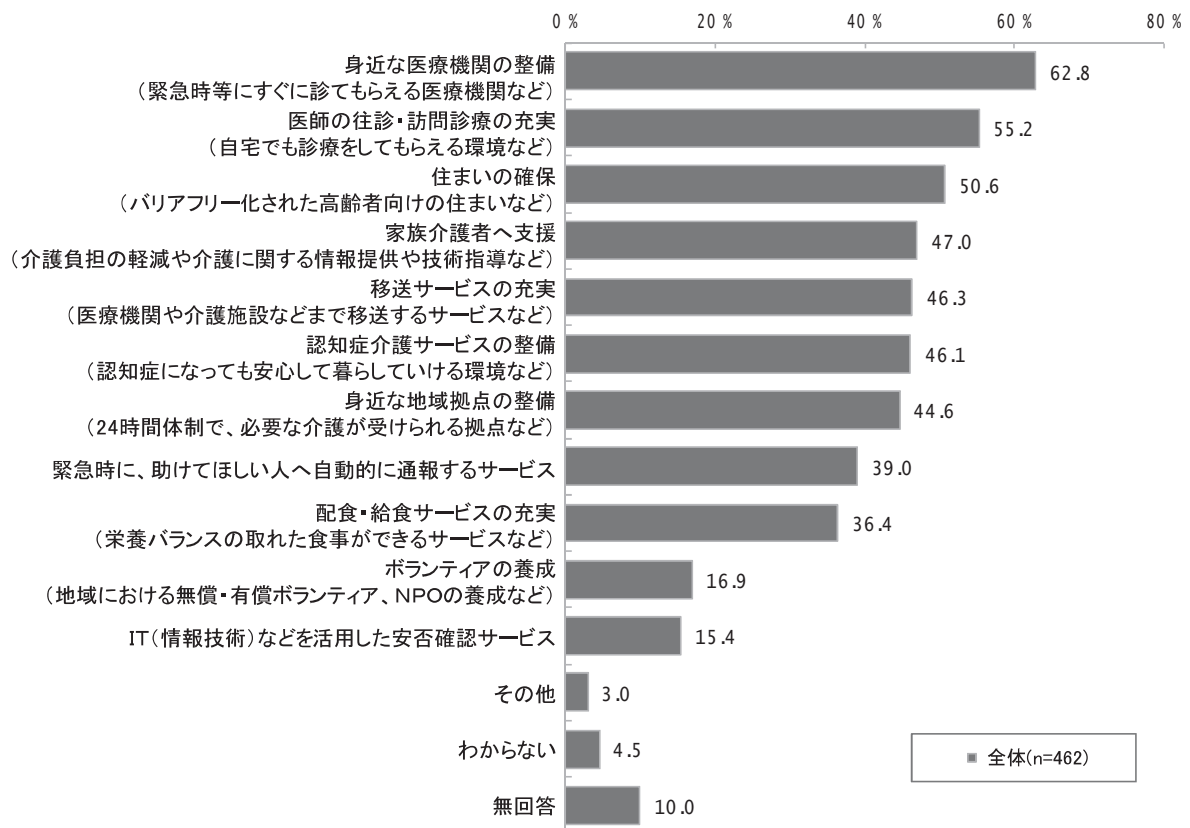
⑭ 在宅で生活を継続していくために必要な支援

問 11 あなたは、在宅で生活を継続していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。現在利用している、していないに関わらず、必要な支援を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

在宅で生活を継続していくために必要な支援は、「身近な医療機関の整備」(62.8%)が最も高く、次いで「医師の往診・訪問診療の充実」(55.2%)、「住まいの確保」(50.6%)などとなっている。

図表 Ⅱ②-21 在宅で生活を継続していくために必要な支援



Ⅱ 調査結果の概要

調査② 介護サービスの利用意向調査

性別では、「身近な医療機関の整備」、「医師の往診・訪問診療の充実」が男性に比べ女性においてやや高いものの、それ以外の支援については男女間に大きな差異は見られない。

年齢別でみると、「身近な医療機関の整備」は85～89歳で高く、「医師の往診・訪問診療の充実」は90歳以上で高い。

要介護度別では、要介護4の方は「身近な医療機関の整備」が高く、要介護5の方では「医師の往診・訪問診療の充実」が高い。

地区別においては、深川北地区で「医師の往診・訪問診療の充実」、亀戸・大島地区で「住まいの確保」がやや高いものの、地区間ではあまり大きな差異は見られない。

図表Ⅱ②-22 在宅で生活を継続していくために必要な支援

		身近な医療機関の整備 (緊急時等にすぐに診てもらえる医療機関など)	医師の往診・訪問診療の充実 (自宅でも診療をしてもらえる環境など)	住まいの確保 (バリアフリー化された高齢者向けの住まいなど)	家族介護者へ支援 (介護負担の軽減や介護に関する情報提供や技術指導など)	移送サービスの充実 (医療機関や介護施設などまで移送するサービスなど)	認知症介護サービスの整備 (認知症になっても安心して暮らしていける環境など)	身近な地域拠点の整備 (24時間体制で、必要な介護が受けられる拠点など)	緊急時に、助けてほしい人へ自動的に通報するサービス	配食・給食サービスの充実 (栄養バランスの取れた食事ができるサービスなど)	ボランティアの養成・有償ボランティア、NPOの養成など	IT(情報技術)などを活用した安否確認サービス	その他	わからない	無回答	
全体	(n= 462)	62.8	55.2	50.6	47.0	46.3	46.1	44.6	39.0	36.4	16.9	15.4	3.0	4.5	10.0	
性別	男性	(n= 214)	57.9	50.5	51.9	45.3	46.3	43.5	39.7	36.0	32.2	15.9	14.0	4.2	4.2	12.1
	女性	(n= 246)	66.7	58.9	49.6	48.4	46.7	48.4	48.8	41.5	40.2	17.9	16.7	2.0	4.9	8.1
年齢	65～69歳	(n= 94)	72.3	51.1	59.6	51.1	58.5	51.1	47.9	44.7	43.6	17.0	20.2	2.1	3.2	5.3
	70～74歳	(n= 149)	54.4	49.7	53.7	39.6	40.3	40.3	36.9	32.2	34.2	13.4	12.8	2.0	5.4	14.1
	75～79歳	(n= 37)	54.1	48.6	35.1	40.5	43.2	43.2	37.8	32.4	32.4	21.6	13.5	5.4	5.4	13.5
	80～84歳	(n= 53)	60.4	50.9	47.2	49.1	41.5	47.2	52.8	35.8	26.4	13.2	15.1	3.8	5.7	7.5
	85～89歳	(n= 59)	71.2	64.4	47.5	54.2	52.5	55.9	45.8	49.2	42.4	20.3	13.6	3.4	1.7	11.9
	90歳以上	(n= 68)	66.2	70.6	45.6	52.9	44.1	44.1	52.9	42.6	36.8	22.1	17.6	4.4	5.9	5.9
要介護度	要介護1	(n= 115)	52.2	48.7	43.5	40.9	40.0	44.3	40.9	36.5	30.4	13.0	12.2	1.7	8.7	11.3
	要介護2	(n= 121)	62.0	55.4	47.1	41.3	39.7	43.0	40.5	38.0	33.1	19.0	16.5	1.7	5.0	8.3
	要介護3	(n= 92)	63.0	51.1	56.5	47.8	53.3	43.5	42.4	40.2	38.0	17.4	16.3	5.4	3.3	10.9
	要介護4	(n= 79)	75.9	60.8	59.5	59.5	51.9	59.5	55.7	41.8	43.0	19.0	21.5	3.8	0.0	8.9
	要介護5	(n= 53)	66.0	66.0	50.9	52.8	56.6	41.5	49.1	39.6	45.3	17.0	9.4	3.8	3.8	11.3
世帯構成	1人暮らし	(n= 87)	60.9	51.7	46.0	26.4	40.2	41.4	43.7	35.6	36.8	13.8	17.2	1.1	6.9	11.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 165)	58.8	52.7	50.9	43.6	48.5	44.8	41.2	37.6	34.5	17.0	15.8	3.0	3.6	13.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	60.0	50.0	80.0	90.0	60.0	50.0	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯 その他	(n= 112) (n= 75)	69.6 66.7	58.9 64.0	53.6 52.0	56.3 61.3	42.9 53.3	53.6 48.0	48.2 49.3	40.2 42.7	41.1 37.3	17.0 22.7	14.3 16.0	1.8 5.3	3.6 5.3	6.3 5.3
地区	深川北	(n= 99)	61.6	60.6	49.5	52.5	43.4	50.5	46.5	34.3	32.3	18.2	13.1	3.0	1.0	8.1
	深川南	(n= 107)	66.4	54.2	48.6	44.9	44.9	38.3	43.0	38.3	39.3	12.1	15.9	3.7	5.6	10.3
	亀戸・大島	(n= 116)	64.7	50.9	58.6	44.8	47.4	44.8	44.0	43.1	37.9	18.1	16.4	3.4	6.0	6.0
	砂町	(n= 138)	58.7	55.1	46.4	46.4	49.3	50.0	44.9	39.1	36.2	18.8	15.9	2.2	5.1	14.5
ブロック	深川北	(n= 56)	58.9	62.5	48.2	55.4	44.6	55.4	51.8	35.7	30.4	19.6	14.3	5.4	1.8	5.4
	深川中央	(n= 72)	65.3	54.2	47.2	47.2	41.7	40.3	40.3	31.9	38.9	15.3	9.7	1.4	6.9	8.3
	深川南	(n= 78)	66.7	56.4	51.3	44.9	46.2	39.7	43.6	41.0	37.2	11.5	19.2	3.8	1.3	12.8
	亀戸	(n= 52)	61.5	53.8	55.8	48.1	48.1	53.8	42.3	42.3	48.1	17.3	15.4	3.8	11.5	3.8
	大島	(n= 64)	67.2	48.4	60.9	42.2	46.9	37.5	45.3	43.8	29.7	18.8	17.2	3.1	1.6	7.8
	南砂 北砂	(n= 72) (n= 66)	58.3 59.1	56.9 53.0	44.4 48.5	50.0 42.4	47.2 51.5	51.4 48.5	47.2 42.4	45.8 31.8	44.4 27.3	20.8 16.7	19.4 12.1	1.4 3.0	2.8 7.6	13.9 15.2

(%)

4. 高齢者施設について

① 特別養護老人ホーム（特養）への入所希望

問12. あなたは特別養護老人ホーム（特養）への入所を希望している、または将来的に入所を希望していますか。 (ひとつだけ○)

特別養護老人ホーム（特養）への入所希望は、「はい」＝入所を希望(43.1%)、「いいえ」(48.1%)となっている。

性別では、男女間に大きな差異はなく、年齢別では80～84歳で「はい」＝入所を希望の割合がやや低い。

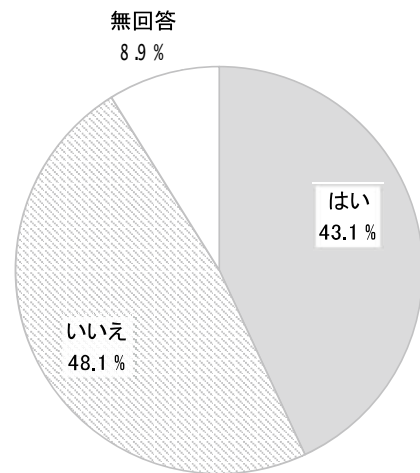
要介護度別では、要介護4の方は、「はい」＝入所希望が他の介護度の方と比べると高い。

地区別では、深川北で「はい」＝入所の希望がやや低い。

図表Ⅱ②-23 特別養護老人ホーム（特養）への入所希望

		はい	いいえ	無回答
	全体 (n= 462)	43.1	48.1	8.9
性別	男性 (n= 214)	43.5	48.1	8.4
	女性 (n= 246)	42.7	48.0	9.3
年齢	65～69歳 (n= 94)	43.6	50.0	6.4
	70～74歳 (n= 149)	45.0	47.0	8.1
	75～79歳 (n= 37)	45.9	45.9	8.1
	80～84歳 (n= 53)	37.7	49.1	13.2
	85～89歳 (n= 59)	44.1	44.1	11.9
	90歳以上 (n= 68)	39.7	51.5	8.8
要介護度	要介護1 (n= 115)	39.1	47.8	13.0
	要介護2 (n= 121)	38.8	57.9	3.3
	要介護3 (n= 92)	46.7	40.2	13.0
	要介護4 (n= 79)	54.4	36.7	8.9
	要介護5 (n= 53)	37.7	56.6	5.7
世帯構成	1人暮らし (n= 87)	44.8	47.1	8.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 165)	52.1	38.8	9.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 10)	20.0	80.0	0.0
	息子・娘との2世帯 (n= 112)	37.5	54.5	8.0
その他 (n= 75)	32.0	58.7	9.3	
地区	深川北 (n= 99)	38.4	55.6	6.1
	深川南 (n= 107)	41.1	49.5	9.3
	亀戸・大島 (n= 116)	44.8	47.4	7.8
	砂町 (n= 138)	46.4	42.0	11.6
ブロック	深川北 (n= 56)	39.3	53.6	7.1
	深川中央 (n= 72)	37.5	54.2	8.3
	深川南 (n= 78)	42.3	50.0	7.7
	亀戸 (n= 52)	40.4	53.8	5.8
	大島 (n= 64)	48.4	42.2	9.4
	南砂 (n= 72)	50.0	41.7	8.3
北砂 (n= 66)	42.4	42.4	15.2	

(%)



(全体: n=462)

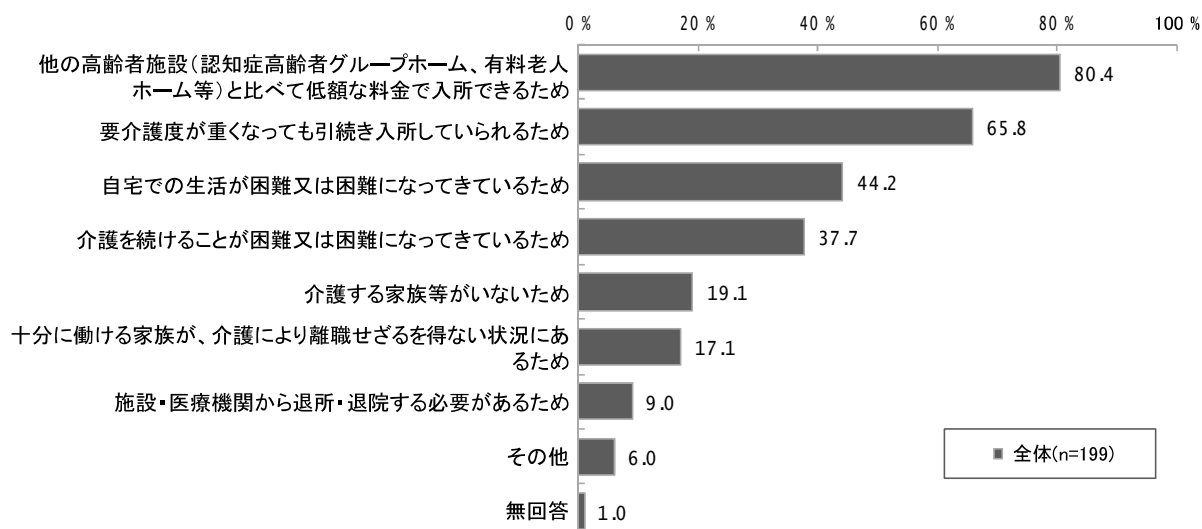
Ⅱ 調査結果の概要
 調査② 介護サービスの利用意向調査

② 特別養護老人ホーム（特養）への入所を希望する理由

問 12 -1. (はいの方へ) 特養への入所を希望する理由を教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

特養への入所を希望する理由としては、「他の高齢者施設（認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム等）と比べて低額な料金で入所できるため」（80.4%）が最も高く、次いで「要介護度が重くなっても引続き入所していただけるため」（65.8%）などとなっている。

図表 Ⅱ②-24 特養への入所を希望する理由



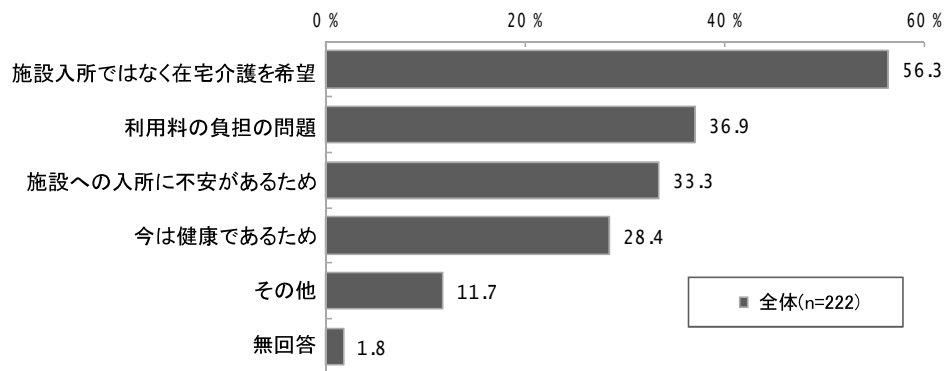
③ 特別養護老人ホーム（特養）への入所を希望しない理由

問12-2.（いいえの方へ）特養への入所を希望しない理由を教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

特養への入所を希望しない理由は、「施設入所ではなく在宅介護を希望」（56.3%）が最も高く、次いで「利用料の負担の問題」（36.9%）、「施設への入所に不安があるため」（33.3%）などとなっている。

図表 Ⅱ②-25 特養への入所を希望しない理由



Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

④ 都外の特別養護老人ホーム（特養）の入所希望

問13 区では、区内の特別養護老人ホームの整備を進めていますが、区が都外に特別養護老人ホームを整備することとした場合、その施設への入所を希望しますか。

(ひとつだけ○)

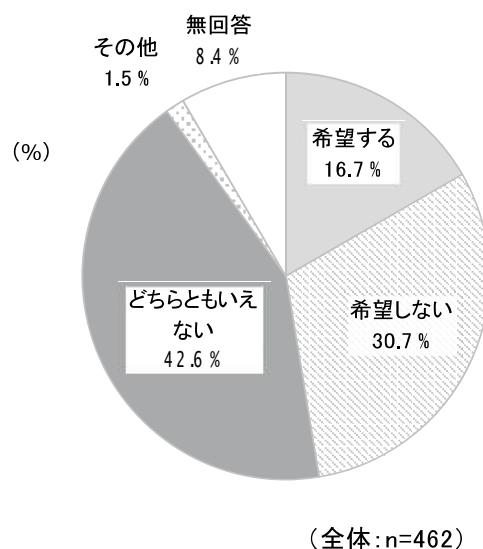
都外の特養への入所希望は、「希望する」(16.7%)、「希望しない」(30.7%)、「どちらともいえない」(42.6%)となっている。

性別、要介護度別でも大きな差異は見られないが、年齢別では75～79歳で「希望する」割合が他の年代と比べて高くなっている。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）において「希望する」割合が高い。

図表 Ⅱ②-26 都外の特別養護老人ホームの入所希望

		希望する	希望しない	どちらともいえない	その他	無回答
	全体 (n= 462)	16.7	30.7	42.6	1.5	8.4
性別	男性 (n= 214)	18.2	32.2	39.7	1.4	8.4
	女性 (n= 246)	15.0	29.3	45.5	1.6	8.5
年齢	65～69歳 (n= 94)	16.0	38.3	37.2	2.1	6.4
	70～74歳 (n= 149)	15.4	27.5	47.7	2.0	7.4
	75～79歳 (n= 37)	24.3	27.0	40.5	0.0	8.1
	80～84歳 (n= 53)	13.2	43.4	35.8	0.0	7.5
	85～89歳 (n= 59)	18.6	27.1	40.7	0.0	13.6
	90歳以上 (n= 68)	16.2	22.1	48.5	2.9	10.3
要介護度	要介護1 (n= 115)	15.7	25.2	47.0	3.5	8.7
	要介護2 (n= 121)	16.5	30.6	43.8	0.0	9.1
	要介護3 (n= 92)	17.4	28.3	40.2	2.2	12.0
	要介護4 (n= 79)	16.5	35.4	40.5	1.3	6.3
	要介護5 (n= 53)	17.0	39.6	39.6	0.0	3.8
世帯構成	1人暮らし (n= 87)	17.2	31.0	42.5	1.1	8.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 165)	21.8	27.9	40.6	1.2	8.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 10)	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯 (n= 112)	11.6	26.8	50.9	0.9	9.8
その他 (n= 75)	14.7	36.0	38.7	4.0	6.7	
地区	深川北 (n= 99)	19.2	35.4	39.4	2.0	4.0
	深川南 (n= 107)	16.8	35.5	37.4	1.9	8.4
	亀戸・大島 (n= 116)	19.0	26.7	44.8	0.9	8.6
	砂町 (n= 138)	12.3	26.8	47.8	1.4	11.6
ブロック	深川北 (n= 56)	19.6	35.7	35.7	3.6	5.4
	深川中央 (n= 72)	18.1	36.1	40.3	1.4	4.2
	深川南 (n= 78)	16.7	34.6	38.5	1.3	9.0
	亀戸 (n= 52)	19.2	25.0	50.0	1.9	3.8
	大島 (n= 64)	18.8	28.1	40.6	0.0	12.5
	南砂 (n= 72)	11.1	30.6	44.4	0.0	13.9
北砂 (n= 66)	13.6	22.7	51.5	3.0	9.1	

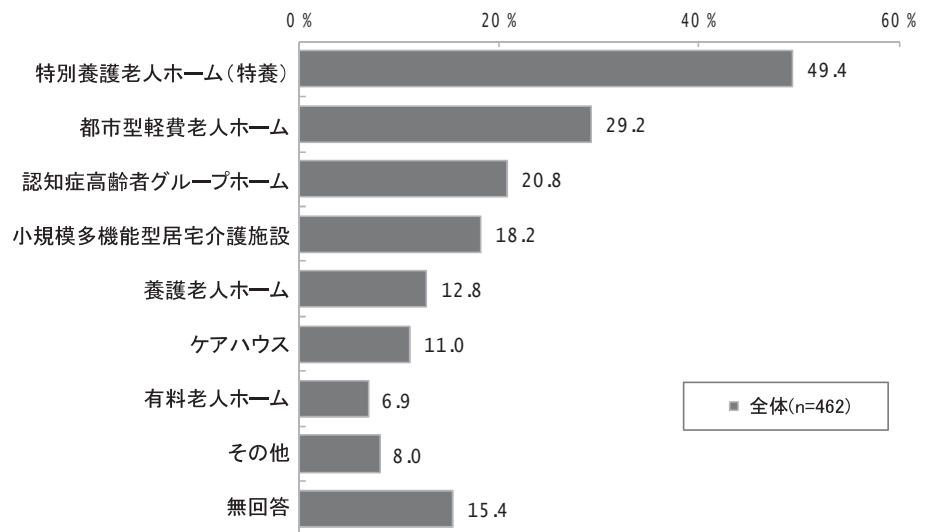


⑤ 整備して欲しい高齢者施設

問14. 区では、特別養護老人ホームの他にも高齢者施設の整備を進めていますが、今後どのような高齢者施設を整備して欲しいかを教えてください。(ひとつだけ○)

整備して欲しい高齢者施設は、「特別養護老人ホーム(特養)」(49.4%)が最も高く、次いで「都市型軽費老人ホーム」(29.2%)、「認知症高齢者グループホーム」(20.8%)などとなっている。

図表 Ⅱ②-27 整備して欲しい高齢者施設



Ⅱ 調査結果の概要
 調査② 介護サービスの利用意向調査

⑥ ショートステイに対する認知度

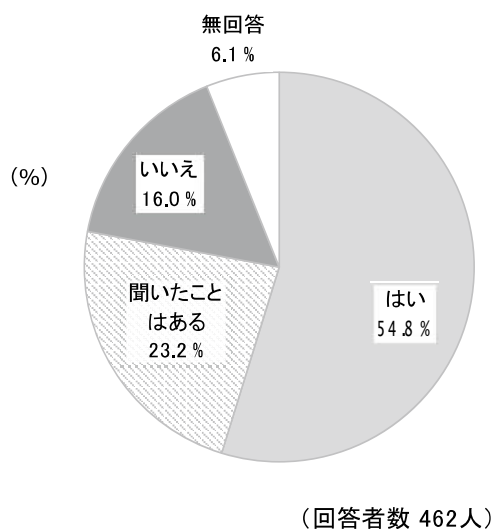
問15. 区では、短期間入所して、日常生活上の介護や機能訓練などが受けられるショートステイ（短期入所）の利用を各特別養護老人ホームで行っています。ショートステイという制度は知っていますか。 (ひとつだけ○)

ショートステイに対する認知度は、「はい」(54.8%)、「聞いたことはある」(23.2%)を合わせた全体の約8割が認知している。

性別では、認知傾向に大きな差異はないが、年齢別では、70代の認知度がやや低い。要介護度別では、要介護度が高い方ほど認知度が高い。

図表 Ⅱ②-28 ショートステイに対する認知度

		はい	聞いたことはある	いいえ	無回答
	全体 (n= 462)	54.8	23.2	16.0	6.1
性別	男性 (n= 214)	54.2	22.9	16.4	6.5
	女性 (n= 246)	55.3	23.6	15.4	5.7
年齢	65～69歳 (n= 94)	54.3	25.5	17.0	3.2
	70～74歳 (n= 149)	47.0	25.5	20.1	7.4
	75～79歳 (n= 37)	51.4	21.6	21.6	5.4
	80～84歳 (n= 53)	64.2	18.9	9.4	7.5
	85～89歳 (n= 59)	57.6	18.6	15.3	8.5
	90歳以上 (n= 68)	64.7	23.5	7.4	4.4
要介護度	要介護1 (n= 115)	41.7	31.3	21.7	5.2
	要介護2 (n= 121)	52.9	23.1	19.8	4.1
	要介護3 (n= 92)	59.8	19.6	10.9	9.8
	要介護4 (n= 79)	60.8	20.3	12.7	6.3
	要介護5 (n= 53)	69.8	17.0	7.5	5.7
世帯構成	1人暮らし (n= 87)	49.4	23.0	17.2	10.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 165)	52.1	22.4	20.0	5.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 10)	70.0	30.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯 (n= 112)	55.4	29.5	12.5	2.7
その他 (n= 75)	65.3	16.0	12.0	6.7	
地区	深川北 (n= 99)	56.6	25.3	13.1	5.1
	深川南 (n= 107)	54.2	25.2	13.1	7.5
	亀戸・大島 (n= 116)	57.8	19.8	18.1	4.3
	砂町 (n= 138)	51.4	23.2	18.1	7.2
ブロック	深川北 (n= 56)	55.4	21.4	16.1	7.1
	深川中央 (n= 72)	58.3	27.8	11.1	2.8
	深川南 (n= 78)	52.6	25.6	12.8	9.0
	亀戸 (n= 52)	57.7	19.2	21.2	1.9
	大島 (n= 64)	57.8	20.3	15.6	6.3
	南砂 (n= 72)	52.8	26.4	16.7	4.2
北砂 (n= 66)	50.0	19.7	19.7	10.6	

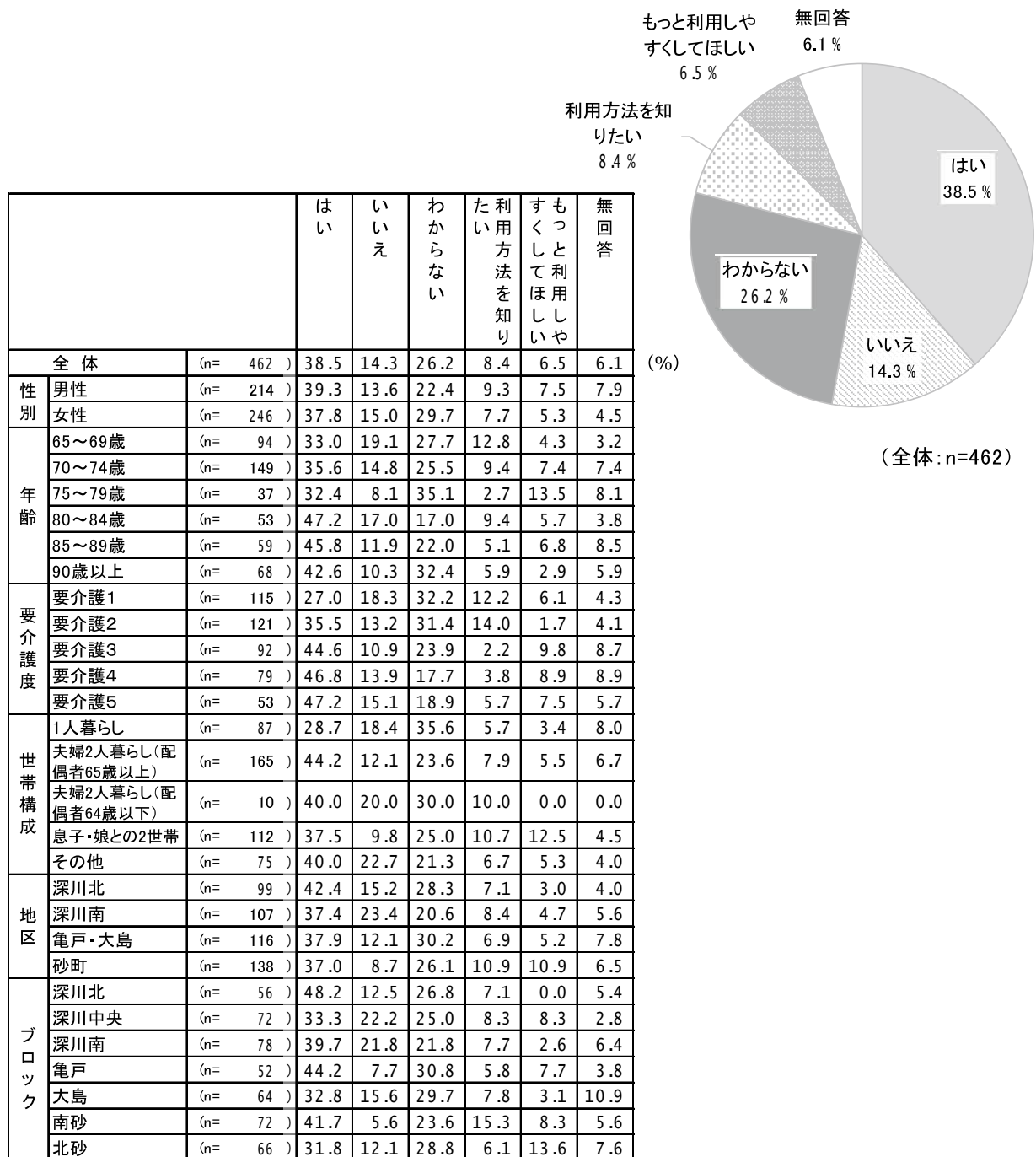


⑦ ショートステイの利用

問15-1. ショートステイを既に利用、または将来的に利用したいと思いますか。
(ひとつだけ○)

ショートステイの利用は、「はい」=既に利用、または将来的に利用したい(38.5%)、「いいえ」(14.3%)、「わからない」(26.2%)、「利用方法を知りたい」(8.4%)、「もっと利用しやすくしてほしい」(6.5%)となっている。

図表 Ⅱ②-29 ショートステイの利用



Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

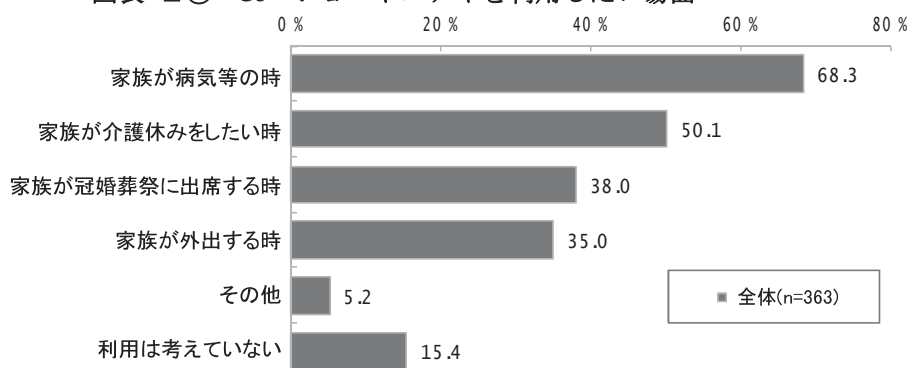
⑧ ショートステイを利用したい場面

問15-2. (家族と同居または近居をしている方へ伺います。) ショートステイをどのような時に利用したいと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)

ショートステイを利用したい場面としては、「家族が病気等の時」(68.3%) が最も高く、次いで「家族が介護休みをしたい時」(50.1%)、「家族が冠婚葬祭に出席する時」(38.0%) などとなっており、「利用は考えていない」は、全体の15.4%である。

要介護度別では、要介護度3以上の方では、それ以下の方に比べて「家族が冠婚葬祭に出席する時」「家族が外出する時」「家族が介護休みをしたい時」に利用したい意向が高い。

図表 Ⅱ②-30 ショートステイを利用したい場面



		時 家 族が 病 気 等 の 時	を 家 族 が い 介 護 休 み を し た い 時	に 家 族 が 冠 婚 葬 祭 に 出 席 す る 時	時 家 族 が 外 出 す る 時	そ の 他	な 利 用 は 考 え て い ない
全 体		(n= 363) 68.3	50.1	38.0	35.0	5.2	15.4
性 別	男性	(n= 169) 75.7	52.1	42.0	35.5	4.1	13.0
	女性	(n= 192) 62.0	47.9	34.4	34.4	5.7	17.7
年 齢	65～69歳	(n= 70) 74.3	55.7	41.4	41.4	7.1	12.9
	70～74歳	(n= 116) 68.1	45.7	36.2	28.4	2.6	15.5
	75～79歳	(n= 27) 74.1	70.4	44.4	48.1	7.4	14.8
	80～84歳	(n= 47) 63.8	38.3	31.9	40.4	4.3	21.3
	85～89歳	(n= 46) 67.4	47.8	32.6	34.8	2.2	15.2
	90歳以上	(n= 55) 63.6	52.7	43.6	29.1	9.1	14.5
要 介 護 度	要介護1	(n= 91) 61.5	41.8	34.1	28.6	7.7	22.0
	要介護2	(n= 93) 69.9	45.2	26.9	30.1	4.3	15.1
	要介護3	(n= 70) 71.4	58.6	38.6	38.6	2.9	11.4
	要介護4	(n= 61) 77.0	49.2	49.2	44.3	6.6	11.5
	要介護5	(n= 46) 63.0	63.0	52.2	39.1	2.2	15.2
世 帯 構 成	1人暮らし	(n= 42) 35.7	35.7	7.1	33.3	14.3	28.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 141) 75.9	46.8	43.3	29.8	2.8	12.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10) 80.0	60.0	30.0	30.0	0.0	20.0
	息子・娘との2世帯	(n= 101) 75.2	54.5	44.6	42.6	2.0	12.9
	その他	(n= 62) 62.9	61.3	40.3	38.7	8.1	17.7
地 区	深川北	(n= 86) 69.8	46.5	39.5	36.0	5.8	17.4
	深川南	(n= 81) 64.2	48.1	33.3	29.6	6.2	21.0
	亀戸・大島	(n= 89) 60.7	47.2	38.2	29.2	5.6	18.0
	砂町	(n= 105) 77.1	56.2	40.0	42.9	2.9	7.6
ブ ロ ッ ク	深川北	(n= 47) 63.8	53.2	36.2	38.3	8.5	19.1
	深川中央	(n= 65) 64.6	43.1	35.4	32.3	3.1	20.0
	深川南	(n= 55) 72.7	47.3	38.2	29.1	7.3	18.2
	亀戸	(n= 39) 69.2	53.8	35.9	28.2	7.7	12.8
	大島	(n= 50) 54.0	42.0	40.0	30.0	4.0	22.0
	南砂	(n= 58) 75.9	62.1	37.9	41.4	1.7	6.9
	北砂	(n= 47) 78.7	48.9	42.6	44.7	4.3	8.5

5. 今後について

① 人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているか

問16 人生の最終段階において、「受たい医療・介護」、あるいは「受たくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、あなたは普段、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。
(ひとつだけ○)

人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているかは、「詳しく話し合っている」(5.6%)と「一応、話し合っている」(26.0%)を合わせた『話し合っている』割合が3割程度(31.6%)である。

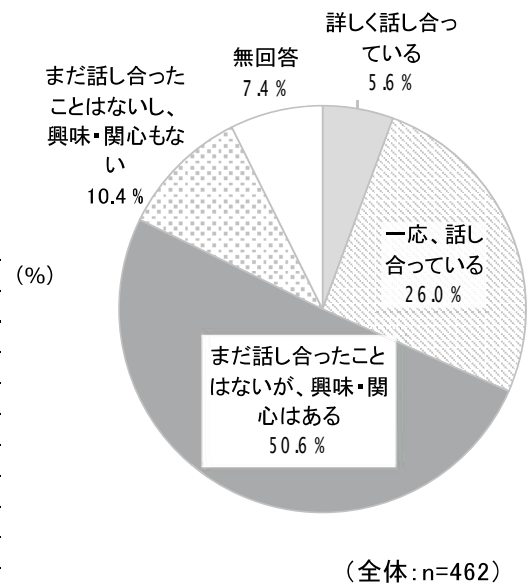
一方で、「まだ話し合ったことはないが、興味・関心はある」は全体の半数にのぼり、「まだ話し合ったことはないし、興味・関心もない」は10.4%である。

性別でみると『話し合っている』は、女性で37.0%、男性で25.3%となり、性別による差がみられる。

また、年齢や要介護度が高くなるほど、『話し合っている』割合は高い。

図表 Ⅱ②-31 人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているか

		詳しく話し合っている	一応、話し合っている	いまだ話し合ったことはないが、興味・関心はある	いまだ話し合ったことはないし、興味・関心もない	無回答	
	全体	(n= 462)	5.6	26.0	50.6	10.4	7.4
性別	男性	(n= 214)	4.7	20.6	53.7	11.7	9.3
	女性	(n= 246)	6.5	30.5	48.0	9.3	5.7
年齢	65～69歳	(n= 94)	3.2	19.1	56.4	14.9	6.4
	70～74歳	(n= 149)	4.0	24.2	56.4	7.4	8.1
	75～79歳	(n= 37)	13.5	18.9	40.5	16.2	10.8
	80～84歳	(n= 53)	3.8	22.6	50.9	15.1	7.5
	85～89歳	(n= 59)	6.8	32.2	47.5	6.8	6.8
	90歳以上	(n= 68)	8.8	39.7	38.2	7.4	5.9
要介護度	要介護1	(n= 115)	1.7	18.3	54.8	16.5	8.7
	要介護2	(n= 121)	2.5	20.7	61.2	9.1	6.6
	要介護3	(n= 92)	9.8	21.7	47.8	10.9	9.8
	要介護4	(n= 79)	6.3	39.2	40.5	7.6	6.3
	要介護5	(n= 53)	13.2	41.5	37.7	3.8	3.8
世帯構成	1人暮らし	(n= 87)	3.4	17.2	56.3	9.2	13.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 165)	3.6	21.2	57.0	10.9	7.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	0.0	50.0	30.0	20.0	0.0
	息子・娘との2世帯	(n= 112)	10.7	31.3	48.2	8.0	1.8
その他	(n= 75)	5.3	34.7	38.7	13.3	8.0	
	(n= 99)	2.0	33.3	50.5	9.1	5.1	
地区	深川北	(n= 99)	2.0	33.3	50.5	9.1	5.1
	深川南	(n= 107)	8.4	29.0	48.6	7.5	6.5
	亀戸・大島	(n= 116)	6.9	20.7	53.4	12.1	6.9
	砂町	(n= 138)	5.1	22.5	50.0	12.3	10.1
ブロック	深川北	(n= 56)	1.8	26.8	51.8	12.5	7.1
	深川中央	(n= 72)	5.6	36.1	45.8	9.7	2.8
	深川南	(n= 78)	7.7	29.5	51.3	3.8	7.7
	亀戸	(n= 52)	7.7	17.3	59.6	11.5	3.8
	大島	(n= 64)	6.3	23.4	48.4	12.5	9.4
	南砂	(n= 72)	4.2	19.4	63.9	6.9	5.6
北砂	(n= 66)	6.1	25.8	34.8	18.2	15.2	



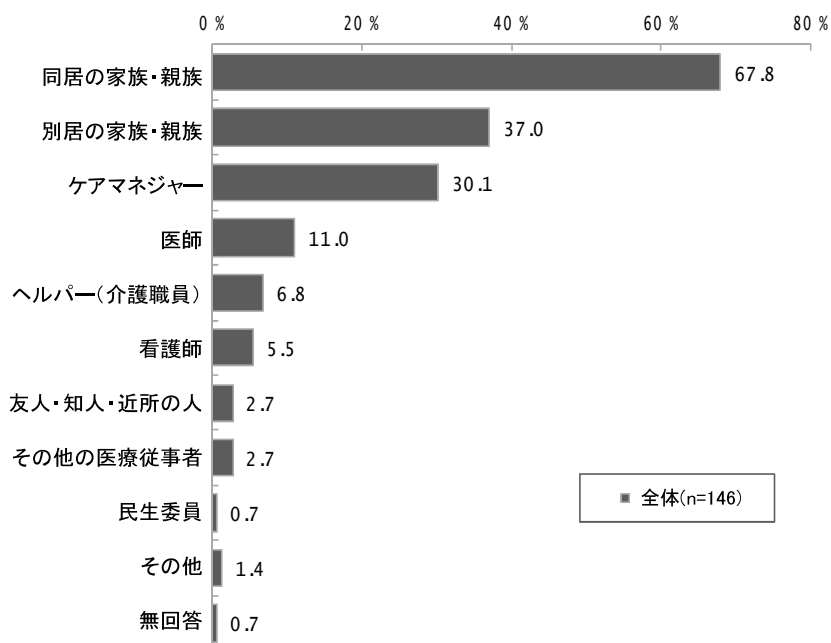
Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

② 話し合っている相手

問16-1 「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応、話し合っている」の方へ伺います)
話し合っている相手はどなたですか。 (あてはまるものすべてに○)

話し合っている相手は、「同居の家族・親族」(67.8%) が最も高く、次いで「別居の家族・親族」(37.0%)、「ケアマネジャー」(30.1%) などとなっている。

図表 Ⅱ②-32 話し合っている相手



6. 防災対策について

① 日頃からしている防災対策

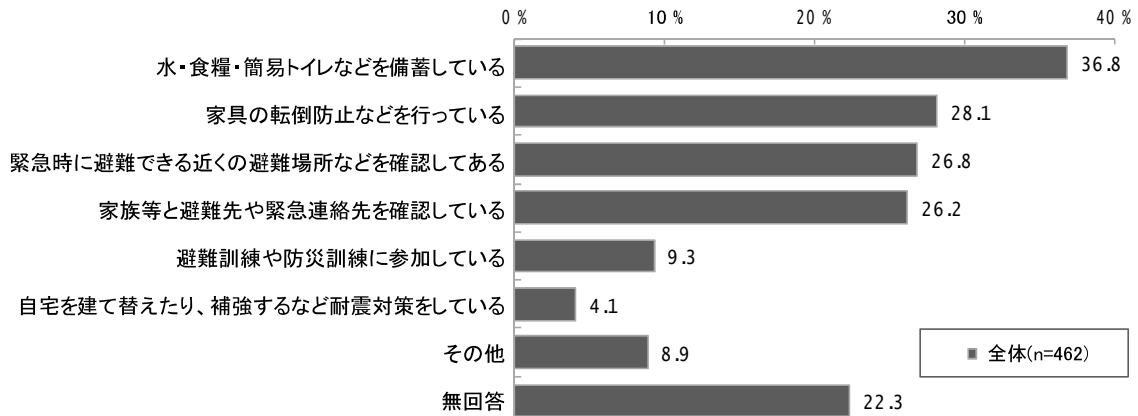
問17. あなたは、防災対策として、日頃からどのようなことをしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

日頃からしている防災対策は、「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」(36.8%)が最も高く、次いで「家具の転倒防止などを行っている」(28.1%)、「緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある」(26.8%)などとなっている。

性別でみると、「緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある」割合は、女性(22.4%)に比べ男性(31.8%)の方が高い。

世帯構成別でみると、1人暮らしの方は他の世帯に比べて、日頃からしている防災対策の割合が全体的に低い。

図表 Ⅱ②-33 日頃からしている防災対策



	蓄ト水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している	るな家具の転倒防止	し場緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある	確認緊急等と避難先を確認している	い訓練に参加し防災	しなたり耐震対策を	自宅を建て替え	その他	無回答
全体 (n= 462)	36.8	28.1	26.8	26.2	9.3	4.1	8.9	22.3	
性別									
男性 (n= 214)	34.1	25.7	31.8	23.8	10.7	4.2	7.9	22.4	
女性 (n= 246)	39.0	30.1	22.4	28.0	8.1	3.7	9.8	22.4	
年齢									
65～69歳 (n= 94)	36.2	31.9	26.6	27.7	5.3	2.1	7.4	20.2	
70～74歳 (n= 149)	37.6	24.2	24.2	26.8	12.8	2.0	8.1	21.5	
75～79歳 (n= 37)	37.8	29.7	29.7	24.3	8.1	13.5	5.4	18.9	
80～84歳 (n= 53)	43.4	28.3	34.0	20.8	11.3	5.7	11.3	24.5	
85～89歳 (n= 59)	33.9	25.4	22.0	23.7	6.8	1.7	10.2	28.8	
90歳以上 (n= 68)	32.4	32.4	29.4	29.4	8.8	5.9	11.8	22.1	
要介護度									
要介護1 (n= 115)	35.7	27.8	28.7	21.7	13.0	1.7	9.6	23.5	
要介護2 (n= 121)	37.2	35.5	28.9	29.8	10.7	3.3	8.3	18.2	
要介護3 (n= 92)	40.2	29.3	31.5	28.3	9.8	7.6	12.0	20.7	
要介護4 (n= 79)	31.6	21.5	22.8	21.5	6.3	5.1	10.1	26.6	
要介護5 (n= 53)	39.6	18.9	15.1	30.2	1.9	1.9	1.9	26.4	
世帯構成									
1人暮らし (n= 87)	31.0	21.8	18.4	21.8	6.9	2.3	9.2	35.6	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 165)	40.0	28.5	23.0	26.7	13.3	2.4	9.7	20.0	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 10)	60.0	50.0	40.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	
息子・娘との2世帯 (n= 112)	38.4	25.9	38.4	30.4	6.3	7.1	3.6	20.5	
その他 (n= 75)	34.7	34.7	30.7	24.0	8.0	5.3	14.7	14.7	
地区									
深川北 (n= 99)	34.3	27.3	36.4	23.2	13.1	3.0	7.1	25.3	
深川南 (n= 107)	37.4	29.9	18.7	28.0	7.5	1.9	12.1	22.4	
亀戸・大島 (n= 116)	39.7	29.3	27.6	29.3	7.8	8.6	7.8	16.4	
砂町 (n= 138)	35.5	26.1	25.4	23.9	9.4	2.2	8.7	25.4	
ブロック									
深川北 (n= 56)	30.4	26.8	32.1	23.2	16.1	3.6	8.9	25.0	
深川中央 (n= 72)	41.7	26.4	37.5	25.0	8.3	2.8	5.6	25.0	
深川南 (n= 78)	34.6	32.1	14.1	28.2	7.7	1.3	14.1	21.8	
亀戸 (n= 52)	38.5	23.1	28.8	32.7	3.8	9.6	7.7	21.2	
大島 (n= 64)	40.6	34.4	26.6	26.6	10.9	7.8	7.8	12.5	
南砂 (n= 72)	40.3	34.7	27.8	29.2	11.1	4.2	8.3	16.7	
北砂 (n= 66)	30.3	16.7	22.7	18.2	7.6	0.0	9.1	34.8	

Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

② 災害時に手助けを頼める人

問18 あなたには、災害などの緊急時に手助けを頼める人（同居人を含む）はいますか。
(ひとつだけ〇)

災害時に手助けを頼める人がいるかについては、「いる」(72.1%)、「いない」(21.6%)となっている。

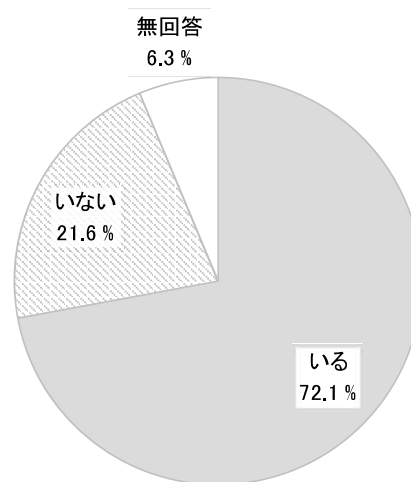
性別では、男性と比べると女性の方が頼める人が「いる」(76.8%)割合が高い。

世帯構成別でみると、1人暮らしの方は他の世帯に比べて「いる」の割合が低い。

図表 Ⅱ②-34 災害時に手助けを頼める人

		いる	いない	無回答
	全体 (n= 462)	72.1	21.6	6.3
性別	男性 (n= 214)	66.4	25.7	7.9
	女性 (n= 246)	76.8	18.3	4.9
年齢	65～69歳 (n= 94)	71.3	24.5	4.3
	70～74歳 (n= 149)	71.8	22.8	5.4
	75～79歳 (n= 37)	62.2	29.7	8.1
	80～84歳 (n= 53)	71.7	18.9	9.4
	85～89歳 (n= 59)	76.3	15.3	8.5
	90歳以上 (n= 68)	75.0	19.1	5.9
要介護度	要介護1 (n= 115)	65.2	24.3	10.4
	要介護2 (n= 121)	73.6	24.0	2.5
	要介護3 (n= 92)	68.5	22.8	8.7
	要介護4 (n= 79)	78.5	15.2	6.3
	要介護5 (n= 53)	79.2	18.9	1.9
世帯構成	1人暮らし (n= 87)	48.3	43.7	8.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 165)	70.9	21.2	7.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 10)	80.0	20.0	0.0
	息子・娘との2世帯 (n= 112)	89.3	9.8	0.9
	その他 (n= 75)	80.0	13.3	6.7
地区	深川北 (n= 99)	75.8	18.2	6.1
	深川南 (n= 107)	71.0	21.5	7.5
	亀戸・大島 (n= 116)	69.0	22.4	8.6
	砂町 (n= 138)	72.5	23.9	3.6
ブロック	深川北 (n= 56)	71.4	17.9	10.7
	深川中央 (n= 72)	77.8	20.8	1.4
	深川南 (n= 78)	70.5	20.5	9.0
	亀戸 (n= 52)	65.4	26.9	7.7
	大島 (n= 64)	71.9	18.8	9.4
	南砂 (n= 72)	73.6	26.4	0.0
	北砂 (n= 66)	71.2	21.2	7.6

(%)



(全体:n=462)

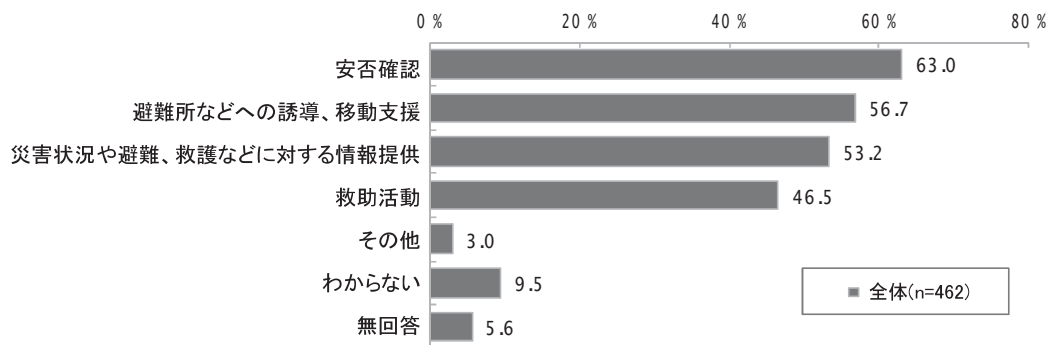
③ 災害時に必要だと思う支援

問19 災害が起こった直後、あなたは、地域でどのような支援をすることが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

災害時に必要だと思う支援は、「安否確認」(63.0%)が最も高く、次いで「避難所などへの誘導、移動支援」(56.7%)、「災害状況や避難、救護などに対する情報提供」(53.2%)である。

世帯構成別でみると、1人暮らしの方は他の世帯に比べて、各設間で必要だと思う方の割合が低い。

図表 Ⅱ②-35 災害時に必要だと思う支援



		安 否 確 認	誘 導 、 移 動 支 援 の	災 害 状 況 や 避 難 に 対 する 情 報 提 供	救 助 活 動	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	(%)
	全 体 (n= 462)	63.0	56.7	53.2	46.5	3.0	9.5	5.6	
性別	男性 (n= 214)	62.1	55.1	54.2	42.1	4.2	7.5	6.1	
	女性 (n= 246)	63.4	57.7	52.4	50.0	2.0	11.4	5.3	
年齢	65～69歳 (n= 94)	66.0	66.0	62.8	45.7	7.4	8.5	4.3	
	70～74歳 (n= 149)	64.4	53.0	47.7	41.6	0.7	9.4	6.0	
	75～79歳 (n= 37)	51.4	43.2	48.6	40.5	5.4	16.2	5.4	
	80～84歳 (n= 53)	64.2	50.9	56.6	39.6	1.9	13.2	5.7	
	85～89歳 (n= 59)	55.9	59.3	49.2	55.9	1.7	6.8	8.5	
	90歳以上 (n= 68)	66.2	60.3	55.9	57.4	2.9	7.4	4.4	
要介護度	要介護1 (n= 115)	59.1	56.5	51.3	40.0	1.7	12.2	7.0	
	要介護2 (n= 121)	66.9	56.2	52.1	51.2	3.3	6.6	4.1	
	要介護3 (n= 92)	59.8	50.0	57.6	42.4	5.4	10.9	6.5	
	要介護4 (n= 79)	63.3	62.0	57.0	51.9	1.3	10.1	7.6	
	要介護5 (n= 53)	66.0	60.4	47.2	47.2	3.8	7.5	1.9	
世帯構成	1人暮らし (n= 87)	54.0	43.7	35.6	39.1	2.3	17.2	10.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 165)	67.3	49.7	53.9	40.6	3.6	10.3	4.8	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 10)	40.0	50.0	70.0	70.0	0.0	0.0	0.0	
	息子・娘との2世帯 (n= 112)	69.6	73.2	66.1	58.9	0.9	2.7	1.8	
その他 (n= 75)	61.3	66.7	54.7	52.0	6.7	8.0	5.3		
地区	深川北 (n= 99)	55.6	60.6	54.5	49.5	2.0	12.1	8.1	
	深川南 (n= 107)	61.7	50.5	50.5	43.9	1.9	11.2	6.5	
	亀戸・大島 (n= 116)	65.5	55.2	53.4	40.5	5.2	6.0	5.2	
	砂町 (n= 138)	66.7	59.4	54.3	50.7	2.9	9.4	3.6	
ブロック	深川北 (n= 56)	44.6	60.7	55.4	46.4	3.6	10.7	10.7	
	深川中央 (n= 72)	62.5	58.3	54.2	50.0	0.0	18.1	4.2	
	深川南 (n= 78)	65.4	48.7	48.7	43.6	2.6	6.4	7.7	
	亀戸 (n= 52)	63.5	51.9	53.8	40.4	3.8	5.8	3.8	
	大島 (n= 64)	67.2	57.8	53.1	40.6	6.3	6.3	6.3	
	南砂 (n= 72)	68.1	65.3	55.6	55.6	5.6	5.6	2.8	
北砂 (n= 66)	65.2	53.0	53.0	45.5	0.0	13.6	4.5		

7. 区の高齢者福祉施策について

【江東区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営への意見・要望】

問20. 江東区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営などへのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

以下は、主な意見を抜粋したものです。（一部表現を修正しています。）

【性別、年齢、調査対象】

① 介護サービスについて

- 自立して生活することが無理（火事を出す）になった時点で速やかに公共施設に住み替えができる事を希望。エリア内で。その為には、学校、公的施設内に併設し、増やして頂きたい。【女性、99歳、要介護4】
- 他区に比べ、小規模多機能居宅介護が圧倒的に少ない。顔なじみの関係は環境変化に敏感な高齢者には大切。【女性、67歳、要介護5】
- 透析施設、併設又は、高齢者施設との連携病院が有ることが、患者にとってはありがたく。希望します。【女性、69歳、要介護2】
- 特別養護老人ホーム等の増設。地域のケアマネージャーの増員ときめ細かい対応（指導とアドバイスなど）【女性、71歳、要介護5】
- 息子夫婦と同居はして居るが二人共働いて、日中は一人で居る。怪我で退院後家の中でもシルバーカーを頼りにして居るので、ヘルパーの来て貰う日数（入浴も含む）を1時間でも多くして貰いたいと思います。【女性、88歳、要介護2】
- 一日の大半を拘束されてしまう施設が多く、短時間でかつ自身で通えるリハビリ施設を希望します。【男性、69歳、要介護1】
- 福祉施設がなかなか入れないと耳にします。これから老人が増える事を聞きますと、これから長期間待たなくてもなんとか入れる事になるよう祈ってます【男性、92歳、要介護2】
- 認知症の受け入れ施設を増やしてほしいです。介護度が上がらないとスタートラインに立てないのは辛いです。自宅介護にも限界があります。【男性、68歳、要介護3】
- ショートステイに4泊5日で帰って来たら普通に歩けたのに歩けずひざから崩れて立って居る事も出来ずショックでした。4日間椅子に座ったまま1日過していたと言う。デイサービスの様に軽い運動を取り入れて頂きたいです。【男性、92歳、要介護2】

② 介護保険料・介護保険制度全般について

- 「介護認定申請」後の訪問調査、認定、までの時間（期間）が長すぎる。【女性、76歳、要介護2】
- 介護保険負担金が1割～3割に分けられ、3割負担になったことで利用したいけどできないことが増えています。【男性、73歳、要介護4】
- 費用が高いので安く設定して欲しい【女性、68歳、要介護4】

③ 介護サービス事業者について

- ヘルパーがたりない【女性、66歳、要介護2】
- 介護を受ける高齢者の増化とヘルパーさん達自身の高齢化で、介護サービス提供が難しくなっている。【男性、87歳、要介護5】
- 介護保険を利用致しかねる最大の重要ポイントの1つとして、介護従事者への信用・信頼関係の構築

が不透明なことです。でも・しかで愛情の欠けた介護従事者は御免こうむります。【女性、70歳、要介護1】

- 脳卒中→要介護となりそうとわかった時に、長寿サポートセンターに相談に行ったが、知識も態度も期待していたものと違っていました。その後は自分で調べたり、区役所に直接行くようにしています。悲しかったです。【女性、71歳、要介護5】
- 聞いてもわかりやすく説明してくれる窓口が少ない様に感じる。文字だけでは無理、立場になった説明がやはり必要。(上から目線)【女性、76歳、要介護3】

④ 生活の不安・困りごとについて

- 祭日等の休みで、入浴介助が減ることです。何とかやりくりして、別な日ということもありますが、『祭日でどうしよう! ?』という心配のない状況が作られるといいと思っています。【女性、67歳、要介護1】
- 高齢者は、エレベータの利用ができない時に車イスの人をかかえて階段を降りることはできないので、避難できないのではということが不安ですね。【男性、84歳、要介護2】
- 緊急時に避難でき、住める所がすぐに確保できると安心【男性、69歳、要介護2】
- 現在は週一回の訪問介護(入浴介助)と年数回のショートステイで無事ですが、共に高齢で今の状態が続けられなくなった時の事は心配です。【男性、83歳、要介護3】
- 先日、区の避難通知メールがきたが、誰も助けにきてくれなかった。(台風)【男性、69歳、要介護1】

⑤ 情報提供・PRについて

- 保健福祉サービスの利用の仕方もそうだが、どこに頼んだり、問い合わせでよいかわからないので、もっと周知して欲しい。【女性、68歳、要介護4】
- 江東区報にも高齢者福祉施設場所、サービスなどの説明が載る事もありますが、もう少し詳しくお知らせ下さい。【男性、74歳、要介護2】
- 必要な時や人に、選べるサービスを広く知らせてほしいです。入院中に知りたかった。手続きが遅くなってしまい、大変不便な思いをした。【女性、74歳、要介護1】

⑥ 介護者の負担・支援について

- 介護する者が高齢で障害があると、とても大変です。施設に入ってもらいたいがなかなか当らない。できれば優先枠があると、とても助かります。【男性、72歳、要介護1】
- 要介護3の時は、紙おむつが無料で支給されたので助かりましたが、現在要介護2なので紙おむつを自費で購入しており負担が大きいです。何とかならないか困惑しております。(毎日2つは使う為)【男性、78歳、要介護2】
- どうしても介護される側の立場からの設問が多くなるのは、仕方がないとしても、介護する側の問題(老々・将来)等に準じた設問が少なすぎます。介護している側は時間を犠牲にし、仕事も出来ない状況で将来への不安しかありません。このような部分の対策をしないと土台は崩れると思います。【男性、82歳、要介護5】
- 介護者にも援助が欲しい。高齢者がみているので限界がある。【男性、70歳、要介護3】

⑦ その他

- 現状は満足している。【男性、71歳、要介護2】

Ⅱ 調査結果の概要

調査② 介護サービスの利用意向調査

- 江東区に住んで50年以上。他の区より住み良い所です【女性、84歳、要介護1】
- 小規模多機能型のことは知らなかったのですが、ケアマネージャーさんにすすめられ、利用したのですが、とても良かったです。対応がとても良く、助かりました。【男性、68歳、要介護3】
- 高齢者福祉施策の充実を図る【男性、79歳、要介護5】
- 自分の事は自分で常に思っている。したがって区施策、事業運営に関心を持った事はないが、これからは自分1人では生きられない、助けてもらう。大いに頼りたいために関心をもって検討したい【男性、96歳、要介護1】
- 家賃の安い住宅を増やして入りやすくしてほしい。【男性、70歳、要介護2】
- わからないことがありすぎて書く事ができない【女性、74歳、要介護2】

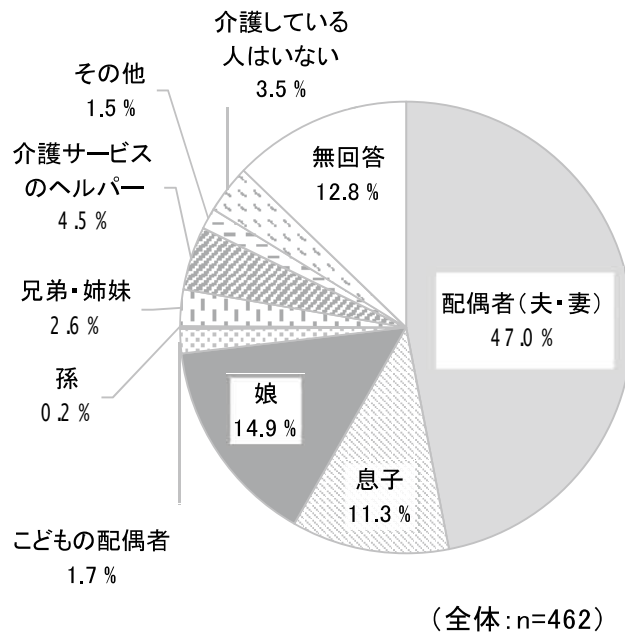
8. 主な介護者について

① 本人と主な介護者との関係

問21 主に介護をしている方はあて名のご本人から見てどのようなご関係にありますか。
(ひとつだけ○)

本人と主な介護者との関係は、「配偶者(夫・妻)」(47.0%)、「娘」(14.9%)、「息子」(11.3%)、「介護サービスのヘルパー」(4.5%) などとなっており、「介護している人はいない」は3.5%となっている。

図表 Ⅱ②-36 本人と主な介護者との関係



Ⅱ 調査結果の概要

調査② 介護サービスの利用意向調査

性別では、男性の主な介護者は「配偶者」の割合が高く、女性は「息子」、「娘」の割合も高い。

年齢別では、65～79歳までは「配偶者」の割合が高く、80歳以上になると、「息子」、「娘」の割合も高くなる。

また、世帯構成別でみると、1人暮らしの方は、他の世帯に比べて「介護サービスのヘルパー」や「介護している人はいない」の割合が高い。また、夫婦2人暮らし（配偶者年齢問わず）では「配偶者」、息子・娘との2世帯では「息子」、「娘」の割合が高い。

図表 Ⅱ②-37 本人と主な介護者との関係

		(n=)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	こどもの 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護 サービスの ヘルパー	その他	介護 していない 人	無 回答	(%)
	全体	(n= 462)	47.0	11.3	14.9	1.7	0.2	2.6	4.5	1.5	3.5	12.8	
性別	男性	(n= 214)	64.5	3.7	7.0	0.5	0.0	2.8	2.8	2.8	2.8	13.1	
	女性	(n= 246)	31.7	17.9	21.5	2.8	0.4	2.4	6.1	0.4	4.1	12.6	
年齢	65～69歳	(n= 94)	55.3	1.1	3.2	0.0	1.1	5.3	6.4	2.1	5.3	20.2	
	70～74歳	(n= 149)	63.8	6.7	3.4	0.0	0.0	4.0	4.7	0.7	4.0	12.8	
	75～79歳	(n= 37)	67.6	5.4	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	10.8	
	80～84歳	(n= 53)	39.6	18.9	13.2	3.8	0.0	1.9	3.8	0.0	3.8	15.1	
	85～89歳	(n= 59)	28.8	16.9	39.0	3.4	0.0	0.0	3.4	1.7	1.7	5.1	
	90歳以上	(n= 68)	8.8	27.9	36.8	5.9	0.0	0.0	5.9	2.9	2.9	8.8	
要介護度	要介護1	(n= 115)	46.1	7.8	16.5	0.0	0.0	2.6	2.6	2.6	7.0	14.8	
	要介護2	(n= 121)	48.8	12.4	9.9	2.5	0.0	3.3	3.3	0.8	5.0	14.0	
	要介護3	(n= 92)	46.7	6.5	13.0	1.1	1.1	2.2	8.7	2.2	2.2	16.3	
	要介護4	(n= 79)	43.0	20.3	17.7	3.8	0.0	2.5	5.1	0.0	0.0	7.6	
	要介護5	(n= 53)	50.9	11.3	20.8	1.9	0.0	1.9	3.8	1.9	0.0	7.5	
世帯構成	1人暮らし	(n= 87)	1.1	10.3	20.7	1.1	0.0	6.9	18.4	3.4	11.5	26.4	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 165)	85.5	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	1.2	10.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	息子・娘との2世帯	(n= 112)	29.5	24.1	30.4	5.4	0.0	0.0	2.7	0.9	2.7	4.5	
	その他	(n= 75)	37.3	18.7	17.3	1.3	1.3	6.7	1.3	4.0	1.3	10.7	
地区	深川北	(n= 99)	58.6	12.1	14.1	3.0	0.0	1.0	1.0	1.0	3.0	6.1	
	深川南	(n= 107)	39.3	13.1	16.8	0.9	0.0	2.8	4.7	1.9	5.6	15.0	
	亀戸・大島	(n= 116)	39.7	13.8	12.1	1.7	0.0	5.2	4.3	1.7	2.6	19.0	
	砂町	(n= 138)	50.7	7.2	15.9	1.4	0.7	1.4	7.2	1.4	2.9	10.9	
ブロック	深川北	(n= 56)	55.4	12.5	12.5	5.4	0.0	0.0	1.8	1.8	3.6	7.1	
	深川中央	(n= 72)	51.4	15.3	13.9	1.4	0.0	4.2	1.4	0.0	5.6	6.9	
	深川南	(n= 78)	41.0	10.3	19.2	0.0	0.0	1.3	5.1	2.6	3.8	16.7	
	亀戸	(n= 52)	42.3	13.5	7.7	1.9	0.0	5.8	5.8	3.8	1.9	17.3	
	大島	(n= 64)	37.5	14.1	15.6	1.6	0.0	4.7	3.1	0.0	3.1	20.3	
	南砂	(n= 72)	55.6	6.9	11.1	2.8	0.0	1.4	5.6	1.4	1.4	13.9	
	北砂	(n= 66)	45.5	7.6	21.2	0.0	1.5	1.5	9.1	1.5	4.5	7.6	

② 主な介護者の性別、年齢

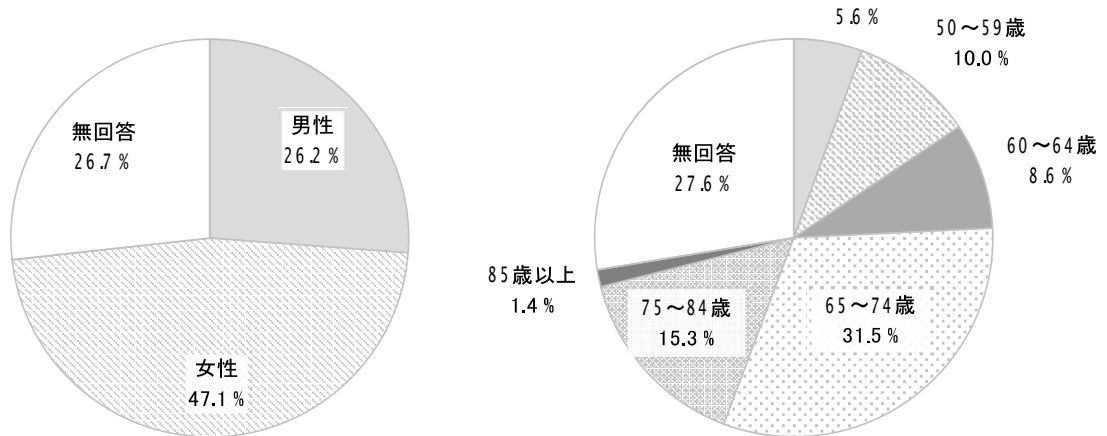
問21-1. (問21で「1～6」と回答した方に伺います。) 主に介護している方の性別と、現在の満年齢をお答えください。

主な介護者の性別は、「男性」(26.2%)、「女性」(47.1%)で女性に多い。要介護度別にみても同様に「女性」が多い。

年齢は、60歳未満(15.6%)、60～74歳(40.1%)、75歳以上(16.7%)となっている。

主な介護者の平均年齢は、配偶者で「72.5歳」、息子「55.3歳」娘「57.7歳」である。

図表 Ⅱ②-38 (左) 主な介護者の性別、(右) 年齢



(全体: n=359)

(全体: n=359)

		男性	女性	無回答	(%)
全体	(n= 359)	26.2	47.1	26.7	(%)
要介護度	要介護1	(n= 84) 20.2	47.6	32.1	
	要介護2	(n= 93) 26.9	43.0	30.1	
	要介護3	(n= 65) 21.5	56.9	21.5	
	要介護4	(n= 69) 33.3	39.1	27.5	
	要介護5	(n= 46) 32.6	52.2	15.2	

(%)

		50歳未満	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答	60歳未満	60～64歳	65～74歳	75歳以上	平均年齢(歳)
全体	(n= 359)	5.6	10.0	8.6	31.5	15.3	1.4	27.6	15.6	40.1	16.7		66.8
主な介護者	配偶者(夫・妻)	(n= 217) 0.0	1.4	4.6	39.2	24.4	1.8	28.6	1.4	43.8	26.3		72.5
	息子	(n= 52) 19.2	23.1	11.5	9.6	0.0	0.0	36.5	42.3	21.2	0.0		55.3
	娘	(n= 69) 14.5	24.6	17.4	18.8	2.9	0.0	21.7	39.1	36.2	2.9		57.7
	こどもの配偶者	(n= 8) 0.0	50.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0		61.6
	孫	(n= 1) 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		-
	兄弟・姉妹	(n= 12) 0.0	0.0	16.7	58.3	0.0	8.3	16.7	0.0	75.0	8.3		70.2
介護者の性別別	男性	(n= 94) 10.6	12.8	9.6	35.1	27.7	3.2	1.1	23.4	44.7	30.9		67.9
	女性	(n= 169) 5.9	14.2	13.0	47.3	17.2	1.2	1.2	20.1	60.4	18.3		66.2

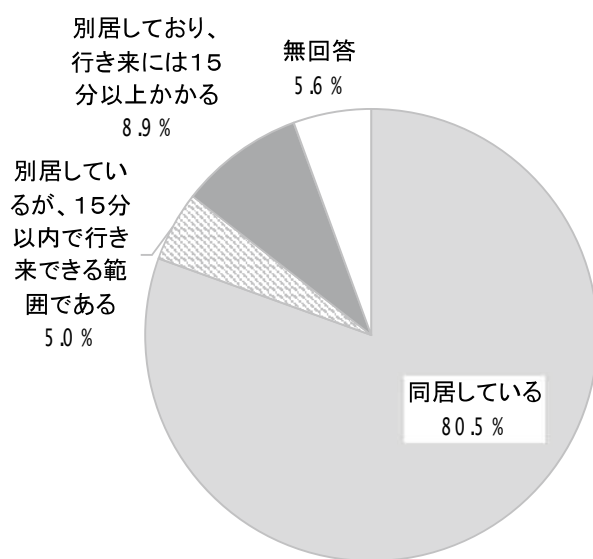
Ⅱ 調査結果の概要
調査② 介護サービスの利用意向調査

③ 本人と主な介護者の同居の状況

問22. あて名のご本人と主に介護をしている方は、同居されていますか。
(ひとつだけ○)

本人と主な介護者の同居の状況は、「同居している」(80.5%)、「別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である」(5.0%)、「別居しており、行き来には15分以上かかる」(8.9%)となっている。

図表 Ⅱ②-39 本人と主な介護者の同居の状況



(全体:n=359)

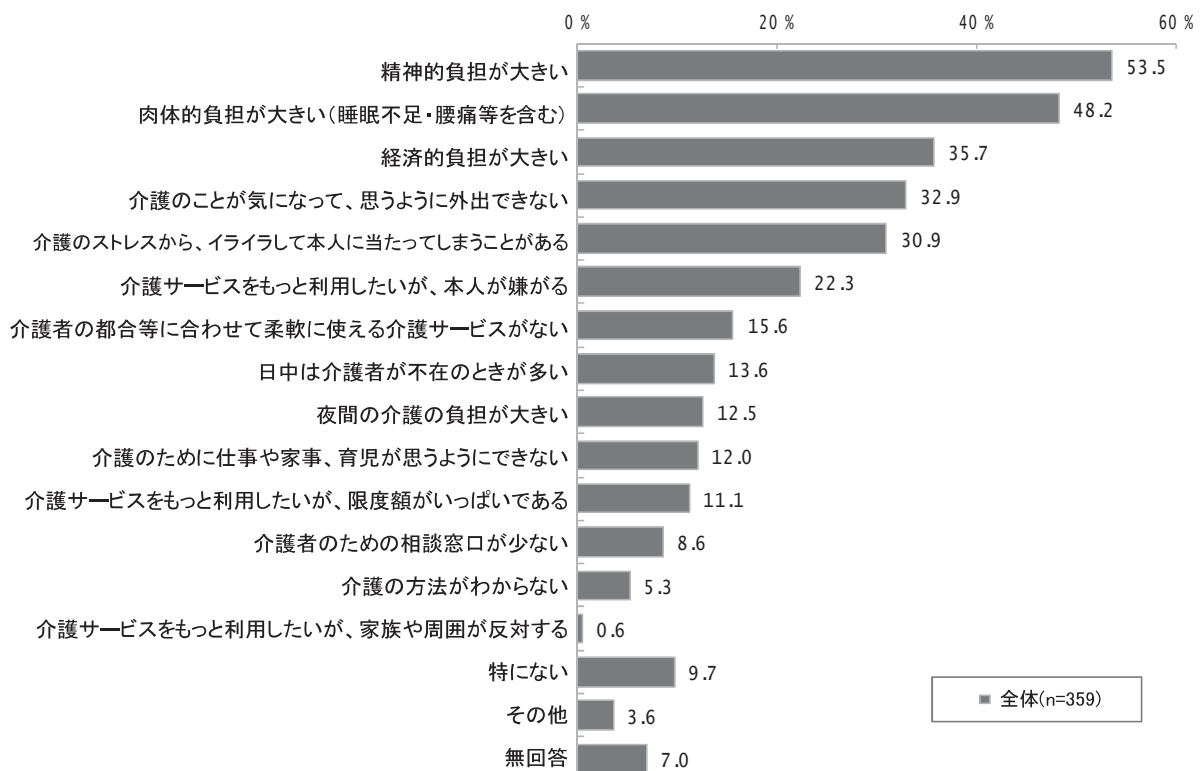
④ 介護をするうえで困っていること

問23. 介護をするうえで、困っていることはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

介護をするうえで困っていることは、「精神的負担が大きい」(53.5%)が最も高く、次いで「肉体的負担が大きい(睡眠不足・腰痛等を含む)」(48.2%)、「経済的負担が大きい」(35.7%)、「介護のことが気になって、思うように外出できない」(32.9%)などとなっており、「特にない」は、全体の9.7%となっている。

主な介護者の性別では、上位3項目では約半数の女性が困っているとしているが、なかでも「経済的負担が大きい」については男性より女性の方が困っていることが顕著となっている。

図表 Ⅱ②-40 介護をするうえで困っていること



主な介護者の性別	性別	n	精神的負担が大きい	肉体的負担が大きい(睡眠不足・腰痛等を含む)	経済的負担が大きい	介護のことが気になって、思うように外出できない	介護のストレスから、イライラして本人に当たってしまうことがある	介護サービスをもっと利用したいが、本人が嫌がる	介護者の都合等に合わせて柔軟に使える介護サービスがない	日中は介護者が不在のときが多い	夜間の介護の負担が大きい	介護のために仕事や家事、育児が思うようにできない	介護サービスをもっと利用したいが、限度額がいっぱいである	介護者のための相談窓口が少ない	介護の方法がわからない	介護サービスをもっと利用したいが、家族や周囲が反対する	特にない	その他	無回答	
			全体	(n= 359)	53.5	48.2	35.7	32.9	30.9	22.3	15.6	13.6	12.5	12.0	11.1	8.6	5.3	0.6	9.7	3.6
主な介護者	配偶者(夫・妻)	(n= 217)	52.1	47.9	35.5	30.9	33.6	24.4	14.3	7.8	16.1	7.4	9.2	7.4	5.1	0.5	11.1	4.6	6.9	
	息子	(n= 52)	48.1	46.2	26.9	36.5	23.1	17.3	23.1	26.9	7.7	19.2	17.3	13.5	5.8	1.9	9.6	1.9	9.6	
	娘	(n= 69)	62.3	52.2	44.9	39.1	36.2	20.3	18.8	24.6	8.7	23.2	14.5	10.1	5.8	0.0	4.3	2.9	5.8	
	こどもの配偶者	(n= 8)	75.0	75.0	37.5	37.5	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	孫	(n= 1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	兄弟・姉妹	(n= 12)	41.7	25.0	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3
介護者の性別	男性	(n= 94)	47.9	46.8	29.8	38.3	30.9	24.5	17.0	13.8	14.9	11.7	12.8	12.8	5.3	0.0	10.6	3.2	3.2	
	女性	(n= 169)	60.9	55.0	45.0	36.7	37.3	24.9	17.2	16.6	14.2	15.4	13.6	7.7	4.1	0.0	7.1	5.3	1.8	

Ⅱ 調査結果の概要

調査② 介護サービスの利用意向調査

要介護度別では、全体で多く挙げられている「精神的負担」「肉体的負担」「経済的負担」「介護のことが気になって、思うように外出できない」は、要介護度が高い方ほど困っている割合が高い。

世帯構成別では、息子と娘の2世帯では、他の世帯に比べて「介護のことが気になって、思うように外出できない」の割合が高くなっている。

図表 Ⅱ②-41 介護をするうえで困っていること

		精神的負担が大きい (睡眠不足・腰痛等を含む)	肉体的負担が大きい	経済的負担が大きい	介護のことが気になって、思うように外出できない	介護のストレスから、イライラして本人に当たってしまうことがある	介護サービスをもっと利用したいが、本人が嫌がる	介護サービスの都合等に合わせて柔軟に使える介護サービスがない	日中は介護者が不在のときが多い	夜間の介護の負担が大きい	介護のために仕事や家事、育児が思うようにできない	介護サービスの利用額が利用したい程度に達しない	介護者のための相談窓口が少ない	介護の方法がわからない	介護サービスをもっと利用したいが、家族や周囲が反対する	特になし	その他	無回答	
全体	(n= 359)	53.5	48.2	35.7	32.9	30.9	22.3	15.6	13.6	12.5	12.0	11.1	8.6	5.3	0.6	9.7	3.6	7.0	
性別	男性	(n= 168)	54.2	52.4	40.5	29.8	32.1	23.8	16.1	11.3	14.9	9.5	10.7	6.0	4.8	0.0	8.3	6.0	7.7
	女性	(n= 189)	52.9	43.9	31.7	35.4	29.6	20.1	14.8	15.9	10.1	14.3	11.6	11.1	5.8	1.1	11.1	1.6	6.3
年齢	65～69歳	(n= 62)	48.4	45.2	45.2	22.6	32.3	22.6	9.7	11.3	9.7	14.5	11.3	9.7	3.2	1.6	14.5	4.8	8.1
	70～74歳	(n= 116)	52.6	42.2	37.1	33.6	31.0	22.4	15.5	8.6	14.7	7.8	10.3	6.0	6.9	0.0	11.2	3.4	3.4
	75～79歳	(n= 32)	56.3	68.8	31.3	28.1	40.6	18.8	21.9	12.5	18.8	9.4	3.1	15.6	9.4	0.0	6.3	3.1	12.5
	80～84歳	(n= 41)	53.7	51.2	41.5	43.9	26.8	24.4	14.6	9.8	12.2	17.1	14.6	7.3	4.9	0.0	12.2	4.9	7.3
	85～89歳	(n= 52)	63.5	42.3	30.8	34.6	38.5	25.0	13.5	21.2	11.5	17.3	13.5	9.6	5.8	1.9	3.8	1.9	9.6
	90歳以上	(n= 54)	50.0	53.7	25.9	35.2	18.5	16.7	20.4	24.1	7.4	11.1	13.0	9.3	1.9	0.0	7.4	3.7	7.4
要介護度	要介護1	(n= 84)	50.0	23.8	27.4	26.2	31.0	27.4	13.1	13.1	6.0	8.3	6.0	4.8	6.0	0.0	8.3	2.4	15.5
	要介護2	(n= 93)	45.2	47.3	25.8	26.9	26.9	23.7	15.1	16.1	10.8	8.6	15.1	8.6	1.1	0.0	16.1	3.2	4.3
	要介護3	(n= 65)	52.3	52.3	33.8	27.7	33.8	15.4	13.8	13.8	16.9	13.8	9.2	12.3	9.2	1.5	13.8	3.1	4.6
	要介護4	(n= 69)	62.3	60.9	47.8	40.6	26.1	21.7	18.8	15.9	15.9	14.5	15.9	7.2	5.8	1.4	2.9	4.3	7.2
	要介護5	(n= 46)	65.2	67.4	56.5	52.2	41.3	17.4	17.4	6.5	15.2	19.6	8.7	13.0	6.5	0.0	4.3	6.5	0.0
世帯構成	1人暮らし	(n= 35)	54.3	40.0	40.0	20.0	11.4	22.9	17.1	28.6	0.0	14.3	17.1	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	11.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 144)	51.4	46.5	34.7	31.9	31.9	22.9	14.6	6.9	16.7	5.6	11.1	9.0	2.1	0.0	11.1	4.2	6.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	60.0	60.0	30.0	30.0	70.0	30.0	10.0	20.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0
	息子・娘との2世帯	(n= 100)	63.0	57.0	35.0	45.0	37.0	25.0	18.0	20.0	15.0	19.0	15.0	13.0	9.0	1.0	8.0	3.0	4.0
その他	(n= 62)	45.2	43.5	35.5	27.4	25.8	16.1	16.1	9.7	8.1	12.9	4.8	6.5	6.5	1.6	12.9	3.2	8.1	
地区	深川北	(n= 88)	51.1	42.0	36.4	28.4	31.8	18.2	10.2	11.4	14.8	12.5	8.0	6.8	5.7	1.1	13.6	2.3	5.7
	深川南	(n= 78)	41.0	43.6	34.6	39.7	26.9	24.4	19.2	17.9	12.8	10.3	14.1	10.3	6.4	1.3	7.7	5.1	9.0
	亀戸・大島	(n= 84)	59.5	58.3	38.1	31.0	34.5	23.8	15.5	14.3	9.5	11.9	11.9	10.7	3.6	0.0	8.3	3.6	6.0
	砂町	(n= 107)	59.8	47.7	34.6	32.7	29.9	21.5	16.8	12.1	12.1	13.1	11.2	7.5	5.6	0.0	9.3	3.7	7.5
ブロック	深川北	(n= 48)	52.1	39.6	39.6	33.3	33.3	18.8	10.4	12.5	14.6	14.6	8.3	10.4	6.3	2.1	8.3	2.1	8.3
	深川中央	(n= 62)	50.0	51.6	35.5	27.4	27.4	19.4	12.9	14.5	16.1	11.3	11.3	8.1	3.2	0.0	17.7	1.6	3.2
	深川南	(n= 56)	37.5	35.7	32.1	41.1	28.6	25.0	19.6	16.1	10.7	8.9	12.5	7.1	8.9	1.8	5.4	7.1	10.7
	亀戸	(n= 37)	56.8	67.6	43.2	32.4	40.5	24.3	16.2	13.5	13.5	10.8	13.5	13.5	5.4	0.0	13.5	2.7	2.7
	大島	(n= 47)	61.7	51.1	34.0	29.8	29.8	23.4	14.9	14.9	6.4	12.8	10.6	8.5	2.1	0.0	4.3	4.3	8.5
	南砂	(n= 56)	60.7	42.9	37.5	32.1	33.9	21.4	19.6	7.1	8.9	12.5	8.9	7.1	7.1	0.0	7.1	1.8	8.9
北砂	(n= 51)	58.8	52.9	31.4	33.3	25.5	21.6	13.7	17.6	15.7	13.7	13.7	7.8	3.9	0.0	11.8	5.9	5.9	

(%)

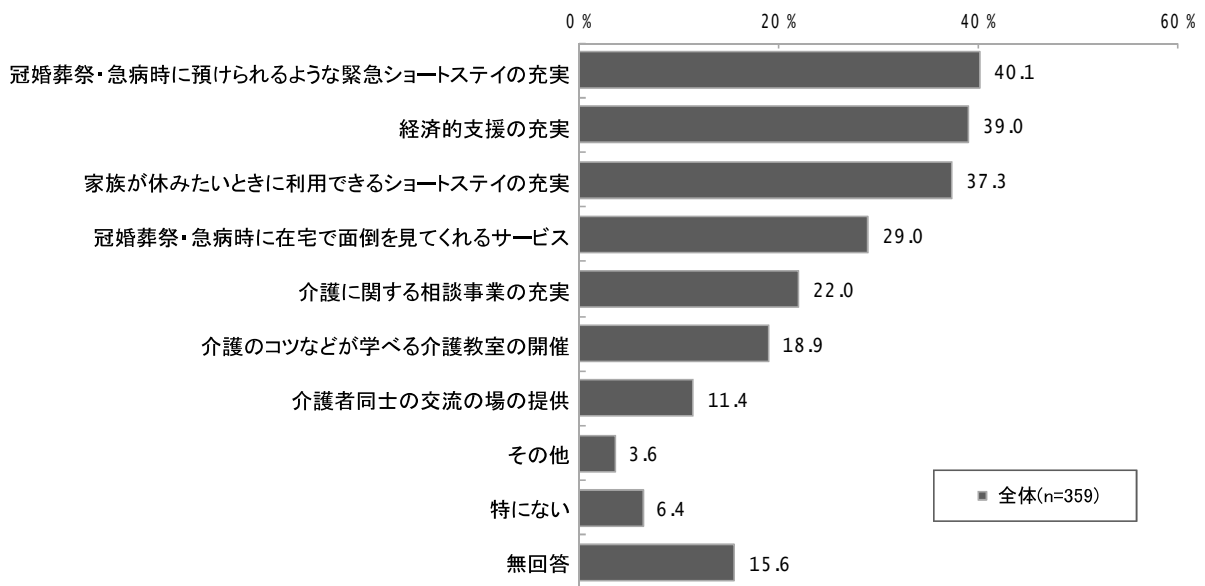
⑤ 家族介護者への支援として必要な区のサービス

問24. 介護をしているご家族に対する区の支援として、どのようなサービスが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

家族介護者への支援として必要だと思う区のサービスは、「冠婚葬祭・急病時に預けられるような緊急ショートステイの充実」(40.1%)が最も高く、次いで「経済的支援の充実」(39.0%)、「家族が休みたいときに利用できるショートステイの充実」(37.3%)などとなっている。

主な介護者の性別では、上位3項目については男性より女性の割合が高く、「冠婚葬祭・急病時に在宅で面倒を見てくれるサービス」は、女性(26.0%)より男性(36.2%)の割合が高い。

図表 Ⅱ②-42 家族介護者への支援として必要な区のサービス



		冠婚葬祭・急病時に預けられるような緊急ショートステイの充実	経済的支援の充実	家族が休みたいときに利用できるショートステイの充実	冠婚葬祭・急病時に在宅で面倒を見てくれるサービス	介護に関する相談事業の充実	介護のコツなどが学べる介護教室の開催	介護者同士の交流の場の提供	その他	特にない	無回答	(%)	
全体		(n= 359)	40.1	39.0	37.3	29.0	22.0	18.9	11.4	3.6	6.4	15.6	
主な介護者	配偶者(夫・妻)	(n= 217)	41.9	32.7	34.1	28.1	19.4	18.9	10.1	2.8	8.3	17.1	
	息子	(n= 52)	38.5	44.2	32.7	40.4	19.2	9.6	7.7	3.8	3.8	15.4	
	娘	(n= 69)	39.1	56.5	49.3	26.1	31.9	30.4	21.7	5.8	1.4	11.6	
	こどもの配偶者	(n= 8)	25.0	37.5	50.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	
	孫	(n= 1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	
	兄弟・姉妹	(n= 12)	33.3	33.3	41.7	33.3	33.3	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	
介護者の性別	男性	(n= 94)	39.4	30.9	31.9	36.2	24.5	21.3	5.3	1.1	8.5	12.8	
	女性	(n= 169)	44.4	45.6	46.2	26.0	25.4	20.7	13.6	4.7	4.1	10.1	

Ⅱ 調査結果の概要

調査② 介護サービスの利用意向調査

性別でみると、「冠婚葬祭・急病時に預けられるような緊急ショートステイの充実」は、女性（34.4%）より男性（47.0%）の割合が高い。

年齢別では、65～69歳で「経済的支援の充実」（53.2%）の割合が他の年代と比べて高くなっている。

要介護度別においては、「冠婚葬祭・急病時に預けられるような緊急ショートステイの充実」は、要介護3（49.2%）と要介護4（49.3%）の割合が高く、「経済的支援の充実」は、要介護5（52.2%）の割合が高い。

図表Ⅱ②-43 家族介護者への支援として必要な区のサービス

		シヨ トス テ の 充 実	冠 婚 葬 祭 ・ 急 病 時 に 預 け ら れ る よ う な 緊 急 シ ョ ー ト ス テ イ の 充 実	経 済 的 支 援 の 充 実	テ リ の 充 実	家 族 が 休 み た い と き に ス	サ ー ビ ス	冠 婚 葬 祭 ・ 急 病 時 に 在	介 護 に 関 する 相 談 事 業	介 護 の コ ツ な ど が 学 べ	介 護 者 同 士 の 交 流 の 場	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	(n= 359)	40.1	39.0	37.3	29.0	22.0	18.9	11.4	3.6	6.4	15.6	(%)		
性別	男性	(n= 168)	47.0	40.5	39.9	28.0	19.0	16.1	11.9	4.2	5.4	13.7		
	女性	(n= 189)	34.4	37.6	35.4	30.2	24.9	21.7	11.1	3.2	7.4	16.9		
年齢	65～69歳	(n= 62)	38.7	53.2	41.9	29.0	17.7	17.7	11.3	3.2	6.5	6.5		
	70～74歳	(n= 116)	40.5	27.6	30.2	23.3	20.7	15.5	10.3	6.9	11.2	20.7		
	75～79歳	(n= 32)	37.5	37.5	28.1	21.9	21.9	18.8	6.3	0.0	3.1	28.1		
	80～84歳	(n= 41)	43.9	46.3	43.9	41.5	22.0	22.0	7.3	0.0	4.9	4.9		
	85～89歳	(n= 52)	36.5	42.3	40.4	28.8	26.9	25.0	21.2	3.8	3.8	19.2		
	90歳以上	(n= 54)	44.4	38.9	46.3	37.0	25.9	20.4	11.1	1.9	1.9	11.1		
要介護度	要介護1	(n= 84)	34.5	33.3	35.7	25.0	26.2	17.9	7.1	3.6	7.1	19.0		
	要介護2	(n= 93)	31.2	37.6	32.3	26.9	25.8	20.4	14.0	4.3	8.6	12.9		
	要介護3	(n= 65)	49.2	35.4	38.5	26.2	21.5	16.9	13.8	6.2	4.6	16.9		
	要介護4	(n= 69)	49.3	42.0	43.5	34.8	11.6	17.4	8.7	1.4	2.9	18.8		
	要介護5	(n= 46)	43.5	52.2	41.3	37.0	23.9	23.9	15.2	2.2	8.7	6.5		
世帯構成	1人暮らし	(n= 35)	28.6	37.1	40.0	28.6	28.6	8.6	11.4	0.0	5.7	25.7		
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 144)	41.0	31.9	33.3	25.0	20.1	20.1	9.0	4.2	8.3	16.7		
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 10)	30.0	30.0	30.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0		
	息子・娘との2世帯	(n= 100)	39.0	44.0	41.0	29.0	23.0	25.0	14.0	3.0	5.0	12.0		
その他	(n= 62)	45.2	48.4	43.5	35.5	24.2	16.1	11.3	4.8	4.8	12.9			
地区	深川北	(n= 88)	44.3	34.1	38.6	29.5	20.5	23.9	10.2	3.4	8.0	17.0		
	深川南	(n= 78)	33.3	38.5	41.0	28.2	24.4	12.8	7.7	6.4	6.4	16.7		
	亀戸・大島	(n= 84)	41.7	39.3	35.7	31.0	21.4	19.0	19.0	1.2	7.1	13.1		
	砂町	(n= 107)	41.1	43.0	35.5	28.0	22.4	19.6	9.3	3.7	4.7	15.0		
ブロック	深川北	(n= 48)	43.8	43.8	45.8	27.1	20.8	18.8	8.3	6.3	6.3	14.6		
	深川中央	(n= 62)	40.3	24.2	33.9	25.8	21.0	21.0	8.1	3.2	11.3	21.0		
	深川南	(n= 56)	33.9	42.9	41.1	33.9	25.0	16.1	10.7	5.4	3.6	14.3		
	亀戸	(n= 37)	45.9	29.7	32.4	37.8	13.5	10.8	16.2	0.0	8.1	10.8		
	大島	(n= 47)	38.3	46.8	38.3	25.5	27.7	25.5	21.3	2.1	6.4	14.9		
	南砂	(n= 56)	44.6	50.0	39.3	26.8	23.2	23.2	10.7	5.4	7.1	16.1		
北砂	(n= 51)	37.3	35.3	31.4	29.4	21.6	15.7	7.8	2.0	2.0	13.7			

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

調査③ 在宅生活継続意向調査

1. 回答者の基本属性

① 性別・年齢

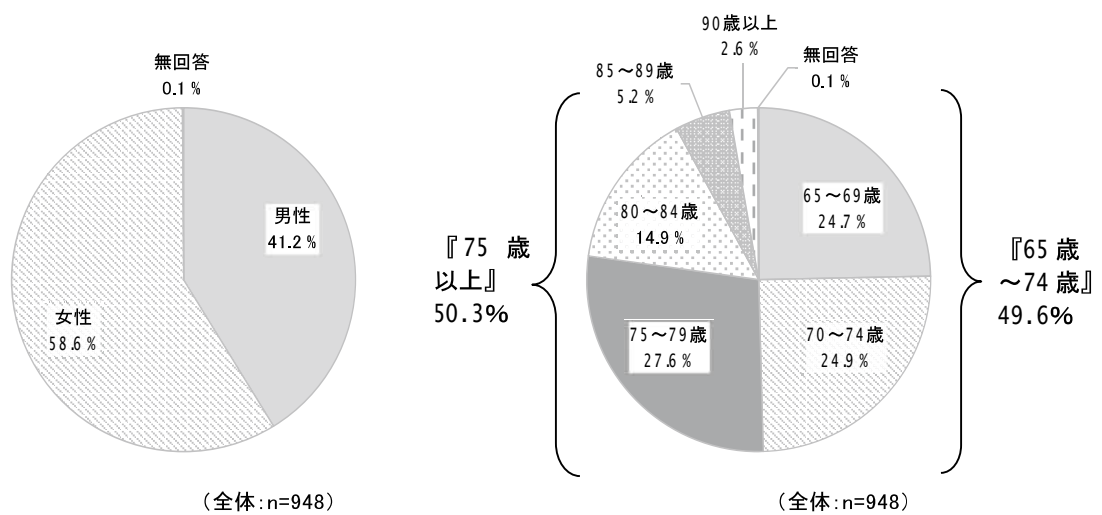
回答者の性別・年齢

回答者の性別は、「男性」(41.2%)、「女性」(58.6%)となっている。

年齢は、「65～69歳」(24.7%)、「70～74歳」(24.9%)、「75～79歳」(27.6%)、「80～84歳」(14.9%)、「85～89歳」(5.2%)、「90歳以上」(2.6%)となっており、『65～74歳』で49.6%、『75歳以上』で50.3%となっている。

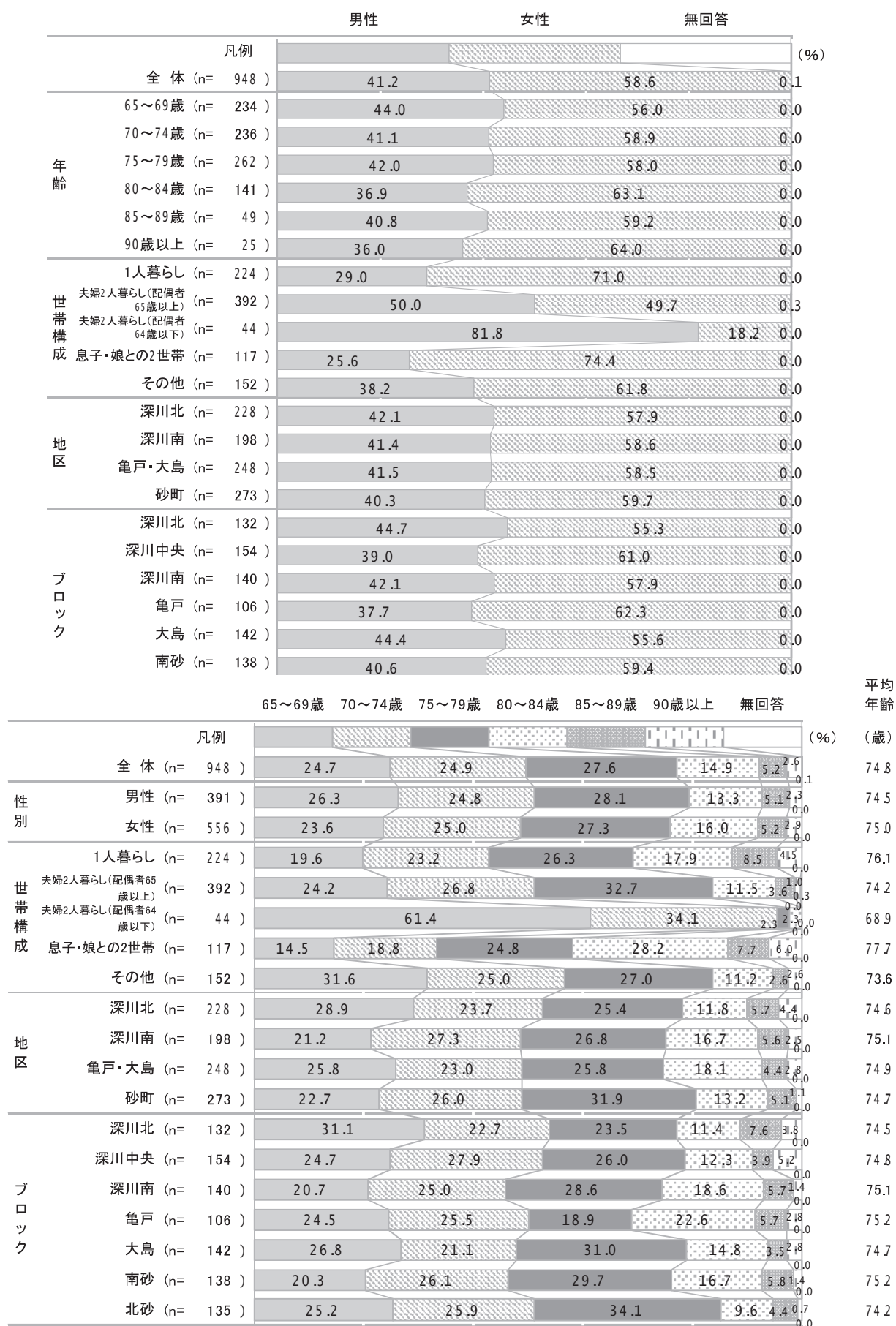
性別の平均年齢は男性で74.5歳、女性で75.0歳である。

図表 Ⅱ③-1 性別・年齢



Ⅱ 調査結果の概要
 調査③ 在宅生活継続意向調査

図表 Ⅱ③-2 性別・年齢



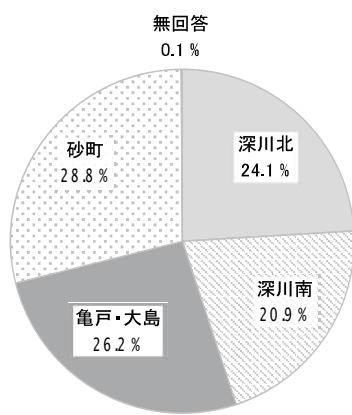
② 地区・ブロック

回答者の地区・ブロック

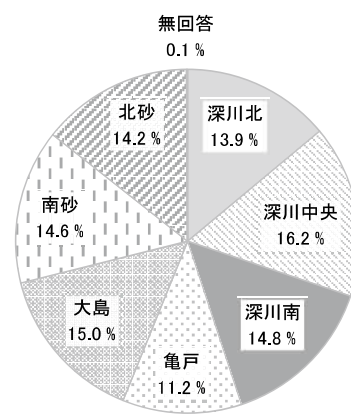
回答者が住んでいる地区は、「深川北」(24.1%)、「深川南」(20.9%)、「亀戸・大島」(26.2%)、「砂町」(28.8%)となっている。

ブロックは、「深川北」(13.9%)、「深川中央」(16.2%)、「深川南」(14.8%)、「亀戸」(11.2%)、「大島」(15.0%)、「南砂」(14.6%)、「北砂」(14.2%)となっている。

図表 Ⅱ③-3 (左) 地区・(右) ブロック



(全体:n=948)



(全体:n=948)

2. あなたのご家族について

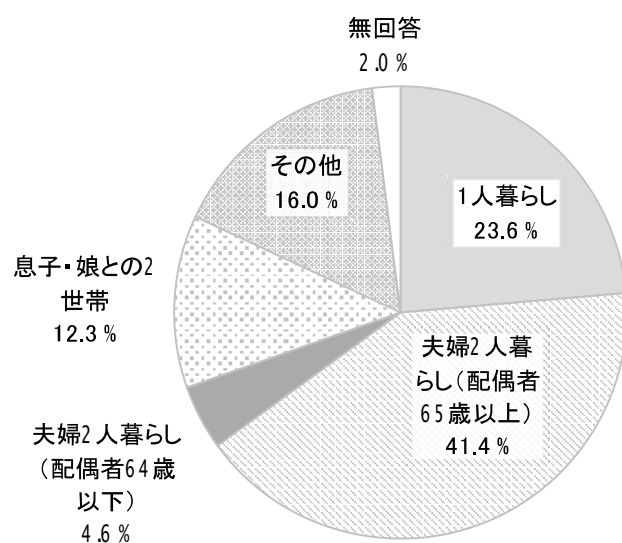
① 世帯構成

問1. 家族構成を教えてください。

(ひとつだけ○)

世帯構成は、「1人暮らし」(23.6%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(41.4%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.6%)、「息子・娘との2世帯」(12.3%)となっている。

図表 Ⅱ③-4 世帯構成



(全体:n=948)

性別では、男性に比べると女性に「1人暮らし」の割合が高い。逆に「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合は女性と比べると男性に高い。

年齢別では、高年齢の方ほど「1人暮らし」の割合が高い傾向にあり、85歳を境に顕著となる。また、80歳以上で「息子・娘との2世帯」の割合が高い。

図表 Ⅱ③-5 世帯構成（グループング）

		1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答	(%)
凡例								
	全体 (n= 948)	23.6	41.4	4.6	12.3	16.0	2.0	
性別	男性 (n= 391)	16.6	50.1	9.2	7.7	14.8	1.5	
	女性 (n= 556)	28.6	35.1	1.4	15.6	16.9	2.3	
年齢	65～69歳 (n= 234)	18.8	40.6	11.5	7.3	20.5	1.3	
	70～74歳 (n= 236)	22.0	44.5	6.4	9.3	16.1	1.7	
	75～79歳 (n= 262)	22.5	48.9	0.4	11.1	15.6	1.5	
	80～84歳 (n= 141)	28.4	31.9	0.7	23.4	12.1	3.5	
	85～89歳 (n= 49)	38.8	28.6	0.0	18.4	8.2	6.1	
	90歳以上 (n= 25)	40.0	16.0	0.0	28.0	16.0	0.0	
地区	深川北 (n= 228)	18.4	39.5	5.3	15.8	19.7	1.3	
	深川南 (n= 198)	24.2	43.4	5.1	10.6	12.1	4.5	
	亀戸・大島 (n= 248)	27.4	37.5	3.6	14.5	15.3	1.6	
	砂町 (n= 273)	24.2	44.7	4.8	8.8	16.5	1.1	
ブロック	深川北 (n= 132)	16.7	37.9	4.5	18.9	20.5	1.5	
	深川中央 (n= 154)	24.0	38.3	7.1	11.0	16.2	3.2	
	深川南 (n= 140)	22.1	47.9	3.6	10.7	12.1	3.6	
	亀戸 (n= 106)	29.2	38.7	4.7	13.2	13.2	0.9	
	大島 (n= 142)	26.1	36.6	2.8	15.5	16.9	2.1	
	南砂 (n= 138)	27.5	43.5	5.8	8.7	13.0	1.4	
	北砂 (n= 135)	20.7	45.9	3.7	8.9	20.0	0.7	

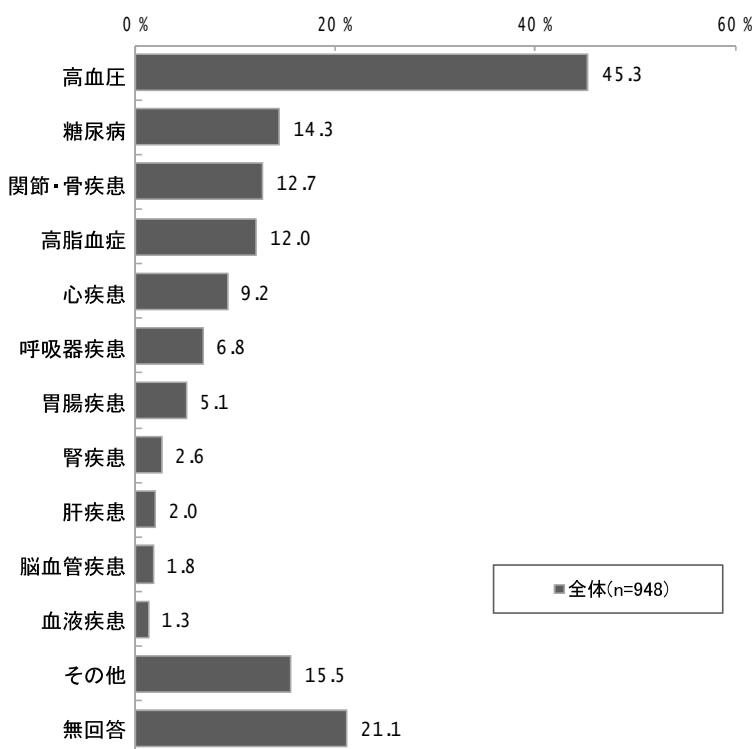
3. あなたの健康状態等について

① 現在かかっている病気

問2. (現在かかっている病気がある方へ) どのような病気にかかっているか教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

現在かかっている病気は、「高血圧」(45.3%)が最も高く、次いで「糖尿病」(14.3%)、「関節・骨疾患」(12.7%)、「高脂血症」(12.0%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-6 現在かかっている病気



② かかりつけ医の有無

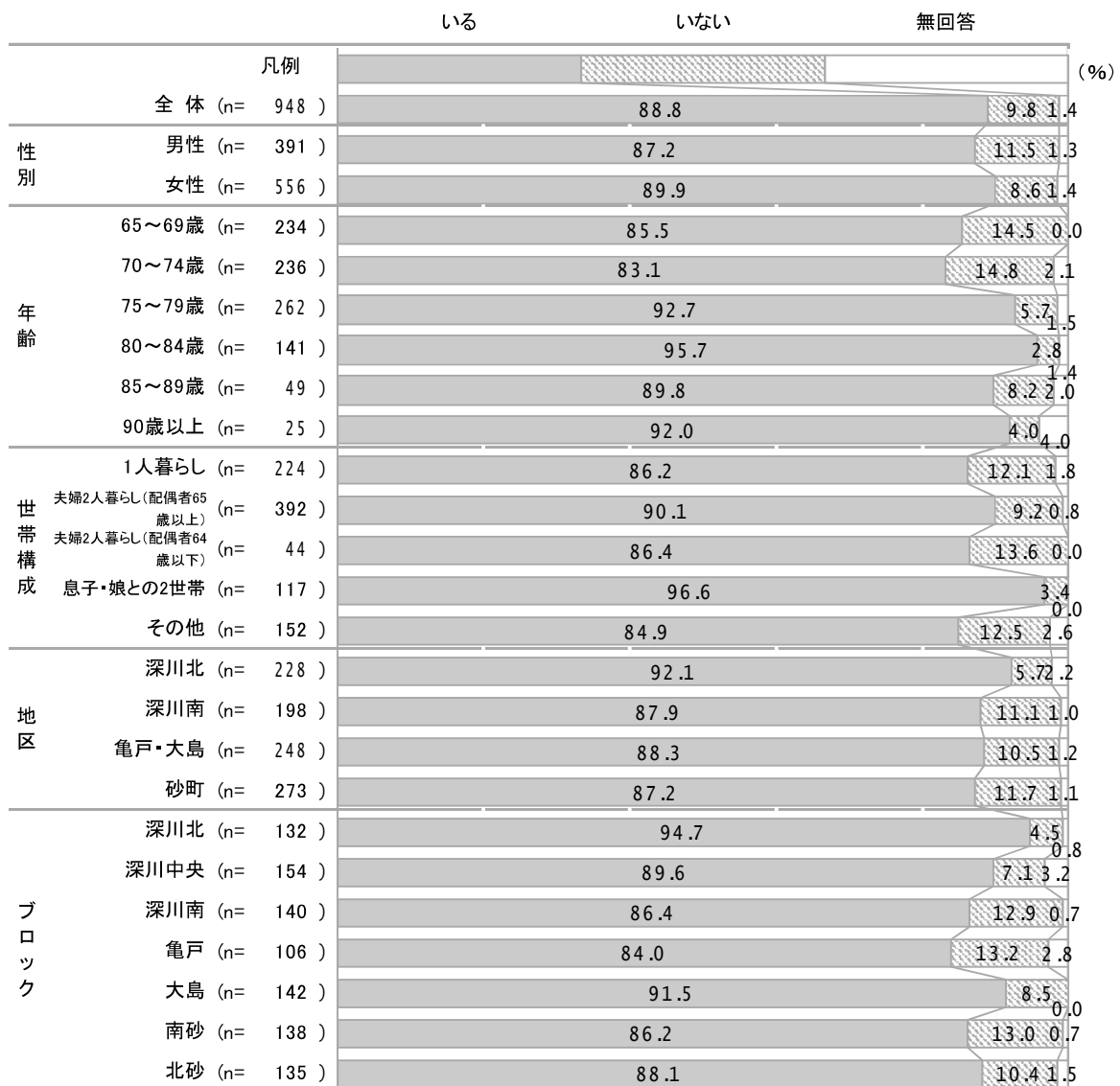
問3. あなたには「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医師」、「かかりつけ薬局」がそれぞれいますか（ありますか）。またいる（ある）の方は、その所在地（区内または区外）と選んだ理由を教えてください。いない（ない）の方は、その理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

かかりつけ医の有無は、「いる」は全体の約9割である。

性別で大きな差異は見られないが、年齢別では65～69歳、70～74歳でかかりつけ医が「いない」割合が他の年代と比べると高い。

地区別・ブロック別では、いずれも深川北地区（ブロック）でかかりつけ医が「いる」割合が他の地区（ブロック）と比べてやや高い。

図表 Ⅱ③-7 かかりつけ医の有無



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

かかりつけ医の所在地は、「区内」(82.4%)、「区外」(10.7%) となっている。

性別、年齢別ともに8割前後が「区内」であるが、世帯構成別では夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「区外」の割合が高い。

地区別・ブロック別では、いずれも深川南地区(ブロック)で「区外」の割合が他の地区(ブロック)と比べてやや高い。

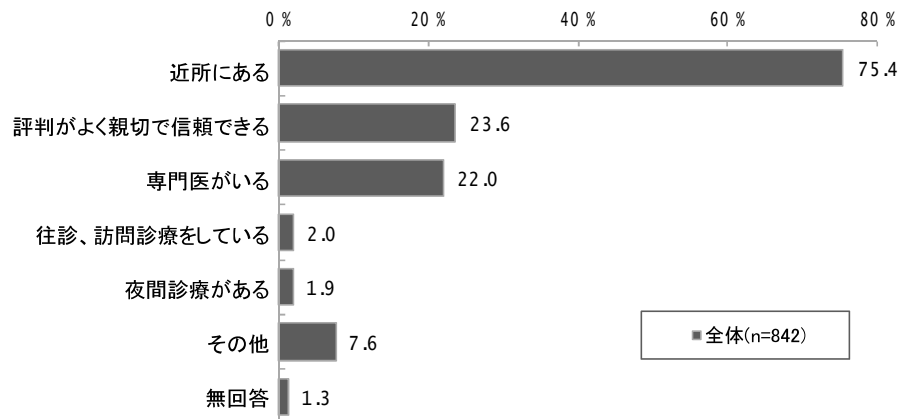
図表 Ⅱ③-8 かかりつけ医の所在地

		区内	区外	無回答	
凡例					(%)
	全体 (n= 842)	82.4	10.7	6.9	
性別	男性 (n= 341)	82.7	12.6	4.7	
	女性 (n= 500)	82.2	9.4	8.4	
年齢	65~69歳 (n= 200)	77.5	16.0	6.5	
	70~74歳 (n= 196)	80.1	11.7	8.2	
	75~79歳 (n= 243)	86.4	8.6	4.9	
	80~84歳 (n= 135)	85.2	7.4	7.4	
	85~89歳 (n= 44)	84.1	4.5	11.4	
	90歳以上 (n= 23)	82.6	8.7	8.7	
世帯構成	1人暮らし (n= 193)	83.4	9.8	6.7	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 353)	83.6	9.9	6.5	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 38)	68.4	23.7	7.9	
	息子・娘との2世帯 (n= 113)	85.0	7.1	8.0	
	その他 (n= 129)	82.2	13.2	4.7	
地区	深川北 (n= 210)	83.8	8.1	8.1	
	深川南 (n= 174)	76.4	17.8	5.7	
	亀戸・大島 (n= 219)	80.8	12.8	6.4	
	砂町 (n= 238)	87.0	5.9	7.1	
ブロック	深川北 (n= 125)	80.0	9.6	10.4	
	深川中央 (n= 138)	87.0	8.7	4.3	
	深川南 (n= 121)	73.6	19.8	6.6	
	亀戸 (n= 89)	82.0	12.4	5.6	
	大島 (n= 130)	80.0	13.1	6.9	
	南砂 (n= 119)	89.9	4.2	5.9	
	北砂 (n= 119)	84.0	7.6	8.4	

かかりつけ医を選んだ理由／かかりつけ医がない理由 (あてはまるものすべてに○)

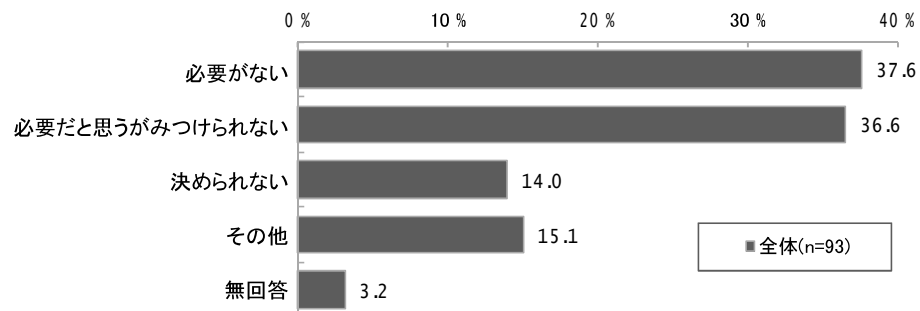
かかりつけ医を選んだ理由は、「近所にある」(75.4%)が最も高く、次いで「評判がよく親切で信頼できる」(23.6%)、「専門医がいる」(22.0%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-9 かかりつけ医を選んだ理由



かかりつけ医がない理由としては、「必要がない」(37.6%)が最も高く、次いで「必要だと思うがみつけれない」(36.6%)、「決められない」が(14.0%)となっている。

図表 Ⅱ③-10 かかりつけ医がない理由



Ⅱ 調査結果の概要

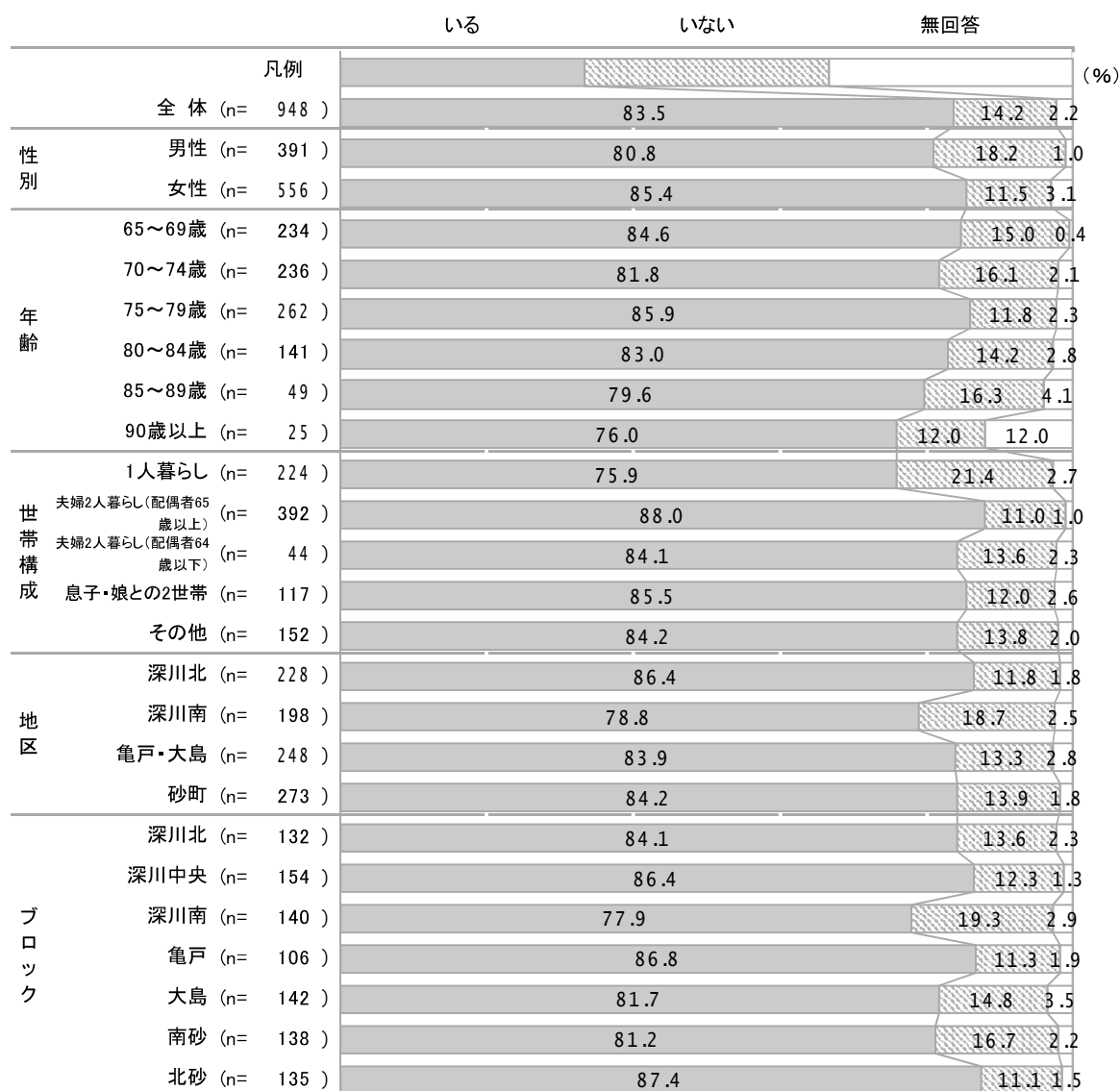
調査③ 在宅生活継続意向調査

③ かかりつけ歯科医師の有無

問3. (2)「かかりつけ歯科医師」の有無 (ひとつだけ○)

かかりつけ歯科医師の有無は、「いる」は全体の8割超である。
 性別で大きな差異は見られないが、年齢別では年齢が高い方ほど「いる」割合が低い傾向がある。
 世帯構成別では、1人暮らしの方で「いない」割合が高い。
 地区別では、深川北地区が「いる」(86.4%)で他の地区に比べてやや高い。

図表 Ⅱ③-11 かかりつけ歯科医師の有無



かかりつけ歯科医師の所在地は、「区内」(71.0%)、「区外」(16.7%)となっている。
性別では大きな差異は見られないが、年齢別では65～69歳、90歳以上で「区外」の割合が他の年代と比べて高い。
世帯構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)において、「区外」の割合が高い。
地区別・ブロック別では、深川南地区(ブロック)で「区外」の割合が他の地区(ブロック)と比べるとやや高い。

図表 Ⅱ③-12 かかりつけ歯科医師の所在地

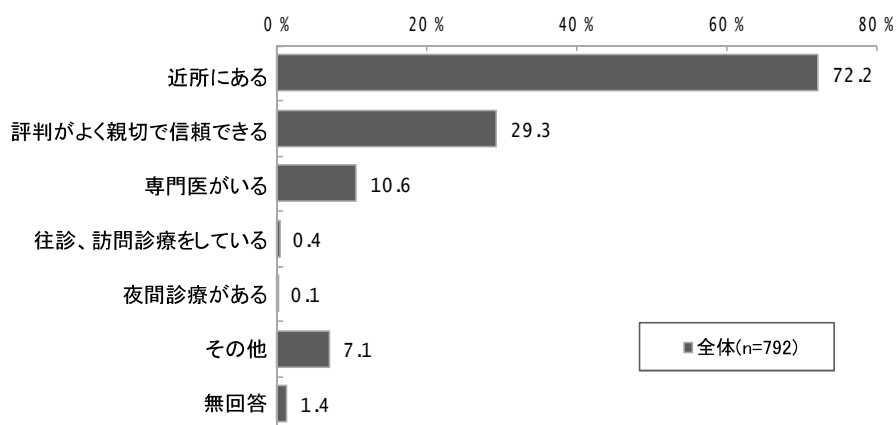
		区内	区外	無回答	(%)
凡例					
全体 (n= 792)		71.0	16.7	12.4	
性別	男性 (n= 316)	73.7	14.6	11.7	
	女性 (n= 475)	69.1	18.1	12.8	
年齢	65～69歳 (n= 198)	68.7	22.7	8.6	
	70～74歳 (n= 193)	70.5	18.1	11.4	
	75～79歳 (n= 225)	75.1	12.4	12.4	
	80～84歳 (n= 117)	67.5	13.7	18.8	
	85～89歳 (n= 39)	74.4	10.3	15.4	
	90歳以上 (n= 19)	63.2	21.1	15.8	
世帯構成	1人暮らし (n= 170)	66.5	18.2	15.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 345)	75.7	14.5	9.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 37)	56.8	35.1	8.1	
	息子・娘との2世帯 (n= 100)	71.0	15.0	14.0	
	その他 (n= 128)	68.8	16.4	14.8	
地区	深川北 (n= 197)	69.0	15.2	15.7	
	深川南 (n= 156)	66.7	22.4	10.9	
	亀戸・大島 (n= 208)	72.6	15.9	11.5	
	砂町 (n= 230)	73.9	14.8	11.3	
ブロック	深川北 (n= 111)	67.6	17.1	15.3	
	深川中央 (n= 133)	68.4	18.0	13.5	
	深川南 (n= 109)	67.9	20.2	11.9	
	亀戸 (n= 92)	72.8	18.5	8.7	
	大島 (n= 116)	72.4	13.8	13.8	
	南砂 (n= 112)	75.9	16.1	8.0	
	北砂 (n= 118)	72.0	13.6	14.4	

Ⅱ 調査結果の概要
 調査③ 在宅生活継続意向調査

かかりつけ歯科医師を選んだ理由／かかりつけ歯科医師がない理由
 (あてはまるものすべてに○)

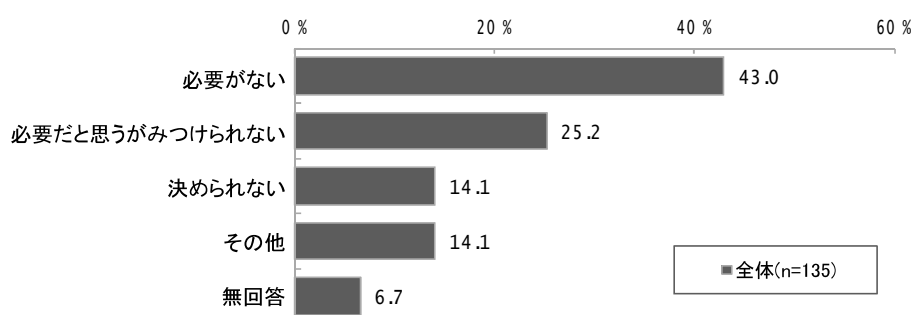
かかりつけ歯科医師を選んだ理由としては、「近所にある」(72.2%)が最も高く、次いで「評判がよく親切で信頼できる」(29.3%)、「専門医がいる」(10.6%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-13 かかりつけ歯科医師を選んだ理由



かかりつけ歯科医師がない理由は、「必要がない」(43.0%)が最も高く、次いで「必要だと思うがみつけれない」(25.2%)、「決められない」(14.1%)となっている。

図表 Ⅱ③-14 かかりつけ歯科医師がない理由



④ かかりつけ薬局の有無

問3. (3)「かかりつけ薬局」の有無

(ひとつだけ〇)

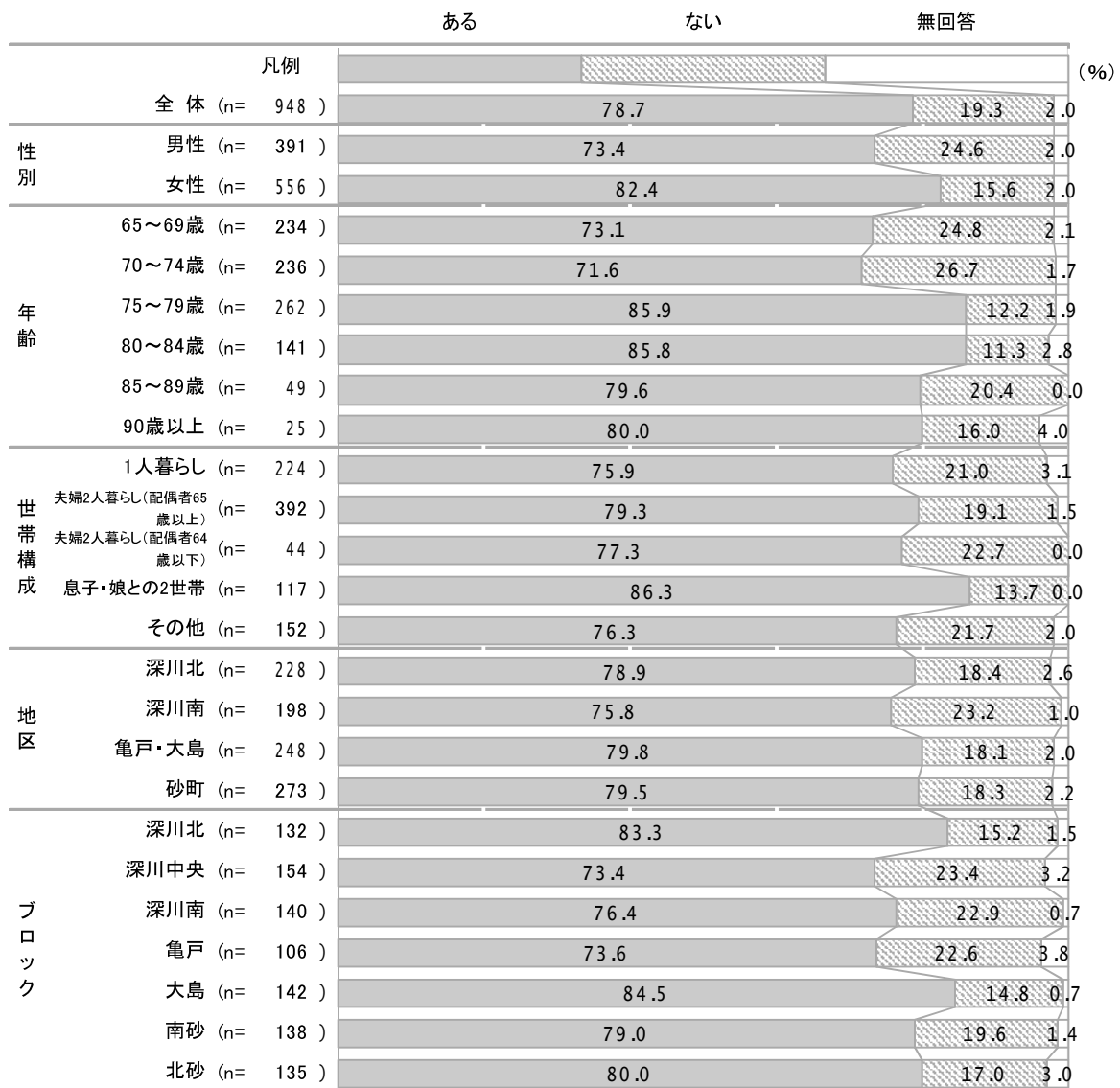
かかりつけ薬局の有無は、全体の約8割は、かかりつけ薬局が「ある」と回答。

性別では、男性に比べ女性に「ある」割合がやや高い。

年齢別では、75～79歳、80～84歳で「ある」割合が他の年代と比べて高い。

世帯構成別では、息子・娘との2世帯で「ある」割合が高い。

図表 Ⅱ③-15 かかりつけ薬局の有無



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

かかりつけ薬局の所在地は、「区内」(79.2%)、「区外」(5.9%)となっている。

性別では大きな差異は見られないが、年齢別では65～69歳、80～84歳の「区内」の割合が他の年代と比べて低い。

世帯構成別では、1人暮らしの方で「区内」の割合がやや低い。

地区別・ブロック別では、深川南地区(ブロック)で「区内」の割合が他の地区(ブロック)と比べて高い。

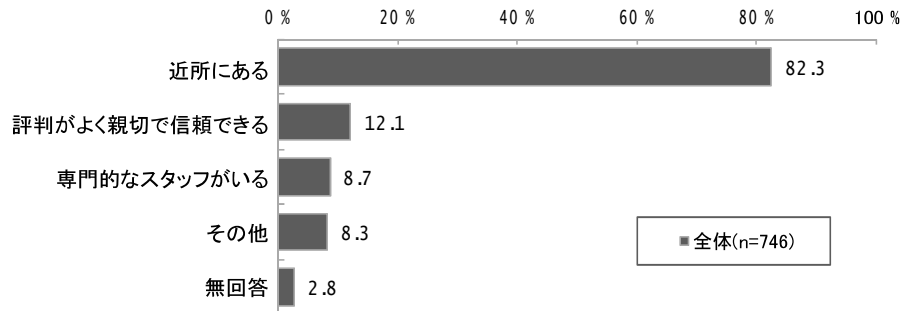
図表 Ⅱ③-16 かかりつけ薬局の所在地

		区内	区外	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 746)	79.2	5.9	14.9	
性別	男性 (n= 287)	80.5	5.9	13.6	
	女性 (n= 458)	78.4	5.9	15.7	
年齢	65～69歳 (n= 171)	74.3	7.6	18.1	
	70～74歳 (n= 169)	81.1	6.5	12.4	
	75～79歳 (n= 225)	83.1	5.8	11.1	
	80～84歳 (n= 121)	75.2	5.0	19.8	
	85～89歳 (n= 39)	82.1	2.6	15.4	
	90歳以上 (n= 20)	80.0	0.0	20.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 170)	72.9	5.9	21.2	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 311)	83.9	5.1	10.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 34)	76.5	8.8	14.7	
	息子・娘との2世帯 (n= 101)	82.2	4.0	13.9	
	その他 (n= 116)	75.9	7.8	16.4	
地区	深川北 (n= 180)	77.2	5.0	17.8	
	深川南 (n= 150)	83.3	6.7	10.0	
	亀戸・大島 (n= 198)	77.8	8.1	14.1	
	砂町 (n= 217)	79.3	4.1	16.6	
ブロック	深川北 (n= 110)	76.4	5.5	18.2	
	深川中央 (n= 113)	79.6	3.5	16.8	
	深川南 (n= 107)	84.1	8.4	7.5	
	亀戸 (n= 78)	75.6	9.0	15.4	
	大島 (n= 120)	79.2	7.5	13.3	
	南砂 (n= 109)	81.7	1.8	16.5	
	北砂 (n= 108)	76.9	6.5	16.7	

かかりつけ薬局を選んだ理由／かかりつけ薬局がない理由 (あてはまるものすべてに○)

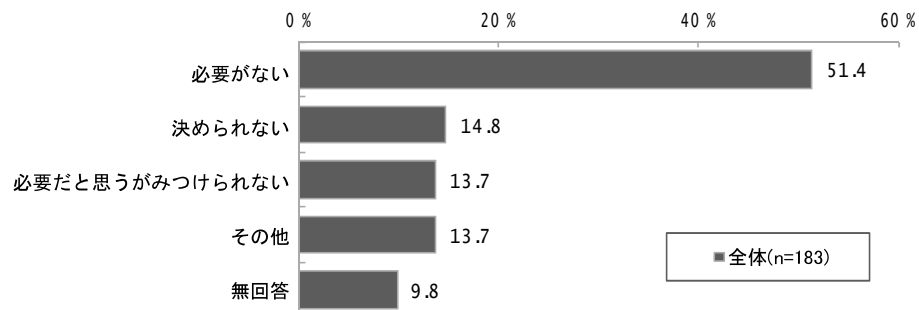
かかりつけ薬局を選んだ理由としては、「近所にある」(82.3%)が最も高く、次いで「評判がよく親切で信頼できる」(12.1%)、「専門的なスタッフがいる」(8.7%)となっている。

図表 Ⅱ③-17 かかりつけ薬局を選んだ理由



かかりつけ薬局がない理由は、「必要がない」が過半数を占めて最も高く、次いで、「決められない」が(14.8%)、「必要だと思うがみつけれない」(13.7%)となっている。

図表 Ⅱ③-18 かかりつけ薬局がない理由



Ⅱ 調査結果の概要

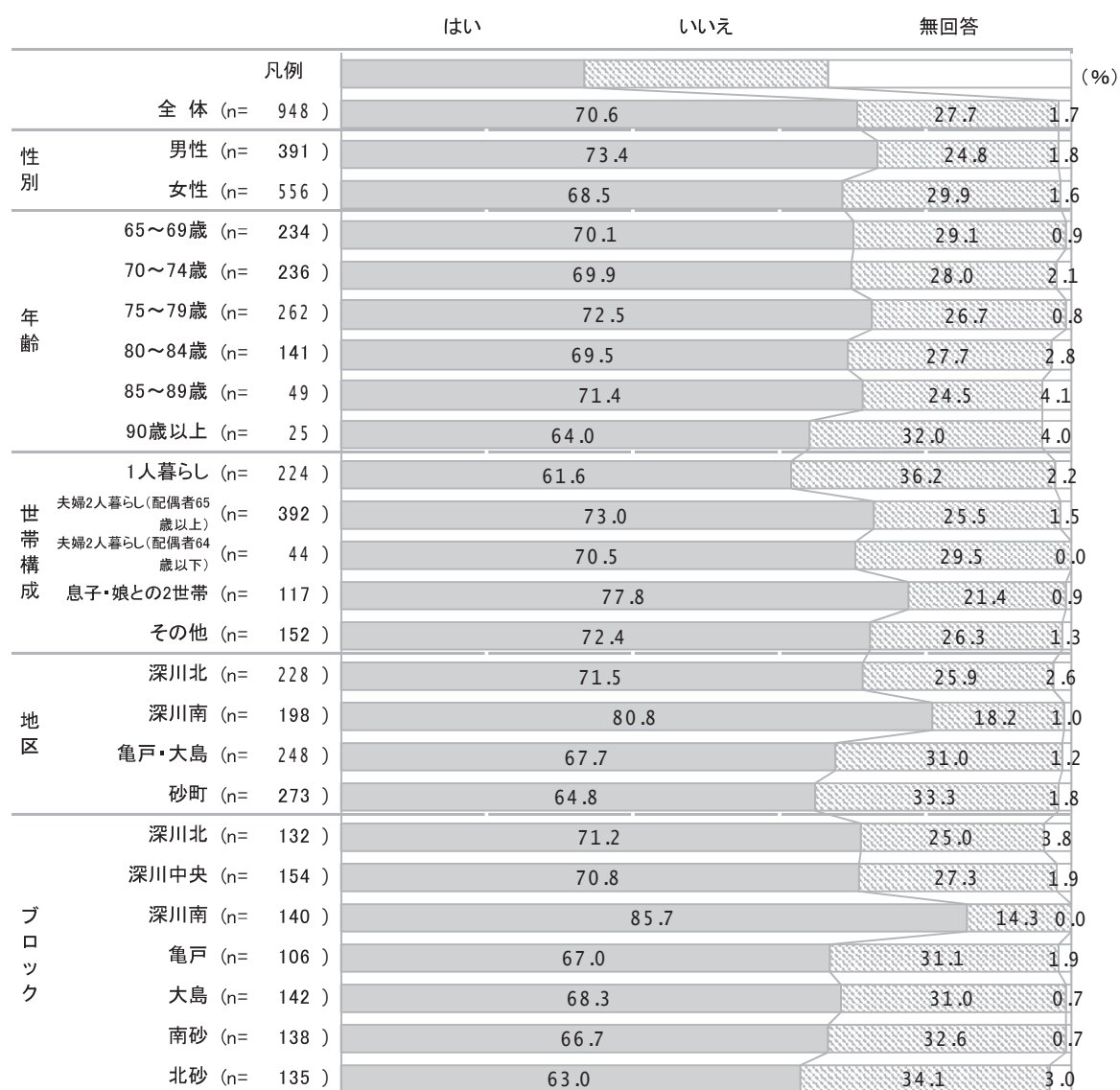
調査③ 在宅生活継続意向調査

⑤ 大学病院や都立病院での受診経験

問4. あなたは、大学病院や都立病院で受診したことはありますか。 (ひとつだけ○)

大学病院や都立病院での受診経験は、「はい」(70.6%)、「いいえ」(27.7%)となっている。
 性別で特に大きな差異は見られないが、年齢別では、90歳以上で「はい」の割合が他の年代と比べて低い。
 世帯構成別では、1人暮らしの方で「はい」の割合が低い。
 地区別、ブロック別では、「はい」の割合が高い地区(ブロック)はともに深川南地区(ブロック)となっている。

図表 Ⅱ③-19 大学病院や都立病院での受診経験

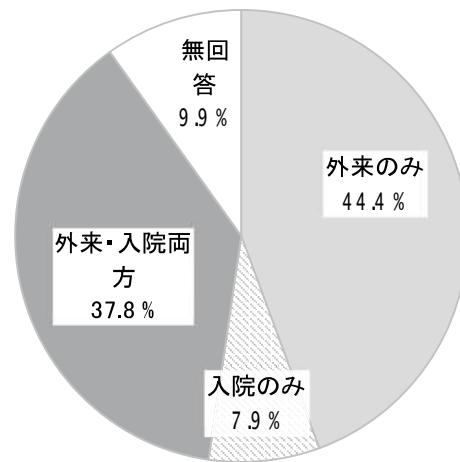


⑥ 外来か入院か

問 4 -1. ① (はいの方へ) 受診したのは外来か入院のどちらか。 (ひとつだけ○)

受診における外来か入院かについては、「外来のみ」(44.4%)、「入院のみ」(7.9%)、「外来・入院両方」(37.8%)となっている。

図表 Ⅱ③-20 外来か入院か



(全体:n=669)

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

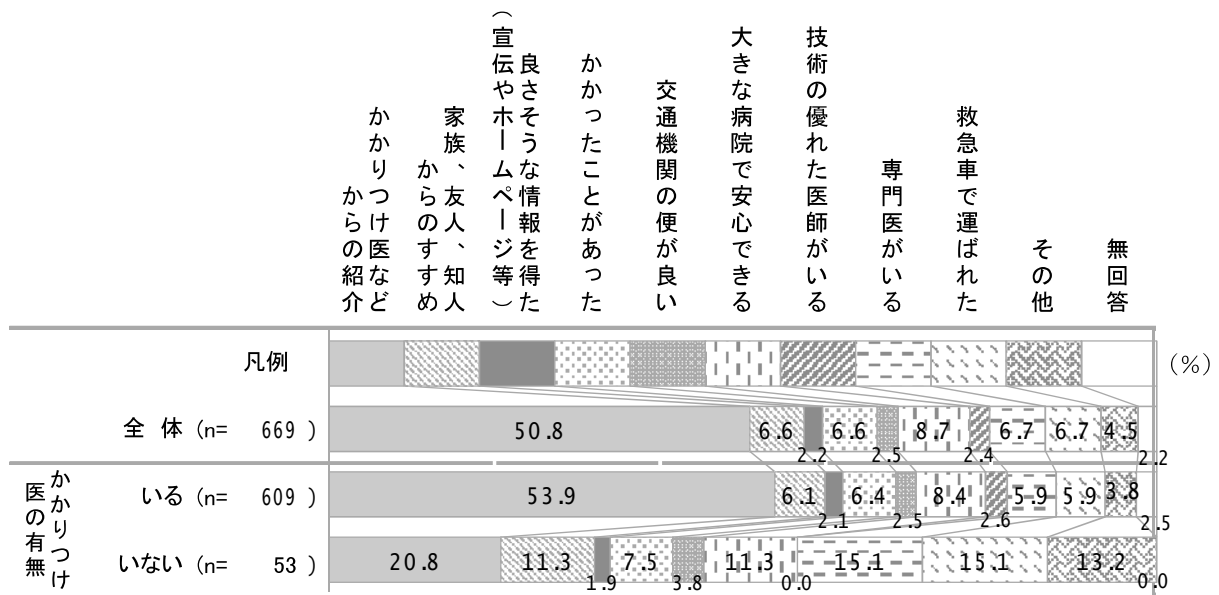
⑦ 大学病院や都立病院を受診した理由

問4-1. ② (はいの方へ) なぜ診療所ではなく、大学病院や都立病院を受診したのかを教えてください。(ひとつだけ○)

大学病院や都立病院を受診した理由は、「かかりつけ医などからの紹介」(50.8%)、「家族、友人、知人からのすすめ」(6.6%)、「良さそうな情報を得た(宣伝やホームページ等)」(2.2%)、「かかったことがあった」(6.6%)、「交通機関の便が良い」(2.5%)、「大きな病院で安心できる」(8.7%)、「技術の優れた医師がいる」(2.4%)、「専門医がいる」(6.7%)、「救急車で運ばれた」(6.7%)となっている。

かかりつけ医の有無別では、かかりつけ医がいる場合でも、いない場合でも「かかりつけ医などからの紹介」が最も高い。

図表 Ⅱ③-21 大学病院や都立病院を受診した理由

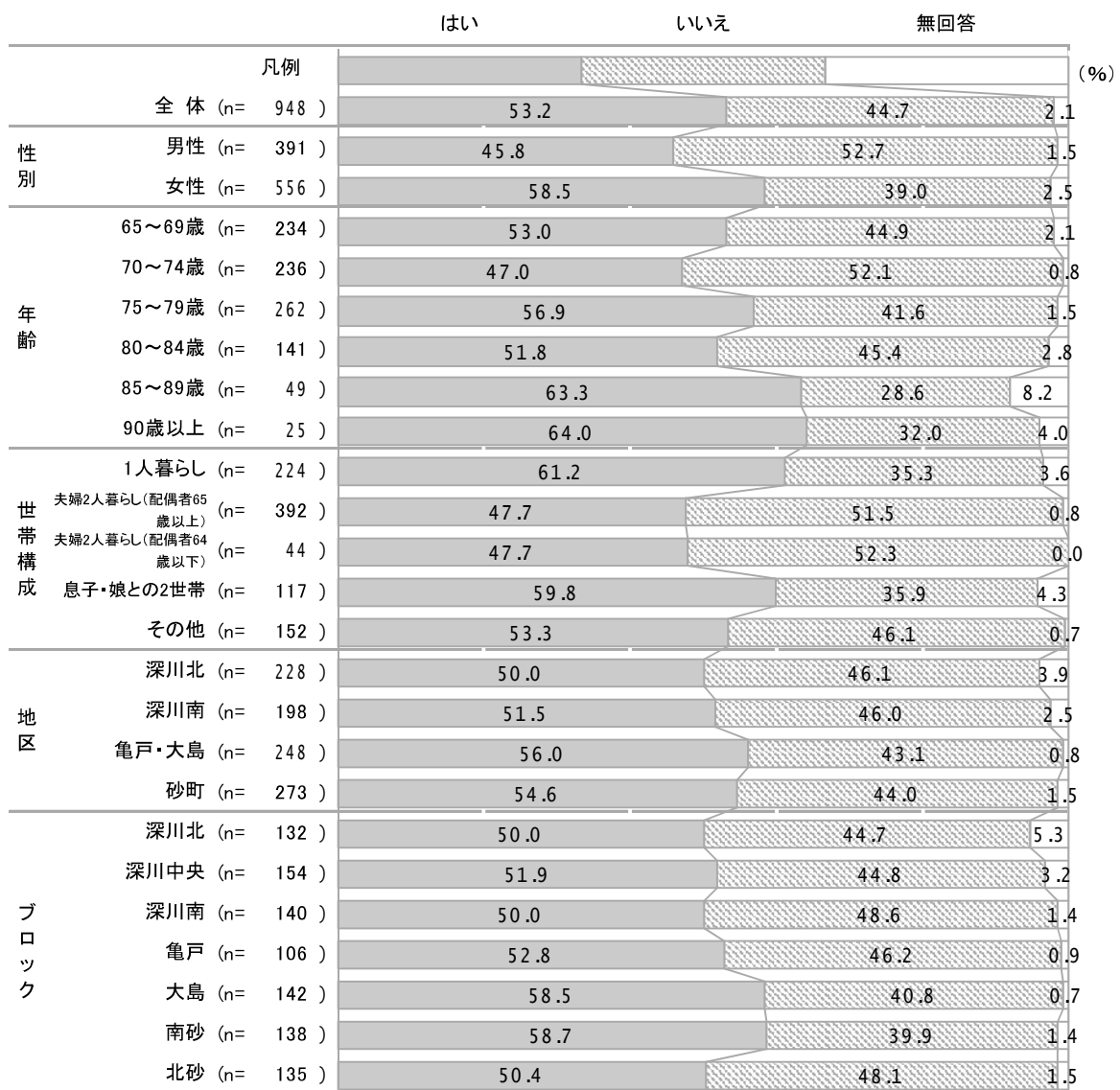


⑧ 医療や福祉に関する相談窓口の認知度

問5 あなたは、医療や福祉に関する相談ができる窓口があることを知っていますか。
(ひとつだけ○)

医療や福祉に関する相談窓口の認知度は、「はい」(53.2%)、「いいえ」(44.7%)となっている。
性別では、男性に比べると女性の認知度が高い。
年齢別では、高年齢の方ほど認知度が高い傾向がある。
世帯構成別では、1人暮らしと息子・娘との2世帯で認知度が高い。
ブロック別では、大島ブロックと南砂ブロックが他ブロックと比べて認知度がやや高い。

図表 Ⅱ③-22 医療や福祉に関する相談窓口の認知度



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑨ 知っている機関

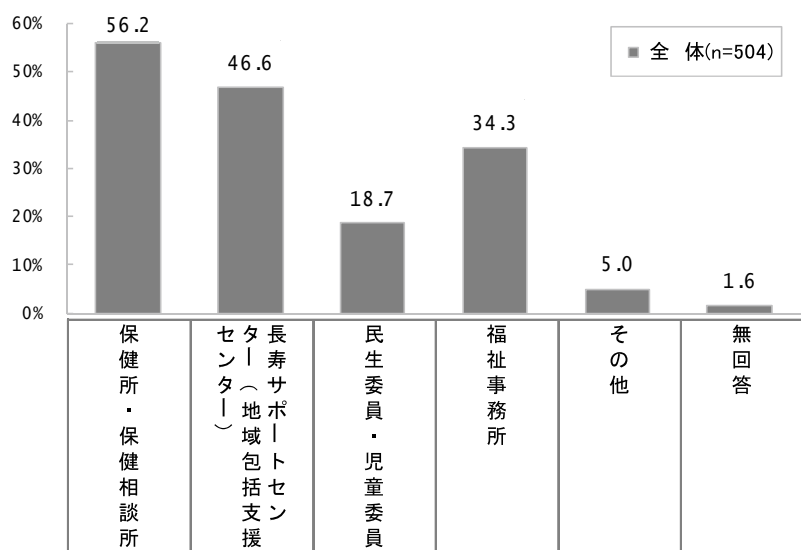
問5-1. (はいの方へ) 知っている機関を教えてください。 (あてはまるものすべてに○)

知っている機関は、「保健所・保健相談所」(56.2%)が最も高く、次いで「長寿サポートセンター(地域包括支援センター)」(46.6%)、「福祉事務所」(34.3%)などとなっている。

性別では、男性に比べると女性で「長寿サポートセンター(地域包括支援センター)」を知っている割合が高い。

年齢別では、高年齢の方ほど「保健所・保健相談所」を知っている割合が低いのに対して、「長寿サポートセンター(地域包括支援センター)」では高い。

図表Ⅱ③-23 知っている機関



	全体	(n= 504)	56.2	46.6	18.7	34.3	5.0	1.6	(%)
性別	男性	(n= 179)	59.8	36.3	11.7	31.8	6.1	1.7	
	女性	(n= 325)	54.2	52.3	22.5	35.7	4.3	1.5	
年齢	65～69歳	(n= 124)	71.8	41.9	17.7	34.7	4.8	0.8	
	70～74歳	(n= 111)	64.0	41.4	22.5	43.2	3.6	0.9	
	75～79歳	(n= 149)	53.7	49.7	16.1	31.5	4.7	1.3	
	80～84歳	(n= 73)	37.0	49.3	17.8	27.4	8.2	2.7	
	85～89歳	(n= 31)	41.9	54.8	16.1	38.7	3.2	6.5	
	90歳以上	(n= 16)	18.8	62.5	31.3	18.8	6.3	0.0	
世帯構成	1人暮らし	(n= 137)	49.6	49.6	23.4	34.3	5.8	2.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 187)	59.9	52.4	15.5	34.8	4.8	0.5	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 21)	85.7	9.5	9.5	23.8	0.0	4.8	
	息子・娘との2世帯 その他	(n= 70) (n= 81)	47.1 59.3	47.1 40.7	21.4 16.0	35.7 32.1	2.9 6.2	1.4 1.2	
地区	深川北	(n= 114)	61.4	43.0	22.8	28.1	6.1	3.5	
	深川南	(n= 102)	59.8	47.1	14.7	35.3	4.9	1.0	
	亀戸・大島	(n= 139)	46.0	51.1	20.1	38.8	5.8	1.4	
	砂町	(n= 149)	59.1	45.0	16.8	34.2	3.4	0.7	
ブロック	深川北	(n= 66)	62.1	34.8	16.7	31.8	4.5	3.0	
	深川中央	(n= 80)	56.3	51.3	25.0	31.3	6.3	2.5	
	深川南	(n= 70)	64.3	47.1	14.3	31.4	5.7	1.4	
	亀戸	(n= 56)	60.7	48.2	26.8	35.7	7.1	0.0	
	大島	(n= 83)	36.1	53.0	15.7	41.0	4.8	2.4	
	南砂 北砂	(n= 81) (n= 68)	61.7 55.9	40.7 50.0	21.0 11.8	33.3 35.3	2.5 4.4	1.2 0.0	

⑩ 医療情報の入手方法

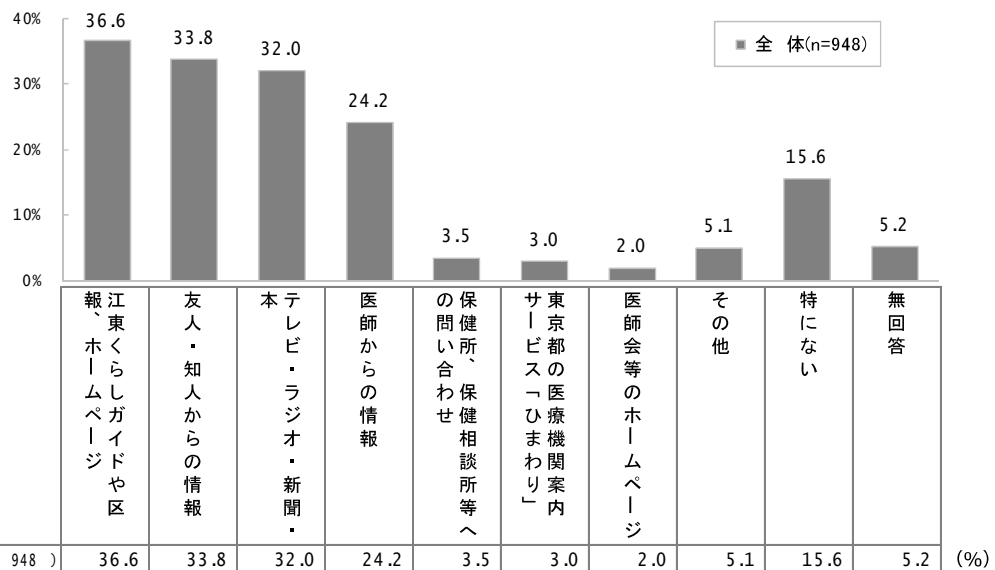
問6. あなたは、医療情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

医療情報の入手方法は、「江東くらしガイドや区報、ホームページ」(36.6%)が最も高く、次いで「友人・知人からの情報」(33.8%)、「テレビ・ラジオ・新聞・本」(32.0%)となっている。

性別では、男性に比べると女性で「友人・知人からの情報」や「テレビ・ラジオ・新聞・本」の割合が高い。

年齢別では、85～89歳で「医師からの情報」が他の年代と比べてやや高い。

図表 Ⅱ③-24 医療情報の入手方法



	全体 (n= 948)	36.6	33.8	32.0	24.2	3.5	3.0	2.0	5.1	15.6	5.2
性別											
男性	(n= 391)	34.0	21.5	26.6	22.3	3.1	3.8	2.3	4.9	20.7	5.9
女性	(n= 556)	38.3	42.4	35.6	25.5	3.8	2.3	1.8	5.0	12.1	4.7
年齢											
65～69歳	(n= 234)	38.5	33.3	35.0	23.5	3.8	2.1	3.4	9.4	17.5	3.0
70～74歳	(n= 236)	36.4	35.2	35.6	20.3	2.1	3.0	3.0	3.8	15.7	3.8
75～79歳	(n= 262)	39.7	34.7	29.8	26.0	4.2	5.0	1.1	3.8	13.0	5.7
80～84歳	(n= 141)	28.4	35.5	27.7	26.2	4.3	0.7	0.7	2.8	17.7	8.5
85～89歳	(n= 49)	34.7	28.6	24.5	30.6	4.1	4.1	0.0	0.0	18.4	8.2
90歳以上	(n= 25)	36.0	16.0	28.0	24.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	8.0
世帯構成											
1人暮らし	(n= 224)	37.1	36.2	29.9	18.3	3.1	1.8	0.9	4.9	17.9	4.9
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 392)	36.2	35.2	31.6	25.5	3.6	3.6	2.3	4.8	14.0	5.9
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 44)	40.9	22.7	34.1	22.7	2.3	0.0	6.8	13.6	20.5	2.3
息子・娘との2世帯	(n= 117)	39.3	28.2	26.5	35.0	5.1	2.6	3.4	3.4	12.8	5.1
その他	(n= 152)	33.6	36.2	41.4	21.7	3.3	3.9	0.7	5.3	17.8	1.3
地区											
深川北	(n= 228)	33.3	36.4	35.5	27.2	3.9	3.5	1.8	4.8	17.1	7.5
深川南	(n= 198)	38.4	30.8	29.3	21.2	3.5	4.0	2.0	4.5	12.6	5.1
亀戸・大島	(n= 248)	35.1	31.9	29.8	23.4	2.4	2.4	1.6	5.6	17.7	4.8
砂町	(n= 273)	39.2	35.5	32.6	24.5	4.0	2.2	2.6	4.8	14.7	3.7
ブロック											
深川北	(n= 132)	28.0	33.3	28.8	23.5	6.1	3.0	0.0	4.5	18.2	9.1
深川中央	(n= 154)	38.3	35.7	42.2	28.6	1.9	3.2	2.6	3.2	13.0	5.8
深川南	(n= 140)	40.0	32.1	25.7	20.7	3.6	5.0	2.9	6.4	14.3	4.3
亀戸	(n= 106)	31.1	33.0	32.1	24.5	2.8	2.8	1.9	3.8	22.6	3.8
大島	(n= 142)	38.0	31.0	28.2	22.5	2.1	2.1	1.4	7.0	14.1	5.6
南砂	(n= 138)	42.8	40.6	34.1	23.9	2.9	2.9	2.2	5.1	15.9	1.4
北砂	(n= 135)	35.6	30.4	31.1	25.2	5.2	1.5	3.0	4.4	13.3	5.9

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

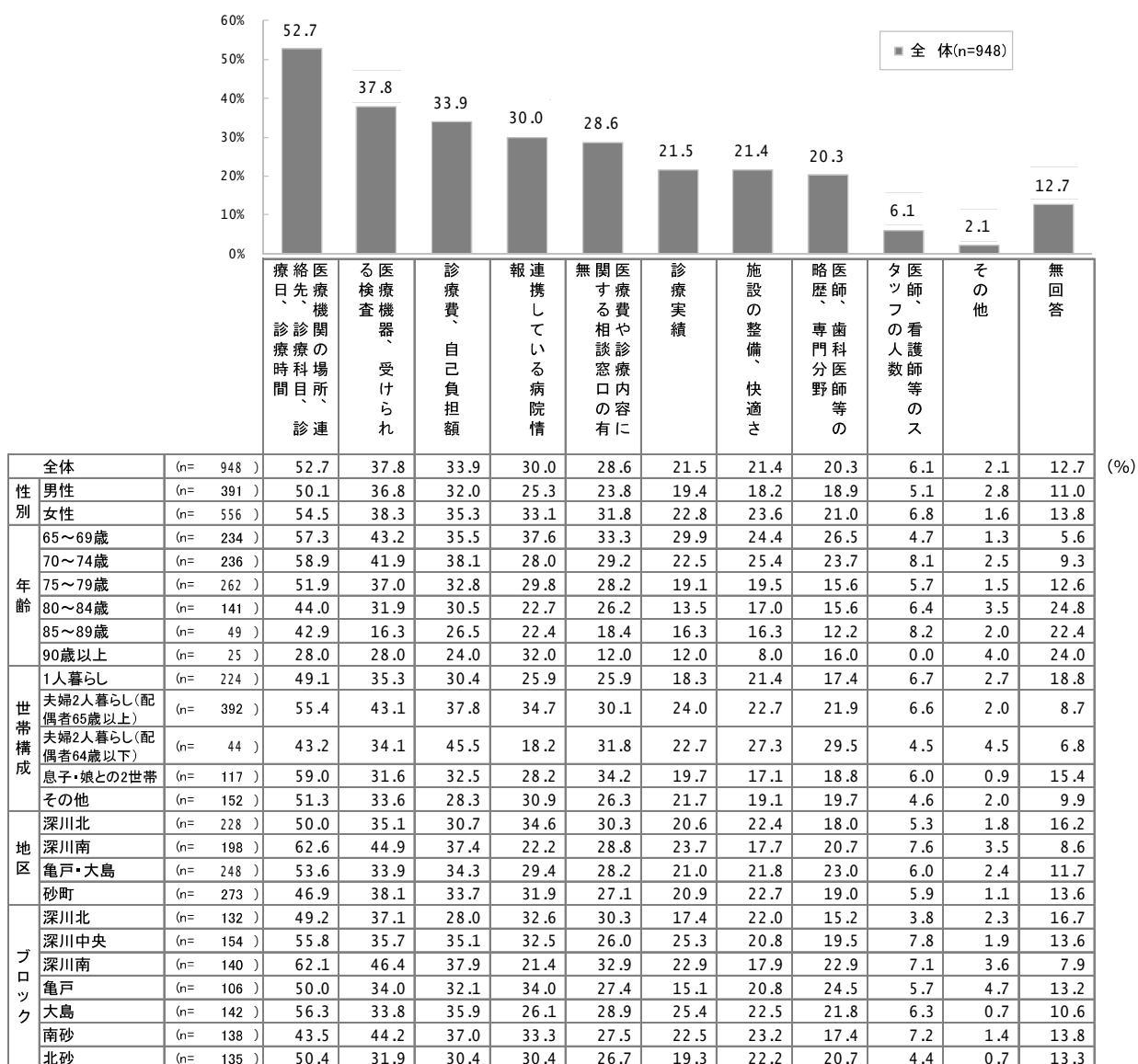
⑪ 医療情報でどのような情報がほしいか

問7. 医療情報でどのような情報がほしいと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)

医療情報でどのような情報がほしいかは、「医療機関の場所、連絡先、診療科目、診療日、診療時間」(52.7%) が最も高く、次いで「医療機器、受けられる検査」(37.8%)、「診療費、自己負担額」(33.9%) などとなっている。

年齢別では、70代以下の方では「医療機関の場所、連絡先、診療科目、診療日、診療時間」の割合が高い。

図表 Ⅱ③-25 医療情報でどのような情報がほしいか



⑫ 医療（療養）が必要となった場合、在宅医療（療養）を希望するか

問8 あなたは、医療（療養）が必要となった場合、在宅医療（療養）を希望しますか。
(ひとつだけ○)

医療（療養）が必要となった場合、在宅医療（療養）を希望については、「はい」＝「希望する」(25.5%)、「わからない」(50.1%)、「いいえ」＝「希望しない」(21.4%)となっている。
年齢別では、85～89歳で「はい」「いいえ」が他の年齢に比べどちらも高く、「わからない」の割合は3割程度である。
世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者年齢を問わず）で「はい」の割合が高い。
地区別・ブロック別では、深川南地区（ブロック）で「はい」の割合が高い。

図表 Ⅱ③-26 医療（療養）が必要となった場合、在宅医療（療養）を希望するか

		はい	わからない	いいえ	無回答	(%)
凡例						
	全体 (n= 948)	25.5	50.1	21.4	3.0	
性別	男性 (n= 391)	28.1	50.4	19.2	2.3	
	女性 (n= 556)	23.6	50.0	23.0	3.4	
年齢	65～69歳 (n= 234)	25.2	50.4	22.6	1.7	
	70～74歳 (n= 236)	22.5	51.7	22.0	3.8	
	75～79歳 (n= 262)	27.5	48.9	21.8	1.9	
	80～84歳 (n= 141)	24.1	56.0	15.6	4.3	
	85～89歳 (n= 49)	32.7	34.7	28.6	4.1	
	90歳以上 (n= 25)	28.0	44.0	20.0	8.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	20.5	45.1	29.5	4.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	29.3	51.5	17.9	1.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	31.8	38.6	29.5	0.0	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	22.2	54.7	16.2	6.8	
	その他 (n= 152)	23.7	53.3	21.1	2.0	
地区	深川北 (n= 228)	26.3	47.8	23.7	2.2	
	深川南 (n= 198)	30.8	50.0	16.7	2.5	
	亀戸・大島 (n= 248)	23.0	47.6	24.6	4.8	
	砂町 (n= 273)	23.1	54.6	20.1	2.2	
ブロック	深川北 (n= 132)	23.5	52.3	22.0	2.3	
	深川中央 (n= 154)	26.6	45.5	26.0	1.9	
	深川南 (n= 140)	35.0	49.3	12.9	2.9	
	亀戸 (n= 106)	18.9	47.2	26.4	7.5	
	大島 (n= 142)	26.1	47.9	23.2	2.8	
	南砂 (n= 138)	23.9	55.8	18.1	2.2	
	北砂 (n= 135)	22.2	53.3	22.2	2.2	

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑬ 在宅医療（療養）は実現できると思うか

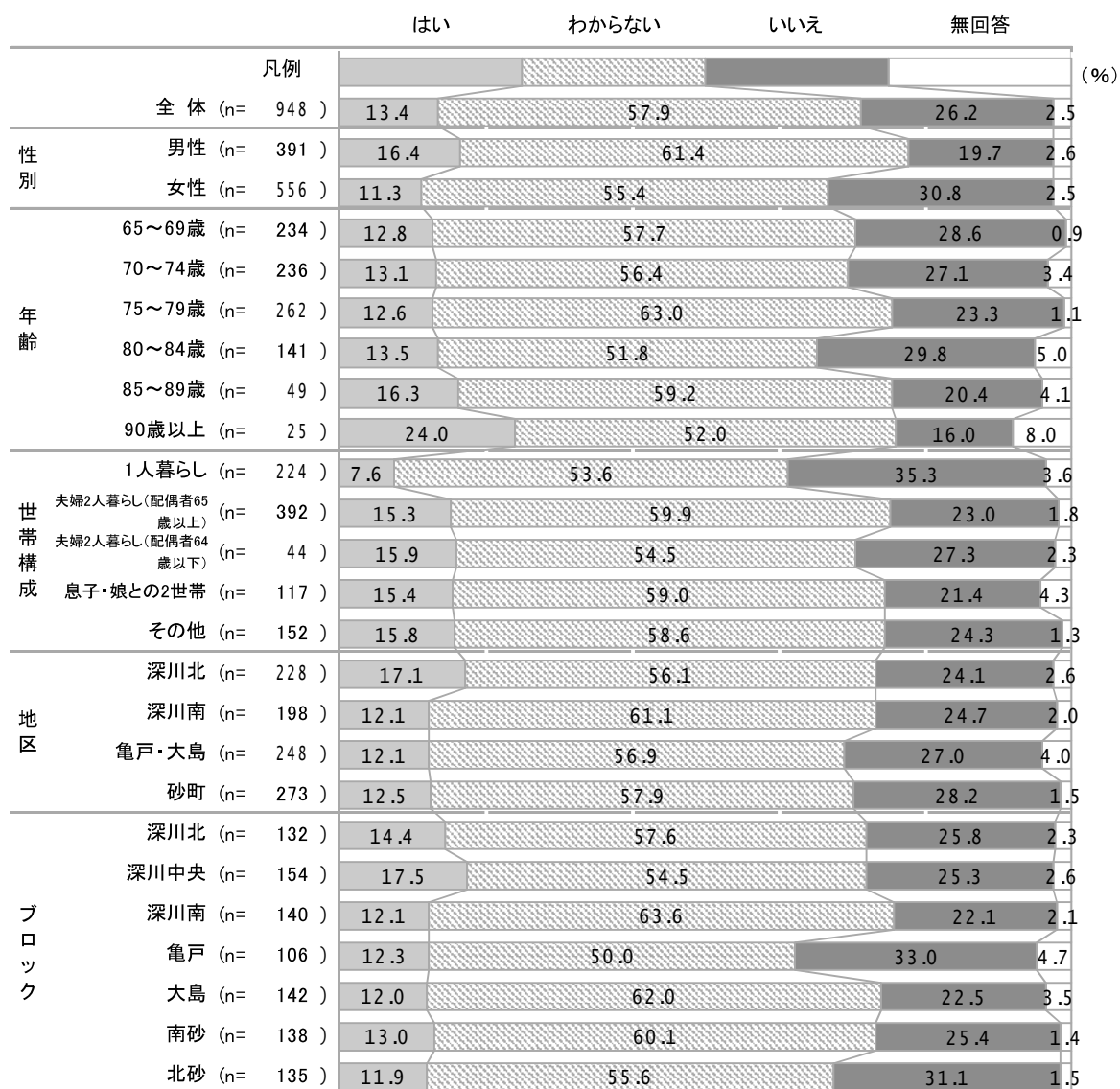
問9. 在宅医療（療養）は実現できると思いますか。 (ひとつだけ〇)

在宅医療（療養）は実現できると思うかは、「はい」＝「実現できると思う」（13.4%）、「わからない」（57.9%）、「いいえ」＝「実現できないと思う」（26.2%）となっている。

性別では、男性に比べると女性で「いいえ」の割合が高い。

年齢別では、高年齢の方ほど「はい」の割合が高く、85歳以上は「いいえ」も2割以下である。

図表 Ⅱ③-27 在宅医療（療養）は実現できると思うか

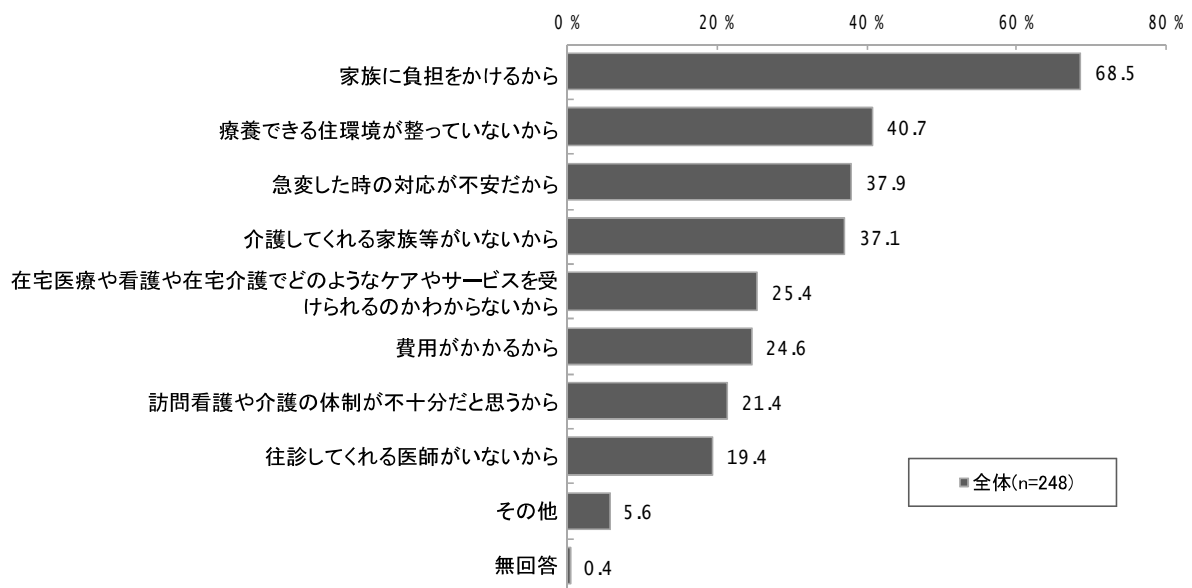


⑭ 在宅医療（療養）の実現が難しいと思う理由

問9-1. (いいえの方へ) 在宅医療（療養）の実現が難しいと思う理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

在宅医療（療養）の実現が難しいと思う理由は、「家族に負担をかけるから」(68.5%)が最も高くなっている。次いで、「療養できる住環境が整っていないから」(40.7%)、「急変した時の対応が不安だから」(37.9%)、「介護してくれる家族等がないから」(37.1%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-28 在宅医療（療養）の実現が難しいと思う理由



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑮ 介護が必要な状態にならないようにするために現在取り組んでいること

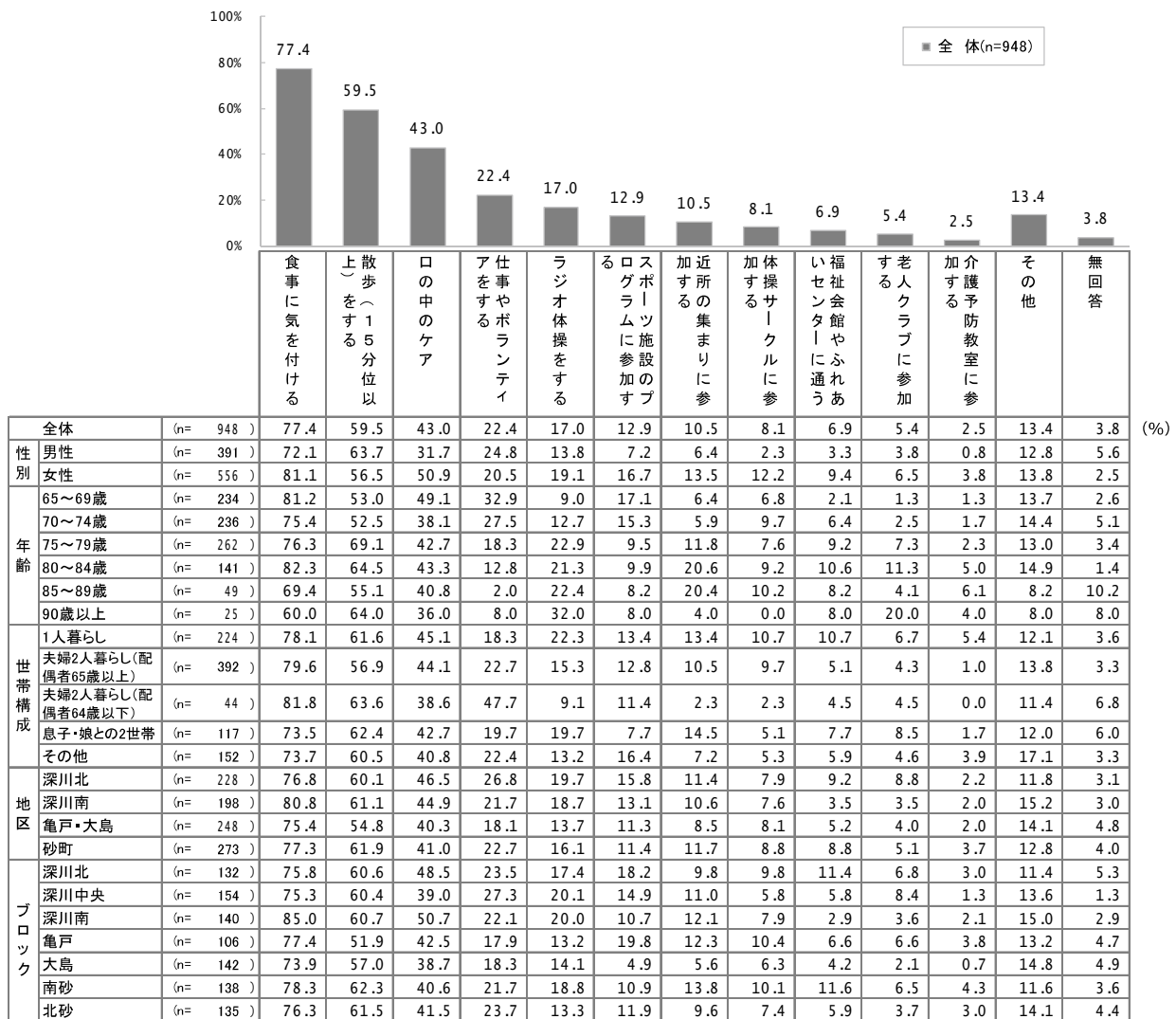
問10. 介護が必要な状態にならないようにするために、現在取り組んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

介護が必要な状態にならないようにするために現在取り組んでいることは、「食事に気を付ける」(77.4%) が最も高く、次いで「散歩(15分位以上)をする」(59.5%)、「口の中のケア」(43.0%) などとなっている。

性別では、男性に比べると女性で「口の中のケア」の取り組みに対する割合が高い。

年齢別では、「食事に気を付ける」が80~84歳で高いが、85歳を超えると低い。また、年齢が若い方ほど「仕事やボランティアをする」割合が高い。

図表 Ⅱ③-29 介護が必要な状態にならないようにするために現在取り組んでいること



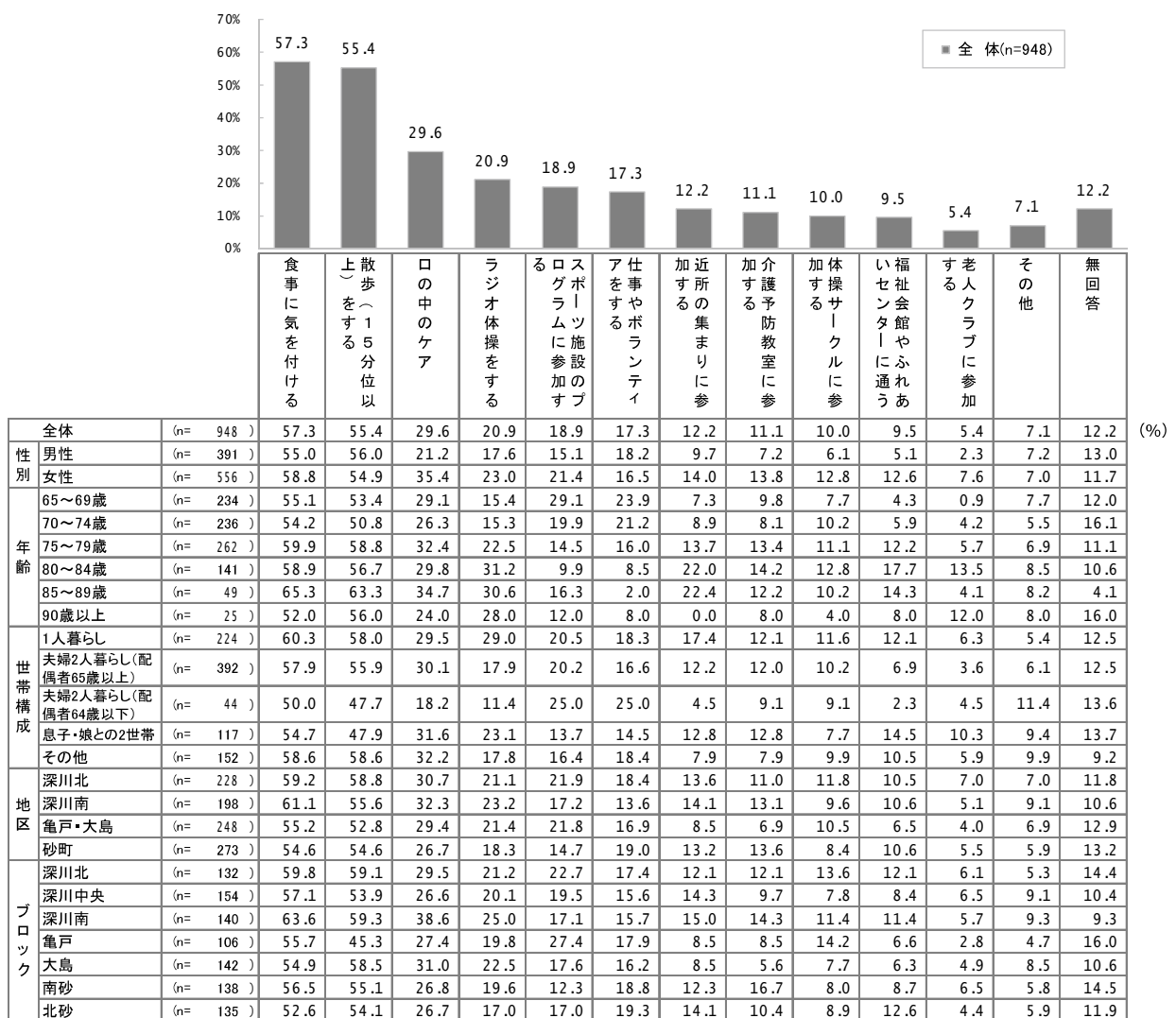
⑩ 介護が必要な状態にならないようにするために、今後取り組んでみたいこと

問11. 介護が必要な状態にならないようにするために、今後取り組んでみたいことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

介護が必要な状態にならないようにするために、今後取り組んでみたいことは「食事に気を付ける」(57.3%) が最も高く、次いで「散歩(15分位以上)をする」(55.4%)、「口の中のケア」(29.6%) などとなっている。

年齢別では、85～89歳の方は他の年代と比べて「食事に気を付ける」や「散歩をする」割合が高い。

図表 Ⅱ③-30 介護が必要な状態にならないようにするために、今後取り組んでみたいこと



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑰ 「フレイル」という言葉の認知

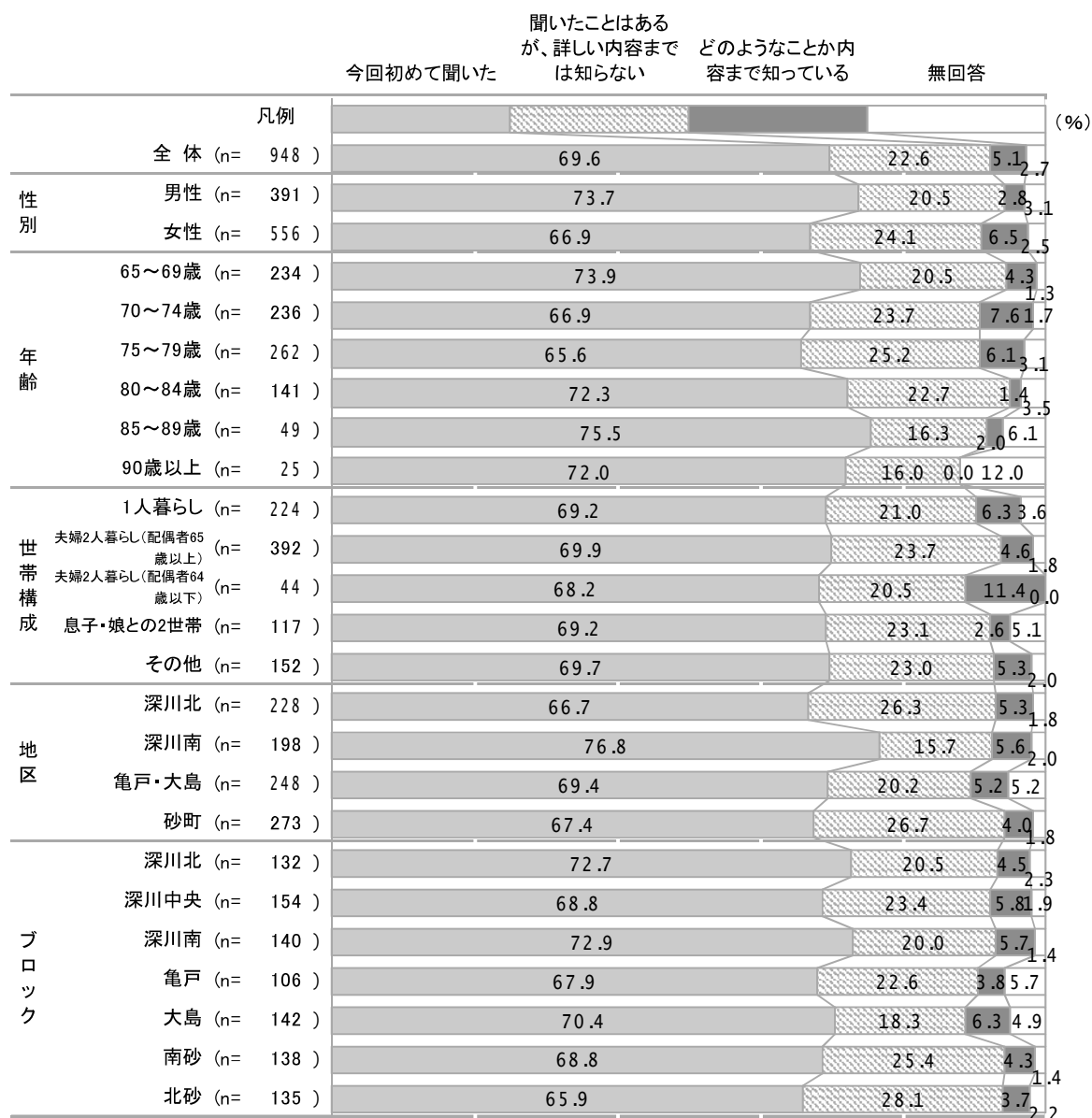
問12 あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。 (ひとつだけ○)

「フレイル※」という言葉を知っているかは、「どのようなことか内容まで知っている」(5.1%と「聞いたことはあるが、詳しい内容までは知らない」(22.6%)を合わせた『認知率』は全体の27.7%である。

性別では、男性に比べると女性の『認知率』が高い。

年齢別では、70代の『認知率』が高い。

図表 Ⅱ③-31 「フレイル」という言葉の認知



※「フレイル」とは、「加齢により心身が老い衰え、筋力や活力が低下した状態(いわゆる虚弱)」のことで、2014年に日本老年医学会から提唱された言葉で、健康で元気な状態と介護が必要な状態の間を意味している。

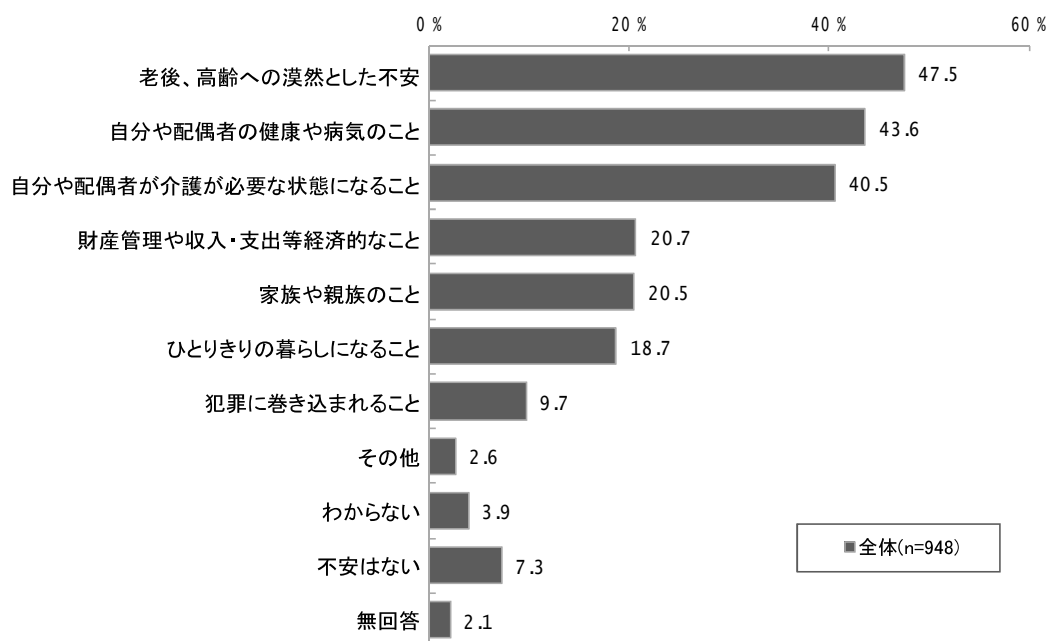
4. 暮らしの中の不安について

① 日常生活で不安を感じていること

問13. あなたは、ご自身の日常生活において、現在不安を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

日常生活で不安を感じていることは、「老後、高齢への漠然とした不安」(47.5%)が最も高く、次いで「自分や配偶者の健康や病気のこと」(43.6%)、「自分や配偶者が介護が必要な状態になること」(40.5%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-32 日常生活で不安を感じていること



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

性別では、「老後、高齢への漠然とした不安」が女性で高いのに対して、「自分や配偶者の健康や病気のこと」や「自分や配偶者に介護が必要な状態になること」は男性で高い。

年齢別では、「老後、高齢への漠然とした不安」が75～79歳で高い。

世帯構成別では、1人暮らしの方が他の世帯と比べて「老後、高齢への漠然とした不安」の割合が高い。

図表 Ⅱ③-33 日常生活で不安を感じていること

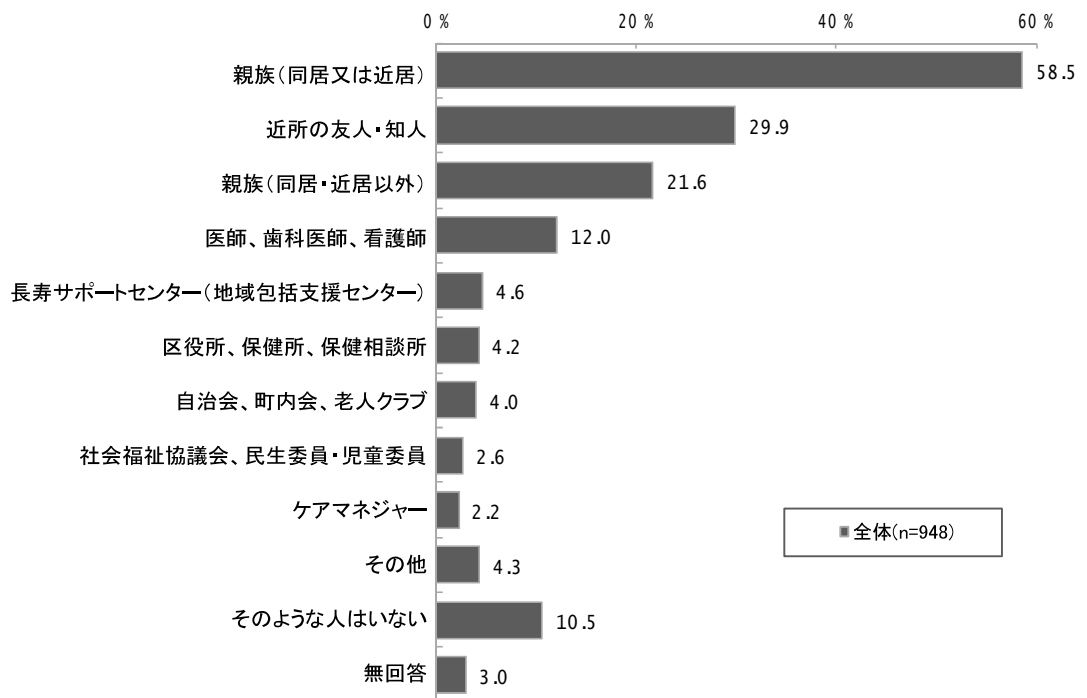
		た老後、 不安 高齢への 漠然とし	気自分 の こと や配偶 者の健 康や病	要自分 な 状態に なるが 介護が 必	経財 済 管理 や 収入・ 支出 等	家 族 や 親 族 の こと	る ひと り き り の 暮 ら し に な	犯 罪 に 巻 き 込 ま れ る こ と	そ の 他	わ か ら な い	不 安 は な い	無 回 答	(%)
全 体	(n= 948)	47.5	43.6	40.5	20.7	20.5	18.7	9.7	2.6	3.9	7.3	2.1	
性 別	男性	(n= 391)	41.4	53.5	48.8	18.2	16.4	21.7	8.2	1.3	5.1	5.4	2.0
	女性	(n= 556)	51.8	36.5	34.5	22.5	23.2	16.5	10.6	3.6	3.1	8.6	2.2
年 齢	65～69歳	(n= 234)	44.0	44.0	40.2	23.9	22.2	15.8	7.3	3.0	5.1	6.0	0.4
	70～74歳	(n= 236)	44.9	46.6	39.8	19.9	19.9	14.8	11.0	2.1	2.5	7.6	3.0
	75～79歳	(n= 262)	55.0	46.6	45.8	19.8	17.6	21.4	8.8	3.1	2.7	6.5	1.1
	80～84歳	(n= 141)	48.9	42.6	41.1	19.1	27.0	24.8	14.2	2.8	6.4	5.0	1.4
	85～89歳	(n= 49)	36.7	28.6	30.6	16.3	12.2	22.4	10.2	0.0	6.1	14.3	10.2
	90歳以上	(n= 25)	40.0	12.0	8.0	24.0	16.0	12.0	0.0	4.0	0.0	24.0	8.0
世 帯 構 成	1人暮らし	(n= 224)	61.6	11.6	14.3	21.0	16.1	11.6	12.5	5.4	4.9	5.8	5.4
	夫婦2人暮らし(配 偶者65歳以上)	(n= 392)	43.4	65.3	57.9	19.1	16.3	26.3	8.4	1.8	3.8	4.8	0.5
	夫婦2人暮らし(配 偶者64歳以下)	(n= 44)	43.2	61.4	45.5	29.5	27.3	13.6	6.8	0.0	2.3	4.5	0.0
	息子・娘との2世帯	(n= 117)	44.4	32.5	34.2	20.5	29.9	14.5	13.7	1.7	3.4	10.3	2.6
その他	(n= 152)	44.1	38.2	39.5	21.7	28.3	13.8	7.9	2.0	3.3	13.2	2.0	
地 区	深川北	(n= 228)	46.1	47.4	41.7	22.8	23.2	17.1	10.1	2.6	2.6	11.4	0.9
	深川南	(n= 198)	51.0	44.9	38.9	17.2	19.7	24.2	8.6	3.0	2.5	5.1	2.5
	亀戸・大島	(n= 248)	45.6	45.2	42.7	20.2	22.6	17.3	9.7	4.0	5.2	5.6	2.4
	砂町	(n= 273)	48.0	37.7	38.5	22.0	16.5	17.2	9.9	1.1	4.8	7.0	2.6
ブ ロ ック	深川北	(n= 132)	47.7	46.2	40.9	22.7	24.2	18.2	9.8	1.5	3.8	11.4	0.8
	深川中央	(n= 154)	46.8	45.5	38.3	20.1	20.8	15.6	9.1	3.9	1.9	10.4	1.9
	深川南	(n= 140)	50.7	47.1	42.1	17.9	20.0	27.9	9.3	2.9	2.1	3.6	2.1
	亀戸	(n= 106)	44.3	43.4	38.7	20.8	25.5	17.0	11.3	2.8	2.8	5.7	4.7
	大島	(n= 142)	46.5	46.5	45.8	19.7	20.4	17.6	8.5	4.9	7.0	5.6	0.7
	南砂	(n= 138)	52.9	41.3	34.8	23.9	19.6	22.5	11.6	0.7	5.1	5.1	2.2
北砂	(n= 135)	43.0	34.1	42.2	20.0	13.3	11.9	8.1	1.5	4.4	8.9	3.0	

② 生活の相談をすることが出来る相手

問14. 日々の暮らしの中で、悩みや困り事などの生活の相談をすることが出来る相手が身近にいますか。
(あてはまるものすべてに○)

生活の相談をすることが出来る相手が身近にいるかについては、「親族（同居又は近居）」（58.5%）が最も高く、次いで「近所の友人・知人」（29.9%）、「親族（同居・近居以外）」（21.6%）、などとなっている。

図表 Ⅱ③-34 生活の相談をすることが出来る相手



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

性別では、男性に比べると女性は生活の相談を出来る相手として「近所の友人・知人」の割合が高い。

世帯構成別では、1人暮らしの方では「近所の友人・知人」が高いのに対して、夫婦2人暮らし（配偶者年齢問わず）や息子・娘との2世帯では「親族（同居又は近居）」の割合が高い。

図表 Ⅱ③-35 生活の相談をすることが出来る相手

		親族（同居又は近居）	近所の友人・知人	親族（同居・近居以外）	医師、歯科医師、看護師	長寿サポートセンター（地域包括支援センター）	区役所、保健所、保健相談	自治会、町内会、老人クラブ	社会福祉協議会、民生委員・児童委員	ケアマネジャー	その他	そのような人はいない	無回答
	全体	(n= 948) 58.5	29.9	21.6	12.0	4.6	4.2	4.0	2.6	2.2	4.3	10.5	3.0
性別	男性	(n= 391) 54.5	17.9	18.9	13.8	4.9	4.3	4.1	2.3	2.0	3.3	15.9	4.1
	女性	(n= 556) 61.5	38.3	23.4	10.8	4.5	4.1	4.0	2.9	2.3	5.0	6.8	2.2
年齢	65～69歳	(n= 234) 62.8	31.2	23.5	13.2	2.6	6.4	3.0	1.7	1.3	3.8	13.2	0.9
	70～74歳	(n= 236) 58.1	33.9	23.7	8.1	1.3	0.8	1.3	0.8	1.3	4.2	10.6	3.4
	75～79歳	(n= 262) 56.5	29.8	19.8	11.8	8.0	5.3	4.6	1.9	2.7	5.3	9.5	3.1
	80～84歳	(n= 141) 55.3	29.8	17.7	17.0	5.0	6.4	9.2	9.2	4.3	2.8	9.2	4.3
	85～89歳	(n= 49) 55.1	18.4	24.5	10.2	8.2	0.0	4.1	2.0	4.1	8.2	8.2	6.1
	90歳以上	(n= 25) 72.0	4.0	16.0	16.0	12.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	4.0
世帯構成	1人暮らし	(n= 224) 33.9	42.9	22.8	8.9	5.4	4.5	6.7	3.6	1.3	8.5	13.4	4.5
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	(n= 392) 63.3	25.5	25.0	11.5	5.1	4.1	3.1	1.3	2.6	2.8	9.4	2.6
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	(n= 44) 59.1	13.6	31.8	27.3	0.0	4.5	6.8	2.3	2.3	6.8	11.4	0.0
	息子・娘との2世帯	(n= 117) 75.2	21.4	9.4	13.7	7.7	3.4	3.4	5.1	3.4	2.6	8.5	4.3
	その他	(n= 152) 72.4	30.3	17.1	13.8	2.0	3.9	2.6	2.6	2.0	3.3	11.2	2.0
地区	深川北	(n= 228) 60.5	25.4	20.6	15.8	6.1	4.4	2.6	1.8	5.3	3.9	9.6	3.1
	深川南	(n= 198) 54.0	26.3	23.7	7.6	3.0	4.5	3.5	1.0	2.0	4.0	11.1	3.0
	亀戸・大島	(n= 248) 61.7	34.7	22.2	10.5	2.8	4.0	4.4	4.8	0.8	5.2	6.9	3.6
	砂町	(n= 273) 57.5	31.9	20.1	13.6	6.2	4.0	5.1	2.6	1.1	4.0	14.3	2.2
ブロック	深川北	(n= 132) 59.1	19.7	19.7	12.9	6.8	6.1	1.5	0.0	5.3	2.3	10.6	4.5
	深川中央	(n= 154) 60.4	32.5	24.0	14.9	3.9	3.2	2.6	2.6	3.2	5.2	8.4	1.9
	深川南	(n= 140) 52.9	24.3	22.1	7.9	3.6	4.3	5.0	1.4	2.9	4.3	12.1	2.9
	亀戸	(n= 106) 59.4	32.1	20.8	9.4	3.8	2.8	5.7	6.6	0.9	4.7	8.5	4.7
	大島	(n= 142) 63.4	36.6	23.2	11.3	2.1	4.9	3.5	3.5	0.7	5.6	5.6	2.8
	南砂	(n= 138) 53.6	33.3	18.8	14.5	5.1	2.9	6.5	2.9	1.4	4.3	16.7	1.4
	北砂	(n= 135) 61.5	30.4	21.5	12.6	7.4	5.2	3.7	2.2	0.7	3.7	11.9	3.0

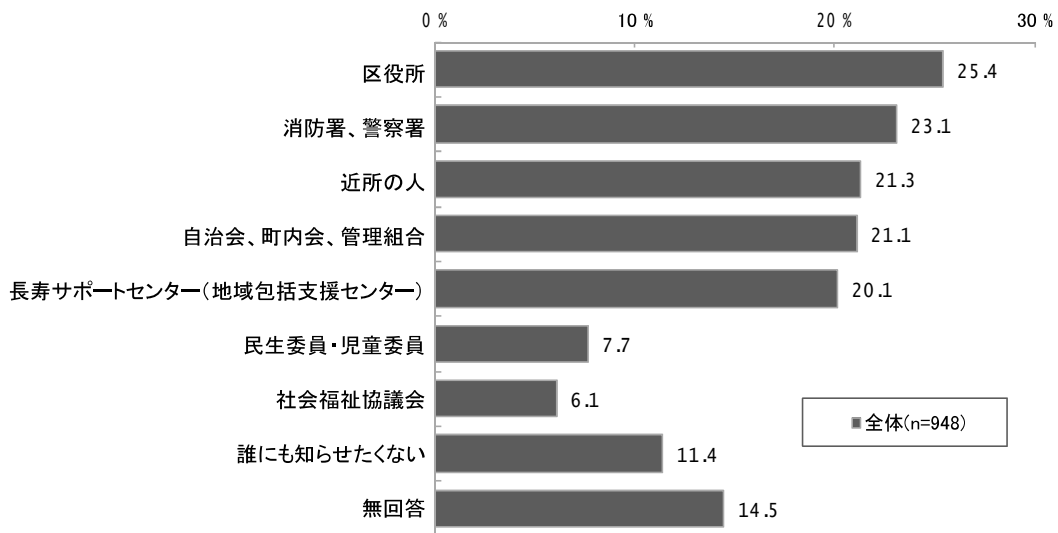
(%)

③ 緊急時のために事前に個人情報を知らせておいてよい機関（人）

問15. 万一の緊急時に役立てるために、あなたのかかりつけ医、緊急連絡先などの個人情報を事前に各機関（人）に知らせておく場合、以下の中で知らせてもよいと考える機関（人）はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

緊急時のために事前に個人情報を知らせておいてよい機関（人）については、「区役所」（25.4%）が最も高く、次いで「消防署、警察署」（23.1%）、「近所の人」（21.3%）などとなっており、「誰にも知らせたくない」は11.4%となっている。

図表 Ⅱ③-36 緊急時のために事前に個人情報を知らせておいてよい機関（人）



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

性別では、男性で「区役所」、女性で「近所の人」の割合が、緊急時のために事前に個人情報を知らせておいてよい機関（人）として、それぞれ高い。

年齢別では、年齢が若い方ほど「区役所」の割合が高い。また、80～84歳の方では「近所の人」の割合が他の年代と比べ高い。

図表 Ⅱ③-37 緊急時のために事前に個人情報を知らせておいてよい機関（人）

		区役所	消防署、警察署	近所の人	自治会、町内会、管理組合	長寿サポートセンター（地域包括支援センター）	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	誰にも知らせたくない	無回答	(%)
全体		(n= 948)	25.4	23.1	21.3	21.1	20.1	7.7	6.1	11.4	14.5
性別	男性	(n= 391)	31.2	25.3	15.3	22.3	19.9	7.9	5.9	11.5	13.8
	女性	(n= 556)	21.4	21.6	25.4	20.3	20.3	7.6	6.3	11.3	14.9
年齢	65～69歳	(n= 234)	33.8	25.6	17.9	16.7	17.9	7.3	6.0	16.7	9.4
	70～74歳	(n= 236)	29.2	24.6	19.9	21.6	16.9	5.1	6.4	12.3	13.1
	75～79歳	(n= 262)	23.7	23.7	19.5	23.3	23.7	7.3	5.7	10.7	16.8
	80～84歳	(n= 141)	16.3	22.7	31.2	24.1	20.6	12.8	9.9	5.7	15.6
	85～89歳	(n= 49)	14.3	12.2	22.4	18.4	26.5	10.2	0.0	2.0	22.4
	90歳以上	(n= 25)	4.0	4.0	24.0	24.0	20.0	8.0	0.0	12.0	28.0
世帯構成	1人暮らし	(n= 224)	24.6	22.8	25.4	23.2	21.4	10.3	7.1	7.1	12.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 392)	25.0	25.0	21.2	24.7	21.4	6.1	4.8	10.7	13.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 44)	38.6	36.4	9.1	22.7	9.1	11.4	6.8	18.2	9.1
	息子・娘との2世帯	(n= 117)	21.4	17.9	20.5	14.5	23.9	9.4	6.8	13.7	17.1
	その他	(n= 152)	27.0	18.4	19.1	14.5	16.4	6.6	7.2	15.8	19.7
地区	深川北	(n= 228)	28.1	20.2	19.7	20.6	21.1	8.8	3.9	11.8	15.4
	深川南	(n= 198)	26.8	27.8	21.2	24.2	18.7	5.6	5.6	9.1	13.1
	亀戸・大島	(n= 248)	24.6	21.8	20.2	19.0	19.4	9.3	5.6	9.7	15.7
	砂町	(n= 273)	23.1	23.4	23.4	21.2	21.2	7.0	8.8	14.3	13.6
ブロック	深川北	(n= 132)	28.8	20.5	14.4	18.9	19.7	8.3	4.5	12.9	13.6
	深川中央	(n= 154)	25.3	18.8	22.7	24.0	18.2	8.4	3.9	9.7	18.2
	深川南	(n= 140)	28.6	32.1	23.6	23.6	22.1	5.0	5.7	9.3	10.7
	亀戸	(n= 106)	17.0	20.8	19.8	18.9	14.2	10.4	0.9	13.2	18.9
	大島	(n= 142)	30.3	22.5	20.4	19.0	23.2	8.5	9.2	7.0	13.4
	南砂	(n= 138)	18.1	21.0	25.4	21.7	21.7	10.1	8.0	14.5	13.0
	北砂	(n= 135)	28.1	25.9	21.5	20.7	20.7	3.7	9.6	14.1	14.1

④ 避難行動要支援者名簿への届出意向

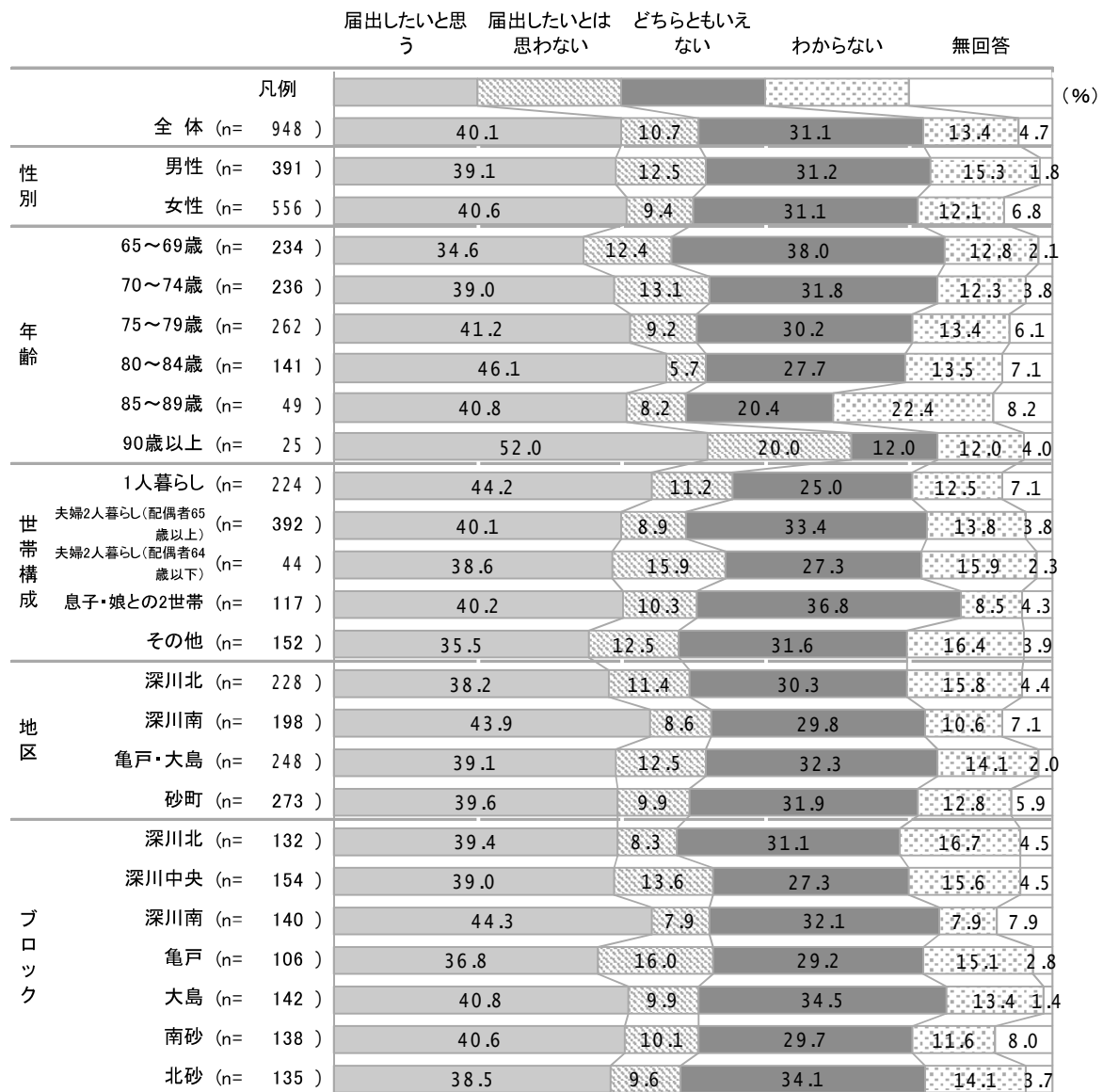
問16. 防災対策として、区では災害時に自力で避難することが困難な方の名簿（※）を作成しています。この名簿は、外部提供同意の届出をすると、避難支援に係る区や消防署などに加えて、自治会や自主防災組織などの地域団体に提供することができ、災害時に支援を受けやすくなります。あなたは、この外部提供同意の届出をしたいと思いますか。
(ひとつだけ○)

避難行動要支援者名簿への届出意向は、「届出したいと思う」(40.1%)、「届出したいとは思わない」(10.7%)、「どちらともいえない」(31.1%)、「わからない」(13.4%)となっている。

年齢別では、高齢の方ほど「届出したいと思う」が高い傾向がある。

世帯別では、1人暮らしの方で「届出したいと思う」割合が高い。

図表 Ⅱ③-38 避難行動要支援者名簿への届出意向



※避難行動要支援者名簿：75歳以上の世帯の方や要介護3～5の方、障害のある方など、災害時の避難に支援が必要な方を掲載。

Ⅱ 調査結果の概要

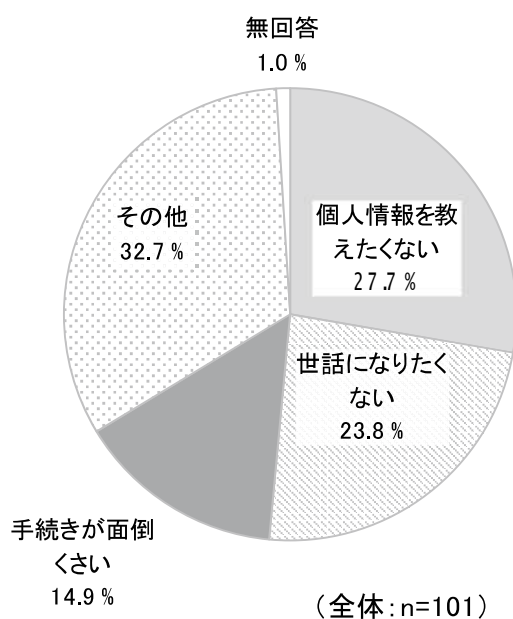
調査③ 在宅生活継続意向調査

⑤ 「届出したいとは思わない」理由

問16-1. 「2 届出したいとは思わない」と回答した方に伺います。そのように思う理由を教えてください。(ひとつだけ○)

「届出したいとは思わない」理由については、「個人情報を教えたくない」(27.7%)が最も高く、次いで「世話になりたくない」(23.8%)、「手続きが面倒くさい」(14.9%)となっている。

図表 Ⅱ③-39 「届出したいとは思わない」理由



④ 日頃からしている防災対策

問17. あなたは、防災対策として、日頃からどのようなことをしていますか。

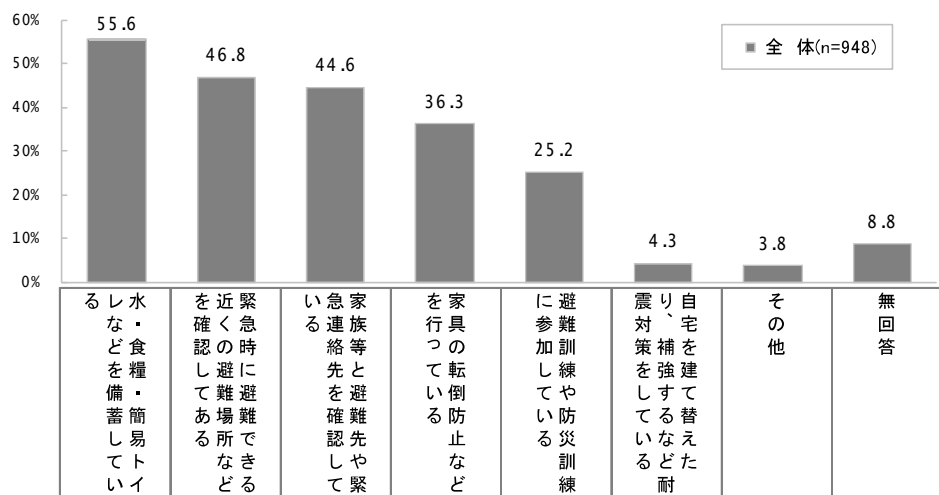
(あてはまるものすべてに○)

日頃からしている防災対策は、「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」(55.6%)と最も高く、次いで「緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある」(46.8%)、「家族等と避難先や緊急連絡先を確認している」(44.6%)などとなっている。

性別では、男性に比べると女性に「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」割合が高い。

年齢別では、65～69歳が他の年代と比べて防災対策をしている項目の割合が高いが、「避難訓練や防災訓練に参加している」割合は低い。

図表 Ⅱ③-40 日頃からしている防災対策



属性	人数 (n)	水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している (%)	緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある (%)	家族等と避難先や緊急連絡先を確認している (%)	家具の転倒防止などを行っている (%)	避難訓練や防災訓練に参加している (%)	自宅を建て替えるなど耐震対策をしている (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	948	55.6	46.8	44.6	36.3	25.2	4.3	3.8	8.8
性別									
男性	391	49.1	46.5	43.2	33.5	24.0	3.1	5.4	8.2
女性	556	60.1	46.9	45.5	38.1	26.1	5.2	2.7	9.2
年齢									
65～69歳	234	60.7	51.3	47.9	40.2	18.8	3.0	3.4	7.7
70～74歳	236	53.0	44.9	41.9	36.4	25.4	5.1	3.8	8.9
75～79歳	262	56.1	46.6	45.8	36.3	30.2	3.8	4.2	7.3
80～84歳	141	55.3	46.8	41.1	31.2	29.8	5.7	2.8	9.9
85～89歳	49	44.9	38.8	38.8	30.6	24.5	2.0	2.0	18.4
90歳以上	25	48.0	40.0	56.0	36.0	8.0	12.0	12.0	8.0
世帯構成									
1人暮らし	224	53.6	48.2	29.5	29.0	22.3	3.1	4.5	11.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	392	56.6	44.4	50.8	42.9	30.6	3.8	3.3	6.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	44	68.2	52.3	47.7	38.6	31.8	2.3	0.0	11.4
息子・娘との2世帯	117	55.6	47.9	49.6	25.6	21.4	9.4	5.1	7.7
その他	152	53.3	48.7	46.7	38.8	17.1	4.6	4.6	10.5
地区									
深川北	228	59.2	48.2	46.9	39.5	20.6	5.7	3.5	8.8
深川南	198	63.6	41.4	40.9	41.4	34.3	4.0	5.1	6.1
亀戸・大島	248	50.0	50.0	40.3	31.5	19.4	4.0	4.0	10.1
砂町	273	51.6	46.5	49.1	34.1	27.8	3.7	2.9	9.5
ブロック									
深川北	132	57.6	43.9	44.7	34.8	21.2	4.5	3.0	8.3
深川中央	154	62.3	50.6	48.7	47.4	23.4	6.5	4.5	7.1
深川南	140	63.6	40.0	38.6	37.9	36.4	3.6	5.0	7.1
亀戸	106	34.9	50.9	50.0	33.0	4.7	22.6	3.8	16.0
大島	142	44.4	49.3	50.0	30.3	3.5	16.9	4.2	5.6
南砂	138	50.0	58.7	52.9	37.0	3.6	34.1	2.9	8.0
北砂	135	48.1	44.4	40.0	31.1	3.7	21.5	3.0	11.1

Ⅱ 調査結果の概要

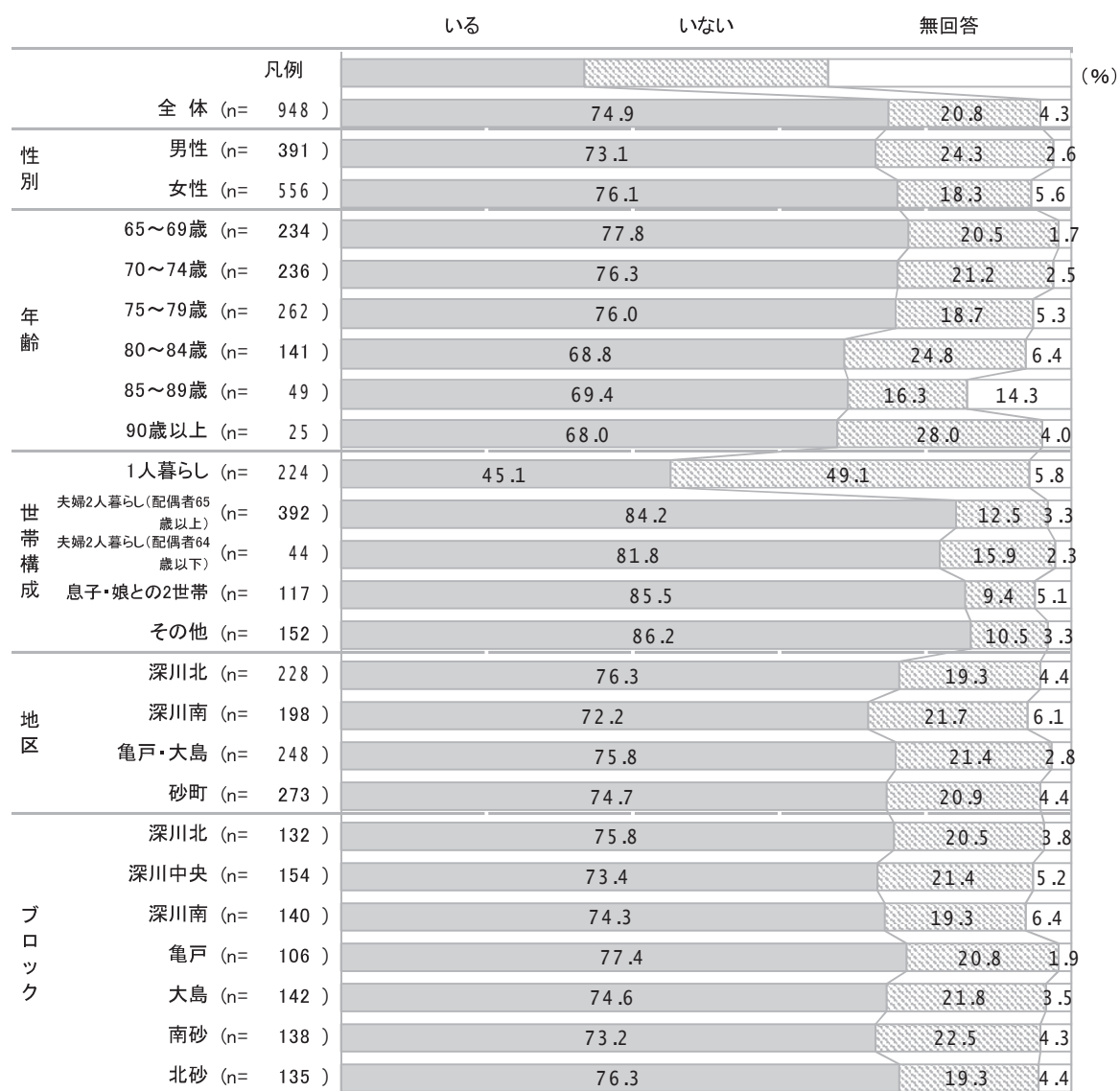
調査③ 在宅生活継続意向調査

⑤ 緊急時に手助けを頼める人

問18 あなたには、災害などの緊急時に手助けを頼める人（同居人を含む）はいますか。
（ひとつだけ〇）

緊急時に手助けを頼める人は、頼める人が「いる」(74.9%)、「いない」(20.8%)となっている。
年齢別では、頼める人が「いる」割合が高年齢の方ほど低い。
世帯構成別では、1人暮らしの方で頼める人が「いる」割合が他の世帯と比べて顕著に低い。

図表 Ⅱ③-41 緊急時に手助けを頼める人



⑥ 災害時に必要だと思う支援

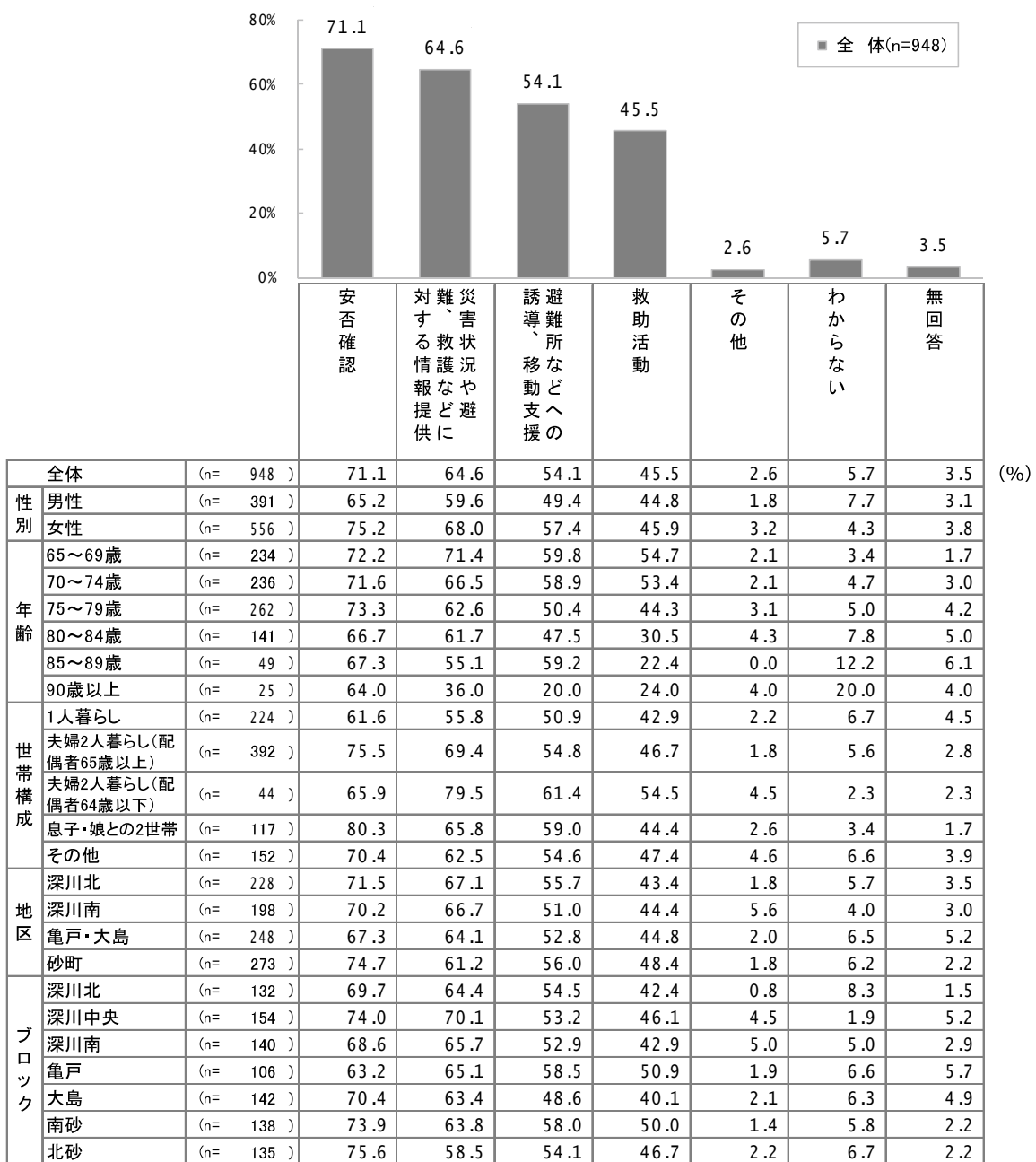
問19 災害が起こった直後、あなたは、地域でどのような支援をすることが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

災害時に必要だと思う支援は、「安否確認」(71.1%)が最も高く、次いで「災害状況や避難、救護などに対する情報提供」(64.6%)、「避難所などへの誘導、移動支援」(54.1%)、「救助活動」(45.5%)などとなっている。

年齢別では、「災害状況や避難、救護などに対する情報提供」は年齢が若い方ほど高い。

世帯構成別では、1人暮らしの方は他の世帯に比べて必要だと考える支援の割合が全体的に低い。

図表 Ⅱ③-42 災害時に必要だと思う支援



5. 地域のつながりや支え合いについて

① 近所付き合いの程度

問20. あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(ひとつだけ○)

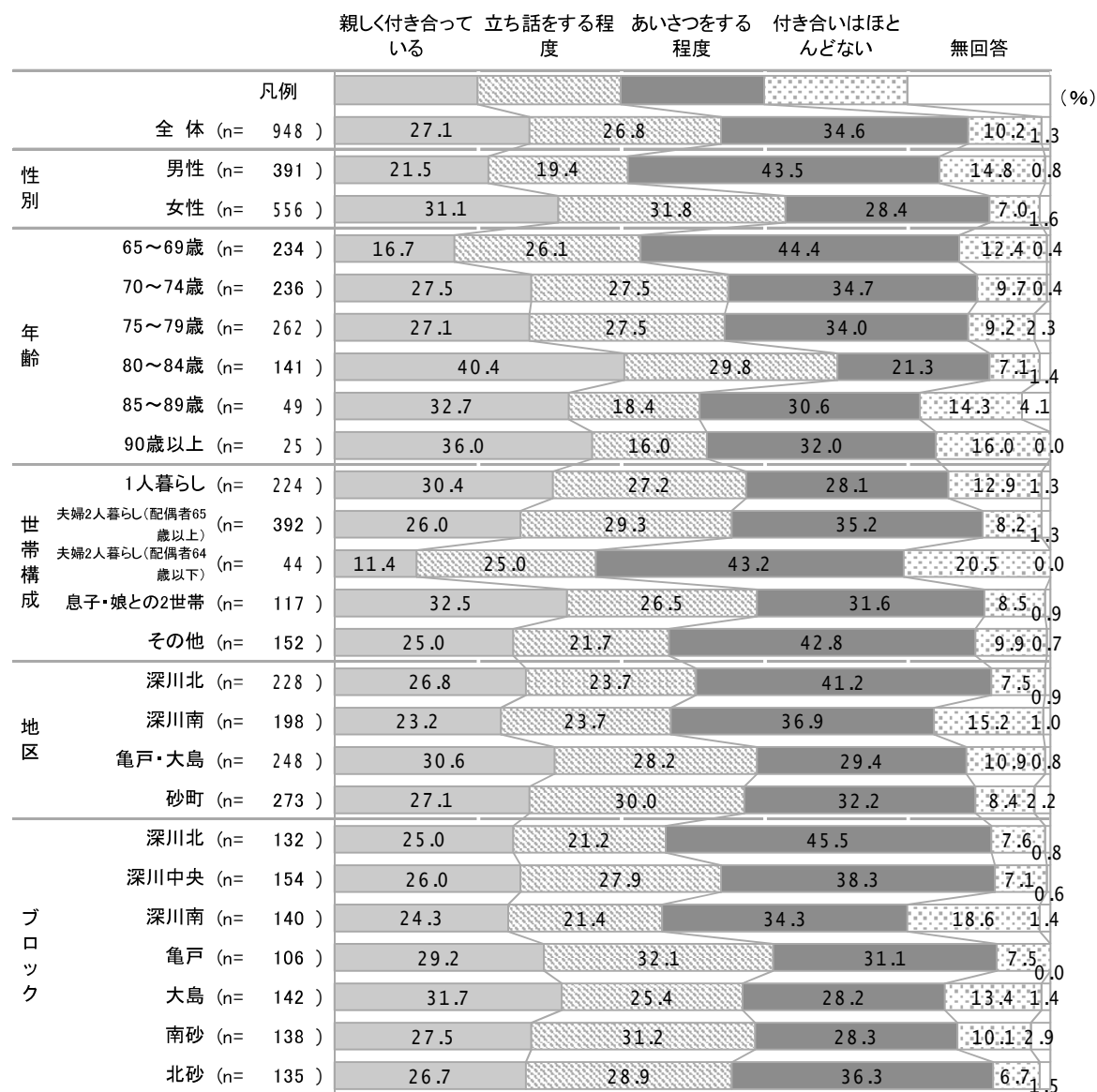
近所付き合いの程度は、「親しく付き合っている」(27.1%)、「立ち話をする程度」(26.8%)、「あいさつをする程度」(34.6%)、「付き合いはほとんどない」(10.2%)となっている。

性別では、女性で「親しく付き合っている」、男性で「あいさつをする程度」の割合がそれぞれ高い。

年齢別では、80～84歳で「親しく付き合っている」、「立ち話をする程度」の割合が他の年代と比べて高い。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)において、「あいさつをする程度」、「付き合いはほとんどない」割合が他の世帯構成に比べて高い。

図表 Ⅱ③-43 近所付き合いの程度

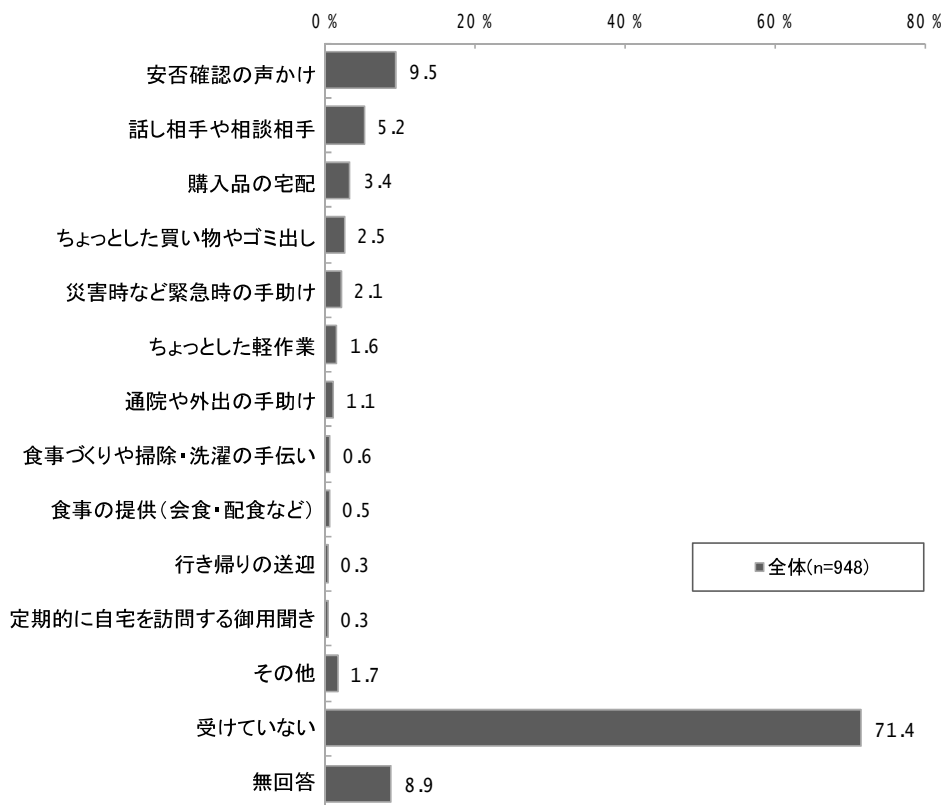


② 住んでいる地域で受けている手助け

問 21. あなたは、お住まいの地域で、現在、次のような手助けを受けていますか。
(あてはまるものすべてに○)

住んでいる地域で受けている手助けは、「受けていない」が全体の7割超（71.4%）を占めており、「受けている」方では、「安否確認の声かけ」（9.5%）が最も高く、次いで「話し相手や相談相手」（5.2%）、「購入品の宅配」（3.4%）などとなっている。

図表 Ⅱ③-44 住んでいる地域で受けている手助け



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

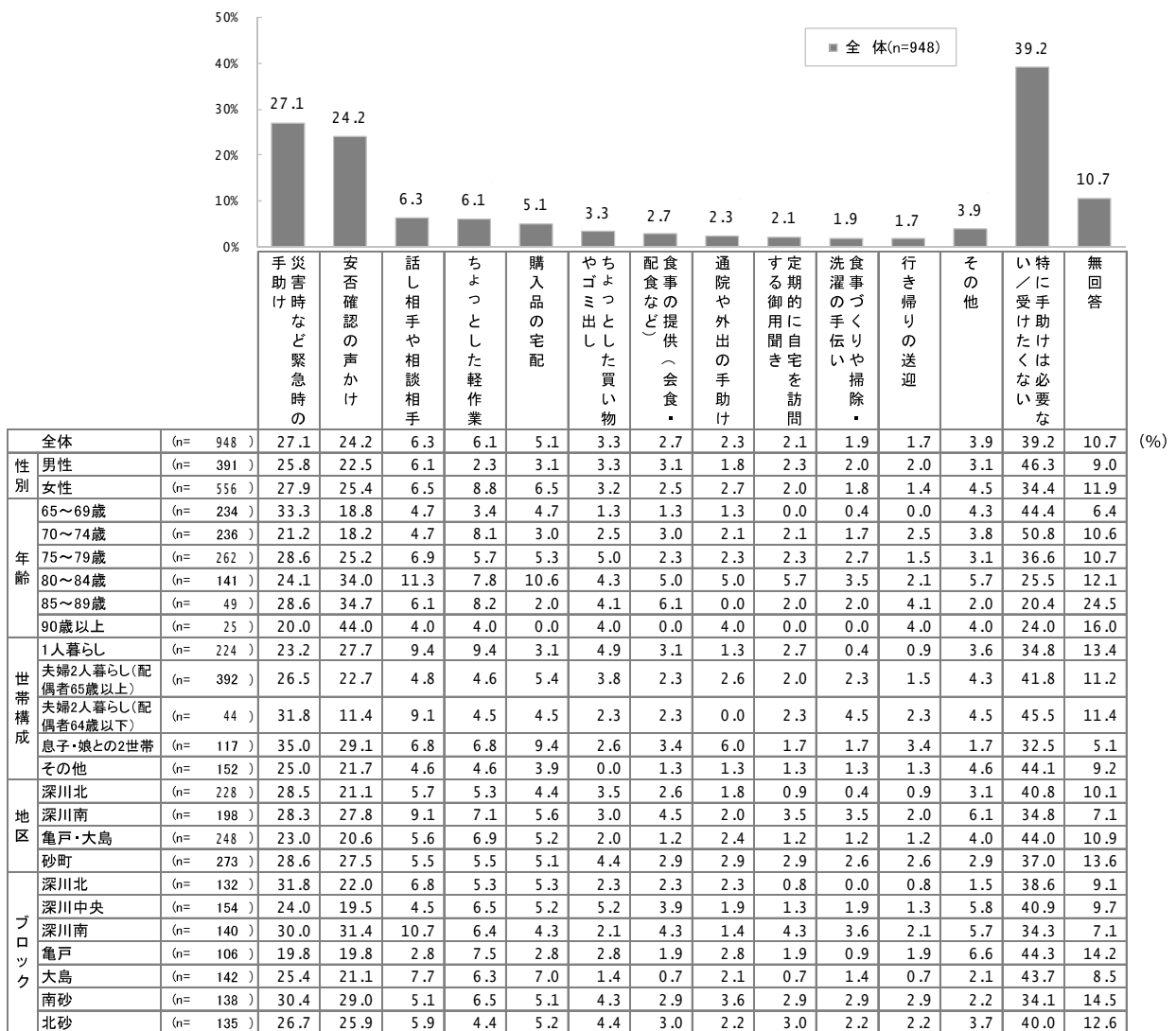
③ 住んでいる地域で受けたいと思う手助け

問 22. あなたは、お住まいの地域で、受けたいと思う手助けはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

住んでいる地域で受けたいと思う手助けについては、「特に手助けは必要ない／受けたくない」が全体の約4割(39.2%)である。手助けを受けたい中では、「災害時など緊急時の手助け」(27.1%)が最も高く、次いで、「安否確認の声かけ」(24.2%)、「話し相手や相談相手」(6.3%)などとなっている。

年齢別では、全体で最も多い「特に手助けは必要ない／受けたくない」は70～74歳で高い。また、高年齢の方ほど、住んでいる地域で受けたいと思う手助けとして「安否確認の声かけ」割合が高い傾向がある。

図表 Ⅱ③-45 住んでいる地域で受けたいと思う手助け



④ 支援が必要な人に何らかのお手伝いをしようと思うか

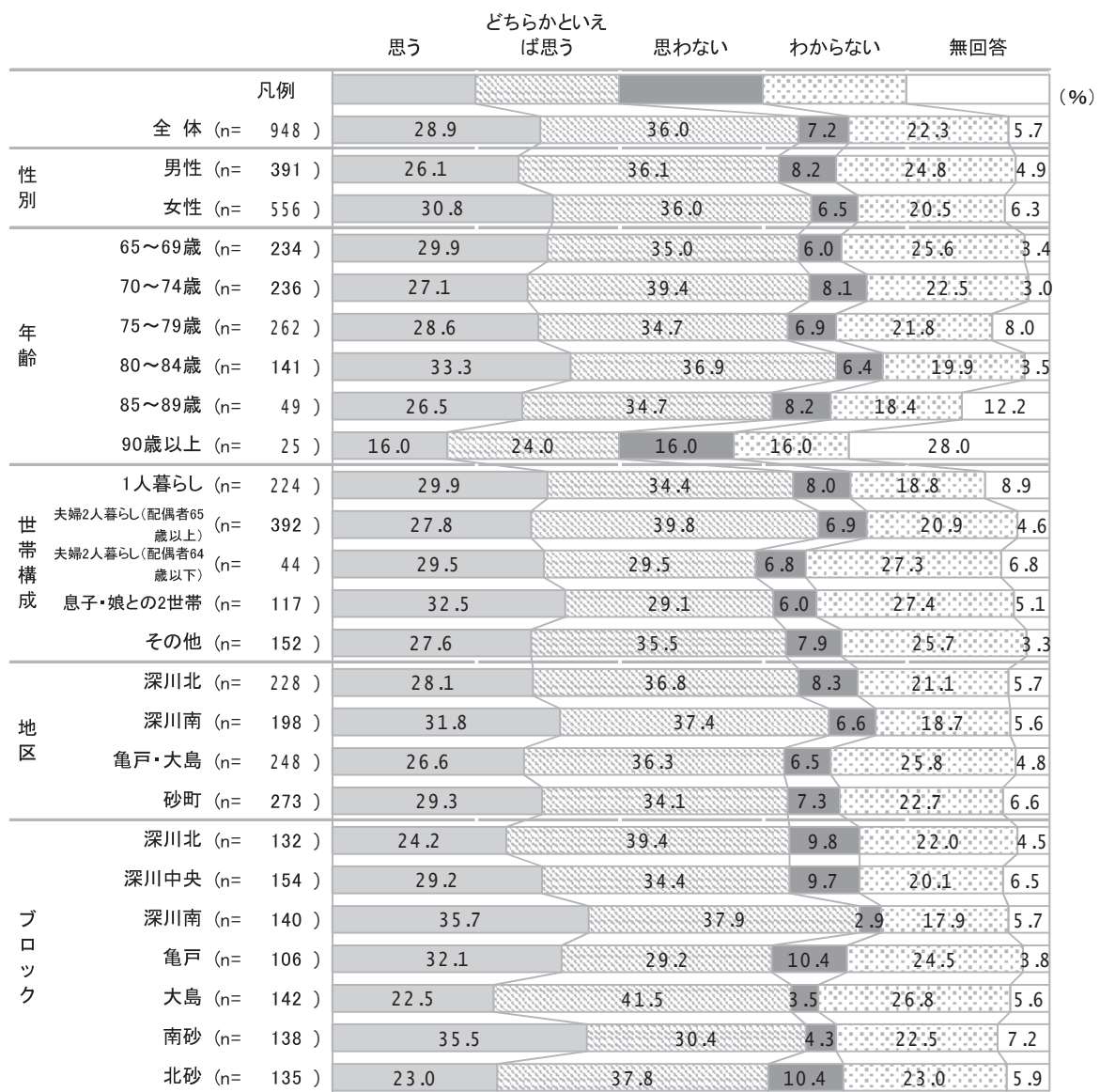
問23. あなたは、地域の支援が必要な人に対して、何らかのお手伝いをしようと思いますか。
(ひとつだけ○)

支援が必要な人に何らかのお手伝いをしようと思うかについては、「思う」28.9%と「どちらかといえば思う」36.0%を合わせた『思う計』は全体の64.9%に上る。

年齢別では、『思う計』の割合が80～84歳で高いが85歳以上では低い。

地区別、ブロック別では、深川南地区（ブロック）が他の地区（ブロック）と比べて『思う計』の割合が高い。

図表 Ⅱ③-46 支援が必要な人に何らかのお手伝いをしようと思うか



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

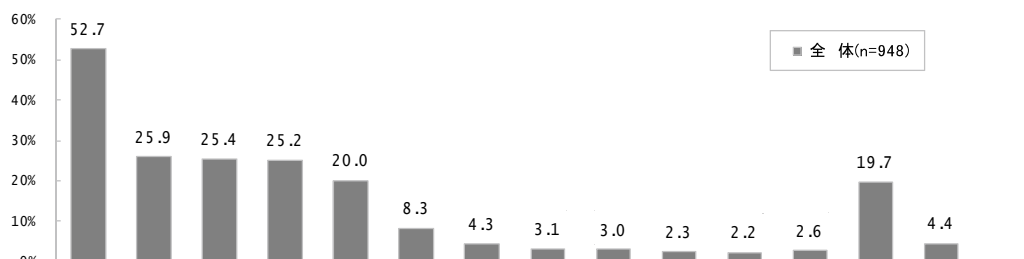
⑤ どのようなことをお手伝いしてあげられるか

問24 あなたは、お住まいの地域で、どのようなことならお手伝いをしてあげられますか。
(あてはまるものすべてに○)

どのようなことをお手伝いしてあげられるかについては、「安否確認の声かけ」(52.7%)が最も高く、次いで「ちょっとした買い物やゴミ出し」(25.9%)、「災害時など緊急時の手助け」(25.4%)、「話し相手や相談相手」(25.2%)などとなっている。一方、「内容にかかわらず、お手伝いはできない/したくない」は19.7%となっている。

性別では、してあげられるお手伝いは、女性で「ちょっとした買い物やゴミ出し」が高いのに対して、男性では「災害時など緊急時の手助け」が高い。

図表 Ⅱ③-47 どのようなことをお手伝いしてあげられるか



	(n=)	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	災害時など緊急時の手助け	話し相手や相談相手	ちょっとした軽作業	通院や外出の手助け	洗濯の手伝いや掃除	食事づくりや掃除	行き帰りの送迎	配食の提供(会食・配食など)	定期的な自宅を訪問	購入品の宅配	その他	内容にかかわらず、お手伝いはできない/したくない	無回答
全体	(n= 948)	52.7	25.9	25.4	25.2	20.0	8.3	4.3	3.1	3.0	2.3	2.2	2.6	19.7	4.4	
性別																
男性	(n= 391)	49.4	18.2	33.8	18.9	31.2	7.7	2.6	3.3	1.5	2.3	2.6	1.5	19.4	4.3	
女性	(n= 556)	55.0	31.5	19.4	29.5	12.2	8.6	5.6	2.7	4.0	2.3	1.8	3.4	20.0	4.5	
年齢																
65～69歳	(n= 234)	56.0	29.9	39.3	21.4	23.9	6.0	6.0	3.0	3.0	2.1	3.0	1.3	13.7	3.0	
70～74歳	(n= 236)	57.6	30.9	28.8	25.0	25.0	9.3	5.1	3.4	5.5	3.8	3.4	2.1	15.7	4.2	
75～79歳	(n= 262)	51.9	26.3	21.4	25.6	21.4	9.9	3.1	3.1	1.5	1.9	1.1	3.1	19.8	5.3	
80～84歳	(n= 141)	45.4	19.9	13.5	31.2	11.3	7.8	4.3	2.1	2.8	2.1	1.4	2.8	28.4	5.7	
85～89歳	(n= 49)	51.0	10.2	10.2	30.6	6.1	6.1	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	6.1	26.5	6.1	
90歳以上	(n= 25)	28.0	4.0	0.0	12.0	0.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	52.0	0.0	
世帯構成																
1人暮らし	(n= 224)	50.9	29.0	23.7	24.6	17.9	10.3	5.4	2.7	4.0	2.7	1.3	2.2	21.0	4.5	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 392)	57.1	27.6	25.5	26.8	21.7	7.9	3.6	3.3	2.6	3.1	2.8	2.6	17.6	4.6	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 44)	54.5	22.7	54.5	18.2	29.5	4.5	9.1	2.3	2.3	2.3	0.0	0.0	13.6	9.1	
息子・娘との2世帯	(n= 117)	42.7	20.5	23.1	31.6	14.5	11.1	4.3	3.4	3.4	2.6	2.6	2.6	24.8	1.7	
その他	(n= 152)	52.0	23.7	22.4	21.1	20.4	6.6	3.3	2.0	2.6	0.0	2.6	3.9	20.4	3.9	
地区																
深川北	(n= 228)	53.1	27.6	28.5	27.2	22.8	6.1	1.8	2.6	3.5	1.3	2.6	1.3	18.9	5.3	
深川南	(n= 198)	55.6	27.8	26.3	21.7	19.7	8.1	6.6	2.5	3.0	2.5	1.5	2.5	19.7	2.5	
亀戸・大島	(n= 248)	51.2	19.4	23.0	25.4	16.1	7.3	2.0	2.0	1.2	0.8	0.8	3.6	22.6	2.8	
砂町	(n= 273)	51.6	29.3	24.2	25.6	21.6	11.0	7.0	4.4	4.0	4.4	3.3	2.9	17.9	6.6	
ブロック																
深川北	(n= 132)	49.2	28.8	27.3	25.8	22.7	6.1	0.8	1.5	3.8	0.8	3.0	1.5	21.2	4.5	
深川中央	(n= 154)	55.8	27.3	31.2	25.3	20.8	7.1	4.5	4.5	3.2	1.3	1.3	0.6	19.5	4.5	
深川南	(n= 140)	57.1	27.1	23.6	22.9	20.7	7.9	6.4	1.4	2.9	3.6	2.1	3.6	17.1	2.9	
亀戸	(n= 106)	50.0	14.2	22.6	21.7	12.3	5.7	2.8	1.9	0.0	0.0	0.9	5.7	25.5	3.8	
大島	(n= 142)	52.1	23.2	23.2	28.2	19.0	8.5	1.4	2.1	2.1	1.4	0.7	2.1	20.4	2.1	
南砂	(n= 138)	52.9	31.9	27.5	26.8	23.2	13.0	7.2	3.6	4.3	5.1	3.6	3.6	15.9	8.0	
北砂	(n= 135)	50.4	26.7	20.7	24.4	20.0	8.9	6.7	5.2	3.7	3.7	3.0	2.2	20.0	5.2	

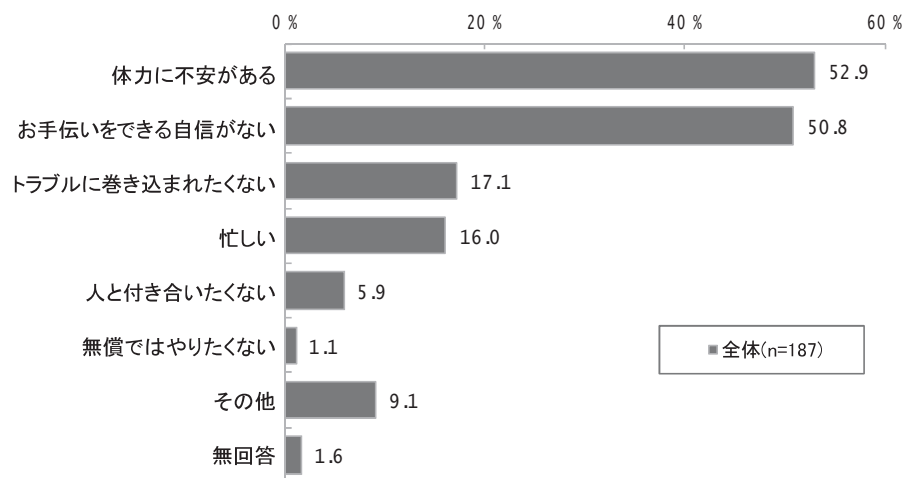
⑥ お手伝いをしない（できない）理由

問2 4-1（「13 内容にかかわらず、お手伝いはできない／したくない」方へ）内容にかかわらず、お手伝いはできない／したくない理由を教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

お手伝いをしない（できない）理由については、「体力に不安がある」（52.9%）が最も高く、次いで「お手伝いをできる自信がない」（50.8%）、「トラブルに巻き込まれたくない」（17.1%）などとなっている。

図表 Ⅱ③-48 お手伝いをしない（できない）理由



6. 認知症について

① 身の回りに認知症の人がいるか（いたか）

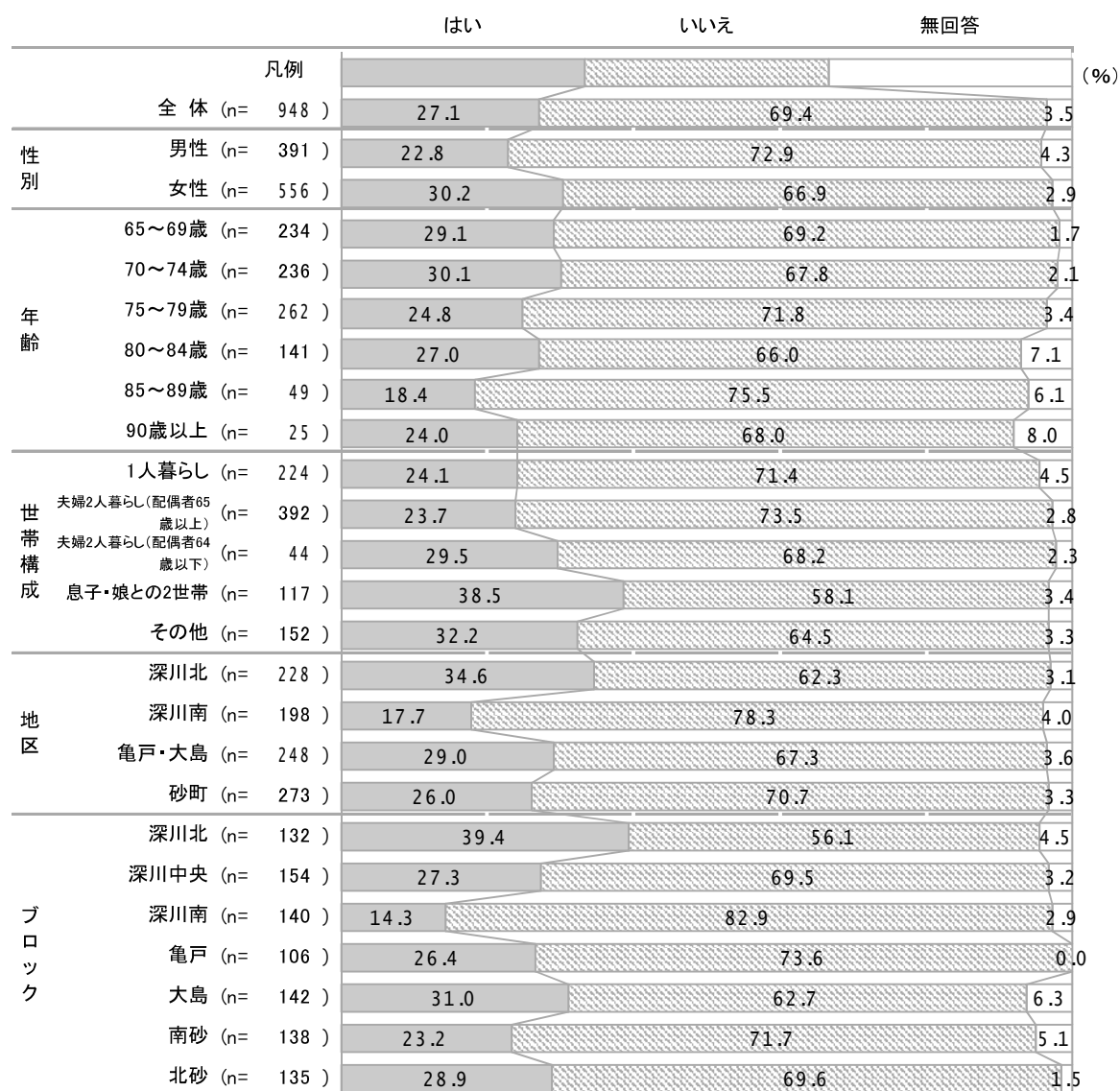
問25. あなたの身の回りに認知症の人がいますか（いましたか）。 （ひとつだけ〇）

身の回りに認知症の人がいるか（いたか）は、「はい」＝「認知症の人がいる（いた）」（27.1%）、
「いいえ」（69.4%）となっている。

世帯構成別では、息子・娘との2世帯で「はい」の割合が他の世帯と比べて高い。

地区別・ブロック別では、ともに深川北地区（ブロック）で「はい」の割合が高い。

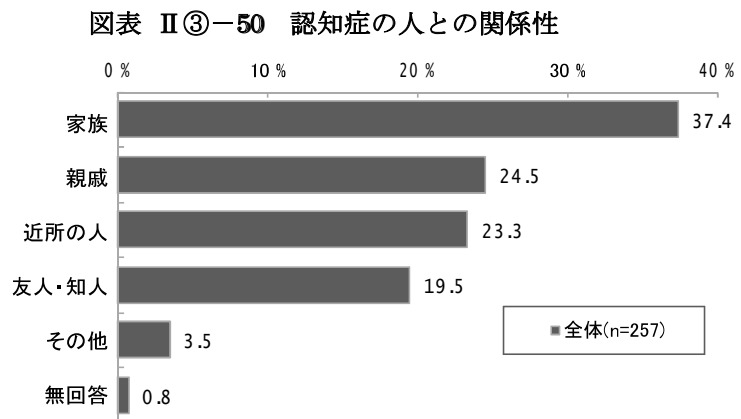
図表 Ⅱ③-49 身の回りに認知症の人がいるか（いたか）



② 認知症の人との関係性

問25-1. (はいの方へ)身の回りの認知症の人との関係を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

認知症の人との関係性については、「家族」(37.4%)が最も高く、次いで「親戚」(24.5%)、「近所の人」(23.3%)などとなっている。



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

③ 認知症についての相談経験

問 2 6 . 認知症について誰かに相談したことがありますか。 (ひとつだけ〇)

認知症についての相談経験については、「はい」＝「相談したことがある」(17.2%)、「いいえ」＝「相談したことがない」(71.9%)となっている。

年齢別では、84歳までは「はい」の割合が2割前後であるが、85歳以上では1割弱となり、「無回答」の割合が高い。

世帯構成別では、息子・娘との2世代の方では「相談したことがある」割合がやや高い。

図表 Ⅱ③-51 認知症についての相談経験

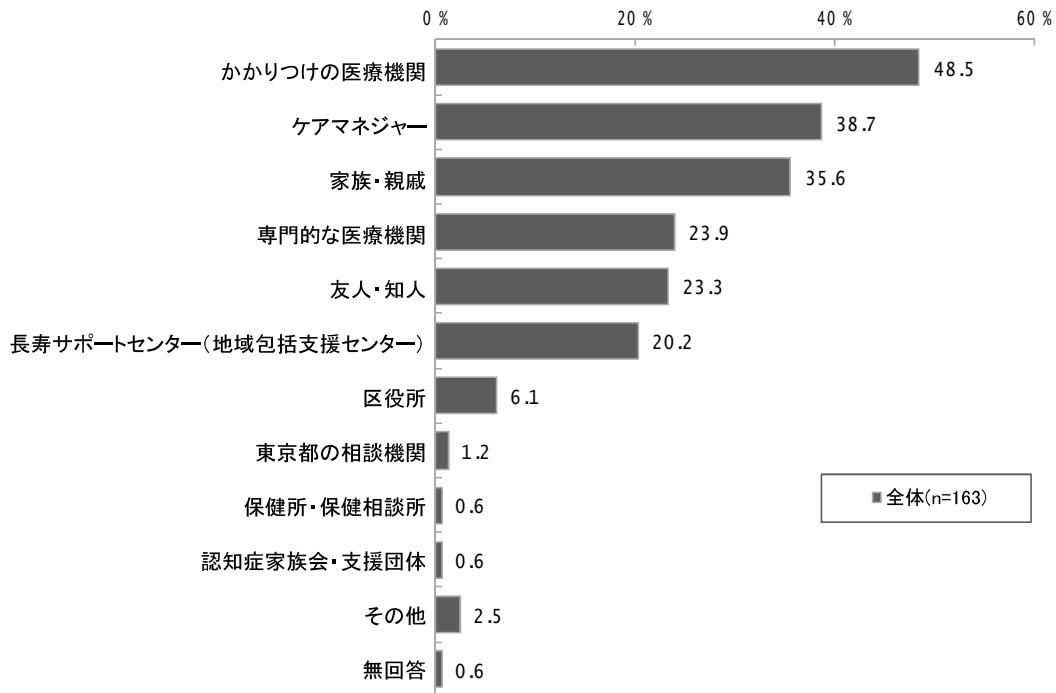
		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 948)	17.2	71.9	10.9	
性別	男性 (n= 391)	14.1	76.7	9.2	
	女性 (n= 556)	19.4	68.5	12.1	
年齢	65～69歳 (n= 234)	19.7	70.5	9.8	
	70～74歳 (n= 236)	19.5	72.5	8.1	
	75～79歳 (n= 262)	15.3	72.9	11.8	
	80～84歳 (n= 141)	17.7	71.6	10.6	
	85～89歳 (n= 49)	8.2	71.4	20.4	
	90歳以上 (n= 25)	8.0	72.0	20.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	17.4	70.5	12.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	15.8	74.2	9.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	15.9	72.7	11.4	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	22.2	66.7	11.1	
	その他 (n= 152)	17.1	72.4	10.5	
地区	深川北 (n= 228)	18.4	72.4	9.2	
	深川南 (n= 198)	15.7	71.7	12.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	19.8	71.0	9.3	
	砂町 (n= 273)	15.0	72.5	12.5	
ブロック	深川北 (n= 132)	18.2	73.5	8.3	
	深川中央 (n= 154)	19.5	70.1	10.4	
	深川南 (n= 140)	13.6	72.9	13.6	
	亀戸 (n= 106)	16.0	77.4	6.6	
	大島 (n= 142)	22.5	66.2	11.3	
	南砂 (n= 138)	14.5	74.6	10.9	
	北砂 (n= 135)	15.6	70.4	14.1	

④ 認知症について相談した相手

問26-1. (はいの方へ) 認知症について相談した相手を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

認知症について相談した相手については、「かかりつけの医療機関」(48.5%)が最も高く、次いで「ケアマネジャー」(38.7%)、「家族・親戚」(35.6%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-52 認知症について相談した相手



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

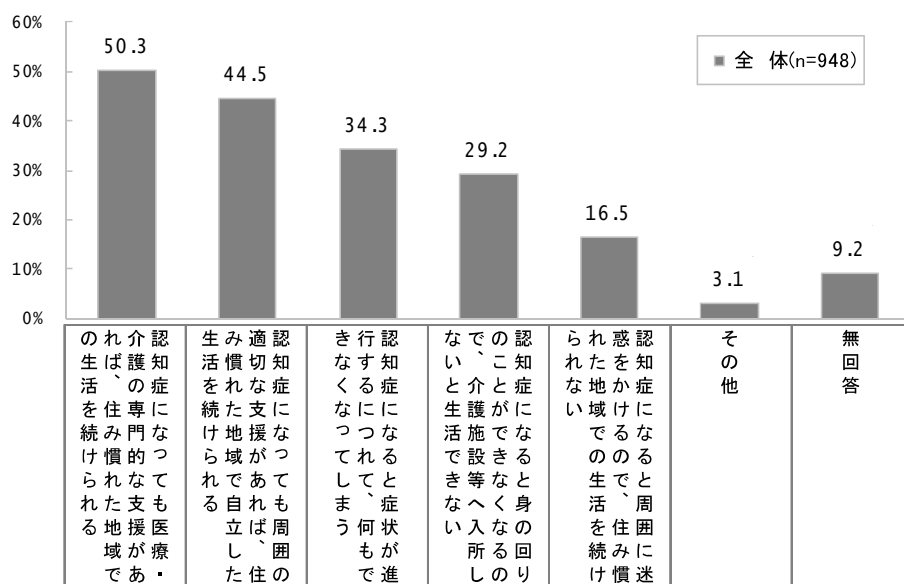
⑤ 認知症について抱いているイメージ

問 2 7. 認知症について抱いているイメージを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

認知症について抱いているイメージは、「認知症になっても医療・介護の専門的な支援があれば、住み慣れた地域での生活を続けられる」(50.3%) が最も高く、次いで「認知症になっても周囲の適切な支援があれば、住み慣れた地域で自立生活を続けられる」(44.5%)、「認知症になると症状が進行するにつれて、何もできなくなってしまう」(34.3%) などとなっている。

図表 Ⅱ③-53 認知症について抱いているイメージ



	全体	(n= 948)	50.3	44.5	34.3	29.2	16.5	3.1	9.2	(%)
性別	男性	(n= 391)	49.9	41.7	30.9	29.7	14.6	2.3	9.5	
	女性	(n= 556)	50.5	46.4	36.7	29.0	17.8	3.6	9.0	
年齢	65～69歳	(n= 234)	56.8	48.7	30.8	29.5	14.5	2.1	4.3	
	70～74歳	(n= 236)	54.7	45.3	41.1	35.2	19.5	2.5	5.1	
	75～79歳	(n= 262)	48.9	45.8	35.5	25.6	15.6	3.1	11.5	
	80～84歳	(n= 141)	41.8	38.3	31.9	31.2	17.7	4.3	12.1	
	85～89歳	(n= 49)	38.8	38.8	24.5	20.4	12.2	6.1	26.5	
	90歳以上	(n= 25)	32.0	28.0	24.0	16.0	16.0	4.0	20.0	
世帯構成	1人暮らし	(n= 224)	42.0	42.9	36.2	34.4	18.3	3.1	10.7	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 392)	54.8	45.9	32.7	27.0	13.5	2.8	8.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 44)	56.8	52.3	34.1	31.8	22.7	4.5	6.8	
	息子・娘との2世帯	(n= 117)	51.3	49.6	40.2	25.6	17.9	3.4	7.7	
	その他	(n= 152)	50.0	38.2	30.9	29.6	17.1	3.3	7.9	
地区	深川北	(n= 228)	56.6	50.0	30.3	30.3	15.8	2.2	7.9	
	深川南	(n= 198)	50.0	44.4	34.3	28.8	17.2	2.5	10.6	
	亀戸・大島	(n= 248)	46.8	40.7	35.5	32.3	16.1	4.0	7.7	
	砂町	(n= 273)	48.4	43.2	36.6	26.0	16.8	3.3	10.6	
ブロック	深川北	(n= 132)	52.3	47.0	27.3	32.6	14.4	3.0	8.3	
	深川中央	(n= 154)	55.8	50.6	35.7	27.3	19.5	1.3	8.4	
	深川南	(n= 140)	52.1	44.3	32.9	29.3	15.0	2.9	10.7	
	亀戸	(n= 106)	51.9	41.5	32.1	29.2	16.0	5.7	5.7	
	大島	(n= 142)	43.0	40.1	38.0	34.5	16.2	2.8	9.2	
	南砂	(n= 138)	52.9	38.4	33.3	26.8	17.4	4.3	10.9	
	北砂	(n= 135)	43.7	48.1	40.0	25.2	16.3	2.2	10.4	

⑥ 認知症になったとき、どのように暮らしたいと思うか

問28. あなたが認知症になったとき、どのように暮らしたいと思いますか。

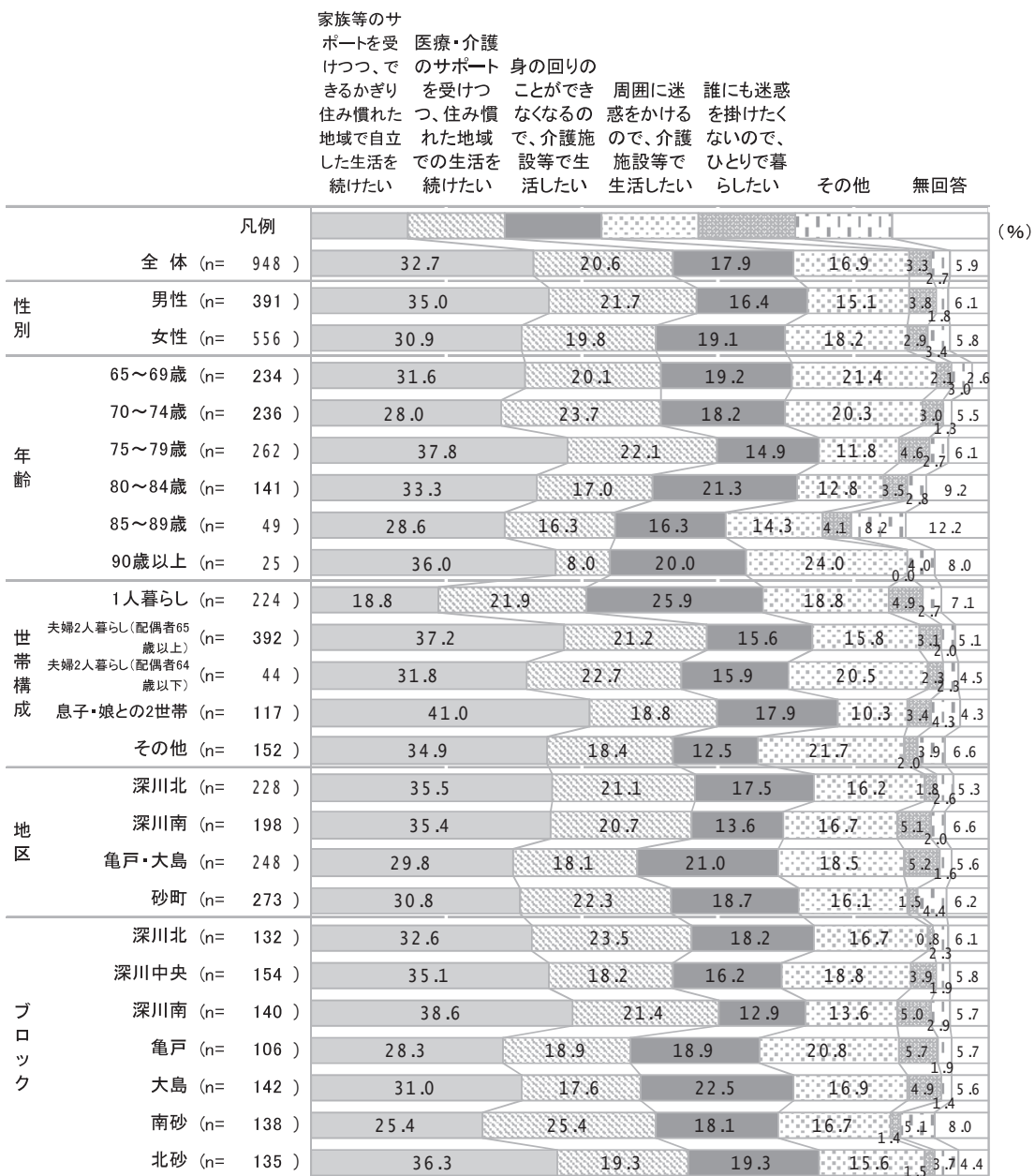
(ひとつだけ〇)

認知症になったとき、どのように暮らしたいと思うかは、「家族等のサポートを受けつつ、できるかぎり住み慣れた地域で自立した生活を続けたい」(32.7%)と「医療・介護のサポートを受けつつ、住み慣れた地域での生活を続けたい」(20.6%)を合わせた『住み慣れた地域で生活を続けたい意向』は全体の53.3%を過半数に上る。

年齢別では、『住み慣れた地域で生活を続けたい意向』は75～79歳で高い。

世帯別では、1人暮らしの方と比べると夫婦2人暮らし(配偶者年齢問わず)、息子と娘の2世帯で『住み慣れた地域で生活を続けたい意向』が高い。

図表 Ⅱ③-54 認知症になったとき、どのように暮らしたいと思うか



Ⅱ 調査結果の概要

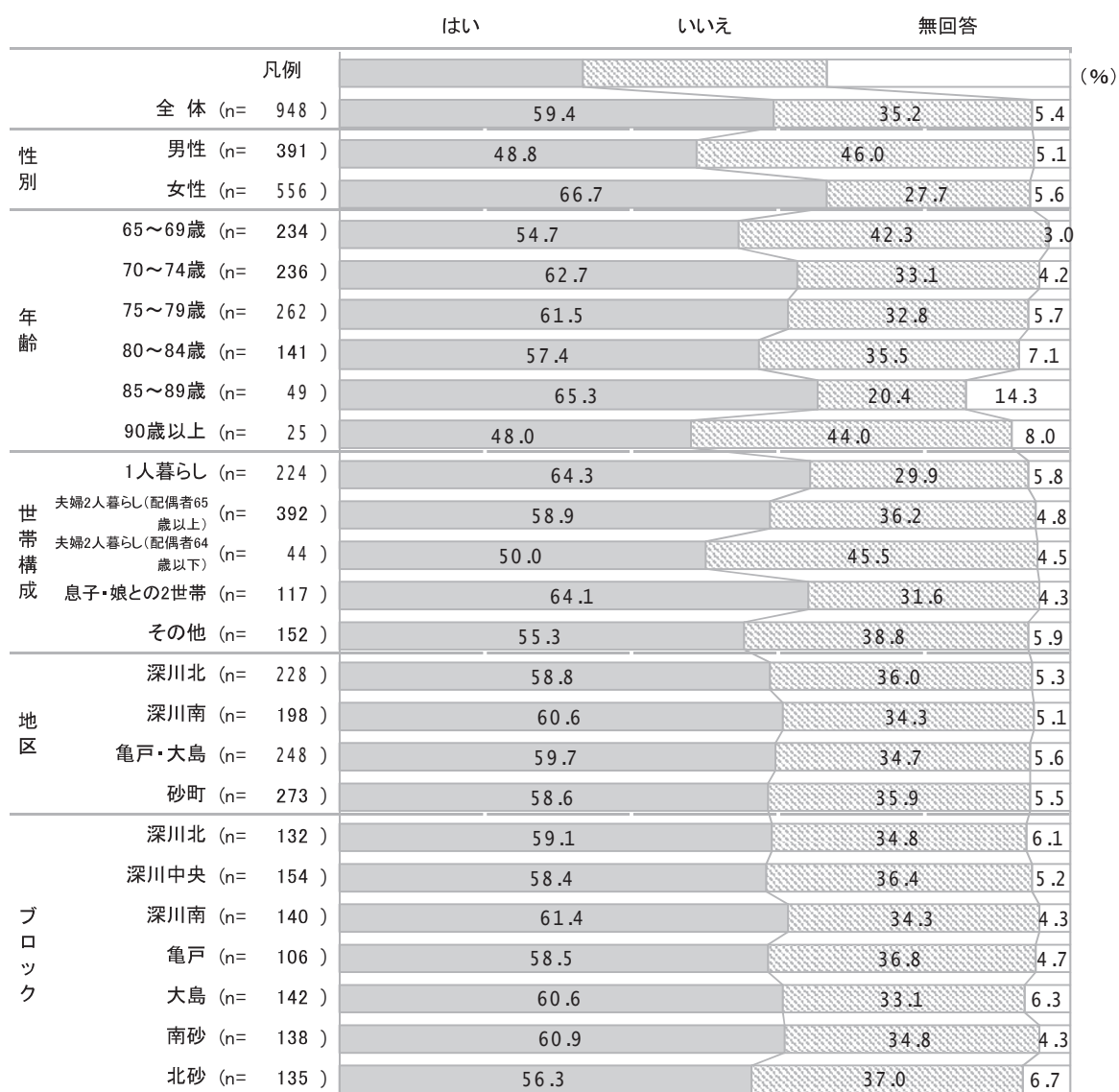
調査③ 在宅生活継続意向調査

⑦ 認知症予防のため取組んでいる（取組みたい）ことの有無

問 29. 認知症予防のため取組んでいる（取組みたい）ことはありますか。
 (ひとつだけ○)

認知症予防のため取組んでいる（取組みたい）ことの有無については、「はい」＝「取組んでいる（取組みたい）」が全体の約6割(59.4%)であり、「いいえ」(35.2%)となっている。
 性別では、男性に比べると女性に「取組んでいる（取組みたい）」割合が高い。
 年齢別では、85～89歳が他の年代と比べて「取組んでいる（取組みたい）」割合が高い。

図表 Ⅱ③-55 認知症予防のため取組んでいる（取組みたい）ことの有無



⑧ 認知症予防のため取組んでいる（取組みたい）こと

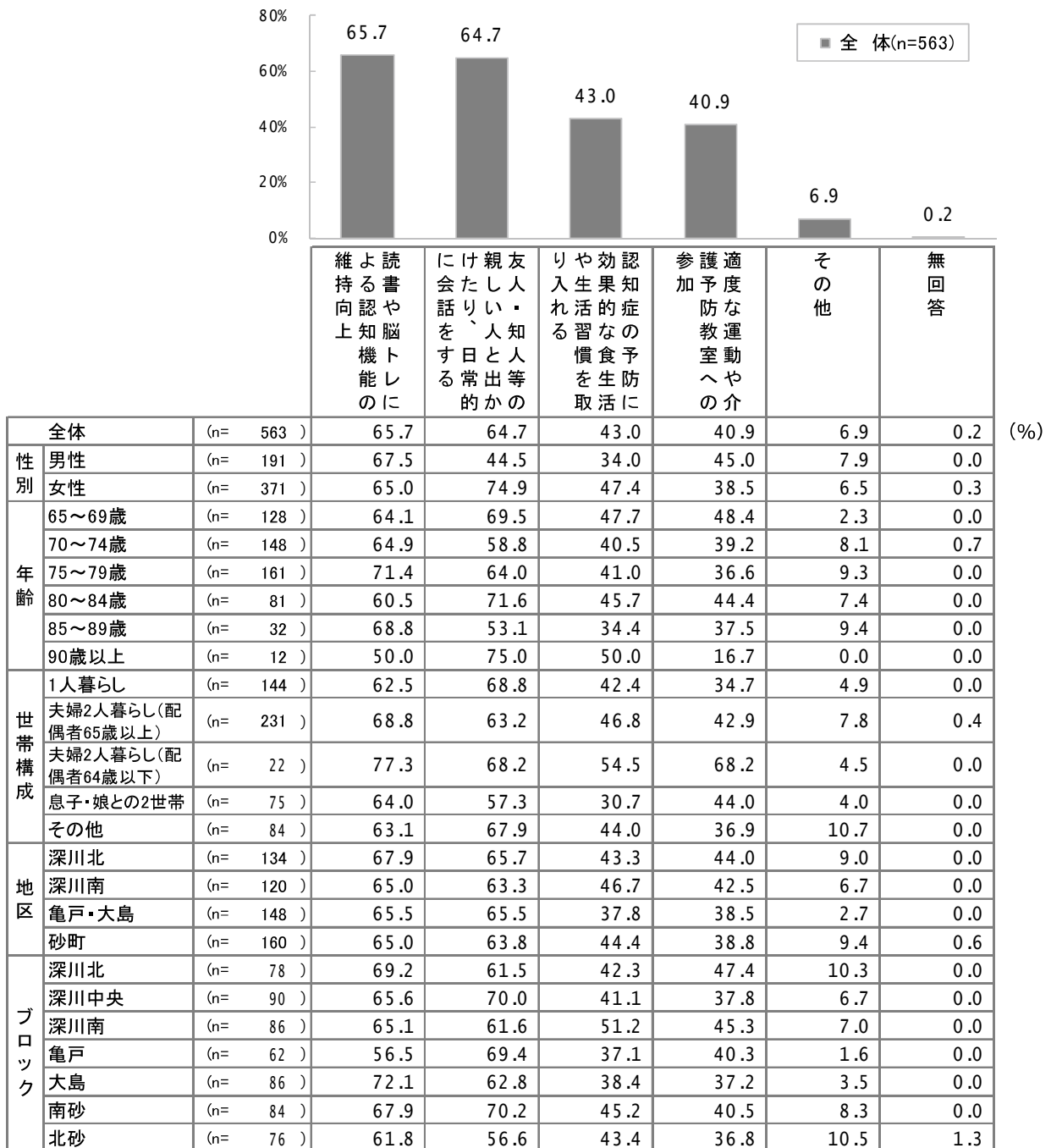
問29-1. (はいの方へ) 取組んでいる（取組みたい）ことを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

認知症予防のため取組んでいる（取組みたい）ことについては、全体で「読書や脳トレによる認知機能の維持向上」(65.7%)が最も高く、次いで「友人・知人等の親しい人と出かけたり、日常的に会話をする」(64.7%)、「認知症の予防に効果的な食生活や生活習慣を取り入れる」(43.0%)などとなっている。

性別では、「友人・知人等の親しい人と出かけたり、日常的に会話をする」、「認知症の予防に効果的な食生活や生活習慣を取り入れる」割合が男性と比べて女性に高く顕著である。

図表 Ⅱ③-56 認知症予防のため取組んでいる（取組みたい）こと



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑨ 区の認知症高齢者向け事業の認知度

問30. あなたは区が実施している認知症高齢者向け事業について知っていますか。
(ひとつだけ○)

区の認知症高齢者向け事業の認知度は、「はい」＝「知っている」(17.8%)、「いいえ」＝「知らない」(76.9%)である。

性別では、男性に比べると女性の認知度が高い。

年齢別では、85～89歳での認知度が他の年代と比べるとやや高い。

図表 Ⅱ③-57 区の認知症高齢者向け事業の認知度

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 948)	17.8	76.9	5.3	
性別	男性 (n= 391)	11.3	83.6	5.1	
	女性 (n= 556)	22.3	72.3	5.4	
年齢	65～69歳 (n= 234)	17.5	80.3	2.1	
	70～74歳 (n= 236)	18.6	78.4	3.0	
	75～79歳 (n= 262)	17.2	75.6	7.3	
	80～84歳 (n= 141)	15.6	77.3	7.1	
	85～89歳 (n= 49)	22.4	65.3	12.2	
	90歳以上 (n= 25)	20.0	68.0	12.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	17.9	75.9	6.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	18.4	76.3	5.4	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	13.6	84.1	2.3	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	20.5	74.4	5.1	
	その他 (n= 152)	16.4	79.6	3.9	
地区	深川北 (n= 228)	18.4	75.9	5.7	
	深川南 (n= 198)	14.1	80.3	5.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	19.8	75.0	5.2	
	砂町 (n= 273)	17.9	77.3	4.8	
ブロック	深川北 (n= 132)	17.4	75.0	7.6	
	深川中央 (n= 154)	17.5	77.3	5.2	
	深川南 (n= 140)	14.3	81.4	4.3	
	亀戸 (n= 106)	18.9	80.2	0.9	
	大島 (n= 142)	20.4	71.1	8.5	
	南砂 (n= 138)	20.3	74.6	5.1	
	北砂 (n= 135)	15.6	80.0	4.4	

⑩ 区の高齢者向け事業のうち、知っているもの

問30-1. (はいの方へ) 区が実施している認知症高齢者向けの事業について知っているものを教えてください。(ひとつだけ○)

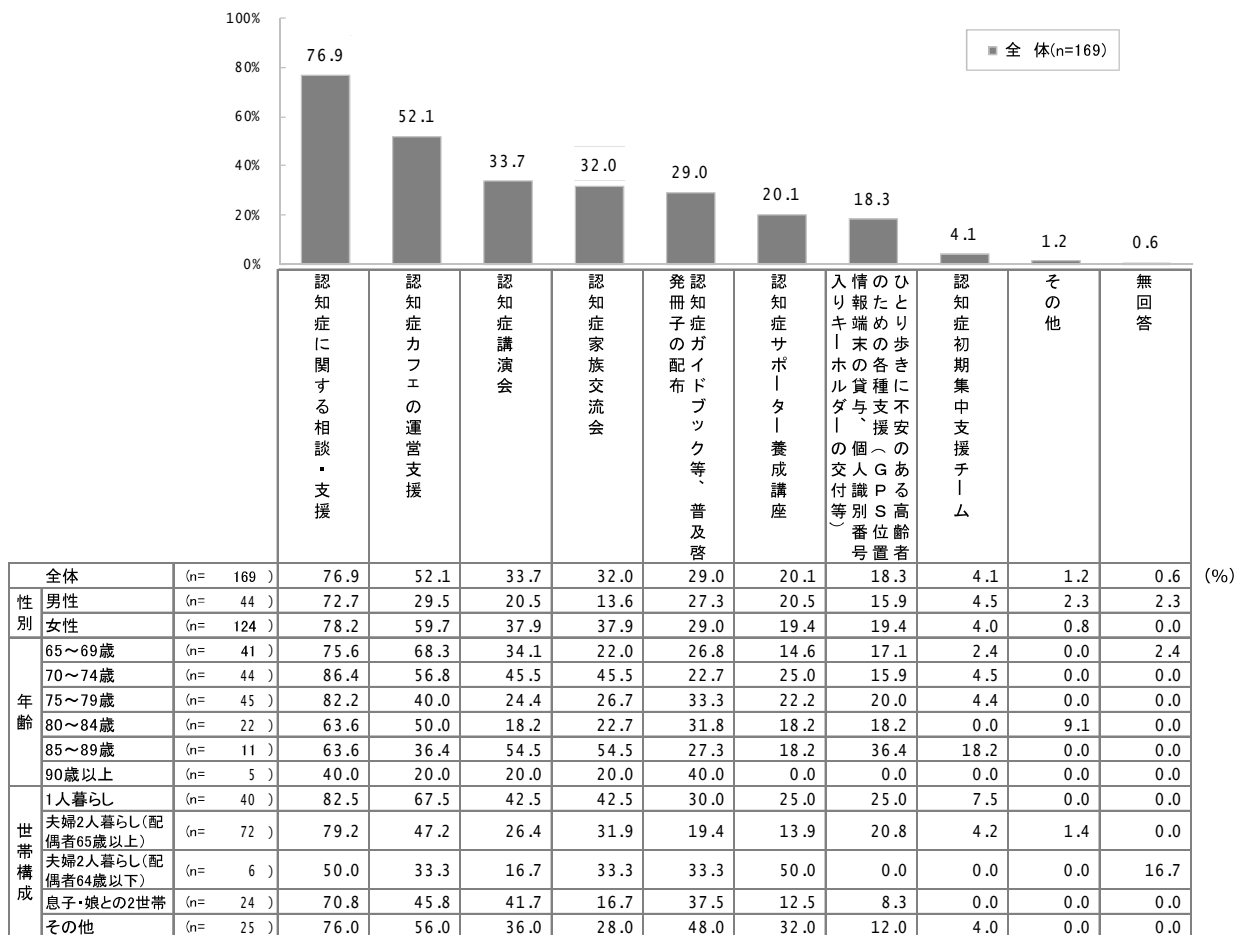
区の高齢者向け事業のうち、知っているものについては、「認知症に関する相談・支援」(76.9%)が最も高く、次いで「認知症カフェの運営支援」(52.1%)、「認知症講演会」(33.7%)などとなっている。

性別では、男性に比べて女性の方が区の高齢者向け事業の項目を知っている割合が高い。なかでも「認知症カフェの運営支援」、「認知症講演会」、「認知症家族交流会」についての認知は男性の2倍程度にのぼる。

年齢別では、65～69歳の75%以上、70代の8割以上は「認知症に関する相談・支援」を認知している。

世帯構成別では、1人暮らしの方は他の世帯と比べると、区の高齢者向け事業の項目を知っている割合が高い。

図表 Ⅱ③-58 区の高齢者向け事業のうち、知っているもの



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑪ 区の認知症高齢者向け事業の利用希望

問31. あなたは区が実施している認知症高齢者向けの事業を利用したいと思いますか。
(ひとつだけ〇)

区の認知症高齢者向け事業の利用希望は、「はい」＝「利用したいと思う」(45.9%)、「いいえ」＝「利用したいと思わない」(42.9%)となっている。
性別では、男性に比べると女性に「はい」の割合が高い。
年齢別では、65～69歳で「はい」の割合が50.4%を占めるが、高年齢の方では半数を下回る傾向がある。

図表 Ⅱ③-59 区の認知症高齢者向け事業の利用希望

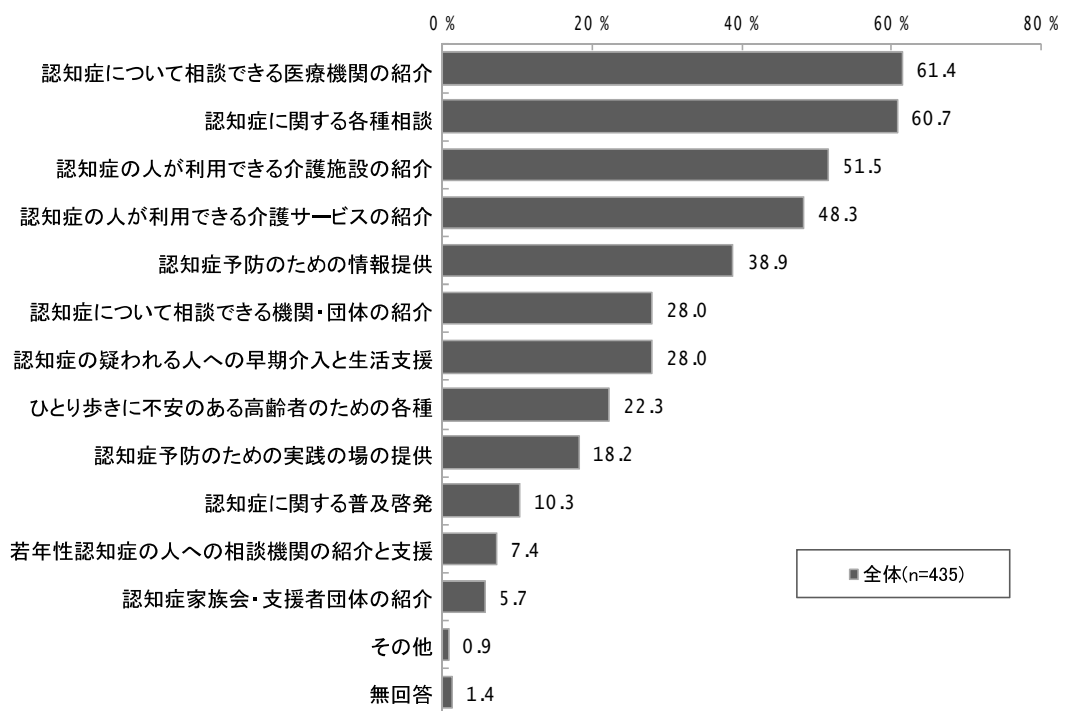
		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 948)	45.9	42.9	11.2	
性別	男性 (n= 391)	40.9	50.4	8.7	
	女性 (n= 556)	49.5	37.6	12.9	
年齢	65～69歳 (n= 234)	50.4	44.9	4.7	
	70～74歳 (n= 236)	45.8	44.9	9.3	
	75～79歳 (n= 262)	44.7	43.9	11.5	
	80～84歳 (n= 141)	44.7	39.7	15.6	
	85～89歳 (n= 49)	38.8	28.6	32.7	
	90歳以上 (n= 25)	40.0	40.0	20.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	42.4	42.9	14.7	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	47.2	43.4	9.4	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	56.8	38.6	4.5	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	47.9	39.3	12.8	
	その他 (n= 152)	44.7	44.1	11.2	
地区	深川北 (n= 228)	46.9	42.5	10.5	
	深川南 (n= 198)	46.0	42.4	11.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	46.8	41.1	12.1	
	砂町 (n= 273)	44.3	45.1	10.6	
ブロック	深川北 (n= 132)	42.4	43.9	13.6	
	深川中央 (n= 154)	50.6	40.9	8.4	
	深川南 (n= 140)	45.7	42.9	11.4	
	亀戸 (n= 106)	35.8	53.8	10.4	
	大島 (n= 142)	54.9	31.7	13.4	
	南砂 (n= 138)	44.9	44.9	10.1	
	北砂 (n= 135)	43.7	45.2	11.1	

⑫ 区の認知症高齢者向け事業で利用したいと思う事業

問31-1.(はいの方へ) あなたは、区の認知症高齢者向けの事業でどのような事業があれば利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

区の認知症高齢者向け事業で利用したいと思う事業については、「認知症について相談できる医療機関の紹介」(61.4%)が最も高く、次いで「認知症に関する各種相談」(60.7%)、「認知症の人が利用できる介護施設の紹介」(51.5%)、「認知症の人が利用できる介護サービスの紹介」(48.3%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-60 区の認知症高齢者向け事業で利用したいと思う事業



7. 権利擁護について

① 高齢者虐待について知っていること

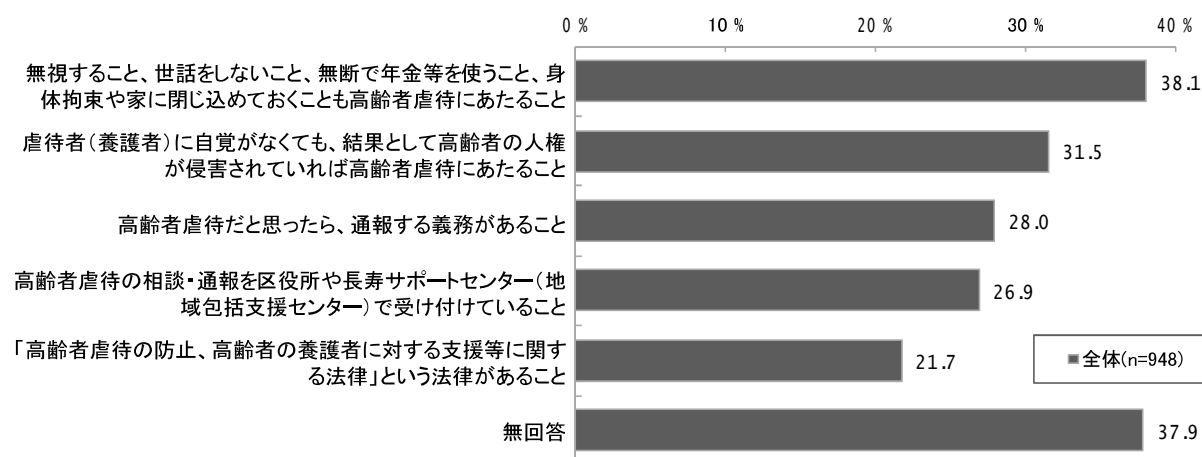
問32. 江東区では「高齢者虐待」の防止に向けて対策を行っています。「高齢者虐待」とは、暴力・暴言をはじめ高齢者の権利を侵害したり、高齢者のその人らしさを妨げるような行為をさします。あなたは次のようなことを知っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

高齢者虐待について知っていることについては、「無視すること、世話をしないこと、無断で年金等を使うこと、身体拘束や家に閉じ込めておくことも高齢者虐待にあたること」(38.1%)が最も高く、次いで「虐待者(養護者)に自覚がなくても、結果として高齢者の人権が侵害されていれば高齢者虐待にあたること」(31.5%)となっている。

なお、「無回答」は全体の約4割(37.9%)となっている。

図表 II③-61 高齢者虐待について知っていること



性別では、男性に比べると女性で高齢者虐待のいずれの項目で「知っている」割合が高い。
年齢別では、「無視すること、世話をしないこと、無断で年金等を使うこと、身体拘束や家に閉じ込めておくことも高齢者虐待にあたること」を知っているとする割合は、高年齢の方ほど低くなる。

図表 Ⅱ③-62 高齢者虐待について知っていること

		こ と も 高 齢 者 虐 待 に あ た る こ と	無 視 す る こ と 、 無 断 で 年 金 等 を 使 う こ と 、 世 話 を し な い こ と	が あ た る こ と	て も 、 結 果 と し て 高 齢 者 の 虐 待 に あ た る こ と	す 高 齢 者 虐 待 だ と 思 つ た ら 、 通 報 す る こ と	け 域 所 高 齢 者 虐 待 の 相 談 セ ン タ ー で 受 け 付 け ら れ る こ と	法 養 護 者 に 対 し て 支 援 が あ る こ と	「 高 齢 者 虐 待 の 防 止 、 高 齢 者 の 支 援 に 関 する こ と」	無 回 答
	全 体	(n= 948)	38.1	31.5	28.0	26.9	21.7	37.9	(%)	
性別	男性	(n= 391)	30.9	28.1	21.7	20.7	18.9	42.2		
	女性	(n= 556)	43.2	34.0	32.4	31.1	23.6	34.9		
年齢	65～69歳	(n= 234)	47.0	38.0	26.9	21.8	22.6	32.1		
	70～74歳	(n= 236)	43.6	32.2	29.7	27.5	18.6	34.3		
	75～79歳	(n= 262)	35.9	31.7	29.0	29.8	24.4	39.3		
	80～84歳	(n= 141)	25.5	23.4	28.4	27.0	21.3	44.0		
	85～89歳	(n= 49)	26.5	24.5	24.5	36.7	20.4	49.0		
	90歳以上	(n= 25)	20.0	24.0	16.0	16.0	16.0	56.0		
世帯構成	1人暮らし	(n= 224)	43.3	31.7	35.7	33.5	23.7	34.8		
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 392)	37.5	30.6	25.0	24.7	21.4	38.0		
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 44)	52.3	36.4	22.7	15.9	20.5	38.6		
	息子・娘との2世帯	(n= 117)	29.1	31.6	28.2	29.1	16.2	36.8		
	その他	(n= 152)	35.5	32.9	25.0	24.3	23.0	42.8		
地区	深川北	(n= 228)	39.5	33.8	26.8	25.4	19.7	38.2		
	深川南	(n= 198)	39.9	32.3	25.8	27.3	24.7	35.9		
	亀戸・大島	(n= 248)	37.1	26.2	27.4	25.4	16.9	41.1		
	砂町	(n= 273)	36.6	34.1	31.1	28.9	25.3	36.3		
ブロック	深川北	(n= 132)	37.1	31.1	28.0	22.7	19.7	37.9		
	深川中央	(n= 154)	41.6	33.1	25.3	29.9	20.1	37.0		
	深川南	(n= 140)	40.0	35.0	25.7	25.7	26.4	36.4		
	亀戸	(n= 106)	39.6	30.2	27.4	26.4	17.9	40.6		
	大島	(n= 142)	35.2	23.2	27.5	24.6	16.2	41.5		
	南砂	(n= 138)	37.0	34.1	31.9	27.5	26.1	36.2		
	北砂	(n= 135)	36.3	34.1	30.4	30.4	24.4	36.3		

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

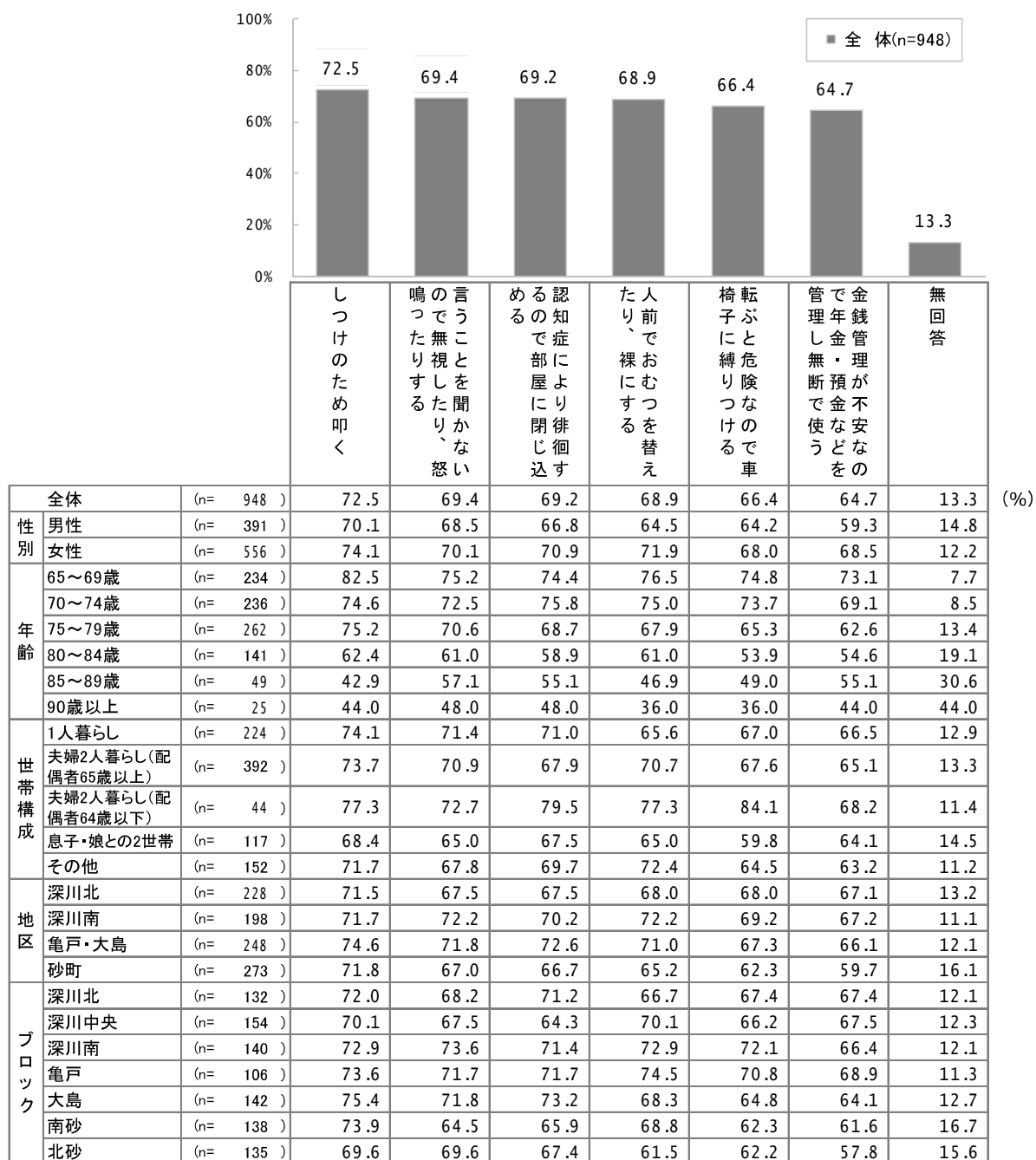
② 「高齢者虐待」だと思ふもの

問33. 次のうちあなたが「高齢者虐待」だと思ふものを教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

「高齢者虐待」だと思ふものは、「しつけのために叩く」(72.5%) が最も高く、次いで「言うことを聞かないので無視したり、怒鳴ったりする」(69.4%)、「認知症により徘徊するので部屋に閉じ込める」(69.2%) などとなっている。

年齢別では、どの項目も高年齢の方ほど割合が低い傾向がある。

図表 Ⅱ③-63 「高齢者虐待」だと思ふもの



③ 任意後見制度の認知度

問34. 「任意後見制度」とは、現在は判断能力のある人が、将来認知症などで判断能力が衰えた時に、本人を保護、支援する人をあらかじめ自分自身で決めておく制度です。任意後見制度について知っていますか。 (ひとつだけ○)

任意後見制度の認知度は、「はい」＝「知っている」(50.8%)、「いいえ」＝「知らない」(40.1%)となっている。

性別では、男性に比べると女性に「はい」の割合が高い。

年齢別では、他の年代と比べて70～74歳で「はい」の割合が高い。

地区別・ブロック別では、ともに深川北地区(ブロック)で「はい」の割合が高い。

図表 Ⅱ③-64 任意後見制度の認知度

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 948)	50.8	40.1	9.1	
性別	男性 (n= 391)	44.5	47.1	8.4	
	女性 (n= 556)	55.2	35.3	9.5	
年齢	65～69歳 (n= 234)	55.6	39.7	4.7	
	70～74歳 (n= 236)	59.3	35.2	5.5	
	75～79歳 (n= 262)	51.5	38.5	9.9	
	80～84歳 (n= 141)	32.6	49.6	17.7	
	85～89歳 (n= 49)	42.9	40.8	16.3	
	90歳以上 (n= 25)	36.0	52.0	12.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	49.6	38.4	12.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	54.6	37.2	8.2	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	47.7	47.7	4.5	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	46.2	45.3	8.5	
	その他 (n= 152)	48.0	44.7	7.2	
地区	深川北 (n= 228)	61.0	32.0	7.0	
	深川南 (n= 198)	51.0	41.4	7.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	46.8	43.1	10.1	
	砂町 (n= 273)	45.8	43.2	11.0	
ブロック	深川北 (n= 132)	60.6	32.6	6.8	
	深川中央 (n= 154)	57.1	35.1	7.8	
	深川南 (n= 140)	51.4	41.4	7.1	
	亀戸 (n= 106)	44.3	46.2	9.4	
	大島 (n= 142)	48.6	40.8	10.6	
	南砂 (n= 138)	50.7	39.9	9.4	
	北砂 (n= 135)	40.7	46.7	12.6	

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

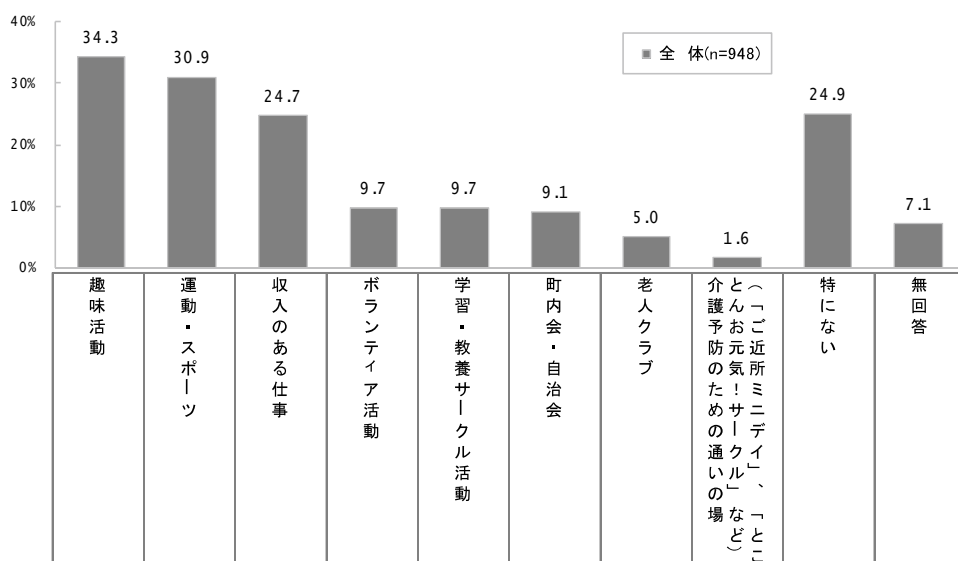
8. 社会活動への参加について

① 日中の過ごし方

問35. あなたの日中の過ごし方を教えてください。(ひとつだけ)

日中の過ごし方は、「趣味活動」(34.3% が最も高く、次いで「運動・スポーツ」(30.9%)、「収入のある仕事」(24.7%) などとなっている。なお、「特にない」は 24.9% となっている。性別では、「趣味活動」が男性に比べ女性に高いのに対し、「収入のある仕事」は男性に高い。年齢別では、「趣味活動」が 75～79 歳で高く、「収入のある仕事」は 65～69 歳で高い。

図表 Ⅱ③-65 日中の過ごし方



属性	人数 (n)	趣味活動	運動・スポーツ	収入のある仕事	ボランティア活動	学習・教養サークル活動	町内会・自治会	老人クラブ	介護予防のための通いの場	特にない	無回答
全体	948	34.3	30.9	24.7	9.7	9.7	9.1	5.0	1.6	24.9	7.1
性別											
男性	391	29.7	32.0	30.4	7.2	6.1	9.7	3.1	1.0	24.6	7.2
女性	556	37.4	30.0	20.7	11.3	12.1	8.6	6.3	2.0	25.2	7.0
年齢											
65～69歳	234	31.2	34.2	42.3	7.3	9.4	7.7	1.3	1.3	18.4	5.6
70～74歳	236	34.7	36.0	36.0	10.2	9.3	9.3	2.1	0.4	23.7	3.0
75～79歳	262	40.8	30.2	14.5	12.6	9.5	7.6	7.6	1.5	26.7	6.1
80～84歳	141	33.3	22.7	7.1	10.6	8.5	11.3	8.5	4.3	34.8	12.1
85～89歳	49	22.4	20.4	2.0	4.1	18.4	12.2	8.2	2.0	26.5	16.3
90歳以上	25	16.0	24.0	4.0	0.0	4.0	16.0	12.0	0.0	20.0	24.0
世帯構成											
1人暮らし	224	37.5	29.9	17.0	11.6	9.8	8.9	8.0	3.1	23.7	8.9
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	392	33.9	33.9	26.3	9.4	10.2	9.9	3.8	1.3	24.2	6.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	44	29.5	29.5	56.8	9.1	9.1	13.6	2.3	6.8	13.6	6.8
息子・娘との2世帯	117	34.2	20.5	20.5	9.4	10.3	6.0	6.0	0.0	32.5	7.7
その他	152	32.9	33.6	25.7	8.6	8.6	8.6	3.3	0.0	27.0	4.6
地区											
深川北	228	38.6	33.8	23.7	10.5	13.6	11.0	4.8	1.8	25.0	5.3
深川南	198	34.3	31.3	22.2	12.1	10.1	9.6	3.5	0.5	26.8	6.1
亀戸・大島	248	29.8	26.6	26.6	6.5	4.0	8.1	4.8	1.2	25.4	9.7
砂町	273	34.4	31.9	25.6	9.9	11.0	8.1	6.2	2.6	23.1	7.0
ブロック											
深川北	132	35.6	34.1	25.0	6.8	16.7	9.8	2.3	2.3	27.3	3.8
深川中央	154	40.3	33.1	21.4	13.6	10.4	13.0	6.5	0.6	24.0	7.1
深川南	140	33.6	30.7	22.9	12.9	9.3	7.9	3.6	0.7	26.4	5.7
亀戸	106	28.3	29.2	24.5	6.6	6.6	10.4	7.5	0.0	29.2	6.6
大島	142	31.0	24.6	28.2	6.3	2.1	6.3	2.8	2.1	22.5	12.0
南砂	138	40.6	31.2	23.9	9.4	13.0	9.4	7.2	4.3	21.7	5.8
北砂	135	28.1	32.6	27.4	10.4	8.9	6.7	5.2	0.7	24.4	8.1

② 福祉会館の利用状況

問36. 区内には、高齢者が気軽に立ち寄ることができる福祉会館が7館あります。あなたの福祉会館のご利用について、あてはまるものを教えてください。(ひとつだけ○)

福祉会館の利用状況については、「継続してよく利用している」(5.5%)と「たまに利用することがある」(2.8%)、「利用したことはあるが、今は利用していない」(4.7%)を合わせた『利用経験者』が全体の13.0%となっている。一方、「知っているが、利用したことがない」(42.5%)と「福祉会館のことをよく知らない」(37.9%)を合わせた『未利用者』は全体の8割程度である。

年齢別では、『利用経験者』は85～89歳に多い。

図表 Ⅱ③-66 福祉会館の利用状況

凡例	利用したこと					無回答
	継続してよく利用している	たまに利用することがある	はあるが、今は利用していない	知っているが、利用したことがない	福祉会館のことをよく知らない	
全体 (n= 948)	5.5	2.8	4.7	42.5	37.9	6.5
性別						
男性 (n= 391)	3.1	3.8	2.6	40.9	43.7	5.9
女性 (n= 556)	7.2	3.1	5.4	43.5	33.8	7.0
年齢						
65～69歳 (n= 234)	3.0	3.2	1.1	42.7	47.9	3.0
70～74歳 (n= 236)	3.4	5.1	1.3	43.2	41.9	5.1
75～79歳 (n= 262)	8.4	3.8	4.6	45.4	32.4	5.3
80～84歳 (n= 141)	8.5	2.8	5.7	39.7	33.3	9.9
85～89歳 (n= 49)	10.2	6.1	10.2	32.7	24.5	16.3
90歳以上 (n= 25)	8.0	0.0	12.0	36.0	16.0	28.0
世帯構成						
1人暮らし (n= 224)	8.5	1.3	5.8	45.1	32.1	7.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	4.6	0.0	4.8	42.1	40.3	4.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	2.3	4.5	2.3	31.8	52.3	9.1
息子・娘との2世帯 (n= 117)	7.7	4.3	2.6	41.9	38.5	5.1
その他 (n= 152)	3.3	3.3	4.6	43.4	37.5	7.9
地区						
深川北 (n= 228)	7.5	5.3	3.9	47.4	32.5	3.5
深川南 (n= 198)	5.1	1.0	5.6	36.9	44.4	7.1
亀戸・大島 (n= 248)	4.0	1.6	4.0	42.3	39.9	8.1
砂町 (n= 273)	5.5	3.3	5.5	42.5	35.9	7.3
ブロック						
深川北 (n= 132)	7.6	6.1	4.5	44.7	35.6	1.5
深川中央 (n= 154)	5.8	2.6	4.5	47.4	32.5	7.1
深川南 (n= 140)	5.7	1.4	5.0	35.0	46.4	6.4
亀戸 (n= 106)	4.7	2.8	4.7	42.5	39.6	5.7
大島 (n= 142)	3.5	0.7	5.3	42.3	40.1	9.9
南砂 (n= 138)	5.8	4.3	3.3	41.3	35.5	8.7
北砂 (n= 135)	5.2	2.2	6.7	43.7	36.3	5.9

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

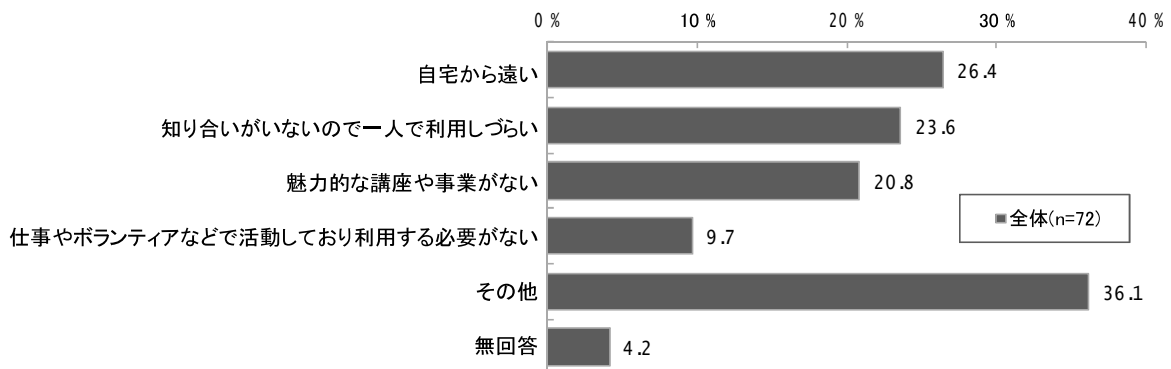
③ 福社会館を利用しない理由

問3 6-1. (「2 たまに利用することがある」方・「3 利用したことはあるが、今は利用していない」方へ) 継続して利用しない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

施設を利用しない理由としては、「自宅から遠い」(26.4%)で最も高く、次いで「知り合いがいないので一人で利用しづらい」(23.6%)、「魅力的な講座や事業がない」(20.8%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-67 施設を利用しない理由



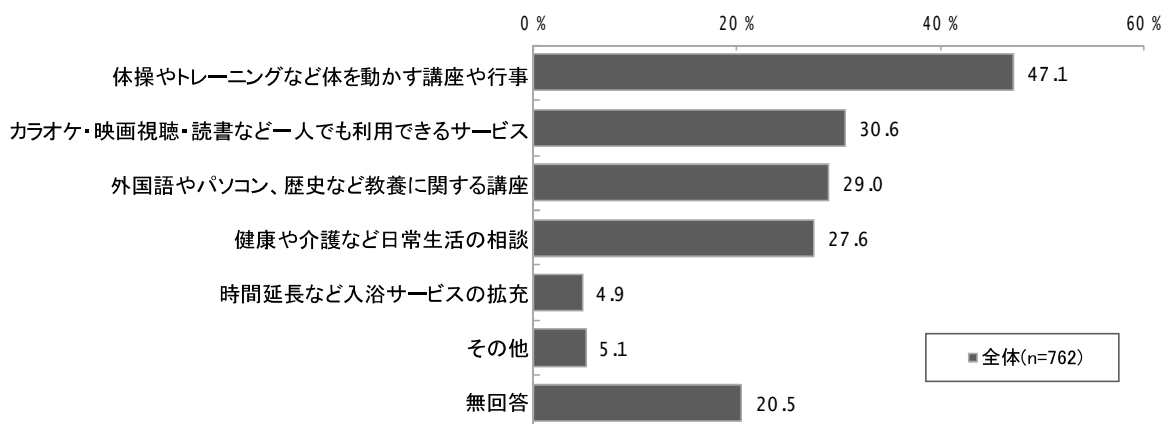
④ 希望する講座内容

問3 6-2. (「4 知ってはいるが、利用したことがない」方・「5 福社会館のことをよく知らない」方へ) 福社会館を利用してもよいと思える講座・事業などを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

希望する講座内容については、「体操やトレーニングなど体を動かす講座や行事」(47.1%)が最も高く、次いで、「カラオケ・映画視聴・読書など一人でも利用できるサービス」(30.6%)、「外国語やパソコン、歴史など教養に関する講座」(29.0%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-68 希望する講座内容



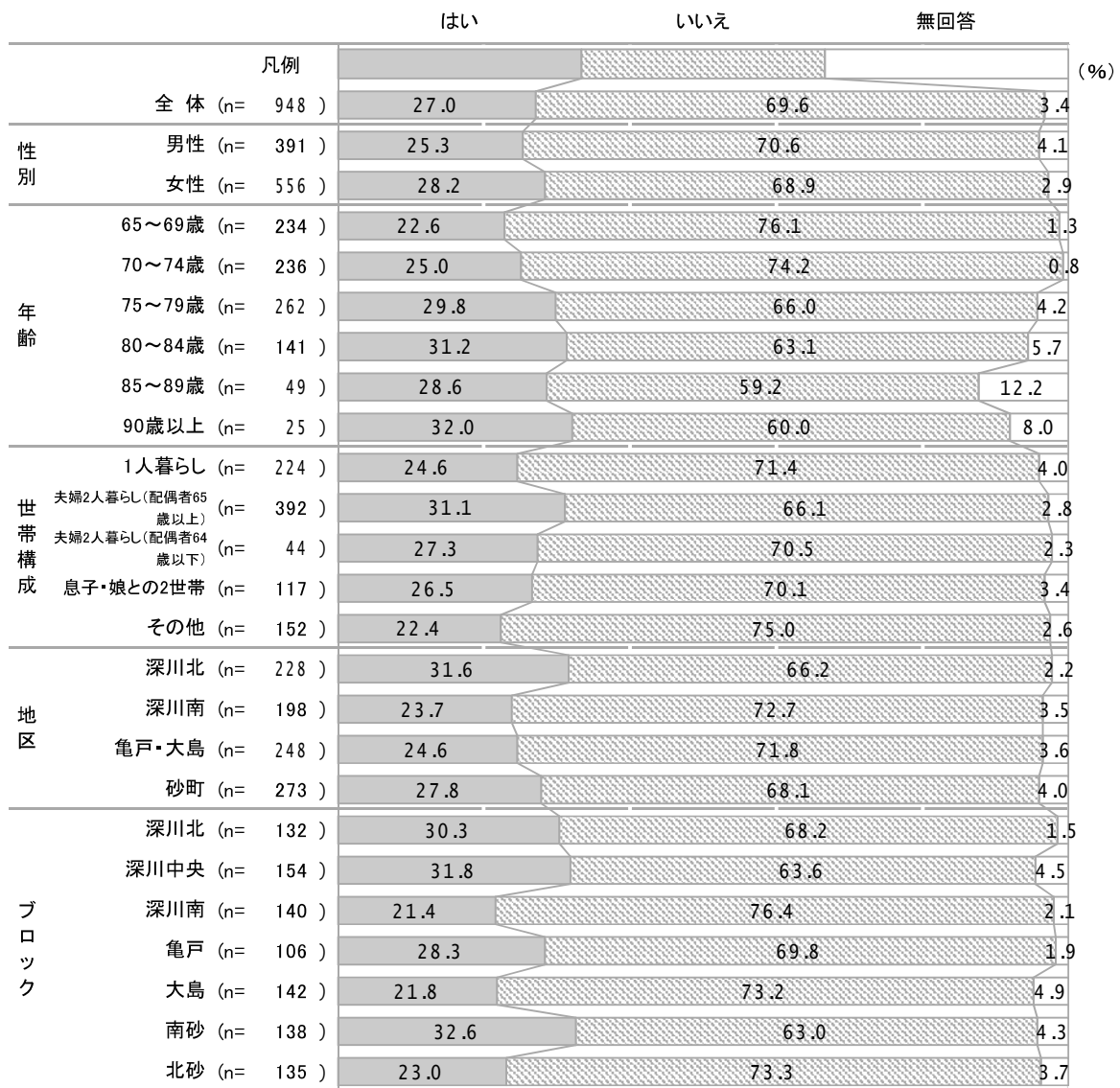
⑤ 地域での活動状況

問37. あなたは、お住まいの地域での「住民主体の活動や交流の場（趣味や自治会、町内会等の近所の会・活動）」に参加していますか。 (ひとつだけ○)

地域での活動状況については、「はい」＝「参加している」(27.0%)、「いいえ」＝「参加していない」(69.6%)となっている。

年齢別では、「はい」の割合が高年齢の方ほど高い傾向がある。

図表 Ⅱ③-69 地域での活動状況



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

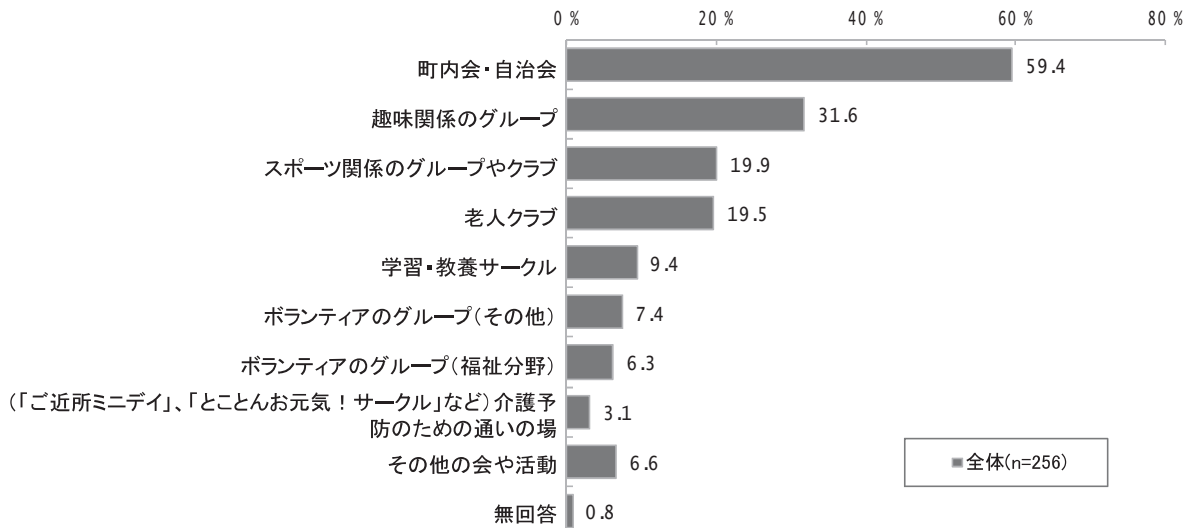
⑥ 参加している会・活動等

問3 7-1. (はいの方へ) どのような会・活動等に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

参加している会・活動等については、「町内会・自治会」(59.4%) が最も高く、次いで「趣味関係のグループ」(31.6%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(19.9%) などとなっている。

図表 Ⅱ③-70 参加している会・活動等



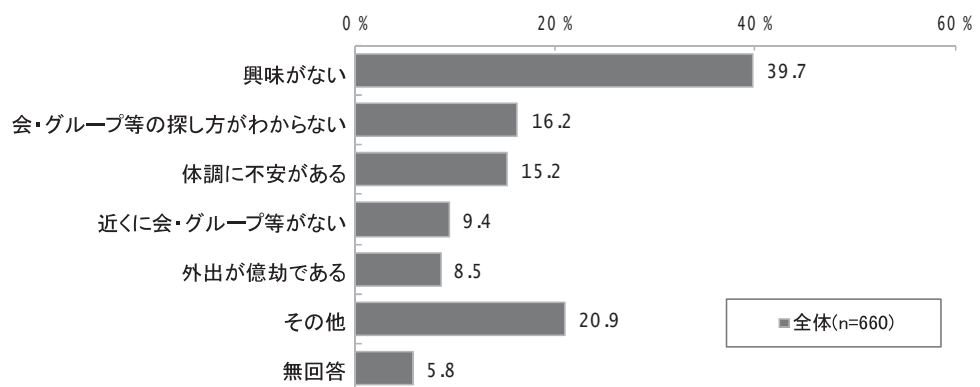
⑦ 会・活動等に参加していない理由

問3 7-2. (いいえの方へ) 会・活動等に参加していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

会・活動等に参加していない理由としては、約4割(39.7%)が「興味がない」としており、次いで「会・グループの探し方がわからない」(16.2%)、「体調に不安がある」(15.2%)となっている。

図表 Ⅱ③-71 会・活動等に参加していない理由



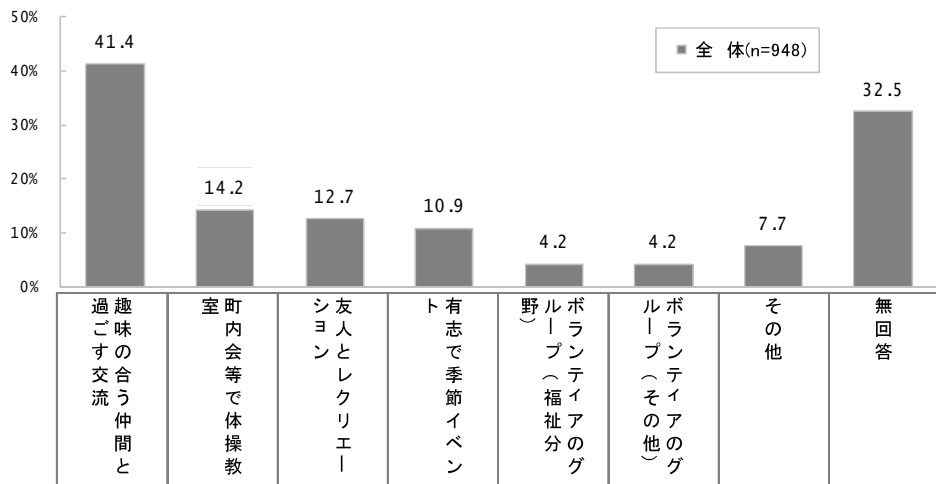
⑧ 参加したい会・活動等の内容

問38 どのような会・活動等があれば参加したいと考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

参加したい会・活動等の内容は、「趣味の合う仲間と過ごす交流」(41.4%)が最も高く、次いで「町内会で体操教室」(14.2%)、「友人とのレクリエーション」(12.7%)などとなっている。
年齢別では、「趣味の合う仲間と過ごす交流」の割合が85歳を境に低くなる。

図表 Ⅱ③-72 参加したい会・活動等の内容



属性	人数 (n)	趣味の合う仲間と過ごす交流 (%)	町内会等で体操教室 (%)	友人とのレクリエーション (%)	ト有志で季節イベント (%)	野ルボランティア(福祉分野) (%)	ルボランティア(その他) (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	948	41.4	14.2	12.7	10.9	4.2	4.2	7.7	32.5
性別									
男性	391	40.9	11.0	10.7	11.8	3.1	5.1	10.0	30.7
女性	556	41.5	16.5	14.0	10.3	4.9	3.4	6.1	33.8
年齢									
65～69歳	234	42.3	14.1	11.1	15.4	6.0	6.8	9.8	24.4
70～74歳	236	40.3	16.9	14.8	11.0	4.7	4.7	9.3	29.7
75～79歳	262	43.1	12.2	14.5	9.5	3.4	3.4	6.9	34.7
80～84歳	141	44.0	17.0	12.8	9.2	2.8	2.1	4.3	34.8
85～89歳	49	28.6	12.2	2.0	6.1	0.0	0.0	4.1	59.2
90歳以上	25	32.0	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	8.0	48.0
世帯構成									
1人暮らし	224	46.4	13.4	12.5	8.5	4.5	4.9	5.8	32.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	392	41.3	14.5	12.0	11.0	2.8	4.1	7.1	34.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	44	34.1	15.9	18.2	22.7	6.8	11.4	11.4	29.5
息子・娘との2世帯	117	38.5	14.5	16.2	12.0	6.8	2.6	6.8	33.3
その他	152	40.1	13.2	11.2	11.2	5.3	3.3	11.2	27.0
地区									
深川北	228	45.6	12.3	12.3	14.0	5.3	5.7	8.8	29.4
深川南	198	39.9	18.2	14.6	9.1	3.0	4.0	8.1	30.3
亀戸・大島	248	39.5	12.5	12.5	9.7	3.6	2.8	9.7	33.1
砂町	273	40.3	14.7	11.7	10.6	4.4	4.0	4.8	36.3
ブロック									
深川北	132	45.5	13.6	8.3	12.9	5.3	4.5	8.3	32.6
深川中央	154	43.5	11.0	16.2	13.0	4.5	6.5	9.7	26.6
深川南	140	40.0	20.7	15.0	9.3	2.9	3.6	7.1	30.7
亀戸	106	35.8	11.3	8.5	12.3	4.7	2.8	11.3	33.0
大島	142	42.3	13.4	15.5	7.7	2.8	2.8	8.5	33.1
南砂	138	42.8	15.9	14.5	13.8	6.5	5.8	3.6	34.8
北砂	135	37.8	13.3	8.9	7.4	2.2	2.2	5.9	37.8

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑨ 健康維持増進・介護予防のために会・活動等で取組んでいること、取組みたいこと

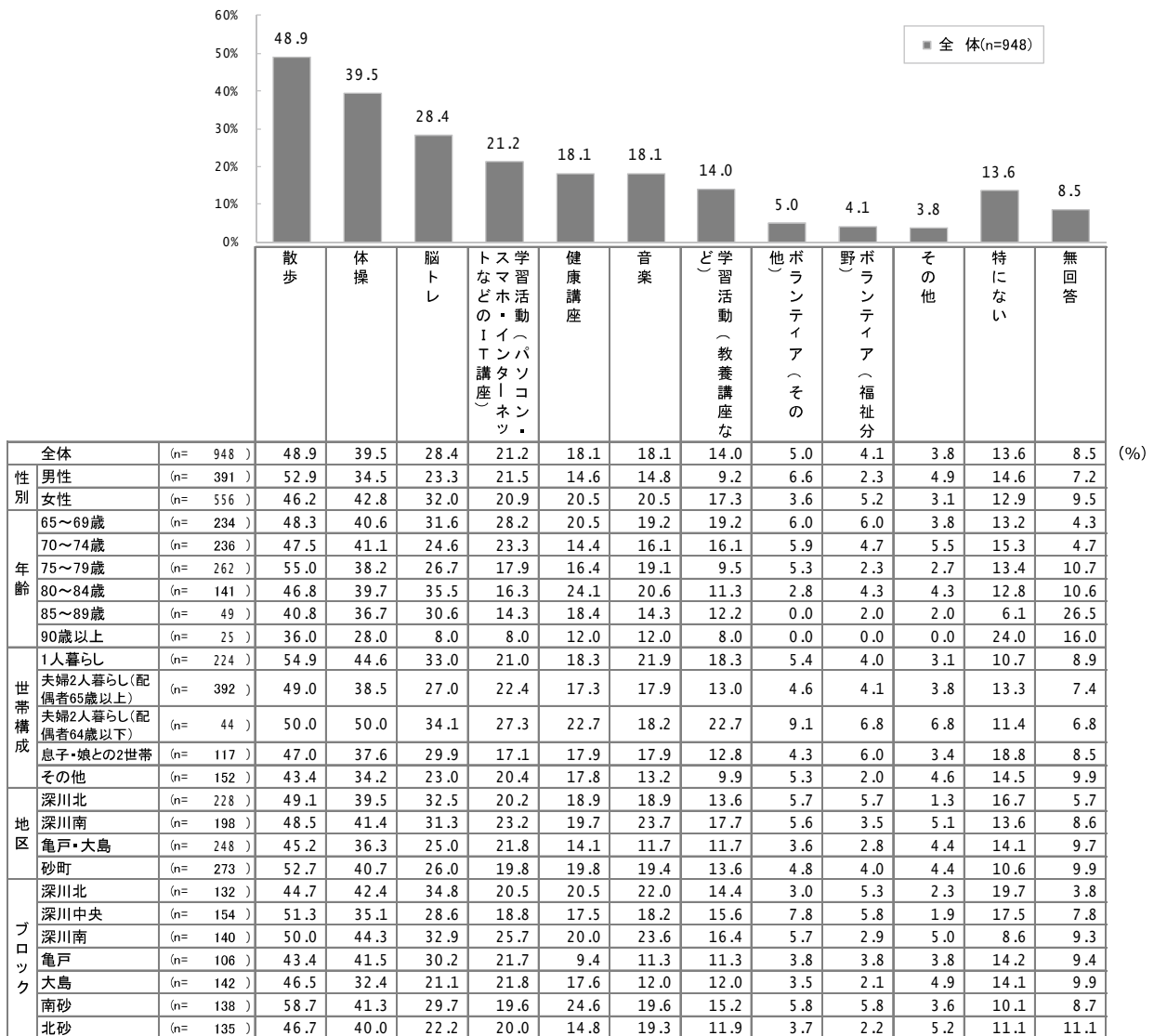
問39. 健康維持増進・介護予防のために会・活動等で取組んでいること、またはこれから取組みたいことはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

健康維持増進・介護予防のために会・活動等で取組んでいること、取組みたいことについては、「散歩」(48.9%)が最も高く、次いで「体操」(39.5%)、「脳トレ」(28.4%)などとなっている。

性別では、男性に比べると女性に「体操」、「脳トレ」などの割合が高い。

年齢別では、「学習活動(パソコン・スマホ・インターネットなどのIT講座)」の割合が高年齢の方ほど低い。

図表 Ⅱ③-73 健康維持増進・介護予防のために会・活動等で取組んでいること、取組みたいこと



⑩ 老人クラブの利用状況

問40. 区には現在127団体の老人クラブがあり、約13,700の方が会員となっています。あなたの参加状況についてあてはまるものを教えてください。(ひとつだけ○)

老人クラブの利用状況は、「既に会員である」(12.7%)、「老人クラブは知っているが、会員ではない」(42.0%)、「老人クラブの存在を知らない」(38.2%)となっている。

年齢別では、80～84歳と90歳以上で「既に会員である」割合が他の年代と比べて高い。

世帯構成別では、息子・娘との2世帯で「既に会員である」割合が他の世帯と比べ高い。

図表 Ⅱ③-74 老人クラブの利用状況

		既に会員である	老人クラブは知っているが、会員ではない	老人クラブの存在を知らない	無回答	(%)
凡例						
	全体 (n= 948)	12.7	42.0	38.2	7.2	
性別	男性 (n= 391)	11.3	37.3	44.8	6.6	
	女性 (n= 556)	13.7	45.1	33.6	7.6	
年齢	65～69歳 (n= 234)	4.3	42.7	47.9	5.1	
	70～74歳 (n= 236)	9.7	46.6	41.1	2.5	
	75～79歳 (n= 262)	17.2	40.5	36.3	6.1	
	80～84歳 (n= 141)	21.3	38.3	26.2	14.2	
	85～89歳 (n= 49)	12.2	40.8	28.6	18.4	
	90歳以上 (n= 25)	24.0	28.0	28.0	20.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	12.5	44.6	33.9	8.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	12.2	40.6	41.3	5.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	6.8	34.1	54.5	4.5	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	20.5	47.0	25.6	6.8	
	その他 (n= 152)	10.5	40.8	42.8	5.9	
地区	深川北 (n= 228)	18.0	41.7	35.5	4.8	
	深川南 (n= 198)	8.1	38.9	46.5	6.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	13.7	43.5	34.3	8.5	
	砂町 (n= 273)	10.6	42.9	38.1	8.4	
ブロック	深川北 (n= 132)	16.7	41.7	37.1	4.5	
	深川中央 (n= 154)	17.5	40.9	36.4	5.2	
	深川南 (n= 140)	5.7	38.6	48.6	7.1	
	亀戸 (n= 106)	16.0	43.4	34.9	5.7	
	大島 (n= 142)	12.0	43.7	33.8	10.6	
	南砂 (n= 138)	13.8	47.1	30.4	8.7	
	北砂 (n= 135)	7.4	38.5	45.9	8.1	

Ⅱ 調査結果の概要

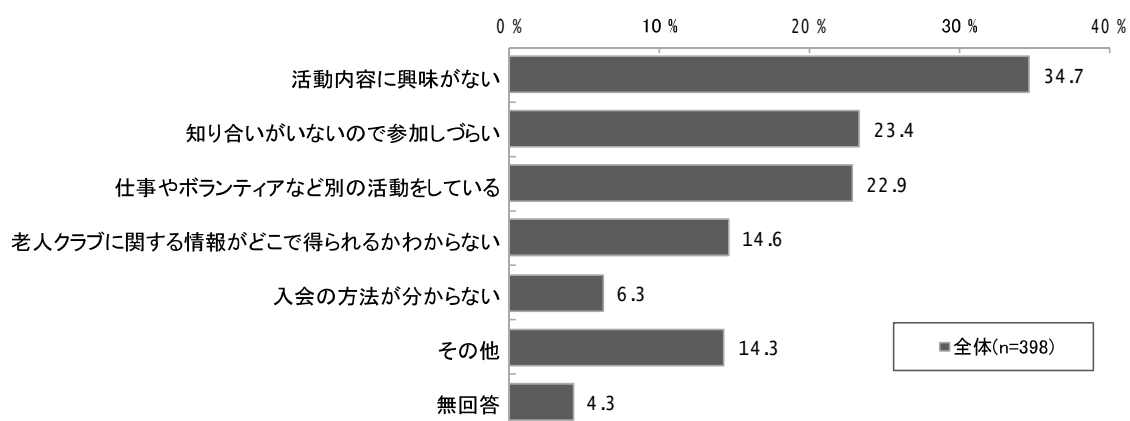
調査③ 在宅生活継続意向調査

⑪ 老人クラブに入会していない理由

問40-1. (問40で「2 老人クラブは知っているが、会員ではない」と回答した方へ) 老人クラブに入会していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

老人クラブに入会していない理由としては、「活動内容に興味がない」(34.7%)が最も高く、次いで「知り合いがないので参加しづらい」(23.4%)、「仕事やボランティアなど別の活動をしている」(22.9%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-75 老人クラブに入会していない理由



⑫ 介護関連の就労をしようと思うか

問41. あなたは介護関連の就労をしようと思いませんか。(ひとつだけ〇)

介護関連の就労をしようと思うかについては、全体の約8割(81.3%)は「いいえ」=就労しようと思わない」と回答しており、「はい(機会があればできる)」8.3%と「はい(既にしている)」2.0%を合わせると就労意向の方は全体の1割程度である。

図表 Ⅱ③-76 介護関連の就労をしようと思うか

		はい(機会があれば できる)	はい(既にしている)	いいえ	無回答	(%)
凡例						
	全体 (n= 948)	8.3	2.0	81.3	8.3	
性別	男性 (n= 391)	8.4	1.5	83.4	6.6	
	女性 (n= 556)	8.3	2.3	79.9	9.5	
年齢	65～69歳 (n= 234)	10.7	3.8	83.3	2.1	
	70～74歳 (n= 236)	11.4	1.7	83.9	3.0	
	75～79歳 (n= 262)	7.6	1.9	83.2	7.3	
	80～84歳 (n= 141)	3.5	0.7	75.2	20.6	
	85～89歳 (n= 49)	4.1	0.0	69.4	26.5	
	90歳以上 (n= 25)	0.0	0.0	76.0	24.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	7.1	0.4	80.8	11.6	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	7.9	3.6	81.6	6.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	15.9	4.5	77.3	2.3	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	8.5	0.9	78.6	12.0	
	その他 (n= 152)	8.6	0.7	86.8	3.9	
地区	深川北 (n= 228)	7.0	1.8	85.1	6.1	
	深川南 (n= 198)	8.1	1.5	79.8	10.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	8.5	2.0	81.5	8.1	
	砂町 (n= 273)	9.5	2.6	79.1	8.8	
ブロック	深川北 (n= 132)	7.6	2.3	86.4	3.8	
	深川中央 (n= 154)	6.5	0.6	83.8	9.1	
	深川南 (n= 140)	8.6	2.1	77.9	11.4	
	亀戸 (n= 106)	5.7	2.8	83.0	8.5	
	大島 (n= 142)	10.6	1.4	80.3	7.7	
	南砂 (n= 138)	10.1	2.9	76.8	10.1	
	北砂 (n= 135)	8.9	2.2	81.5	7.4	

Ⅱ 調査結果の概要

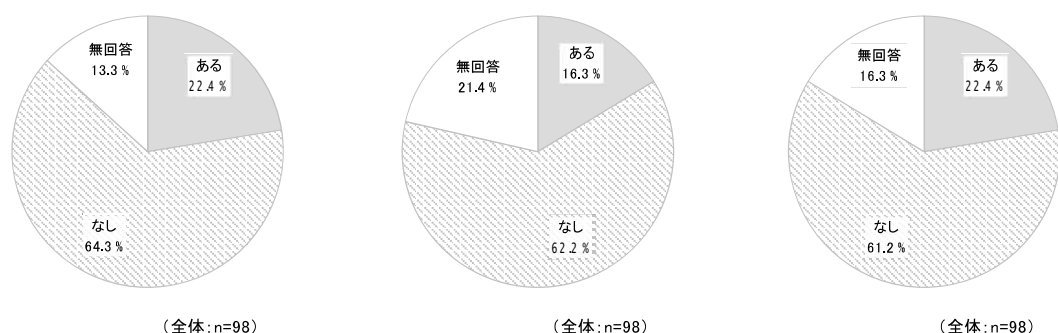
調査③ 在宅生活継続意向調査

⑬ 介護関連の就労経験、ボランティア経験、資格保有状況

問41-1. (はいの方へ) 介護関連事業所等で就労またはボランティアをした経験はありますか。また介護関連の資格を持っていますか。 (それぞれひとつだけ〇)
 (1) 就労経験 (2) ボランティア経験 (3) 介護関連の資格

介護関連の就労経験は、「ある」(22.4%)、「なし」(64.3%)となっている。
 ボランティア経験は、「ある」(16.3%)、「なし」(62.2%)となっている。
 資格保有状況は、「ある」(22.4%)、「なし」(61.2%)となっている。

図表 Ⅱ③-77 (左) 就労経験、(中) ボランティア経験、(右) 介護関連の資格保有状況



		(1) 就労経験			(2) ボランティア経験			(3) 介護関連の資格			(%)	
		ある	なし	無回答	ある	なし	無回答	ある	なし	無回答		
全体	(n= 98)	22.4	64.3	13.3	16.3	62.2	21.4	22.4	61.2	16.3		
性別	男性	(n= 39)	20.5	69.2	10.3	15.4	71.8	12.8	7.7	76.9	15.4	
	女性	(n= 59)	23.7	61.0	15.3	16.9	55.9	27.1	32.2	50.8	16.9	
年齢	65～69歳	(n= 34)	32.4	58.8	8.8	11.8	73.5	14.7	32.4	58.8	8.8	
	70～74歳	(n= 31)	16.1	67.7	16.1	19.4	64.5	16.1	22.6	61.3	16.1	
	75～79歳	(n= 25)	20.0	68.0	12.0	20.0	44.0	36.0	16.0	64.0	20.0	
	80～84歳	(n= 6)	16.7	66.7	16.7	16.7	66.7	16.7	0.0	66.7	33.3	
	85～89歳	(n= 2)	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	
	90歳以上	(n= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯構成	1人暮らし	(n= 17)	23.5	58.8	17.6	11.8	58.8	29.4	29.4	58.8	11.8	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 45)	24.4	62.2	13.3	11.1	60.0	28.9	17.8	62.2	20.0	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 9)	44.4	55.6	0.0	55.6	44.4	0.0	33.3	66.7	0.0	
	息子・娘との2世帯 その他	(n= 11) (n= 14)	0.0 21.4	72.7 71.4	27.3 7.1	27.3 7.1	63.6 78.6	9.1 14.3	27.3 21.4	54.5 57.1	18.2 21.4	
地区	深川北	(n= 20)	30.0	60.0	10.0	20.0	65.0	15.0	15.0	60.0	25.0	
	深川南	(n= 19)	21.1	63.2	15.8	0.0	57.9	42.1	21.1	57.9	21.1	
	亀戸・大島	(n= 26)	19.2	61.5	19.2	19.2	57.7	23.1	34.6	57.7	7.7	
	砂町	(n= 33)	21.2	69.7	9.1	21.2	66.7	12.1	18.2	66.7	15.2	
ブロック	深川北	(n= 13)	30.8	61.5	7.7	15.4	69.2	15.4	23.1	53.8	23.1	
	深川中央	(n= 11)	18.2	72.7	9.1	18.2	63.6	18.2	0.0	81.8	18.2	
	深川南	(n= 15)	26.7	53.3	20.0	0.0	53.3	46.7	26.7	46.7	26.7	
	亀戸	(n= 9)	33.3	44.4	22.2	33.3	33.3	33.3	55.6	44.4	0.0	
	大島	(n= 17)	11.8	70.6	17.6	11.8	70.6	17.6	23.5	64.7	11.8	
	南砂	(n= 18)	22.2	66.7	11.1	22.2	61.1	16.7	16.7	61.1	22.2	
北砂	(n= 15)	20.0	73.3	6.7	20.0	73.3	6.7	20.0	73.3	6.7		

9. 介護サービスについて

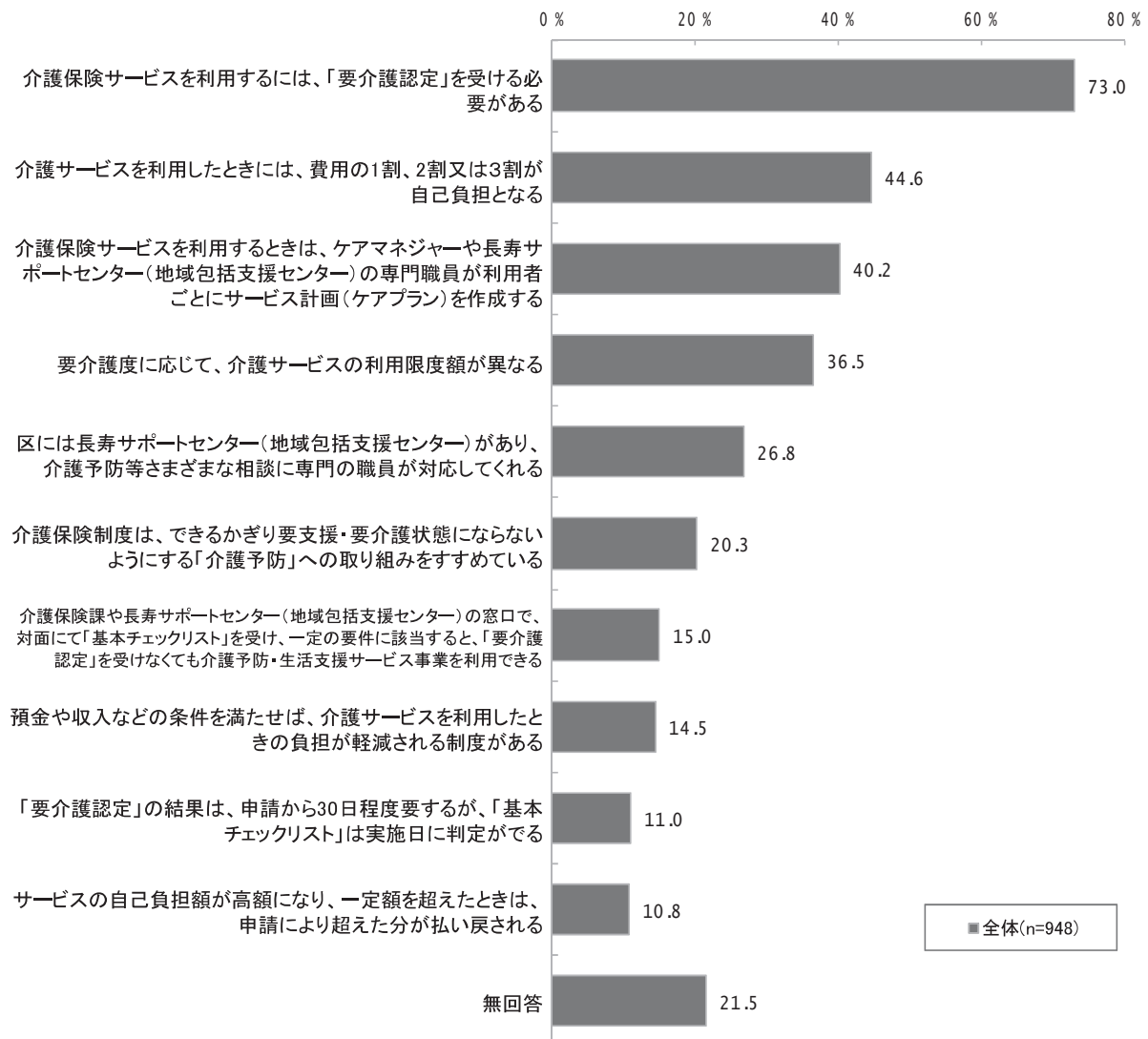
① 介護保険制度について知っていること

問42. あなたは介護保険制度について、次のようなことを知っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

介護保険制度について知っていることについては、「介護保険サービスを利用するには、「要介護認定」を受ける必要がある」(73.0%)が最も高く、次いで「介護サービスを利用したときには、費用の1割、2割又は3割が自己負担となる」(44.6%)、「介護保険サービスを利用するときは、ケアマネジャーや長寿サポートセンターの専門職員が利用者ごとにサービス計画(ケアプラン)を作成する」(40.2%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-78 介護保険制度について知っていること



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

② 介護保険サービス以外の高齢者向けサービスの認知度

問43. あなたは介護保険サービス以外で、次の高齢者向けサービスを知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

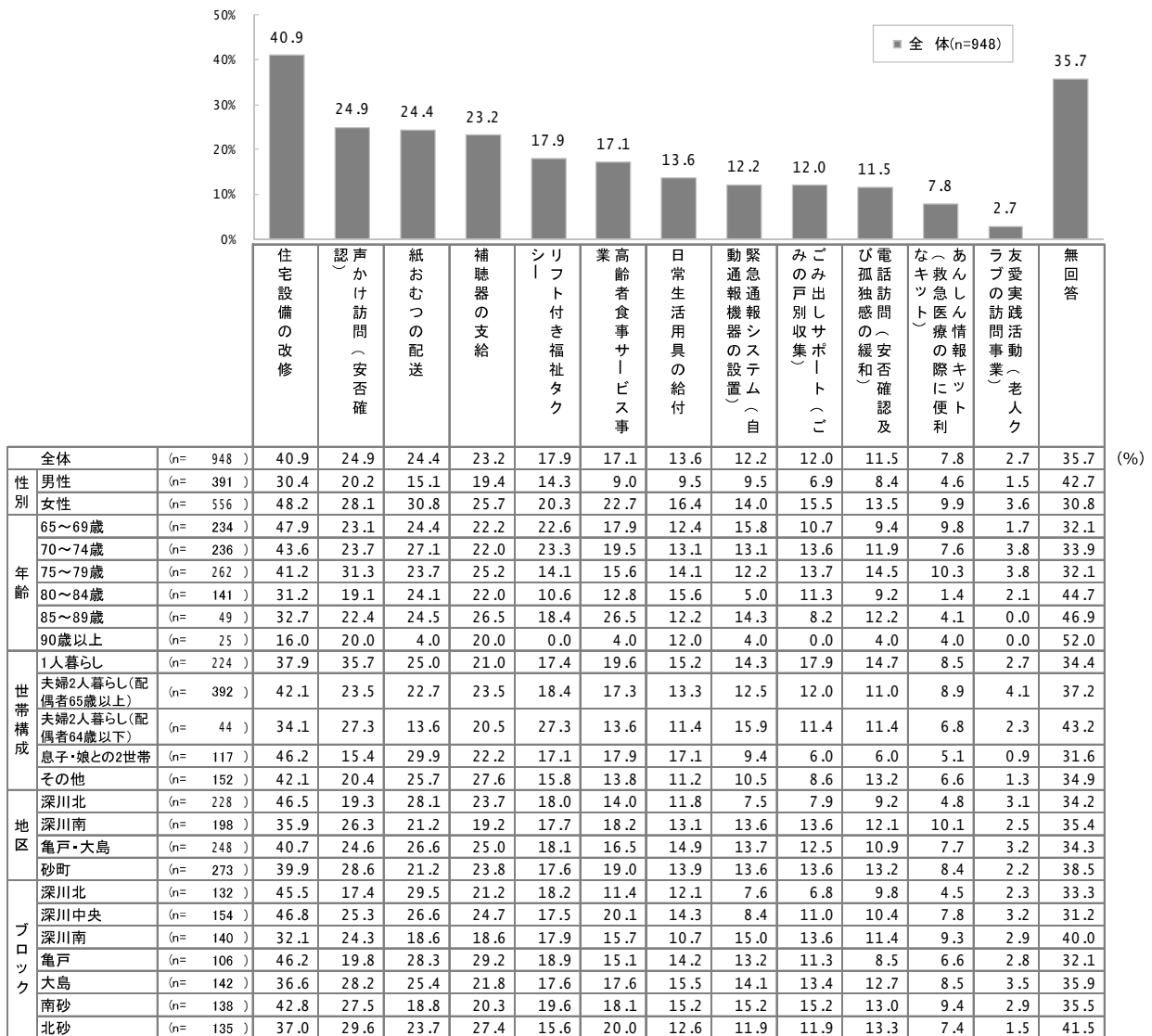
介護保険サービス以外の高齢者向けサービスの認知度については、全体の35.7%は「無回答」であるが、残りの6割超の方は何らかのサービスを知っていると回答している。そのなかでは「住宅設備の改修」(40.9%)が最も高く、次いで「声かけ訪問(安否確認)」(24.9%)、「紙おむつの配送」(24.4%)、「補聴器の支給」(23.2%)などとなっている。

性別では、男性に比べると女性で各サービスの認知度が高い。

年齢別では、全体としては認知度が最も高い「住宅設備の改修」は、高年齢の方ほど認知度は低い傾向がある。

世帯構成別では、「声かけ訪問(安否確認)」が、1人暮らしの方で認知度が高いのに対して、息子・娘の2世帯では低い。

図表 Ⅱ③-79 介護保険サービス以外の高齢者向けサービスの認知度



③ 情報やサービスの入手方法

問4 4 あなたは問4 2及び問4 3で回答した情報やサービスを、どのようにして知りましたか。
(あてはまるものすべてに○)

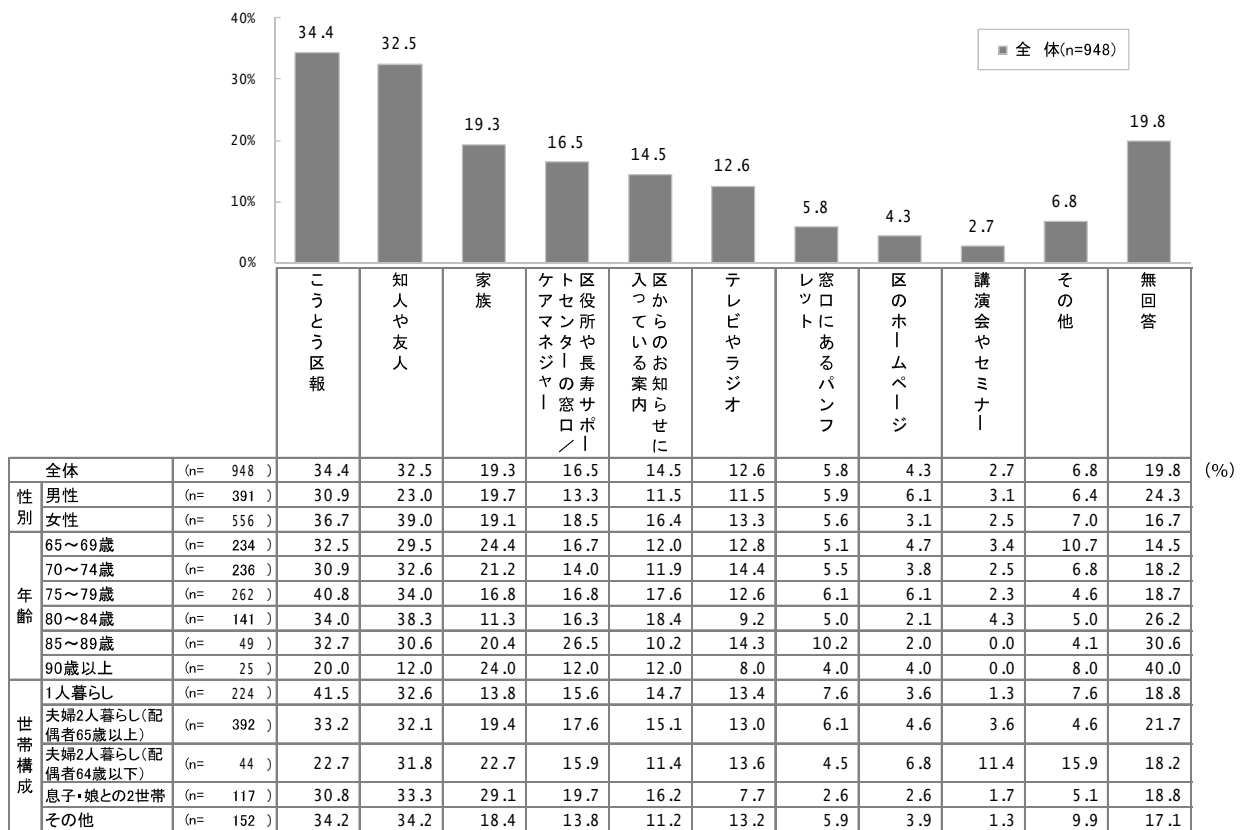
情報やサービスの入手方法は、「こうとう区報」(34.4%)が最も高く、次いで「知人や友人」(32.5%)、「家族」(19.3%)などとなっている。

性別では、男性に比べると女性では特に「知人や友人」の割合が高い。

年齢別では、いずれの年代も「こうとう区報」「知人や友人」「家族」からの割合が高いが、85～89歳では「区役所や長寿サポートセンターの窓口/ケアマネジャー」からの認知も26.5%である。

世帯構成別では、一人暮らしの方で「こうとう区報」からの認知が4割以上である。

図表 Ⅱ③-80 情報やサービスの入手方法



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

④ 区の高齢者食事サービス事業の利用意向

問45. あなたは、区の配食サービスである高齢者食事サービス事業を利用してみたいですか。
(ひとつだけ○)

区の高齢者食事サービス事業の利用意向については、「既に利用している」(0.1%)、「利用してみたい」(18.2%)、「利用したくない」(64.9%)となっている。

図表 Ⅱ③-81 区の高齢者食事サービス事業の利用意向

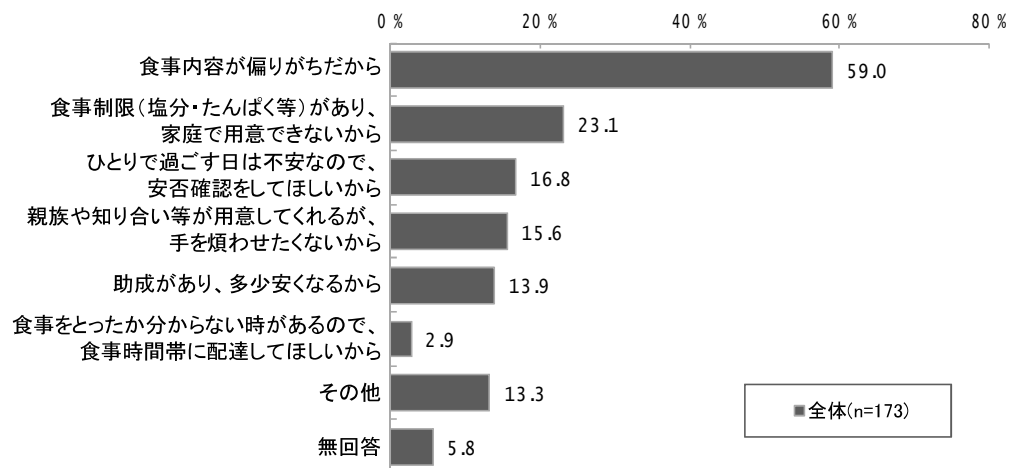
		既に利用している	利用してみたい	自費で民間の配食サービスを利用している	利用したくない	無回答	(%)
凡例		0.1	18.2	0.9	64.9	15.8	
性別	全体 (n= 948)	0.1	18.2	0.9	64.9	15.8	
	男性 (n= 391)	0.0	16.9	1.3	67.5	14.3	
	女性 (n= 556)	0.2	19.2	0.7	62.9	16.9	
年齢	65～69歳 (n= 234)	0.0	16.7	1.3	71.8	10.3	
	70～74歳 (n= 236)	0.4	18.6	1.3	68.2	11.4	
	75～79歳 (n= 262)	0.0	16.8	0.0	65.6	17.6	
	80～84歳 (n= 141)	0.0	22.0	2.1	51.1	24.8	
	85～89歳 (n= 49)	0.0	20.4	0.0	53.1	26.5	
	90歳以上 (n= 25)	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	0.0	20.5	0.9	62.1	16.5	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	0.0	16.8	0.5	68.1	14.5	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	0.0	15.9	2.3	70.5	11.4	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	0.9	19.7	0.0	60.7	18.8	
	その他 (n= 152)	0.0	18.4	1.3	64.5	15.8	
地区	深川北 (n= 228)	0.4	20.6	1.3	65.4	12.3	
	深川南 (n= 198)	0.0	15.7	1.0	67.7	15.7	
	亀戸・大島 (n= 248)	0.0	18.5	1.2	62.9	17.3	
	砂町 (n= 273)	0.0	17.9	0.4	64.1	17.6	
ブロック	深川北 (n= 132)	0.0	21.2	0.8	65.2	12.9	
	深川中央 (n= 154)	0.6	19.5	2.6	65.6	11.7	
	深川南 (n= 140)	0.0	14.3	0.0	68.6	17.1	
	亀戸 (n= 106)	0.0	17.9	0.9	63.2	17.9	
	大島 (n= 142)	0.0	19.0	1.4	62.7	16.9	
	南砂 (n= 138)	0.0	15.2	0.7	65.2	18.8	
	北砂 (n= 135)	0.0	20.7	0.0	63.0	16.3	

⑤ 高齢者食事サービス事業を利用したい理由

問45-1. (「2 利用してみたい」と回答した方へ) 利用したい理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

高齢者食事サービス事業を利用したい理由としては、「食事内容が偏りがちだから」(59.0%)が最も高く、次いで「食事制限(塩分・たんぱく等)があり、家庭で用意できないから」(23.1%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-82 高齢者食事サービス事業を利用したい理由

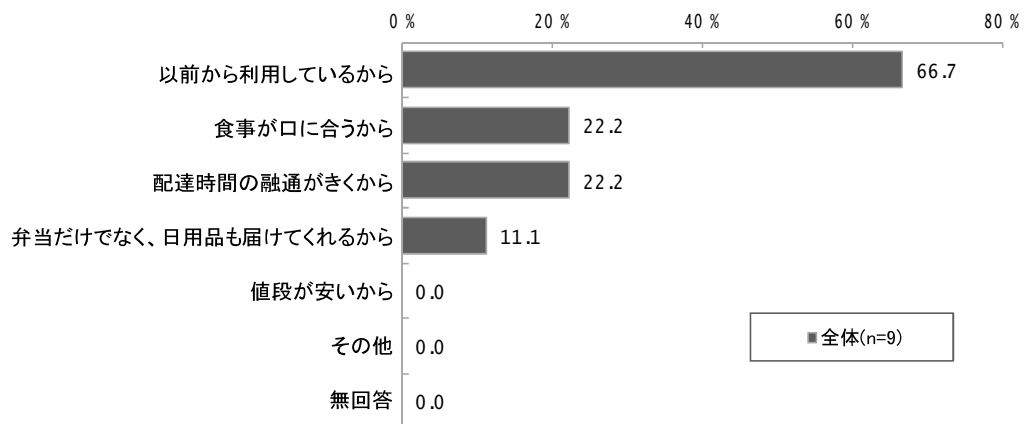


⑥ 自費で民間業者を利用している理由

問45-2. (「3 自費で民間の配食サービスを利用している」と回答した方へ) 自費で民間業者を利用している理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

自費で民間業者を利用している理由としては、「以前から利用しているから」(66.7%)が最も高く、次いで「食事が口に合うから」、「配達時間の融通がきくから」(ともに 22.2%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-83 自費で民間業者を利用している理由



10. 現在のお住まいの地域や住宅について

① 親や子ども世帯との同居や近居を望むか

問46. あなたは、親や子ども世帯と同居や近居を望みますか。 (ひとつだけ○)

親や子ども世帯との同居や近居を望むかについては、「はい」＝「望む」(43.7%)、「いいえ」＝「望まない」(43.6%)となっている。

年齢別では、「はい」の割合が高年齢の方ほど高い傾向がある。

世帯構成別では、「はい」の割合が、息子・娘との2世帯で高い。

図表 II③-84 親や子ども世帯との同居や近居を望むか

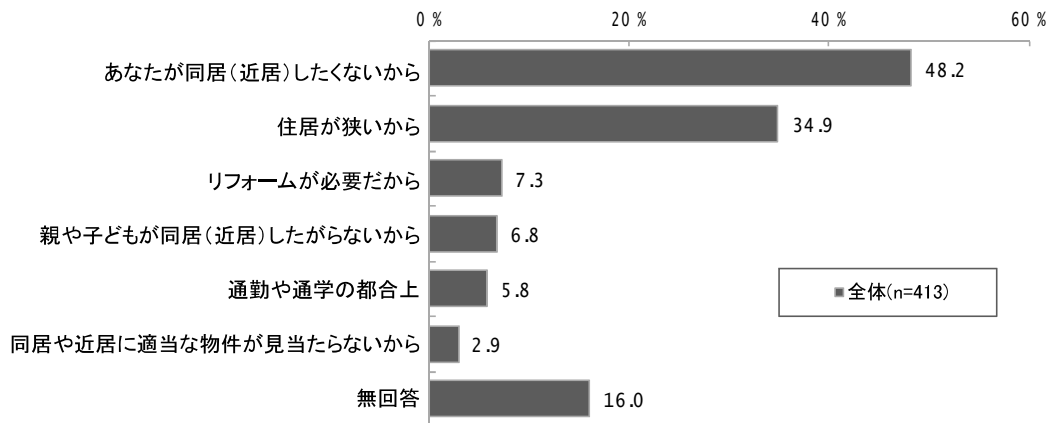
		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
	全体 (n= 948)	43.7	43.6	12.8	
性別	男性 (n= 391)	40.9	48.1	11.0	
	女性 (n= 556)	45.5	40.5	14.0	
年齢	65～69歳 (n= 234)	40.2	52.6	7.3	
	70～74歳 (n= 236)	43.6	44.5	11.9	
	75～79歳 (n= 262)	41.2	45.8	13.0	
	80～84歳 (n= 141)	47.5	35.5	17.0	
	85～89歳 (n= 49)	53.1	16.3	30.6	
	90歳以上 (n= 25)	60.0	28.0	12.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	27.2	52.7	20.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	34.4	55.4	10.2	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	43.2	52.3	4.5	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	80.3	12.0	7.7	
	その他 (n= 152)	63.2	23.0	13.8	
地区	深川北 (n= 228)	45.2	45.6	9.2	
	深川南 (n= 198)	43.9	43.9	12.1	
	亀戸・大島 (n= 248)	43.1	40.7	16.1	
	砂町 (n= 273)	42.5	44.3	13.2	
ブロック	深川北 (n= 132)	43.2	46.2	10.6	
	深川中央 (n= 154)	48.7	41.6	9.7	
	深川南 (n= 140)	41.4	47.1	11.4	
	亀戸 (n= 106)	44.3	40.6	15.1	
	大島 (n= 142)	42.3	40.8	16.9	
	南砂 (n= 138)	46.4	40.6	13.0	
	北砂 (n= 135)	38.5	48.1	13.3	

② 親や子ども世帯との同居や近居を望まない理由

問46-1. (いいえの方へ) その理由を教えてください。 (あてはまるものすべてに○)

親や子ども世帯との同居や近居を望まない理由としては、「あなたが同居(近居)したくないから」(48.2%)が最も高く、次いで「住居が狭いから」(34.9%)、「リフォームが必要だから」(7.3%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-85 親や子ども世帯との同居や近居を望まない理由



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

③ お住まいの住宅の建物の種類

問 4 7. あなたの現在お住まいの住宅の建物の種類を教えてください。(ひとつだけ〇)

お住まいの住宅の建物の種類については、「一戸建て(持ち家)」(23.5%)、「一戸建て(借家)」(1.3%)、「集合住宅(持ち家)」(41.2%)、「集合住宅(民間賃貸住宅)」(8.6%)、「集合住宅(公営賃貸住宅)」(21.3%)となっている。

年齢別では、85～89歳で「一戸建て(持ち家)」、65～69歳で「集合住宅(持ち家)」、80～84歳では「集合住宅(公営賃貸住宅)」の割合がそれぞれ高い。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者の年齢問わず)で「集合住宅(持ち家)」の割合が高い。

図表 Ⅱ③-86 お住まいの住宅の建物の種類

		一戸建て(持ち家)	一戸建て(借家)	集合住宅(持ち家)	集合住宅(民間賃貸住宅)	集合住宅(公営賃貸住宅)	無回答	(%)
凡例								
	全体 (n= 948)	23.5	1.3	41.2	8.6	21.3	4.0	
性別	男性 (n= 391)	24.0	2.3	41.9	7.9	20.2	3.6	
	女性 (n= 556)	23.0	0.5	40.8	9.2	22.1	4.3	
年齢	65～69歳 (n= 234)	23.5	0.9	50.4	10.7	12.0	2.6	
	70～74歳 (n= 236)	21.6	1.3	45.8	8.9	19.9	2.5	
	75～79歳 (n= 262)	20.6	1.1	41.6	6.1	27.5	3.1	
	80～84歳 (n= 141)	26.2	2.8	24.1	8.5	29.8	8.5	
	85～89歳 (n= 49)	36.7	0.0	28.6	10.2	14.3	10.2	
	90歳以上 (n= 25)	28.0	0.0	32.0	12.0	24.0	4.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	12.9	1.3	28.1	20.5	32.1	4.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	21.7	0.8	48.2	4.6	21.4	3.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	13.6	0.0	61.4	11.4	9.1	4.5	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	44.4	0.0	29.1	4.3	18.8	3.4	
その他 (n= 152)	30.3	2.6	48.0	4.6	11.2	3.3		
地区	深川北 (n= 228)	35.5	1.8	43.4	10.1	6.1	3.1	
	深川南 (n= 198)	8.1	0.0	47.0	10.1	29.3	5.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	27.8	2.0	35.5	8.9	23.0	2.8	
	砂町 (n= 273)	20.5	1.1	40.7	6.2	26.7	4.8	
ブロック	深川北 (n= 132)	35.6	2.3	41.7	10.6	6.8	3.0	
	深川中央 (n= 154)	30.5	0.6	48.1	9.7	8.4	2.6	
	深川南 (n= 140)	2.1	0.0	45.0	10.0	35.7	7.1	
	亀戸 (n= 106)	34.0	1.9	40.6	9.4	11.3	2.8	
	大島 (n= 142)	23.2	2.1	31.7	8.5	31.7	2.8	
	南砂 (n= 138)	14.5	0.7	40.6	3.6	31.9	8.7	
	北砂 (n= 135)	26.7	1.5	40.7	8.9	21.5	0.7	

④ 住んでいる階層（主に生活する部屋）

問4 7-1. 「集合住宅」と回答した方に伺います。あなたが住んでいる階（主に生活する部屋）を教えてください。また、建物にエレベーターは設置されていますか。

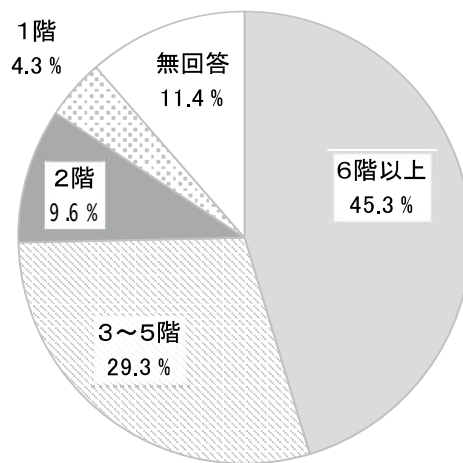
（ひとつだけ〇）

住んでいる階層（主に生活する部屋）は、「6階以上」（45.3%）、「3～5階」（29.3%）、「2階」（9.6%）、「1階」（4.3%）となっている。

2階以上に住んでいる場合のエレベーター設置状況では、2階では「エレベーターがある」が15.6%、3～5階では63.9%となっている。

3～5階に住んでいて「エレベーターの設置がない」割合をみると、地区別・ブロック別では、深川南地区（ブロック）が高い。

図表 Ⅱ③-87 住んでいる階層（主に生活する部屋）



（全体：n=675）

図表 Ⅱ③-88 エレベーター設置の有無

		住んでいる階（主な生活する階）						(%)	
		2階			3～5階				
		エレベーターの設置について			エレベーターの設置について				
		ある	ない	無回答	ある	ない	無回答		
全体	(n= 263)	15.6	8.0	1.1	63.9	10.6	0.8		
世帯構成	1人暮らし	(n= 83)	18.1	13.3	1.2	48.2	18.1	1.2	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 99)	19.2	4.0	0.0	71.7	4.0	1.0	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 13)	0.0	0.0	15.4	69.2	15.4	0.0	
	息子・娘との2世帯	(n= 28)	14.3	0.0	0.0	78.6	7.1	0.0	
	その他	(n= 35)	8.6	14.3	0.0	68.6	8.6	0.0	
地区	深川北	(n= 60)	18.3	8.3	0.0	61.7	10.0	1.7	
	深川南	(n= 59)	8.5	6.8	0.0	57.6	25.4	1.7	
	亀戸・大島	(n= 64)	10.9	15.6	1.6	67.2	4.7	0.0	
	砂町	(n= 80)	22.5	2.5	2.5	67.5	5.0	0.0	
ブロック	深川北	(n= 32)	12.5	9.4	0.0	59.4	15.6	3.1	
	深川中央	(n= 46)	17.4	8.7	0.0	63.0	10.9	0.0	
	深川南	(n= 41)	9.8	4.9	0.0	56.1	26.8	2.4	
	亀戸	(n= 21)	19.0	23.8	4.8	38.1	14.3	0.0	
	大島	(n= 43)	7.0	11.6	0.0	81.4	0.0	0.0	
	南砂	(n= 36)	30.6	5.6	0.0	63.9	0.0	0.0	
	北砂	(n= 44)	15.9	0.0	4.5	70.5	9.1	0.0	

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

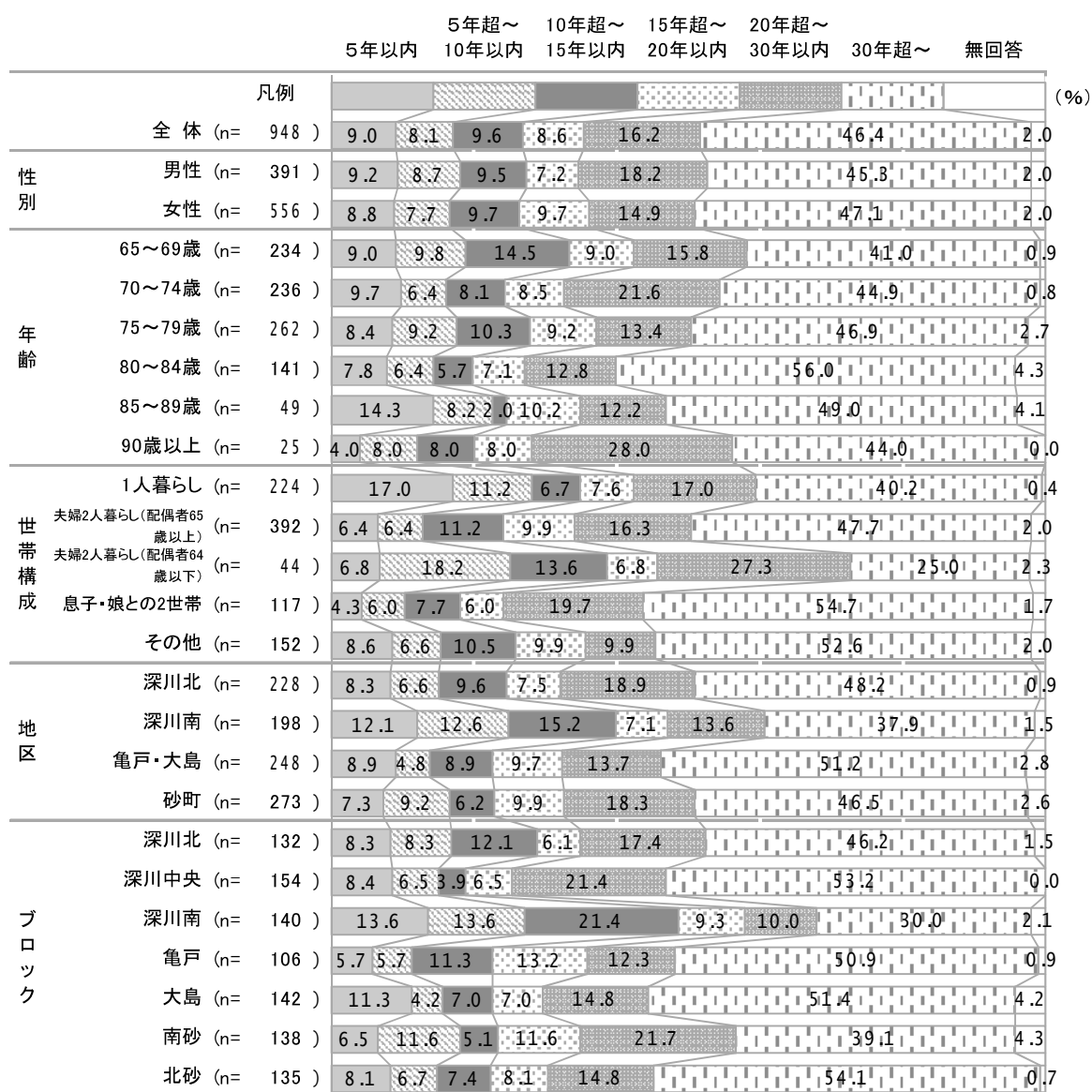
⑤ 住宅の居住年数

問 4 8 あなたは現在お住まいの住宅に住んで何年になりますか。 (ひとつだけ○)

住宅の居住年数は、「5年以内」(9.0%)、「5年超～10年以内」(8.1%)、「10年超～15年以内」(9.6%)、「15年超～20年以内」(8.6%)、「20年超～30年以内」(16.2%)、「30年超～」(46.4%)となっている。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「20年超～30年以内」の割合が他の世帯と比べると高い。

図表 Ⅱ③-89 住宅の居住年数



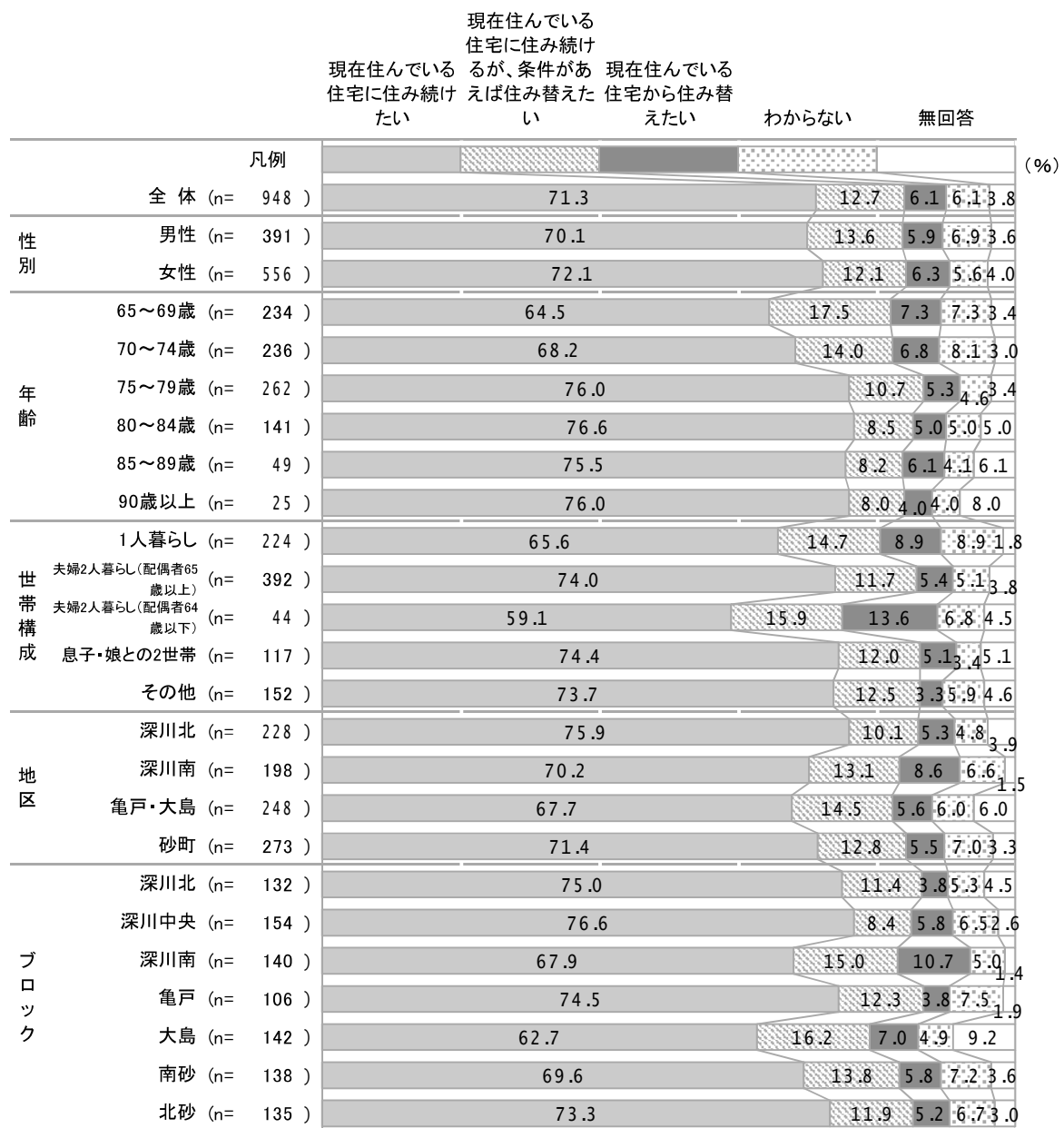
⑥ 現在の住宅に住み続けたいか

問 4 9. あなたは、今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか。
(ひとつだけ〇)

現在の住宅に住み続けたいかについては、全体の7割超(71.3%)は「現在住んでいる住宅に住み続けたい」としており、「現在住んでいる住宅に住み続けるが、条件があれば住み替えたい」(12.7%)、「現在住んでいる住宅から住み替えたい」(6.1%)、「わからない」(6.1%)となっている。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「現在住んでいる住宅から住み替えたい」の回答割合が他の世帯に比べて高い。

図表 Ⅱ③-90 現在の住宅に住み続けたいか



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑦ 現在の住宅に住み続ける理由

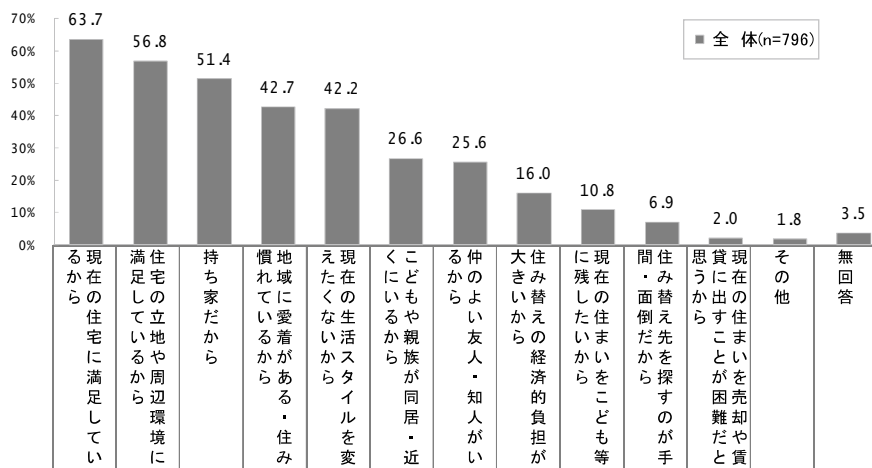
問 4 9-1. (「1 現在住んでいる住宅に住み続けたい」「2 現在住んでいる住宅に住み続けるが、条件があれば住み替えたい」と回答した方に伺います。) あなたがそう思われる理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

現在の住宅に住み続ける理由は、「現在の住宅に満足しているから」(63.7%) が最も高くなっている。次いで、「住宅の立地や周辺環境に満足しているから」(56.8%)、「持ち家だから」(51.4%) などとなっている。

住宅の種類別では、持ち家の場合は、一戸建て、集合住宅に限らず「持ち家だから」という理由がトップで7割を超える。また、集合住宅(持ち家)では、集合住宅(賃貸住宅)と比べて「現在の住宅に満足しているから」(69.7%)、「住宅の立地や周辺環境に満足しているから」(64.0%)、「現在の生活スタイルを変えたくないから」(48.2%) と高い割合となっている。

地区別では、深川北地区で「持ち家だから」が6割を超えており、ブロック別でも深川北・深川中央ブロックで6割を超えている。

図表 Ⅱ③-91 現在の住宅に住み続ける理由



		(n= 796)	63.7	56.8	51.4	42.7	42.2	26.6	25.6	16.0	10.8	6.9	2.0	1.8	3.5	(%)
住宅の種類	全体	(n= 796)	63.7	56.8	51.4	42.7	42.2	26.6	25.6	16.0	10.8	6.9	2.0	1.8	3.5	(%)
	一戸建て(持ち家)	(n= 196)	60.7	50.5	78.1	52.0	38.8	32.7	28.1	16.8	18.9	5.1	2.6	2.6	3.1	
	一戸建て(借家)	(n= 8)	87.5	37.5	0.0	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	集合住宅(持ち家)	(n= 353)	69.7	64.0	70.0	38.8	48.2	28.9	24.1	14.2	13.0	8.5	2.5	0.8	2.3	
	集合住宅(民間賃貸住宅)	(n= 51)	49.0	43.1	0.0	31.4	31.4	29.4	25.5	23.5	0.0	11.8	2.0	2.0	5.9	
地区	深川北	(n= 196)	67.3	62.8	63.3	43.4	43.4	29.1	27.6	13.3	14.3	9.2	2.0	2.6	2.6	
	深川南	(n= 165)	67.3	55.8	42.4	42.4	46.7	23.0	20.0	18.8	12.1	6.7	1.2	1.2	4.8	
	亀戸・大島	(n= 204)	61.3	55.4	52.0	45.1	37.7	29.9	25.0	18.1	6.9	6.9	1.5	1.5	2.5	
	砂町	(n= 230)	60.0	53.5	47.0	40.0	41.7	23.9	28.3	14.3	10.0	5.2	3.0	1.7	4.3	
ブロック	深川北	(n= 114)	66.7	62.3	64.9	38.6	43.0	22.8	24.6	12.3	11.4	7.0	2.6	0.9	3.5	
	深川中央	(n= 131)	72.5	65.6	61.1	50.4	47.3	33.6	28.2	14.5	17.6	9.2	0.8	3.1	2.3	
	深川南	(n= 116)	62.1	50.0	34.5	38.8	44.0	21.6	19.0	20.7	10.3	7.8	1.7	1.7	5.2	
	亀戸	(n= 92)	59.8	45.7	55.4	40.2	30.4	32.6	22.8	15.2	3.3	5.4	2.2	1.1	3.3	
	大島	(n= 112)	62.5	63.4	49.1	49.1	43.8	27.7	26.8	20.5	9.8	8.0	0.9	1.8	1.8	
	南砂	(n= 115)	64.3	62.6	45.2	41.7	40.9	23.5	30.4	13.9	11.3	5.2	4.3	2.6	2.6	
	北砂	(n= 115)	55.7	44.3	48.7	38.3	42.6	24.3	26.1	14.8	8.7	5.2	1.7	0.9	6.1	

⑧ 現在の住宅に住み続ける場合に、住宅をどのようにしたいか

問 4 9-2. 引き続き「1 現在住んでいる住宅に住み続けたい」「2 現在住んでいる住宅に住み続けるが、条件があえば住み替えたい」と回答した方に伺います。現在住んでいる住宅に住み続ける場合、あなたは住宅をどのようにしたいと思いますか。(ひとつだけ〇)

現在の住宅に住み続ける場合に住宅をどのようにしたいかは、「このままでよい」(55.0%)、「建て替えたい」(2.8%)、「リフォームしたい」(14.9%)、「二世帯住宅にしたい」(0.6%)、「わからない」(2.0%)となっている。

住宅の種類別では、いずれも「このままでよい」が最も高いが、集合住宅(持ち家)では、「リフォームしたい」が21.5%となっている。

図表 Ⅱ③-92 現在の住宅に住み続ける場合に、住宅をどのようにしたいか

		このままでよい	建て替えたい	リフォームしたい	二世帯住宅にしたい	その他	わからない	無回答	(%)
全体	(n= 796)	55.0	2.8	14.9	0.6	2.8	2.0	21.9	
住宅の種類	一戸建て(持ち家)	(n= 196)	56.1	8.7	14.3	0.5	2.6	2.6	15.3
	一戸建て(借家)	(n= 8)	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0
	集合住宅(持ち家)	(n= 353)	55.8	0.8	21.5	0.6	3.7	1.1	16.4
	集合住宅(民間賃貸住宅)	(n= 51)	49.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	47.1
	集合住宅(公営賃貸住宅)	(n= 165)	52.7	1.2	7.3	1.2	1.8	2.4	33.3
地区	深川北	(n= 196)	56.6	3.6	12.8	1.0	2.6	2.6	20.9
	深川南	(n= 165)	63.0	1.2	13.3	0.6	3.6	1.2	17.0
	亀戸・大島	(n= 204)	47.1	4.9	16.7	0.5	3.9	3.4	23.5
	砂町	(n= 230)	54.8	1.3	16.5	0.4	1.3	0.9	24.8
ブロック	深川北	(n= 114)	53.5	4.4	9.6	0.0	4.4	1.8	26.3
	深川中央	(n= 131)	62.6	2.3	16.8	1.5	0.8	2.3	13.7
	深川南	(n= 116)	62.1	0.9	12.1	0.9	4.3	1.7	18.1
	亀戸	(n= 92)	50.0	5.4	16.3	0.0	5.4	4.3	18.5
	大島	(n= 112)	44.6	4.5	17.0	0.9	2.7	2.7	27.7
	南砂	(n= 115)	56.5	0.0	20.9	0.9	0.9	0.0	20.9
	北砂	(n= 115)	53.0	2.6	12.2	0.0	1.7	1.7	28.7

Ⅱ 調査結果の概要

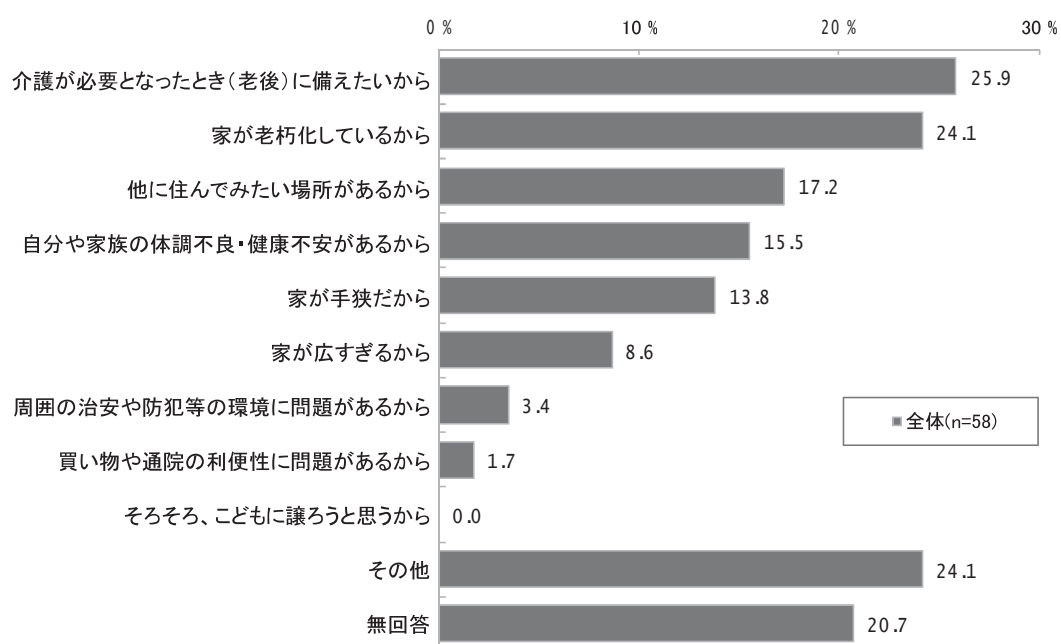
調査③ 在宅生活継続意向調査

⑨ 現在の住宅から住み替えたい理由

問 4 9-3. 「3 現在住んでいる住宅から住み替えたい」と回答した方に伺います。あなたが住み替えたいと思う理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

現在の住宅から住み替えたい理由については、「介護が必要となったとき(老後)に備えたいから」(25.9%)が最も高く、次いで、「家が老朽化しているから」(24.1%)、「他に住んでみたい場所があるから」(17.2%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-93 現在の住宅から住み替えたい理由

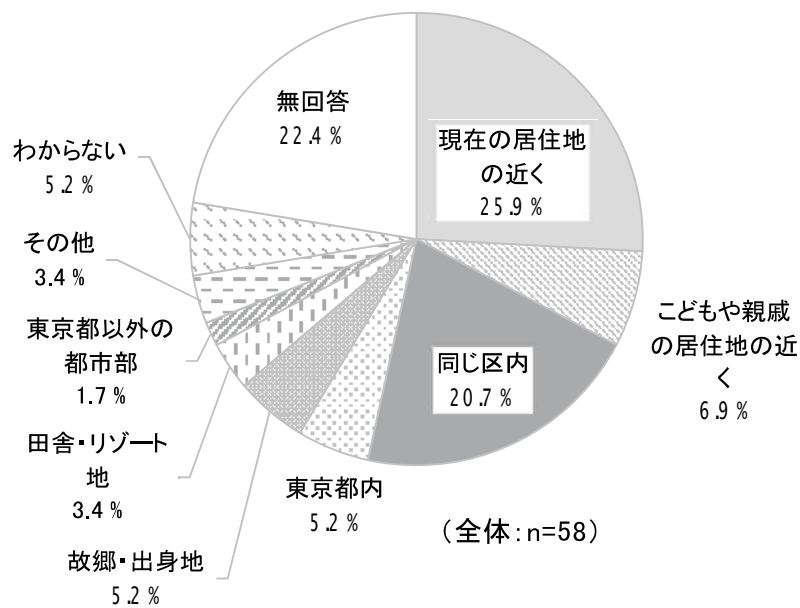


⑩ 現在の住宅から住み替えたい場所

問49-4. 引き続き「3 現在住んでいる住宅から住み替えたい」と回答した方に伺います。
どのような場所に住み替えたいですか。 (ひとつだけ○)

現在の住宅から住み替えたい場所としては、「現在の居住地の近く」(25.9%)が最も高く、次いで「同じ区内」(20.7%)となっている。

図表 Ⅱ③-94 現在の住宅から住み替えたい場所



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

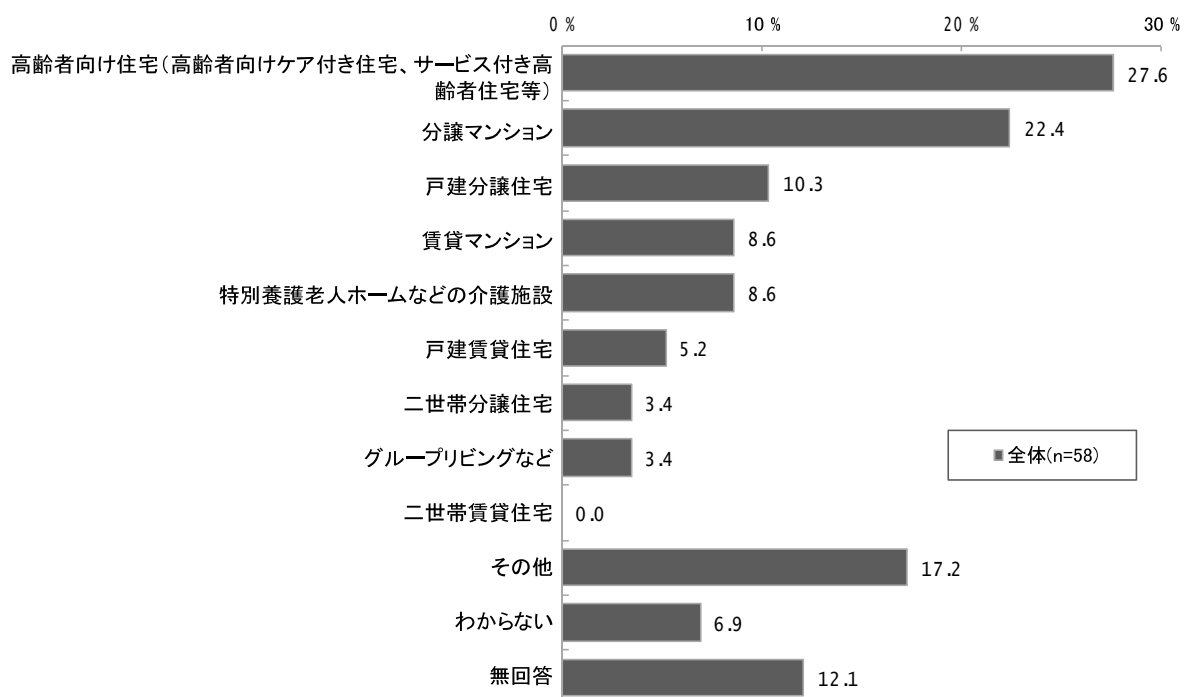
⑪ 現在の住宅から住み替えたい住宅の種類

問 4 9-5. 引き続き「3 現在住んでいる住宅から住み替えたい」と回答した方に伺います。
あなたが最も住み替えたいと思うのは、どのような住宅ですか。

(あてはまるものすべてに○)

現在の住宅から住み替えたい住宅の種類については、「高齢者向け住宅（高齢者向けケア付き住宅、サービス付き高齢者住宅等）」（27.6%）が最も高く、次いで、「分譲マンション」（22.4%）、
「戸建分譲住宅」（10.3%）などとなっている。

図表 Ⅱ③-95 現在の住宅から住み替えたい住宅の種類



⑫ バリアフリーのためのリフォームを行う考えの有無

問50. 今後、バリアフリーのためのリフォームを行うお考えはありますか。

(ひとつだけ○)

バリアフリーのためのリフォームを行う考えの有無は、「ある」(18.5%)、「ない」(51.7%)、「わからない」(20.3%)となっている。

世帯構成別では、いずれもリフォームを行う考えは「ない」が約半数を占める。

住宅の種類別でも同様に、いずれも「ない」割合が高いが、一戸建て(持ち家)では、リフォームを行う考えが「ある」(25.6%)、集合住宅(持ち家)では「ある」(20.2%)である。

図表 Ⅱ③-96 バリアフリーのためのリフォームを行う考えの有無

			ある	ない	わからない	無回答	
全体		(n= 948)	18.5	51.7	20.3	9.6	(%)
世帯構成	1人暮らし	(n= 224)	12.5	52.7	19.6	15.2	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	(n= 392)	19.4	53.6	20.2	6.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	(n= 44)	22.7	56.8	20.5	0.0	
	息子・娘との2世帯	(n= 117)	17.9	47.9	20.5	13.7	
	その他	(n= 152)	21.1	49.3	22.4	7.2	
住宅の種類	一戸建て(持ち家)	(n= 223)	25.6	47.5	20.2	6.7	
	一戸建て(借家)	(n= 12)	0.0	50.0	25.0	25.0	
	集合住宅(持ち家)	(n= 391)	20.2	59.3	16.9	3.6	
	集合住宅(民間賃貸住宅)	(n= 82)	2.4	47.6	29.3	20.7	
	集合住宅(公営賃貸住宅)	(n= 202)	14.9	46.5	23.3	15.3	
地区	深川北	(n= 228)	20.6	53.5	19.3	6.6	
	深川南	(n= 198)	18.7	53.5	18.2	9.6	
	亀戸・大島	(n= 248)	16.5	53.2	19.8	10.5	
	砂町	(n= 273)	18.3	47.3	23.1	11.4	
ブロック	深川北	(n= 132)	18.9	57.6	16.7	6.8	
	深川中央	(n= 154)	23.4	48.7	20.8	7.1	
	深川南	(n= 140)	16.4	55.0	18.6	10.0	
	亀戸	(n= 106)	19.8	48.1	22.6	9.4	
	大島	(n= 142)	14.1	57.0	17.6	11.3	
	南砂	(n= 138)	19.6	46.4	25.4	8.7	
	北砂	(n= 135)	17.0	48.1	20.7	14.1	

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

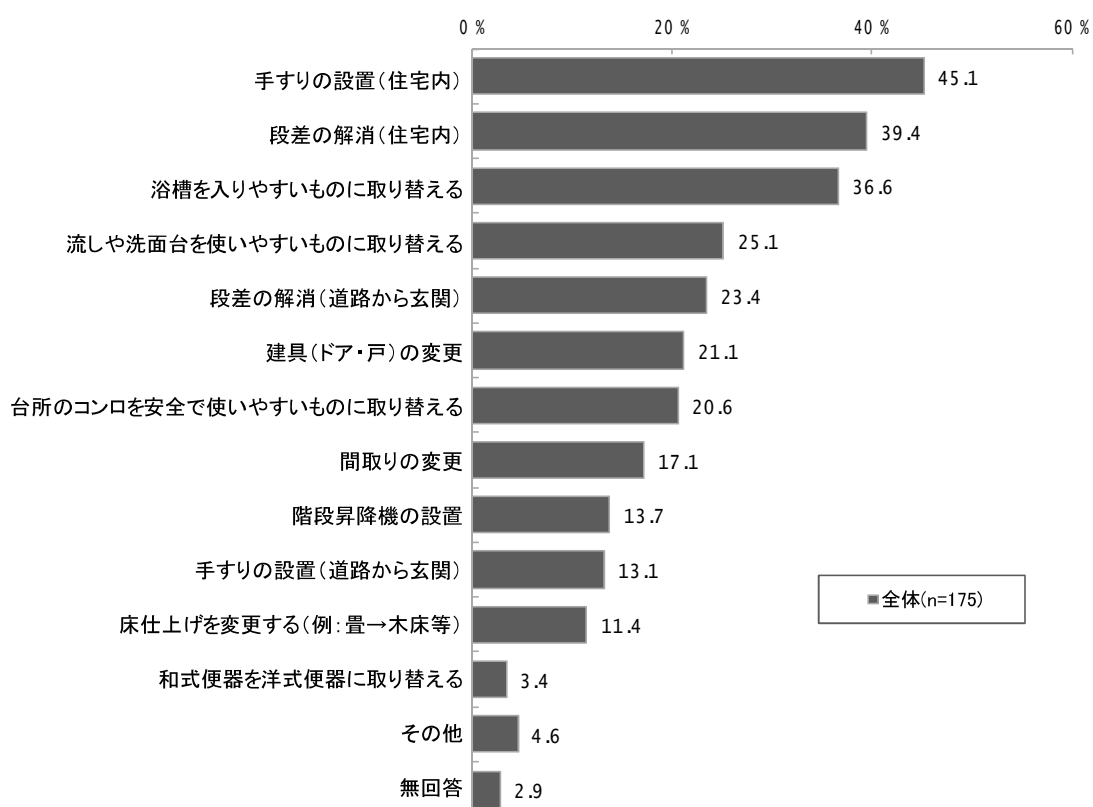
⑬ バリアフリーのためのリフォームの内容

問50-1. (「1 ある」と回答した方に伺います。) その内容を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

バリアフリーのためのリフォームの内容については、「手すりの設置 (住宅内)」(45.1%) が最も高く、次いで「段差の解消 (住宅内)」(39.4%)、「浴槽を入りやすいものに取り替える」(36.6%) などとなっている。

図表 Ⅱ③-97 バリアフリーのためのリフォームの内容

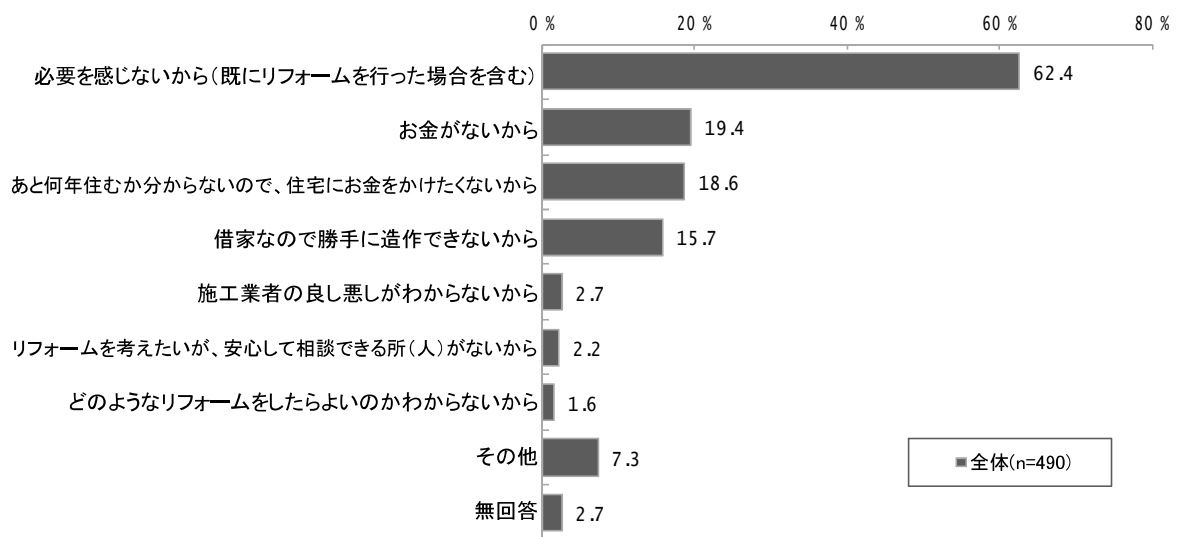


⑭ バリアフリーのためのリフォームを行わない理由

問50-2. (「2 ない」と回答した方に伺います。) リフォームを行わない理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

バリアフリーのためのリフォームを行わない理由としては、「必要を感じないから(既にリフォームを行った場合を含む)」(62.4%)が最も高く、次いで「お金がないから」(19.4%)、「あと何年住むか分からないので、住宅にお金をかけたくないから」(18.6%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-98 バリアフリーのためのリフォームを行わない理由



Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

⑮ サービス付き高齢者向け住宅の認知度

問51. あなたはサービス付き高齢者向け住宅を知っていますか。 (ひとつだけ〇)

サービス付き高齢者向け住宅の認知度については、「はい」＝「知っている」(50.9%)、「いいえ」＝「知らない」(38.6%)となっている。

年齢別では、65～69歳の認知度が高く、高年齢の方ほど認知度は低い。

図表 Ⅱ③-99 サービス付き高齢者向け住宅の認知度

		はい	いいえ	無回答	(%)
凡例					
全体 (n= 948)		50.9	38.6	10.4	
性別	男性 (n= 391)	43.7	46.8	9.5	
	女性 (n= 556)	55.9	32.9	11.2	
年齢	65～69歳 (n= 234)	61.5	34.6	3.8	
	70～74歳 (n= 236)	58.1	36.4	5.5	
	75～79歳 (n= 262)	46.2	40.8	13.0	
	80～84歳 (n= 141)	36.2	46.8	17.0	
	85～89歳 (n= 49)	38.8	32.7	28.6	
	90歳以上 (n= 25)	40.0	40.0	20.0	
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	47.8	37.9	14.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	53.3	38.8	7.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	50.0	50.0	0.0	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	47.0	36.8	16.2	
	その他 (n= 152)	53.3	38.2	8.6	
地区	深川北 (n= 228)	57.5	35.5	7.0	
	深川南 (n= 198)	51.5	38.4	10.1	
	亀戸・大島 (n= 248)	50.0	39.5	10.5	
	砂町 (n= 273)	45.8	40.7	13.6	
ブロック	深川北 (n= 132)	60.6	35.6	3.8	
	深川中央 (n= 154)	50.6	37.0	12.3	
	深川南 (n= 140)	53.6	37.9	8.6	
	亀戸 (n= 106)	43.4	46.2	10.4	
	大島 (n= 142)	54.9	34.5	10.6	
	南砂 (n= 138)	47.8	37.7	14.5	
	北砂 (n= 135)	43.7	43.7	12.6	

⑩ 東京都のサービス付き高齢者向け住宅の平均料金についてどう思うか

問52. 東京都のサービス付き高齢者向け住宅の平均料金（1 か月分、食費や生活支援サービス費を含む）は195,000円ですが、どう思いますか。（ひとつだけ○）

東京都のサービス付き高齢者向け住宅の平均料金（195,000円）についてどう思うかについては、「住居費や食費、見守り等が含まれているなら妥当だと思う」が全体の（17.8%）、「支払える範囲内だが、入居したいとは思わない」（10.4%）、「支払える限度を超えており、入居は考えない」（61.2%）となっている。

性別では、女性に比べると男性に「支払える範囲内だが、入居したいとは思わない」割合が高い。

図表 Ⅱ③-100 東京都のサービス付き高齢者向け住宅の平均料金についてどう思うか

		住居費や食費、見守り等が含まれているなら妥当だと思う	支払える範囲内だが、入居したいとは思わない	支払える限度を超えており、入居は考えない	無回答
凡例					(%)
	全体 (n= 948)	17.8	10.4	61.2	10.5
性別	男性 (n= 391)	17.6	14.1	58.8	9.5
	女性 (n= 556)	17.8	7.9	62.9	11.3
年齢	65～69歳 (n= 234)	18.4	10.3	64.1	7.3
	70～74歳 (n= 236)	15.7	11.0	66.5	6.8
	75～79歳 (n= 262)	16.8	9.9	63.7	9.5
	80～84歳 (n= 141)	19.1	9.9	51.8	19.1
	85～89歳 (n= 49)	18.4	14.3	46.9	20.4
	90歳以上 (n= 25)	32.0	8.0	40.0	20.0
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	17.4	6.7	63.8	12.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	18.4	13.5	57.9	10.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	18.2	6.8	72.7	2.3
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	17.1	6.0	63.2	13.7
	その他 (n= 152)	16.4	13.2	64.5	5.9
地区	深川北 (n= 228)	23.2	14.0	53.9	8.8
	深川南 (n= 198)	19.2	10.6	57.1	13.1
	亀戸・大島 (n= 248)	12.1	9.7	70.2	8.1
	砂町 (n= 273)	17.2	8.1	62.3	12.5
	ブロック	深川北 (n= 132)	22.7	11.4	56.1
深川中央 (n= 154)		23.4	16.9	50.0	9.7
深川南 (n= 140)		17.9	8.6	60.7	12.9
亀戸 (n= 106)		12.3	10.4	68.9	8.5
大島 (n= 142)		12.0	9.2	71.1	7.7
南砂 (n= 138)		18.8	8.0	60.1	13.0
北砂 (n= 135)		15.6	8.1	64.4	11.9

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

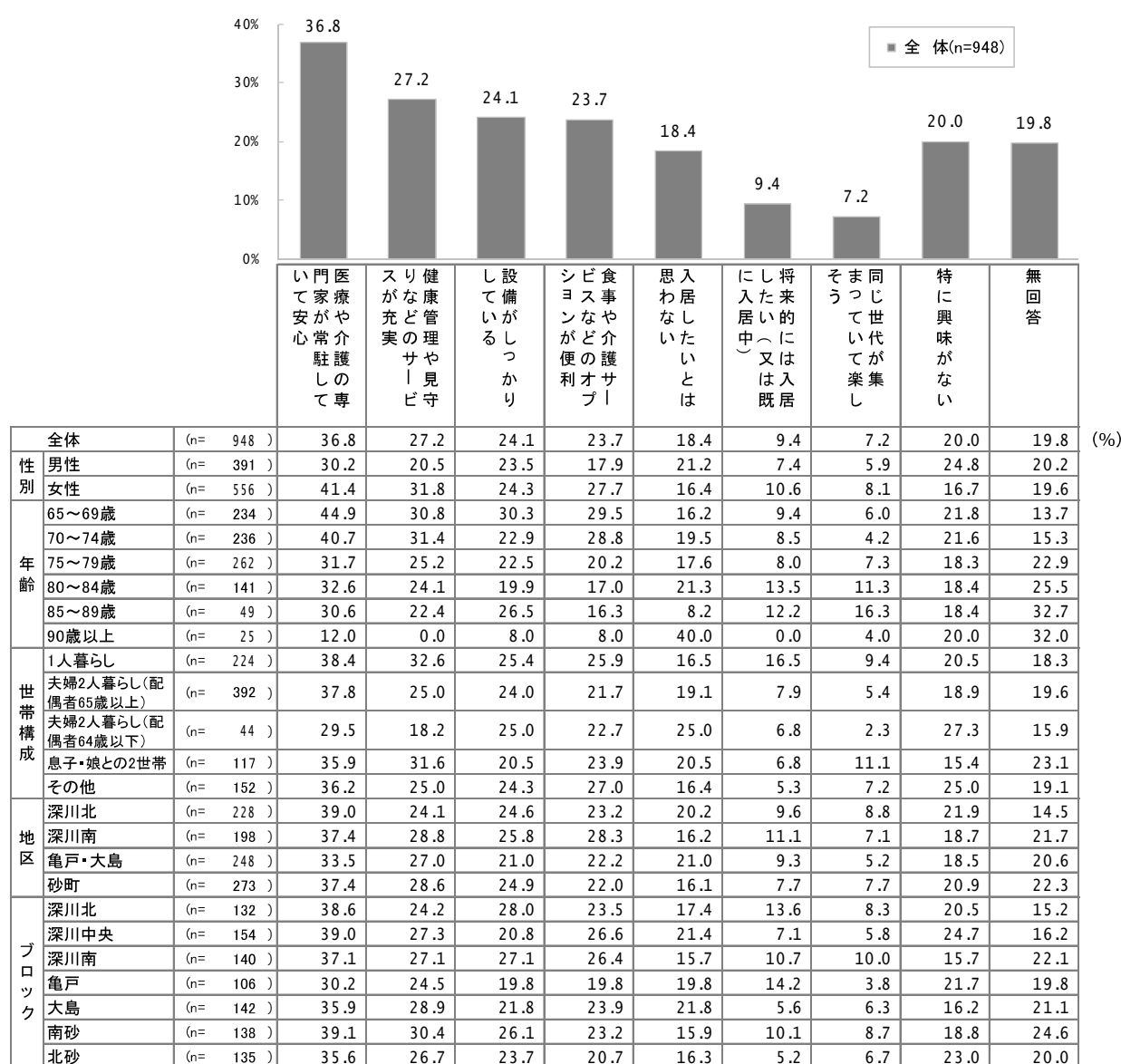
⑰ サービス付き高齢者向け住宅に対する印象

問53. サービス付き高齢者向け住宅に対する印象を教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

サービス付き高齢者向け住宅に対する印象としては、「医療や介護の専門家が常駐していて安心」(36.8%)が最も高く、次いで「健康管理や見守りなどのサービスが充実」(27.2%)、「設備がしっかりしている」(24.1%)などとなっている。なお、「特に興味がない」は全体の約2割となっている。

年齢別では、全体で印象が高い「医療や介護の専門家が常駐していて安心」は、高年齢の方ほど低い傾向がある。

図表 Ⅱ③-101 サービス付き高齢者向け住宅に対する印象



11. 将来について

① 人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているか

問54 人生の最終段階において、「受たい医療・介護」、あるいは「受たくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、あなたは普段、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。
(ひとつだけ○)

人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているかについては、「詳しく話し合っている」(2.8%)と「一応、話し合っている」(23.8%)を合わせた『話し合っている』割合が全体の26.6%となっている。それに対して「まだ話し合ったことはないが興味・関心はある」は全体の約半数52.6%である。

年齢別では、高年齢の方ほど『話し合っている』割合は高い傾向にある。

世帯構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者年齢問わず)で「興味・関心」がある割合が高い。

図表 Ⅱ③-102 人生の最終段階において、自分の希望や考えを話し合っているか

		詳しく話し合っている	一応、話し合っている	まだ話し合ったことはないが、興味・関心はある	まだ話し合ったことはないし、興味・関心もない	無回答
	凡例					(%)
	全体 (n= 948)	2.8	23.8	52.6	12.3	8.3
性別	男性 (n= 391)	1.5	20.5	53.5	16.1	8.4
	女性 (n= 556)	3.8	26.1	52.2	9.7	8.3
年齢	65～69歳 (n= 234)	1.7	23.9	55.6	12.0	6.8
	70～74歳 (n= 236)	2.5	23.3	55.1	14.0	5.1
	75～79歳 (n= 262)	3.4	22.1	54.2	13.7	6.5
	80～84歳 (n= 141)	3.5	24.8	46.8	9.9	14.9
	85～89歳 (n= 49)	2.0	30.6	42.9	8.2	16.3
	90歳以上 (n= 25)	8.0	24.0	40.0	8.0	20.0
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	3.1	19.6	50.0	15.2	12.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	2.8	25.0	55.9	9.4	6.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	4.5	22.7	59.1	11.4	2.3
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	3.4	28.2	44.4	14.5	9.4
	その他 (n= 152)	2.0	21.7	56.6	14.5	5.3
地区	深川北 (n= 228)	2.6	24.1	53.9	13.6	5.7
	深川南 (n= 198)	4.0	24.7	49.0	12.6	9.6
	亀戸・大島 (n= 248)	2.8	25.4	50.4	10.9	10.5
	砂町 (n= 273)	2.2	21.2	56.4	12.5	7.7
	その他 (n= 125)	2.4	23.6	53.6	11.3	7.1
ブロック	深川北 (n= 132)	1.5	26.5	53.8	11.4	6.8
	深川中央 (n= 154)	3.9	20.8	53.9	16.2	5.2
	深川南 (n= 140)	4.3	26.4	47.1	11.4	10.7
	亀戸 (n= 106)	2.8	22.6	50.9	12.3	11.3
	大島 (n= 142)	2.8	27.5	50.0	9.9	9.9
	南砂 (n= 138)	2.9	25.4	49.3	15.2	7.2
	北砂 (n= 135)	1.5	17.0	63.7	9.6	8.1

Ⅱ 調査結果の概要

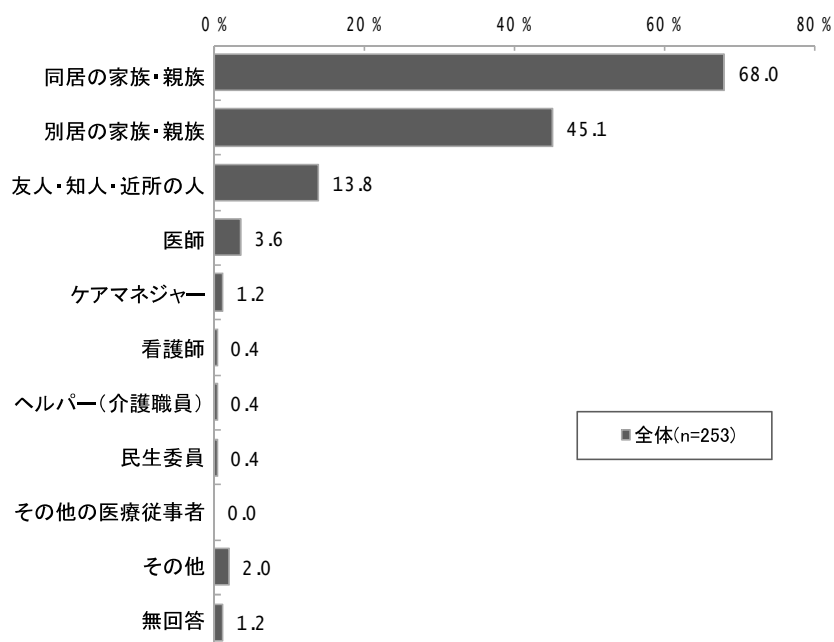
調査③ 在宅生活継続意向調査

② 話し合っている相手

問54-1 「1 詳しく話し合っている」「2 一応、話し合っている」方へ伺います。
話し合っている相手はどなたですか。 (あてはまるものすべてに○)

話し合っている相手については、「同居の家族・親族」(68.0%)が最も高く、次いで「別居の家族・親族」(45.1%)、「友人・知人・近所の人」(13.8%)などとなっている。

図表 Ⅱ③-103 話し合っている相手



③ 希望する介護場所

問55 あなたが介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいですか。
(ひとつだけ○)

希望する介護場所としては、「家族などの介護を受けながら自宅で暮らしたい」(15.6%)、「在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」(30.8%)、「有料老人ホームや特別養護老人ホームなどの「施設」で暮らしたい」(18.0%)、「サービスを受けられる「小規模施設」などを利用しながら暮らしたい」(10.2%)、「わからない」(17.3%)となっている。

年齢別では、90歳以上の方で「家族などの介護を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が高く顕著である。

図表 Ⅱ③-104 希望する介護場所

		家族などの介護を受けながら自宅で暮らしたい	在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい	有料老人ホームや特別養護老人ホームなどの「施設」で暮らしたい	サービスを受けられる「小規模施設」などを利用しながら暮らしたい	その他	わからない	無回答
凡例								(%)
全体 (n= 948)		15.6	30.8	18.0	10.2	17.3	6.3	
性別	男性 (n= 391)	18.4	29.2	19.2	10.2	16.9	5.4	
	女性 (n= 556)	13.7	31.8	17.3	10.3	17.6	7.0	
年齢	65～69歳 (n= 234)	11.5	30.8	23.9	11.1	17.5	3.0	
	70～74歳 (n= 236)	15.3	31.8	19.9	9.3	17.8	4.7	
	75～79歳 (n= 262)	15.3	32.8	12.6	10.3	18.3	9.2	
	80～84歳 (n= 141)	19.1	29.1	14.9	10.6	14.9	9.2	
	85～89歳 (n= 49)	14.3	24.5	22.4	8.2	22.4	6.1	
	90歳以上 (n= 25)		44.0	20.0	12.0	12.0	4.0	8.0
世帯構成	1人暮らし (n= 224)	7.6	30.4	20.1	16.1	17.0	6.7	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n= 392)	17.6	32.9	17.3	8.4	17.6	5.4	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n= 44)	13.6	31.8	27.3	6.8	18.2	2.3	
	息子・娘との2世帯 (n= 117)	27.4	25.6	12.8	7.7	12.8	11.1	
	その他 (n= 152)	12.5	30.9	18.4	9.9	21.1	4.6	
地区	深川北 (n= 228)	18.0	29.8	21.5	8.3	16.7	4.4	
	深川南 (n= 198)	17.7	30.3	18.7	9.1	16.2	6.6	
	亀戸・大島 (n= 248)	14.9	30.2	16.9	10.1	16.9	8.5	
	砂町 (n= 273)	12.8	32.2	15.8	12.8	19.0	5.9	
ブロック	深川北 (n= 132)	19.7	26.5	22.7	9.8	14.4	4.5	
	深川中央 (n= 154)	14.3	32.5	22.1	5.8	18.8	5.2	
	深川南 (n= 140)	20.0	30.7	15.7	10.7	15.7	6.4	
	亀戸 (n= 106)	12.3	29.2	17.0	5.7	23.6	8.5	
	大島 (n= 142)	16.9	31.0	16.9	13.4	12.0	8.5	
	南砂 (n= 138)	13.8	33.3	13.8	10.9	21.0	5.1	
	北砂 (n= 135)	11.9	31.1	17.8	14.8	17.0	6.7	

12. その他（あなたのお考えをお聞かせください）

【江東区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営への意見・要望】

問56. 江東区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営などへのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

以下は、主な意見を抜粋したものです。（一部表現を修正しています。）

【性別、年齢】

① 介護保険サービス、介護サービス事業者について

- ・在宅サービスを利用しながら、自宅で余生を送りたいと思っておりますが、終末近くになって家族に迷惑を掛けたくない為、区の特別養護老人ホームの入居を希望します。今後、このホームの拡充と待機時間の短縮を事業の最優先として頂きたくお願い致します。【男性、73歳】
- ・家庭事情で有料老人ホームはむずかしい人の為に、区の老人ホームがもっと入りやすく安心できる世の中になってほしい。【女性、77歳】
- ・施設で暮したい。1人ですが、経済的な選択が出来るように願いたい（希望）【男性、76歳】
- ・私はもし自分の介護が必要になったら、なるべく家族に負担をかけたくないので、介護施設に入所したいと考えています。自分の年金などでまかなえて、順番待ちなどない様に多くの施設を造っていただきたいです。安心して老後を過ごしたいと思っています。【女性、65歳】
- ・特別老人ホームへの申請から入所までの時間が長すぎます。是非、対策、対応をお願いします。【男性、67歳】
- ・江東区は高齢者福祉に手厚いと聞いてますが、これからの高齢者は生活様式や娯楽内容などどんどん変化しています。福祉においても時代遅れにならないようにアップデートして下さい。【女性、65歳】
- ・介護者の給料等待遇を上げてほしい。【男性、66歳】
- ・介護ヘルパーさんの仕事は大変だと思います。【女性、75歳】
- ・老人ホームの施設を充実させてほしいが、多世代と交流でき、地域とまた社会と密接した場であってほしい。また、現在住んでいる家で、家族の世話にならずに、離れず生活できたらうれしいかと思う。【女性、81歳】
- ・現在親が区の福祉サービスを受けて大変助けて頂いていますが、今後これから先老人が増えるので自分がこのようなサービスが受けられるのか不安があります。【女性、66歳】
- ・高齢者福祉施設を増してほしい。子供のいない人を優先に入居出来るようにしてほしい【女性、71歳】

② 介護保険料・介護保険制度全般について

- ・費用が意外にかかるので年金のみの生活では気軽には利用出来ないのでは？と思います。費用の算定についても何故に複雑な定め方をするのか分かりません。【女性、83歳】
- ・区には特にありませんが、介護認定の期間が2年→3年になるのは不満。最近介護認定がきびしくなっているように感じます。同居している母は要介護が3以上と私は思いますが2に留まっているのは疑問です。（特別養護老人ホームには入居できません3以上のため）【男性、67歳】
- ・他の自治体では介護施設でボランティアをして働いて、そのポイントにより将来介護が必要時利用出来ます。又スウェーデン等福祉国家はその人の能力が伸ばせる活動を中心に他の人の役に立っている自覚や役割が生れるよう指導のカリキュラムが作られ実行しているようです。日本のようにすべて出来ない者として扱わず運営の1部を担って（手伝）ってもらい（例下着をたたむ）等、福祉施策は押しつけや〇〇であるべきだと決めては将来継続が出来なくなります。【女性、72歳】
- ・高齢者への経済的負担に援助強化して欲しい。税負担、国保・介護保険負担を低減して欲しい。【男性、

66歳】

- ・介護の審査はなるべく早くお願いします【女性、75歳】

③ 介護予防・健康づくり、生きがい・社会参加について

- ・これからは100才時代。自分で働ける内は頑張っておいて居たい。今の毎日も元気に暮して居るので介護のお世話にならないようにしたい。【女性、84歳】
- ・今は夫と二人、何も不自由なく暮らしていますが、二人の娘は都外にいますが近くにいたら安心と思っている。みんな自分の生活があるから80才過ぎた二人なので近所の人とのふれあいを大切にしたい。【女性、81歳】
- ・現在の考えとして、現実と理想に若干食い違いがありますが、これより年令を重ねることによって、自分がどう変わっていくか、ある程度感じられますが、出来るかぎり世間の人が望んでいるとおりの健康寿命を維持していきたいと願いつつ身体を動かしている毎日です。【男性、78歳】
- ・現在は必要ありませんが自分の事ができているし、いまのままなら施設は望みません。老いのための行動が不便になった場合は多くは望みませんが自宅での介助と思います。そうならない様日々動いています。【女性、70歳】
- ・高齢夫婦です。アンケートの内容を見ながら、今後の老後生活を真剣に考え、できる限り自分達で努力しなくてはと考えております。区における介護事業等も知る事が出来ました。有難うございました。【男性、81歳】
- ・今の所、健康なのでまだ、せつぱつまった感じはありません。が、将来的には、お金のかからない老人ホーム、施設等を考えざるを得なくなるかと。使える財産もないので。その為なるべく、長期で健康でいられるよう、運動等、頑張っています。【女性、68歳】
- ・老いても、働ける人が増えてます。いろいろと問題はあるでしょうが、週に1～2回でも「仕事」のチャンスを作ってあげられたら元気になる人も多いと思います。【女性、87歳】
- ・独居生活で楽しみがなくなると家の中の生活が多くなり、足もあがらなくなる為、転倒したりと介護度があがるのでは。もし施設利用になるなら、ある程度自由で楽しむ事が出来る様な所【女性、72歳】
- ・現在は仕事をしておりスポーツ（テニス・登山）も続けています。上記の施設などにスポーツインストラクターが、時々でも来られれば気持ち面で若返りを図れるのではないかと想う事があります。【男性、70歳】
- ・一人で生活していますが、友人も多く健康ですし、カラオケ、ボランティアでダンスもしています。本当に幸福です。78才ですが一日も長く続くことを願うばかりです。【男性、78歳】
- ・高齢者は、もっと身近に責任を持つてする事があれば、もっと元気になると思います。ボランティアでなく安くて時給を出して、学校や公園、公の建物で、いろいろと出来ることをさせてあげると、喜んで頑張ると考えます。高齢者をもっと働かせてあげる事が、健康で長生きできると考えます。病院に行くのが老人の仕事ではありません。もっともっと活躍の場を与えて下さい。【女性、73歳】
- ・公的介護を受ける様にならない為、努力して人生を送りたい。まず、子供、親、家族で協力し合って自分達でできる事はやる。それでも無理な場合いろいろ勉強して、世話になる事より世話をしていきたい。【女性、71歳】

④ 生活の不安・困りごとについて

- ・高齢で一人暮らしの為、日々不安な気持ちになる事が多くなり怖くなる事がある。一人暮らしの人達に目くばりを充実して欲しい。【女性、76歳】
- ・今は健康で1人暮らしです。娘がいるのですが障害者寮に入ってます。心配事は沢山あります。【女性、80歳】
- ・二人の娘がいます。二人共長男に嫁に行っているのです、私達（主人）と二人で暮らしていますが、死亡

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

した場合の事を考えると不安でしかたがありません。【女性、75歳】

- 私は、現在は、一般的な生活ができています。行動も自由ですし、特に不満はないと云えますが、先日、風邪で寝込んだ時にフッと不安になりました。部屋から出て知人、友人に声をかけられればお話ししますが、近所の方とは特別な（子供のこととか、その他）話題がないので、趣味でも同じでなければ直ぐ「さよなら」となるのが不安です。【女性、92歳】
- この先仕事が出来なくなったら、年金だけでは生活が大変でとても心配です。【男性、67歳】
- 高齢者向け住宅に入りたいが、年金では賄えない。貯金が底をついた時不安。【女性、67歳】
- もう半年すると80才になるが、自分の将来は少し不安である。今は要支援2の夫の世話と家事で精一杯だが（身体が不自由なので）、もっと悪い状態になったらどうすれば良いのか…と【女性、79歳】
- これから増々高齢化が進み、自分の希望する老後が送れるか不安。まず、介護施設にすぐ入れるか。一施設で、人間らしく生活できるか。介護内容も不安。ポストの数ほどの介護施設を作ってほしい。どんな人でも一生懸命に生き、社会に貢献してきたと思う。老後を安心して向えられる、江東区であつたらいいと思う。【女性、70歳】
- 地震、火災などの災害時に通報、避難対応を早急に指示してもらいたい。【女性、87歳】

⑤ 相談・サービス利用手続きについて

- どうなるのかわからないのでその時に相談出来る所がほしいし、どこに行けばよいのか知りたい。情報が多すぎて自分に合う情報を、探すのは難しい。【女性、70歳】
- 現在のところ、要介護というのは未知の世界なのですが、いつかはそうなるかもという不安感は常にあります。区の窓口はできるだけ相談内容の間口を広く、敷居を低くして頂ければと思います。【女性、75歳】
- 施設が多くどこへ相談したら良いかわからない【男性、79歳】
- 自宅近くにサポートセンター等があり、何かあったら相談しようと思う。友人に民生委員さんがいるので安心です。近所の方がセンターへ行っているの、色々話を聞いているので安心です。【女性、75歳】
- いつ介護が必要になってもおかしくない高齢になり、迫ってくる将来がとても不安です。何か起こった時にすぐ相談出来る民生委員を知っておきたい。どこに聞けば良いのか判らない。【女性、79歳】

⑥ 情報提供・PRについて

- 理解しやすい内容、具体的な数字等希望します。窓口の一元化、電話等ゆっくり説明して下さい。【女性、65歳】
- 知らないサービスが多い気がして、もう少し情報に耳をかたむけようと思った。質問に答えられない場面が多く、考えさせられた。【女性、71歳】
- 今回のアンケートで介護の事をもう少し考えなくてはと思いました。自分から勉強しなくてはいけないのですが、今は元気だからとかまだまだ若いと思ってしていました。元気なうちに考える機会をもっと作ってほしいです。たとえば今回のアンケートのように個人への案内とかが送られると考える時間になります。【女性、66歳】
- 区の高齢者福祉や介護保険の内容の冊子等は有るのですか？有るとしたらどのように配付しているのですか？【男性、72歳】
- 「こうとう区報」からいろいろな情報を仕入れていますが、福祉会館の講座を利用した事もなく事業等も把握しておりません。後期高齢者になり区のサービスを勉強して緊急時の為に備えたいと痛感致しました。【女性、77歳】
- 福祉施設、介護に関する事柄や区が行なっている事業等を知りたいと思いますが、どの様な方法で知る事が出来るのでしょうか？【女性、77歳】

- 情報発信を分かり易くお願いします。【女性、69歳】
- 江東CATVでの、案内番組で説明をしてほしい。【男性、70歳】

⑦ 介護者の負担・支援について

- 介護の状態により選択しなければならないので、自宅での生活を希望は出来ない。出来るだけ自立した生活はしたいが、出来なくなればサ高住に入居するのも良いと思う。料金をもう少し下げてもらいたい。【女性、67歳】
- 現在、母を自宅で介護し、考えさせられます。子供にやらせていいのかとか、現実には、老老介護ってこれを言うのかと、長生きはつらいと母の言葉がわかります【女性、67歳】
- 介護2の主人の手助けをして生活しております。区より、紙おむつの支給を受けております。ありがたいと思っています。サービス付き住宅は高根の花です。せめてフレイルにならない様に生活の質の向上に努めてゆきたいと思っています。グループリビングが沢山出来ると助かります。【女性、75歳】

⑧ 住宅について

- 友人と離れたくないし住みなれている。一戸建てなので二階に布団を持って行くのでマンションのワンフロアに住みたいと思う。条件が合えば変えても良いと思っている。【女性、74歳】
- 高齢者向け住宅が年金の範囲なら安心できると思う。【男性、66歳】
- 15年前から体の不調、頸椎、腰、膝の痛みで苦しみ、5階建て（4階住居）でエレベーターが無く手すりの登降りに日々苦しんでいます。【女性、82歳】

⑨ その他

- 今回のアンケートでも高齢者向けの色々な施策等がある事を認識させて頂きました。現在は、利用する様な状況下にはありませんが、先々困った時には積極的に相談し利用しようと思いました。【男性、70歳】
- 現在は元気なので介護を受けなくても良いように頑張る。【男性、75歳】
- アンケート調査に参加させていただき、改めて認知症の問題、介護問題が身につまされます。【女性、79歳】
- 家族で話し合う必要ありと改めて思う！【男性、79歳】
- 質問に答えていくうち、家族もなく一人暮らしで年金も少なく気分が悪くなりました。【女性、72歳】
- 仕事も含め現役なので、身近な問題としてとらえていません。いずれ直面する問題だとは思いますが…！【男性、68歳】
- 今後高齢者は増加する一方です。行政は心あたたまる人間としての、生活支援をよろしく願います。【女性、69歳】
- 高齢者に対して質問が多くもっと少なくしてもらいたい。読むだけで疲れてしまう。【男性、79歳】
- アンケート記入において、幸いなことに現在健康で社会生活も充実しているため、介護について実感が湧きませんでした。しかしこれは5年後10年後にどんどん変わってくると思うので、このようなアンケート調査はきめ細かく実施して、区民のニーズを的確につかんでいって欲しいと希望します。【女性、65歳】
- 今まであまり考えることがなかった。これからは自分や家族のために勉強していかなければならないのではと思いました。【男性、68歳】
- 昔あったような応診して下さる先生が多くなれば、なんとか自宅でも終末まで安心して暮せると思う。年を取るの特別な病気ではないので近所の「かかりつけ医の応診」があれば、最後まで在宅で過せ

Ⅱ 調査結果の概要

調査③ 在宅生活継続意向調査

て有難いのですが。【男性、81歳】

- 自分の家で元気で暮らしたい。【男性、75歳】
- 元気な高齢者向きに、シニアサロンのような自由におしゃべりしたり、いろいろな意見を述べたりできるような、ゆったり、楽しげな場所があるといいと思います。ワンコイン（500円）ぐらいでコーヒーが飲めるといいですね。運営は難しいかと思いますが、あるといいなと希望します。【女性、74歳】
- 母親が老人ホームに入所しています。スタッフの皆さんが本当に良くしてくれます。大変なお仕事で、ありがたく思っています。【女性、65歳】
- 要介護の認定を受けた家族と同居していましたが、巡回して下さるお風呂はとても助かりました。その後数年は施設でお世話になりましたが、本人も満足しており安心して見守る事が出来ました。【女性、72歳】

＜資料編＞ 使用した調査票

江東区「介護予防・日常生活圏域二一ス調査」 ご協力をお願い

日ごろより、区政に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
このたびは江東区では、皆様のご意見を把握し、今後の高齢者向け保健福祉施策のあり方を検討するための資料とさせていただきますため、本調査を実施することとなりました。
この調査は、厚生労働省が実施しているもので、**江東区在住の 65 歳以上の方（要介護認定者（要支援 1～2）の方 200 名及び要介護認定を受けていない方 4,800 名）を無作為で選び、郵送で行うもの**です。
ご多忙のところ恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 12 月 江東区

記入についてお願い

1. 封筒のあて名**ご本人**のことについて、ご記入をお願いいたします。調査票の取問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
2. 濃い紙筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
□ の場合は、回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」等に○印をつけられた方は、() 内に具体的な答えを記入してください。

- 個人情報保護には万全を期すとともに、調査結果は統計的に処理をするため、個人の回答内容が他に漏れることはありません。
- 集計の際は、調査票の番号（右下）と年齢、性別、居住地区（圏域）、要介護度のみが記載された集計用名簿を照合して行うため、個人が特定されることはありません。

調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**12月17日（火）までに**ご返送ください。
※調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
※切手は不要です。

【調査についての問合せ先】

<調査実施> 調査票の内容、記入方法についてはこちらへお問い合わせ下さい。
(株)日本能率協会総合研究所 「アンケート事務局（江東区調査担当）」
電話：0120-506-713（受付時間 平日 10:00～17:00）
※フリーダイヤル（調査期間中のみ）
メールアドレス：k.loj.avuse@nar.co.jp
※お問い合わせの際は、「区名と調査名」をお知らせ下さい。
<調査主体> 本調査の概要・趣旨についてはこちらへお問い合わせ下さい。
江東区 福祉部 地域ケア推進課 包括推進係
電話：03-3647-9606（受付時間 平日 8:30～17:15）

介護予防・日常生活圏域二一ス調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、**12月17日（火）までに投函**してください。

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入
(あて名のご本人から見た続柄)
3. その他

個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

問1 あなたの家族や生活状況について		
(1) 家族構成をお教えください		
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯	
5. その他		
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか		
1. 介護・介助は必要ない	2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている	(介護認定を受けていない場合も含む)	
【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】		
①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)		
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病	3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺炎・肺がん)	5. 関節の病気 (リウマチ等)	
6. 認知症 (アルツハイマー病等)	7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析)	10. 視覚・聴覚障害	11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷	13. 高齢による衰弱	14. その他 ()
15. 不明		
【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】		
②主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)		
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	
1. 持家 (一戸建て) <small>こゝろまいちんないじゅうたく</small>	2. 持家 (集合住宅) <small>みかかんちんないじゅうたく</small>
3. 公営賃貸住宅 <small>こうえいちんないじゅうたく</small>	4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) <small>みんかんちんないじゅうたく</small>
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) <small>みんかんちんないじゅうたく</small>	6. 借家
7. その他	

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

(3) 15分位続けて歩いて歩いていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか		
1. とても減っている	2. 減っている	
3. あまり減っていない	4. 減っていない	
(8) 外出を控えていますか		
1. はい	2. いいえ	
【(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】		
①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)		
1. 病気 <small>しょうがい</small>	2. 障害(脳卒中の後遺症など) <small>しょうがい のうそちゅう こういしょう</small>	
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)	
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害	
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない	
9. 交通手段がない	10. その他 ()	
(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	
12. タクシー	13. その他 ()	

問3 食べることについて	
(1) 身長・体重	
身長	cm
体重	kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
1. はい	2. いいえ
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(4) 口の渇きが気になりますか	
1. はい	2. いいえ
(5) 歯磨き（人にやらしてもらった場合も含む）を毎日していますか	
1. はい	2. いいえ
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	
①噛み合わせは良いですか	
1. はい	2. いいえ
【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】	
②毎日入れ歯の手入れをしていますか	
1. はい	2. いいえ
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	
1. はい	2. いいえ

(8) どなたかと食事をともにする機会はありますか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
問4 毎日の生活について		
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか		
1. はい	2. いいえ	
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか
 1. はい 2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか
 1. はい 2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか
 1. はい 2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか
 1. はい 2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか
 1. はい 2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか
 1. はい 2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか
 1. はい 2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか
 1. はい 2. いいえ

(17) 趣味はありますか
 1. 趣味あり _____ ()
 2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか
 1. 生きがいあり _____ → ()
 2. 思いつかない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑥それぞれに回答してください

	週4回以上	週2回～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (ご近所ミニデイル、「とことんお元気!サークル」など) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思えますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思えますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて	
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします	
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他（ ）	8. そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他（ ）	8. そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他（ ）	8. そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他（ ）	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）	
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師
5. 長寿サポートセンター（地域包括支援センター）・役所	
6. その他	7. そのような人はいない
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか	
1. 毎日ある	2. 週に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします	
1. 0人（いない）	2. 1～2人
4. 6～9人	5. 10人以上
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）	
1. 近所・同じ地域の友人	2. 幼なじみ
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人	
7. その他	8. いない

問7 健康について												
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか												
1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない									
(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)												
とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか												
1. はい	2. いいえ											
(4) この1か月間、どうしても物事に對して興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくありませんでしたか												
1. はい	2. いいえ											
(5) お酒は飲みますか												
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない										
4. ほとんど飲まない												
(6) タバコは吸っていますか												
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた										
4. ほとんど吸っていない												

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()
(8) あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか ～「フレイル」とは～ 「加齢により心身が老い衰え、筋力や活力が低下した状態(いわゆる虚弱)」 のことで、2014年に日本老年医学会から提唱された言葉です。これは健康 で元気な状態と介護が必要な状態の中間を意味しています。		
1. 今回初めて聞いた	2. 聞いたことはあるが、 詳しい内容までは知らない	3. どのようなことか 内容まで知っている
問8 認知症にかかると相談窓口の把握について		
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか		
1. はい	2. いいえ	

問9 将来について	
(1) 人生の最終段階において、「受けたい医療・介護」、あるいは「受けたくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、あなたは普段、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか	1. 詳しく話し合っている 2. 一応、話し合っている 3. まだ話し合ったことはないが、興味・関心はある 4. まだ話し合ったことはない、興味・関心もない
【(1)で「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応、話し合っている」の方のみ】 ① 話し合っている相手はどなたですか (いくつでも)	1. 同居の家族・親族 2. 別居の家族・親族 3. 友人・知人・近所の人 4. 医師 5. 看護師 6. その他の医療従事者 7. ケアマネジャー 8. ヘルパー (介護職員) 9. 民生委員 10. その他 ()
(2) あなたが介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいですか	1. 家族などの介護を受けながら、自宅で暮らしたい 2. 在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい 3. 有料老人ホームや特別養護老人ホームなどの「施設」で暮らしたい 4. サービスを受けられる「小規模施設」などを利用しながら暮らしたい 5. その他 () 6. わからない
(3) 幸せに暮らすためには何が重要だと思いますか (上位3つまでO)	1. 健康であること 2. 家族や友人・知人がいること 3. 趣味や生きがいがあること 4. 経済的な余裕があること 5. 快適な住まいがあること

問10 防災対策について	
(1) あなたは、防災対策として、日頃からどのようなことをしていますか (いくつでも)	1. 家族などと避難先や緊急連絡先を確認している 2. 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している 3. 緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある 4. 家具の転倒防止などを行っている 5. 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている 6. 避難訓練や防災訓練に参加している 7. その他 ()
(2) あなたには、災害などの緊急時に手助けを頼める人 (同居人を含む) はいいますか	1. はい 2. いいえ
(3) 災害が起こった直後、あなたは、地域でどのような支援をすることが必要だと考えますか (いくつでも)	1. 安否確認 2. 災害状況や避難、救護などに対する情報提供 3. 救助活動 4. 避難所などへの誘導、移動支援 5. その他 () 6. わからない

質問は以上で終わります。ご協力ありがとうございました。

調査票を同封の返信用封筒に入れて、**12月17日(木)**までに郵送(投函)してください。切手を貼る必要はありません。
また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒にあなたのお名前やご住所等をお書きにならないでください。

江東区「介護サービスの利用意向調査」 ご協力をお願い

日ごろより、区政に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
このたび江東区では、皆様のご意見を把握し、今後の高齢者向け保健福祉施策のあり方を検討する
ための資料とさせていただきます。本調査を実施することとなりました。

この調査は、**江東区在住の 65 歳以上の要介護認定を受けている方から 1,000 名を無作為で選び、
郵送で行うもの**です。

ご多忙のところ恐縮存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいようお願い
申し上げます。

令和元年12月 江東区

記入についてお願い

1. **封筒のあて名ご本人**のことについてご記入をお願いします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただき、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
2. 郵便箱又は別のメールアドレスで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
□ の場合は、回答内容を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」等に○印をつけられた方は、() 内に具体的な答えを記入してください。

- **個人情報保護には万全を期すとともに、調査結果は統計的に処理するため、個人の回答内容が他に漏れることはありません。**
- **集計の際は、調査票の番号(右下)と年齢、性別、居住地区(圏域)、要介護度のみが記載された集計用名簿を照合して行うため、個人が特定されることはありません。**

調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**12月17日(火)までに**ご返送ください。
※調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
※切手は不要です。

【調査についての問合せ先】

＜調査実施＞ 調査票の内容、記入方法についてはこちらへお問い合わせ下さい。
(株)日本能率協会総合研究所 「アンケート事務局(江東区調査担当)」
電話：0120-506-713 (受付時間 平日10:00～17:00)
※フリーダイヤル(調査期間中のみ)
メールアドレス: k.toi.awase@nar.co.jp
*お問い合わせの際は、「区名と調査名」をお知らせ下さい。

＜調査主体＞ 本調査の概要・趣旨についてはこちらへお問い合わせ下さい。
江東区 福祉部 地域ケア推進課 包括推進係
電話：03-3647-9606 (受付時間 平日8:30～17:15)

1. あなたのご家族について

※この調査票では、調査対象の方(あて名のご本人様)のことを「あなた」としています。
問1. 家族構成をお教えください。(ひとつだけ○)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- 4 息子・娘との2世帯
- 5 その他()

2. 介護サービスについて

問2. あなたが受けた要介護認定訪問調査について、満足していますか。(ひとつだけ○)

- 1 満足している
- 2 やや満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満である
- 5 不満である

☆問2で「4、5」と回答した方に伺います。

問2-1. 要介護認定訪問調査に満足していない理由は次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 調査の時間が短すぎた
- 2 調査の時期が入院中など、体の状態が安定していない時期だった
- 3 本人や家族の説明をよく聞いてくれなかった
- 4 本人が緊張して、いつもと違った状態で調査された
- 5 質問内容が不十分で、体の状態や認知症等をうまく説明できなかった
- 6 調査員の態度がよくなかった
- 7 その他()
- 8 わからない

問3. あなたが受けた要介護度については、納得していますか。(ひとつだけ○)

- 1 妥当である
- 2 思ったよりも高め(重め)である
- 3 思ったよりも少し高め(重め)である
- 4 思ったよりも少し低め(軽め)である
- 5 思ったよりも低め(軽め)である
- 6 なんとともいえない

※ページの問3-1へお進みください。

☆問3で「2～5」と回答した方に伺います。

問3-1. 要介護度が思ったよりも高め又はは低めと思った理由は次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分自身で、以前よりも体の状態が悪く（良く）、介護が必要（不必要）と感じているから
- 2 家族等から以前より重い（軽い）と言われたから
- 3 以前より年をとったので要介護度は重くなるはずだと思っから
- 4 利用しているサービスの不足（過剰）しているから
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

【☆介護サービスを利用されたことがない方は、5ページの問7へお進みください。】

問4. あなたは、ご自分が利用したサービスについて満足していますか。利用したものをすべてに○を付けてください。(あてはまるものすべてに○)
また、それぞれの満足度について、該当するもの1つに○を付けてください。
「やや不満」「不満」に○をつけた方は、不満の理由もご記入ください。

サービスの種類	利用した	→	満足		やや不満		不満の理由
			満足	やや不満	満足	やや不満	
例	①	→	1	2	3	4	
(1) 訪問介護 (ホームヘルプ)	1	→	1	2	3	4	
(2) 訪問入浴介護	1	→	1	2	3	4	
(3) 訪問看護	1	→	1	2	3	4	
(4) 訪問リハビリテーション	1	→	1	2	3	4	
(5) 居宅療養管理指導	1	→	1	2	3	4	
(6) 通所介護 (デイサービス)	1	→	1	2	3	4	
(7) 通所リハビリテーション (デイケア)	1	→	1	2	3	4	
(8) 短期入所生活介護 (ショートステイ)	1	→	1	2	3	4	
(9) 短期入所療養介護 (医療ショートステイ)	1	→	1	2	3	4	
(10) 福祉用具貸与	1	→	1	2	3	4	
(11) 福祉用具購入費の支給	1	→	1	2	3	4	
(12) 住宅改修費の支給	1	→	1	2	3	4	
(13) 特定施設入居者生活介護	1	→	1	2	3	4	
(14) 定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	1	→	1	2	3	4	
(15) 地域密着型通所介護	1	→	1	2	3	4	
(16) 夜間対応型訪問介護	1	→	1	2	3	4	
(17) 認知症対応型通所介護	1	→	1	2	3	4	
(18) 小規模多機能型居宅介護	1	→	1	2	3	4	
(19) 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	1	→	1	2	3	4	

問5：介護保険サービスを利用するようになって、あなた自身には、次のような変化がありますか、それぞれ1つに○をしたか。(Q)～(Q)について、それぞれもとも近いもの1つに○

(Q) 1 安定した 2 変わらない	1 安定した 2 変わらない	3 不安定になった 4 わからない
(Q) 1 出てきた 2 変わらない	1 出てきた 2 変わらない	3 なくなった 4 わからない
(Q) 1 多くなった 2 変わらない	1 多くなった 2 変わらない	3 少なくなった 4 わからない
(Q) 1 よくなった 2 変わらない	1 よくなった 2 変わらない	3 悪くなった 4 わからない



☆問5 (Q)～(Q)で、1つでも「1、2」に○を付けた方に伺います。

問 5-1. あなたにとって、(Q) 役立ったサービス、(Q) ご自身が努力したことはありますか。
(Q)と(Q)のどちらにもお答えください。

(Q) 役立ったサービス (あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護 (ホームヘルプ)	12 住宅改修費の支給
2 訪問入浴介護	13 特定施設入居者生活介護
3 訪問看護	14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
4 訪問リハビリテーション	15 地域密着型通所介護
5 居宅療養管理指導	16 夜間対応型訪問介護
6 通所介護 (デイサービス)	17 認知症対応型通所介護
7 通所リハビリテーション (デイケア)	18 小規模多機能型居宅介護
8 短期入所生活介護 (ショートステイ)	19 認知症対応型共同生活介護
9 短期入所療養介護 (医療ショートステイ)	(認知症高齢者グループホーム)
10 福祉用具貸与	20 わからない
11 福祉用具購入費の支給	21 特にならない

(Q) ご自身が努力したこと (あてはまるものすべてに○)

1 栄養バランスのとれた食事をとるようにした
2 散歩や簡単な体操など、身体を動かすようにした
3 家にももらず外出するようにした
4 友人と交流するようにした
5 趣味などに取り組むようにした
6 その他 ()
7 特にならない

問6. あなたは、ケアマネジャーの対応について、どのように感じていますか、それぞれの項目についてお答えください。(Q)～(Q)それぞれ1つに○

	はい	いいえ	わからない
(Q) ケアプランの内容や利用料などを十分に説明してくれる	1	2	3
(Q) 必要なときに連絡がとれる	1	2	3
(Q) 家族や本人の希望を反映してくれる	1	2	3
(Q) 要望にすぐ対応してくれる	1	2	3
(Q) サービス事業者を選べる	1	2	3
(Q) サービスについて説明してくれる	1	2	3
(Q) ケアプランの変更を希望したときに対応してくれる	1	2	3
(Q) 介護保険サービス以外のサービスを十分説明してくれる (おむつ給付や配食サービスなど)	1	2	3

問7. 介護サービス事業所のスタッフに対して、求めるものを教えてください。

(あてはまるもの3つまで○)

1 介護スキル	5 体力
2 コミュニケーション能力	6 マナー及び道徳
3 医療知識	7 その他 ()
4 危機管理	

問8. あなたやあなたのご家族が、利用したい又は利用し続けたいサービスはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護 (ホームヘルプ)	13 特定施設入居者生活介護
2 訪問入浴介護	14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
3 訪問看護	15 地域密着型通所介護
4 訪問リハビリテーション	16 夜間対応型訪問介護
5 居宅療養管理指導	17 認知症対応型通所介護
6 通所介護 (デイサービス)	18 小規模多機能型居宅介護
7 通所リハビリテーション (デイケア)	19 認知症対応型共同生活介護
8 短期入所生活介護 (ショートステイ)	(認知症高齢者グループホーム)
9 短期入所療養介護 (医療ショートステイ)	20 看護小規模多機能型居宅介護 ※
10 福祉用具貸与	21 わからない
11 福祉用具購入費の支給	22 特にならない
12 住宅改修費の支給	

※小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせ、宿泊の介護や看護のケアを行うサービス (江東区では未実施)

問13 区では、区内の特別養護老人ホームの整備を進めています。区が都外に特別養護老人ホームを整備することとした場合、その施設への入所を希望しますか。(ひとつだけ○)

- 1 希望する 2 希望しない 3 どちらともいえない 4 その他 ()

問14 区では、特別養護老人ホームの他にも高齢者施設の整備を進めています。今後のような高齢者施設を整備して欲しいかを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 特別養護老人ホーム (特養) 5 ケアハウス
2 認知症高齢者グループホーム 6 都市型軽費老人ホーム
3 小規模多機能型居宅介護施設 7 養護老人ホーム
4 有料老人ホーム 8 その他 ()

問15 区では、短期間入所して、日常生活上の介護や機能訓練などが受けられるショートステイ(短期入所)の利用を各特別養護老人ホームで行っています。ショートステイという制度は知っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 はい 2 聞いたことはある 3 いいえ

問15-1. ショートステイを既に利用、又は将来的に利用したいと思えますか。(ひとつだけ○)

- 1 はい 4 利用方法を知りたい
2 いいえ 5 もっと利用しやすくしてほしい
3 わからない

問15-2. (家族と同居又は近居をしている方へ伺います。)
ショートステイをどのような時に利用したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族が病気等の時 4 家族が介護休みをしたい時
2 家族が冠婚葬祭に出席する時 5 その他 ()
3 家族が外出する時 6 利用は考えていない

4. 今後について

問16. 人生の最終段階において、「受けたい医療・介護、あるいは「受けたくない医療・介護」への、自分の希望や考えについて、あなたは普段、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 詳しく話し合っている ⇒問16-1 へ
2 一応、話し合っている ⇒問16-1 へ
3 まだ話し合ったことはないが、興味・関心はある
4 まだ話し合ったことはないし、興味・関心もない

問16-1. (「1 詳しく話し合っている」「2 一応、話し合っている」方へ伺います。)
話し合っている相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 同居の家族・親族 6 その他の医療従事者
2 別居の家族・親族 7 ケアマネジャー
3 友人・知人・近所の人 8 ヘルパー (介護職員)
4 医師 9 民生委員
5 看護士 10 その他 ()

5. 防災対策について

問17. あなたは、防災対策として、日頃からどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族等と避難先や緊急連絡先を確認している (あてはまるものすべてに○)
2 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している
3 緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある
4 家具の転倒防止などを行っている
5 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている
6 避難訓練や防災訓練に参加している
7 その他 ()

問18. あなたには、災害などの緊急時に手助けを頼める人(同居人を含む)はいいますか。(ひとつだけ○)

- 1 いる 2 いない

問19. 災害が起こった直後、あなたは地域でどのような支援をすることが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 安否確認
2 災害状況や避難、救護などに対する情報提供
3 救助活動
4 避難所などへの誘導、移動支援
5 その他 ()
6 わからない

6. 区の高齢者福祉施策について

問20. 江東区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営などへのご意見・ご要望などがありません。ご要望があれば、ご自由にお書きください。

★主な介護者がいない方の設問は以上です。ありがとうございました。

☆主な介護者がいる方に伺います。

7. 主な介護者について

問2-1 主に介護をしている方はあて名のご本人から見てどのような関係にありますか。(ひとだけ〇)

1 配偶者(夫・妻)	7 介護サービスのヘルパー
2 息子	8 その他()
3 娘	9 介護している人はいない
4 こどもの配偶者	
5 孫	
6 兄弟・姉妹	

☆設問は以上で終わります。ありがとうございます。

問2-1で「1~6」と回答した方に伺います。

ここからは、「主に介護している方」に伺います。

問2-1-1. 主に介護している方の性別と、現在の満年齢をお答えください。

(1) 性別	1 男性	(2) 年齢	満	歳
	2 女性			

問2-2 あて名のご本人と主に介護をしている方は、同居されていますか。(ひとだけ〇)

1 同居している
2 別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である
3 別居しており、行き来には15分以上かかる

問2-3 介護をするうえで、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1 特にない
2 経済的負担が大きい
3 精神的負担が大きい
4 肉体的負担が大きい(睡眠不足・腰痛等を含む)
5 日中は介護者が不在のときが多い
6 夜間の介護の負担が大きい
7 介護サービスをもっと利用したいが、本人が嫌がる
8 介護サービスをもっと利用したいが、家族や周囲が反対する
9 介護サービスをもっと利用したいが、限度額がいっぱいである
10 介護者の都合等に合わせさせて柔軟に使える介護サービスがない
11 介護の方法がわからない
12 介護のために仕事や家事、育児が思うようにできない
13 介護のことが気になって、思うように外出できない
14 介護者のための相談窓口が少ない
15 介護のストレスから、イライラして本人に当たってしまうことがある
16 その他()

問2-4 介護をしているご家族に対する区の支援として、どのようなサービスが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1 介護者同士の交流の場の提供
2 介護のコツなどが学べる介護教室の開催
3 介護に関する相談事業の充実
4 冠婚葬祭・急病時に預けられるような緊急ショートステイの充実
5 冠婚葬祭・急病時に在宅で面倒を見てくれるサービス
6 家族が休みたいときに利用できるショートステイの充実
7 経済的支援の充実
8 その他()
9 特にない

質問は以上で終わります。ご協力ありがとうございました。

調査票を同封の返信用封筒に入れて、**12月17日(火)**までに郵送(投函)してください。切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒にあなたのお名前や住所等をお書きにならないでください。

江東区「在宅生活継続意向調査」 ご協力をお願い

日ごろより、区政に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
このたび江東区では、皆様のご意見を把握し、今後の高齢者向け保健福祉施策のあり方を検討するため
の資料とさせていただきますため、本調査を実施することとなりました。

この調査は、**江東区在住の65歳以上の方（要介護認定を受けている方は除きます）から1,500名を無
作為で選び、郵送で行うもの**です。
ご多忙のところ恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し
上げます。

令和元年12月 江東区

記入についてお願い

1. 封筒のあて名**ご本人**のことについて、ご記入をお願いします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。
なお、あて名ご本人おひとりの回答がつかない場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
□の場合は、回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」欄に○印をつけられた方は、()内に具体的な答えを記入してください。

●**個人情報保護には万全を期すとともに、調査結果は統計的に処理をするため、個人の回答内容が他に漏れることはありません。**

●**集計の際は、調査票の番号（右下）と年齢、性別、居住地区（圏域）のみが記載された集計用名簿を照合して行うため、個人が特定されることはありません。**

調査票は、同封の返信用封筒に入れ**【12月17日（火）まで】**ご返送ください。

※調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
※切手は不要です。

【調査についての問合せ先】

＜調査実施＞ 調査票の内容、記入方法についてはこちらへお問い合わせください。
（株）日本能率協会総合研究所 「アンケート事務局（江東区調査担当）」
電話：0120-506-713（受付時間 平日10:00～17:00）
※フリーダイヤル（調査期間中のみ）
メールアドレス：k.toi.anses@nr.co.jp
※お問い合わせの際は、「区名と調査名」をお知らせ下さい。

＜調査主体＞ 本調査の概要・趣旨についてはこちらへお問い合わせ下さい。

江東区 福祉部 地域ケア推進課 包括推進係
電話：03-3647-9606（受付時間 平日8:30～17:15）

1. あなたのご家族について

☆この調査票では、調査対象の方（あて名のご本人様）のことを「あなた」として扱います。

問1. 家族構成をお答えください。

1 1人暮らし	4 息子・娘との2世帯
2 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	5 その他（ ）
3 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	

2. あなたの健康状態等について

問2.（現在かかっている病気がある方へ）どのような病気がかかっているか教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1 高血圧	5 心疾患	9 血液疾患
2 糖尿病	6 肝疾患	10 関節・骨疾患
3 高脂血症	7 脳血管疾患	11 呼吸器疾患
4 腎疾患	8 胃腸疾患	12 その他（ ）

問3. あなたには「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医師」、「かかりつけ薬局」がそれぞれありますか（ありますか）。

またいる（ある）の方は、その所在地（区内または区外）と選んだ理由を教えてください。
いない（ない）の方は、その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

Q1)「かかりつけ医」の有無		そのかかりつけ医を選んだ理由/かかりつけ医がいらない理由	
1 いる	1 区内 2 区外	4 評判がよく親切で信頼できる 5 往診、訪問診療をしている 6 その他（ ）	
2 いない	1 必要がない 2 決められない	3 必要だと思いがみつけれられない 4 その他（ ）	

Q2)「かかりつけ歯科医師」の有無		そのかかりつけ歯科医師を選んだ理由/かかりつけ歯科医師がいらない理由	
1 いる	1 区内 2 区外	4 評判がよく親切で信頼できる 5 往診、訪問診療をしている 6 その他（ ）	
2 いない	1 必要がない 2 決められない	3 必要だと思いがみつけれられない 4 その他（ ）	

③ 「かかりつけ薬局」の有無

そのかかりつけ薬局を選んだ理由/かかりつけ薬局がない理由																
<table border="1"> <tr> <td>1 ある</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>1 区内</td> <td>1 近所にある</td> </tr> <tr> <td>2 区外</td> <td>2 評判がよく親切で信頼できる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 専門的なスタッフがいる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 その他 ()</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>2 ない</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>1 必要がない</td> <td>3 必要だと思いかみつけられない</td> </tr> <tr> <td>2 決められない</td> <td>4 その他 ()</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 ある	<table border="1"> <tr> <td>1 区内</td> <td>1 近所にある</td> </tr> <tr> <td>2 区外</td> <td>2 評判がよく親切で信頼できる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 専門的なスタッフがいる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 その他 ()</td> </tr> </table>	1 区内	1 近所にある	2 区外	2 評判がよく親切で信頼できる		3 専門的なスタッフがいる		4 その他 ()	2 ない	<table border="1"> <tr> <td>1 必要がない</td> <td>3 必要だと思いかみつけられない</td> </tr> <tr> <td>2 決められない</td> <td>4 その他 ()</td> </tr> </table>	1 必要がない	3 必要だと思いかみつけられない	2 決められない	4 その他 ()
1 ある	<table border="1"> <tr> <td>1 区内</td> <td>1 近所にある</td> </tr> <tr> <td>2 区外</td> <td>2 評判がよく親切で信頼できる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 専門的なスタッフがいる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 その他 ()</td> </tr> </table>	1 区内	1 近所にある	2 区外	2 評判がよく親切で信頼できる		3 専門的なスタッフがいる		4 その他 ()							
1 区内	1 近所にある															
2 区外	2 評判がよく親切で信頼できる															
	3 専門的なスタッフがいる															
	4 その他 ()															
2 ない	<table border="1"> <tr> <td>1 必要がない</td> <td>3 必要だと思いかみつけられない</td> </tr> <tr> <td>2 決められない</td> <td>4 その他 ()</td> </tr> </table>	1 必要がない	3 必要だと思いかみつけられない	2 決められない	4 その他 ()											
1 必要がない	3 必要だと思いかみつけられない															
2 決められない	4 その他 ()															

問4．あなたは、大学病院や都立病院で受診したことはありますか。(ひとつだけ○)

1 はい	⇒問4-1ハ	2 いいえ
------	--------	-------

問4-1. (はいの方へ) 受診したのは外来か入院のどちらかと、なぜ診療所ではなく、大学病院や都立病院を受診したかを教えてください。(ひとつだけ○)

1 外来のみ	2 入院のみ	3 外来・入院両方										
<table border="1"> <tr> <td>1 かかりつけ医などからの紹介</td> </tr> <tr> <td>2 家族、友人、知人からのすすめ</td> </tr> <tr> <td>3 良きような情報を得た (宣伝やホームページ等)</td> </tr> <tr> <td>4 かかったことがあった</td> </tr> <tr> <td>5 交通機関の便が良い</td> </tr> <tr> <td>6 大きな病院で安心できる</td> </tr> <tr> <td>7 技師の雇われた医師がいる</td> </tr> <tr> <td>8 専門医がいる</td> </tr> <tr> <td>9 救急車で運ばれた</td> </tr> <tr> <td>10 その他 ()</td> </tr> </table>			1 かかりつけ医などからの紹介	2 家族、友人、知人からのすすめ	3 良きような情報を得た (宣伝やホームページ等)	4 かかったことがあった	5 交通機関の便が良い	6 大きな病院で安心できる	7 技師の雇われた医師がいる	8 専門医がいる	9 救急車で運ばれた	10 その他 ()
1 かかりつけ医などからの紹介												
2 家族、友人、知人からのすすめ												
3 良きような情報を得た (宣伝やホームページ等)												
4 かかったことがあった												
5 交通機関の便が良い												
6 大きな病院で安心できる												
7 技師の雇われた医師がいる												
8 専門医がいる												
9 救急車で運ばれた												
10 その他 ()												

問5．あなたは、医療や福祉に関する相談ができる窓口があることを知っていますか。(ひとつだけ○)

1 はい	⇒問5-1ハ	2 いいえ
------	--------	-------

問5-1. (はいの方へ) 知っている機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<table border="1"> <tr> <td>1 保健所・保健相談所</td> </tr> <tr> <td>2 長寿サポートセンター (地域包括支援センター)</td> </tr> <tr> <td>3 民生委員・児童委員</td> </tr> <tr> <td>4 福祉事務所</td> </tr> <tr> <td>5 その他 ()</td> </tr> </table>	1 保健所・保健相談所	2 長寿サポートセンター (地域包括支援センター)	3 民生委員・児童委員	4 福祉事務所	5 その他 ()
1 保健所・保健相談所					
2 長寿サポートセンター (地域包括支援センター)					
3 民生委員・児童委員					
4 福祉事務所					
5 その他 ()					

問6．あなたは、医療情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

<table border="1"> <tr> <td>1 江東くらしガイドや区報、ホームページ</td> </tr> <tr> <td>2 東京都の医療情報案内サービス「ひまわり」</td> </tr> <tr> <td>3 医師会等のホームページ</td> </tr> <tr> <td>4 友人・知人からの情報</td> </tr> <tr> <td>5 保健所、保健相談所等への問い合わせ</td> </tr> <tr> <td>6 医師からの情報</td> </tr> <tr> <td>7 テレビ・ラジオ・新聞・本</td> </tr> <tr> <td>8 その他 ()</td> </tr> <tr> <td>9 特になし</td> </tr> </table>	1 江東くらしガイドや区報、ホームページ	2 東京都の医療情報案内サービス「ひまわり」	3 医師会等のホームページ	4 友人・知人からの情報	5 保健所、保健相談所等への問い合わせ	6 医師からの情報	7 テレビ・ラジオ・新聞・本	8 その他 ()	9 特になし
1 江東くらしガイドや区報、ホームページ									
2 東京都の医療情報案内サービス「ひまわり」									
3 医師会等のホームページ									
4 友人・知人からの情報									
5 保健所、保健相談所等への問い合わせ									
6 医師からの情報									
7 テレビ・ラジオ・新聞・本									
8 その他 ()									
9 特になし									

問7．医療情報でどのような情報がほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

<table border="1"> <tr> <td>1 医療機関の場所、連絡先、診療科目、診療日、診療時間</td> </tr> <tr> <td>2 医師、歯科医師等の略歴、専門分野</td> </tr> <tr> <td>3 医療費や診療内容に関する相談窓口の有無</td> </tr> <tr> <td>4 医師、看護師等のスタッフの人数</td> </tr> <tr> <td>5 医療機器、受けられる検査</td> </tr> <tr> <td>6 診療実績</td> </tr> <tr> <td>7 連携している病院情報</td> </tr> <tr> <td>8 施設の整備、快適さ</td> </tr> <tr> <td>9 診療費、自己負担額</td> </tr> <tr> <td>10 その他 ()</td> </tr> </table>	1 医療機関の場所、連絡先、診療科目、診療日、診療時間	2 医師、歯科医師等の略歴、専門分野	3 医療費や診療内容に関する相談窓口の有無	4 医師、看護師等のスタッフの人数	5 医療機器、受けられる検査	6 診療実績	7 連携している病院情報	8 施設の整備、快適さ	9 診療費、自己負担額	10 その他 ()
1 医療機関の場所、連絡先、診療科目、診療日、診療時間										
2 医師、歯科医師等の略歴、専門分野										
3 医療費や診療内容に関する相談窓口の有無										
4 医師、看護師等のスタッフの人数										
5 医療機器、受けられる検査										
6 診療実績										
7 連携している病院情報										
8 施設の整備、快適さ										
9 診療費、自己負担額										
10 その他 ()										

問8．あなたは、医療 (療養) が必要となった場合、在宅医療 (療養) を希望しますか。(ひとつだけ○)

1 はい	2 わからない	3 いいえ
------	---------	-------

問9．在宅医療 (療養) は実現できると思いますか。(ひとつだけ○)

1 はい	2 わからない	3 いいえ
------	---------	-------

問9-1. (いいえの方へ) 在宅医療 (療養) の実現が難しいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<table border="1"> <tr> <td>1 家族に負担をかけるから</td> </tr> <tr> <td>2 急変した時の対応が不安だから</td> </tr> <tr> <td>3 費用がかかるから</td> </tr> <tr> <td>4 在宅医療や看護や介護などのケアやサービスを受けられるのかわからないから</td> </tr> <tr> <td>5 療養できる住環境が整っていないから</td> </tr> <tr> <td>6 往診してくれる医師が少ないから</td> </tr> <tr> <td>7 訪問看護や介護の体制が不十分だと思うから</td> </tr> <tr> <td>8 介護してくれる家族等が少ないから</td> </tr> <tr> <td>9 その他 ()</td> </tr> </table>	1 家族に負担をかけるから	2 急変した時の対応が不安だから	3 費用がかかるから	4 在宅医療や看護や介護などのケアやサービスを受けられるのかわからないから	5 療養できる住環境が整っていないから	6 往診してくれる医師が少ないから	7 訪問看護や介護の体制が不十分だと思うから	8 介護してくれる家族等が少ないから	9 その他 ()
1 家族に負担をかけるから									
2 急変した時の対応が不安だから									
3 費用がかかるから									
4 在宅医療や看護や介護などのケアやサービスを受けられるのかわからないから									
5 療養できる住環境が整っていないから									
6 往診してくれる医師が少ないから									
7 訪問看護や介護の体制が不十分だと思うから									
8 介護してくれる家族等が少ないから									
9 その他 ()									

問10．介護が必要な状態にならないようにするために、現在取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

<table border="1"> <tr> <td>1 散歩 (15分以上) をする</td> <td>7 口の中のケア</td> </tr> <tr> <td>2 ラジオ体操をする</td> <td>8 福祉会館やふれあいセンターに通う</td> </tr> <tr> <td>3 体操サークルに参加する</td> <td>9 老人クラブに参加する</td> </tr> <tr> <td>4 スポーツ施設のプログラムに参加する</td> <td>10 近所の集まりに参加する</td> </tr> <tr> <td>5 介護予防教室に参加する</td> <td>11 仕事やボランティアをする</td> </tr> <tr> <td>6 食事に気を付ける</td> <td>12 その他 ()</td> </tr> </table>	1 散歩 (15分以上) をする	7 口の中のケア	2 ラジオ体操をする	8 福祉会館やふれあいセンターに通う	3 体操サークルに参加する	9 老人クラブに参加する	4 スポーツ施設のプログラムに参加する	10 近所の集まりに参加する	5 介護予防教室に参加する	11 仕事やボランティアをする	6 食事に気を付ける	12 その他 ()
1 散歩 (15分以上) をする	7 口の中のケア											
2 ラジオ体操をする	8 福祉会館やふれあいセンターに通う											
3 体操サークルに参加する	9 老人クラブに参加する											
4 スポーツ施設のプログラムに参加する	10 近所の集まりに参加する											
5 介護予防教室に参加する	11 仕事やボランティアをする											
6 食事に気を付ける	12 その他 ()											

問11. 介護が必要な状態にならないようにするために、今後取る船んでみたいことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 散歩 (15分位以上) をする | 7 口の中のケア |
| 2 ラジオ体操をする | 8 福祉会館やふれあいセンターに通う |
| 3 体操サークルに参加する | 9 老人クラブに参加する |
| 4 スポーツ施設のプログラムに参加する | 10 近所の集まりに参加する |
| 5 介護予防教室に参加する | 11 仕事やボランティアをする |
| 6 食事に気を付ける | 12 その他 () |

問12. あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。(ひとつだけ○)

～「フレイル」とは～
「加齢により心身が老い衰え、筋力や活力が低下した状態(いわゆる脆弱)」のことで、2014年に日本老年医学会から提唱された言葉です。これは健康で元氣な状態と介護が必要で状態の中間を意味しています。

- | |
|--------------------------|
| 1 今初めて聞いた |
| 2 聞いたことはあるが、詳しい内容までは知らない |
| 3 どのようなことか内容まで知っている |

3. 暮らしの中の不安について

問13. あなたは、ご自身の日常生活において、現在不安を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 ひとりきりの暮らしになること | 6 家族や親族のこと |
| 2 自分や配偶者の健康や病気になること | 7 犯罪に巻き込まれること |
| 3 自分や配偶者が介護が必要になること | 8 その他 () |
| 4 財産管理や収入・支出等経済的なこと | 9 わからない |
| 5 老後、高齢への漠然とした不安 | 10 不安はない |

問14. 日々の暮らしの中で、悩みや困り事などの生活の相談をすることが出来る相手が身近にいますか？
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 親族 (同居又は近居) | 7 医師、歯科医師、看護師 |
| 2 親族 (同居・近居以外) | 8 長寿サポートセンター (地域包括支援センター) |
| 3 近所の友人・知人 | 9 区役所、保健所、保健相談所 |
| 4 自治会、町内会、老人クラブ | 10 その他 () |
| 5 社会福祉協議会、民生委員・児童委員 | 11 そのような人はいない |
| 6 ケアマネジャー | |

問15. 万一の緊急時に役立てるために、あなたのかかりつけ医、緊急連絡先などの個人情報を事前に各機関(人)に知らせておく場合、以下の中で知らせてもよいと考えられる機関(人)はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 区役所 | 5 民生委員・児童委員 |
| 2 長寿サポートセンター (地域包括支援センター) | 6 自治会、町内会、管理組合 |
| 3 社会福祉協議会 | 7 近所の人 |
| 4 消防署、警察署 | 8 誰にも知らせたくない |

問16. 防災対策として、区では災害時に自力で避難することが困難な方の名簿(※)を作成しています。
この名簿は、外部提供同意の届出をすると、避難支援に係る区や消防署などに加えて、自治会や
自主防災組織などの地域団体に提供することができ、災害時に支援を受けやすくなります。あな
たは、この外部提供同意の届出をしたいと思いませんか。(ひとつだけ○)

- | |
|---------------|
| 1 届出したいと思う |
| 2 届出したいとは思わない |
| 3 どっちともいえない |
| 4 わからない |

※ 避難行動要支援者名簿：75歳以上の出稼の方や要介護3～5の方、障害のある方など、
災害時の避難に支援が必要なる方を掲載。

問16-1. 「2. 届出したいとは思わない」と回答した方に伺います。
そのように思う理由を教えてください。(ひとつだけ○)

- | |
|--------------|
| 1 個人情報教えたくない |
| 2 世話になりたくない |
| 3 手続きが面倒くさい |
| 4 その他 () |

問17. あなたは、防災対策として、日頃からどのようなことをしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 家族等と避難先や緊急連絡先を確認している |
| 2 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している |
| 3 緊急時に避難できる近くの避難場所などを確認してある |
| 4 家具の転倒防止などを行っている |
| 5 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている |
| 6 避難訓練や防災訓練に参加している |
| 7 その他 () |

問18. あなたは、災害などの緊急時に手助けを頼める人(同居人を含む)はいますか。
(ひとつだけ○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問19. 災害が起こった直後、あなたは地域やどのような支援をすることが必要だと考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1 安全確認 |
| 2 災害状況や避難、救護などに対する情報提供 |
| 3 救助活動 |
| 4 避難所などへの誘導、移動支援 |
| 5 その他 () |
| 6 わからない |

4. 地域のつながりや支え合いについて

問2.0. あなたは、ふだん近所の人との程度の付き合いをしていますか。(ひとつだけ○)

- 1 親しく付き合っている 3 あいさつをする程度
2 立ち話をする程度 4 付き合いはほとんどない

問2.1. あなたは、お住まいの地域で、現在、次のような手助けを受けていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 災害時など緊急時の手助け |
| 2 ちよっとした買い物やゴミ出し | 9 行き帰りの送迎 |
| 3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 10 購入品の宅配 |
| 4 食事の提供(会食・配食など) | 11 定期的に自宅を訪問する御用聞き |
| 5 通院や外出の手助け | 12 その他() |
| 6 ちよっとした軽作業 | 13 受けていない |
| 7 話し相手や相談相手 | |

問2.2. あなたは、お住まいの地域で、受けたいと思う手助けはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 災害時など緊急時の手助け |
| 2 ちよっとした買い物やゴミ出し | 9 行き帰りの送迎 |
| 3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 10 購入品の宅配 |
| 4 食事の提供(会食・配食など) | 11 定期的に自宅を訪問する御用聞き |
| 5 通院や外出の手助け | 12 その他() |
| 6 ちよっとした軽作業 | 13 特に手助けは必要ない／受けたくない |
| 7 話し相手や相談相手 | |

問2.3. あなたは、お住まいの地域で、支援が必要な人に対して何らかのお手伝いをしようと思いませんか。
(ひとつだけ○)

- 1 思う 2 どちらかといえば思う 3 思わない 4 わからない

問2.4. あなたは、お住まいの地域で、どのようなことなどなお手伝いをしあげられますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 災害時など緊急時の手助け |
| 2 ちよっとした買い物やゴミ出し | 9 行き帰りの送迎 |
| 3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 10 購入品の宅配 |
| 4 食事の提供(会食・配食など) | 11 定期的に自宅を訪問する御用聞き |
| 5 通院や外出の手助け | 12 その他() |
| 6 ちよっとした軽作業 | 13 内容にかかわらず、お手伝いはできない／したくない |
| 7 話し相手や相談相手 | |
- ⇒問2.4-1.ハ

問2.4-1. (1.3 内容にかかわらず、お手伝いはできない／したくない) 方へ)

内容にかかわらず、お手伝いはできない／したくない理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|-----------------|--------------|
| 1 忙しい | 3 お手伝いをできる自信がない | 6 無償ではやりたくない |
| 2 体力に不安がある | 4 人と付き合いたくない | 7 その他() |
| 5 トラブルに巻き込まれたくない | | |

5. 認知症について

問2.5. あなたの身の回りに認知症の人がいますか(いましただか)。

- 1 はい ⇒問2.5-1.ハ 2 いいえ

問2.5-1. (はいの方へ) 身の回りの認知症の人との関係を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族 2 親戚 3 友人・知人 4 近所の人 5 その他()

問2.6. 認知症について誰かに相談したことがありますか。

- 1 はい ⇒問2.6-1.ハ 2 いいえ

問2.6-1. (はいの方へ) 認知症について相談した相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 かかりつけの医療機関 | 7 東京都の相談機関 |
| 2 専門的な医療機関 | 8 認知症家族会・支援団体 |
| 3 ケアマネジャー | 9 友人・知人 |
| 4 長寿サポートセンター(地域包括支援センター) | 10 家族・親戚 |
| 5 保健所・保健相談所 | 11 その他() |
| 6 医役所 | |

問2.7. 認知症について抱いているイメージを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 認知症になっても周囲の適切な支援があれば、住み慣れた地域で自立した生活を続けられる |
| 2 認知症になっても医療・介護の専門的な支援があれば、住み慣れた地域での生活を続けられる |
| 3 認知症になると身の回りのことができなくなるので、介護施設等へ入所しないと生活できない |
| 4 認知症になると周囲に迷惑をかけるので、住み慣れた地域での生活を続けられない |
| 5 認知症になると症状が進行するにつれて、何もできなくなってしまう |
| 6 その他() |

問2.8. あなたが認知症になったらとき、どのように暮らしたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | |
|---|
| 1 家族等のサポートを受けつつ、できるかぎり住み慣れた地域で自立した生活を続けたい |
| 2 医療・介護のサポートを受けつつ、住み慣れた地域での生活を続けたい |
| 3 身の回りのことができなくなるので、介護施設等で生活したい |
| 4 周囲に迷惑をかけるので、介護施設等で生活したい |
| 5 誰にも迷惑を掛けたくないで、ひとりで暮らしたい |
| 6 その他() |

問2.9. 認知症予防のため取り組んでいる(取り組みたい)ことはありますか。

- 1 はい ⇒問2.9-1.ハ 2 いいえ

問2.9-1. (はいの方へ) 取り組んでいる(取り組みたい)ことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 読書や脳トレによる認知機能の維持向上 |
| 2 適度な運動や介護予防教室への参加 |
| 3 友人・知人等の親しい人と出かけたり、日常的に会話をする |
| 4 認知症の予防に効果的な食生活や生活習慣を取り入れる |
| 5 その他() |

問33. 次のうちあなたが「高齢者虐待」だと思ふものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1 言うことを聞かないので無視したり、怒鳴ったりする | 4 認知症により徘徊するので部屋に閉じ込める |
| 2 しつづけたため叩く | 5 金銭管理が不安なので年金・預金などを管理し無断で使う |
| 3 転ぶと危険なので車椅子に縛りつける | 6 人前でおむつを替えたり、裸にする |

問34. 「任職後見制度」とは、現在は判断能力のある人が、将来認知症などで判断能力が衰えた時に、本人を保護、支援する人をあらかじめ自分自身で決めておく制度です。任職後見制度について知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

7. 社会活動への参加について

問35. あなたの日中の過ごし方を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|---------------------|-----------|
| 1 ボランティア活動 | 5 (ご近所ミニデイズ)、「とことん」 | 7 町内会・自治会 |
| 2 運動・スポーツ | お元気！サークル」など) | 8 収入のある仕事 |
| 3 趣味活動 | 予防のための通いの場 | 9 特になし |
| 4 学習・教養サークル活動 | 6 老人クラブ | |

問36. 区内には、高齢者が気軽に立ち寄ることができる福祉会館が7館あります。あなたの福祉会館のご利用について、あてはまるものを教えてください。(ひとつだけ○)。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 継続してよく利用している | 4 知っているが、利用したことがない |
| 2 たまに利用することがある | ⇒問36-1ハ |
| 3 利用したことはあるが、今は利用していない | 5 福祉会館のことをよく知らない |
| | ⇒問36-1ハ |

問36-1. (2) たまに利用することがある」方・「3利用したことはあるが、今は利用していない」方へ
継続して利用しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 自宅から遠い |
| 2 魅力的な講座や事業がない |
| 3 仕事やボランティアなどで活動しており利用する必要がない |
| 4 知り合いがいらないので一人で利用しづらい |
| 5 その他 () |

問36-2. (4) 知っているが、利用したことがない」方・「5 福祉会館のことをよく知らない」方へ
福祉会館を利用してほしいと思える講座・事業などを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 体操やトレーニングなど体を動かす講座や行事 |
| 2 外国語やパソコン、歴史など教養に関する講座 |
| 3 健康や介護など日常生活の相談 |
| 4 時間延長など入浴サービスの拡充 |
| 5 カラオケ・映画視聴・読書など一人でも利用できるサービス |
| 6 その他 () |

問30. あなたは区が実施している認知症高齢者向けの事業について知っていますか。

- 1 はい ⇒問30-1ハ 2 いいえ

問30-1. (はいの方) 区が実施している認知症高齢者向けの事業について知っているものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---|
| 1 認知症に関する相談・支援 | 7 認知症カフェの運営支援 |
| 2 認知症家族交流会 | 8 ひとり歩きに不安のある高齢者のための各種支援 (GPS 位置情報端末の貸与、個人識別番号入りキーホルダーの交付等) |
| 3 認知症サポーター養成講座 | 9 その他 () |
| 4 認知症講演会 | |
| 5 認知症初期集中支援チーム | |
| 6 認知症ガイドブック等、普及啓発冊子の配布 | |

問31. あなたは区が実施している認知症高齢者向けの事業を利用したいと思えますか。

- 1 はい ⇒問31-1ハ 2 いいえ

問31-1. (はいの方) あなたは、区の認知症高齢者向けの事業でどのような事業を利用したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 認知症に関する各種相談 | 8 認知症の疑われる人への早期介入と生活支援 |
| 2 認知症に関する普及啓発 | 9 若年性認知症の人への相談機関の紹介と支援 |
| 3 認知症について相談できる医療機関の紹介 | 10 認知症家族会・支援者団体の紹介 |
| 4 認知症について相談できる機関・団体の情報提供 | 11 認知症予防のための情報提供 |
| 5 認知症の人が利用できる介護施設等の提供 | 12 認知症予防のための実践の場の提供 |
| 6 認知症の人が利用できる介護サービスの紹介 | 13 その他 () |
| 7 ひとり歩きに不安のある高齢者のための各種支援 (GPS 位置情報端末の貸与、個人識別番号入りキーホルダーの交付等) | |

6. 権利擁護について

問2. 江東区では「高齢者虐待」の防止に向けて対策を行っています。「高齢者虐待」とは、暴力・暴言をはじめ高齢者の権利を侵害したり、高齢者のその人らしさを妨げるような行為をさします。あなたは次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 「高齢者虐待」の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」という法律があること |
| 2 高齢者虐待だと思ったら、通報する義務があること |
| 3 高齢者虐待の相談・通報を区役所や長寿サポートセンター (地域包括支援センター) で受け付けていること |
| 4 無病すること、世話をしないこと、無断で年金等を使うこと、身体拘束や家に閉じ込めておくことも高齢者虐待にあたること |
| 5 虐待者 (養護者) に自覚がなくとも、結果として高齢者の人権が侵害されていければ高齢者虐待にあたること |

問37. あなたは、お住まいの地域での「住民主体の活動や交流の場（趣味や町内会、自治会等の近所の会・活動）」に参加していますか。

1 はい	⇒問37-1-1	2 いいえ	⇒問37-2
------	----------	-------	--------

問37-1. (はいの方へ) どのような会・活動等に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ボランティアのグループ (福祉分野)	6 (「ご近所ミニデイ」、「とことんお元気！サークル」など) ボランティアのグループ (その他)	7 老人クラブ
2 ボランティアのグループ (その他)	8 町内会・自治会	9 その他の会や活動 ()
3 スポーツ関係のグループやクラブ		
4 趣味関係のグループ		
5 学習・教養サークル		

問37-2. (いいえの方へ) 会・活動等に参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 近くに会・グループ等がない	4 外出が億劫である
2 会・グループ等の探し方がわからない	5 体調に不安がある
3 興味が無い	6 その他 ()

問38. どのような会・活動等があれば参加したいと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1 有志で季節イベント	4 ボランティアのグループ (福祉分野)
2 友人とレクリエーション	5 ボランティアのグループ (その他)
3 町内会等で体操教室	6 趣味の合う仲間と過ごす交流
	7 その他 ()

問39. 健康維持増進・介護予防のために会・活動等を取組んでいること、又はこれから取組むたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 体操	5 ボランティア (福祉分野)	8 学習活動 (パソコン・スマホ・インターネットなど)
2 脳トレ	6 ボランティア (その他)	9 のIT講座
3 散歩	7 音楽	10 その他 ()
4 健康講座	8 学習活動 (教養講座など)	10 特になし

問40. 区には現在127団体の老人クラブがあり、約13700人の方が会員となっています。あなたの参加状況についてあてはまるものを教えてください。(ひとつだけ○)

1 既に会員である	
2 老人クラブは知っているが、会員ではない	⇒問40-1
3 老人クラブの存在を知らない	

問40-1. (問40で「2 老人クラブは知っているが、会員ではない」と回答した方へ) 老人クラブに入会していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 活動内容に興味が無い	4 入会の方法が分からない
2 仕事やボランティアなど別の活動をして	5 老人クラブに関する情報がどこで得られるかわからない
3 知り合いがいけないので参加しづらい	6 その他 ()

問41. あなたは介護関連の就労をしようと思いませんか。(ひとつだけ○)

1 はい (機会があればできる)	⇒問41-1-1
2 はい (既にしている)	⇒問41-1-1
3 いいえ	

問41-1. (はいの方へ) 介護関連事業等で就労又はボランティアをした経験はありますか。また介護関連の資格を持っていますか。(それぞれひとつだけ○)

(1) 就労経験	1 ある	2 なし
(2) ボランティア経験	1 ある	2 なし
(3) 介護関連の資格	1 ある	2 なし

8. 介護サービスについて

問42. あなたは介護保険制度について、次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護保険サービスを利用するには、「要介護認定」を受けなければならない
2 介護保険課や長寿サポートセンター (地域包括支援センター) の窓口で、対面にて「基本チェックリスト」を受け、一定の要件に該当すると、「要介護認定」を受けなくても介護予防・生活支援サービス事業を利用できる
3 「要介護認定」の結果は、申請から30日程度要するが、「基本チェックリスト」は実施日に判定ができる
4 介護保険サービスを利用するときは、ケアマネジャーや長寿サポートセンター (地域包括支援センター) の専門職員が利用者ごとにサービス計画 (ケアプラン) を作成する
5 区には長寿サポートセンター (地域包括支援センター) があり、介護予防等さまざまな相談に専門の職員が対応してくれる
6 介護サービスを利用したときには、費用の1割、2割又は3割が自己負担となる
7 預金や収入などの条件を満たせば、介護サービスを利用したときの負担が軽減される制度がある
8 要介護度に応じて、介護サービスの利用限度額が異なる
9 サービスの自己負担額が高額になり、一定額を超えたときは、申請により超えた分が払い戻される
10 介護保険制度は、できるかぎり要支援・要介護状態にならないようにする「介護予防」への取り組みをすすめている

問43. あなたは介護保険サービス以外で、次の高齢者向けサービスを知っていますか。

		(あてはまるものすべてに○)
1 住宅設備の改修	7 声かけ訪問 (安否確認)	
2 補聴器の支給	8 電話訪問 (安否確認及び孤独感の緩和)	
3 リフト付き福祉タクシー	9 ごみ出しサポート (ごみの戸別収集)	
4 高齢者食事サービス事業	10 友愛実践活動 (老人クラブの訪問事業)	
5 紙おむつの配送	11 緊急通報システム (自動通報機器の設置)	
6 日常生活用具の給付	12 あんしん情報キット (救急医療の際に便利なキット)	

問4.4. あなたは問4.2 及び問4.3 で回答した情報やサービスを、どのようにして知りましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1	家族	
2	知人や友人	
3	区役所や長寿サポートセンターの窓口/ケアマネジャー	
4	こうした区報	
5	区のホームページ	
6	窓口にあるパンフレット	
7	区からのお知らせに入っている案内	
8	講演会やセミナー	
9	テレビやラジオ	
10	その他 ()	

問4.5. あなたは、区の配食サービスである高齢者食事サービス事業を利用してみたいですか。
(ひとつだけ○)

1	既に利用している	
2	利用してみたい	⇒問4.5-1 へ
3	自費で民間の配食サービスを利用している	⇒問4.5-2 へ
4	利用したくない	

問4.5-1. (12 利用してみたい」と回答した方へ)
利用したい理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1	食事内容が偏りがちだから	
2	親族や知り合い等が用意してくれるが、手を煩わせたくないから	
3	ひとりで過ごす日は不安なので、安全確認をしてほしいから	
4	食事制限(糖分・たんぱく等)があり、家庭で用意できないから	
5	助成があり、多少安くなるから	
6	食事をとったか分からない時があるので、食事時間帯に配達してほしいから	
7	その他 ()	

問4.5-2. (13 自費で民間の配食サービスを利用している」と回答した方へ)
自費で民間業者を利用している理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1	以前から利用しているから	
2	食事が口に合うから	
3	弁当だけでなく、日用品も届けてくれるから	
4	配達時間の融通がきくから	
5	値段が安いから	
6	その他 ()	

9. 現在お住まいの地域や住宅について

問4.6. あなたは、親やこども世帯と同居や近居を望みますか。

1	はい	
2	いいえ	⇒問4.6-1 へ

問4.6-1. (11 いいえの方へ) その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1	住居が狭いから	
2	リフォームが必要だから	
3	同居や近居に適当な物件が見当たらないから	
4	通勤や通学の都合上	
5	親や子どもが同居(近居)したがいらないから	
6	あなたが同居(近居)したくないから	

問4.7. あなたの現在お住まいの住宅の建物の種類を教えてください。(ひとつだけ○)

1	一戸建て(持ち家)	
2	一戸建て(借家)	
3	集合住宅(持ち家)	
4	集合住宅(民間賃貸住宅)	
5	集合住宅(公営賃貸住宅)	

問4.7-1. (3~5 集合住宅」と回答した方に伺います。あなたが住んでいる階(主に生活する部屋)を教えてください。また、建物にエレベーターは設置されていますか。

1	6階以上	
2	3~5階	エレベーターの有無
3	2階	1 ある
4	1階	2 ない

問4.8. あなたは現在お住まいの住宅に住んで何年になりますか。(ひとつだけ○)

1	5年以内	3	10年超~15年以内	5	20年超~30年以内
2	5年超~10年以内	4	15年超~20年以内	6	30年超~

問4.9. あなたは、今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか。(ひとつだけ○)

1	現在住んでいる住宅に住み続けたい	→ 問4.9-1 へ
2	現在住んでいる住宅に住み続けるが、条件があれば住み替えたい	→ 問4.9-1 へ
3	現在住んでいる住宅から住み替えたい	→ 問4.9-3 へ
4	わからない	→ 15ページ 問60 へ

問 49-1. 「1. 現在住んでいる住宅に住み続けたい」「2. 現在住んでいる住宅に住み続けるが、条件があれば住み替えたい」と回答した方に伺います。
 あなたがそう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1 現在の住宅に満足しているから | 7 持ち家だから |
| 2 住宅の立地や周辺環境に満足しているから | 8 住み替えの経済的負担が大きいため |
| 3 地域に愛着がある・住み慣れているから | 9 住み替え先を探るのが手間・面倒だから |
| 4 現在の生活スタイルを変えたくないから | 10 現在の住まいを子ども等に残したいから |
| 5 子どもや親族が同居・近くにいるから | 11 現在の住まいを売却や賃貸に出すことが困難だと思うから |
| 6 仲のよい友人・知人がいるから | 12 その他 () |

問 49-2. 「引き続き 1. 現在住んでいる住宅に住み続けたい」「2. 現在住んでいる住宅に住み続けるが、条件があれば住み替えたい」と回答した方に伺います。現在住んでいる住宅に住み続ける場合、あなたは住宅をどのようにしたいと思えますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 このままでよい | 4 二世帯住宅にしたい |
| 2 建て替えたい | 5 その他 () |
| 3 リフォームしたい | 6 わからない |

問 49 で「1. 現在住んでいる住宅に住み続けたい」「2. 現在住んでいる住宅に住み続けるが、条件があれば住み替えたい」と回答した方は、15 ページ問 50 ページ

問 49-3. 「3. 現在住んでいる住宅から住み替えたい」と回答した方に伺います。
 あなたが住み替えたいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 家が老朽化しているから | 8 他に住んでみたい場所があるから |
| 2 家が手狭だから | 9 そろそろ、子どもに譲ろうと思うから |
| 3 家が広すぎるから | 10 その他 () |
| 4 介護が必要となったとき(老後)に備えたいから | |
| 5 自分や家族の体調不良・健康不安があるから | |
| 6 周囲の治安や防犯等の環境に問題があるから | |
| 7 買い物や通院の利便性に問題があるから | |

問 49-4. 「引き続き 1. 現在住んでいる住宅から住み替えたい」と回答した方に伺います。
 どのような場所に住み替えたいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 現在の居住地の近く | 6 田舎・リゾート地 |
| 2 子どもや親戚の居住地の近く | 7 東京都以外の都市部 |
| 3 同じ区内 | 8 その他 () |
| 4 東京都内 | 9 わからない |
| 5 故郷・出身地 | |

問 49-5. 「引き続き 1. 現在住んでいる住宅から住み替えたい」と回答した方に伺います。
 あなたが最も住み替えたいと思うのは、どのような住宅ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------|--|
| 1 戸建分譲住宅 | 7 グループリビングなど (※) |
| 2 戸建賃貸住宅 | 8 高齢者向け住宅 (高齢者向けケア付き住宅、サ
ービス付き高齢者住宅等) |
| 3 分譲マンション | 9 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 4 賃貸マンション | 10 その他 () |
| 5 二世帯分譲住宅 | 11 わからない |
| 6 二世帯賃貸住宅 | |

※グループリビング: 高齢者自身が、高齢前による身体機能の低下とひとりの暮らしの孤独や不安を考慮し、
 従来家族が行ってきた調理や清掃、食事を共にするといった家族の無償の行為を共同化・合理化して一
 つ屋根の下で共同で住まう居住形態

☆全員に伺います。

問 50. 今後、バリアフリーのためのリフォームを行うお考えはありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------|-----------|
| 1 ある | → 問 50-1へ |
| 2 ない | → 問 50-2へ |
| 3 わからない | |

問 50-1. 「1. ある」と回答した方に伺います。

その内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1 間取りの変更 | 8 台所のコンロを安全で使いやすいものに取り替える |
| 2 建具(ドア・戸)の変更 | 9 和式便器を洋式便器に取り替える |
| 3 段差の解消(道路から玄関) | 10 浴槽を入りやすいものに取り替える |
| 4 段差の解消(住宅内) | 11 床仕上げを変更する(例: 畳・木床 等) |
| 5 手すりの設置(道路から玄関) | 12 階段昇降機を設置 |
| 6 手すりの設置(住宅内) | 13 その他 () |
| 7 流しや洗面台を使いやすいものに
取り替える | |

問 50-2. 「2. ない」と回答した方に伺います。

リフォームを行わない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 必要を感じないから(既にリフォームを行った場合を含む) |
| 2 お金がないから |
| 3 あと何年住むか分からないので、住宅にお金をかけたくないから |
| 4 どのようなリフォームをしたらよいか分からないから |
| 5 施工業者の良し悪しを心配しているから |
| 6 リフォームを考えたいが、安心して相談できる所(人)がないから |
| 7 借家なので勝手に造作できないから |
| 8 その他 () |

問5 5. あなたが介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいですか。
(ひとつだけ○)

1	家族などの介護を受けながら自宅で暮らしたい
2	在宅サービスを利用しながら自宅で暮らしたい
3	有料老人ホームや特別養護老人ホームなどの「施設」で暮らしたい
4	サービスを受けられる「小規模施設」などを利用しながら暮らしたい
5	その他 ()
6	わからない

1 1. その他 (あなたのお考えをお聞かせください)

問5 6. 江東区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営などへのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
調査票を同封の返信用封筒に入れて、**12月17日(水)**までに郵送(投函)してください。切手を貼る必要はありません。
また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒にあなたのお名前やご住所等をお書きにならないでください。

問5 1. あなたはサービス付き高齢者向け住宅を知っていますか。

1	はい
2	いいえ

問5 2. 東京都のサービス付き高齢者向け住宅の平均料金(1ヵ月分、食費や生活支援サービス費を含む)は195,000円ですが、どう思われますか。(ひとつだけ○)

1	住居費や食費、見守り等が含まれているなら妥当だと思う
2	支払える範囲内だが、入居したいとは思わない
3	支払える限度を超えており、入居は考えない

問5 3. サービス付き高齢者向け住宅に対する印象を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1	設備がしっかりしている
2	医療や介護の専門家が常駐して安心
3	食事や介護サービスなどのオプションが便利
4	健康管理や見守りなどのサービスが充実
5	同じ世代が集まっていて楽しそう
6	将来的には入居したい(又は既に入居中)
7	入居したいとは思わない
8	特に興味がない

10. 将来について

問5 4. 人生の最終段階において、「受けたい医療・介護」、あるいは「受けたくない医療・介護」への自分の希望や考えについて、あなたは普段、家族や医療・介護スタッフなどと話し合っていますか。(ひとつだけ○)

1	詳しく話し合っている	⇒問5 4-1 ハ
2	一応、話し合っている	⇒問5 4-1 ハ
3	まだ話し合ったことはないが、興味・関心はある	
4	まだ話し合ったことはないし、興味・関心もない	

問5 4-1. (F1 詳しく話し合っている)「2 一応、話し合っている」方へ伺います。
話し合っている相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1	同居の家族・親族	6	その他の医療従事者
2	別居の家族・親族	7	ケアマネジャー
3	友人・知人・近所の人	8	ヘルパー(介護職員)
4	医師	9	民生委員
5	看護師	10	その他 ()

江東区高齢者生活実態等調査 報告書

発行日 令和2年(2020年)3月
発行 江東区 福祉部 地域ケア推進課
〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28
TEL: 03-3647-9606 (直通)

調査 株式会社 日本能率協会総合研究所
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-1-22 日本能率協会ビル
TEL: 03-3434-6282 (大代表)